

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
人権と社会 1	共通教養科目	岡 宏	1
人権と社会 2	共通教養科目	岡 宏	3
暮らしのなかの憲法	共通教養科目	新田 和宏	5
芸術鑑賞入門	共通教養科目	泉 健	9
現代社会と法	共通教養科目	海堀 崇	12
現代社会と倫理	共通教養科目	平木 光二	14
現代経済の課題	共通教養科目	椎木 和光	17
新しい政治学	共通教養科目	新田 和宏	20
持続可能な社会論	共通教養科目	新田 和宏	25
自己発見の心理学	共通教養科目	大日方 薫	30
科学倫理	共通教養科目	前田 直哉	33
情報倫理	共通教養科目	岡 宏	35
生物と地球環境	共通教養科目	星 岳彦・堀端 章・細井 美彦・松本 和也・ 三谷 匡・宮本 裕史・木戸 啓仁・石丸 恵	38
生物と地球環境	共通教養科目	阿野 貴司・秋田 求・細井 美彦・松本 和也・ 三谷 匡・宮本 裕史・泉 秀実・岸田 邦博	41
医療・科学・暮らし	共通教養科目	浅居 正充・木村 裕一・北山 一郎・ 宮下 尚之・西手 芳明・藤井 雅雄	44
教養特殊講義A	共通教養科目	新田 和宏	47
国際経済入門	共通教養科目	椎木 和光	51
日本近現代史	共通教養科目	長沢 一恵	54
国際社会と日本	共通教養科目	新田 幸夫	58
国際化と異文化コミュニケーション	共通教養科目	服部 圭子	61
国際化と異文化コミュニケーション	共通教養科目	新田 幸夫	64
里山の環境学	共通教養科目	新田 和宏	67
言語文化学入門	共通教養科目	服部 圭子・長谷川 由美・ジン タナンゴナン・ 大加茂 巧・松村 博史・ハタノ リリアン	71
教養特殊講義B	共通教養科目	橋本 剛幸	75
日本語の技法	共通教養科目	梶山 慎一郎・吉田 久・村田 大・ 松本 晋一郎	77
基礎ゼミ	共通教養科目	全教員	80
思考の技術	共通教養科目	平木 光二	82
キャリアデザイン	共通教養科目	中村 弘成	84
社会奉仕実習	共通教養科目	新田 和宏	88
科学技術と人間・社会	共通教養科目	久保田 均	91
インターンシップ	共通教養科目	新田 和宏	93
キャリアインターンシップ	共通教養科目	各学科担当教員	97
スクールインターンシップ	共通教養科目	渡部 容子・小田 義隆	99
教養特殊講義C	共通教養科目	三谷 匡・松本 朱実	102
情報処理基礎 I	共通教養科目	児玉 高志	105
情報処理基礎 I	共通教養科目	木戸 啓仁	107
情報処理基礎 I	共通教養科目	青木 伸也	109
情報処理基礎 I	共通教養科目	青木 伸也	111
情報処理基礎 I	共通教養科目	大政 光史	113

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
情報処理基礎Ⅰ	共通教養科目	大政 光史	115
情報処理基礎Ⅰ	共通教養科目	大政 光史	117
情報処理基礎Ⅰ	共通教養科目	根本 充貴	119
情報処理基礎Ⅱ	共通教養科目	児玉 高志	121
情報処理基礎Ⅱ	共通教養科目	木戸 啓仁	123
情報処理基礎Ⅱ	共通教養科目	小濱 剛	125
情報処理基礎Ⅱ	共通教養科目	小濱 剛	128
情報処理基礎Ⅱ	共通教養科目	大政 光史	131
情報処理基礎Ⅱ	共通教養科目	大政 光史	133
情報処理基礎Ⅱ	共通教養科目	大政 光史	135
情報処理基礎Ⅱ	共通教養科目	根本 充貴	137
生涯スポーツ 1	共通教養科目	黒住 啓二	139
生涯スポーツ 1	共通教養科目	橋本 剛幸	142
生涯スポーツ 2	共通教養科目	黒住 啓二	145
生涯スポーツ 2	共通教養科目	橋本 剛幸	148
健康とスポーツの科学	共通教養科目	黒住 啓二	151
健康とスポーツの科学	共通教養科目	橋本 剛幸	154
食生活と健康	共通教養科目	伊藤 龍生	157
基礎英語 1	外国語科目	服部 圭子・上出 恵	160
基礎英語 1〈再履修〉	外国語科目	上出 恵	165
基礎英語 2	外国語科目	服部 圭子・上出 恵	171
基礎英語 2〈再履修〉	外国語科目	上出 恵	176
総合英語 1	外国語科目	野口 博代・山下 弥生・藤永 真理子	182
総合英語 1	外国語科目	長谷川 由美・吉川 裕介・片岡 宏仁	187
総合英語 2	外国語科目	野口 博代・山下 弥生・藤永 真理子	192
総合英語 2	外国語科目	長谷川 由美・吉川 裕介・片岡 宏仁	197
理系英語 1	外国語科目	吉川 裕介	202
理系英語 1	外国語科目	武智 美佳	205
理系英語 1	外国語科目	竹中 義胤	208
理系英語 1	外国語科目	武智 美佳	211
理系英語 1	外国語科目	長田 希好	214
理系英語 1	外国語科目	澤邊 興平	217
理系英語 1	外国語科目	長田 希好	221
理系英語 1	外国語科目	中土井 智	224
理系英語 1	外国語科目	井上 麗子	227
理系英語 1	外国語科目	長谷川 由美	230
理系英語 1	外国語科目	長谷川 由美	233
理系英語 1〈再履修〉	外国語科目	竹中 義胤	237
理系英語 2	外国語科目	吉川 裕介	240
理系英語 2	外国語科目	武智 美佳	243
理系英語 2	外国語科目	竹中 義胤	246
理系英語 2	外国語科目	武智 美佳	249
理系英語 2	外国語科目	長田 希好	253
理系英語 2	外国語科目	澤邊 興平	256

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
理系英語 2	外国語科目	長田 希好	260
理系英語 2	外国語科目	中土井 智	263
理系英語 2	外国語科目	井上 麗子	266
理系英語 2	外国語科目	長谷川 由美	269
理系英語 2	外国語科目	長谷川 由美	272
理系英語 2 〈再履修〉	外国語科目	竹中 義胤	277
オーラルスキル (英語) 1	外国語科目	ファミユラロ ラルフ マイケル	280
オーラルスキル (英語) 1	外国語科目	エドワード アフ カラギアニス	284
オーラルスキル (英語) 1	外国語科目	ジョン ドウデジアン	287
オーラルスキル (英語) 1	外国語科目	パトリック ポーレン	290
オーラルスキル (英語) 1	外国語科目	ユーリ ヤング	293
オーラルスキル (英語) 1 〈再履修〉	外国語科目	エリック ジョンソン	296
オーラルスキル (英語) 1 〈再履修〉	外国語科目	パトリック ポーレン	299
オーラルスキル (英語) 2	外国語科目	ファミユラロ ラルフ マイケル	301
オーラルスキル (英語) 2	外国語科目	エドワード アフ カラギアニス	305
オーラルスキル (英語) 2	外国語科目	ジョン ドウデジアン	308
オーラルスキル (英語) 2	外国語科目	パトリック ポーレン	311
オーラルスキル (英語) 2	外国語科目	ユーリ ヤング	313
オーラルスキル (英語) 2 〈再履修〉	外国語科目	エリック ジョンソン	315
オーラルスキル (英語) 2 〈再履修〉	外国語科目	パトリック ポーレン	318
オーラルスキル (英語) 3	外国語科目	ジョン ドウデジアン	320
オーラルスキル (英語) 3	外国語科目	ファミユラロ ラルフ マイケル	323
オーラルスキル (英語) 3	外国語科目	ユーリ ヤング	327
オーラルスキル (英語) 3	外国語科目	エリック ジョンソン	330
オーラルスキル (英語) 3	外国語科目	トレント スプリグス	333
オーラルスキル (英語) 3 〈再履修〉	外国語科目	ジョン ドウデジアン	336
オーラルスキル (英語) 4	外国語科目	ジョン ドウデジアン	339
オーラルスキル (英語) 4	外国語科目	ファミユラロ ラルフ マイケル	342
オーラルスキル (英語) 4	外国語科目	ユーリ ヤング	345
オーラルスキル (英語) 4	外国語科目	エリック ジョンソン	348
オーラルスキル (英語) 4	外国語科目	トレント スプリグス	351
オーラルスキル (英語) 4 〈再履修〉	外国語科目	ジョン ドウデジアン	354
海外研修 (英語)	外国語科目	服部 圭子・長谷川 由美・吉川 裕介	357
言語演習 (英語) 1	外国語科目	竹中 義胤	359
言語演習 (英語) 1	外国語科目	竹中 義胤	362
言語演習 (英語) 1	外国語科目	ファミユラロ ラルフ マイケル	365
言語演習 (英語) 1	外国語科目	岩橋 一樹	369
言語演習 (英語) 1	外国語科目	ジェイムズ ホーバット	372
言語演習 (英語) 2	外国語科目	竹中 義胤	375
言語演習 (英語) 2	外国語科目	ファミユラロ ラルフ マイケル	378

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
言語演習（英語）2	外国語科目	岩橋 一樹	382
言語演習（英語）3	外国語科目	滝口 智子	385
言語演習（英語）3	外国語科目	服部 圭子	388
言語演習（英語）3	外国語科目	中土井 智	392
言語演習（英語）4	外国語科目	滝口 智子	395
言語演習（英語）4	外国語科目	服部 圭子	398
言語演習（英語）4	外国語科目	中土井 智	401
言語演習（英語）4	外国語科目	上村 バックス 尚美	404
理系英語3（コンプリヘンション）	外国語科目	長谷川 由美	407
理系英語3（コンプリヘンション）	外国語科目	武知 薫子	411
理系英語3（コンプリヘンション）	外国語科目	中土井 智	415
理系英語3（プレゼンテーション）	外国語科目	服部 圭子	418
理系英語3（プレゼンテーション）	外国語科目	澤邊 興平	421
理系英語4（コンプリヘンション）	外国語科目	吉川 裕介	425
理系英語4（コンプリヘンション）	外国語科目	武知 薫子	429
理系英語4（コンプリヘンション）	外国語科目	中土井 智	433
理系英語4（プレゼンテーション）	外国語科目	服部 圭子	436
理系英語4（プレゼンテーション）	外国語科目	澤邊 興平	439
英語実践1	外国語科目	澤邊 興平	443
英語実践2	外国語科目	澤邊 興平	446
英語スキル上級1	外国語科目	上村 バックス 尚美	449
英語スキル上級2	外国語科目	ジェイムズ ホーバット	452
TOEIC 1	外国語科目	澤邊 興平	455
TOEIC 1	外国語科目	滝口 智子	459
TOEIC 1	外国語科目	竹中 義胤	462
TOEIC 1	外国語科目	吉川 裕介	465
TOEIC 2	外国語科目	澤邊 興平	468
TOEIC 2	外国語科目	滝口 智子	472
TOEIC 2	外国語科目	竹中 義胤	475
TOEIC 2	外国語科目	長谷川 由美	479
TOEIC 3	外国語科目	吉川 裕介	483
TOEIC 4	外国語科目	吉川 裕介	487
理系英語応用1	外国語科目	片岡 宏仁	491
理系英語応用2	外国語科目	片岡 宏仁	495
ドイツ語総合1	外国語科目	田中 秀穂・北川 尚・南谷 真紀	499
ドイツ語総合2	外国語科目	田中 秀穂・北川 尚・南谷 真紀	502
ドイツ語総合3	外国語科目	南谷 真紀	505

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
ドイツ語総合4	外国語科目	南谷 真紀	508
中国語総合1	外国語科目	村田 浩・平坂 仁志・王 蘭・東條 智恵	511
中国語総合2	外国語科目	村田 浩・平坂 仁志・王 蘭・東條 智恵	514
中国語総合3	外国語科目	垣内 智之	517
中国語総合4	外国語科目	垣内 智之	520
化学Ⅰ	基礎科目	藤澤 雅夫	523
化学Ⅰ	基礎科目	櫻井 一正	526
化学Ⅰ	基礎科目	高木 良介	529
化学Ⅱ	基礎科目	藤澤 雅夫	532
化学Ⅱ	基礎科目	櫻井 一正	535
基礎数学	基礎科目	吉田 久・足立 雅彦・藤岡 秀彰・後藤 知博・ 松下 真人	538
基礎数学	基礎科目	堤 裕之	541
数学	基礎科目	福田 誠	544
数学	基礎科目	楠 正暢	546
数学	基礎科目	中迫 昇	549
数学	基礎科目	藤井 雅雄	552
生物学Ⅰ	基礎科目	平井 秀一	555
生物学Ⅰ	基礎科目	小谷 猛夫	559
生物学Ⅱ	基礎科目	平井 秀一	561
生物学Ⅱ	基礎科目	小谷 猛夫	565
基礎物理学	基礎科目	西垣 勉・前田 収・藤岡 秀彰・足立 雅彦・ 向井 誠一	567
物理学Ⅰ	基礎科目	木村 裕一	570
物理学Ⅰ	基礎科目	藤井 雅雄	573
物理学Ⅰ	基礎科目	松本 俊郎	576
物理学Ⅱ	基礎科目	西垣 勉	579
物理学Ⅱ	基礎科目	木村 裕一	582
物理学Ⅱ	基礎科目	藤井 雅雄	585
物理学Ⅱ	基礎科目	松本 俊郎	588
微分積分学	基礎科目	吉田 久	592
微分積分学	基礎科目	西垣 勉	595
微分積分学	基礎科目	西川 博昭	598
微分積分学	基礎科目	堤 裕之	601
線形代数学	基礎科目	大澤 恭子	604
線形代数学	基礎科目	宮下 尚之	606
線形代数学	基礎科目	根本 充貴	609
線形代数学	基礎科目	堤 裕之	612
化学実験	基礎科目	藤澤 雅夫	615
化学実験	基礎科目	高木 良介	618
化学実験	基礎科目	櫻井 一正	620
物理学実験	基礎科目	木村 裕一・久保田 均・村田 一夫・ 水谷 勝己・山口 勝己	623
生命科学概論	基礎科目	加藤 博己	626
基礎食品化学	基礎科目	尼子 克己	629

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
知的財産権	基礎科目	尾崎 嘉彦	633
Webデザイン	基礎科目	吉田 久	636
バイオテクノロジー技術論	基礎科目	瀧川 義浩	639
ロボットメカニクス技術論	基礎科目	渡辺 俊明	642
ロボット制御技術論	基礎科目	久保田 均	645
自主演習	基礎科目	生物理工学部全教員	647
教職論	教職科目	小田 義隆	648
教育原理	教職科目	小田 義隆	651
教育心理学	教職科目	村上 凡子	654
教育行政学	教職科目	小田 義隆	657
教育課程論	教職科目	渡部 容子	660
道德教育論	教職科目	渡部 容子	665
特別活動論	教職科目	森本 芳生	669
教育方法学	教職科目	谷口 知美	672
教育方法学	教職科目	森本 芳生	675
生徒指導論	教職科目	渡部 容子	678
教育相談	教職科目	村上 凡子	682
教育実習特講	教職科目	渡部 容子・小田 義隆	686
教職実践演習(中・高)	教職科目	渡部 容子・小田 義隆	688
理科教育法Ⅰ	教職科目	伊丹 芳徳	692
理科教育法Ⅱ	教職科目	伊丹 芳徳	695
理科教育法特講Ⅰ	教職科目	伊丹 芳徳	699
理科教育法特講Ⅱ	教職科目	伊丹 芳徳	702
数学科教育法Ⅰ	教職科目	今井 敏博	706
数学科教育法Ⅱ	教職科目	今井 敏博	709
数学科教育法特講Ⅰ	教職科目	今井 敏博	712
数学科教育法特講Ⅱ	教職科目	今井 敏博	715
情報科教育法Ⅰ	教職科目	豊田 充崇	718
情報科教育法Ⅱ	教職科目	豊田 充崇	721
物理学概論Ⅰ	教職科目	瀨端 広充	724
物理学概論Ⅱ	教職科目	瀨端 広充	727
地学概論Ⅰ	教職科目	佐藤 昇	730
地学概論Ⅱ	教職科目	佐藤 昇	734
地学実験	教職科目	佐藤 昇	738
代数学概論Ⅰ	教職科目	平井 崇晴	741
代数学概論Ⅱ	教職科目	平井 崇晴	745
幾何学ⅠA	教職科目	森杉 馨	749
幾何学ⅠB	教職科目	森杉 馨	751
幾何学ⅡA	教職科目	森杉 馨	753
幾何学ⅡB	教職科目	森杉 馨	755
情報処理応用	専門科目	楠 正暢	757
応用解析学Ⅰ	専門科目	西垣 勉	761
応用解析学Ⅱ	専門科目	楠 正暢	765
確率統計	専門科目	北山 一郎	768

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
心理統計学	専門科目	片山 一郎	771
システムデザインと倫理	専門科目	北山 一郎・楠 正暢・中川 秀夫・山田 崇史・藤井 雅雄	774
シミュレーション工学	専門科目	楠 正暢	777
人間医工学概論	専門科目	大澤 恭子	780
生体機能・解剖学	専門科目	谷本 道哉	783
生理学	専門科目	谷本 道哉	786
カラーコーディネーションの心理学	専門科目	片山 一郎	788
環境計画学	専門科目	山田 崇史	791
スポーツ科学	専門科目	谷本 道哉	794
スポーツダイナミクス	専門科目	谷本 道哉	796
感性デザインの数理	専門科目	片山 一郎	798
暮らしの力学	専門科目	廣川 敬康	801
暮らしの力学	専門科目	野田 淳二	806
材料力学Ⅰ	専門科目	野田 淳二	811
材料力学Ⅱ	専門科目	野田 淳二	814
センサ工学	専門科目	楠 正暢	817
アンビエントセンサ	専門科目	楠 正暢	820
生体計測学	専門科目	中川 秀夫	823
流れ学	専門科目	大政 光史	826
材料機能学	専門科目	大政 光史	828
生活支援ロボット	専門科目	中川 秀夫	830
住環境科学概論	専門科目	藤田 浩司	834
プロダクトデザイン	専門科目	藤田 浩司・山田 崇史	836
設計製図	専門科目	山田 崇史	839
熱・設備工学	専門科目	藤田 浩司	842
温熱・空気環境学	専門科目	藤田 浩司	844
振動と音響の科学	専門科目	西垣 勉	846
建築法規	専門科目	山田 崇史	849
建築施工	専門科目	山田 崇史	852
ユニバーサルデザイン概論	専門科目	北山 一郎・廣川 敬康	855
福祉情報デザイン	専門科目	北山 一郎	858
人間工学	専門科目	北山 一郎	861
建築と照明	専門科目	片山 一郎	864
福祉機器デザイン	専門科目	北山 一郎	867
ユニバーサルデザイン	専門科目	廣川 敬康	870
ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ	専門科目	廣川 敬康・西垣 勉	873
ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅱ	専門科目	廣川 敬康・西垣 勉	876
ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅲ	専門科目	大政 光史・山田 崇史	879
3次元CADプロダクトデザイン	専門科目	中川 秀夫	881
設計製図演習	専門科目	藤田 浩司・山田 崇史・大澤 恭子・青柳 栄治・播摩 重俊	884

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
専門ゼミ	専門科目	人間環境デザイン工学科全教員	886
人間環境デザイン工学実験Ⅰ	専門科目	片山 一郎・谷本 道哉・藤田 浩司・ 野田 淳二・大澤 恭子	888
人間環境デザイン工学実験Ⅱ	専門科目	北山 一郎・楠 正暢・片山 一郎・谷本 道哉・ 野田 淳二	890
人間環境デザイン工学演習Ⅰ	専門科目	人間環境デザイン工学科全教員	892
人間環境デザイン工学演習Ⅱ	専門科目	人間環境デザイン工学科全教員	894
人間環境デザイン工学講究	専門科目	人間環境デザイン工学科全教員	896
卒業研究	専門科目	人間環境デザイン工学科全教員	898

科目名 :	人権と社会 1				
英文名 :	Human Rights and Society 1				
担当者 :	岡 宏				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

現代社会における人権課題について、人権概念を歴史的に考察しつつ、現代的意義と実態について何を置いても“誠実”に、そして“当事者性”を基軸に考察を進め、人権と社会を考える意味を学修します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この講義を履修することで、主に以下の2点ができるようになる。

①現代社会における人権課題について当事者性をもって「思い、感じ、考える」ことができる。

②生活臨床において当事者性の視点から実践する素養を習得できる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%

講義中試験 30%

レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題については講義中に要点を提示し、印刷物を配布します。

試験については要点とアプローチを提示し、解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

使用しません。各回講義資料を配布します。

■ 参考文献

適宜、講義中に紹介します。

■ 関連科目

人権と社会2

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）hiroshioka@socio.kindai.av.jp

■ オフィスアワー

金曜日・3限目、4限目終了時

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第01回 授業概要について

第02回 人権概念の性質

第03回 普遍的レベルの人権

第04回 人権と市民社会

第05回 人権保護と促進のための地域システム

第06回 人権コラム① 「障害者」課題ドキュメント

第07回 人権に関する諸課題⑦ 「障害と人権①」基礎知識

第08回 「障害と人権②」臨床像①

第09回 「障害と人権③」臨床像②

第10回 講義中試験

- 第11回 人権コラム② 「小児がん」課題ドキュメント
- 第12回 「難病と人権①」基礎知識
- 第13回 「難病と人権②」臨床像③
- 第14回 前期「人権講演会」
- 第15回 前期・論点整理
- 第16回 定期試験

予習内容：人権は、社会的課題であると同時に、人間の普遍的価値につながる課題です。また、人権理解の前提となる人間の本質的特性や偶有的特性は、人間理解の根幹です。

この為、この授業では各回の予習・復習の目安、および課題を敢えて設定していません。

それは、恒常的に“当事者性”を心がけ、“理解と寛容”を旨として他者に向き合うことを生活臨床において考え続けて欲しいと願うからです。この点が、この授業の予習・復習で大切ところであると考えます。“誠意”をもって“誠実”をモットーに臨んでください。

復習内容：人権は、社会的課題であると同時に、人間の普遍的価値につながる課題です。また、人権理解の前提となる人間の本質的特性や偶有的特性は、人間理解の根幹です。

この為、この授業では各回の予習・復習の目安、および課題を敢えて設定していません。

それは、恒常的に“当事者性”を心がけ、“理解と寛容”を旨として他者に向き合うことを生活臨床において考え続けて欲しいと願うからです。この点が、この授業の予習・復習で大切ところであると考えます。“誠意”をもって“誠実”をモットーに臨んでください。

■ホームページ

科目名 :	人権と社会 2						
英文名 :	Human Rights and Society 2						
担当者 :	岡 宏						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代社会における人権課題について、「人権と社会1」において考察した人権概念と関連思想を基軸にして、その実態と現代的意義について“誠実”であることを何より大事にしつつ、加えて“当事者性”の視点に立脚して考察を進め、人権と社会を考える、一歩踏み込んだ意味を学修します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この講義を履修することで、主に以下の2点ができるようになる。

①現代社会における人権課題について当事者性をもって「思い、感じ、考える」ことができる。

②生活臨床において当事者性の視点から実践する素養を習得できる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%

講義中試験 30%

レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題については講義中に要点を提示し、印刷物を配布します。

試験については要点とアプローチを提示し、解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

使用しません。各回講義資料を配布します。

■ 参考文献

適宜、講義中に紹介します。

■ 関連科目

人権と社会1

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）hiroshioka@socio.kindai.av.jp

■ オフィスアワー

金曜日・3限目、4限目終了時

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第01回 授業概要について

第02回 「基本的人権」について 「しあわせ」

第03回 「区別」と「差別」について 「不当性、不利益性」

第04回 人権に関する諸課題⑦ 「子どもの人権①“児童虐待”」

第05回 「子どもの人権②“児童性的虐待”」

第06回 「子どもの人権③“いじめ”」

第07回 講義中試験

第08回 人権コラム① 「老い」

第09回 人権に関する諸課題⑧ 「高齢者の人権①“認知症①”」

- | | | |
|------|------------|-------------------|
| 第10回 | | 「高齢者の人権②“認知症②”」 |
| 第11回 | 人権コラム② | 「差別と構造的暴力」 |
| 第12回 | 人権に関する諸課題② | 「武力紛争下における女性の人権①」 |
| 第13回 | | 「武力紛争下における女性の人権②」 |
| 第14回 | 前期「人権講演会」 | |
| 第15回 | 後期・論点整理 | |
| 第16回 | 定期試験 | |

予習内容：人権は、社会的課題であると同時に、人間の普遍的価値につながる課題です。また、人権理解の前提となる人間の本質的特性や偶有的特性は、人間理解の根幹です。

この為、この授業では各回の予習・復習の目安、および課題を敢えて設定していません。

それは、恒常的に“当事者性”を心がけ、“理解と寛容”を旨として他者に向き合うことを生活臨床において考え続けて欲しいと願うからです。この点が、この授業の予習・復習で大切ところであると考えます。“誠意”をもって“誠実”をモットーに臨んでください。

復習内容：人権は、社会的課題であると同時に、人間の普遍的価値につながる課題です。また、人権理解の前提となる人間の本質的特性や偶有的特性は、人間理解の根幹です。

この為、この授業では各回の予習・復習の目安、および課題を敢えて設定していません。

それは、恒常的に“当事者性”を心がけ、“理解と寛容”を旨として他者に向き合うことを生活臨床において考え続けて欲しいと願うからです。この点が、この授業の予習・復習で大切ところであると考えます。“誠意”をもって“誠実”をモットーに臨んでください。

■ホームページ

科目名 :	暮らしのなかの憲法				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	新田 和宏				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

<本講座を学ぶ目的>

本講座は、日本国憲法の基本問題について理解を深めることを目的とする。

<本講座において学ぶ意義>

そもそも、憲法とは、国家権力の濫用を抑制しつつ、国民の自由と人権を擁護する立憲主義（constitutionalism）という考え方に立脚するが、もちろん日本国憲法も同じ立場である。しかしながら、今日、立憲主義がゆらぐ中、改めて、日本国憲法を学ぶ意義を強調するならば、それは自由と人権について熟考することにあるといえよう。日本国憲法第12条は「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」と要請する。もしも、時代に流され、思考停止に陥り、「不断の努力」を怠れば、97条がいう「この憲法が国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」を台無しにしてしまう恐れすらある。

<本講座の方法>

アクティブ・ラーニングとして展開する。

教科書をベースに据え、憲法裁判の判例や学説を検討しつつ、また学生諸君のプレゼンテーションとディスカッションを交えながら、表層的な観察に終わらない重心の低い本格的な考察を講じていく。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①. 教科書を読み、これを正確に理解できる読解力。②. 講義を積極的に傾聴（active listening）できる能力。③. 板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④. 日本国憲法の基本問題について、その本質を粘り強く考えようとする態度と、その洞察力。⑤. 実際の憲法裁判の判決文を前にして、その要点が理解しえる能力。⑥. 持論を展開し表現しえる能力。

<ディプロマポリシーとの関連>

「暮らしのなかの憲法」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的1および2の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■ 教科書

棟居快行他『基本的人権の事件簿・第5版』有斐閣、2015年 ISBN978-4-641-28135-6

辻村みよ子『憲法・第5版』日本評論社、2016年 ISBN978-4-535-52183-4

■ 参考文献

長谷部恭男『憲法とは何か』岩波新書、2006年 [ISBN]4004310024

渋谷秀樹『憲法への招待・新版』岩波新書、2014年 [ISBN]4004314704

古関彰一『平和憲法の深層』ちくま新書、2015年 [ISBN]9784480068279

ヘアテ・シロタ・ゴードン『1945年のクリスマス』朝日文庫、2016年 [ISBN]9784022618573

加藤隆之『人権判例から学ぶ憲法』ミネルヴァ書房、2014年 [ISBN]9784623070589

山田隆司『戦後史で読む憲法判例』日本評論社、2016年 [ISBN]9784535521865

山本龍彦・清水唯一朗・出口雄一編『憲法判例からみる日本』日本評論、2016年 [ISBN]9784535522114

上田健介・尾形健・片桐直人『憲法判例50!』有斐閣、2016年 [ISBN]9784641227194

長谷部恭男・石川賢治・宍戸常寿編『別冊Jurist憲法判例百選①・第6版』有斐閣、2013年 [ISBN]9784641115170

長谷部恭男編『注釈日本国憲法(2)』有斐閣(2017) [ISBN]978-464101797

■ 関連科目

新しい政治学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡ください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 立憲主義と日本国憲法

予習内容：Exercise①。憲法は「国民を縛るものでなく」、「国家を縛るものである」。そのポイントをノートにまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえなが、Exercise③。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第2回 日本国憲法の成立過程

予習内容：Exercise②。日本国憲法の成立過程において、民間の憲法研究会がはたした役割についてノートにまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえなが、Exercise③。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第3回 包括的基本権／幸福追求権

予習内容：Exercise③。自らが信じる宗教の教義に従い、輸血を拒否し、死を選ぶ「自己決定権」は憲法13条が保障する「幸福追求権」に値するものなのか、ノートに私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえなが、Exercise③。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第4回 法の下での平等

予習内容：Exercise④-1。民法900条4項但書が規定する非嫡出子（婚外子）に対する相続規定（嫡出子の1/2）に対し、最高裁は、如何なる理由をもって、憲法14条が定める「法の下での平等」に違反したものであると判断したのか、論点を整理しなさい。

Exercise④-2。2015年12月16日、最高裁は、民法733条1項が定める、離婚後6ヶ月間、女性は再婚できない、という規定は違憲であるとし、再婚禁止期間は100日で足りると判断した。しかしそれでも、最高裁の判断は、性別による差別を禁止した憲法14条、および婚姻の自由を保障した24条に抵触しないのか、検討しなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえなが、Exercise④-1。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第5回 人権主体

予習内容：Exercise⑤。テキストの「事件1」に関して。中津川市議会は、「声が出せない議員」が希望する議場での「代読」を拒否し、パソコンによる音声変換機能による読み上げならば認めるとした。尚、「市議会側の主張」は3点に基づく（テキストpp.10-11）。それでは改めて、「市議会側の主張」は、「声が出せない議員」に対する「合理的配慮」を伴うものなのか、検討しなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえなが、Exercise⑤。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第6回 人権保障の公共の福祉

予習内容：Exercise⑥。憲法に登場する「公共の福祉」（12条、13条、22条および29条）とは、一体何を意味するのか、解釈を整理しなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえなが、Exercise⑥。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第7回 思想の自由

予習内容：Exercise⑦。「君が代ピアノ伴奏命令事件」において最高裁は、憲法19条が保障する思想・良心に対する「間接的制約」は、「直接的制約」と異なり、必要性和合理性があり許容されると判断した。しかし、内面を侵害する「直接的制約」は違憲であるが、外観に対する「間接的制約」は、職務上の必要性和合理性からして合憲である、という議論に果たして憲法上の問題は無いのか、私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながらか、Exercise⑦。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第8回 信教の自由

予習内容：Exercise⑧。「剣道受講拒否事件」において最高裁は、特定の宗教を信じる学生に対する剣道実技の受講免除およびその代替措置は、特定の宗教に対する特別扱い（援助・助長・促進）とはいえず、したがってまた憲法20条3項が定める政教分離原則に違反しないとした。最高裁の見解は妥当な判断なのか、論評しなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながらか、Exercise⑧。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第9回 表現の自由

予習内容：Exercise⑨。自衛隊立川宿舎の各戸玄関には、日常的に飲食店のチラシ等の商業的宣伝ビラが投函されていたにもかかわらず、自衛隊のイラク派兵反対を訴えるビラを投函した者に対して、最高裁は住居侵入罪を適用した。このような最高裁の判断は、憲法21条が保障する表現の自由を萎縮してしまわないのか、私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながらか、Exercise⑨。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第10回 学問の自由および教育権

予習内容：Exercise⑩。「指導要録開示訴訟」において最高裁は、(1)「各教科の学習の記録」の「観点別学習状況」欄と「評価」欄、および(4)「標準検査の記録」の「所見」欄の開示を認めたが、それ以外は非開示とした。それでは、非開示とされた指導要録の情報は、開示されないことが妥当なのか、私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながらか、Exercise⑩。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第11回 営業の自由

予習内容：Exercise⑪。厚労省は、薬事法の対面販売の原則を固持しつつ、第一類および第二類医薬品のインターネット販売を禁止する施行規則を定め2009年に施行した。これに対して、最高裁は、薬事法が薬のインターネット販売を一律に禁止する施行規則の制定を委任するものではないとして、かかる規定は薬事法の委任の範囲を逸脱し、違法であると判断した。このような最高裁の判断は妥当といえるものなのか、私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながらか、Exercise⑪。について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第12回 生存権

予習内容：Exercise⑫。最高裁は、老齢加算違憲訴訟において、生活保護受給者のうち、70歳以上の高齢者に加算されていた、「老齢加算」（教養費、身の回り品費、保健衛生費、および嗜好品費）の支給を廃止した厚労省の裁量は認められるべきであると判断した。かかる最高裁の判断は、憲法25条の解釈として適切であるのか、私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながらか、Exercise⑫。について、私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第13回 環境権

予習内容：Exercise⑬。「ムツゴロウ干拓事業差止め事件」において、長崎地裁は、自然の権利、自然享有権、および環境権は、その権利の享有主体や権利要件および効果等が明確ではなく、権利性が未熟であると指摘した。

しかし他方、最高裁は、「国立『大学通り』高層マンション訴訟」において、開発業者を勝訴させた一方で、良好な景観の恵

沢を享受する利益（「景観利益」）は法律上保護に値するとの判断を示した。

両者を総合して勘案すると、環境権を提起し、これを主張することは難しいものの、むしろ環境権を主張せず、良好な環境の恵沢を享受する利益（いわば「環境利益」）は法律上保護するに値することになるのか、私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑬、について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第14回 平和憲法

予習内容：Exercise⑭、自衛隊イラク派遣差止訴訟において、名古屋高裁は、憲法前文に記載されている平和的生存権について、全ての基本的人権の基礎となる「基底的権利」であり、9条に違反する戦争遂行に加担・協力を強制された場合、これに対して差止請求を行うことができる具体的権利性があると判断した。このような平和的生存権の判断は、政府の集団的自衛権の行使を差し止めることにも適用できるのか、ノートに私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑭、について、私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

第15回 暮らしのなかの憲法

予習内容：Exercise⑮、「憲法解釈の積み重ねとその議論から、憲法が暮らしのなかに対自的に具現化する」といえるのか？ ノートに私見をまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑮、について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。

復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	芸術鑑賞入門				
英文名 :	Introduction to Appreciation of Art				
担当者 :	泉 健				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

全学共通科目の中の共通教養の一つです。研究の基礎段階において、豊かな教養と広い視野を磨いておくことは、専門課程へステップアップを図るために大切です。この科目では西洋の芸術音楽を例に取りあげながら、高度化・複雑化する社会において、専門知識・技能を活かすために不可欠な、幅広い教養を身につけることを目指しています。講義では西洋音楽の名曲を取りあげながら、音楽と社会との関係、音楽と思想との関係、音楽と同時代の美術・文学との関係などを考察していきます。授業の形式は、CDとDVDで実際の音や映像を十分に体験してもらいながら進めていきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

講義を聞いて、ある音楽に感動したり、その音楽をめぐる事象に興味を持ってもらうことが、学習・教育目標です。そして、音楽をめぐるある事象に興味を持った場合に、単に講義を聞いただけではなく、それをきっかけとしてその興味を持った問題を自分でさらに調査研究し、それを文章にまとめることができるようになることが到達目標です。そのために第1回目の講義において、音楽文献学的な観点から詳細な説明をしますので、第1回目の講義から必ず出席して下さい。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

授業中課題(講義をどう受け止めたかを書くカードを毎回提出 : B6版) 45%
 学期末レポート (4800字A4版3枚) 55%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの課題図書として提示した6冊の書籍の提示理由と各書籍の重要なポイントをUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784487792443 『西洋音楽の歴史』(高橋 浩子, 東京書籍 : 1996)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・izumi@center.wakayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 音楽文献学

予習内容 : 音楽学という学問のことをインターネットなどで調べてみる。

予習時間 : 30分

復習内容 : IMSLP (国際楽譜ライブラリープロジェクト) のサイトで、クラシック音楽の好きな曲の楽譜を検索してみる。

復習時間 : 60分

講義概要の説明と定期試験の内容の説明。音楽文献学的な観点から調査研究の方法、及び論文の書き方を詳しく解説します。

第2回 脳と音楽: その1

予習内容 : 人間の脳の左右の機能差をインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：角田忠信理論の補正すべき点を『科学朝日』1990年3,6,7月号の各研究者の論文によって確認しておく。

復習時間：120分

脳の中の音処理機構のシステムに注目しながら、日本人と欧米人の音処理機構の違いを考察します。

第3回 脳と音楽:その2

予習内容：音楽療法という医療方法についてインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：音楽運動療法以外の様々な種類の音楽療法について、講義内で紹介した文献などをもとに調べてみる。

復習時間：90分

音楽運動療法を実例にとりあげながら、音楽が人間の病気に対して持つ大きな力を脳の機能に注目して考察します。

第4回 脳と音楽:その3

予習内容：ホメオスタシスとは何かということをインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：大脳の中の視床と大脳基底核の機能を、講義内で紹介した文献などをもとにさらに詳しく調べてみる。

復習時間：90分

音楽が人間を癒すとはどのような作用なのかを、ホメオスタシスと脳の構造を学びながら考察していきます。

第5回 宇宙と音楽

予習内容：ピュタゴラスの音楽関係の業績をインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：ピュタゴラス音律とケプラーの惑星の音階のことを、講義内で紹介した文献などをもとに調べてみる。

復習時間：120分

古代ギリシャ以来の天体の音楽の歴史の思想を振り返りながら音楽と宇宙、音楽と数の関係を考察していきます。

第6回 自然と音楽

予習内容：日本と西洋の農業形態の相違をインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：渡辺正雄『日本人と近代科学』（岩波新書,1976,ISBN 978-4004160670）の第6章を読んでおく。

復習時間：120分

ヴィヴァルディの『四季』と三曲合奏『四季の眺め』を聞き比べながら、彼我の自然環境、自然観の相違を考察していきます。

第7回 西洋音楽史のテクスチャーの歴史

予習内容：西洋音楽史の時代区分をインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：講義で紹介した各時代の代表曲を、インターネットのyou tubeのサイトで実際に聴いてみる。

復習時間：120分

西洋音楽史の変遷を、作曲技法の観点からたどっていきます。

第8回 芸術概念の誕生

予習内容：バウムガルテン,A.G.(1714-1762)という人物についてインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：古典派時代の音楽の思想的背景を、講義内で紹介した文献などをもとにさらに詳しく調べてみる。

復習時間：120分

18世紀後半に芸術という概念がどのように誕生していったかを、美学史の観点から説明します。

第9回 コンサートの成立

予習内容：古典派時代の音楽の歴史とコンサートの歴史を、インターネットなどで調べてみる。

予習時間：60分

復習内容：講義内で紹介したモーツァルトの交響曲を、インターネットのyou tubeのサイトで実際に聴き、モーツァルトの生涯の転換点であるウィーンへの進出のことをさらに詳しく調べてみる。

復習時間：120分

芸術概念の誕生には、コンサートの成立が大きな役割を果たしています。英・仏・独・伊におけるその成立の様相を見ていきます。

第10回 著作権の歴史

予習内容：ベルヌ条約とは何かということをインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：講義内で紹介した原曲と盗作曲を、インターネットのyou tubeのサイトで実際に聴いてみる。

復習時間：90分

芸術概念の登場と共に著作権意識も現れてきます。コミュニケーションの歴史の観点からこの問題を考えます。

第11回 パロディーの歴史

予習内容：ミサ曲とは何かということをインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分

復習内容：講義内で紹介したルネサンス時代のパロディー・ミサ曲の原曲とパロディー曲を、インターネットのyou tubeのサイトで実際に聴いてみる。

復習時間：120分

18世紀半ばまでの西洋音楽史では、パロディーは作曲上の重要な技法でした。ミサの歴史をたどりながらこの問題を考察します。

第12回 ピリオド楽器とピアノ

予習内容：ピリオド楽器とは何かということと、ピアノの歴史を、インターネットなどで調べてみる。

予習時間：60分

復習内容：講義内で紹介したピアノの前身楽器の音を、インターネットのyou tubeのサイトで実際に聴いてみる。

復習時間：120分

ピアノの楽器としての歴史を振り返りながら、古楽器（ピリオド楽器）の復興の歴史を考察します。

第13回 フォルテ・ピアノを使用してわかること

予習内容：フォルテ・ピアノとは何かということをインターネットなどで調べてみる。

予習時間：45分

復習内容：講義内で紹介した1750-1850年代のフォルテ・ピアノの音を、インターネットのyou tubeのサイトで実際に聴いてみる。

復習時間：120分

古楽器としてのピアノで演奏して初めてわかる作曲家の意図をいくつか実例とともに考察していきます。

第14回 ピリオド楽器とオーケストラ

予習内容：フルートとヴァイオリンの歴史をインターネットなどで調べてみる。

予習時間：45分

復習内容：講義内で紹介・分析したバッハ,J.S.の「ヨハネ受難曲」のモダン楽器とピリオド楽器の演奏を、インターネットのyou tubeのサイトで実際に比較し、その違いを体験してみる。

復習時間：120分

古楽器で演奏して初めてわかる作曲家の意図をいくつかの管弦楽曲を実例に考察していきます。

第15回 オペラの名曲を聴く

予習内容：ロマン派時代のオペラの歴史をインターネットなどで調べてみる。

予習時間：45分

復習内容：講義内で紹介したヴェルディの諸作品の背景にある政治的・経済的状況を考えながら、インターネットのyou tubeのサイトで実際にそれらの作品を聴いてみる。

復習時間：120分

特にロマン派時代のオペラの中から、各作品の時代背景を説明しながら有名なアリア、合唱曲を中心に鑑賞していきます。

■ホームページ

科目名 :	現代社会と法				
英文名 :	Law and Modern Society				
担当者 :	海堀 崇				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

私たちの暮らしは、出生から死亡に至るその私的な生活から公的な生活まで、さまざまな法律がかかわっています。それに伴い、近年では、多種多様な法律に絡んだトラブルが発生しており、その解決には法的知識が不可欠です。

日々生じる問題に、どのように法的に考え、対処するのか。本講義では、受講生の皆さんにとって、身近な問題をとりあげて進めていきたいと考えています。

原則、講義形式としますが、双方のやり取りで理解を進めたいと考えています。基本的にはレジュメの配布を予定しています。

また、六法を持参してください。六法については、初回講義時に説明をします。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 法律全般の基礎知識を習得し、その考え方を理解し、。
- 2) 法的問題について、法的観点から自身の見解の形成が可能となること、ができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

小テスト・レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小テストについて、次回授業開始時にポイントを示す予定です。

■ 教科書

六法。その他特には指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784535576766 『法律における理窟と人情』（我妻 榮，日本評論社：1955）

[ISBN]9784641112834 『法学入門 第6版補訂版（有斐閣双書）』（有斐閣：2014）

[ISBN]9784641125094 『自分で考えるちょっと違った法学入門 第3版』（道垣内 正人，有斐閣：2007）

■ 関連科目

「暮らしの中の憲法」など法律関連科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）

メールアドレスkaibori_takashi_kindai@yahoo.co.jp

（アンダーバーがあることに注意してください。）

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

最初の3回程度を、ガイダンス及び法学入門総論として取扱い、法学を学習するに際して必要不可欠な知識であるについて学習をします。その後、法学入門各論として、憲法を中心として3回程度、民法を中心として4回程度、刑法・刑事訴訟法を中心として3回程度学習を行い、その余については今日の日本社会が直面する個別の法的問題について取り上げたいと考えています。

定期試験

論文式を中心として行います。その他、記述式、短答式問題を課す場合もあります。

■ **ホームページ**

科目名 :	現代社会と倫理				
英文名 :	Modern Society and Ethics				
担当者 :	平木 光二				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

我が子のDNA鑑定やドローンの使用など、今日まさに社会問題化しつつある諸問題を取りあげ、それらを倫理学の視点から検討・考察する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

講義やグループ討論などを通じて、倫理とは何かについての理解を深め、日常生活にあつて倫理的に行動する意識を養うことを目標とする。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%

授業中課題 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

指定しない。毎授業時、関係資料を配布する。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・hirakik@pj9.so-net.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 倫理と道徳

予習内容：Wikipediaで「道徳」、「倫理」とはなにか、その意味を調べ概念をつかんでおくこと。無生物に「道徳」や「倫理」を問えるのかについても考えておくこと。

予習時間：60分

復習内容：「倫理」と「道徳」の違いが説明できるように配布資料を読み直しておくこと。

復習時間：20分

この授業では、講義よりもむしろグループ討議（4～6人で構成）が授業の核となります。したがって初日はグループ討議の進め方などを説明するだけにとどめますが、次回から実際にグループに分かれて討論してもらうこととなりますので、受講者はこの授業形態に戸惑わないようにしてください。

第2回 倫理と法の境界

予習内容：Wikipediaで倫理と法の境界はどこにあるのか、調べておくこと。

予習時間：50分

復習内容：倫理と法を配布資料を読み直して理解を深めておくこと。

復習時間：20分

YouTubeを題材としてとりあげ、倫理と法の境界をめぐってグループ討論する。

第3回 人権・表現の自由

予習内容：Wikipediaで諸外国の校則を調べ、わが国の校則の現状を把握しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：校則と人権の関係について配布資料を読み直して理解を深めておくこと。

復習時間：20分

校則を例にとり、人権・表現の自由についてグループ討論する。

第4回 環境倫理—自然の権利

予習内容：Wikipediaで「自然の権利」という用語を調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：「持続可能な開発」「自然の権利」などの概念を説明できるよう、配布資料を読み直しておくこと。

復習時間：20分

環境を保護する手法のひとつである、自然の権利についてグループ討論する。

第5回 安楽死

予習内容：安楽死と尊厳死のちがいを調べておくこと。

予習時間：20分

復習内容：わが国にも安楽死法を制定するべきか否か、考えを整理しておくこと。

復習時間：20分

オランダの安楽死の現状を踏まえながら、安楽死についてグループ討論する。

第6回 SNSの倫理

予習内容：SNSのメリット・デメリットについて調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：なぜ炎上が起きるのか、SNSの倫理との関係を再確認しておくこと。

復習時間：20分

SNSの使用に際して、どのような倫理的問題が生じるかについてグループ討論する。

第7回 ドローン—その平和的・軍事的利用について

予習内容：ドローンの軍事的利用の具体的な事例をwikipediaで調べておくこと。

予習時間：40分

復習内容：ドローンが内包する倫理的問題を、配布資料を読み直して理解を深めておくこと。

復習時間：30分

ドローン—その平和的・軍事的利用についてグループ討論する。

第8回 脳死と臓器移植

予習内容：某国でかつて容認されていた死刑囚の臓器移植の実態について、wikipediaで調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：説明と同意という概念を説明できるよう、ノートを整理しておくこと。

復習時間：20分

無脳症児などを例に、脳死と臓器移植についてグループ討論する。

第9回 企業倫理(Corporate Ethics)

予習内容：コンプライアンス、圧迫面接という用語をWikipediaで調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：倫理とコンプライアンスとの関係を理解しておくこと。

復習時間：20分

企業倫理とはなにかについてグループ討論する。

第10回 代理出産、ゲノム編集による不妊治療

予習内容：host motherという用語をWikipediaで調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：代理出産の克服すべき課題はなにか、再考しておくこと。

復習時間：30分

代理出産が内包する倫理的問題についてグループ討論する。

第11回 確認テスト

予習内容：個々の事例についてその背景を説明できることは当然であるが、それにくわえ、自分はどちらの立場（賛否等）をとるのかを再考、再確認し、あわせてそう考える理由・根拠も示せるように用意しておくこと。

予習時間：90分

既習事項についての理解度を確認するテストを実施します。

第12回 食の倫理—Table for Two

予習内容：Table for Twoに参加している企業を調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：食の倫理の重要性を、配布資料を読み直して再確認・再認識しておくこと。

復習時間：20分

近畿大学構内にあるレストラン・カフェも参加している、Table for TwoというNPOの活動を例にとり、グループ討論する。

第13回 DNA鑑定

予習内容：DNA鑑定の実例をWikipediaで調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：DNA鑑定実施依頼にあたり、重要なことはなにか、再確認しておくこと。

復習時間：20分

DNA鑑定の実例をとりあげグループ討論する。

第14回 罪と罰

予習内容：罪悪感という用語をWikipediaで調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：情動の派生図が書けるようにしておくこと。

復習時間：20分

罪とはなにか、罰とはなにか、グループ討論する。

第15回 薬物使用

予習内容：薬物は大麻などに限らない。薬物という用語をWikipediaで調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：薬物と倫理がどう関係しているか、配布資料で理解し確認しておくこと。

復習時間：20分

記憶力を高める薬物を使用するとき、どんな問題があるかグループ討論する。

定期試験

問題形式は全問記述式とする。

■ホームページ

科目名 :	現代経済の課題				
英文名 :	Problems of Modern Economics				
担当者 :	椎木 和光				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

私たちが日々生活しているこの社会はどのような仕組みになっているのか、それにはどういう意味があるのか、より良い社会とはどのようなものなのか、こういうことを考えるのが「社会科学」の分野です。経済学はこれを「経済」の視点から考え説明しようとするものです。

この授業では、現実の経済社会を理解するための手段としての経済学を扱おうと思います。何を使って、何をどれだけ、どのように造り、それをどう分けるか、これを社会全体の仕組みの基本問題として扱うのが経済学です。つまりは、社会的な「資源配分」の問題ということであり、配分をめぐる利害をどう調整するかの問題ということになります。

■ 学習・教育目標及び到達目標

具体的なトピックスを例にとり、受講者が日々の生活のなかで現実に見聞きし体験しているさまざまな経済的事象を体系的に観察・理解できるようになることを目指します。受講する皆さんとともに授業を工夫したいと思います。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%

テーマの区切りごとに行う確認テスト 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

①試験や各確認テストの終了後、解答例・問題解説等を配布ないし掲示板に掲示し、各人の理解・学習の促進を図ります。

②テスト後の適当な授業時に要点解説を行い、理解・学習の促進を図ります。

■ 教科書

特定の教科書は用いず、授業自体を重視します。

適宜、プリント等を配布します。

■ 参考文献

適宜、授業時に紹介します。

■ 関連科目

国際経済入門

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）shiinoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 社会科学としての経済学

予習内容：経済学の「科学性」をいう場合、「価値判断」の介入をめぐってかなり独特である。これについて説明しなさい。

予習時間：90分

復習内容：予習段階での説明と授業での話との間にどのような異同があったか、整理しなさい。

復習時間：90分

一般論として、新聞等の政治・経済面を読む習慣をつけることをすすめます。

第2回 欲望と資源配分問題

予習内容：欲望の無限性と資源の有限性の認識から経済学が始まる。これについて現時点での考えをまとめなさい。

予習時間：90分

復習内容：授業後に得た理解と事前の考えとの間にどのような異同があったのか、整理しなさい。

復習時間：90分

第3回 生産可能性フロンティアの概念

予習内容：上記第2回次問題を考えるのに有効な「生産可能性フロンティア」を定義し使い方の有効性を説明しなさい。

予習時間：90分

復習内容：「フロンティア」の定義から「トレード・オフ」・「機会費用」などの概念が生まれる。これらを説明しなさい。

復習時間：90分

第4回 生産の迂回化と経済の特化・分業

予習内容：ロビンソン・クルーソの小説を援用して、生産の迂回化（＝資本の利用、成長と資源配分）の解説を試みなさい。

予習時間：90分

復習内容：上で試みた予習での解説と授業での説明との間の異同を整理しなさい。

復習時間：90分

第5回 交換と貨幣

予習内容：現代の経済社会は高度に仕組みられた特化と分業の状況に特徴がある。この経済社会を説明しなさい。

予習時間：90分

復習内容：特化と分業の社会は生産単位間での生産物の交換を前提にしている。これを解説しなさい。

復習時間：90分

第6回 経済体制の分類

予習内容：経済体制は資源配分の①分権性②集権性および生産資源の③私有制④公有制の組み合わせを基準にしている。

①～④を組み合わせる経済体制の4類型を説明しなさい。

予習時間：90分

復習内容：受講者の想定した4類型と授業での説明との間にどれだけの異同があったか、整理しなさい。

復習時間：90分

第7回 資本主義市場経済

予習内容：資本主義市場経済は第6回次の①と③、その対極は②と④の社会主義計画経済である。社会主義計画経済の欠点、特徴を指摘し解説しなさい。

予習時間：90分

復習内容：資本主義市場経済体制議論の前提を解説しなさい。

復習時間：90分

第8回 市場は完璧ではない

予習内容：上記第7回次復習でみた前提は、完全競争という点で現実的ではない。これについて解説しなさい。

予習時間：90分

復習内容：すべての財を市場で扱えるというわけではないという意味で市場は完璧ではない。これについて解説しなさい。

復習時間：90分

第9回 政府の役割と混合資本主義体制

予習内容：政府が経済に介入することについてどの領域でどの程度必要なか、政府の役割を説明しなさい。

予習時間：90分

復習内容：政府の経済への介入はできる限りその領域や必要度を小さくすべきだという見解も根強い。これについてどう考えるか。

復習時間：90分

第10回 家計・企業・政府

予習内容：家計、企業、政府のそれぞれの経済活動の特徴を説明しなさい。

予習時間：90分

復習内容：三つの経済主体の間での経済活動の循環の基本的構造を説明しなさい。

復習時間：90分

第11回 国民経済計算

予習内容：国民経済における経済循環の構造を統計数字的に資料化するものが国民経済計算である。その概要を整理しなさい。

予習時間：90分

第12回 需給の均衡と調整過程

予習内容：需給の法則とは市場における需給の不一致は価格メカニズムによって自ずと均衡方向に収束していくという「神の見えざる手」への信頼である。この調整過程について解説を加えなさい。

予習時間：90分

復習内容：いわゆる市場の調整過程は市場に対する与件が変化すると調整過程も異なったものに変化する。このことについて説明しなさい。

復習時間：90分

第13回 失業・物価・貧困

復習内容：とりわけ1980年代以降、従来の理論では説明できない。いわゆるスタグフレーションの状況が常態にみられるようになった。第13回タイトルを指標として当該現象への理解のアプローチの一つにしたい。これについての議論を整理しなさい。

復習時間：90分

第14回 世界経済の課題

予習内容：今日の世界経済は、比較優位→国際貿易から理論の一般化、比較優位発生の理由、産業内貿易→自由貿易・保護貿易→為替レート、国際協調と論点を大きく変化しつつ議論されてきた。これらを要約的に整理しなさい。

予習時間：90分

第15回 まとめ

予習内容：定期試験にむけて授業全体の構成を理解したうえで個別テーマ（タイトル）をまとめる工夫をしなさい。

定期試験

■ホームページ

科目名	新しい政治学				
英文名	New Political Science				
担当者	新田 和宏				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次	1年次	開講期	前期, 後期
科目区分	共通教養科目				
備考					

■ 授業概要・方法等

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座は、1989年の冷戦終結後、約四半世紀におよぶ「新しい政治の世界」について、基本的な理解を深めることを目的とする。「グローバル化」・「新自由主義」・「新興国」・「人間の安全保障」・「新しい戦争」・「脆弱国家」・「グローバル・ガバナンス」・「市民社会」・「公共性の再編」・「新しい社会的リスク」・「持続可能性」・「政治改革」・「政治主導」・「マニフェスト」・「政権交代」・「大統領制化」・「福祉政治」・「環境政治」・「言説政治」・「熟議民主主義」・「ポピュリズム」・「新しい右翼」等々、これらは「新しい政治の世界」を読み解く重要なキーワードであるが、こうしたキーワードの理解も深めることを目的とする。

＜本講座において学ぶことの意義＞

本講座を通じて学ぶ意義は、「新しい政治の世界」を理解することにより、わたくしたちがいま生きている、この21世紀前半という時代が、今後どのような方向へ進むべきか、それを見極めることにある。かつて20世紀を代表する政治学者ハロルド・ラスキは、「新しい時代には新しい政治哲学が必要である」と記した。同様に、わたくしたちは、「21世紀という新しい時代には新しい政治学が必要である」、といえよう。その意味で、21世紀を導く「新しい政治学」は、現代人の必須の学問といえる。

＜本講座の方法＞

アクティブ・ラーニングとして展開する。

本講座は、明快なレクチャーをベースに据え、学生諸君のディスカッションを交え、静かに「白熱」する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①. 教科書を読み、これを正確に理解できる読解力。②. 講義を積極的に傾聴 (active listening) できる能力。③. 板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④. 岩波書店から刊行されているオピニオン雑誌『世界』に所収されている政治学関係もしくは政治論の論文を読み、これを正確に理解できる読解力。⑤. 現実の政治現象に対して関心を示しつつ、基礎的な政治学的考察ができる能力。⑥. 政治に対し持論を表現できる能力。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「新しい政治学」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的1および2の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■ 教科書

新田和宏『新しい政治の世界』地球市民教育総合研究所／麦の郷出版（2018）

■ 参考文献

1. 明治学院大学法学部政治学科編『政治学の扉』風行社、2015年 [ISBN]9784862580900
2. デヴィッド・ヘルド『論争グローバリゼーション』岩波書店、2007年 [ISBN]9784000025911
3. 古関彰一『安全保障とは何か』岩波書店、2013年 [ISBN]9784000220774
4. 水島治郎『ポピュリズムとは何か』中公新書、2016年 [ISBN]9784121024107
5. 辻中豊・坂本治也・山本英弘『現代日本のNPO政治』木鐸社、2012年 [ISBN]9784833224543
6. 飯尾潤『政局から政策へ』NTT出版、2008年 [ISBN]9784757140943
7. 中北浩爾『自民党政治の変容』NHK出版、2014年 [ISBN]9784140912171
8. 内山融『小泉政権』中公新書、2007年 [ISBN]9784121018922
9. 佐々木毅『平成デモクラシー』講談社、2013年 [ISBN]9784062182584
10. 日本再建イニシアティブ『民主党政権失敗の検証』中公新書、2013年 [ISBN]9784121022332

- ⑩. 中野晃一編『徹底検証安倍政治』岩波書店、2016年 [ISBN]9784000240505
- ⑪. 大田昌秀・佐藤優『沖縄の未来をどう生きるか』岩波書店、2016年。 [ISBN]9784000611442
- ⑫. 石田徹・伊藤恭彦・上田道彦編『ローカル・ガバナンスとデモクラシー』法律文化社、2016年 [ISBN]9784589037251
- ⑬. 宮本太郎『福祉政治』有斐閣、2008年 [ISBN]9784641178021
- ⑭. 日本再建イニシアティブ『「戦後保守」は終わったのか』角川新書、2015年 [ISBN]9784040820538
- ⑮. 新川敏光他『政治学』有斐閣、2017年 [ISBN]978-464114922
- ⑯. 丸山俊一『欲望の民主主義』幻冬舎新書、2018年 [ISBN]9784344984882

■ 関連科目

持続可能な社会論

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 古い政治の世界から新しい政治の世界へ

予習内容： 基本：テキスト『新しい政治の世界』の第1講「古い政治の世界から新しい政治の世界へ」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise①. ここにAとBという2人の人間がいるとする。AはBに対して自分の言うことをきかせたい。そこで、Aはどのような方法もしくは手段を用いて、Bに言うことをきかせることができるか。私見を要領よく400字以内でノートに記述する。尚、これが政治の本質に関係する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、古い政治の世界から新しい政治の世界への流れに関して、簡潔な年表をエクセルで作成する。

跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第2回 グローバル化と新自由主義をめぐる政治

予習内容： 基本：テキスト『新しい政治の世界』の第2講「グローバル化と新自由主義をめぐる政治」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise②. アメリカ・メジャー・リーグの野球選手イチローの給料は高かったのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容： 基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「グローバル化と新自由主義をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献②を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第3回 「新しい帝国」と「新しい戦争」をめぐる政治

予習内容： 基本：テキスト『新しい政治の世界』の第3講「『新しい帝国』と『新しい戦争』をめぐる政治」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise③. ローマ法王フランシスコは、「戦争は神が創造した最も素晴らしいものを破壊する。戦争は、人間を殺害する」と語りつつ、「地域紛争、大量虐殺、人間の殺害、その他の侵略者やテロリストたちの犯罪」が広がる中、「世界は第三次大戦の状態にある」との懸念を発表しました（2014年9月）。それでは、このローマ法王フランシスコの発言を踏まえると、現在、「世界は第三次大戦」の真只中であると判断できるのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容： 基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「『新しい帝国』と『新しい戦争』をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献③を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第4回 右翼ポピュリズムと民主主義をめぐる政治

予習内容： 基本：テキスト『新しい政治の世界』の第4講「右翼ポピュリズムと民主主義をめぐる政治」を熟読しつつ、自分自身

で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise④。今日、政治の世界は、民主主義を踏み台にしながら、右翼ポピュリズムが跋扈する時代を迎えようとしているのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「右翼ポピュリズムと民主主義をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献④を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第5回 市民社会とガバナンスの編成をめぐる政治

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第5講「市民社会とガバナンスの編成をめぐる政治」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑤。年収が400万円あるとしたら、「認定NPO」にいくら寄附するか？ また、どのような分野で活躍している認定NPOに寄附するか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「市民社会とガバナンスの編成をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑤を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第6回 自民党政治①55年体制：一党優位政党および包括政党

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第6講「自民党政治①55年体制：一党優位政党および包括政党」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑥。何故に、戦後、自民党は長期政権を維持しえたのか？ その要因について要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「自民党政治①55年体制：一党優位政党および包括政党」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑥を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第7回 自民党政治②利益配分政治

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第7講「自民党政治②利益配分政治」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑦。自民党「一党優位」という政党の布置状況において、野党は一体どのような存在であったのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「自民党政治②利益配分政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑦を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第8回 小泉政治と新自由主義改革

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第8講「小泉政治と新自由主義改革」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑧。「自民党をぶっ壊す」と叫んで登場した小泉政権は、何故に、5年5ヶ月もの長期政権を維持しえたのか？ その要因について要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「小泉政治と新自由主義改革」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑧を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第9回 政治改革

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第9講「政治改革」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5

つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑨. 何故に、政治改革が選挙制度改革からスタートしたのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「政治改革」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑨を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第10回 政権交代

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第10講「政権交代」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑩. 2009年の自民党から民主党への政権交代は、どのような要因に起因しているのか？ その要因について要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「政権交代」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑩を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第11回 安倍政治と新保守主義

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第11講「安倍政治と新保守主義」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：何故に、第1次安倍政権は1年で潰れたにもかかわらず、第2次安倍政権は長期政権を維持しえているのか？ その要因について要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：Exercise⑪. また、講義を踏まえつつ、「安倍政治と新保守主義」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑪を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第12回 安全保障政治と沖縄をめぐる政治

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第12講「安全保障政治と沖縄をめぐる政治」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑫. 日米安全保障体制が再定義される中、その「定義」において沖縄はどのような位置付けがなされているのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「安全保障政治と沖縄をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑫を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第13回 地方政治と市民自治

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第13講「地方政治と市民自治」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑬. 地方議会改革を進めている自治体がある。その一つに、「議会改革ランキング」（日経グローバル）第1位となった北海道芽室町がある。芽室町の議会改革のポイントについて要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「地方政治と市民自治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑬を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第14回 ポスト日本型福祉国家をめぐる福祉政治

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第14講「ポスト日本型福祉国家をめぐる福祉政治」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑭. 選挙のたびに、有権者が最も関心のある政策テーマに社会保障がアップされる。それでは、何故に、社会保障政策に高い関心が集まるのか？ そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「ポスト日本型福祉国家をめぐる福祉政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第15回 「新しい政治の世界」の行方

予習内容：基本：テキスト『新しい政治の世界』の第2講「新しい政治の世界の行方」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑮。今後、国際政治および日本の国内政治はどのような展開を迎えることになるのか？ その行方について、私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「新しい政治の世界の行方」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑮を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	持続可能な社会論				
英文名 :	Sustainable Society				
担当者 :	新田 和宏				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座は、国連の「環境と開発に関する世界委員会」（ブルントラント委員会）において提唱された「持続可能な開発（sustainable development）」という考え方の延長として議論されている「持続可能な社会（sustainable society）」について、その基本的な理解を深めることを目的とする。「持続可能な社会」とは、積極的平和に基づき、環境保全と経済成長とを両立させ、それに生活保障という側面を連動させながら、世代間および世代内における公正を実現しようとする政治が作用する社会の在り方である。

＜本講座において学ぶ意義＞

しかしながら、実際の社会の在り方は、むしろ反対に、「人口減少」・「限界集落」・「少子高齢化」・「雇用と所得の不安定化」・「若者の貧困化」・「子どもの貧困」・「無縁社会」・「シャッター商店街」・「地球温暖化」等々、「持続可能性（sustainability）」が縮減されつつある状況にある。それ故に、「持続可能な社会」を実現するための社会的条件について、それを見出す粘り強い思考を重ねることこそ、本講座において学ぶ意義があるといえる。

＜本講座の方法＞

アクティブ・ラーニングとして展開する。

明快なレクチャーをベースに据え、学生諸君のディスカッションを交え、静かに「白熱」する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①. 教科書を読み、これを正確に理解できる読解力。②. 講義を積極的に傾聴（active listening）できる能力。③. 板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④. 社会現象に潜む本質を捉え、かつまた個々の社会現象のつながりを探ろうとする態度とその洞察力。⑤. 先行する「持続可能な社会」の試みから「政策学習」を試みようとする意欲とその想像力。⑥. 「持続可能な社会」の在り方について判断し、基本的な提言を表現できる能力。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「持続可能な社会論」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的1および2の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■ 教科書

新田和宏『持続可能な社会』地球市民教育総合研究所／麦の郷出版（2018）

■ 参考文献

- ①. 環境と開発に関する世界委員会『地球の未来を守るために』福武書店、1987年 [ISBN]4828811672 C0033 P2580E
- ②. 山下祐介『限界集落の真実』筑摩新書、2012年 [ISBN]9784480066480
- ③. 増田寛也『地方消滅』中公新書、2014年 [ISBN]9784121022820
- ④. 藤田孝典『下流老人』朝日新書、2015年 [ISBN]9784022736208
- ⑤. 松田茂樹『少子化論』勁草書房、2013年 [ISBN]9784326653805
- ⑥. 橋本健二『現代貧乏物語』弘文堂、2016年 [ISBN]9784335551826
- ⑦. 小杉礼子・宮本みち子編『下層化する女性たち』勁草書房、2015年 [ISBN]9784326653942
- ⑧. 広井良典『持続可能な福祉社会』筑摩新書、2006年 [ISBN]4480063110
- ⑨. 宮本太郎『共生保障』岩波新書、2017年 [ISBN]9784004316398 C0236
- ⑩. 小室淑恵『労働時間革命』毎日新聞出版、2016年 [ISBN]9784620323725
- ⑪. 川野眞治・小出裕章・今中哲二『原子力安全問題ゼミ小出裕章最後の講演』岩波書店、2015年 [ISBN]9784000229425

- ⑫. 諸富徹『「エネルギー自治」で地域再生！』岩波書店、2015年。[ISBN]9784002709260
- ⑬. 環境省編『平成28年版環境白書』全国官報販売協同組合、2016年 [ISBN]9784865790450
- ⑭. 福川裕一・矢作弘・岡部明子『持続可能な都市』岩波書店、2005年 [ISBN]4000234099
- ⑮. デレク・ウォール『緑の政治ガイドブック』筑摩新書、2012年 [ISBN]9784480066473
- ⑯. 蟹江憲史編『持続可能な開発目標とは何か』ミネルヴァ書房、2017年 [ISBN]978-462307779

■関連科目

新しい政治学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡ください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 「持続可能な開発」から「持続可能な社会」へ

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第1講「『持続可能な開発』から『持続可能な社会』へ」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise①. 持続可能な社会に対する定義を、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「『持続可能な開発』から『持続可能な社会』へ」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第2回 限界集落と「持続不可能な社会」

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第2講「限界集落と『持続不可能な社会』」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise②. 限界集落の現状は、日本社会全体の近未来を映し出す鏡と言える。この点について、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「限界集落と『持続不可能な社会』」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献②を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第3回 人口減少社会／縮小社会の行方

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第3講「人口減少社会／縮小社会の行方」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise③. およそ21世紀の100年間を通じ、日本社会は急激な人口減少を迎えることになるであろうと予測されている。かかる人口減少の要因について、要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「人口減少社会／縮小社会の行方」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献③を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第4回 超高齢社会

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第4講「超高齢社会」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise④. 超高齢社会の進展は、「下流老人」が増加する傾向を伴うことが予想されている。何故に、そうなるのか、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「超高齢社会」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献④を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第5回 少子化社会

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第5講「少子化社会」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑤。島嶼部や中山間地域に較べて、経済的に裕福な大都市は合計特殊出生率が極めて低い傾向にある。何故に、そうなるのか、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「少子化社会」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑤を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第6回 雇用と所得の不安定化

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第6講「雇用と所得の不安定化」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑥。アメリカ・メジャー・リーグの野球選手イチローの給料は高かったのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第6講「雇用と所得の不安定化」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑥。アメリカ・メジャー・リーグの野球選手イチローの給料は高かったのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

復習時間：90分

第7回 豊かな社会における構造的貧困

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第7講「豊かな社会における構造的貧困」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑦。年収200万円で生活すると、1年にいくら貯金できるか？ 試算結果を示し、その理由を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「豊かな社会における構造的貧困」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑦を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第8回 崩壊しつつある日本型福祉国家

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第8講「崩壊しつつある日本型福祉国家」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑧。「日本型福祉国家」は稼得による生活保障および家族福祉を基盤に据えてきたが、何故にその基盤が崩壊しつつあるのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「崩壊しつつある日本型福祉国家」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑧を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第9回 ポスト日本型福祉国家

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第9講「ポスト日本型福祉国家」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑨。必要とされる社会保障費を、中央銀行が超「異次元」の大発行によって賄うという大胆な政策は可能なのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「ポスト日本型福祉国家」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑨を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第10回 ワーク・ライフ・バランス

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第10講「ワーク・ライフ・バランス」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑩。結婚するにあたり、相手に対して望む条件として、最も重要なポイントを5つ指摘した上で、その理由に関して要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「ワーク・ライフ・バランス」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑩を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第11回 エネルギー選択と脱原発

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第11講「エネルギー選択と脱原発」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑪。福島第1原発事故以来、原発ゼロの状態を長期間経験してきたが、今後、原発ゼロでもエネルギーの供給は可能なのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「エネルギー選択と脱原発」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑪を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第12回 低炭素社会と地域分散型再生可能エネルギー自給システム

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第12講「低炭素社会と地域分散型再生可能エネルギー自給システム」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑫。長野県飯田市における再生可能エネルギーの普及の仕方に注目しつつ、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「低炭素社会と地域分散型再生可能エネルギー自給システム」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑫を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第13回 気候変動と温暖化対策

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第13講「気候変動と温暖化対策」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑬。日本の温暖化対策の取り組みは決して高いパフォーマンスを示しているとはいえない。これを是正するには、どうすればよいのか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「気候変動と温暖化対策」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑬を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第14回 持続可能な都市の条件

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第14講「持続可能な都市の条件」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑭。近畿大学生物理工学部が所在する和歌山県北部一帯は、如何にして持続可能な都市となり得るか？ 私見を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「持続可能な都市の条件」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

第15回 持続可能な開発目標2030

予習内容：基本：テキスト『持続可能な社会論』の第15講「持続可能な開発目標2030」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。

発展：Exercise⑮、国連が提示した「持続可能な開発目標2030」に対して、あなたは何かができるか？ その考え方を要領よく400字以内でノートに記述する。

予習時間：90分

復習内容：基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、講義を踏まえつつ、「持続可能な開発目標2030」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

跳躍：参考文献⑮を繙き、さらに興味・関心を高める。

復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	自己発見の心理学				
英文名 :	Psychology for Self- Discovery				
担当者 :	大日方 薫				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

自分自身が何者であるか、どこから来てどこへ行くのか、それらを知ろうとすることは容易ではないだけに尽きることのない面白さがある。本講義では、心理学の知見を概観することによって人間の心の仕組みに様々な角度から接近し、我々が世界をどのように感じ、どのように把握しているのかを学んでゆく。「自己」なるものをそれぞれの内外に発見してゆく糸口としたい。講義形式に加え、必要に応じて質疑応答を組み入れる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義では、自分自身を問題の中心に置き、主として次の3点から心理学を通じた人間理解を深めることを目標とする。

- 1 心理学が扱う広範な領域を横断的に学び、その全体像を理解する。
- 2 人間の一般性と個性についての相互的なつながりを理解する。
- 3 自分自身とは何かについて問い直し、自己発見への手がかりを見出す。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

期末レポート 60%
講義内コメントシート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

講義内コメントシートについては、実施した翌日に全体に向けて取り上げる
学期末レポートについては、要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641123458 『はじめて出会う心理学 改訂版(有斐閣アルマ)』(長谷川 寿一, 有斐閣 : 2008)
[ISBN]9784641053694 『心理学』(無藤隆他, 有斐閣 : 2004)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階254)・obinata@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学における「自己」

予習内容 : 自分自身に起こってくる『心』の動きについて内省・感覚を試み、記述する

予習時間 : 15分

復習内容 : 『心』という現象の諸特徴について具体的感覚経験に基づき、まとめる

復習時間 : 15分

第2回 動物としての人間、生命・種としての「自己」

予習内容 : 人間の『心』の起源について、その痕跡となる対象を仮説する

予習時間：15分

復習内容：ヒトをヒトたらしめる『心』の諸特徴あるいは諸条件について、まとめる

復習時間：15分

第3回 生まれてきた子どもとしての人間、「自己」を発見し続ける存在

予習内容：自身の最も古く遡ることのできる記憶エピソードを想起し、記述する

予習時間：15分

復習内容：『心』の機能発達段階について、その最初期から『心の理論』を獲得するまで整理し、まとめる

復習時間：15分

第4回 動かすもの、動かされるものとしての人間、感情と動機付け

予習内容：自分自身が何によって最も強く動かされているか内省し、記述する

予習時間：15分

復習内容：人間の動機の本質について生物学的、内発的、社会的側面から整理し、感情機能との関係をまとめる

復習時間：15分

第5回 性格・知能、個性における「自己」

予習内容：自身のパーソナリティについて自己分析を行い、記述する

予習時間：15分

復習内容：講義で取り上げた心理検査に基づき、自己分析との比較検討を行う

復習時間：15分

第6回 ストレスへの適応、外界との関係における「自己」

予習内容：自分自身にとってストレスとなるものを数例示し、どのように対処しているか検討する、

予習時間：15分

復習内容：ストレスの本質を理解し、いくつかの対処方略(コーピング)を試行する

復習時間：15分

第7回 カウンセリングと臨床心理学

予習内容：他者との関係性において、支える／支えられる経験を内省し、記述する

予習時間：15分

復習内容：臨床心理学的な視点に基づき、関係性に賦活される自己治癒力について、まとめる

復習時間：15分

第8回 深層の心理学における「自己」

予習内容：意識の届かない心的領域の存在を、自らの経験の中に見出し、記述する

予習時間：15分

復習内容：無意識の領域の持つ生命力の肯定的／否定的な側面について整理する

復習時間：15分

第9回 感覚・知覚、人間はどのように外界を把握するか

予習内容：同一の対象に複数の視知覚が伴う具体例を見出し、『知覚の選択性』を体感しておく

予習時間：15分

復習内容：我々がいかんして現実世界を把握しているか、差異と共感の観点から考察を深める

復習時間：15分

第10回 記憶と忘却の本質

予習内容：我々の記憶における質／量／形式のヴァリエーションについて、内省し記述する

予習時間：15分

復習内容：様々な記憶の分類について整理し、忘却の肯定的な意義について理解を深める

復習時間：15分

第11回 次の手を読む、思考と学習、認知心理学

予習内容：現代のAIの自術進歩について関心のある分野の記事やプレゼンテーションを検索し、概観する

予習時間：15分

復習内容：人間の脳機能とAIの異同について整理し、近未来的な展望を仮説する

復習時間：15分

第12回 心と脳

予習内容：心脳問題に関するトピックスを検索し、概観する

予習時間：15分

復習内容：心身問題から現代の心脳問題まで歴史的経緯を整理し、意識の統合性について考察する

復習時間：15分

第13回 夢の世界

予習内容：自便自身の記憶に残る印象的な夢について記述する

予習時間：15分

復習内容：夢に関する理論及び科学的な理解について整理し、自らの夢に対して分析を試みる

復習時間：15分

第14回 社会における「自己」、関係としての「私」

予習内容：他者から見える自分と自分しか見えていない自分、両者にも見えていない自分の各領域についてコラムを作成する

予習時間：15分

復習内容：社会的な存在として、他者と共有される『心』の働きを理解し、個性との関係について考察する

復習時間：15分

第15回 「自己」という果てなき物語

予習内容：自身にとって大切なストーリーを題材として取り上げ、『私』との結びつきについて記述する

予習時間：15分

復習内容：自分自身が生きている物語について、『心』の役割・存在意義から考察を深める

復習時間：15分

■ホームページ

科目名 :	科学倫理				
英文名 :	Scientific Ethics				
担当者 :	前田 直哉				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この講義では、科学分野の専門研究を行う者として看過することのできない倫理的問題に習熟し、社会の中で科学者として生きる上で備えるべき道徳意識を養います。

授業前半ではまず、科学者が犯してきた様々な不正行為や、科学的な装いのもとで非合理的な主張を展開する疑似科学の問題性について検討します。こうした言わば負の事例を確認した上で、そもそも科学とは何なのか、技術とは何か、科学者とはどのような集団であり、誰に対していかなる責任を負うべきか等、根本的な問題について検討します。

そして授業後半では、動物の権利運動や生物多様性の喪失、出生前診断や代理懐胎など、現代社会が直面している幾つかの具体的な問題を取り上げ、引き続き科学者の社会的責任について検討します。

授業は配布資料をもとにした講義形式で行います。また成績評価と単位の認定は、授業時間内に指示する小レポートと、中間試験および定期試験の内容によって判断します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者はこの授業を通して、倫理的意識を欠いた一部の科学者が犯した不正行為の実態や、合理的な裏付けを欠いた疑似科学的言説が社会にもたらす弊害に目を向け、科学者に課せられた責任の重さについて考察します。

また今現在、環境倫理や生命倫理の分野で議論されている諸問題——動物の権利論や生物多様性の保全、安楽死・尊厳死や、生殖補助医療における倫理的課題など——に対して、主体的に向き合う姿勢を身に付けます。

そして、レポートの作成を通して、批判的な問題意識を養うとともに、受講者自身が自らの見解、立場を明確に表明することを最終的な目標とします。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

中間試験 30%

小レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

特に指定しません。毎回、プリントを配布し、それをもとに授業を進めます。

■ 参考文献

幅広いテーマを取り扱うため、参考文献は数多くあります。毎回の配布資料に明記し、とりわけ重要な文献に関しては授業の中で指示します。

■ 関連科目

特にありません。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）

■ オフィスアワー

火曜日2限、3限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 序論——授業の目的と概要

復習内容：配布資料の見直しと参考文献の読解（予習は必要ありません）

復習時間：120分

第2回 科学者と社会（1）——科学者の倫理的意識

第3回 科学者と社会（2）——科学者の不正行為

第4回 疑似科学（1）——身の周りの不合理な〈科学〉

第5回 疑似科学（2）——深刻な被害をもたらす〈科学〉

第6回 科学と技術（1）——科学革命と近代自然科学の成立

第7回 科学と技術（2）——科学と技術の融合

第8回 前半授業のまとめと中間試験

第9回 倫理と進化（1）——ダーウィンの進化論と倫理

第10回 進化と倫理（2）——倫理の進化

第11回 環境と倫理（1）——自然の生存権

第12回 環境倫理（2）——環境差別と環境正義

第13回 生命と倫理（1）——生殖補助医療

第14回 生命と倫理（2）——終末期医療

第15回 結論——科学者の社会的責任

定期試験

■ホームページ

科目名 :	情報倫理						
英文名 :	Information Ethics						
担当者 :	岡 宏						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

2003年より高校で普通教科「情報」が必修となり、情報活用の実践力、情報の科学的な理解力、情報社会に参画する姿勢を基軸に教育が行われている。大学での情報教育は、高校での教科「情報」の履修を前提に行われる。さて、1990年代終わりから商用インターネット利用が急速に進み、世界的に利用者が激増した。利用者は利便性を享受する一方、インターネット利用時の危険について理解し、身を守る対策をとり、情報を個人が自由に受発信できることに伴う課題を理解し、さらに他人に危害を与えないための配慮も求められる。さらに近年、サイバー犯罪に関連し青少年が性犯罪に巻き込まれる危険性が増大している。国際的には、青少年への商業的性的搾取は「児童虐待」という重大問題であることの認識を深め、社会全体で対応を考えることが喫緊の課題である。また大学でも、日常生活でインターネットを利用し、情報の受発信を行う学生が少なくないが、時に外部から著作権侵害などの警告をうけることもある。このような状況下で情報倫理教育は必須のものとなってきた。本来、情報倫理意識とは道徳的判断に委ねられている。そのため、個人の道徳的規範意識が大きく影響する。道徳的・倫理的背景には、その国の文化や社会構造が働いている。その点で、日本における情報倫理教育も完全にユニバーサルなものにはならないが、各国における課題の差異性は、異文化理解という視点では興味深い。本年度は特にサイバー犯罪と情報に関連する犯罪を中心に国際化する犯罪の一端を観察しながら情報倫理の意味について学修します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この講義を履修することによって、主に以下の3点が出来るようになります。

- ①情報倫理を学ぶ理由を考え、その必要性を説明できる。
- ②現代社会におけるサイバー犯罪から青少年を保護する方途について考えることができる。
- ③情報犯罪から個人を守る方途を考えることができる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
講義中課題 20%
講義中試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題については、講義中に要点を示し、資料を配布します。また、必要に応じて添削を行いません。
試験については、要点と課題へのアプローチをUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

各回、講義レジュメ配付。

■ 参考文献

[ISBN]9784879812964 『子どものケータイ利用と学校の危機管理』（下田 博次(青少年メディア研究会理事長), 少年写真新聞社 : 2009)

■ 関連科目

情報処理基礎 I・II

■ 授業評価アンケート実施方法

「生物理工学部実施規程に準拠して行います。」

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

金曜日3時限後の休憩時間、4時限後の休憩時間。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

特に、授業時間以外に下記の要領で研究ノートを作成を行い学修の達成度向上を図る。

(1) 「情報倫理研究ノート」の作成。

2週間に1テーマを挙げ（但し、新聞・ニュース番組は用いない）

- ①テーマ選定の理由。
- ②テーマに関連して調べた内容。
- ③「思い、感じ、考え」たこと。
- ④第2週間目では、第1週間目の記述を再考する。
- ⑤どのように考えが変化したか、あるいは深化したかを分析する。

第1回 「サイバー犯罪①～被害状況（国内）～、授業概要と成績評価の説明」

予習内容：サイバー犯罪について

予習時間：60分

復習内容：サイバー犯罪①～被害状況（国内）

復習時間：60分

第2回 「サイバー犯罪①～インターポールの警告～」

予習内容：インターポールの警告について

予習時間：60分

復習内容：サイバー犯罪①～インターポールの警告～

復習時間：60分

第3回 「子どものケータイ利用への危険意識と対応の混乱」

予習内容：子どものケータイ利用について考える

予習時間：60分

復習内容：子どものケータイ利用への危険意識と対応の混乱

復習時間：60分

第4回 「なぜネット遊びが増殖するのか」

予習内容：ネット遊びとネット利用の違いを考える

予習時間：60分

復習内容：なぜネット遊びが増殖するのか

復習時間：60分

第5回 「リスクを発生させる情報環境・構造」

予習内容：情報環境構造のリスクを考える

予習時間：60分

復習内容：リスクを発生させる情報環境・構造

復習時間：60分

第6回 「ネットいじめの時代」

予習内容：ネットいじめから子どもを如何に守るか

予習時間：60分

復習内容：ネットいじめから子どもを救済する方法

復習時間：60分

第7回 「学校のリスク管理」

予習内容：学校のリスク管理の重要性

予習時間：60分

復習内容：学校のリスク管理の実態

復習時間：60分

第8回 「情報社会のなかの責任を考える」～【自己責任原則】

予習内容：自己責任とは何かを考える

予習時間：60分

復習内容：「自己責任」という表現の意味

復習時間：60分

第9回 「情報犯罪①～日本近代史を揺るがす事実～」

予習内容：征韓論とは何か

予習時間：60分

復習内容：征韓論の真実を検証する

復習時間：60分

第10回 「情報犯罪②～西山太吉事件・沖縄返還と日米関係～」

予習内容：西山事件について

予習時間：60分

復習内容：沖縄返還の真実を検証する

復習時間：60分

第11回 「情報犯罪③～カラー革命の真実～」

予習内容：カラー革命について

予習時間：60分

復習内容：カラー革命と民主化運動の意味を再考する

復習時間：60分

第12回 「情報犯罪④～アノニマスとは～」

予習内容：アノニマスの役割

予習時間：60分

復習内容：アノニマスの役割

復習時間：60分

第13回 「情報操作①～プライバシー権～」

予習内容：プライバシー権とは何か

予習時間：60分

復習内容：プライバシーの重要性

復習時間：60分

第14回 「情報操作②～データマイニング～」

予習内容：データマッチングについて

予習時間：60分

復習内容：データマイニングの必要性はあるのか

復習時間：60分

第15回 「情報操作③～パノプティコンとジョージ・オーウェル～」

予習内容：パノプティコンについて

予習時間：60分

復習内容：パノプティコンは空想なのか

復習時間：60分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	生物と地球環境						
英文名 :	Organisms and Global Environment						
担当者 :	星 岳彦・堀端 章・細井 美彦・松本 和也・三谷 匡・宮本 裕史・ 木戸 啓仁・石丸 恵						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

生物集団は、気候、日照・温度、水環境、土壌環境などの多くの環境から強い影響を受けながらそれらに適応し、大きな多様性を生み出している。本講義では、生物の存在・形成・発達に対して多様な環境要因がどのような影響を及ぼすのかについて、生物の示す進化と多様性の視点を軸に解説し、人間が地球環境を保全し健康で幸福な生活を送るためになすべきことを科学技術の観点から考察する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講生は、地球規模での環境の変化と、それに適応し進化してきた生物との関連性を、生物学的観点から理解できるようになることを目標とする。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与する。

■ 成績評価方法および基準

星・堀端 時間内に実施する記述式小テストで評価 35%
 宮本 小テストと課題レポート 15%
 三谷 課題レポート(ルーブリック評価) 5%
 松本 ルーブリックと課題レポート (1:1) で評価 5%
 細井 課題レポート 5%
 木戸・石丸 時間内に実施する記述式小テストで評価 35%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

複数教員で開講する科目のため、小テスト、期間内テスト、レポート課題に関する解説・解答等は、講義ごとに担当の研究室で、訪問またはメールによる問い合わせによって対応します。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

[ISBN:978-4-563-07784-6]植物生理学・L.ティツ/E.ザイガー編 培風館(石丸担当回のみ)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して実施する。

■ 研究室・メールアドレス

星研究室(西1号館4階459)・hoshi@waka.kindai.ac.jp
 堀端研究室(西1号館5階556)・horibata@waka.kindai.ac.jp
 松本(和)研究室(西1号館6階658)・kazum@waka.kindai.ac.jp
 三谷研究室(東1号館5階521)・mitani@waka.kindai.ac.jp
 細井研究室(西1号館6階652)・hosoi@waka.kindai.ac.jp
 宮本(裕)研究室(西1号館4階457)・miyamoto@waka.kindai.ac.jp
 木戸研究室(東1号館3階311)・kido@waka.kindai.ac.jp
 石丸研究室(東1号館4階408)・ishimaru@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

複数教員のため、UNIVERSAL PASSPORT (<https://waka-unipa.itp.kindai.ac.jp/>) のオフィスアワーを参照すること。代表教員(星)のオフィスアワーは月曜日1時限と火曜日1時限です。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 食糧生産と環境(緑の革命とその崩壊)(星)

予習内容：1960年代から1970年代にかけての世界の食糧増産に貢献した主要技術は何か調べておく。

予習時間：30分

復習内容：持続的農業の実践的技術にはどのようなものがあるのか事例を調べてまとめる。

復習時間：60分

第2回 食糧生産と環境(炭素と水の環境アセスメント)(星)

予習内容：食糧生産に関係する環境アセスメント技術にはどのようなものがあるか調べておく。

予習時間：30分

復習内容：LCA、CFP、VWの食糧生産に関連する実施事例を調べ、その課題と今後の発展方向をまとめる。

復習時間：60分

第3回 生物進化と地球環境～鉄鉱床の形成(堀端)

予習内容：生命誕生から現代までの地球環境の変化を調べておく。

予習時間：30分

復習内容：生物の進化が地球環境にどのような影響を与えたのか、地球温暖化と関連付けて考察しておく。

復習時間：60分

第4回 環境と生物進化～動く遺伝子(トランスポゾン)(堀端)

予習内容：ダーウィニズムを中心に進化論について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：生物改良は人為的な小進化の誘導とも言える。生物改良と自然の進化の違いを考察しておく。

復習時間：60分

第5回 第1回から第4回までの講義に関する小テスト(堀端)

予習内容：小テストに向けて学修内容の整理をしておく。

予習時間：120分

復習内容：テストでできなかったところを再考しておく。

復習時間：30分

第6回 動物門の普遍性と多様性(宮本)

予習内容：無脊椎動物の形態について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：動物門ごとの制約について理解する。

復習時間：60分

第7回 動物形態の適応的意味(宮本)

予習内容：前回話したことを整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：動物形態の適応の具体例をまとめる。

復習時間：60分

第8回 野生動物の保護と環境の保全(三谷)

～Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ～

予習内容：野生動物が絶滅に向かう要因について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：動物園が動物を維持する上で、現状の課題と今後取組べき方策について考察する。

復習時間：60分

第9回 環境(光)と遺伝子～時計遺伝子～(松本)

予習内容：2017年ノーベル生理学・医学賞の受賞内容「体内の概日リズムを制御する分子メカニズム」について、ノーベル財団のHPを参照に予め調べる。

予習時間：30分

復習内容：多くの生命現象には、24日時間周期の日周リズム(概日リズム)が存在していることを理解し、その分子メカニズムについても考察する。

復習時間：60分

第10回 哺乳動物の生殖戦略から見るヒト不妊症治療(細井)

予習内容：脊椎動物の繁殖方法について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：哺乳動物の生殖細胞の分化、配偶子の形成について理解する。また、不妊症の原因と発生工学技術による治療法の関

係を理解する。
復習時間：60分

第11回 世界の食料需給と環境（木戸）

予習内容：世界の食料需給状況について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：食料需給を規定する環境要因についてまとめる。
復習時間：60分

第12回 食糧生産と有機資源物再利用（木戸）

予習内容：食品廃棄物再利用について概要を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：食品廃棄物再利用の事例をまとめておく。
復習時間：60分

第13回 植物と環境（光合成と環境との関係）（石丸）

予習内容：参考文献を基に、植物の光合成について炭素還元反応について調べる。
予習時間：30分
復習内容：植物の葉における光に対する光合成の応答について考察する。
復習時間：60分

第14回 植物と環境（環境に応答する細胞壁）（石丸）

予習内容：参考文献を基に、植物細胞壁の構造と役割について調べる。
予習時間：30分
復習内容：様々な環境応答の第一ステップである細胞壁の役割について考察する。
復習時間：60分

第15回 第11回から第14回までの講義に関する小テストと解説（石丸）

予習内容：記述式テストに向けて第11回から第14回までの学修内容を整理しておく。
予習時間：120分
復習内容：テストで解答できなかった問題と解説を参考にし、再考する。
復習時間：30分

■ホームページ

科目名 :	生物と地球環境						
英文名 :	Organisms and Global Environment						
担当者 :	阿野 貴司・秋田 求・細井 美彦・松本 和也・三谷 匡・宮本 裕史・ 泉 秀実・岸田 邦博						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

生物集団は、気候、日照・温度、水環境、土壌環境などの多くの環境から強い影響を受けながらそれらに適応し、大きな多様性を生み出している。本講義では、生物の存在・形成・発達に対して多様な環境要因がどのような影響を及ぼすのかについて、生物の示す進化と多様性の視点を軸に解説し、人間が地球環境を保全し健康で幸福な生活を送るためになすべきことを科学技術の観点から考察する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講生は、地球規模での環境の変化と、それに適応し進化してきた生物との関連性を、生物学的観点から理解できるようになることを目標とする。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与する。

■ 成績評価方法および基準

小試験（阿野・秋田） 35%
宮本課題レポート（ルーブリック評価） 5%
三谷課題レポート（ルーブリック評価） 15%
松本課題レポート（ルーブリック評価） 5%
細井課題レポート（ルーブリック評価） 5%
レポート（泉・岸田） 35%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題に関する要点と解説を、UNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

[ISBN]9784274219276 [絵とき] 植物生理学入門 山本良一（編） オーム社（2016年）
[ISBN]9784759811070 植物生理学 三村徹郎・鶴見誠二（編著） 化学同人（2009年）
[ISBN]9784274208201 環境科学 吉原利一（編） オーム社（2010年）

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

阿野研究室（西1号館4階458）・tano@waka.kindai.ac.jp
秋田研究室（西1号館5階557）・akita@waka.kindai.ac.jp
松本（和）研究室（西1号館6階658）・kazum@waka.kindai.ac.jp
三谷研究室（東1号館5階521）・mitani@waka.kindai.ac.jp
細井研究室（西1号館6階652）・hosoi@waka.kindai.ac.jp
宮本（裕）研究室（西1号館4階457）・miyamoto@waka.kindai.ac.jp
泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp
岸田研究室（西1号館4階159）・kishida@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

複数教員のため、UNIVERSAL PASSPORT (<https://waka-unipa.itp.kindai.ac.jp/>) のオフィスアワーを参照すること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 地球環境 (1) (阿野)

予習内容：地球環境問題の整理

予習時間：30分

復習内容：地球環境の成立と地球環境問題の本質的原因

復習時間：30分

第2回 地球環境 (2) (阿野)

予習内容：地球環境問題の原因と持続可能な社会と環境技術

予習時間：30分

復習内容：持続可能な社会

復習時間：30分

第3回 植物と環境 (1) (秋田)

予習内容：参考図書等を手がかりに植物の構造，光合成反応，窒素同化経路について調べる。「気孔」，「葉緑体」，「光化学系Ⅰ・Ⅱ」，「ルビスコ」，「カルビン回路」，「硝酸還元酵素」，「GS-GOGAT経路」，「グルタミン酸合成」をキーワードとして予習する。

予習時間：90分

復習内容：予習した内容，ユニバに掲載したパワーポイント（講義中の資料）と授業中に書いたメモをもとに講義ノートを作成させる。

復習時間：60分

植物の作用により周辺環境が変化する。その例として，温度低下，二酸化炭素吸収・同化，無機窒素吸収・同化について，その仕組みとともに説明する。

第4回 植物と環境 (2) (秋田)

予習内容：参考図書等を手がかりに，窒素と硫黄の代謝経路，植物の異物代謝および土壌微生物に対する植物の影響を調べる。「窒素同化」，「硫黄同化」，「ファイトレメディエーション」，「根圏効果」をキーワードとして予習する。

予習時間：90分

復習内容：予習した内容，ユニバに掲載したパワーポイント（講義中の資料）と授業中に書いたメモをもとに講義ノートを作成させる。

復習時間：60分

植物の作用により環境を浄化できる。その例として，大気中の窒素・硫黄化合物（NOX・SOX）浄化，土壌中の有機汚染物質や重金属汚染物質の浄化について，その仕組みとともに説明する。

第5回 地球環境と微生物・植物 (阿野・秋田)

予習内容：参考図書を活用しながら，講義中の資料，ユニバに掲載したパワーポイント，授業中に書いたメモをもとに，これまでの4回の講義内容を整理する。

予習時間：90分

復習内容：提示された復習問題に対する各自の答えを完成させる。

復習時間：90分

地球環境の成立過程と地球環境問題の内容、解決策と技術の理解を深める。その後、植物と環境とのかかわりに関する問題に答える。

第6回 動物門の普遍性と多様性 (宮本)

予習内容：無脊椎動物の形態について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：動物門ごとの制約について理解する。

復習時間：60分

第7回 野生動物の保護と環境の保全～Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ～ (三谷)

予習内容：野生動物が絶滅に向かう要因について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：動物園が動物を維持する上で、現状の課題と今後取組べき方策について考察する。

復習時間：60分

第8回 人類対ウイルスの飽くなき戦い (三谷)

予習内容：ウイルスの種類、構造、増殖様式など基本的な事項について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：ウイルスがなぜ手ごわいのか、私たちの生活の中でウイルスから身を守るために、どのような対策を講じているのかについて理解する。

復習時間：60分

第9回 環境(光)と遺伝子～時計遺伝子～(松本)

予習内容：2017年ノーベル生理学・医学賞の受賞内容「体内の概日リズムを制御する分子メカニズム」について、ノーベル財団のHPを参照に予め調べる。

予習時間：30分

復習内容：多くの生命現象には、24日時間周期の日周リズム（概日リズム）が存在していることを理解し、その分子メカニズムについても考察する。

復習時間：60分

第10回 哺乳動物の生殖戦略から見るヒト不妊症治療(細井)

予習内容：脊椎動物の繁殖方法について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：哺乳動物の生殖細胞の分化、配偶子の形成について理解する。また、不妊症の原因と発生工学技術による治療法の関係を理解する。

復習時間：60分

第11回 食料生産と自給率(泉)

予習内容：自給率の表示法について予習する。

予習時間：60分

復習内容：世界の食料生産環境の現状について復習する。

復習時間：60分

第12回 食料生産と遺伝子組換え技術(泉)

予習内容：遺伝子組換え方法について予習する。

予習時間：60分

復習内容：世界の遺伝子組換え食品の現状について復習する。

復習時間：60分

第13回 食料生産と栄養問題(岸田)

予習内容：日本における栄養問題、世界における栄養問題について、図書館やインターネット等を用いて調べる。

予習時間：60分

復習内容：授業で学んだ様々な栄養問題に関して、それらの背景には何があるのかを復習する。

復習時間：60分

第14回 ヒトにも地球にも持続可能なダイエットを考える(岸田)

予習内容：ダイエットに有効とされている食事内容について調べる。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー収支という観点からダイエット、そして食料生産効率について理解できているか復習する。

復習時間：60分

第15回 食料生産と環境(泉・岸田)

予習内容：これまで学んだ食料生産とその環境に関するレポートを構想する。

予習時間：60分

復習内容：提出するレポート内容を論理的に確認する。

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	医療・科学・暮らし						
英文名 :	Medical Care, Science and Daily Life						
担当者 :	浅居 正充・木村 裕一・北山 一郎・宮下 尚之・西手 芳明・ 藤井 雅雄						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

健康や病気そして食と暮らしの安全など、人間生活の質の維持と向上に関する課題に強い関心がよせられている。本講では、現代社会・未来社会を支える研究者・技術者に必要な科学的教養の獲得を目的に以下の講義を行う。

(西手芳明) ヒポクラテス時代の医術から現代医療への変遷に科学の成果が果たした役割は極めて大きい。現代医療を成し支えている科学について概説し、人体の構造とその機能を代行する医療機器についての特徴や働き、安全管理の技術について概説する。

(宮下・浅居・木村) 医療や暮らしを支えるコンピュータ・エレクトロニクス技術に関する話題をとりあげ、生命科学、生体情報処理、生物の仕組みとの関わりや応用につき概説する。

(藤井雅雄) 現代社会の暮らしにおいては、様々なエネルギーと工業製品(特に家電製品)なくして快適な生活は実現できない。快適な生活環境とは何かを、熱・温度という視点から、身近な空気と水を通して概説する。

(北山一郎) 質の高い人間生活とは何かを考察し、それを実現する医療・福祉機器について、例えば障がいを克服して充実した生活を実現する福祉用具・ウェルネス機器などの教材をもとにヒューマンマシンシステムの観点から概説する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・医療機器の役割や意義、安全管理について理解ができること。
- ・コンピュータ・エレクトロニクス技術の生命科学との関わりや応用が理解できること。
- ・暮らしの中の冷暖房など具体例を通して、熱や流体の移動に関する基本概念を学び、快適な生活空間を実現するための方法を数式を用いて検討することができること。
- ・ロボットをはじめとする人間と機械の共存を目指した21世紀社会において、福祉や介護の分野では現状どのような機器システムが開発されているのか、その代表例を知ることで人間と機械のインターフェースの重要性を理解すること。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に参与している。各学科ディプロマポリシーとの対応については、学科カリキュラムマップに示す。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの内容に基づいて、それに応じた指導を行う

■ 教科書

適宜資料を配付する。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

北山研究室 (西1号館1階152) ・ kitayama@waka.kindai.ac.jp
 宮下研究室 (東1号館2階217) ・ miya@waka.kindai.ac.jp
 浅居研究室 (東1号館3階313) ・ asai@info.waka.kindai.ac.jp
 木村研究室 (東1号館4階410) ・ ukimura@waka.kindai.ac.jp
 西手研究室 (東1号館2階218) ・ menisite@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

浅居正充 水曜5限と月曜1限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 医療機器とは

予習内容：医療機器の定義について予習すること。

予習時間：120分

復習内容：講義後のノートを見返し医療機器についての見識をさらに深めること。

復習時間：120分

医療機器について解説を行い、実際の使用例を提示して講義を行います。

第2回 医療現場で用いられる医療機器 1

予習内容：呼吸器および循環器系の臓器について調べておくこと。

予習時間：120分

復習内容：呼吸器および循環器系の臓器の役割とそれぞれの関係性を再確認すること。

復習時間：120分

呼吸器および循環器系の機能を代行する医療機器について講義を行います。

第3回 医療現場で用いられる医療機器 2

予習内容：代謝系の臓器について調べておくこと。

予習時間：120分

復習内容：代謝系の臓器の役割とそれぞれの関係性を再確認すること。

復習時間：120分

代謝系の機能を代行する医療機器について講義を行います。

第4回 医療機器の安全管理

予習内容：医療機器使用についてトラブルやアクシデントについて調べておくこと。

予習時間：120分

復習内容：医療機器使用についてトラブルやアクシデントの対策など講義を振り返り、再確認すること。

復習時間：120分

医療事故・事例を紹介して医療機器の安全管理について講義を行います。

第5回 生命科学とコンピュータ

予習内容：スーパーコンピュータや分子シミュレーションの概要について書籍やインターネットで調べる。

予習時間：150分

復習内容：スーパーコンピュータ・たんぱく質と医療・生活との関わりについて考察する。

復習時間：90分

スーパーコンピュータに関する基礎知識とそれをを用いた生体分子シミュレーションの話題について、疾患の分子機構や薬剤開発などの具体例をあげて講義する。

第6回 生命に学ぶ、"光"をあやつる技術

予習内容：電磁波に関する物理につきインターネット等で調べておく。

予習時間：150分

復習内容：人工媒質（メタマテリアル）につき概説できるよう講義内容を復習する。

復習時間：90分

人工電磁波媒質の研究につき紹介し、負の屈折率、透明マント等の関連トピックにつき解説する。

第7回 画像の医学への応用 -アルツハイマー病の画像診断の実現に向けて-

予習内容：PETについてインターネット上の情報源に

当り、その概略を把握する。

予習時間：150分

復習内容：PETを用いたアルツハイマー病早期診断の流れを、自分の言葉で

説明できるように、講義内容を復習する。

復習時間：90分

認知症の過半数を占め、治療薬の開発も進んでいるアルツハイマー病は、 $A\beta$ の脳組織への蓄積が原因であることが確定しています。そこで、陽電子断層画像法(PET)を放射性同位体を使って合成した対 $A\beta$ 分子プローブとの組み合わせによる、アルツハイマー病の画像診断法について説明します。

第8回 暮らしの中のエネルギーと快適性

予習内容：暮らしを支えるエネルギー源について調査する。

予習時間：90分

復習内容：熱エネルギーの特性を考察する。

復習時間：150分

暮らしを支えるインフラについて述べ、冷房と熱中症を例にして健康維持と省エネの重要性を解説する。

第9回 省エネ対策1（エアコンの設定温度を変える）

予習内容：冷暖房の設定温度は何℃が推奨されているか調査する。

予習時間：90分

復習内容：設定温度による冷暖房負荷の変化を数式を用いて考察する。

復習時間：150分

省エネ対策として、冷暖房負荷の低減についてニュートンの法則を用いて解説する。

第10回 省エネ対策2（人間の体温調節のメカニズムを知る）

予習内容：暑さ寒さをしのぐための生活の知恵を調査する。

予習時間：90分

復習内容：熱伝導に関するフーリエの法則を用いて、省エネ対策を検討する。

復習時間：150分

人間が快適と感じる皮膚温を維持するための対策をフーリエの法則を用いて解説する。

第11回 暮らしを支えるICT技術（半導体連鎖）

予習内容：半導体技術の進展の暮らしへの影響を調査する。

予習時間：150分

復習内容：IoTの進展の暮らしへの影響を考察する。

復習時間：90分

快適な暮らしは様々な工業製品に支えられており、特に半導体の進歩によるところが大きいことを解説する。

第12回 ヒューマン・マシーンシステム

予習内容：ヒューマン・マシーンシステムの代表例を事前に調べておくこと。

予習時間：150分

復習内容：ヒューマン・マシーンシステムについて概説できるよう復習すること。

復習時間：90分

人間と機械が一体となって作業を遂行するシステムのモデルと開発・製品事例を説明する。

第13回 生活支援機器

予習内容：生活支援機器の代表例を事前に調べておくこと。

予習時間：150分

復習内容：生活支援機器について概説できるよう復習すること。

復習時間：90分

障がい者や高齢者の生活を支援する機器・システムの事例とそこに用いられている技術を解説する。

第14回 バリアフリー、ユニバーサルデザイン

予習内容：バリアフリーとユニバーサルデザインの代表例を事前に調べておくこと。

予習時間：150分

復習内容：バリアフリーとユニバーサルデザインについて概説できるよう復習すること。

復習時間：90分

私たちの生活を豊かにし、参加の機会を推進する方策としてのバリアフリー、ユニバーサルデザインを事例を用いて解説する。

第15回 ウェルネス機器

予習内容：ウェルネス機器の代表例を事前に調べておくこと。

予習時間：150分

復習内容：ウェルネス機器について概説できるよう復習すること。

復習時間：90分

代表的な医療機器と健康長寿推進を進めるウェルネス機器の事例とそこに用いられている技術を解説する。

■ホームページ

科目名 :	教養特殊講義A						
英文名 :	Special Study of Liberal Arts A						
担当者 :	新田 和宏						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	集中	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本講座は、「フューチャー・リサーチSDGs」として開講する。

SDGs（持続可能な開発目標）に関連し、かつまたSDGsの目標年である未来を射程に収めながら、わたしたちの未来に関心を抱き、未来からの語りかけに傾聴し、未来について議論し、そして未来を創作することを通じて、SDGsの未来を学ぶものである。

授業は全てアクティブ・ラーニング形式で進む。学生には、貪欲に未来を学ぶアクティブ・ラーナー（活動的／主体的／能動的学習者）であることが求められる。各回の授業は、基本的に、SDGsに関連したテーマに関係する特別講師（スペシャル・ゲスト・スピーカー）を招聘し話題が提供される。それを踏まえながら、担当教員がモデレーターとして、特別講師と学生の対話を繋ぎ、学生の興味関心を喚起する。次に、教員のファシリテートの下に、様々なアクティビティを用いながらワークショップを行い、当該テーマについての熟議を深める。そして最後に、反転授業の一環として、教員のレクチャーとともに、次回のワークショップで「集団浅慮」を回避するためにも、なおかつ一定の理論負荷性を担保するためにも、エクササイズとしての課題が提示される。

尚、本講座は、スウェーデンに発し世界各国に拡がりつつある「フューチャー・センター」の近畿大学における実践である。また、その実践的な学びの場は、SDGsに関連した未来の公共的課題を俎上に載せて議論する、いわばミニ・パブリックス（小公共圏）でもある。

本講座を通じて学び得た未来思考は、重要な（地球）市民的教養であるとともに、その思考から抽出されるベンチ・マーキングは専門教育としての職業教育に架橋されることになる。かくして、本講座は「未来への投資」を担う特殊な講義として、そのプログラムが提供される。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講座の目標は、SDGsに理解を深めるとともに、常に未来の課題を考え、議論を行い、かつまた議論の課題を共有しえる態度および能力を育成・強化することにある。そのために、

- ①. 基本情報を収集する能力
- ②. 課題の本質を洞察する能力
- ③. 諸課題の関連を把握しえる能力
- ④. 持論を展開し、また他者の議論を傾聴しえる能力
- ⑤. 議論の整理と課題を提示しえる能力

に重点を置き、未来思考を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■ 教科書

使用しない。

■ 参考文献

新田和宏『持続可能な社会』麦の郷出版（2018）

野村恭彦『フューチャー・センターをつくろう』プレジデント社（2012）ISBN 978-4833420099

蟹江憲史編『持続可能な開発目標とは何か』ミネルヴァ書房（2017）ISBN 978-4623077799

■ 関連科目

持続可能な社会論

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生物理工学部新田和宏研究室
メールアドレスnitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡ください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 フューチャー・リサーチとSDGs①概要/SDGs目標1-17

予習内容：本講座の基本用語である「フューチャー・リサーチ」と「SDGs」について、その概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：90分

復習内容：「SDGs」の17の目標について、その要点をノートにまとめる。

復習時間：120分

フューチャー・リサーチとSDGsについて講義し、ワークショップを行う。

第2回 フューチャー・リサーチとSDGs②ESD/SDGs目標4

予習内容：「ESD」について、その概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：SDGsにおける「ESD」の役割について、その要点をノートにまとめる。

復習時間：120分

ESDについて講義し、ワークショップを行う。

第3回 6次産業化と日本農業の未来①/SDGs目標12

予習内容：「6次産業化」と「食のサステナビリティ」について、その概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：日本農業における「6次産業化」と日本の「食のサステナビリティ」の課題について、その要点をノートにまとめる。

復習時間：90分

6次産業化と日本農業の未来について講義し、次回のエクササイズを示す。

第4回 6次産業化と日本農業の未来②/SDGs目標12

予習内容：「早和果樹園」の事業展開について、その要点をノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：「早和果樹園」の今後の経営戦略について、その要点をノートにまとめておく。

復習時間：120分

「早和果樹園」を題材にワークショップを行い、6次産業化と日本農業の未来について考える。

第5回 6次産業化と日本農業の未来③/SDGs目標12

予習内容：「食のサステナビリティ」に関して、その国際的な取組について、その概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：「6次産業化」戦略は、日本農業の未来を拓くか。また、その戦略は途上国の農業経営のモデルとなりえるか。私見を800字でノートにまとめる。

復習時間：120分

6次産業化と日本農業の未来および「食のサステナビリティ」に関するワークショップを行う。

第6回 貧困と飢餓の削減およびNGOの使命①/SDGs目標1および2

予習内容：世界の貧困と飢餓、および日本の貧困と格差について、その現況を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：日本の貧困と格差の特徴について、その要点をノートにまとめる。

復習時間：120分

貧困と飢餓の削減およびNGOの使命について講義し、次回のエクササイズを示す。

第7回 貧困と飢餓の削減およびNGOの使命②/SDGs目標1および2

予習内容：「日本国際飢餓対策機構」について、その活動の概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：「日本国際飢餓対策機構」の将来展望について、その要点をノートにまとめる。

復習時間：120分

「日本国際飢餓対策機構」を題材にワークショップを行い、貧困と飢餓の削減およびNGOの使命について考える。

第8回 貧困と飢餓の削減およびNGOの使命③/SDGs目標1および2

予習内容：世界の貧困と飢餓を削減する方途について、具体的な提案を1つノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：世界の貧困と飢餓を削減する方途について、その私見を800字でノートにまとめる。

復習時間：120分

貧困と飢餓の削減およびNGOの使命に関するワークショップを行う。

第9回 市民共同発電と再生可能エネルギーの未来①/SDGs目標7

予習内容：日本における再生可能エネルギーおよび市民共同発電の現況について、その概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：日本における再生可能エネルギーおよび市民共同発電の現況について、ノートにまとめる。

復習時間：90分

市民共同発電と再生可能エネルギーの未来について講義し、次回のエクササイズを示す。

第10回 市民共同発電と再生可能エネルギーの未来②/SDGs目標7

予習内容：滋賀県湖南市における市民共同発電の現況について、その概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：90分

復習内容：滋賀県湖南市における市民共同発電の課題について、その要点をノートにまとめる。

復習時間：120分

滋賀県湖南市における市民共同発電を題材にワークショップを行い、市民共同発電と再生可能エネルギーの未来について考える。

第11回 市民共同発電と再生可能エネルギーの未来③/SDGs目標7

予習内容：市民共同発電の意義について、その要点をノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：日本において再生可能エネルギーを拡大していく方途について、その私見を800字でノートにまとめる。

復習時間：120分

市民共同発電と再生可能エネルギーの未来に関するワークショップを行う。

第12回 CCRCと「地域包括センター」の未来①/SDGs目標3および11

予習内容：CCRCと「地域包括センター」の現況について、その概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：CCRCと「地域包括センター」の課題について、その私見をノートにまとめる。

復習時間：120分

CCRCと「地域包括センター」の未来について講義し、次回のエクササイズを改めて示す。

第13回 CCRCと「地域包括センター」の未来②/SDGs目標3および11

予習内容：「シェア金沢」について、その概要を調べ、なおかつその要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：「シェア金沢」と、地域で医療-介護を連携する「地域包括センター」とが、如何に関連すべきなのか、その私見をノートにまとめる。

復習時間：120分

CCRCの代表といえる「シェア金沢」を題材にワークショップを行い、CCRCと「地域包括センター」の未来について考える。

第14回 CCRCと「地域包括センター」の未来③/SDGs目標3および11

予習内容：ポスト日本型福祉国家の課題とは何か、その概要の要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：ポスト日本型福祉国家におけるCCRCと「地域包括センター」の役割について、その私見を800字でノートにまとめる。

復習時間：120分

CCRCと「地域包括センター」の未来に関するワークショップを行い、ポスト日本型福祉国家におけるCCRCと「地域包括センター」の役割について考える。

第15回 フューチャー・リサーチとSDGs③まとめ/SDGs目標17

予習内容：SDGsを考える場としてのフューチャー・リサーチを運営していく課題について、その要点をノートにまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：SDGsを考える場としてのフューチャー・リサーチを運営していくための現実的な課題について、その私見を800字でノートにまとめる。

復習時間：120分

フューチャー・リサーチとSDGsのまとめに関するワークショップを行う。

論述試験

論述試験を2題出題する。

■ ホームページ

科目名 :	国際経済入門				
英文名 :	Introductory International Economics				
担当者 :	椎木 和光				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

経済学は基本的に「資源配分」の問題を扱い、配分を巡る利害をどう調整するかを考えます。国際経済も、国境を越えた資源の配分と調整の課題をもっています。そしてここには、基本的な問題として、二つの対立軸があります。

一つは、すでに常識とされている「経済活動は国境を越えてグローバル化している」という側面です。グローバル化を経済発展の「必然」と捉え、それを支えるためにいくつか基本的な枠組みを作ろうとしてきました。しかし必ずしもそれらがすべてうまくいっているというわけではありません。皆さんもいくつも見聞きしているでしょう。

もう一つは、「それぞれの国の社会経済の状況は多様であり、すべての国の利害が一致して同一方向に向いているというわけではない」という側面です。この場合、それぞれの国は自国の利害に対応した施策（政治的判断）をとっています。国際間で不調和が生じたり、時には厳しい政治的対立が表面化するでしょう。これもまた見聞きしたことがあると思います。

■ 学習・教育目標及び到達目標

この授業では、上記2つの側面が現実の社会でどのように影響し合っているかを念頭に置きつつ、国際経済の動きを観察・理解するための基礎を学ぶことを目的としています。この科目の修得は、「各国は異なった歴史的・文化的背景をもっているということ認識した上で、相互の個性を尊重しつつ国際的な信頼と協調の精神を養う」という、本学の教養教育の目的達成に沿ったものです。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%

テーマの区切り毎に行う確認テスト 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- ①試験や各確認テストの終了後、解答例・問題解説等を配布ないし掲示板に掲示し、各人の理解・学習の促進を図ります。
- ②テスト後の適当な授業時に要点解説を行い、理解・学習の促進を図ります。

■ 教科書

特定の教科書は用いず、授業自体を重視します。

適宜、プリント等を配布します。

■ 参考文献

適宜、授業時に紹介します。

■ 関連科目

現代経済の課題

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）shiinoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 現代の国際経済－はじめに

予習内容：本シラバスの関連項目から、本授業の全体構成を予測して記録を残しなさい。

予習時間：90分

復習内容：上述予習での記録と授業での話との間にどのような異同があったか、整理して記録に残しなさい。

復習時間：90分

一般論として、新聞等の政治・経済面を読む習慣をつけることをおすすめします。

第2回 世界大恐慌からの教訓

予習内容：第3回授業にむけて、戦後国際経済の動き（変貌）を概観しなさい。

予習時間：90分

復習内容：世界大恐慌から第二次世界大戦への流れを整理しなさい。

復習時間：90分

国際経済に関連する年表や資料を配布します。

第3回 ブレトンウッズ体制とGATT

予習内容：戦後の国際経済体制は、戦前の失敗と反省から出発した、この点を再確認しなさい。

予習時間：90分

復習内容：戦後国際経済におけるブレトンウッズ体制とGATTの意義を整理しなさい。

復習時間：90分

第4回 東洋の奇跡－戦後の日本経済

予習内容：戦後国際経済最大の受益者といわれる日本経済の発展の経緯を概観しなさい。

予習時間：90分

復習内容：戦後世界経済の構築・発展はアメリカがこれを支えた「パックス・アメリカナ」と呼ばれるこの時代を解説しなさい。

復習時間：90分

戦後日本経済に関連する資料を配布します。

第5回 ニクソンショックとオイルショック－戦後国際経済の転換

予習内容：1970年代国際経済は戦後大転換を迎えた。70年代以前と以降を対比して大転換の意味を考えなさい。

予習時間：90分

復習内容：オイル・ショックがその後の国際経済に与えた影響について整理しなさい。

復習時間：90分

第6回 レーガノミクスとプラザ合意

予習内容：ニクソン・ショックが国際経済に与えた影響・意味について再確認・再整理をしなさい。

予習時間：90分

復習内容：レーガノミクスプラザ合意・ブラックマンデーが1980年代以降の国際経済に与えた意味について再整理しなさい。

復習時間：90分

第7回 ウルグアイランドの締結とWTO

予習内容：GATT成立以降の世界経済への意義を再確認しなさい。

予習時間：90分

復習内容：GATT、ウルグアイ・ラウンド、WTOの流れと急速に進む経済グローバル化を概観しなさい。

復習時間：90分

第8回 ヨーロッパの経済統合化

予習内容：現在のWTOの、国際経済への意義と現代的課題を概観しなさい。

予習時間：90分

復習内容：ヨーロッパの経済統合と今後の動向について、課題や問題点を整理しなさい。

復習時間：90分

第9回 為替レート変動のもつ意味

予習内容：為替変動がもたらす経済的意味を、簡単な資料に基づいて再確認しなさい。

予習時間：90分

復習内容：円の為替相場変動がもたらす貿易・産業構造の変化について、整理しなさい。

復習時間：90分

第10回 外国為替市場の基本構図

予習内容：為替市場の基本構図によって、実需における為替レートの変動を再確認しなさい。

予習時間：90分

復習内容：「為替レートは思惑で動く」といわれている。実需と対比させて、この表現に解説を加えなさい。

復習時間：90分

第11回 為替リスクと国際貿易

予習内容：国際貿易はなぜ起こるのか、その基本的メカニズムを再整理しなさい。

予習時間：90分

復習内容：国際通貨制度は現実には多様であるが、固定相場制が維持できない理由は非常に単純である。これを解説しなさい。

復習時間：90分

第12回 国際貿易と経済成長

予習内容：大戦後多くの（西側）諸国が全体としても高い成長率を実現してきた。その理由について改めて再確認しなさい。

予習時間：90分

復習内容：「絶対優位」が現実の国際貿易を説明しないことを解説しなさい。

復習時間：90分

第13回 比較優位と国際貿易

予習内容：「比較優位」が現実の国際貿易をよりよく説明することを再確認しなさい。

予習時間：90分

復習内容：比較優位論に価格の問題（為替レートの問題）を導入すればどうなるか。一採算レートの視点から解説しなさい。

復習時間：90分

第14回 現代の国際経済と通商問題 - FTAへの動き

予習内容：新しい時代の自由貿易・経済連携協定はどう動くのだろうか、現時点での考えを表明しなさい。

予習時間：90分

第15回 まとめ

復習内容：定期試験にあたって、改めて国際経済入門の授業全体を達成目標と関連させて復習しなさい。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	日本近現代史				
英文名 :	Modern Japanese History				
担当者 :	長沢 一恵				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

明治維新からアジア・太平洋戦争前後の日本歴史の流れを、おもに「民主化の発展と平和の模索」のテーマから理解します。開国によって近代国家として出発した日本は、大日本帝国憲法のもとで大正民主化期には民衆の社会要求や権利意識の高まりを背景として多彩な言論や社会運動を展開し、政党政治の成立へと結実するとともに、一方では差別や植民地支配、戦争、移民問題など複雑で多面的な課題を抱える社会でした。

講義では、こうした内外の問題を広く捉えながら、差別・戦争・植民地統治・ナショナリズムといった20世紀が抱えていた諸問題の解決を図るなかで追求された「民主主義」や「平和」の価値を見直すことによって、これからの国際社会のあり方を考える手がかりにしたいと考えます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ①日本現代史の基礎的な知識や流れを学ぶ。
 - ②多様で重層的な社会構造や国際関係のなかで歴史を捉える相対化の視点を養う。
 - ③戦後に継承される民主主義や平和の意義について理解を深める。
- この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1および2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 60%
授業中に行う小レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用せず、講義プリントを配付します。

■ 参考文献

- 『日本の時代史』18～30巻（吉川弘文館）2003年～2004年
『日本の歴史』20～25巻（講談社）2002年～2003年
歴史学研究会・日本史研究会編『日本史講座』8～10巻（東京大学出版会）2005年
『シリーズ日本近現代史』全10巻（岩波新書）2006年～2010年
【ISBN】9784004307679 鹿野政直『日本の近代思想』（岩波新書）2002年
【ISBN】9784004309550 中村政則『戦後史』（岩波新書）2005年
『国史大辞典』1～15巻（17冊）（吉川弘文館）1979年～1997年
『日本近代史辞典』（東洋経済新報社）1958年
『日本外交史辞典（新版）』（山川出版社）1992年

■ 関連科目

暮らしのなかの憲法、人権と社会1・2、国際社会と日本

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・kazue_nagasawa@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講期間の火曜5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容及び時間

第1回 幕末から明治維新へ

予習内容：(1) シラバスを読み、講義概要を把握する。

(2) 図書館で、本講義のシラバスに記載された辞典や参考文献の配架場所を確認し、以後の講義で活用できるように準備する。

(3) クリアファイル (A4 サイズ)、ノートまたはルーズリーフ (様式自由) を持参する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」および講義中に自分で作成したノートを読み返し、明治維新により近代日本出発の新方針として提示された「五箇条の御誓文」など諸改革から読み取れる近世封建制 (身分制秩序) の解体と近代社会への移行における歴史経緯や意義について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第2回 自由民権運動のたかまり

予習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」を読み、「近代」、「明治維新」、「殖産興業政策」、「自由民権運動」、「国会開設運動」、「私擬憲法」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」および自筆ノートを読み返し、明治初期の藩閥政治に対して展開された「自由民権運動」の歴史経緯や、「民選議院設立建白書」や福沢諭吉・植木枝盛たちが掲げた「私擬憲法」の主張や意義について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第3回 明治憲法体制の成立 (1)

予習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」を読み、「明治十四年の政変」、「国会開設の勅諭」、「大日本帝国憲法」、「明治憲法体制」、および「日本国憲法」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」および自筆ノートを読み返し、1889(明治22)年に発布された「大日本帝国憲法」(明治憲法)と、戦後の1946(昭和21)年に公布された「日本国憲法」(現行憲法)の内容を比較しながら、主権の所在、権利・自由の規定、政治構造の相違などについて、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第4回 明治憲法体制の成立 (2)

予習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」を読み、「帝国議会」、「衆議院議員選挙法」、「元老」、「軍部大臣現役武官制」、「初期議会」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」および自筆ノートを読み返し、近代日本の出発点である「明治憲法体制」における問題点や評価点を把握し、現代につながる民主主義への発達の課題について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第5回 日清・日露戦争

予習内容：講義プリント③「日清・日露戦争と社会問題の発生」を読み、「日清戦争」、「下関条約」、「日露戦争」、「ポーツマス条約」、「日比谷焼打ち事件」、「日韓併合」、「辛亥革命」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント③「日清・日露戦争と社会問題の発生」および自筆ノートを読み返し、「日清戦争」「日露戦争」をめぐる近代東アジア国際情勢を理解すると共に、両近代戦争を通じて明治中後期の日本が直面した社会問題とそれに対する社会要求の高まりや政治改革要求の動向と意義について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第6回 第一次護憲運動と大正政変

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、「憲政擁護運動」、「大正政変」、「米騒動」、「大正デモクラシー」、「原敬内閣 (原内閣)」、「政党政治」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、「大正デモクラシー」として展開した近代日本の民主主義の発達について、藩閥政治に交代して登場した政党政治、および第一次護憲運動・大正政変や米騒動と原敬内閣の成立といった歴史経緯と意義について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第7回 大正デモクラシーと憲法論争

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、美濃部達吉「天皇機関説」、吉野作造「民本主義」、「ロンドン海軍軍縮条約」、「天皇機関説問題（国体明徴問題）」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、美濃部達吉「天皇機関説」、吉野作造「民本主義」に代表される大正デモクラシーの政治思想・社会哲学の内容と意義について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第8回 大正デモクラシーの展開

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、「普選運動」、「普通選挙法」、「治安維持法」、「友愛会」、「青鞆社」、「全国水平社」、「三・一運動（朝鮮独立運動）」、「霧社事件」、「内務省社会局」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、大正デモクラシー期に民衆の社会要求の高まりを背景として展開した普通選挙運動、労働運動、婦人運動、被差別部落撤廃運動、植民地の独立／自治運動といった様々な差別・人権問題の解決・改善への取り組みについて、現代日本社会の課題とも関連させながら整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第9回 琉球処分と「沖縄県」設置

予習内容：講義プリント⑤「琉球処分と「沖縄県」設置」を読み、「琉球（琉球王国）」、「琉球処分」、「琉球帰属問題」、尚泰（琉球王）など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント⑤「琉球処分と「沖縄県」設置」および自筆ノートを読み返し、14世紀以降の「琉球王国」の歴史を理解すると共に、近代東アジア国際関係の変化のなかで「琉球帰属問題」を経て日本の「沖縄県」へ編入された歴史経緯と問題点について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第10回 「旧慣温存政策」と同化政策

予習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」を読み、「沖縄」、「旧慣温存政策」、「方言札」、「同化政策」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」および自筆ノートを読み返し、明治政府が沖縄やアイヌに対して行った「旧慣温存政策」、および国語（標準語）教育による沖縄語・アイヌ語の排除など同化政策、「ソテツ地獄」にみられる経済破綻問題について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第11回 「ソテツ地獄」と伊波普猷

予習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」を読み、伊波普猷『古琉球』、「沖縄方言論争」、柳田国男、柳宗悦、「民芸運動」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」および自筆ノートを読み返し、伊波普猷が著書『古琉球』の中で主張した沖縄アイデンティティの回復とその意味について整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第12回 アジア・太平洋戦争と「沖縄戦」

予習内容：講義プリント⑦「アジア・太平洋戦争と沖縄戦」を読み、「太平洋戦争（アジア・太平洋戦争）」、「沖縄戦（沖縄の戦）」、「ひめゆり部隊」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント⑦「アジア・太平洋戦争と沖縄戦」および自筆ノートを読み返し、昭和前期のアジア・太平洋戦争の最後段階で行われた10・10空襲に始まる「沖縄戦」の経緯、および「鉄の暴風」「集団自決」といった甚大な住民被害について、東京・大阪大空襲や広島・長崎への原爆投下、アジア・太平洋地域の戦争被害、さらにアウシュビッツ強制収容所、など世界規模で起こった近代戦争の問題点や被害とも関連させながら整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第13回 米軍統治と「琉球政府」

予習内容：講義プリント⑧「米軍統治と「琉球政府」」を読み、「サンフランシスコ講和条約」、「沖縄問題」、「琉球政府」、「冷戦（冷たい戦争）」、「嘉手納基地」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント⑧「米軍統治と「琉球政府」」および自筆ノートを読み返し、アジア・太平洋戦争の終結のために日本と連合国間で締結された「サンフランシスコ講和条約」に伴う沖縄のアメリカ統治の開始、および東西冷戦下のアメリカによるベトナム戦争遂行と沖縄における巨大基地の建設の歴史経緯と問題点について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第14回 沖縄「復帰運動」

予習内容：講義プリント⑨「沖縄「復帰運動」と基地問題」を読み、「祖国復帰協議会」、「沖縄返還協定」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義プリント⑨「沖縄「復帰運動」と基地問題」および自筆ノートを読み返し、冷戦下の巨大基地の拡大にともなう沖縄住民の被害と「復帰運動」の高まり、および日米政府間での「沖縄返還協定」と「安全保障条約」「地位協定」により基地を保持したままの返還となった歴史経緯と課題について、現代日本社会における沖縄問題とも関連させながら整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。

復習時間：30分

第15回 現代日本と沖縄基地問題

予習内容：講義プリント⑩「沖縄「復帰運動」と基地問題」を読み、「日米安全保障条約」、「日米地位協定」、「基地問題」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。

予習時間：30分

復習内容：定期試験にあたって、講義プリント・配布資料・自筆ノート、および辞典・参考文献も参考にしながら、全体の歴史経緯や意義を整理して確認・理解するとともに、現代日本社会への提言となるように自分の意見をまとめること。

復習時間：120分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	国際社会と日本				
英文名 :	International Society and Japan				
担当者 :	新田 幸夫				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

世界大戦（第1次・第2次）はわれわれに何をもたらしたのか。これを機にして、世界のパワーバランスが、グローバル化の動きと並走するように、揺れ動いている。大戦、冷戦、そして取り残されるアフリカ、かき回される中東、そして躍進する中国などの現状を見ていきたい。

そして、日本との関係を基にして、国際社会が抱えるさまざまな問題、特に国際紛争、貧困、環境などの問題を考察したい。

■ 学習・教育目標及び到達目標

講義では、共通科目の基礎として、世界のさまざまな地域の政治事情や文化などに興味を持ち、国際的な感性を養うことを主な目標とする。そうして、世界情勢が自分たちの日常生活にどのような影響を及ぼしているのか、できるだけ多くの情報を受け、理解するように努めることを到達目標としたい。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

授業中の質疑応答のレポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- ・ 数回（3, 4回）の授業後に、その内容をまとめたペーパーを配布し授業中に復習を行う。
- ・ 試験の要点（これまでの授業の総復習）は試験前に行い、試験勉強の徹底を図りたい。

■ 教科書

特定しない。

■ 参考文献

授業中に必要な参考文献の紹介を行う。できるだけ購入しやすい新書を紹介する。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・snittaskmj0715@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 グローバリゼーションと国民国家

予習内容：グローバリゼーションに関する基礎知識を調べる。

予習時間：60分

復習内容：自分のアイデンティティを再確認し、自分の立ち位置をノートに記してみよう。

復習時間：40分

グローバリゼーションが意味する地球規模化が認められるものを挙げ、それがどのように国民国家へ影響を与えているかを考察する。そして、われわれのアイデンティティを問う。

第2回 ナショナリズムと地政学

予習内容：ナショナリズムと地政学について基礎知識を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：われわれは何をすべきか。つまり、今の自分そして将来の自分が考え、行わなければならないことをノートに記してみよう。

復習時間：60分

ナショナリズムとは何か、それをもとに、われわれは世界の中でどの位置にいるのかを考察する。そして、ナショナリズムと地政学の関係を考察する。

第3回 世界大戦（第1次・第2次）

予習内容：2つの大戦の基礎知識を調べること。

予習時間：60分

復習内容：授業内容の復習と戦後の途上国との関係を整理すること。

復習時間：60分

世界大戦が現在に与えた影響とは何であるかを考察する。2つの大戦の概要、その後のパワーバランスなどを考察する。

第4回 まとめ(1) 世界大戦後の国際秩序

予習内容：これまでの内容を整理すること。戦後処理に関しての確認が必要。

予習時間：50分

復習内容：これまでの内容を整理すること。特に、大戦後の国際秩序の変動について理解をすること。

復習時間：50分

グローバルゼーション、ナショナリズムなどの歴史的背景を紹介し、国際秩序の変動について理解を深めていく。

第5回 外交とは

予習内容：外交とは、という一般的な内容を調べておくこと。

予習時間：50分

復習内容：授業の内容を理解すること。特に、歴史的見地から外交とは何かを理解したい。

復習時間：50分

外交とは何かについて、歴史的な見地から見る。国際政治が不安定になるときにどのような外交が可能であるかを考察する。

第6回 冷戦とベトナム戦争

予習内容：ベトナム戦争の基礎知識を調べること。

予習時間：50分

復習内容：冷戦状態とはどういうものかを整理したい。

復習時間：50分

国際秩序が変動するなかで、時に、米ソの交渉が途絶えたときに発生したベトナム戦争は、私たちアジア人に大きな問題を提起した。その内容を紹介し、世界情勢のあるべき姿を考察したい。

第7回 冷戦後のアフリカ

予習内容：アフリカが現在抱えている問題を列挙すること。国は特定しない。

予習時間：50分

復習内容：植民地から独立した後の状況にどんな支援をすれば、内紛が起りにくいかを考えること。

復習時間：50分

アフリカの現状を取り上げながら、先進国の政策に左右される状況を見ていきたい。民族自決の問題、植民地の独立などの問題を取り上げて、冷戦後のアフリカがどのように変遷を遂げてきたのかを2, 3の国を通して考察する。

第8回 イスラム教と中東

予習内容：イスラム教の文化を調べてみたい。

予習時間：50分

復習内容：授業内容の復習をしたい。さらに、配布したペーパーの整理をすること。

復習時間：50分

イスラム教とはどのような宗教なのかを歴史的背景から説明し、現状を考察したい。また、湾岸戦争、イラク戦争の原因などについても考えたい。

第9回 まとめ(2) アフリカと中東の状況の復習と、世界における民主主義の現状

予習内容：「民主主義」とは、「自由」とはについて、自分が考える定義をノートに記してくること。

予習時間：50分

復習内容：配布された民主主義や自由に関するデータを確認しつつ復習すること。

復習時間：50分

民主主義とは何か、自由とは何かなど国連や世界銀行等からのデータをもとに、アフリカと中東の状況を振り返り世界における民主主義の現状を考察する。

第10回 ラテンアメリカと地域主義

予習内容：ラテンアメリカの特徴を調べておくこと。

予習時間：50分

復習内容：授業の内容を復習すること。特に、大陸（南アメリカ大陸）の地域性の特徴を理解すること。

復習時間：50分

ラテンアメリカは対アメリカ合衆国との政治的な駆け引きから成っているという過言ではない。ラテンアメリカ自由貿易連合（LAFTA）や中米共同市場（CACM）などを組織し、一つの地域性をもって対抗してきた。ラテンアメリカのその地域性に関して考察したい。また、日本との関係も紹介したい。

第11回 中国とグローバリゼーション

予習内容：日本から見た中国について、自分が考える印象をノートに箇条書きにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：紹介する資料をまとめること。また、紹介する参考書籍も読むように。

復習時間：60分

列強国が迫ってきたときの中華民国から第2次世界大戦後に独立した中華人民共和国に至る経緯と、その後の政治状況について考察する。

第12回 まとめ(3) 南米と中国の今後について

予習内容：これまでのポイントの復習をすること。

予習時間：60分

復習内容：南米と中国のそれぞれの今後に関してのニュースを確認すること。

復習時間：60分

南米と中国の内容を復習し、南米の地域性と中国の外交について、その今後を考える。

第13回 世界の環境問題

予習内容：人間の活動する場所としての国際社会はどうあるべきか。人類全体が取り組むべき政策課題には何があるか、思い当たることを箇条書きにしてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の内容を復習をすること。

復習時間：50分

国際関係論から見た地球環境問題を考察したい。広義の意味で、国際関係論であり、具体的には、安全保障問題や国際経済論などに関連した内容を考察する。ただし、説明する内容は、大まかな概要にとどめる。なお、自然環境の問題は、地球環境問題の様々な問題のうちの一つとして簡潔に触れる。

第14回 世界の貧困

予習内容：貧困とはどういうことか、ノートに箇条書きしてくること。

予習時間：50分

復習内容：授業の復習をし、参考資料、書籍を読むこと。（読書時間は個別に対応するように）

復習時間：50分

世界の貧富の差をどのように考えるのか。世界銀行、国連からの資料を配布し考えたい。

また、恒常的な貧困状況から脱却できない途上国の現状を説明する。

第15回 国際社会と日本のまとめ

予習内容：これまでの資料などの整理をすること。

予習時間：60分

復習内容：授業の内容を復習することと、それに関連する内容を新聞やインターネットで見出すこと。

復習時間：60分

これまでの内容の総復習。それぞれの項目に現在の日本社会と関連付けてまとめる予定である。。

定期試験を行います。ただし、試験問題作成は学生の習熟度を鑑みて作成する。講義の各項目の中から6項目に絞り学生に問題を投げかける。

■ ホームページ

科目名 :	国際化と異文化コミュニケーション				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Communication				
担当者 :	服部 圭子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

国際社会において異なる言語や文化を持つ人々との接触場で、自信を持って発信できるコミュニケーション能力の育成、他者と対等に関わる態度の育成やアイデンティティの確立など、異文化リテラシー能力の育成を目標とする。

- ・授業はペアで話したり、色々なグループを形成して意見交換したりしますので、積極的に授業に参加してください。
- ・毎回、考えたことや学んだことなどを振り返り、感想をまとめて提出してもらいます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

異文化コミュニケーションの理論を学習するとともに、多文化化する日本の現状や課題を知り、滞日する外国人との対等な関係性構築のための日本人の態度や、受け入れる側の制度などについても考えることができるようになる。さらに、言語意識の育成をめざし、複言語・複文化意識の大切さにも触れる。議論やロールプレイ、体験談の傾聴などを通して異文化コミュニケーションスキルや態度の育成を目指す。

この科目の修得は、学部のディプロマポリシー 5、近畿大学教養科目の目的2、3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

- 課題レポート 60%
- 授業中の発表 20%
- 授業ごとのまとめ・提出物 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題提出後、その期の授業時間内に、その内容の要点と解説、主要概念の提示を行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

講義時に必要な参考文献の紹介を行います。

■ 関連科目

言語文化学入門

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513室）・khattori@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜5限（その他の時間帯は、事前に予約してください）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション・国際化と日本社会の多文化化

予習内容：日本社会の多文化化について調べる

予習時間：60分

復習内容：少数言語など、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。

復習時間：60分

授業の進め方の説明、受講に関する留意事項、課題や評価についての説明を行う。

日本社会の多文化・多言語化について、外国人数、ことばの数などの視点から考える。

第2回 地域に在住する外国人と日本社会

予習内容：日本在住の外国人に関するデータを調べる

予習時間：60分

復習内容：生活者としての外国人に関し、授業で扱ったキーワードや課題についてさらに調べ理解を深める。

復習時間：60分

日本在住の外国人が抱える生活上・言語上の現状について知り、課題を挙げて、その解決法について議論する。

第3回 グローバル化とその課題

予習内容：グローバル化、アイデンティティという用語について調べる

予習時間：60分

復習内容：グローバル化する社会活躍できる人材の要素について考えまとめる

復習時間：60分

「グローバル化」とは何か、政策、社会の現状、およびことばやアイデンティティの問題などを通じて考える。

第4回 リングイスティック・ランドスケープ（言語景観）

予習内容：言語景観という用語について調べる

予習時間：60分

復習内容：言語景観など、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。

復習時間：60分

Linguistic landscapeの概念を学び、実際に学内や街の言語現象を視覚的に捉える。同様に、日本の多文化・多言語化現象を観察する。

第5回 異文化コミュニケーションの基礎概念

予習内容：異文化コミュニケーションに関するさまざまな考え方について調べる

予習時間：60分

復習内容：自己開示、コミュニケーションなど、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。

復習時間：60分

コミュニケーションと自己開示、さまざまなコミュニケーションモデル、コミュニケーションの種類、異文化コミュニケーションに大切な視点などを学び、コミュニケーションとは何かについて考える。

第6回 ことばによるコミュニケーション

予習内容：高テキスト文化、低テキスト文化について調べる

予習時間：60分

復習内容：日本語の文字・表記による意味の異なりについてまとめる

復習時間：60分

高テキスト文化・低テキスト文化、スピーチアコモデーション、日本語の文字・表記による意味の異なり、などの視点から、ことばを用いたコミュニケーションについて考える。

第7回 非言語コミュニケーション

予習内容：非言語コミュニケーションについて調べる

予習時間：60分

復習内容：国や文化による非言語的手段の異なりなどについて調べる

復習時間：60分

非言語的手段のルール、コミュニケーションにおいて非言語が占める割合、距離と空間などについての知識を得る。ジェスチャー、マナーやタブーなどについて、異文化による相違について学ぶ。レポート①提出。

第8回 カルチャーショックと異文化適応

予習内容：カルチャーショックについて調べる

予習時間：60分

復習内容：ステレオタイプ、偏見などの概念など、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。

復習時間：60分

カルチャーショック、ステレオタイプ、偏見などの概念について学ぶ。自らの異文化体験を振り返る。

第9回 言語と文化（1）：価値観と文化的特徴・日英発想法

予習内容：英語と日本語の違いについて気づいたことをまとめる

予習時間：60分

復習内容：日米発想法の違いやことば使いなど、授業で扱ったキーワードについてさらに具体例を調べまとめる

復習時間：60分

文化観・文化内での価値観のバリエーション、言語・現実・思考を関連づけて捉える概念について学ぶ。日本語と英語の発想法の違い、ことばと文化の関係について考える。

第10回 言語と文化（2）：言語意識・言語とコミュニケーション①

予習内容：言語意識について調べる

予習時間：60分

復習内容：自分の身の回りの言葉、英語の位置づけについて復習しまとめる

復習時間：60分

世界の言語、日本の言語、わたしのことばについて知る。世界の言語と英語の位置づけについて考える。

第11回 言語と文化（3）：複文化・複言語意識・言語とコミュニケーション②

予習内容：複言語、複文化主義について調べる

予習時間：60分

復習内容：世界のさまざまな言語や文化、日本語について振り返る

復習時間：60分

欧州の言語政策および多言語・多文化主義、複言語・複文化主義について学ぶ。実際に色々な言語を聞く機会を持ち、様々な言語のルールを見つける体験をする。

第12回 言語と文化（4）：日本語の相対化・言語とコミュニケーション③

予習内容：世界のあいさつについて調べる

予習時間：60分

復習内容：日本語の特徴についてほか、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。

復習時間：60分

世界の挨拶、「すみません」の意味、日本語の特徴などを見直し、言語と文化を結ぶ視点や話し手との関係性について考える。

第13回 人の移動と課題

予習内容：移民、人の移動について調べる

予習時間：60分

復習内容：日系人など、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。

復習時間：60分

移民、人の移動について知り、実際に語られたインタビューの内容から人々の想いを学ぶ。日系ブラジル人を対象に、読み物教材やカルタを用いて、その背景や歴史等について学ぶ。

第14回 日本社会と異文化間コミュニケーション、

予習内容：誤解、コミュニケーション摩擦の例について調べる

予習時間：60分

復習内容：具体的な例について、DIE法を用いて、振り返る

復習時間：60分

職場の人間関係、挨拶等、日本社会で働くために大切だと考える知識や態度について考える。メッセージの受け取り方の違いによって生じる誤解を整理することに役立つDIE法について学ぶ。

第15回 国際化と異文化コミュニケーションのまとめ（2）

予習内容：授業で扱った概念について振り返り、復習する

予習時間：60分

復習内容：国際化と異文化コミュニケーションについて、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深めるとともに、レポート課題に取り組む

復習時間：90分

言語・（異）文化・ことば・コミュニケーション」について、授業を通して気づいたことや考えたことなどについて振り返り、グループで議論する。グローバル化する社会において大切な態度について話し合う。レポート②提出。

■ホームページ

近畿大学生物理工学部 <http://www.waka.kindai.ac.jp/>

科目名 :	国際化と異文化コミュニケーション						
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Communication						
担当者 :	新田 幸夫						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

国際社会のみならず日本国内においても、異文化のコミュニケーションを理解することは重要である。多文化共生などの異文化コミュニケーションに関する基礎知識を理解し、その内容を習得する必要がある。本講義では、各項目に即して説明した後に、質疑応答を繰り返す、その場で考察しつつ理解を深めていく。多様化する国際交流の場で生かせる講義としたい。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義では、政治的・歴史的・文化的背景の異なる人々とコミュニケーションを展開するときに影響を与えるさまざまな要因を分析し考察を行う。そうして、さまざまなケースに関して、学生がその対応を考え、実行できることを目標とする。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
授業中の質疑応答のレポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- ・ 数回(3,4回)の授業終了後に、その内容をまとめたペーパーを配布し授業中に復習を行う。
- ・ 試験の要点(これまでの授業の総復習)は試験前に行い、試験勉強の徹底を図りたい。

■ 教科書

特定しない。

■ 参考文献

授業中に必要な参考文献の紹介を行う。できるだけ購入しやすい新書を紹介する。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・snittaskmj0715@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 コミュニケーションとは

予習内容：自分が日常のコミュニケーションをどのように考えているかノートに記しておくこと。

予習時間：40分

復習内容：自分が考えたコミュニケーションの意味と授業後に考える意味とのギャップをノートに記すこと。

復習時間：40分

コミュニケーションの英語の動詞形は communicate である。我々はこの意味を考えることから講義を始める。伝える側から受ける側への記号化と情報化の関係を考察する。

第2回 コミュニケーションの前提と制約

予習内容：これまでに、コミュニケーションが双方の間で成立しなかった事例をメモしておくこと。

予習時間：40分

復習内容：「前提」条件ならびに「制約」に関して、自分にとって大切にしたい項目をノートに書き出しておくこと。

復習時間：40分

コミュニケーションの送り手と受け手との関係から、その「前提」となる条件と、「制約」について考察したい。

第3回 コミュニケーションの多重性について

予習内容：自分がコミュニケーションをするときどのような目的で行っているかを箇条書きにしておくこと。

予習時間：40分

復習内容：コミュニケーションの多重性は我々の身近な世界でもその重要性が問われる。どのような状況下で見られるかを考えてまとめること。

復習時間：40分

コミュニケーションの多重性について、考察をする。どのような状況でコミュニケーションを取ろうとしているのか。コミュニケーションの目的に即した対応の仕方を考える。

第4回 まとめ(1) コミュニケーションとは

予習内容：これまで学んだ内容に関して新聞や、インターネット等から情報を抜き取り整理しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：配布物の確認と整理をすること。自分の今迄にしくじったコミュニケーションの反省を踏まえて復習をすること。自分に必要と思われる事項をノートにメモすること。

復習時間：50分

メッセージとは何か、また何のためのコミュニケーションなのか、その主たる目標は何なのかという点に焦点を当てて復習する。これまでの授業内容をコンパクトにまとめたペーパーを配布する。さらに、これまでの期間に新聞、書籍等で同様の内容が論じられた記事等があれば印刷し配布し検討する。

第5回 コミュニケーション能力とは何かについて

予習内容：自分がコミュニケーションをとっているときに困ったことを箇条書きすること。

予習時間：40分

復習内容：復習時に、自分に必要なポイントをノートに記すこと。

復習時間：40分

コミュニケーション能力とは、まず、きちんと伝えること。ではどうすればいい。たとえば就活で求められるコミュニケーション能力とはいかなるものなのか、どのようにすれば身につくのか等を考察する。

第6回 コミュニケーション能力とリーダーシップについて

予習内容：リーダーシップをとるためにコミュニケーションで必要なことはなにかを考えておくこと。

予習時間：60分

復習内容：自分が考えたコミュニケーションで必要なことと授業で受けた内容のギャップがあればそれを明確にし、ノートに記すこと。

復習時間：40分

コミュニケーション能力を高めるためには何をすべきかを、リーダーシップと関連付けて考える。さらに身近な問題に関連させつつその成果を引き出す方法などを検討する。

第7回 まとめ(2) コミュニケーション能力と私

予習内容：これまでの内容を復習しておく。また、自分は話し上手なのかそうでないのか、またその理由を書き留めておくこと。

予習時間：40分

復習内容：自分にとって、話し上手になるには何が必要か考え、ノートに記しておく。

復習時間：40分

会話のうまい人とはどういう人なのか。そもそもコミュニケーションの要諦というのはあるのか。なぜコミュニケーション能力が必要なのか、などにスポットを当てて、復習していく。

第8回 マスコミュニケーションの効果

予習内容：テレビを見ることの是非をそれぞれ5つ以上箇条書きで記すこと。

予習時間：60分

復習内容：今後のマスコミへの対応に関する自分の考えを整理してノートに記すこと。

復習時間：40分

マスコミの効果を構造的性質のメカニズムから考えていく。

また、テレビの効用に関しても考察する。

第9回 報道について

予習内容：言論に関してその責任について整理しておくこと。

予習時間：40分

復習内容：立法、司法、行政に続き第4の権力と言われる報道に関して、授業を受けたのちの自分の考えをまとめておくこと。

復習時間：40分

報道は言論の一種である。報道の原理と原則について考察する。

第10回 新しいメディアによる社会の変化（インターネット）

予習内容：インターネットは自分にとって何なのか、社会との関連で考えをまとめておくこと。またその是非について箇条書きに記しておくこと。

予習時間：50分

復習内容：インターネットの社会をどのように利用していくことが賢明かノートに記すこと。

復習時間：50分

インターネットの登場で社会はどのように変化しているのか、また、情報化社会の特徴はどのようなものかを考察する。

第11回 まとめ(3)マスメディアとインターネット

予習内容：これまでの内容の復習をすること。特に、マスメディアの構造的性質とインターネットの構造的性質について。

予習時間：40分

復習内容：インターネットを通してどのように異文化コミュニケーションを進めるべきか考え、ノートに整理しておくこと。

復習時間：40分

マスメディアとインターネットに関して、マスコミュニケーションの構造的性質のメカニズムとインターネットによる構造的性質を考察する。

第12回 対話・会話・討論について

予習内容：自分がこれまで親、友人、その他さまざまな人たちとの間で交わした中で失敗したことをノートに箇条書きにしておくこと。

予習時間：40分

復習内容：対話・会話・討論について、それぞれ基礎知識を確認しておくこと。

復習時間：40分

対話・会話・討論について、それぞれの特徴を考察し、文化的背景を考える。

第13回 国際化とグローバリゼーション

予習内容：国際化、国民国家、グローバリゼーションの基礎知識は調べておくこと。

予習時間：60分

復習内容：グローバリゼーションに関してプラスの面とマイナスの面を整理しておくこと。

復習時間：40分

国民国家とは、グローバリゼーションとは、そして国際化とは何か、を確認する。

第14回 国際化と異文化コミュニケーション

予習内容：文化とは何か、また自分とは何者かなどノートに整理しておくこと。

予習時間：40分

復習内容：異文化への対応に関して、授業の内容とは別に、自らの考えをノートに記すこと。

復習時間：40分

文化とは何か、異文化とは、そして、異文化への対応を考えて、国際化の中でどのようなコミュニケーションが重要かを考える。

第15回 総復習

予習内容：これまでのまとめの授業で配布したペーパーや新聞記事などの整理をし、自分にとって分かりにくい箇所などは書き出しておくこと。授業中に質問すること。

予習時間：60分

復習内容：改めて総復習すること。

復習時間：60分

特に、コミュニケーションが成立するために必要と考えられる前提やマスコミュニケーションの構造的性質のメカニズム、さらに、対話の基本原理などを中心に総復習する。

*** 定期試験を実施する。**

受講生の理解度に応じた問題作成を考えいる。講義内容の中から6項目(タイトル)を選び、問題を作成する。

■ホームページ

科目名 :	里山の環境学				
英文名 :	SATOYAMA				
担当者 :	新田 和宏				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座は、里山に関する基本的な理解を深め、里山の環境を保全するために必要とされる、「技」を含めた、基本的な「身体知」を習得することを目的とする。それ故に、本講座は大変興味深い講座である。

＜本講座において学ぶ意義＞

現在、わが国の里山は危機的状況にある。多く見積もっても、里山全体の5%程度しか、適正な管理がおこなわれていない。また、里山ボランティアによる管理は、わずかに0.1%に過ぎないともいわれている。「日本の原風景」ともいわれる里山は、滅び行くのであろうか。こうした問題意識を秘めつつ、里山における実践的な学びから、里山の再生には、どのような働きかけが求められるのか、そのような提言を試みようとするところに、本講座を学ぶ根本的な意義がある。

＜本講座の方法＞

極めて「アクティブ」なアクティブ・ラーニングとして展開する。

キャンパスに隣接する「近畿大学里山の哲学の道」をフィールドとし、講義とフィールド・ワークを中心に、エクスカージョン（遠足）などをも交えながら、本講座は多彩かつアクティブに展開する。

尚、本講座は野外におけるフィールド・ワークを行う関係から履修者数を制限する場合がある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①. フィールド・ノートを取る力。②. 鋤や木槌および造林鎌などを用いて道普請を行える力。③. 杉の間伐や竹の除伐を行える力。④. 里山を代表するクヌギやコナラなどの樹木を識別しえる力。⑤. 里山のすみずみまで巡り歩くことができるトレッキングの力。⑥. 里山再生に向けて具体的な提言を表現しえる力。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「里山の環境学」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的2および1の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■ 教科書

使用しない。

■ 参考文献

- 中国新聞取材班編『猪変』本の雑誌社、2015年 ISBN978-4-86011-266-0
 平野伸明・新開孝・大久保茂徳『里山大百科』TBSブリタニカ、2000年 ISBN4-484-00405-4
 養父志乃夫『里山・里海暮らし図鑑』柏書房、2012年 ISBN978-4-7601-4118-0
 養父志乃夫『里山里海』勁草書房、2016年 ISBN978-4-326-65399-7
 藻谷浩介『里山資本主義』角川書店、2013年 ISBN978-4-04-110512-2
 今森光彦監修『NHKニッポンの里山』NHK出版、2014年
 おくやまひさし『里山図鑑』ポプラ社、2001年 ISBN4-591-06664-9
 武内和彦・鷲谷いづみ・恒川篤史編『里山の環境学』東京大学出版会、2001年 ISBN4-13-060301-9
 丸山徳次・宮浦富保編『里山学のすすめ』昭和堂、2007年 ISBN978-4-8122-0738-3
 中村浩二・嘉田良平編『里山復権』創森社、2010年 ISBN978-4-88340-252-6
 太田猛彦『森林飽和』NHK出版、2012年 ISBN978-4-14-091193-8 C1336
 四手井綱英『森林』法政大学出版部、1985年 ISBN 0320-21055-7710
 祖田修『鳥獣害』岩波新書、2016年 ISBN 978-4000431618

■ 関連科目

持続可能な社会論

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 里山を保全するための「身体知」とフィールド・ノート技法

予習内容：基本：「里山」について調べながら、「里山」のイメージを膨らませる。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、フィールド・ノートに使う記号および略記を確定し、フィールド・ノートの冒頭に記号・略記の凡例を作成する。

復習時間：90分

第2回 里山のトレッキング技法

予習内容：基本：キー・ワード「五感」「観天望気」「ヤブこぎ」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「靴紐の結び方」「急斜面の登り方」および「急斜面の下り方」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。このような作業の積み重ねが「里山の環境学」における学習成果の一つである「里山保全図鑑」の作成となる。

復習時間：90分

第3回 里山を立体的に理解するためのエクササイズと里地里山および奥山そして里山の衰退

予習内容：基本：キー・ワード「里地里山」「奥山」「アミニズム」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「里地里山」「奥山」および「アミニズム」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第4回 里山における侵略的外来種の増殖と害獣の被害およびその駆除

予習内容：里山における侵略的外来種の増殖と害獣の被害およびその駆除

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「孟宗竹と真竹の爆発的増殖」と「イノシシによる獣害」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第5回 里山の道普請

予習内容：基本：キー・ワード「道」「獣道」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、道普請の作業手順について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第6回 里山の間伐・除伐・除草

予習内容：基本：キー・ワード「人工林」「二次林」「原生林」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：キー・ワード「人工林」「二次林」「原生林」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点を

フィールド・ノートに記す。

復習時間：90分

第7回 里山の樹木の見分け方

予習内容：基本：キー・ワード「落葉樹」「常緑樹（照葉樹林）」「針葉樹」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「コナラ」「クヌギ」「クスノキ」および「ヤマザクラ」について、その見分け方のポイント（鋸歯、葉脈、樹皮、臭い等）をフィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第8回 里山におけるバードウォッチング技法

予習内容：基本：キー・ワード「留鳥」「夏鳥」「冬鳥」「旅鳥」「漂鳥」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「シジュウカラ」「メジロ」「ヤマガラ」「エナガ」「コゲラ」、および「キビタキ」「オオルリ」「ツツドリ」「ジョウビタキ」「ツグミ」並びに「コウノトリ」について、その見分け方のポイント（大きさ、色、模様、さえずり・地鳴き、飛び方等）をフィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第9回 里山の恵み①：桃狩りという里山保全の意義

予習内容：基本：「桃の摘果」について調べ、それぞれ要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「クリの木の見分け方」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第10回 里山の恵み②：「栗拾い」という里山保全の意義

予習内容：基本：キー・ワード「縄文時代の栗」について調べ、それぞれ要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、落葉やヤマザクラの落ち枝および杉の落ち枝を用いた焼き芋の手順と裏技について、フィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第11回 里山を保全するためのツール（道具）のメンテナンスの仕方

予習内容：基本：「鋸」「草刈り鎌」「造林鎌」「鉋」「木槌」「鍬」について調べ、それぞれの用途をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「鋸」「草刈り鎌」「造林鎌」「鉋」「木槌」「鍬」のメンテナンスの仕方について、フィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第12回 里山を案内する道標の作成とその設置

予習内容：基本：キー・ワード「道標」「ウッドバーニング」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「道標の作成方法と設置方法」について、フィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第13回 里山と人間との関係：攪拌（disturbance）と保全（conservation）および保護（preservation）

予習内容：基本：キー・ワード「攪拌」「保全」「保護」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しなが、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「道標の作成方法と設置方法」について、フィールド・ノートに要領よく図解する。

復習時間：90分

第14回 紀ノ川流域の歴史と民俗および里山文化

予習内容：基本：キー・ワード「和泉砂岩」「根来衆」「紀州材」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「近畿大学里山の哲学の道周辺の絵図」を、フィールド・ノートに描く。

復習時間：90分

第15回 里山再生と里山文化の継承および里山保全ボランティア

予習内容：基本：霞ヶ浦の「アサザ・プロジェクト」など各地で行われている「里山再生の取り組み」について実例を一つ調べ、その要点をフィールド・ノートに記す。

予習時間：90分

復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。

発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「里山再生と里山文化の継承および里山保全ボランティア」について、私見をフィールド・ノートに記す。

復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	言語文化学入門						
英文名 :	Introduction to Language and Cultures						
担当者 :	服部 圭子・長谷川 由美・ジン タナンゴナン・大加茂 巧・松村 博史・ ハタノ リリアン						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

交通手段の発達、インターネットの普及により、私たちの日常生活の身近なところで、多言語や多文化と接する機会が増えてきました。社会のグローバル化が急速に進む現代社会においては、様々な文化や言語が共存しています。普段の外国語の授業であまり学ぶ機会がない文化や言語に触れると同時に、私たちの文化や言語への理解も深めましょう。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・多言語・多文化に対するより広い視野と多角的な視野を養う。
 - ・講義で取り上げる国々における文化や言語の特殊性を学ぶと同時に、自国の言語や文化に対する理解を深める。
 - ・異なる文化や言語に対する感受性を磨き、多様性を受容し、多種と共存する力を養う。
- この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

授業中に指示される課題・レポート（教員によっては小テスト） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題または小テストに関する解説を授業内で行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

授業内に指示。

■ 関連科目

外国語関連科目、国際社会と日本、国際化と異文化コミュニケーション

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階）・khattori@waka.kindai.ac.jp
 長谷川研究室（2号館5階）・hasegawa@waka.kindai.ac.jp
 それ以外の講師：講師控室（2号館2階）

■ オフィスアワー

服部：木曜日5限（その他の時間は必ず予約すること）
 その他の講師：担当授業の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本科目は6人の講師が講義をするオムニバス形式のものです。ことばと文化に関する講義、手話に関する講義、ブラジルの社会と文化院に関する講義、多言語社会であるフィリピンに関する講義、フランスの言語文化に関する講義、ESPとしての航空英語やグローバル時代における英語や言語政策に関する講義をします。各教員によって、レポートが出されたり小テストがあったりしますので、詳細に関しては、各担当者から説明があります。講義内容の順序は変更される可能性があります。変更の場合は、最初の授業でお伝えいたします。

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。

復習内容：授業で学んだ内容について、ノートやプリント等を読み返して復習する。

第1回 オリエンテーション、多言語・多文化社会日本

予習内容：言語と文化について、自分のまわりのことばについて考えておく。

予習時間：30分

復習内容：複文化・複言語、そして言語景観という概念について理解を深める。

復習時間：60分

言語文化の範疇について学ぶ。そして、日本社会の多文化・多言語状況について振り返り、多文化共生に向けての課題について考える。ことばと文化の関係・複言語複文化について学ぶ。また、ことばを客観的に捉える視点や、言語景観の視点について学ぶ。

第2回 手話とジェスチャー

予習内容：視覚言語と音声言語のそれぞれの短所・長所を考えてくる。

予習時間：30分

復習内容：習った手話の復習。

復習時間：60分

手話は目で見える言語、視覚言語です。健聴者の場合、コミュニケーションの多くを音声言語で行っています。音声を使わずに情報伝達をすると、どのようなことが伝わりにくくなるでしょうか。アクティビティなどを通して、音声に頼らない情報伝達を試みましょう。また、簡単な挨拶を手話で学びます。

第3回 指文字を学ぼう

予習内容：習った指文字の練習（読み取り含む）

予習時間：30分

復習内容：自己紹介の復習。

復習時間：60分

視覚言語である指文字を学びます。指文字とは手を使って表す50音（あいうえお）です。指文字を学び、自分の名前を表現できるようになりましょう。また、友達が示す指文字を読み取れるようになりましょう。

第4回 ブラジル社会と文化・日本とブラジルの関係

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。

予習時間：45分

復習内容：授業で学んだ内容について、理解を深める。

復習時間：45分

ブラジル社会の現状、文化的特徴について概観する。また、戦前と戦後の移民について触れ、日本の移民の歴史の流れの中にブラジルへの移民を位置づける。

第5回 在日ブラジル人と在外ブラジル人について

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。

予習時間：45分

復習内容：授業で学んだ内容について、理解を深める。

復習時間：45分

ブラジルへの移民を経て日本へ来日し、一時滞在から長期滞在、定住する現状について述べる。さらに日本への移住は世界へ移住する動きの中に居続けることについて学ぶ。

第6回 多文化社会フィリピン

予習内容：16世紀の大航海時代の世界史とフィリピンの地理的位置を予習する。

予習時間：60分

復習内容：歴史の変遷とフィリピンの多文化社会の関係について理解を深める。

復習時間：60分

島嶼国フィリピンの多彩な土着文化と西洋文化との融合の歴史的背景を理解し、知られざる日本とのかかわりを発見する。

第7回 多言語社会フィリピン

予習内容：Bilingual, multilingual, 「言語」、と「方言」について考える。

予習時間：60分

復習内容：フィリピンの主要言語と地理的關係を理解する。

復習時間：60分

共通語の英語とPipino語の他に少なくとも8つの異なる言語が混在する現状や日常生活における多言語コミュニケーションを理解する。

第8回 現代フィリピンと環境問題

予習内容：温暖化以外の地球規模環境問題について考える。

予習時間：60分

復習内容：プレゼンテーションした環境問題について考察し、理解を深める。

復習時間：60分

フィリピンの環境問題と国際情勢のつながりを知り、環境問題のグローバル化に対処するための異文化理解について考える。

第9回 フランスの文化とフランス語の世界

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。

予習時間：45分

復習内容：授業で学んだ内容について、プリントを見て理解を深めておく。

復習時間：45分

フランスという国と地域のあり方、首都パリと地方との関係などについて紹介し、全体的な特徴を捉えられるようにする。またフランス人はどのような起源を持つ人々で、フランス語とい言語がどのような過程を経て成立してきたかを考える。

第10回 世界のフランス語とフランスの地域言語

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。

予習時間：45分

復習内容：授業で学んだ内容について、プリントをみて理解を深めておく。

復習時間：45分

フランス語はフランスだけではなく、世界中で広く使われている。言語としてのフランス語の分布と現状について考える。またフランス国内には現在でも独自の文化や地域言語を保ち続けているところもある。それらの文化を見るとともに、各地域に残る少数言語とその保存への試みについて考える。フランスは一方では中央集権的な国家だが、もともと多様な民族・文化から成る複合体であり、現在の

第11回 移民社会フランスと言語

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。

予習時間：45分

復習内容：授業で学んだ内容について、プリントを見て理解を深めておく。

復習時間：45分

フランスはヨーロッパの中でも多様な民族の人々が共存する「移民大国」である。もとのフランス人に加え、アラブ系、アフリカ系、ユダヤ系、中国系、東南アジア系など多様な住人がその文化を保持しながら暮らしている。そのようなフランス人の姿と言語の位置付けについて考える。

第12回 世界の言語分布・言語の消滅と保護・言語政策

予習内容：世界中に存在する言語について考える。

予習時間：60分

復習内容：配布されたプリント教材の内容を整理し、理解を深める。

復習時間：60分

共通語、威信言語、大言語、小言語、地域言語等の分布状況を学び、言語地図的な理解を深める。グローバル化等の影響で衰退し、消滅した弱小言語の実態を知るとともに、それらを保護しようとする試みも紹介する。加えて、それぞれの言語の普及拡大を計る国家による言語政策の実例も学ぶ。

第13回 英語1強時代と経済・ESPの英語

予習内容：英語とグローバル化経済について考える。

予習時間：60分

復習内容：配布されたプリント教材の内容を整理し、理解を深める。

復習時間：60分

英語の言語背景を知り、徐々に世界言語になったプロセスの一端を学ぶ。英語が支配言語になり、英語1強時代とも呼ばれる今日、その背景には大きく経済も関わっている。グローバル化時代を牽引する航空産業では100%英語のみで統一されている。ESP英語の代表例である航空英語の背景や特徴を学ぶ。

第14回 複言語主義と異文化コミュニケーション・ミニ・レポート

予習内容：英語以外の有力言語について現在の立ち位置を考える。

1回目と2回目の講義内容について再度理解度をチェックする。

予習時間：90分

復習内容：配布されたプリント教材の内容を整理し、理解を深める。

復習時間：30分

英語1強時代に対抗する複言語主義という考え方を紹介する。国連やEU等の言語政策や言語共通参照枠について学ぶ。さらに異文化コミュニケーション理解で重要なハイコンテキスト、ローコンテキストについても理解を深める。最後に講義内容についてのミニ・レポート作成。

英語以外の有力言語について現在の立ち位置を考える。1回目と2回目の講義内容について再度理解度をチェックする。

第15回 ことばと文化・まとめ

予習内容：14回の講義内容について振り返り、理解度チェックをするとともに、学んだことや気づいたこと、今後の行動に繋がることを考える。

予習時間：60分

復習内容：15回の授業を通して「言語文化」について考えたことを振り返る。

復習時間：30分

言語文化学入門の授業を通して学んだこと、気づいたことを振り返る。また、日本語を客観的に見つめなおす機会を持つとともに、日本の多言語多文化に関する言語景観について各々発表する。

■ホームページ

科目名 :	教養特殊講義B				
英文名 :	Special Study of Liberal Arts B				
担当者 :	橋本 剛幸				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	集中
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

「もの・仕組みづくり総合学習」

- ・社会で活用、運用、利用されている製品、サービス、取り組みを題材とし、題材そのものだけでなく、題材が生み出された①社会的・文化的・歴史的背景、②技術的側面、③題材の現状と問題点を東大阪キャンパス「実学セル」を拠点としたアクティブラーニングで総合的に学習する。
- ・東大阪キャンパス「アカデミックシアター」を利用し、その機能を十分活用するため、文理融合で学生の主体的学習を中心として行う。
- ・産学連携の観点から、実際に行われている工場や現場を見学し、知識を深める。
- ・3日間の集中講義で行い、1日目文系および理系講義、2日目工場見学、3日目グループごとのプレゼンテーションを行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「発酵食品」を具体的題材とし、その技術的側面・文化的側面について鳥瞰的・総合的に学習する。

自ら学ぶ姿勢とプレゼンテーション能力を養い、一つのテーマに対して討議することでお互いの知識を深めることを目標とする。

この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2, 3, 5の達成に関与しています

■ 成績評価方法および基準

文系および理系講義のまとめシートをルーブリック評価表により評価 50%

工場見学における質問内容や行動をルーブリック評価表により評価 10%

プレゼンテーション準備、プレゼンテーション内容及び質問内容をルーブリック評価表により評価 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

工場見学におけるの行動や質問内容について、各個人にアドバイスや評価内容の説明を行う。

グループ活動における、ディスカッション内容やプレゼンテーション準備について、活動場所を教員が回り、各グループにアドバイスなどを行う。

各グループのプレゼンテーション終了後に行うまとめの中で、後評を行う。

■ 教科書

特に指定なし。東大阪キャンパス「アカデミックシアター」を十分に活用し、自ら見つけ、参考とする。

■ 参考文献

特に指定なし。東大阪キャンパス「アカデミックシアター」を十分に活用し、自ら見つけ、参考とする。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

橋本研究室（2号館5階）・hasimoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

3日間の集中講義で行う。

第1日目

オリエンテーション(資料配布、授業の進め方について説明、グループ分け、リーダー選出など)

文系講義Ⅰ

文系講義Ⅱ

理系講義

調査及び分析シート・見学シート作成

第2日目

工場見学(貸し切りバスで移動、工場を見学)

第3日目

グループワーク(プレゼンテーションに向けた準備)

各グループによるプレゼンテーション、質疑応答

各シートの完成、提出

予習内容：【第1日目、講義に向けて】「発酵食品」に対する基礎知識

【第2日目、工場見学に向けて】各シートを完成させ、質問内容の検討

【第3日目、グループワークに向けて】各自の課題、提案シートの完成、プレゼンテーションに向けての資料集め等

予習時間：120分

復習内容：【第1日目、講義】各シートの完成、講義内容の整理

【第2日目、工場見学】見学シートの完成、工場での学びの整理

【第3日目、グループワーク】グループワークにおける学びの整理、プレゼンテーション資料作成技術のまとめ、講義全体を通しての反省

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	日本語の技法				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	梶山 慎一郎・吉田 久・村田 大・松本 晋一郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

入学者の日本語表現について基礎学力向上と自分の論点や考え方について、レポートや論文で分かりやすく論理的に表現する能力を学修します。授業後、ワークブックにより授業内容の確認をし、さらにe-Learningによる授業内容の再確認をします。

【e-Learning演習概要】

講義終了後e-Learning演習にて学習していく。内容は演習・文章添削など（60分以内で完了できる内容×10回とする）。次回の講義までに提出し、必ず添削を受けなければならない。

■ 学習・教育目標及び到達目標

<学習・教育目標> 自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目標とする。

<到達目標> 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。

1. 自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。
2. レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目標とする。
3. 自分の日本語表現力を各テストにて自覚し、論理的な文章を書くために基礎的な事柄を学習していく。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1および2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%

e-Learning 40%

ワークブック 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に、模範答案をWEBにて配信します。

ワークブック演習の解答については、授業最終日に解答・解説を配布します。

確認テストの解説は、次回授業内に実施する。

■ 教科書

[ISBN]9784900930889C1081 『日本語表現法（改訂版）』（株式会社ワオ・コーポレーション）

[ISBN]9784900930889 「日本語表現法ワークブック」（株式会社ワオ・コーポレーション）

■ 参考文献

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

基礎教育センター（3号館2階就職情報室内）

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス：講義の概要と進め方についての説明、自己診断テスト

文章の書き方：簡潔な文章の書き方

予習内容：教科書第1章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

第2回 文章の書き方：まぎらわしさを排除する

予習内容：教科書第2章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第1章・第2章の内容に関する講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。演習問題解く。

復習時間：60分

第3回 文章の書き方：道筋を示す

予習内容：教科書第3章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第2章復習問題・第3章の内容に関する演習問題解く。

講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

復習時間：60分

第4回 文章の書き方：文章を論理的に構成する

予習内容：教科書第4章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第3章復習問題・第4章の内容に関する演習問題解く。

講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

復習時間：60分

第5回 レポートの書き方：アカデミックライティングとは 確認テスト①

予習内容：教科書第5章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

第6回 レポートの書き方：レポートの基本と目的

予習内容：教科書第6章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第5章・第6章の内容に関する演習問題解く。

講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

復習時間：60分

第7回 レポートの書き方：レポートの事前準備と全体の構成

予習内容：教科書第7章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第6章復習問題・第7章の内容に関する演習問題解く。

講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

復習時間：60分

第8回 レポートの書き方：事実と意見の組み立て

予習内容：教科書第8章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第7章復習問題・第8章の内容に関する演習問題解く。

講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

復習時間：60分

第9回 レポートの書き方：データ分析とグラフ・表の活用

予習内容：教科書第9章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第8章復習問題・第9章の内容に関する演習問題解く。

講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

復習時間：60分

第10回 レポートの書き方：要約、批評、報告の文章 確認テスト②

予習内容：教科書第10章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

第11回 論文の書き方：テーマの見つけ方・捉え方

予習内容：教科書第11章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第10章・第11章の内容に関する演習問題解く。

講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

復習時間：60分

第12回 論文の書き方 : 論理展開の思考と記述 1

予習内容：教科書第12章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第11章復習問題・第12章の内容に関する演習問題解く。

講義ノートを読み返し、教科書の練習問題を解く。

復習時間：60分

第13回 論文の書き方 : 論理展開の思考と記述2

予習内容：教科書第13章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書第12章復習問題・第13章の内容に関する演習問題解く。

復習時間：60分

第14回 論文の書き方 : 論文の表記と記号

予習内容：教科書第14章、第16章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：120分

第15回 論文の書き方 : 長文の読解と要約文

予習内容：教科書第15章、第17章を読み、分からない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：120分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	基礎ゼミ						
英文名 :	Foundation Seminar						
担当者 :	全教員						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 通年	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことをおこないます。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は、教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザーになっています。

■ 学習・教育目標及び到達目標

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚を持つ。
MyCampusPlanを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■ 教科書

担当教員により指示があります。

■ 参考文献

担当教員により指示があります。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

（代表）吉田研究室（東1号館4階418）・yoshida@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

第2回目の授業時に担当教員より知らされます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の建学の精神と教育理念 1

第3回 近畿大学の建学の精神と教育理念 2

第4回 生物理工学部の歴史と理念

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定 グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備 情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備 キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備 論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備 ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備 全体のチェック

第13回 プレゼンテーション 自分が発表する

第14回 プレゼンテーション 他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ ホームページ

科目名 :	思考の技術						
英文名 :	The Art of Thinking						
担当者 :	平木 光二						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

<思考の技術>という思考を一つの技術ととらえるメソッドについての入門的内容を学びます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

演習問題に加え、グループでのライティング作業を通じて、思考の技術・発表の技術を磨くことを目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
授業中課題 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

指定しない。毎授業時、演習問題を配布する。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・hirakik@pj9.so-net.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 思考の技術——論理的思考と論理的表現

予習内容：本講義の前半では、Discourse Markerに関する演習問題を解きながら、思考の技術の基礎を学習しますので、受講者はDiscourse Markerとはなにかについて、各自調べて予備知識をもっておくこと。

第2回 Discourse Markerに関する演習問題（1）

第3回 Discourse Markerに関する演習問題（2）

第4回 Discourse Markerに関する演習問題（3）

第5回 事実と意見

第6回 論証形式—主題提示文

第7回 論証形式—理由・根拠の提示

第8回 異論・批判・反論

第9回 仮説形成（1）

第10回 仮説形成（2）

第11回 確認テストの実施

予習内容：受講者の理解度を確認するために、確認テストを実施する。

既習の演習問題のうち、重要な問題を重点的にしっかり見直して理解を深めておくこと。

第12回 非論理的文章のre-writing演習

第13回 パラグラフ・ライティングの指導

第14回 レポート作成

第15回 グループでのライティング作業

定期試験

問題は全問記述式とする。

■ ホームページ

科目名 :	キャリアデザイン				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	中村 弘成				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

キャリアとは仕事人生のことを指す。その仕事人生をうまくデザインするには、人間は社会的生物であることを認識することが必要である。すなわち、自分を知り、社会の大きな流れを知り、それらを「統合」するスキルを身につけることで可能になる。

当授業の最大の特徴は、これから学生に起こり得るであろう「状況」をテキストで「模擬体験」してもらいながら授業を進めることである。

誰でも先のことを考えると不安になってくる。特に人生経験の少ない学生にとってはなおさらである。だからこそ、模擬体験を通して、これから必要な知識やスキルを学ぶことは、不安の払拭や軽減に役立つものと信じている。また、充実した大学生活の指針作りにも影響するであろう。

授業では、まずキャリアデザインとは何なのかを解説し、同時に世の中の大きな流れが何を意味するのか、そして、経済についても概説し、それらがキャリアデザインにどう影響していくのかを考えていく。その後、自己分析を通して「自分を知る」のだが、それは今の自分を客観的に認識しておく、認識できることがキャリアデザインに必須だからである。また、自分の欠点を改善するためではなく、伸ばすべき点をどう伸ばしていくのかを知るためでもある。それ以降は、必要なスキル（授業計画を参照）を全員参加型のワークで進めていく。

全員参加型はグループワークを意味していない。集合教育のメリットを最大限に生かした授業の進め方と考えてもらいたい。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- (1) キャリアデザインの方法、必要な知識とスキルを示すことができ、
- (2) 学んだことの学生生活への応用、経験した学生生活の就活への関係づけができ、
- (3) 未知の分野に挑む心構えやコミュニケーション力の強化

が可能となります。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

小テスト 30%

授業中課題 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業中課題について：次回以降に模範例をスライドで示します。

小テストについて：次回以降に模範解答をスライドで示します。

■ 教科書

第2回目の授業から使用する。

書籍名：仕事に就くときの不安解消 第1歩 問題集 - ヒューマンスキル問題集シリーズVol. 2 (MyISBN - デザインエッグ社)

著者名：中村弘成

出版社：デザインエッグ社

ISBNコード：978-4865433470

参考：当書籍はPOD書籍なので、アマゾンで購入が便利。大学の販売センターでは購入できないと思われる。

■ 参考文献

適宜授業時に紹介。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠しています。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）。hnakamur@silver.ocn.ne.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 「世の中の大きな流れを知らなければ始まらない」

予習内容：世の中の大きな流れを最低1つは言えるようにしておくこと。

予習時間：5分

復習内容：大きな流れとキャリアデザインの関係とは？ 経済とは？

復習時間：5分

- ・授業の進め方と特徴、評価の仕方など。
- ・世の中の大きな流れ。
- ・経済とは。
- ・企業を選択する基準とは？

第2回 「企業や社会が求める人物像を知って行動することが近道Ⅰ」

予習内容：企業が求める人物像を最低1つは言えるようにしておくこと。

予習時間：5分

復習内容：企業が求める人物像とは？ 3つの論理的な伝え方の形式を言えること。

復習時間：5分

- ・今回からテキストを使用。
- ・「神田風太の第1話」を早読み&要約。
- ・企業が求める人物像の解釈とこれからに必要な行動。
- ・就活にもビジネスにも最低限必要な話法。
- ・SDS法。
- ・PREP法。
- ・DESC法。

第3回 「企業や社会が求める人物像を知って行動することが近道Ⅱ」

予習内容：企業が求める人物像にどのように近づくのか？ 自分なりの考えを言えるようにしておくこと。

予習時間：5分

復習内容：学生生活の行動と企業が求める人物像を統合できるか。

復習時間：5分

- ・新入社員の役割もわかっているれば就活はスムーズ。
- ・「神田風太の第1話」を早読み&要約。
- ・企業が求める人物像の解釈とこれからに必要な行動。

第4回 「自分を知ることで他人が理解できる」

予習内容：自分に期待していいこと、期待しないほうがいいことを言えるようにしておくこと。

予習時間：5分

復習内容：自分に期待していいこと、期待しないほうがいいことが言える。気質の活用方法が言える。

復習時間：10分

- ・「神田風太の第2話」を早読み&要約。
- ・自己概念とは。
- ・自分の気質、信念価値観、興味を認識する。
- ・自分に期待していいこと、期待しない方がいいこと。

第5回 「キャリアデザインにもビジネスにも必須な解決志向を学ぶ」

予習内容：将来の自分のイメージを具体的に言えるようにしておくこと。

予習時間：5分

復習内容：目的から逆算して計画を立てる方法が言える。

復習時間：5分

- ・「神田風太の第3話」を早読み&要約。
- ・イメージの重要性を学ぶ。
- ・1年先を解決志向でブレイクダウン。
- ・「10年後のあなたは？」「あなたはどんな人材になりたいか？」

第6回 「アサーティブなコミュニケーションの必要性Ⅰ」

予習内容：あなたの話し方の特徴を整理しておくこと

予習時間：5分

復習内容：アサーティブなコミュニケーションのメリットと形式が言える。

復習時間：5分

- ・「神風福男の第7話」を早読み&要約。
- ・ストレスを溜めない溜めにくいコミュニケーション。
- ・人を動かすコミュニケーション。

第7回 「アサーティブなコミュニケーションの必要性Ⅱ」

予習内容：あなたの相談の仕方の特徴を整理しておくこと。

予習時間：5分

復習内容：提案型相談のメリットと形式を言える。主観と客観の違いを言える。

復習時間：5分

- ・評価が高くなる「提案型相談」の方法。
- ・主観と客観の違い。

第8回 小テストⅠ

予習内容：これまでの授業内容について復習しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：小テストの後に示す予定の回答例を参考に改善を図ること。回答例を示すのは次回以降になる可能性もある。

復習時間：30分

- ・これまでの範囲の理解度テスト。
- ・テスト時間は45分間。
- ・45分間は授業に使用。
- ・テキスト持ち込みOKだが、資料などの持ち込みはできない。

第9回 「残業が多いとブラック企業か？ブラックを考える」

予習内容：あなたのブラック企業の定義が言えるようにしておくこと。

予習時間：5分

復習内容：ブラック企業の定義が言えること。

復習時間：5分

- ・「神風福男の第8話」を早読み&要約。
- ・残業はどのようにして増えるのか？
- ・ブラック企業とは？

第10回 「キャリアは自分の思い込みとの闘い？」

予習内容：あなたの思い込みには何があるか？

予習時間：5分

復習内容：思い込みに対する対象が言える。

復習時間：5分

- ・「音無安子の第9話」を早読み&要約。
- ・音無安子に期待していいこと、期待しない方がいいこと。
- ・部下の伸ばし方。
- ・自分を認識することは、自分を客観的にみること。

第11回 「アナロジー思考ができれば仕事人生は大きく変わるⅠ」

予習内容：これまでの学生生活の中の行動で、企業にアピールできるものはあるか考えておくこと。

予習時間：5分

復習内容：アナロジー思考とは？

復習時間：5分

- ・「音無安子の第10話」を早読み&要約。
- ・キャリアデザインの重要な基礎とは。
- ・「統合」に必要な構造と関係性の類似点の把握。

第12回 「アナロジー思考ができれば仕事人生は大きく変わるⅡ」

予習内容：仮設定した会社への志望動機を書いてくること。

予習時間：30分

復習内容：志望動機の改善ができること。

復習時間：30分

- ・就活へ活かす（志望動機への活用）。

第13回 「信頼される傾聴スキルは、仕事人生に必須のスキル」

予習内容：あなたの話の聞き方を整理しておくこと。

予習時間：10分

復習内容：傾聴のメリット・デメリットを話せること。

復習時間：5分

- ・「音無安子の第11話」を早読み&要約。
- ・FBIも活用する重要スキル。
- ・トップの成績を収めたいなら、話し上手より聴き上手。

第14回 「グループディスカッションに活かされる傾聴スキル」

予習内容：グループディスカッションをする際に、気になることを整理しておくこと。

予習時間：10分

復習内容：グループディスカッションの進め方と注意点を言える。

復習時間：10分

- ・グループディスカッションの目的と進め方。
- ・一番重要なのは、場の活性化。そのために必要な傾聴スキル。
- ・司会役（進行役）を体験しておくことGD上手になれる。

第15回 小テストⅡ

予習内容：これまでの授業内容について復習しておくこと。（第9回以降）

予習時間：60分

復習内容：小テストの後に示す回答例を参考に改善を図ること。

復習時間：30分

- ・第1回の小テスト以降から、これまでの範囲の理解度テスト。
- ・テスト時間は45分間。
- ・45分間は授業に使用。
- ・テキスト持ち込みOKだが、資料などの持ち込みはできない。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	社会奉仕実習				
英文名 :	Volunteer Learning				
担当者 :	新田 和宏				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

<本講座を学ぶ目的>

本講座は、ボランティアに関する理論的な考察を交えながら、実際のボランティア活動を通じ、ボランティアについて学ぶことを目的とする。

<本講座において学ぶ意義>

昨今、大学生であるならば、在学期間中に、少なくとも何か一つ、ボランティアを行うことが求められている次第である。しかし、本講座は単にボランティア活動の場を提供することを主眼するものではない。本講座の学び意義は、机上だけでボランティアについて学ぶのではなく、実際にボランティアを実践することで、「ボランティア・ラーニング」すなわちボランティア活動を通じながら学びを深めることにある。

<本講座の方法>

事前導入講義は、ワークショップや演劇などの手法を取り入れ、アクティブ・ラーニングとして展開する。

尚、本講座は、事前導入授業の後、大学が指定した実習施設（社会福祉施設もしくはNGO・NPOおよびボランティア団体）において、ボランティア活動としての実習（合計22時間以上）を行う。

尚、本講座は実習先の受け入れ事情を鑑み、履修者数を制限する場合がある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①. ボランティア活動に求められる基礎能力として、ホスピタリティの精神に基づき、当事者に適切なアウトリーチを行える能力。②. とりわけ、当事者のニーズを先読みできる能力。③. ボランティア活動に関心を示し、かつまた継続して行えるモチベーションを持ち続ける能力。④. 社会人として求められる社会貢献への取り組みに参加しえる態度と意欲。

<ディプロマポリシーとの関連>

「社会奉仕実習」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的3の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

提出された『社会奉仕実習』の課題レポートにコメントを加えた上で、学生本人へ『社会奉仕実習簿』を返却する。

■ 教科書

新田和宏 編『2018年度・社会奉仕実習簿』近畿大学生物理工学部（2018）

■ 参考文献

新田和宏『参加型学習』地球市民教育総合研究所（2001）

平田 哲『What ボランティア』アジアボランティアセンター（2005）

[ISBN]9784750317984 『まんがで学ぶ開発教育 世界と地球の困った現実』（みなみ ななみ, 明石書店：2003）

[ISBN]9784641076587 『NPOと市民社会—アソシエーション論の可能性』（佐藤 慶幸, 有斐閣：2002）

■ 関連科目

持続可能な社会論 インターンシップ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

社会奉仕実習という科目は、全7回の事前導入授業と3日以上の実習によって構成されている。シラバスの記載上、第1回から第7回は事前導入授業として、下記における「授業計画の項目・内容」を参照し、また第8回から第15回は社会奉仕実習先であるNGO・NPOや社会福祉法人などにおける社会奉仕実習なのでシラバスにその内容は記載できない。

第1回 「社会奉仕実習」の履修方法と実習施設の紹介

予習内容：Exercise①次の設問について私見を用意する。i) ボランティアとは何か、それを一言のキーワードで表現する。
ii) ボランティアを色に喩えると何色か。またその理由について。iii) 自分のためにすることと、他者のためにすることとを比較すると、どちらが容易か。またその理由について。iv) ボランティアは一切の対価を求めない無償の行為なのか？

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）①のミッションを達成する。

復習時間：90分

第2回 ボランティア概論

予習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習簿』の中に記載されているExercise②のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）②のミッションを達成する。

復習時間：90分

第3回 NGO・NPO概論

予習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習簿』の中に記載されているExercise③のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）③のミッションを達成する。

復習時間：90分

第4回 福祉・環境・国際協力ボランティア論

予習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習簿』の中に記載されているExercise④のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）④のミッションを達成する。

復習時間：90分

第5回 コミュニケーション・スキル

予習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習簿』の中に記載されているExercise⑤のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑤のミッションを達成する。

復習時間：90分

第6回 コラボレーション・スキル

予習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習簿』の中に記載されているExercise⑥のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑥のミッションを達成する。

復習時間：90分

第7回 ボランティア・ラーニング

予習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習簿』の中に記載されているExercise⑦のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑦のミッションを達成する。

復習時間：90分

第8回 社会奉仕実習

第9回 社会奉仕実習

第10回 社会奉仕実習

第11回 社会奉仕実習

第12回 社会奉仕実習

第13回 社会奉仕実習

第14回 社会奉仕実習

第15回 社会奉仕実習

試験は行わずレポート課題を提示する。

■ホームページ

科目名 :	科学技術と人間・社会				
英文名 :	Science Technology, Human and Society				
担当者 :	久保田 均				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

[授業概要]

産業革命以降、科学技術は、著しく人類の生活の向上、福祉の増進に貢献をしてきた。一方、同時に種々の問題も引き起こしその都度乗り越えてきている。現在は第4次産業革命の最中とといわれていて、ロボット、ビッグデータ・AI、インターネットにより大きく社会が変革しようとしている。本科目では、技術者を目指す学生に対して、人間・社会に対しての接点を技術者倫理から解説し、事例演習を通して技術者の使命・役割を総合的に学習する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

これからの技術者として知っておかねばならない横断的な基礎知識の理解、応用力を養う事を目的とする。その中で、最近話題のテーマの事例を含めて学習しレポートを作成し発表する。その中で、受講者の文章表現力、発表力も養う。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

授業中の演習、および、レポート作成、発表 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては、事例と演習の中で、発表して頂きます。

また、その発表についての講評もして頂きます。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

なし。

■ 関連科目

なし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・kubota@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業の前後の休憩時間。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第2回 知的財産権と特許

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第3回 特許の書き方と演習

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第4回 警笛鳴らしと内部告発：スペースシャトル爆発事故

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第5回 事例演習

復習内容：講義の学習

復習時間：30分

第6回 日常の安全活動、製造物責任と製品安全

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第7回 システム工学における安全設計手法

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第8回 予防原則：遺伝子組み換え作物

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第9回 事例演習

復習内容：講義の理解

第10回 エネルギー

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第11回 環境

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第12回 事例演習

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

第13回 ビッグデータ・人工知能とロボット

復習内容：講義の理解

第14回 インターネットの進化

復習内容：講義の理解

第15回 事例演習

復習内容：講義の理解

復習時間：30分

定期試験

■ **ホームページ**

科目名 :	インターンシップ				
英文名 :	Internship				
担当者 :	新田 和宏				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	通年
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

〈本講座を学ぶ目的〉

本講座は、前期における事前講義を踏まえながら、夏季休暇中のインターンシップ研修（30時間以上）を通じて、学生が企業及び行政機関等の業務を直接体験することにより、仕事に取り組む姿勢や態度、職場の人間関係、並びに業務内容を理解しつつ、自己の職業意識・専門の実務能力を高め、もって学生自身の主体的かつ真摯な就職活動及び職業選択・適性判断・将来設計、並びに自己改善能力の構築を促す目的で行う。したがって、本講座の受講にあたっては、職業意識及び学業意識が高く、積極的な態度を示す学生の受講が望まれる。

〈本講座において学ぶ意義〉

本講座を学ぶ意義は、「仕事の哲学」を考えることにより、インターンシップ受講後における就職活動およびキャリア形成の礎となるところにある。

尚、インターンシップ研修の受け入れ先の企業及び行政機関等については、主に和歌山県経営者協会「インターンシップ制度推進委員会」加盟の企業及び行政機関等から学生が選択する。

〈本講座の方法〉

事前講義は、エクササイズとワークショップ、ふり返しシート、および明快なミニ・レクチャーを交えながら、ディープ・アクティブ・ラーニングとして展開する。

尚、本講座は履修にあたり選抜試験を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①. 就職活動およびキャリア形成に対する意欲的なモチベーションを継続しえる能力。②. 仕事および職業に対する基本的な判断の軸となる「仕事の哲学」を形成する基本的な能力。③. プレゼンテーションの基本的な表現技法。④. 言語的・非言語的コミュニケーション能力。⑤. コラボレーションおよびファシリテートの基礎能力。⑥. インターンシップを通じて学び得たことを的確に表現しえる能力。⑦. 財務諸表分析を踏まえた企業研究を進められる基礎能力。

〈ディプロマポリシーとの関連〉

「インターンシップ」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的3の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

事後報告会において予め提出された課題レポートに関してコメントを加える。

■ 教科書

新田和宏 編『2018年度・インターンシップ研修簿』近畿大学生物理工学部（2018）

■ 参考文献

- ①. OJTソリューションズ『トヨタの問題解決』中経出版、2014年、[ISBN]9784046003126
- ②. 高田明『伝えることから始めよう』東洋経済新報社、2017年 [ISBN]9784492045909
- ③. 佐藤利明『寅さんのことば』東京新聞、2014年 [ISBN]9784808309824
- ④. 高城幸司『社内政治の教科書』ダイヤモンド社、2014年 [ISBN]9784478028339
- ⑤. 山田昭男『働き方バイブル』東洋経済新報社、2015年 [ISBN]9784492045749
- ⑥. 山田昭男『稼ぎたければ、働くな』サンマーク出版、2012年 [ISBN]9784763132475
- ⑦. モリー・ステットナー『新米リーダー10のスキル』ディスカヴァー・トゥエンティワン、2003年 [ISBN]488759268XC0034
- ⑧. 松下直子『採用・面接で「採ってはいけない人」の見分け方』同文館出版、2012年 [ISBN]9784495598617
- ⑨. 経済産業省『ホワイト企業』文藝春秋、2013年 [ISBN]9784163768403
- ⑩. ムーギー・キム『世界中のエリートの働き方を1冊にまとめてみた』東洋経済新報社、2013年 [ISBN]9784492045176

- ⑪. 渡邊正裕『これが働きたい会社だ』幻冬舎、2014年 [ISBN]4344006992
- ⑫. リッチ・カールガード『グレートカンパニー』ダイヤモンド社、2015年 [ISBN]9784478039618
- ⑬. JALアカデミー『美しい食事のマナー』成美堂出版、2006年 [ISBN]4415035930
- ⑭. 寿マリコ『好印象で面接に勝つ！就活メイク講座』ミネルヴァ書房、2014年 [ISBN]9784623070756

■ 関連科目

社会奉仕実習

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

通年科目の扱いではあるが、シラバスの記載上、第1回から第15回は事前導入授業として、下記における「授業計画の項目・内容」を参照し、また第16回から第29回はインターンシップ研修先の企業・行政機関等におけるインターンシップ研修に該当するのでシラバスでは記載できない。尚、第30回は事後報告会として下記における第30回「授業計画の項目・内容」を参照すること。

第1回 インターンシップ・プログラムと自己紹介

予習内容：Exercise①：まず、自己アピールしえるポイントを3つ絞る。次に、それを自己アピールのストーリーに落とし込む。そして、事前自己演習として、鏡を前に置き、1分間で、自己アピールのプレゼンテーションを、繰り返し行う。

予習時間：90分

復習内容：第1講の講義を踏まえながら、再度Exercise①を研鑽し、自己アピールのプレゼンテーションのパフォーマンスを高める。

復習時間：90分

第2回 セルフ・マネジメントとビジネス・メール

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise②のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）②のミッションを達成する。

復習時間：90分

第3回 企業研究① 基本情報収集

予習内容：予習 テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise③のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）③のミッションを達成する。

復習時間：90分

第4回 自己表現とコミュニケーション・スキル

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise④のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）④のミッションを達成する。

復習時間：90分

第5回 プレゼンテーション・スキル①研究テーマ

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑤のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑤のミッションを達成する。

復習時間：90分

第6回 プレゼンテーション・スキル③「商品開発」

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑥のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑥のミッションを達成する。

成する。

復習時間：90分

第7回 ソリューション・スキル

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑦のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑦のミッションを達成する。

復習時間：90分

第8回 ヒューマン・リレーション・スキル

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑧のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑧のミッションを達成する。

復習時間：90分

第9回 ビジネス・マナー①コミュニケーション

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑨のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑨のミッションを達成する。

復習時間：90分

第10回 ビジネス・マナー②パフォーマンス

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑩のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑩のミッションを達成する。

復習時間：90分

第11回 ビジネス・マナー③状況判断Ⅰ

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑪のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑪のミッションを達成する。

復習時間：90分

第12回 ビジネス・マナー④状況判断Ⅱ

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑫のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑫のミッションを達成する。

復習時間：90分

第13回 リーダーシップ・スキル

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑬のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑬のミッションを達成する。

復習時間：90分

第14回 企業研究②財務諸表

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑭のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑭のミッションを達成する。

復習時間：90分

第15回 スケジュール管理と手帖術

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑮のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑮のミッションを達成する。

復習時間：90分

試験は行わずレポート課題を提示する。

第16回 ガイダンス

第17回 インターンシップ研修

第18回 インターンシップ研修

第19回 インターンシップ研修

第20回 インターンシップ研修

第21回 インターンシップ研修

第22回 インターンシップ研修

第23回 インターンシップ研修

第24回 インターンシップ研修

第25回 インターンシップ研修

第26回 インターンシップ研修

第27回 インターンシップ研修

第28回 インターンシップ研修

第29回 インターンシップ研修

第30回 事後報告会

予習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑩のミッションを達成する。

予習時間：90分

復習内容：テキスト『2018年度インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑩のミッションを達成する。

復習時間：90分

試験は行わず課題を提示する。

■ ホームページ

科目名 :	キャリアインターンシップ				
英文名 :	Career Internship				
担当者 :	各学科担当教員				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	集中
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

本講座は、事前研修（集中講座）を実施し、インターンシップ研修を行う際における、社会で働く心構え、インターンシップへの参加目的の明確化、ビジネスマナーなどを学び、身に付けます。さらに、インターンシップ研修後は、事後研修を実施し、インターンシップ研修で学んだことをさらに深めて考えることで、今後の自らの専攻における学習の目標化や将来の進路選択に活かすことを目的とします。

尚、インターンシップ研修の受け入れ先の企業及び行政機関等については、大学で紹介します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

社会で働く心構え、インターンシップへの参加目的の明確化、ビジネスマナーなどを学び身に付けます。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

事前授業・研修先での評価・および事後報告会における内容を総合的に判断して評価します。 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

インターンシップ研修生は、研修期間中、原則として毎日、研修の内容（①実習事項、②本日できたこと・できなかったこと、③反省・感想、④明日の目標）を「インターンシップ日誌」に記入し、研修先の指導者に提出する。研修先の指導者がフィードバックのコメントを「日誌」に記入し、翌日、研修生に返却する。

■ 教科書

プリント配布します。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

3号館2階・就職情報室 bost-shu@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～13:00

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスマナー1

第2回 ビジネスマナー2

第3回 企業研究

第4回 コミュニケーション1

第5回 コミュニケーション2

第6回 研修①

第7回 研修②

第8回 研修③

第9回 研修④

第10回 研修⑤

第11回 研修⑥

第12回 研修⑦

第13回 研修⑧

第14回 研修⑨

第15回 事後研修会

■ホームページ

科目名 :	スクールインターンシップ						
英文名 :	School Internship						
担当者 :	渡部 容子・小田 義隆						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	集中	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本科目は主に教職課程を履修する3年生と4年生を対象とするもので、本学部に協力して下さる公立の小中学校及び高等学校における、教職業務についての研修体験を通して学ぶことを目的としています。4年次で履修する「教育実習」では、教科指導（授業実習）に重点が置かれるのに対して、「スクール・インターンシップ」は、授業補助や児童・生徒との交流などに重点を置きながら、教職業務全般について経験することをねらいとしています。研修Ⅰ（事前研修、4時間）で、今日の教育課題、教員の職務と校務分掌等（下記、「授業計画の項目・内容」）について学んだ後に、本学部に近接する地域の公立学校で30時間以上の研修Ⅱ（実地研修）を行い、終了後、研修Ⅲ（事後研修、2時間）で、研修体験について報告・交流し、教職の意義、課題等について認識を深めます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

教科指導に重点を置く教育実習と違い、児童・生徒の理解と指導に重点を置きながら教職全般について経験することによって、教職に対する理解を深めることを学習・教育目標とします。また、研修体験を通して、履修生が自ら課題を見出し、それぞれが独自に到達目標を設定することも求められます。教師を志望する学生には、非常に有意義な実地研修です。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

授業中課題 50%

研修校での評価 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

スクール・インターンシップ反省会において、試験の要点について解説します。

■ 教科書

渡部容子・小田義隆『スクール・インターンシップBOOK 2018』（山口美術印刷、2018）

■ 参考文献

[ISBN]9784623058358『現代教育制度論』（土屋 基規, ミネルヴァ書房：2011）

[ISBN]9784406059084『生きづらい時代と自己肯定感 「自分が自分であって大丈夫」って?』（高垣 忠一郎, 新日本出版社：2015）

[ISBN]97840002845『学校の「空気」（若者の気分）』（本田 由紀, 岩波書店：2011）

[ISBN]9784480687029『先生はえらい（ちくまプリマー新書）』（内田樹, 筑摩書房：2015）

[ISBN]9784002709031『つながりを煽られる子どもたち——ネット依存といじめ問題を考える（岩波ブックレット）』（土井 隆義, 岩波書店：2014）

[ISBN]9784396316129『スクールカーストの闇 なぜ若者は便所飯をするのか』（和田秀樹, 祥伝社:2013）

■ 関連科目

教職に関する全科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

渡部研究室（2号館5階507室）・ywatanabe@waka.kindai.ac.jp

小田研究室（2号館5階509室）・oda@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

渡部・火曜3限

小田・木曜4限

事前にメールにてアポイントメントをとってください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 はじめに「実習の心得」

予習内容：実習を行うことに関する心得を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：実習を行うことに関して理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第2回 教員の服務

予習内容：教師の服務に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：教師の服務に関して理解したことに対する振り返りを行う。

復習時間：60分

第3回 教師の役割と仕事

予習内容：教師の役割に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：教師の役割について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第4回 教師の職務と校務分掌

予習内容：教師の職務や校務分掌等に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：教師の職務や校務分掌等について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第5回 学級経営と学校経営

予習内容：学校・学級経営に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：学校・学級経営について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第6回 教師の勤務実態

予習内容：教師の勤務実態に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：教師の勤務実態について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第7回 教師の悩みと不満

予習内容：教師の悩みに関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：教師の悩みについて理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第8回 学校の人間関係

予習内容：学校の人間関係に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：学校の人間関係について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第9回 教師の資質・能力

予習内容：教師の資質・能力に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：教師の資質・能力について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第10回 教師を支える学校事務職員

予習内容：学校事務職員に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：学校事務職員について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第11回 今日の教育課題

予習内容：現代的な教育課題に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：現代的な教育課題について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第12回 スクール・インターンシップを終えて

予習内容：スクールインターンシップでの体験をまとめておくこと。

予習時間：60分

復習内容：他のメンバーとのディスカッションを踏まえて教職とは何かを振り返る。

復習時間：60分

第13回 研修で経験した困難について

予習内容：インターンシップにおいて体験した困難をまとめておくこと。

予習時間：60分

復習内容：他のメンバーの困難等も検討し今日の教職の困難な部分を振り返る。

復習時間：60分

第14回 学校（教師・生徒）における研修の意義

予習内容：教師の研修に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。

予習時間：60分

復習内容：教師の研修に関して理解したことを振り返る。

復習時間：60分

第15回 教職をめざして 今後の学習課題

予習内容：スクールインターンシップを通して自らの今後の課題をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：他のメンバーの教職に関する課題を知った上で、各自の教職への課題を振り返り、まとめておく。

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	教養特殊講義C				
英文名 :	Special Study of Liberal Arts C				
担当者 :	三谷 匡・松本 朱実				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	集中
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	タイトル「動物園で学ぶ生物多様性保全」				

■ 授業概要・方法等

学生が自身の課題をもち探究する問題解決的な学習活動を、学内事前学習→アドベンチャーワールドにおけるフィールド実習→学内事後学習の流れで実施する。一日3コマ×5回で、事前学習（2日間）→アドベンチャーワールド（1日）→事後学習（2日間）の授業構成で実施する。

事前学習で課題を焦点化させ、目的に対応させた調査や観察をアドベンチャーワールドで実施し、結果の考察とまとめ、他者への伝達を事後学習で行う。話し合いやグループ活動による対話的な学習活動を重視し、学生自らが思考を表現し合い、考えや意見を交渉する活動を通して、深い学びの充実を図る。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は本授業を履修することで、

- 1) 学生による主体的・協同的で問題解決的な学習活動を、生きた動物や専門家を有する動物園フィールドにおいて具現化させる。
- 2) 動物園の社会的役割である、「種の保全」と「環境教育」の機能を、大学生の学習活動によって充実させる。
- 3) 近畿大学生物理工学部のカリキュラムポリシーにある、「5. 産学連携の推進と生きた実学教育」「8. 地域社会における意味のある学びの体験」を本プログラムで実践する。そしてディプロマポリシーにおける「2. 問いながら学ぶ学習習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を修得する」「4 専門領域における課題の意味を広い歴史観や深い人間観の中で位置づけようとする教養を身につける」学力の養成を目指す。

■ 成績評価方法および基準

講義ごとのコミュニケーションペーパー 15%

事前調査資料 20%

フィールド調査・観察記録 20%

調査結果発表（プレゼンテーション） 20%

調査結果レポート 20%

講義のふりかえり 5%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

講義ごと、また学習活動のプロセスにおいて学生の学びを評価し、常にフィードバックさせる。アクティブ・ラーニングにおける形成的評価を、指導と一体化させておこなう。

■ 教科書

適宜プリント配布。

■ 参考文献

動物園学入門,朝倉書店

飼育ハンドブック動物園編,日本動物園水族館協会

■ 関連科目

生物と地球環境, 生物学, 動物学, 実験動物学, 生命倫理, 持続可能な社会論, 科学技術と人間・社会

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

三谷研究室（東1号館5階521）・mitani@waka.kindai.ac.jp

松本朱実 akemims@gold.ocn.ne.jp

■ オフィスアワー

三谷 金曜2限。事前にアポイントメントを取ってください。
松本 講義前後

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本授業は前もって提出された計画書に基づき、その達成に至る手順を指導教員と綿密に打ち合わせてから作業に取り組む必要があります。演習の授業回数に決まりはありませんが、延べ30時間以上の演習と15時間以上の授業時間外学習が必要です。

第1回 オリエンテーション 自己紹介

予習内容：自分の問題意識や講義に期待すること

予習時間：60分

復習内容：講義の趣旨と自分の課題 仲間の関心事

復習時間：60分

講義の趣旨確認。動物園や本講義に関するそれぞれの関心事を出し合う。

第2回 動物園の社会的役割と方法（1） 種の保全

予習内容：絶滅危惧種や動物園における種の保全の取り組みを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：動物園の種の保全と、自分との関わりについて自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

種の保全の考え方と技術を学ぶ

第3回 動物園の社会的役割と方法（2） 環境教育

予習内容：動物園における教育活動を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：動物園における有効な環境教育を考える。

復習時間：60分

動物園における環境教育の考え方とスキルを学ぶ。

第4回 事前調査

予習内容：アドベンチャーワールドの展示動物の情報を調べる。

予習時間：60分

復習内容：自分が調査したい動物情報を集める。

復習時間：60分

アドベンチャーワールドの動物情報、野生の生態や生息状況、社会における動向などを調査する。

第5回 行動観察の方法 環境エンリッチメント

予習内容：環境エンリッチメントについて調べておく。

予習時間：60分

復習内容：行動研究の方法を復習しておく。

復習時間：60分

観科学的な行動観察方法と記録方法を学ぶ。

行動研究による環境エンリッチメントの評価について学ぶ。

第6回 課題の導出

予習内容：アドベンチャーワールドの運営方針と、自分が興味ある取り組みを調べる。

予習時間：60分

復習内容：アドベンチャーワールドで調べたい課題を焦点化させる。

復習時間：60分

アドベンチャーワールドで調査・観察する課題を見出すチームを編成する。

第7回 観察・調査・記録（1）

動物の行動研究

予習内容：観察する動物の野生の生態を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：観察した結果を整理する。

復習時間：60分

チームで担当する動物の行動観察と記録を行う。

第8回 観察・調査・記録（2）

来園者調査

予習内容：来園者調査方法を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：調査結果を整理する。

復習時間：60分

チームの担当動物を見た来園者の反応やつぶやきを記録する。

第9回 観察・調査・記録（3）

職員の仕事・思い・取り組み

予習内容：職員に聞き取りしたい内容を考えておく。

予習時間：60分

復習内容：聞き取りした結果を整理してまとめる。

復習時間：60分

アドベンチャーワールドの職員の仕事や思い、種の保全や環境教育に関わる取り組みを学ぶ。

第10回 調査結果の考察・整理（1）

予習内容：観察・調査した結果の整理方法を考えておく。

予習時間：60分

復習内容：観察・調査した結果と自分の考察をレポートにまとめる。

復習時間：60分

観察してわかったことや気づいたことをチームで出し合う。

第11回 観察調査結果のまとめ・考察・整理（2）

予習内容：観察・調査結果をチームとして合わせてまとめる方法を考えておく。

予習時間：60分

復習内容：チームによる調査・結果と考察内容をまとめる。

復習時間：60分

観察結果の考察を行う。

第12回 観察調査結果発表の準備

予習内容：動物園教育におけるプレゼンテーションの方法を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：有効な動物園教育の方法を検討する。

復習時間：60分

思考のまとめて考察した内容を、表現・伝達する準備を行う。

第13回 発表の練習

予習内容：発表内容を確認する。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を省察する。

復習時間：60分

プレゼンテーションを完成させ、練習、リハーサルを行う。

第14回 観察結果の発表会

予習内容：発表の事前練習を行う。

予習時間：60分

復習内容：発表内容に対する考察、他チーム発表の評価を行う。

復習時間：60分

観察調査した結果をチームで発表し合う。

アドベンチャーワールド職員に講評いただく。

第15回 学習活動のふりかえりと活用

予習内容：講義全体をふりかえる。

復習内容：講義全体で学んだことに基づく活用や提案を考える。

一連の講義で学んだことをふりかえる。今後の自分の生活や学び、社会に活用できることを考える。

■ホームページ

生物理工学部遺伝子工学科遺伝子発現制御学研究室 <http://www.waka.kindai.ac.jp/tea/sentan/kyoin/mitani.1/index.html>
動物教材研究所pocket <https://www.zoopocket.com/>

科目名 :	情報処理基礎 I						
英文名 :	Computer Literacy 1						
担当者 :	児玉 高志						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代社会、とりわけ科学技術分野に関連する領域ではコンピューターやネットワークの利用が急速に進んでいます。情報処理基礎Iでは、このような状況に対応して学習・研究を進めていくための基礎力を習得するために、生命科学分野全般に関連する情報処理技術について、入門的、導入的な内容を学修します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

授業を通じて、生命科学分野に関連するデータベースのインターネットを通じた利用方法などをはじめとするバイオインフォマティクスの様々な手法、コンピュータを用いた学術的な報告書の作成、確率・統計などデータ解析に必須の知識などの基礎についてじゅうぶん習得することを目標とします。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題 70%
定期試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の解答例は授業の際にファイルの配布などにより示し、解説も授業中に行います。

■ 教科書

授業時に課題ファイルを配布します。

■ 参考文献

授業時に適宜紹介します。

■ 関連科目

情報処理基礎 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) infokodama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生命と情報

情報伝達という観点から眺めた生命についての概論。
UNIVERSAL PASSPORTの使用法の習得。

第2回 現代の生命科学と情報

現代社会の中での生命科学の位置づけと、情報処理技術の関係についての概論。

第3回 インターネット利用の基礎

インターネット利用に関して、そのリテラシーの基礎を概観する。

第4回 バイオインフォマティクス概論

現代の生命科学で重要な位置を占めるバイオインフォマティクスについて、その概要を俯瞰する。

第5回 バイオインフォマティクス（遺伝子情報）

バイオインフォマティクスの中でも遺伝子情報に関する利用について説明する。

第6回 バイオインフォマティクス（蛋白質情報）

バイオインフォマティクスを利用した蛋白質情報の扱いについて説明する。

第7回 学術文書作成法基礎

ワープロソフトなどを利用した学術的な報告書などの作成方法に関して、その基礎から倫理的問題までを扱う。

第8回 表計算ソフトの利用

表計算ソフトの利用について、その機能の概要について説明する。

第9回 データ解析の基礎

表計算ソフトを利用したデータ解析について、データの入力から処理までの基礎について説明する。

第10回 グラフの作成法

表計算ソフトを利用したデータ解析の際にグラフを作成して利用する方法を説明する。

第11回 確率・統計（誤差の扱い）

データ解析の基礎として、誤差の扱いについて説明する。

第12回 確率・統計（検定）

データ解析の基礎として、モデルを用いた解析と検定について説明する。

第13回 確率・統計（線形回帰）

単純な相関を示すデータに関して、線形回帰分析による評価の方法について説明する。

第14回 確率・統計（非線形回帰）

より一般的な非線形関数に対する回帰分析の手法について説明する。

第15回 生命科学と情報のこれから

生命科学における情報処理技術について、人工知能の問題など幅広い視点から、今後の展望について考察する。

定期試験

コンピューターサイエンスの基礎知識について。

インターネット利用のリテラシーについて。

ワープロソフト、表計算ソフトの操作方法について。

基礎的な統計手法について。

■ホームページ

科目名 :	情報処理基礎 I						
英文名 :	Computer Literacy 1						
担当者 :	木戸 啓仁						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

Microsoft Word、Microsoft Excelなどを使用し、情報（データ）の収集分析、結果の視覚的表現、定量的な考察について学修します。また、学内のインターネット環境とその活用方法についても触れます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

様々な分野において情報（データ）の収集分析、結果の視覚的表現、定量的な考察が行われています。この授業では、データ処理の基本知識、基本技術を学習し、情報処理の一連の操作が行えるようになることを目標としています。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

毎回行う演習課題。100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

演習課題は翌回の授業時間に返却します

■ 教科書

プリント資料配付。

■ 参考文献

特に指定しない。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

木戸研究室（東1号館3階311）・kido@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜3限、木曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

- ・ 本学情報システムの概要説明、各種パソコンソフトウェアの使用説明、基本操作
- ・ Microsoft Word（基本、日本語入力、文書作成、編集、印刷）
- ・ Microsoft Word（日本語入力、文書作成、編集、印刷）
- ・ Microsoft Word（日本語入力、文書作成、表作成、編集、印刷）
- ・ 電子メールの基本的操作方法、ファイル添付、注意事項
- ・ Microsoft Excel（基本、表とグラフ作成によるデータの視覚化）（1）
- ・ Microsoft Excel（基本、表とグラフ作成によるデータの視覚化）（2）
- ・ Microsoft Excel（基本、表とグラフ作成によるデータの視覚化）（3）
- ・ Microsoft Excel（基本、表とグラフ作成によるデータの視覚化）（4）
- ・ Microsoft Excel（基本、表とグラフ作成によるデータの視覚化）（5）
- ・ Microsoft Excel（データの代表値、散らばり、相関、回帰）（1）
- ・ Microsoft Excel（データの代表値、散らばり、相関、回帰）（2）
- ・ Microsoft Excel（データの代表値、散らばり、相関、回帰）（3）
- ・ Microsoft Excel（データの代表値、散らばり、相関、回帰）（4）
- ・ Microsoft Excel（データの代表値、散らばり、相関、回帰）（5）

予習内容：毎回、次週の予習内容を連絡するので必ず調べておくこと

予習時間：60分

復習内容：毎回提示される課題を期限内に提出すること

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	情報処理基礎 I						
英文名 :	Computer Literacy 1						
担当者 :	青木 伸也						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代社会において「コンピュータを使って情報を処理し伝達する」基礎能力は不可欠なものである。特に、システム生命科学科のカリキュラムを履修する上で、コンピュータを使って文書・画像を作成・編集し、数値データに対する処理を行い、またコンピュータネットワークを通じて他者とコミュニケーションを行う能力が必須である。また、コンピュータの基本的構造や動作原理を知ったうえで「コンピュータは本質的に何ができるのか、何に用いるべきか」を理解していることも重要である。

本科目では、先に述べた内容を修得することを目的として、講義科目「コンピュータ概論」で学習した内容に関連する実習を行う。

なお、すべての授業に出席して課題に取り組み、かつ、すべてのレポートを期限内に提出している受講者が成績評価の対象となる。これが満たされなければ単位修得に必要な学修時間を満たさないので注意すること。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、本科目を履修することによって、

- 1) コンピュータの基本的構造と動作原理を理解し、
- 2) コンピュータネットワークに関する基礎的事項を理解し、
- 3) システム生命科学科のカリキュラムを履修する上で適切にコンピュータを利用することができるようになる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

課題レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート提出期限後に各レポート課題の採点基準をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784254122015 『情報科学の基礎知識』（宮内 ミナミ、朝倉書店：2014）

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

コンピュータ概論、情報処理基礎Ⅱ

今年度の「コンピュータ概論」を並行して履修中であることを前提として実習を行う。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

青木研究室（東1号館2階208）・aoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

前期は木曜5限、後期は水曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 履修登録と情報処理演習室の利用方法および利用上の諸注意

第2回 コンピュータの用途

第3回 コンピュータネットワークと電子メールの利用

第4回 インターネットの利用

第5回 データの作成と保存

第6回 文書の作成

第7回 図表の作成(1)

第8回 図表の作成(2)

第9回 数値データの処理(1)

第10回 数値データの処理(2)

第11回 数値データの処理(3)

第12回 総合的な文書の作成作業(1)

第13回 総合的な文書の作成作業(2)

第14回 総合的な文書の作成作業(3)

第15回 まとめ

■ ホームページ

科目名 :	情報処理基礎 I						
英文名 :	Computer Literacy 1						
担当者 :	青木 伸也						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代社会において「コンピュータを使って情報を処理し伝達する」基礎能力は不可欠なものである。特に、生命情報工学科のカリキュラムを履修する上で、コンピュータを使って文書・画像を作成・編集し、数値データに対する処理を行い、またコンピュータネットワークを通じて他者とコミュニケーションを行う能力が必須である。また、コンピュータの基本的構造や動作原理を知ったうえで「コンピュータは本質的に何ができるのか、何に用いるべきか」を理解していることも重要である。

本科目では、先に述べた内容を修得することを目的として、講義科目「コンピュータ概論」で学習した内容に関連する実習を行う。

なお、すべての授業に出席して課題に取り組み、かつ、すべてのレポートを期限内に提出している受講者が成績評価の対象となる。これが満たされなければ単位修得に必要な学修時間を満たさないので注意すること。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、本科目を履修することによって、

- 1) コンピュータの基本的構造と動作原理を理解し、
- 2) コンピュータネットワークに関する基礎的事項を理解し、
- 3) 生命情報工学科のカリキュラムを履修する上で適切にコンピュータを利用することができるようになる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

課題レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート提出期限後に各レポート課題の採点基準をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784254122015 『情報科学の基礎知識』（宮内 ミナミ、朝倉書店：2014）

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

コンピュータ概論、情報処理基礎Ⅱ

今年度の「コンピュータ概論」を並行して履修中であることを前提として実習を行う。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

青木研究室（東1号館2階208）・aoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

前期は木曜5限、後期は水曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 履修登録と情報処理演習室の利用方法および利用上の諸注意

第2回 コンピュータの用途

第3回 コンピュータネットワークと電子メールの利用

第4回 インターネットの利用

第5回 データの作成と保存

第6回 文書の作成

第7回 図表の作成(1)

第8回 図表の作成(2)

第9回 数値データの処理(1)

第10回 数値データの処理(2)

第11回 数値データの処理(3)

第12回 総合的な文書の作成作業(1)

第13回 総合的な文書の作成作業(2)

第14回 総合的な文書の作成作業(3)

第15回 まとめ

■ ホームページ

科目名 :	情報処理基礎 I						
英文名 :	Computer Literacy 1						
担当者 :	大政 光史						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代の情報社会で必要とされる情報活用力について演習を行いながら学ぶ。電子メール、Webなどのインターネットの活用と情報検索、文書作成、画像処理、プレゼンテーションなど、大学および卒業後の実社会において必要となる基礎知識や操作方法を学ぶ。同時にコンピュータや情報を利用するときのエチケット、規則および情報倫理を理解する。また、情報発信のためのWebページ作成についても学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

コンピュータの基礎知識や操作方法を学修し、コンピュータと情報に関する能力を向上させる。また、ワープロやプレゼンテーションソフトによる資料の作成方法など、今後の学修で必要となるスキルを獲得する。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

演習課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題の採点と解説をします。

■ 教科書

資料を配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784407320848 『ネットワーク社会における情報の活用と技術』（ICT基礎教育研究会, 実教出版 : 2010)

■ 関連科目

情報処理基礎 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室 (西1号館3階353) ・ ohmasa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 4 限と木曜 4 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 コンピュータの基本操作とパスワード、利用心得と規則

第2回 文字入力とデータの保存

第3回 電子メールの利用

第4回 Webの情報検索と情報の信頼性

第5回 ファイル管理と画像の利用法

第6回 数式の入力

第7回 ネット・コミュニケーションと情報倫理・著作権

第8回 コンピュータ・ウィルスとセキュリティ、パスワード

第9回 プレゼンテーション資料の作成

第10回 図の作成と配置

第11回 各種画像を用いた発表資料の作成

第12回 Webページ作成

第13回 ハイパーテキストの作成

第14回 情報発信

第15回 報告書作成方法と授業全体のまとめ

■ホームページ

科目名 :	情報処理基礎 I						
英文名 :	Computer Literacy 1						
担当者 :	大政 光史						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代の情報社会で必要とされる情報活用力について演習を行いながら学ぶ。電子メール、Webなどのインターネットの活用と情報検索、文書作成、画像処理、プレゼンテーションなど、大学および卒業後の実社会において必要となる基礎知識や操作方法を学ぶ。同時にコンピュータや情報を利用するときのエチケット、規則および情報倫理を理解する。また、情報発信のためのWebページ作成についても学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

コンピュータの基礎知識や操作方法を学修し、コンピュータと情報に関する能力を向上させる。また、ワープロやプレゼンテーションソフトによる資料の作成方法など、今後の学修で必要となるスキルを獲得する。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

演習課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題の採点と解説をします。

■ 教科書

資料を配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784407320848 『ネットワーク社会における情報の活用と技術』(ICT基礎教育研究会, 実教出版: 2010)

■ 関連科目

情報処理基礎 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室 (西1号館3階353) ・ ohmasa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 4 限と木曜 4 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 コンピュータの基本操作とパスワード、利用心得と規則

第2回 文字入力とデータの保存

第3回 電子メールの利用

第4回 Webの情報検索と情報の信頼性

第5回 ファイル管理と画像の利用法

第6回 数式の入力

第7回 ネット・コミュニケーションと情報倫理・著作権

第8回 コンピュータ・ウィルスとセキュリティ、パスワード

第9回 プレゼンテーション資料の作成

第10回 図の作成と配置

第11回 各種画像を用いた発表資料の作成

第12回 Webページ作成

第13回 ハイパーテキストの作成

第14回 情報発信

第15回 報告書作成方法と授業全体のまとめ

■ホームページ

科目名 :	情報処理基礎 I						
英文名 :	Computer Literacy 1						
担当者 :	大政 光史						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代の情報社会で必要とされる情報活用力について演習を行いながら学ぶ。電子メール、Webなどのインターネットの活用と情報検索、文書作成、画像処理、プレゼンテーションなど、大学および卒業後の実社会において必要となる基礎知識や操作方法を学ぶ。同時にコンピュータや情報を利用するときのエチケット、規則および情報倫理を理解する。また、情報発信のためのWebページ作成についても学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

コンピュータの基礎知識や操作方法を学修し、コンピュータと情報に関する能力を向上させる。また、ワープロやプレゼンテーションソフトによる資料の作成方法など、今後の学修で必要となるスキルを獲得する。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

演習課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題の採点と解説をします。

■ 教科書

資料を配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784407320848 『ネットワーク社会における情報の活用と技術』(ICT基礎教育研究会, 実教出版: 2010)

■ 関連科目

情報処理基礎 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室 (西1号館3階353) ・ ohmasa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 4 限と木曜 4 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 コンピュータの基本操作とパスワード、利用心得と規則

第2回 文字入力とデータの保存

第3回 電子メールの利用

第4回 Webの情報検索と情報の信頼性

第5回 ファイル管理と画像の利用法

第6回 数式の入力

第7回 ネット・コミュニケーションと情報倫理・著作権

第8回 コンピュータ・ウィルスとセキュリティ、パスワード

第9回 プレゼンテーション資料の作成

第10回 図の作成と配置

第11回 各種画像を用いた発表資料の作成

第12回 Webページ作成

第13回 ハイパーテキストの作成

第14回 情報発信

第15回 報告書作成方法と授業全体のまとめ

■ホームページ

科目名 :	情報処理基礎 I						
英文名 :	Computer Literacy 1						
担当者 :	根本 充貴						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

理工学系の技術者は、調査、研究、開発、またそれらに関わるデータ整理、ならびにドキュメントやプレゼンテーション用資料の作成など、創造的な目的においてコンピュータを使いこなさなければならない。本講義では、その基礎として、ネットワークの活用法、文書作成ソフト、プレゼンテーションソフトの使用方法について学び、医用工学科で行われる実験、実習、レポート作成、卒業研究などに必要なレベルのコンピュータ活用スキルを手に入れる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・大学のネットワークサービスを利用できる能力を身に着ける。
 - ・レポート、卒業論文等を作成できる程度に文書作成ソフトを使いこなす。
 - ・実験、実習、卒業研究発表ができる程度にプレゼンテーションソフトを使いこなす。
- この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の講義において、レポート作成に関するレクチャーをする。

■ 教科書

資料を配付

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

情報処理基礎Ⅱ、コンピュータ工学、プログラミング演習、電気電子工学実習、システム工学実習、専門ゼミ、卒業研究 など

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

根本研究室（東1号館3階310）・nemoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜1～4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、情報処理演習室の利用方法

第2回 UNIPA、科目履修システム、電子メール

第3回 Wordによる文書の作成(1)

第4回 Wordによる文書の作成(2)

第5回 Wordによる文書の作成(3)

第6回 Wordによる文書の作成(4)

第7回 Wordによる文書の作成(5)

第8回 Wordによる文書の作成(6)

第9回 PowerPointによる発表スライドの作成(1)

第10回 PowerPointによる発表スライドの作成(2)

第11回 PowerPointによる発表スライドの作成(3)

第12回 PowerPointによる発表スライドの作成(4)

第13回 PowerPointによる発表スライドの作成(5)

第14回 PowerPointによる発表スライドの作成(6)

第15回 グループ発表

■ ホームページ

科目名 :	情報処理基礎Ⅱ						
英文名 :	Computer Literacy 2						
担当者 :	児玉 高志						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

情報処理基礎Ⅱでは、情報処理技術の基礎的内容を理解し、コンピューターやインターネットを用いた生命科学関連分野の情報利用、データの解析、結果の発表を行うための技術について、入門的、導入的な内容を演習を通じて学修します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

演習を中心とした授業を通じてバイオインフォマティクスの利用、学術的な報告書の作成、データ解析などの作業に関して実践的な技能の基礎に習熟することを目標とします。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題 70%

定期試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の解答例は授業の際にファイルの配布などにより示し、解説も授業中に行います。

■ 教科書

授業時に課題ファイルを配布します。

■ 参考文献

授業時に適宜紹介します。

■ 関連科目

情報処理基礎Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) infokodama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 PCの操作

コンピューターに関する全般的知識とPCの操作について

第2回 文書作成の演習（文字・図）

文字情報の扱いに関する基礎と関連ソフトの説明

第3回 文書作成の演習（文字・図）

文書作成ソフトを用いた文字入力と図の挿入の演習

第4回 文書作成の演習（英文入力・校正）

文書作成ソフトを用いた英文入力と校正に関する演習

第5回 表計算の概要

表計算ソフトの機能についての基礎

第6回 表計算ソフトへのデータ入力と演算演習

表計算ソフトへのデータの入力とデータに対する様々な演算の演習

第7回 ワークシート関数利用の演習

表計算ソフトへのデータの入力とデータに対する様々な演算の演習

第8回 回帰分析・統計解析の演習

線形回帰、非線形回帰分析の手法と統計解析についての演習

第9回 グラフ利用の演習

表計算ソフトによるグラフの作成と、文書作成ソフトやプレゼンテーションソフトでのグラフの表示の演習

第10回 プレゼンテーションの概要

プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションについての概論

第11回 プレゼンテーション用ファイルの作成の基礎演習

プレゼンテーションソフトでのアニメーションの表示などの進んだ機能の利用に関する演習

第12回 プレゼンテーション用ファイルの進んだ機能についての演習

プレゼンテーションソフトでのアニメーションの表示などの進んだ機能の利用に関する演習

第13回 バイオインフォマティクス演習（文献情報検索）

PubMedなどインターネット上の情報にアクセスして、生命科学分野の研究に関する文献情報を検索・取得する方法の基礎演習

第14回 バイオインフォマティクス演習（遺伝子情報検索）

遺伝子情報に関して、インターネット上に公開されている情報にアクセスして、それを解析する方法に関する基礎的な演習

第15回 バイオインフォマティクス（蛋白質情報検索）

蛋白質情報に関して、インターネット上に公開されている情報にアクセスして、それを解析する方法に関する基礎的な演習

定期試験

インターネット利用のリテラシーについて。

ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの操作について。

バイオインフォマティクス利用に必要な基礎知識について。

データの統計処理に関する基礎知識と表計算ソフト以上での操作について。

■ホームページ

科目名 :	情報処理基礎Ⅱ						
英文名 :	Computer Literacy 2						
担当者 :	木戸 啓仁						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

Microsoft PowerPoint、Microsoft Word、Microsoft Excelなどを使用し、データを相互に活用しながら視覚的表現、定量的な考察について学修します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

様々な分野において情報（データ）の収集分析、結果の視覚的表現、定量的な考察が行われています。この授業では、データ処理技術の基礎と応用を学習し、情報処理の一連の操作が行えるようになることを目標としています。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

毎回行う演習課題。100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

演習課題は、翌回の授業時間に返却します。

■ 教科書

プリント資料配付。

■ 参考文献

特に指定しない。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

木戸研究室（東1号館3階311）・kido@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜3限、木曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

- ・ Microsoft PowerPoint（基本操作）
- ・ Microsoft PowerPoint（表、グラフの作成、操作）（1）
- ・ Microsoft PowerPoint（表、グラフの作成、操作）（2）
- ・ Microsoft PowerPoint（表、グラフの作成、操作）（3）
- ・ Microsoft PowerPoint（表、グラフの作成、操作）（4）
- ・ Microsoft PowerPoint（図形描画）（1）
- ・ Microsoft PowerPoint（図形描画）（2）
- ・ Microsoft PowerPoint（図形描画）（3）
- ・ Microsoft PowerPoint（図形描画）（4）
- ・ Microsoft PowerPoint（アニメーション効果、動画効果）（1）
- ・ Microsoft PowerPoint（アニメーション効果、動画効果）（2）
- ・ Microsoft PowerPoint（アニメーション効果、動画効果）（3）
- ・ データの相互活用法（1）
- ・ データの相互活用法（2）
- ・ データの相互活用法（3）

予習内容：毎回、次週の予習内容を連絡するので必ず調べておくこと

予習時間：60分

復習内容：毎回提示される課題を期限内に提出すること

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	情報処理基礎Ⅱ						
英文名 :	Computer Literacy 2						
担当者 :	小濱 剛						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

「コンピュータを駆使する」とはどういうこと？「コンピュータを駆使する」ことにより、一体何ができるの？？

皆さんは、このような疑問を抱いていないでしょうか。システム生命科学科では、脳・神経系モデリングや生体信号処理などの生体システム解析や、バイオインフォマティクスなどの生命情報解析などを学びの対象としています。生命・生体システムが発する膨大なデータの処理は、人が手作業でこなせる量を超越しているため、効率的な処理のための武器が必要となります。その武器こそがコンピュータです。コンピュータが最も得意とするのは、どのような規模のデータに対してでも、定められた処理を正確かつ高速に処理することです。そのため、コンピュータ技術者には、迅速かつ適切にコンピュータを動作させるための処理手順を見極める力が要求されており、その実行環境として最適なUNIXオペレーティングシステムの操作に関する知識は必須であると言えます。本講義実習では、UNIXとほぼ同等の機能を有するLinuxの基本操作を学ぶとともに、LaTeXをはじめとする学術用途のための種々のアプリケーションの使用方法や、インターネット上の情報資源の活用方法を身につけて、コンピュータを使いこなすための基礎の習得を目指します。なお、成績評価の対象となるのは、すべての講義に出席し、与えられた課題の成果を報告したものに限り、これが満たされなければ単位修得に必要な学修時間を満たしませんので注意すること。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義実習は、ディプロマポリシーDP3必修科目に該当します。本実習では、以下の3点の修得を目標とします。

- 1) 生命や生体にまつわる膨大なデータを効率的に処理するための先端的な情報処理技術に関する知識を学ぶ。
- 2) UNIXオペレーティングシステム互換のLinuxの基本的な操作を身につける。
- 3) Linux環境において、卒業研究等の学術的用途に用いられる種々のアプリケーションの使用方法を習得する。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

課題に対するレポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題は、事前に配布したルーブリック表に基づいて評価する。回収したレポートの中から良いレポートと悪いレポートをピックアップし、提出者を伏せた状態で、どこが良い点か、何が悪いのかを説明する。

■ 教科書

「Linux標準教科書」LPI-Japan（非売品、実習中にダウンロードします）

■ 参考文献

[ISBN]9784797369847 『新Linux/UNIX入門 第3版 (林晴比古実用マスターシリーズ)』 (林 晴比古, ソフトバンククリエイティブ : 2012)

[ISBN]9784797382389 『Linuxコマンドブック ビギナーズ 第4版 (コマンドブックシリーズ)』 (川口 拓之, SBクリエイティブ : 2015)

[ISBN]9784798109336 『UNIXの絵本』 (株式会社アंक, 翔泳社 : 2006)

■ 関連科目

プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、システム情報処理実習Ⅰ・Ⅱ、確率基礎、生物統計、生体信号解析、生体情報工学概論、システム工学、機械学習、脳と情報科学、その他すべての専門科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

小濱研究室（東1号館3階309）・kohama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜6限, 木曜6限

事前にメール等で連絡をくれれば、上記以外の時間でも対応可能です。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Linuxシステムの利用方法および利用上の諸注意

予習内容：Linuxシステムへのログインとログアウトについて調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第2回 システム生命科学とコンピュータ技術

予習内容：システム生命科学科の研究テーマとコンピュータ技術との関係を調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第3回 Emacsエディタによる文書の作成

予習内容：Linux上で利用されるエディタについて調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第4回 GUIとCUI (1) コマンド操作の利点

予習内容：CUIでのコマンド操作について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第5回 GUIとCUI (2) ファイルとディレクトリの操作

予習内容：CUIでのファイル操作とその利点について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第6回 GUIとCUI (3) シェルプログラミングの基礎

予習内容：シェル (bash) とはなにかを調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第7回 GUIとCUI (4) シェルスクリプトによる処理の効率化

予習内容：bashによるコマンド操作の自動化について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第8回 Gnuplotや作図ツールを用いたによるデータの可視化

予習内容：gnuplotで何ができるのかを調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第9回 LaTeXによる文書作成 (1) LaTeXとは？

予習内容：LaTeXとは何かを調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第10回 LaTeXによる文書作成 (2) さまざまな文書レイアウト

予習内容：LaTeX文書のレイアウト操作について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第11回 LaTeXによる文書作成 (3) 数式の記述方法と図の挿入

予習内容：LaTeXでの数式環境や図表環境について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第12回 LaTeXによる文書作成 (4) 作図ツールの使用方法とLaTeXでの活用

予習内容：Libreofficeによる作図について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第13回 論文作成入門 (1) 章立ての検討と文書化

予習内容：生命情報工学にまつわる小論文テーマを準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第14回 論文作成入門 (2) さまざまな文書スタイル

予習内容：レポートや書籍などの文書スタイルについて調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第15回 論文作成入門 (3) 校正作業

予習内容：文書の校生とは何かを調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

■ ホームページ

科目名 :	情報処理基礎Ⅱ						
英文名 :	Computer Literacy 2						
担当者 :	小濱 剛						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

「コンピュータを駆使する」とはどういうこと？「コンピュータを駆使する」ことにより、一体何ができるの？？

皆さんは、このような疑問を抱いていないでしょうか。生命情報工学科では、脳・神経系モデリングや生体信号処理などの生体システム解析や、バイオインフォマティクスなどの生命情報解析などを学びの対象としています。生命・生体システムが発する膨大なデータの処理は、人が手作業でこなせる量を超越しているため、効率的な処理のための武器が必要となります。その武器こそがコンピュータです。コンピュータが最も得意とするのは、どのような規模のデータに対してでも、定められた処理を正確かつ高速に処理することです。そのため、コンピュータ技術者には、迅速かつ適切にコンピュータを動作させるための処理手順を見極める力が要求されており、その実行環境として最適なUNIXオペレーティングシステムの操作に関する知識は必須であると言えます。本講義実習では、UNIXとほぼ同等の機能を有するLinuxの基本操作を学ぶとともに、LaTeXをはじめとする学術用途のための種々のアプリケーションの使用法や、インターネット上の情報資源の活用方法を身につけて、コンピュータを使いこなすための基礎の習得を目指します。なお、成績評価の対象となるのは、すべての講義に出席し、与えられた課題の成果を報告したものに限り、これが満たされなければ単位修得に必要な学修時間を満たしませんので注意すること。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義実習は、ディプロマポリシーDP3必修科目に該当します。本実習では、以下の3点の修得を目標とします。

- 1) 生命や生体にまつわる膨大なデータを効率的に処理するための先端的な情報処理技術に関する知識を学ぶ。
- 2) UNIXオペレーティングシステム互換のLinuxの基本的な操作を身につける。
- 3) Linux環境において、卒業研究等の学術的用途に用いられる種々のアプリケーションの使用法を習得する。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

課題に対するレポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題は、事前に配布したルーブリック表に基づいて評価する。回収したレポートの中から良いレポートと悪いレポートをピックアップし、提出者を伏せた状態で、どこが良い点か、何が悪いのかを説明する。

■ 教科書

「Linux標準教科書」LPI-Japan（非売品、実習中にダウンロードします）

■ 参考文献

[ISBN]9784797369847 『新Linux/UNIX入門 第3版 (林晴比古実用マスターシリーズ)』 (林 晴比古, ソフトバンククリエイティブ : 2012)

[ISBN]9784797382389 『Linuxコマンドブック ビギナーズ 第4版 (コマンドブックシリーズ)』 (川口 拓之, SBクリエイティブ : 2015)

[ISBN]9784798109336 『UNIXの絵本』 (株式会社アंक, 翔泳社 : 2006)

■ 関連科目

プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、システム情報処理実習Ⅰ・Ⅱ、確率基礎、生物統計、生体信号解析、生体情報工学概論、システム工学、機械学習、脳と情報科学、その他すべての専門科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

小濱研究室（東1号館3階309）・kohama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜6限, 木曜6限

事前にメール等で連絡をくれれば、上記以外の時間でも対応可能です。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Linuxシステムの利用方法および利用上の諸注意

予習内容：Linuxシステムへのログインとログアウトについて調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第2回 生命情報工学とコンピュータ技術

予習内容：生命情報工学科の研究テーマとコンピュータ技術との関係を調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第3回 Emacsエディタによる文書の作成

予習内容：Linux上で利用されるエディタについて調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第4回 GUIとCUI (1) コマンド操作の利点

予習内容：CUIでのコマンド操作について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第5回 GUIとCUI (2) ファイルとディレクトリの操作

予習内容：CUIでのファイル操作とその利点について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第6回 GUIとCUI (3) シェルプログラミングの基礎

予習内容：シェル (bash) とはなにかを調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第7回 GUIとCUI (4) シェルスクリプトによる処理の効率化

予習内容：bashによるコマンド操作の自動化について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第8回 Gnuplotや作図ツールを用いたによるデータの可視化

予習内容：gnuplotで何ができるのかを調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第9回 LaTeXによる文書作成 (1) LaTeXとは？

予習内容：LaTeXとは何かを調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第10回 LaTeXによる文書作成 (2) さまざまな文書レイアウト

予習内容：LaTeX文書のレイアウト操作について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第11回 LaTeXによる文書作成 (3) 数式の記述方法と図の挿入

予習内容：LaTeXでの数式環境や図表環境について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第12回 LaTeXによる文書作成 (4) 作図ツールの使用方法とLaTeXでの活用

予習内容：Libreofficeによる作図について調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第13回 論文作成入門 (1) 章立ての検討と文書化

予習内容：生命情報工学にまつわる小論文テーマを準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第14回 論文作成入門 (2) さまざまな文書スタイル

予習内容：レポートや書籍などの文書スタイルについて調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

第15回 論文作成入門 (3) 校正作業

予習内容：文書の校生とは何かを調査すること

予習時間：30分

復習内容：実習中に学んだことをノートにまとめて整理すること

復習時間：60分

■ ホームページ

科目名 :	情報処理基礎Ⅱ						
英文名 :	Computer Literacy 2						
担当者 :	大政 光史						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

さまざまな現象を科学的に分析しようとするとき、測定した数値データを処理する必要がある。データ処理の基本的な方法について、表計算、グラフ作成などの演習を行うことによって理解を深め、報告書の作成技術として図表や数式の入力方法などを学ぶ。また、福祉に役立つソフトウェアの機能についても学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

表計算ソフトを学修するとともに、数値データを具体的に扱うことによって、コンピュータと情報に関する能力を向上させる。また、理工系で必要とされる報告書を作成するスキルを獲得する。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

演習課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題の採点と解説をします。

■ 教科書

資料を配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784898144619 『詳解 福祉情報技術〈1〉障害とテクノロジー編—福祉とテクノロジーの共存をめざして』（ローカス：2003）

[ISBN]9784898144626 『詳解 福祉情報技術〈2〉生活を支援する技術編—福祉とテクノロジーの共存をめざして』（ローカス：2003）

■ 関連科目

情報処理基礎Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室（西1号館3階353）・ohmasa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜4限と木曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 表計算の基礎

第2回 測定と単位

第3回 グラフ作成と近似線

第4回 数値表示と有効数字

第5回 数値の計算と表の表現

第6回 表を利用したレポート作成

第7回 グラフを利用したレポート作成

第8回 関数による計算

第9回 連続データによる計算表

第10回 関数グラフの作成

第11回 各種数値データの利用

第12回 複数系列のグラフ

第13回 複数縦軸のグラフ

第14回 データベースの利用

第15回 情報のユニバーサルデザイン

■ ホームページ

科目名 :	情報処理基礎Ⅱ						
英文名 :	Computer Literacy 2						
担当者 :	大政 光史						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

さまざまな現象を科学的に分析しようとするとき、測定した数値データを処理する必要がある。データ処理の基本的な方法について、表計算、グラフ作成などの演習を行うことによって理解を深め、報告書の作成技術として図表や数式の入力方法などを学ぶ。また、福祉に役立つソフトウェアの機能についても学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

表計算ソフトを学修するとともに、数値データを具体的に扱うことによって、コンピュータと情報に関する能力を向上させる。また、理工系で必要とされる報告書を作成するスキルを獲得する。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

演習課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題の採点と解説をします。

■ 教科書

資料を配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784898144619 『詳解 福祉情報技術〈1〉障害とテクノロジー編—福祉とテクノロジーの共存をめざして』（ローカス：2003）

[ISBN]9784898144626 『詳解 福祉情報技術〈2〉生活を支援する技術編—福祉とテクノロジーの共存をめざして』（ローカス：2003）

■ 関連科目

情報処理基礎Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室（西1号館3階353）・ohmasa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜4限と木曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 表計算の基礎

第2回 測定と単位

第3回 グラフ作成と近似線

第4回 数値表示と有効数字

第5回 数値の計算と表の表現

第6回 表を利用したレポート作成

第7回 グラフを利用したレポート作成

第8回 関数による計算

第9回 連続データによる計算表

第10回 関数グラフの作成

第11回 各種数値データの利用

第12回 複数系列のグラフ

第13回 複数縦軸のグラフ

第14回 データベースの利用

第15回 情報のユニバーサルデザイン

■ ホームページ

科目名 :	情報処理基礎Ⅱ						
英文名 :	Computer Literacy 2						
担当者 :	大政 光史						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

さまざまな現象を科学的に分析しようとするとき、測定した数値データを処理する必要がある。データ処理の基本的な方法について、表計算、グラフ作成などの演習を行うことによって理解を深め、報告書の作成技術として図表や数式の入力方法などを学ぶ。また、福祉に役立つソフトウェアの機能についても学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

表計算ソフトを学修するとともに、数値データを具体的に扱うことによって、コンピュータと情報に関する能力を向上させる。また、理工系で必要とされる報告書を作成するスキルを獲得する。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

演習課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題の採点と解説をします。

■ 教科書

資料を配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784898144619 『詳解 福祉情報技術〈1〉障害とテクノロジー編—福祉とテクノロジーの共存をめざして』（ローカス：2003）

[ISBN]9784898144626 『詳解 福祉情報技術〈2〉生活を支援する技術編—福祉とテクノロジーの共存をめざして』（ローカス：2003）

■ 関連科目

情報処理基礎Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室（西1号館3階353）・ohmasa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜4限と木曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 表計算の基礎

第2回 測定と単位

第3回 グラフ作成と近似線

第4回 数値表示と有効数字

第5回 数値の計算と表の表現

第6回 表を利用したレポート作成

第7回 グラフを利用したレポート作成

第8回 関数による計算

第9回 連続データによる計算表

第10回 関数グラフの作成

第11回 各種数値データの利用

第12回 複数系列のグラフ

第13回 複数縦軸のグラフ

第14回 データベースの利用

第15回 情報のユニバーサルデザイン

■ ホームページ

科目名 :	情報処理基礎Ⅱ						
英文名 :	Computer Literacy 2						
担当者 :	根本 充貴						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

情報処理基礎Ⅰでは、コンピュータを用いた文書作成、プレゼンテーションの方法などを学んだ。理工系技術者が、上記スキルに加えて実につけておくべき重要な能力として、データ処理能力があげられる。調査、研究、開発などの過程で得られるデータを統計的に解析することで、エビデンスに基づいた論理的結論を導出することができる。本講義では、様々なデータを教材として使用し、表計算ソフトを活用した演習形式で統計解析の基礎を学習する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・表計算ソフトを用いて、データ入力からグラフ作成までできるようになる。
 - ・表計算ソフトで、数式、関数が利用できるようになる。
 - ・表計算ソフトを用いて、統計的にデータの分析ができるようになる。
- この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の講義において、レポート作成に関するレクチャーをする。

■ 教科書

資料を配付

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

情報処理基礎Ⅰ、コンピュータ工学、プログラミング演習、電気電子工学実習、システム工学実習、専門ゼミ、卒業研究 など

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

根本研究室（東1号館3階310）・nemoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜1～4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

- 第1回 ガイダンス、表計算ソフト(Excel)の導入
- 第2回 Excelによる基本的なデータ処理(1)
- 第3回 Excelによる基本的なデータ処理(2)
- 第4回 Excelによる基本的なデータ処理(3)
- 第5回 Excelによるデータ解析・グラフ(1)
- 第6回 Excelによるデータ解析・グラフ(2)
- 第7回 Excelによるデータ解析・グラフ(3)
- 第8回 Excelによるデータ解析・グラフ(4)
- 第9回 Excelを用いた確率統計基礎(1)

第10回 Excelを用いた確率統計基礎(2)

第11回 Excelを用いた確率統計基礎(3)

第12回 医療統計(1)

第13回 医療統計(2)

第14回 医療統計(3)

第15回 医療と情報処理・人工知能

■ ホームページ

科目名 :	生涯スポーツ 1				
英文名 :	Sports and Exercises 1				
担当者 :	黒住 啓二				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■ 成績評価方法および基準

実技評価 60%
授業記録 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

生涯スポーツ2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）dpeew102@kawachi.zaq.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール 基礎実技1

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。

復習時間：30分

第3回 ソフトボール 基礎実技2

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。

復習時間：30分

第4回 ソフトボール ゲーム

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第5回 サッカー 基礎実技1

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。

復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技2

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。

復習時間：30分

第7回 サッカー ゲーム

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第8回 バasketボール 基礎実技1

予習内容：Basketボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。

復習時間：30分

第9回 バasketボール 基礎実技2

予習内容：Basketボールのルールの確認。シュートの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。

復習時間：30分

第10回 バasketボール ゲーム

予習内容：Basketボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：Basketボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール 基礎実技1

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。

復習時間：30分

第12回 バレーボール 基礎実技2

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。

復習時間：30分

第13回 バレーボール ゲーム

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第14回 ゲーム1 (ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第15回 ゲーム2 (ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

■ホームページ

科目名 :	生涯スポーツ 1				
英文名 :	Sports and Exercises 1				
担当者 :	橋本 剛幸				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

それぞれの技能・体力に合わせて、生涯スポーツにつながる様々なスポーツを行う。種目や状況に応じて、グラウンドおよびコミュニケーションホールを使用する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

生涯を通じて付き合い合えるスポーツを見つけることを目標に、能力の個人差や性別を超えてすべての人とそのスポーツの持つ特性を共有し、楽しむことを目指す。

この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2, 5の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

実技評価 60%

授業態度・意欲[授業内の質問に対する応答、ディスカッション内容] 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。

授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。

個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

橋本研究室 (2号館5階) ・ hasimoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。

2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第1回 オリエンテーション

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール 基礎実技1

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。

復習時間：30分

第3回 ソフトボール 基礎実技2

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。

復習時間：30分

第4回 ソフトボール ゲーム

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第5回 サッカー 基礎実技1

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。

復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技2

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。

復習時間：30分

第7回 サッカー ゲーム

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第8回 バasketボール 基礎実技1

予習内容：Basketボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。

復習時間：30分

第9回 バasketボール 基礎実技2

予習内容：Basketボールのルールの確認。シュートの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。

復習時間：30分

第10回 バasketボール ゲーム

予習内容：Basketボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：Basketボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール 基礎実技1

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。

復習時間：30分

第12回 バレーボール 基礎実技2

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。

復習時間：30分

第13回 バレーボール ゲーム

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第14回 ゲーム1 (ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第15回 ゲーム2 (ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

■ホームページ

科目名 :	生涯スポーツ 2				
英文名 :	Sports and Exercises 2				
担当者 :	黒住 啓二				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■ 成績評価方法および基準

実技評価 60%
授業態度 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

生涯スポーツ 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）dpeew102@kawachi.zaq.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。
2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回 オリエンテーション

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第2回 ソフトボール 基礎実技

予習内容：ソフトボールのルールの確認。攻撃、守備の技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ソフトボールの作戦を踏まえた攻守の技能の習得。

復習時間：30分

第3回 ソフトボール ゲーム

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第4回 サッカー 基礎実技

予習内容：サッカーのルールの確認。サッカーの攻守を踏まえた技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：サッカーのより高いレベルのゲームに向けた技能の習得。

復習時間：30分

第5回 サッカー ゲーム

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第6回 バドミントン 基礎実技1

予習内容：バドミントンのルールの確認。シャトルを強く打つための技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：強弱を打ち分けるための技能の習得。

復習時間：30分

第7回 バドミントン 基礎実技2

予習内容：バドミントンのルールの確認。サービスの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ゲームで勝つための技能の習得。

復習時間：30分

第8回 バドミントン ゲーム

予習内容：バドミントンのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：バドミントンのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第9回 バスケットボール 基礎実技

予習内容：バスケットボールのルールの確認。早い攻守の切り替えを踏まえた技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ゲームで勝つための攻守の技能の習得。

復習時間：30分

第10回 バスケットボール ゲーム

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール 基礎実技

予習内容：バレーボールのルールの確認。多彩な攻撃を仕掛けるための技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ゲームに勝つための攻守の技能の習得。

復習時間：30分

第12回 バレーボール ゲーム

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第13回 ゲーム1 (ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第14回 ゲーム2 (ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第15回 ゲーム3 (ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

■ホームページ

科目名 :	生涯スポーツ 2						
英文名 :	Sports and Exercises 2						
担当者 :	橋本 剛幸						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

それぞれの技能・体力に合わせて、生涯スポーツにつながる様々なスポーツを行う。種目や状況に応じて、グラウンドおよびコミュニケーションホールを使用する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

生涯を通じて付き合い合えるスポーツを見つけることを目標に、能力の個人差や性別を超えてすべての人とそのスポーツの持つ特性を共有し、楽しむことを目指す。

この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2, 5の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

実技評価 60%

授業態度・意欲[授業内の質問に対する応答、ディスカッション内容] 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。

授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。

個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

橋本研究室 (2号館5階) ・ hasimoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。

2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第1回 オリエンテーション

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール 基礎実技

予習内容：ソフトボールのルールの確認。攻撃、守備の技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ソフトボールの作戦を踏まえた攻守の技能の習得。

復習時間：30分

第3回 ソフトボール ゲーム

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第4回 サッカー 基礎実技

予習内容：サッカーのルールの確認。サッカーの攻守を踏まえた技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：サッカーのより高いレベルのゲームに向けた技能の習得。

復習時間：30分

第5回 サッカー ゲーム

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第6回 バドミントン 基礎実技 1

予習内容：バドミントンのルールの確認。シャトルを強く打つための技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：強弱を打ち分けるための技能の習得。

復習時間：30分

第7回 バドミントン 基礎実技 2

予習内容：バドミントンのルールの確認。サービスの技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ゲームで勝つための技能の習得。

復習時間：30分

第8回 バドミントン ゲーム

予習内容：バドミントンのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：バドミントンのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第9回 バスケットボール 基礎実技

予習内容：バスケットボールのルールの確認。早い攻守の切り替えを踏まえた技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ゲームで勝つための攻守の技能の習得。

復習時間：30分

第10回 バスケットボール ゲーム

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール 基礎実技

予習内容：バレーボールのルールの確認。多彩な攻撃を仕掛けるための技能の確認。

予習時間：30分

復習内容：ゲームに勝つための攻守の技能の習得。

復習時間：30分

第12回 バレーボール ゲーム

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第13回 ゲーム1 (ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第14回 ゲーム2 (ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第15回 ゲーム3 (ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択)

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。

予習時間：30分

復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

■ホームページ

科目名 :	健康とスポーツの科学				
英文名 :	Health and Sports Sciences				
担当者 :	黒住 啓二				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

各自一冊のノートを作成し、生涯における健康の意義と体力維持の方法を学習する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

現代生活では体を動かすことが少なくなり、運動不足が問題となっている。ここでは基本的なトレーニング理論を土台に、健康で活力ある毎日が出来るための知識を学習する。

■ 成績評価方法および基準

レポート 10%

授業中の小テスト (3回) 90%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各授業の質疑応答、ディスカッション内容について、授業終了後、各個人にアドバイスや評価内容の説明を行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

【ISBN】9784915926013 湯浅景元 著「よくわかるスポーツサイエンス」サニーサイドアップ

■ 関連科目

生涯スポーツ1、2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) dpeew102@kawachi.zaq.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : 次回の題材について

予習時間 : 60分

復習内容 : 今回の題材について

復習時間 : 30分

健康に関する各題材を意識して予習と復習を実行する。

第2回 体のしくみ 筋肉

予習内容 : 次回の題材について

予習時間 : 60分

復習内容 : 今回の題材について

復習時間 : 30分

筋肉の役割や重要性について

第3回 体のしくみ 骨

予習内容 : 次回の題材について

予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
骨の役割や重要性について

第4回 体のしくみ 脂肪

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
脂肪の役割や重要性について

第5回 体力について 性と体力

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
性と体力の役割や重要性について

第6回 体力について 年齢と体力

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
年齢と体力の役割や重要性について

第7回 体力について 環境と体力

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
環境と体力の役割や重要性について

第8回 筋肉トレーニング

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
筋肉トレーニングの役割や重要性について

第9回 スタミナトレーニング

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
スタミナトレーニングの役割や重要性について

第10回 柔軟性トレーニング

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
柔軟性トレーニングの役割や重要性について

第11回 サプリメントと栄養

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
サプリメントと栄養の役割や重要性について

第12回 水分補給

予習内容：次回の題材について

予習時間：60分

復習内容：今回の題材について

復習時間：30分

水分補給の役割や重要性について

第13回 ドーピング

予習内容：次回の題材について

予習時間：60分

復習内容：今回の題材について

復習時間：30分

ドーピングについて

第14回 生活習慣病

予習内容：次回の題材について

予習時間：60分

復習内容：今回の題材について

復習時間：30分

生活習慣病について

第15回 まとめ

今までの授業についてのミニテスト

■ホームページ

科目名 :	健康とスポーツの科学				
英文名 :	Health and Sports Sciences				
担当者 :	橋本 剛幸				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

スポーツや運動についての基礎理論を学ぶことにより、人間の健康について考えます。グループ、もしくは個人でテーマを決めて調べ、そのテーマについてプレゼンテーションおよび討議を行います。

■ 学習・教育目標及び到達目標

生涯にわたって健康的な生活を送るために、いかに運動が大切であるかを理解し、スポーツとどのように付き合っていくかを考え、実践していく意識を高めることを目標とします。また、自ら学ぶ姿勢とプレゼンテーション能力を養い、一つのテーマに対して討議することでお互いの知識を深めることも目標としています。

この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2, 5の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

プレゼンテーション内容 70%

受講態度・意欲[授業内の質問に対する応答、ディスカッション内容] 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各グループのプレゼンテーションについて、終了後と次回の授業の最初に行うまとめの中で、後評を行います。

各授業の質疑応答、ディスカッション内容について、授業終了後、各個人にアドバイスや評価内容の説明を行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

橋本研究室 (2号館5階) ・ hasimoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーション、グループ分けを行う。

2回目以降はテーマ決定、テーマ内容の調査を数時間行い、準備ができ次第できるだけ早い時期からプレゼンテーション、討議を順番に行っていく。

予習内容：プレゼンテーションに向けての準備。発表内容に対しての質問内容の整理。自分たちの発表内容の様々な見地からの検討。

予習時間：60分

復習内容：発表内容の再検討。まとめを受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第1回 オリエンテーション (グループ分け・発表日決定)

予習内容：グループ分けに向けて、発表内容の検討。

予習時間：30分

復習内容：グループでの討議、発表内容、分担の決定へ向けての準備。

復習時間：30分

第2回 ディスカッション1（テーマ決定・プレゼンテーション例〈個人スポーツ〉の実施）

予習内容：グループでの討議、発表内容、分担の決定へ向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：プレゼンテーション例を受けて、内容の再検討。

復習時間：30分

第3回 ディスカッション2（内容調査・プレゼンテーション例〈集団スポーツ〉の実施）

予習内容：グループでの討議、発表内容、分担の決定へ向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：プレゼンテーション例を受けて、内容の再検討。

復習時間：30分

第4回 ディスカッション3（内容調査・プレゼンテーション例〈アスリート〉の実施）

予習内容：グループでの討議、発表内容、分担の決定へ向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：プレゼンテーション例を受けて、内容の再検討。

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション1

予習内容：プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第6回 プレゼンテーション2

前回のプレゼンテーションのまとめ（バイオメカニクスの見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのバイオメカニクスの見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第7回 プレゼンテーション3

前回のプレゼンテーションのまとめ（運動医学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのスポーツ医学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第8回 プレゼンテーション4

前回のプレゼンテーションのまとめ（スポーツ社会学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのスポーツ社会学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第9回 プレゼンテーション5

前回のプレゼンテーションのまとめ（スポーツ心理学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのスポーツ心理学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第10回 プレゼンテーション6

前回のプレゼンテーションのまとめ（体育史の見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についての体育史の見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第11回 プレゼンテーション7

前回のプレゼンテーションのまとめ（運動生理学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についての運動生理学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第12回 プレゼンテーション8

前回のプレゼンテーションのまとめ（体育経営学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についての体育経営学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第13回 プレゼンテーション9

前回のプレゼンテーションのまとめ（体育方法学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についての体育方法学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第14回 プレゼンテーション10

前回のプレゼンテーションのまとめ（スポーツ測定評価学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのスポーツ測定評価学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

第15回 前回のプレゼンテーションのまとめ（発達発育学的見地より）

まとめ

予習内容：自分たちの発表内容についての発達発育学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。

予習時間：60分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。

復習時間：30分

■ホームページ

科目名 :	食生活と健康						
英文名 :	Diet and Health						
担当者 :	伊藤 龍生						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	集中	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

食生活や健康の定義、食生活と健康の関係、健康指標と保健統計、疫学による集団の健康解析、生活環境と環境保健などについて学ぶとともに、食生活と環境や健康に関する基本的な情報の収集と取り扱いについて学習する。講義は、教科書と配布資料を使い、黒板及びパワーポイントを用いて概説する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

食生活と健康は密接な関係があります。そこで、人の健康を左右する食生活の要因を考え、人や人の生活を生態系の中で位置づけて理解することは重要であり、本講義では、さまざまな環境要因や人の行動が健康にどのように影響を与えているかを学ぶとともに、集団における病気の状況を測定する方法や疫学的手法について学びます。。健康に関わる諸問題を理解し、個人および集団の疾病を予防し、健康の維持・増進を実践できるようになることが目標です。

■ 成績評価方法および基準

授業内試験 80%
小テスト 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784767904962 『改訂 健康管理論』（建帛社）

■ 参考文献

[ISBN]9784767-05549 『社会・環境と健康：公衆衛生学〔第2版〕』（建帛社）
[ISBN]9784804110561 『病理学（2003/2004）（管理栄養士国家試験受験講座）』（第一出版）
[ISBN]9784260001755 『疾病のなりたちと回復の促進〈1〉病理学（系統看護学講座 専門基礎）』（医学書院）

■ 関連科目

該当なし

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）：tatsuki@nara.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 健康の概念

予習内容：食生活と社会の変化についてどのように自分は思うかを考えて予習を行う

予習時間：60分

復習内容：健康の概念、社旗の変化、プライマリ・ヘルスプロモーションについて復習する。

復習時間：90分

社会を取り巻く食生活と環境の変化から環境状態の変化、健康の概念や、プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーションについて概説する。

第2回 我が国の健康の現状

予習内容：諸外国とわが国の公衆衛生の違いについて予習を行う。(

予習時間：60分

復習内容：わが国の行政や社会の取り組みと諸外国の取り組みを復習する。

復習時間：120分

わが国の健康の状況を諸外国と比較しながら人口の変化について概説する。

第3回 健康の現状

予習内容：諸外国と比較し人口動態について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：出産、成長、結婚、離婚、死亡などを諸外国と比較しその違いについて復習を行う。(

復習時間：120分

わが国の人口動態、出生、結婚、離婚及び死亡についての状況を諸外国と比較し、その変化を概説する。

第4回 主要疾患の疫学

予習内容：生活習慣病について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：糖尿病、高血圧、脂質代謝異常症などの疾患を復習する。

復習時間：120分

食生活による生活習慣病を初めとする主要疾患について概説し、これらの疾患がどのような健康被害を及ぼすか実例を示しながら疫学を概説する。

第5回 食生活が健康に影響する要因 1

予習内容：食生活、運動が及ぼす健康への作用を予習する。

予習時間：60分

復習内容：栄養摂取、食生活の乱れ、運動不足からくる健康被害について復習する。

復習時間：120分

栄養、食生活、身体活動の変化からくる健康への状況を概説する。

第6回 食生活が健康に影響する要因 2

予習内容：喫煙、飲酒、歯周病などを予習する。

予習時間：60分

復習内容：ストレスの発散方法、喫煙、飲酒、歯周病の発症の生活習慣の乱れにつて復習する。(

復習時間：120分

休養、ストレス、喫煙及び飲酒、歯からくる健康への影響について概説する。

第7回 生活習慣病の主要疾患の予防対策

予習内容：生活習慣病について予習する。

予習時間：60分

復習内容：生活習慣の乱れにより肥満から生活習慣病が発症する経路などを復習する。

復習時間：90分

疾病の予防の3段階、主要疾患を初めとする生活習慣病の予防及び感染症の予防に分けて実例を挙げて概説する。

第8回 健康づくりの施策

予習内容：健康づくりによる国、地方自治体の施策について予習する。

予習時間：60分

復習内容：地方自治体の地域保健法とはどのようなことを行っているか復習する。

復習時間：90分

国民健康づくり運動の主な保健施策、地域保健法について概説する。

第9回 健康増進法および健康関連法規 1

予習内容：健康増進法、母子保健法について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：健康増進法、母子保健法とその関連法規について復習を行う。

復習時間：90分

健康増進法、母子保健関係法について概説する。

第10回 健康関連法規と保健行政

予習内容：高齢者保健法、介護保険法、保健行政について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：介護保険法、高齢者保健法、保健所、保健センターの役割や違いについて復習する。(

復習時間：90分

高齢者保健関連法、介護保険法や保健行政と一般行政の違いについて概説する。

第11回 健康管理の進め方

予習内容：健康管理の方法について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：健康の定義を整理し、その考え方、方法や計画について復習する。

復習時間：90分

健康管理の考え方、疾病管理の方法、健康管理の定義、健康管理の方法及び計画作成について概説する。

第12回 健康管理の教育

予習内容：健康管理の考え方について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：健康管理のための教育方法、概念、目的、そして健康相談の方法について復習する。

復習時間：120分

健康管理の教育の目的、概念、方法、健康相談の考え方について概説する。

第13回 特定検診・特定保健指導の目的と方法

予習内容：特定検診、特定保健指導について予習する。

予習時間：60分

復習内容：特定検診、特定保健指導とはどのようなものかを復習する。

復習時間：120分

特定検診、特定保健指導の目的及び意義、方法について概説する。

第14回 疾病のスクリーニング方法

予習内容：スクリーニングとはなにかを予習する。

予習時間：60分

復習内容：疾患のスクリーニングの目的、意義、方法、などを復習する。

復習時間：120分

スクリーニングの目的、定義、意義、方法、敏感度及び特異度などを実際の事例を用いて計算し、概説する。

第15回 EBMに基づく健康管理

予習内容：調査方法について予習する。

予習時間：60分

復習内容：公衆衛生学には様々な調査方法があり、その特徴と原理、倫理について復習する。

復習時間：120分

記述疫学調査、横断調査、コホート研究、症例対照研究、介入研究などのEBMによる健康管理の原理、方法、概念、倫理を実際の実例を用いて、概説する。

■ホームページ

科目名 :	基礎英語 1						
英文名 :	Basic English 1						
担当者 :	服部 圭子・上出 恵						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

基礎文法力の充実、リスニング、リーディングストラテジーの習得を目指した授業を行う。文法については頭で理解するだけに留まらず、英語を使用するための能力が身につくように、プラクティス型の授業を行う。リスニング・リーディングについては、平易な語彙を用いた教科書などを使用しながら、無理なく基本が身につく授業を行う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

* TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「基礎英語2」と合わせて、今後の大学での英語学習に必要とされる文法力、語彙力、読解力をつける。複雑でない構文の英文を、1文単位であれば理解できるようになり、また、平易な文章であれば、辞書を使用しながらある程度の速さで読めるようになる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■ 教科書

『Science for Fun!』（金星堂）[ISBN]9784764740464

『Cubic Listening : Puzzle It Out』（Macmillan Languagehouse）ISBN 9784777360116

『TOEIC Test:Workout300 大学生のためのTOEICテスト基礎演習』（南雲堂）ISBN 9784523177784

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

基礎英語2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

服部：服部研究室 khattori@waka.kindai.ac.jp

上出：非常勤講師：講師控室（2号館2階） megmeg81@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

服部：木曜日5限（その他の時間帯は必ず予約すること）

上出：該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：英語で自己紹介できるように準備する。

予習時間：60分

復習内容：テキストで扱う内容について関心があるものを調べる。

復習時間：60分

各教科書についての説明

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題（インターネットを使った課題やランチタイムリーディングへの参加など）

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れもの（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用の制限について
- ・単語／熟語の小テストについて
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に際しての重要事項について

第2回 Uni 1 t Secret Taste Cells(1)

予習内容：Uni 1 t Secret Taste Cellsの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：Uni 1 t Secret Taste Cellsの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。

第3回 Uni 1 t Secret Taste Cells (2)

予習内容：Uni 1 t Secret Taste Cellsのテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Uni 1 t Secret Taste Cellsの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第4回 リスニング Unit 1 Treasure Island

予習内容：リスニング Unit 1 Treasure Islandの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 1 Treasure Islandの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】map work, geographyに関するリスニング問題を解く

第5回 リスニング Unit 2 Gridwork

予習内容：リスニング Unit 2 Gridworkの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 2 Gridworkの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】positions, describing shapesに関するリスニング問題を解く。

第6回 Unit 2 Singing Sand(1)

予習内容：Unit 2 Singing Sandの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit 2 Singing Sandの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。

第7回 Unit 2 Singing Sand(2)

予習内容：Unit 2 Singing Sandのテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 2 Singing Sandの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第8回 リスニング Unit 3 Checks and Stripes

予習内容：リスニング Unit 3 Checks and Stripesの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 3 Checks and Stripesの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】 patterns, describing clothes, pricesに関する内容のリスニング問題を解く。

第9回 リスニング Unit 4 Put It Away

予習内容：リスニング Unit 4 Put It Awayの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 4 Put It Awayの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】 rooms, furniture, locationに関する内容のリスニング問題を解く。

第10回 Unit 3 Christmas Tree Science(1)

予習内容：Unit 3 Christmas Tree Scienceの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 3 Christmas Tree Scienceの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く。

第11回 Unit 3 Christmas Tree Science(2)

予習内容：Unit 3 Christmas Tree Scienceのテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 3 Christmas Tree Scienceの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第12回 リスニング Unit 5 What's On?

予習内容：Unit 5 What's On? の単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 5 What's Onの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】 times, theater schedulesに関する内容のリスニング問題を解く。

第13回 リスニング Unit 6 Where's the Deli ?

予習内容：Unit 6 Where's the Deli ? の単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 6 Where's the Deli ? の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】 stores, street locations, directionsに関する内容のリスニング問題を解く。

第14回 Unit 4 Watch a Zebra Think (1)

予習内容：Unit 4 Watch a Zebra Thinkの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 4 Watch a Zebra Thinkの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。

第15回 Unit 5 Watch a Zebra Think (2)

予習内容：Unit 5 Watch a Zebra Think のテキストにある演習ノン代

予習時間：60分

復習内容：Unit 5 Watch a Zebra Think の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第16回 リスニング Unit 7 Give Us a Clue

予習内容：リスニング Unit 7 Give Us a Clueの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 7 Give Us a Clueの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】 crossword cluesに関する内容のリスニング問題を解く。

第17回 リスニング Unit 8 On the Way

予習内容：リスニング Unit 8 On the Wayの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 8 On the Wayの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】different ways of travel, journey times, race commentaryに関する内容のリスニング問題を解く。

第18回 Unit 5 The Time-Traveling Flower (1)

予習内容：Unit 5 The Time-Traveling Flowerの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 5 The Time-Traveling Flowerの単語および熟語の復習

【リーディング】大昔の花の種類の発見についての英文を読み解く。

第19回 Unit 5 The Time-Traveling Flower (2)

予習内容：Unit 5 The Time-Traveling Flowerのテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 5 The Time-Traveling Flowerの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】大昔の花の種類の発見についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第20回 リスニング Unit 9 Fill in the Form

予習内容：Unit9 Fill in the Formの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit9 Fill in the Formの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】forms, questionnaires, giving informationに関する内容のリスニング問題を解く。

第21回 TOEIC概要説明・TOEIC Unit1

予習内容：TOEIC各各パートの違いを調べる。

予習時間：60分

復習内容：単語および述語の復習。

復習時間：60分

【TOEIC】TOEICの各パートの問題形式など、TOEICに関する基本情報を知る。TOEIC Unit1

第22回 Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs(1)

予習内容：Unit6 Super Seaweed Gut Bugsの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit6 Super Seaweed Gut Bugs熟語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。

第23回 Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs(2)

予習内容：Super Seaweed-Slurping Gut Bugsのテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。

第24回 TOEIC Unit2

予習内容：TOEIC Unit2の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC Unit2 文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】疑問詞を使う問いかけに注目し、動詞を決める要素に注目しながらTOEIC問題を解く。

第25回 TOEIC Unit3

予習内容：TOEIC3動詞の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC Unit3 文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

店頭での会話をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。動詞に絡む補充問題を解く。

第26回 Unit 7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Place(1)

予習内容：Unit 7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Placeの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Placeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。

第27回 Unit 7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Place(2)

予習内容：Unit 7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Placeのテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Placeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第28回 リスニング Unit10 Call 911

予習内容：リスニング Unit10 Call 911の単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit10 Call 911の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】crime report, description of stolen propertyに関する内容のリスニング問題を解く。

第29回 Unit 8 Your Brain on Music(1)

予習内容：Unit 8 Your Brain on Musicの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 8 Your Brain on Musicの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】脳と音楽についての英文を読み解く。

第30回 Unit 8 Your Brain on Music(2)

予習内容：Unit 8 Your Brain on Musicのテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 8 Your Brain on Musicの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】脳と音楽についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

★夏休み中にも引き続きTOEIC対策の自主的な学習を行うとともに、可能であれば1度TOEICを受験することも視野に入れてみる。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	基礎英語 1 〈再履修〉						
英文名 :	Basic English 1						
担当者 :	上出 恵						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

DVD教材や教科書等を用い、speaking/listening/writing/readingの4技能の習得を目指す。video clips の内容理解を確認するための英語による字幕やT/F 問題、さらに多彩な聞き取り、Shadowing などの活動をとおして、総合的な英語運用能力を身につける。文法については頭で理解するだけに留まらず、実際に英語を使用するための能力が身につくように、比較的平易な語彙を用いた教科書等を使用しながら、無理なく基本が身につく授業を行う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースに少なくとも2回の参加を必修とする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

英語の文章を読んだり、DVD等を視聴したりし、内容が理解できるようになる。語彙力を高め、様々な表現を覚える。学んだ英語表現を用い、簡単な英語での発表ができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

平常点（提出物・グループワークへの参加度を含む） 50%
 小テスト 30%
 課題 10%
 口頭発表 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■ 教科書

ISBN 978-4-7919-4792-8
『世界で輝く若者たちの英語 2』
World Wide English on DVD Volume 2 (森田 彰, 成美堂)

■ 参考文献

授業中に適宜、指示します

■ 関連科目

基礎英語1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）・megmeg81@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 unit 1 New York Introduction

予習内容：“New Words”、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習

- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第2回 unit 1 New York Introduction

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第3回 unit 2 A Passion for Hip Hop

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第4回 unit 2 A Passion for Hip Hop

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第5回 unit 3 Australia Introduction

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第6回 unit 3 Australia Introduction

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第7回 unit 4 A Girl with Big Dreams and High Hopes

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現

- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第8回 unit 4 A Girl with Big Dreams and High Hopes

予習内容: "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間: 30分

復習内容: 本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間: 30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第9回 unit 5 Northern Ireland Introduction

予習内容: "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間: 30分

復習内容: 本文のサマリー

復習時間: 30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第10回 unit 5 Northern Ireland Introduction

予習内容: "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間: 30分

復習内容: 本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間: 30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第11回 unit 6 More Than Meets the Eye

予習内容: "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間: 30分

復習内容: 本文のサマリー

復習時間: 30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第12回 unit 6 More Than Meets the Eye

予習内容: "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間: 30分

復習内容: 本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間: 30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第13回 unit 7 Review Section

予習内容: "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間: 30分

復習内容: 本文のサマリー

復習時間: 30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第14回 unit 7 Review Section

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間 : 30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第15回 まとめと小テスト

予習内容 : unit 1 ~ Unit 6

予習時間 : 120分

復習内容 : なし

Unit 1 ~ Unit 6 までのまとめとして、復習テストを行います。

第16回 unit 8 South Africa Introduction

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー

復習時間 : 30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第17回 unit 8 South Africa Introduction

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間 : 30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第18回 unit 9 Life Is a Gift

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー

復習時間 : 30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第19回 unit 9 Life Is a Gift

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間 : 30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる

(5) 要約作成

第20回 unit 10 Wales Introduction

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第21回 unit 10 Wales Introduction

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第22回 unit 11 Enjoying New Experiences

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第23回 unit 11 Enjoying New Experiences

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第24回 unit 12 India Introduction

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第25回 unit 12 India Introduction

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習

- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第26回 unit 13 The Most Important Things in My Life

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー

復習時間 : 30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第27回 unit 13 The Most Important Things in My Life

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間 : 30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第28回 unit 14 Review Section

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー

復習時間 : 30分

- (1) 都市についての基礎的な知識を確認し、英語で表現
- (2) 新しい語彙の練習
- (3) 語彙の連結の練習と文の口頭練習
- (4) 内容理解の問題

第29回 unit 14 Review Section

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間 : 30分

- (1) 内容についての正誤問題
- (2) 役立つフレーズの口頭練習
- (3) シャドウイング・リピーティングの口頭練習
- (4) 英語のインタビューを聴きとる
- (5) 要約作成

第30回 まとめと小テスト

予習内容 : Unit 8 ~ Unit 13

予習時間 : 120分

復習内容 : なし

Unit 8 ~ Unit 13 までのまとめとして、復習テストを行います。

■ホームページ

科目名 :	基礎英語 2				
英文名 :	Basic English 2				
担当者 :	服部 圭子・上出 恵				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

「基礎英語 1」に引き続き、基礎文法力の充実、リスニング・リーディングストラテジーの習得を目指した授業を行う。文法については頭で理解するだけに留まらず、実際に英語を使用するための能力が身につくように、プラクティス型の授業を行う。リスニング・リーディングについては、平易な語彙を用いた教科書等を使用しながら、無理なく基本が身につく授業を行う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数の参加を必修とする。

* TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。

* 実力テストが12月上旬に行われる予定である。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「基礎英語 1」と合わせて、今後の大学での英語学習に必要とされる文法力、語彙力、読解力をつける。複雑でない構文の英文を、1文単位であれば理解できるようになり、また、平易な文章であれば、辞書を使用しながらある程度の速さで読めるようになる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 15%

実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■ 教科書

『Science for Fun!』（金星堂）[ISBN]9784764740464

『Cubic Listening :Puzzle It Out』（Macmillan Languagehouse）ISBN 9784777360116

『TOEIC Test WORKOUT300 大学生のためのTOEICテスト基礎演習』（南雲堂）ISBN 9784523177784

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

基礎英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

服部：服部研究室 khattori@waka.kindai.ac.jp

上出：非常勤講師：講師控室（2号館2階）megmeg81@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

服部：木曜日5限（その他の時間帯は必ず予約をとること）

上出：該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

実力テストが12月上旬に行われる予定であり、授業計画がそれにより前後することがある。

第1回 オリエンテーション

予習内容：Unit1～Unit8の単語および熟語の復習

予習時間：60分

復習内容：夏休みについて英語でまとめる

復習時間：60分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題（インターネットを使った課題やランチタイムリーディングへの参加など）

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れもの（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用の制限について
- ・単語／熟語の小テストについて
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に際しての重要事項について

第2回 Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (1)

予習内容：Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く。

第3回 Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (2)

予習内容：Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools のテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【【リーディング】未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第4回 リスニング Unit 11 Dot to Dot

予習内容：リスニング Unit 11 Dot to Dotの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 11 Dot to Dotの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】numbers, instructionsに関する内容のリスニング問題を解く。

第5回 リスニング Unit 12 In the Mail

予習内容：リスニング Unit 12 In the Mailの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 12 In the Mailの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】at the post office, pricesにする内容のリスニング問題を解く。

第6回 Unit10 Too Quick to Be Roadkill(1)

予習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkill の単語チェックおよび内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkillのテキストにある単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】環境に適応する燕の進化についての英文を読み解く。

第7回 Unit10 Too Quick to Be Roadkill(2)

予習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkillのテキストにある演習ノン代

予習時間：60分

復習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkillの単語および熟語の復習

【リーディング】環境に適応する燕の進化についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第8回 リスニング Unit 13 Asia Trip

予習内容：リスニング Unit 13 Asia Trip単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 13 Asia Tripの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】travel itinerary, souvenirsに関する内容のリスニング問題を解く。

第9回 リスニング Unit 14 The Office

予習内容：リスニング Unit 14 The Officeの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 14 The Officeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】office layout, office furniture, office equipmentに関する内容のリスニング問題を解く。

第10回 (1)Unit 11 Meet Your Mighty Microbes (1)

予習内容：Unit 11 Meet Your Mighty Microbes の単語チェック、内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit 11 Meet Your Mighty Microbes の単語・熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】自分の身近にいる微生物についての英文を読み解く。

第11回 Unit 11 Meet Your Mighty Microbes (1)

予習内容：Unit 11 Meet Your Mighty Microbesの単語チェック、テキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 11 Meet Your Mighty Microbesの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】自分の身近にいる微生物についての英文を読み解く。

<英文・リスニング含む>

第12回 リスニング Unit 15 What's Your Number ?

予習内容：リスニング Unit 15 What's Your Number ? 単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 15 What's Your Number ? 単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】phone numbers, phone messages, instructionsに関する内容のリスニング問題を解く。

第13回 Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School(1)

予習内容：Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to Schoolの単語チェックと内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to Schoolの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】学校にいけない子どもの代わりに学校に行くロボットについての英文を読み解く。

第14回 Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School(2)

予習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to Schoolテキストもある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】学校にいけない子どもの代わりに学校に行くロボットについての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第15回 U9～U12 まとめ

予習内容：U9～U12の内容を見直す

予習時間：60分

復習内容：U9～U12の単語および熟語の復習

復習時間：60分

U9～U12に学習した項目の確認・復習を行う。

第16回 TOEIC Unit7

予習内容：TOEIC Unit7電話表現の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC Unit7の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】電話でよく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。前置詞と接続詞の補充問題を解く。

第17回 TOEIC Unit8

予習内容：TOEIC Unit8の単語チェック

予習時間：60分

復習内容：TOEIC Unit8の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】録音メッセージや社内のメモを理解する時に使う英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

第18回 TOEIC UNIT9

予習内容：TOEIC UNIT9 代名詞の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC UNIT9 単語や熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】人物と背景の描写、人物や物の代名詞についてTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

第19回 リスニング Unit 16 The Big Race

予習内容：リスニング Unit 16 The Big Race の単語チェック、内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 16 The Big Raceの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】description of riders, bicycle race commentaryに関するリスニング問題を解く。

第20回 Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters (1)

予習内容：Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters の単語チェック

予習時間：30分

復習内容：Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters

【リーディング】時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く。

第21回 Unit 13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters (2)

予習内容：Unit 13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters の単語チェック、内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit 13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第22回 リスニング Unit 17 Under the Hammer

予習内容：リスニング Unit 17 Under the Hammer

復習内容：リスニング Unit 17 Under the Hammer

【リスニング】description of works of art, large numbersに関するリスニング問題を解く。

第23回 リスニング Unit 18 Around Town

予習内容：リスニング Unit 18 Around Town 方向を示す表現の予習

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 18 Around Townの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】directions, locationsに関するリスニング問題を解く。

第24回 Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?(1)

予習内容：Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?の単語チェック、内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】異なる動物における共通点についての英文を読み解く。

第25回 Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?(2)

予習内容：Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?の演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】異なる動物における共通点についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第26回 リスニング Unit 19 Chocolate Mousse

予習内容：リスニング Unit 19 Chocolate Mousse 料理に関する表現の予習

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 19 Chocolate Mousseの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】 ingredients, recipes, cookingに関するリスニング問題を解く。

第27回 リスニング Unit 20 Zoo Safari

予習内容：リスニング Unit 20 Zoo Safari動物・位置に関する表現の予習

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit 20 Zoo Safariの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】 description of animals, locations at the zooに関するリスニング問題を解く。

第28回 Unit 15 Spying on Disease (1)

予習内容：Unit 15 Spying on Disease の単語チェック、内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit 15 Spying on Disease の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】 バクテリアについての英文を読み解く。

第29回 Unit 15 Spying on Disease (2)

予習内容：Unit 15 Spying on Disease の演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 15 Spying on Disease の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】 バクテリアについての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む>

第30回 Science for Fun のまとめ+Cubic Listening のまとめ

予習内容：授業で扱ったトピックについて、まとめた意見が言えるように予習

予習時間：60分

復習内容：授業で扱ったトピックの中で関心があったものに関して、自分の意見を英語でまとめる

復習時間：60分

- ・ Science for Funの内容に関する質問
- ・ Science for Funで取り扱われたトピックの中で特に関心があったトピックについて英語で意見交換をする。
- ・ Cubic Listeningの内容に関する質問
- ・ Cubic Listeningで取り扱われたトピックの中で特に関心があったトピックについて英語で意見交換をする

定期試験

■ホームページ

科目名 :	基礎英語 2 〈再履修〉				
英文名 :	Basic English 2				
担当者 :	上出 恵				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この授業では、英語のニュースを教材として、DVDを見ながら聞き取りと読解の練習を行います。さらに応用として、英作文および英語会話の練習をします。

授業は次のように進めていきます。

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)
- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習

提出してもらう課題は、途中で添削を行いつつ、完成度を高めます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

英語のニュースを聞いて、内容を理解し自分でもある程度説明できるようになること。

英語の様々な話題について、自分の意見をシンプルな表現で言えるようになること。

口頭練習を多く行い、聞き取りの精度をあげること。

■ 成績評価方法および基準

平常点 (提出物・グループワークへの参加度を含む) 50%

小テスト 30%

課題・提出物 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案 (写し) を返却します。

■ 教科書

ISBN:13-:978-4764740303『What's on Japan 11 日本を発信する 11—NHK English News Stories (映像で学ぶNHK英語放送)』(金星堂 : 2015)

■ 参考文献

授業中に適宜、指示します

■ 関連科目

基礎英語 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・ megmeg81@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Unit 1 Introduction, Manga Message for the Young

予習内容 : "New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間 : 30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第2回 Unit 1 Manga Message for the Young

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第3回 Unit 2 Jumping for Victory ダブルダッチ選手権一神技集合

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第4回 Unit 2 Jumping for Victory ダブルダッチ選手権一神技集合

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第5回 Unit 3 Seeking Quality over Cost 売れる店はこう作れ

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第6回 Unit 3 Seeking Quality over Cost 売れる店はこう作れ

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第7回 Unit 4 Getting Dads Home Earlier イクメンボス企業一長時間労働を変える

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解

(4) 聞き取り練習 (dictation)

第8回 Unit 4 Getting Dads Home Earlier イクメンボス企業—長時間労働を変える

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第9回 Unit 5 Plugging Privacy 「ぼっち」消費—ニーズの多様化に応える

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第10回 Unit 5 Plugging Privacy 「ぼっち」消費—ニーズの多様化に応える

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第11回 Unit 6 Recycling Messages of Hope 折り鶴再生で平和祈念

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第12回 Unit 6 Recycling Messages of Hope 折り鶴再生で平和祈念

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第13回 Unit 7 Breaking Out 建築物の未来形—発泡ポリスチレン

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第14回 Unit 7 Breaking Out 建築物の未来形—発泡ポリスチレン

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第15回 Unit 8 A Barrier-free Welcome バリアフリーホテルー北の大地でお出迎え

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第16回 Unit 8 A Barrier-free Welcome バリアフリーホテルー北の大地でお出迎え

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第17回 Unit 9 Helping in Times of Disaster 災害弱者を守る取り組みー外国人の場合

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第18回 Unit 9 Helping in Times of Disaster 災害弱者を守る取り組みー外国人の場合

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第19回 Unit 10 Right on Track カーレーサー井原慶子ー挑戦は続く

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第20回 Unit 10 Right on Track カーレーサー井原慶子ー挑戦は続く

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第21回 Unit 11 Refining Japanese Art 神の手ニッポン展

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第22回 Unit 11 Refining Japanese Art 神の手ニッポン展

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第23回 Unit 12 Japanese Conbini Comes to Dubai 日本式コンビニ、中東へ

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第24回 Unit 12 Japanese Conbini Comes to Dubai 日本式コンビニ、中東へ

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第25回 Unit 13 Mix Masters 「混ぜる」に商機

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第26回 Unit 13 Mix Masters 「混ぜる」に商機

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第27回 Unit 14 Virtual Connections バーチャルリアリティの新たな可能性

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第28回 Unit 14 Virtual Connections バーチャルリアリティの新たな可能性

予習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー、プレゼンテーションの練習

復習時間：30分

- (5) 難しい箇所の文法確認と翻訳
- (6) 各課の話題に関して、自分の意見を口頭で表現する練習
- (7) サマリーの原稿を作成し、発表

第29回 unit 15 Questioning Labor Practices ブラックバイトの現状 一学生の生活を守れ！

予習内容："New Words"、他、新出単語等の確認

予習時間：30分

復習内容：本文のサマリー

復習時間：30分

- (1) 各課に出てくる英語の単語や表現の練習
- (2) 各課の話題に応じた表現の口頭練習
- (3) DVD視聴と読解
- (4) 聞き取り練習 (dictation)

第30回 unit 15 Questioning Labor Practicesおよび復習テスト

予習内容：Unit 1 ～ Unit 15

予習時間：120分

復習内容：なし

Unit 1 ～ Unit 15の復習テストを行います。

■ホームページ

科目名 :	総合英語 1				
英文名 :	General English 1				
担当者 :	野口 博代・山下 弥生・藤永 真理子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。リスニングについては、聴解が難しい部分を重点的に扱い、英文が聞こえてくる感覚が身につくような授業を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

* TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「総合英語2」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語の内、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。既知の単語が出てくる文のリスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各教員から指示があります。

■ 教科書

ISBN 978-4-7647-4046-4 『Science for Fun!—楽しんで読む最新科学』 (服部 圭子、金星堂 : 2017)

ISBN 978-4-77736-346-9 『CUBIC LISTENING:CLOSING THE CULTURE GAP (リスニングの小箱10分間シリーズ)』

(ティモシー・キジェル、マクミランランゲージハウス : 2010)

ISBN 978-4-86312-274-1 『TOEIC Test Trainer Target 650 Revised Edition Student Book』 (Masahiko Yamaguchi、センゲージラーニング : 2015)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

総合英語2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

野口 : 非常勤講師 : 講師控室 (2号館2階) h-noguch@waka.kindai.ac.jp

山下 : 非常勤講師 : 講師控室 (2号館2階) yayoiyam@waka.kindai.ac.jp

藤永 : 非常勤講師 : 講師控室 (2号館2階) fujinaga@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

野口 : 担当授業の前後休憩時間とします。

山下 : 担当授業の前後休憩時間とします。

藤永 : 担当授業の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

各テキストの説明

リスニング Unit1 Getting Married

予習内容：Unit 1 Ssecret Taste Cellsの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit1 Getting Marriedの単語および熟語の復習

復習時間：60分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題（インターネットを使った課題やランチタイムリーディングへの参加など）

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れもの（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用の制限について
- ・単語／熟語の小テストについて
- ・定期試験について
- ・総合評価について

各テキストの説明

その他、受講に際しての重要事項について

【リスニング】ウェディングに関する内容のリスニング問題を解く。

第2回 Unit 1 Ssecret Taste Cells (1)

予習内容：Unit 1 Ssecret Taste Cellsテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 1 Ssecret Taste Cellsの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。

第3回 Unit 1 Ssecret Taste Cells (2)

予習内容：リスニング Unit2 Do You Have a Part-Time job?の単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 1 Ssecret Taste Cellsの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第4回 リスニング Unit2 Do You Have a Part-Time job?

予習内容：リスニング Unit3 50 Channels and Nothing Onの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit2 Do You Have a Part-Time job?の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外のアルバイト事情などに関する内容のリスニング問題を解く。

第5回 リスニング Unit3 50 Channels and Nothing On

予習内容：Unit2 Singing Sandの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit3 50 Channels and Nothing Onの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外のテレビ事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第6回 Unit2 Singing Sand (1)

予習内容：Unit2 Singing Sandテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit2 Singing Sandの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。

第7回 Unit2 Singing Sand (2)

予習内容：リスニング Unit4 Fingers Crossed for Good Luckの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit2 Singing Sandの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第8回 リスニング Unit4 Fingers Crossed for Good Luck

予習内容：リスニング Unit5 At the Moviesの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit4 Fingers Crossed for Good Luckの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の迷信に関する内容のリスニング問題を解く。

第9回 リスニング Unit5 At the Movies

予習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit5 At the Moviesの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の映画事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第10回 Unit3 Christmas Tree Science (1)

予習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く。

第11回 Unit3 Christmas Tree Science (2)

予習内容：リスニング Unit6 College Lifeの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第12回 リスニング Unit6 College Life

予習内容：リスニング Unit7 Happy Thanksgivingの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit6 College Lifeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の大学生活に関する内容のリスニング問題を解く。

第13回 リスニング Unit7 Happy Thanksgiving

予習内容：Unit4 Watch a Zebra Thinkの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit7 Happy Thanksgivingの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の祝祭日に関する内容のリスニング問題を解く。

第14回 Unit4 Watch a Zebra Think (1)

予習内容：Unit4 Watch a Zebra Thinkテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit4 Watch a Zebra Thinkの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。

第15回 Unit4 Watch a Zebra Think (2)

予習内容：リスニング Unit 8 Volunteering Your Timeの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit4 Watch a Zebra Thinkの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第16回 リスニング Unit 8 Volunteering Your Time

予習内容：リスニング Unit 9 Living at Homeの単語チェック
復習内容：リスニング Unit 8 Volunteering Your Timeの単語および熟語の復習
【リスニング】ボランティア活動に関する内容のリスニング問題を解く。

第17回 リスニング Unit 9 Living at Home

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit 9 Living at Homeの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】家庭生活に関する内容のリスニング問題を解く。

第18回 Unit5 The Time-Traveling Flower (1)

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】大昔の花の種の発見についての英文を読み解く。

第19回 Unit5 The Time-Traveling Flower (2)

予習内容：リスニング Unit 10 Sunday Morning Breakfastの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】大昔の花の種の発見についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第20回 リスニング Unit 10 Sunday Morning Breakfast

予習内容：TOEIC Unit 1【文法】時制1の予習
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit 10 Sunday Morning Breakfastの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】朝食の習慣に関する内容のリスニング問題を解く。

第21回 TOEIC概略説明

TOEIC Unit 1

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 1文法・単語および熟語の復習
復習時間：60分
TOEICの各パートの問題形式に関する説明。
【TOEIC】予定について話す時に使える英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。
【文法】動詞・5文型

第22回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs (1)

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。

第23回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs (2)

予習内容：TOEIC Unit 2【文法】時制2の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第24回 TOEIC Unit 2

予習内容：TOEIC Unit 3【文法】助動詞の予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 2文法・単語および熟語の復習
復習時間：60分

【TOEIC】数量を尋ねる時に使える英語表現を含んだTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】時制2

第25回 TOEIC Unit 3

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：TOEIC Unit 3文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】命令・依頼に関する英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】助動詞

第26回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place (1)

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。

第27回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place (2)

予習内容：TOEIC Unit 4【スキル】フレーズリーディングの予習

予習時間：60分

復習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第28回 TOEIC Unit 4

予習内容：Unit8 Your Brain on Musicの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：TOEIC Unit 4スキル・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】広告・宣伝に使われている英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【スキル】フレーズリーディング

第29回 Unit8 Your Brain on Music (1)

予習内容：Unit8 Your Brain on Musicテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit8 Your Brain on Musicの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】脳と音楽についての英文を読み解く。

第30回 Unit8 Your Brain on Music (2)

予習内容：定期試験に向けての総復習

復習内容：Unit8 Your Brain on Musicの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】脳と音楽についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

★夏休み中にも引き続きTOEIC対策の自主的な学習を行うとともに、可能であれば受講期間中にTOEIC-IPもしくはTOEICの公開試験を受験することも視野に入れてみる。

定期試験

テスト範囲については各担当者に確認すること。

■ホームページ

科目名 :	総合英語 1				
英文名 :	General English 1				
担当者 :	長谷川 由美・吉川 裕介・片岡 宏仁				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。リスニングについては、聴解が難しい部分を重点的に扱い、英文が聞こえてくる感覚が身につくような授業を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

* TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「総合英語 2」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語の内、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。既知の単語が出てくる文のリスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各教員から指示があります。

■ 教科書

ISBN 978-4-7647-4046-4 『Science for Fun!—楽しんで読む最新科学』 (服部 圭子、金星堂 : 2017)

ISBN 978-4-77736-346-9 『CUBIC LISTENING:CLOSING THE CULTURE GAP (リスニングの小箱10分間シリーズ)』

(ティモシー・キジェル、マクミランランゲージハウス : 2010)

ISBN 978-4-86312-260-4 『TOEIC Test Trainer Target 470 Revised Edition Student Book』 (Masahiko Yamaguchi、センゲージラーニング : 2015)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

総合英語2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

長谷川 : 長谷川研究室 (2号館5階) hasegawa@waka.kindai.ac.jp

吉川 : 吉川研究室 (2号館5階) y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

片岡 : 講師控室 (2号館2階) hrht_knk@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

長谷川 : 水曜 3 限目 (その他の時間帯は必ず予約すること)

吉川 : 月曜 3 限目 (その他の時間帯は必ず予約すること)

片岡 : 担当授業の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

各テキストの説明

リスニング Unit1 Getting Married

予習内容：Unit 1 Ssecret Taste Cellsの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit1 Getting Marriedの単語および熟語の復習

復習時間：60分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題（インターネットを使った課題やランチタイムリーディングへの参加など）

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れもの（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用の制限について
- ・単語／熟語の小テストについて
- ・定期試験について
- ・総合評価について

各テキストの説明

その他、受講に際しての重要事項について

【リスニング】ウェディングに関する内容のリスニング問題を解く。

第2回 Unit 1 Ssecret Taste Cells (1)

予習内容：Unit 1 Ssecret Taste Cellsテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit 1 Ssecret Taste Cellsの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。

第3回 Unit 1 Ssecret Taste Cells (2)

予習内容：リスニング Unit2 Do You Have a Part-Time job?の単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit 1 Ssecret Taste Cellsの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第4回 リスニング Unit2 Do You Have a Part-Time job?

予習内容：リスニング Unit3 50 Channels and Nothing Onの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit2 Do You Have a Part-Time job?の単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外のアルバイト事情などに関する内容のリスニング問題を解く。

第5回 リスニング Unit3 50 Channels and Nothing On

予習内容：Unit2 Singing Sandの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit3 50 Channels and Nothing Onの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外のテレビ事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第6回 Unit2 Singing Sand (1)

予習内容：Unit2 Singing Sandテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit2 Singing Sandの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。

第7回 Unit2 Singing Sand (2)

予習内容：リスニング Unit4 Fingers Crossed for Good Luckの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit2 Singing Sandの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第8回 リスニング Unit4 Fingers Crossed for Good Luck

予習内容：リスニング Unit5 At the Moviesの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit4 Fingers Crossed for Good Luckの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の迷信に関する内容のリスニング問題を解く。

第9回 リスニング Unit5 At the Movies

予習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit5 At the Moviesの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の映画事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第10回 Unit3 Christmas Tree Science (1)

予習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く。

第11回 Unit3 Christmas Tree Science (2)

予習内容：リスニング Unit6 College Lifeの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第12回 リスニング Unit6 College Life

予習内容：リスニング Unit7 Happy Thanksgivingの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit6 College Lifeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の大学生活に関する内容のリスニング問題を解く。

第13回 リスニング Unit7 Happy Thanksgiving

予習内容：Unit4 Watch a Zebra Thinkの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit7 Happy Thanksgivingの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の祝祭日に関する内容のリスニング問題を解く。

第14回 Unit4 Watch a Zebra Think (1)

予習内容：Unit4 Watch a Zebra Thinkテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit4 Watch a Zebra Thinkの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。

第15回 Unit4 Watch a Zebra Think (2)

予習内容：リスニング Unit 8 Volunteering Your Timeの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit4 Watch a Zebra Thinkの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第16回 リスニング Unit 8 Volunteering Your Time

予習内容：リスニング Unit 9 Living at Homeの単語チェック
復習内容：リスニング Unit 8 Volunteering Your Timeの単語および熟語の復習
【リスニング】ボランティア活動に関する内容のリスニング問題を解く。

第17回 リスニング Unit 9 Living at Home

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit 9 Living at Homeの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】家庭生活に関する内容のリスニング問題を解く。

第18回 Unit5 The Time-Traveling Flower (1)

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】大昔の花の種の発見についての英文を読み解く。

第19回 Unit5 The Time-Traveling Flower (2)

予習内容：リスニング Unit 10 Sunday Morning Breakfastの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】大昔の花の種の発見についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第20回 リスニング Unit 10 Sunday Morning Breakfast

予習内容：TOEIC Unit 1【文法】動詞・5文型の予習
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit 10 Sunday Morning Breakfastの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】朝食の習慣に関する内容のリスニング問題を解く。

第21回 TOEIC概略説明

TOEIC Unit 1

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 1文法・単語および熟語の復習
復習時間：60分
TOEICの各パートの問題形式に関する説明。
【TOEIC】予定について話す時に使える英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。
【文法】動詞・5文型

第22回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs (1)

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。

第23回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs (2)

予習内容：TOEIC Unit 2【文法】名詞の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第24回 TOEIC Unit 2

予習内容：TOEIC Unit 3【文法】形容詞・副詞の予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 2文法・単語および熟語の復習
復習時間：60分

【TOEIC】数量を尋ねる時に使える英語表現を含んだTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】名詞

第25回 TOEIC Unit 3

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：TOEIC Unit 3文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】命令・依頼に関する英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】形容詞・副詞

第26回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place (1)

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。

第27回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place (2)

予習内容：TOEIC Unit 4【スキル】フレーズリーディングの予習

予習時間：60分

復習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第28回 TOEIC Unit 4

予習内容：Unit8 Your Brain on Musicの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：TOEIC Unit 4スキル・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】広告・宣伝に使われている英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【スキル】フレーズリーディング

第29回 Unit8 Your Brain on Music (1)

予習内容：Unit8 Your Brain on Musicテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit8 Your Brain on Musicの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】脳と音楽についての英文を読み解く。

第30回 Unit8 Your Brain on Music (2)

予習内容：定期試験に向けての総復習

復習内容：Unit8 Your Brain on Musicの単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】脳と音楽についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

★夏休み中にも引き続きTOEIC対策の自主的な学習を行うとともに、可能であれば受講期間中にTOEIC-IPもしくはTOEICの公開試験を受験することも視野に入れてみる。

定期試験

テスト範囲については各担当者に確認すること。

■ホームページ

科目名 :	総合英語 2						
英文名 :	General English 2						
担当者 :	野口 博代・山下 弥生・藤永 真理子						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。リスニングについては、聴解が難しい部分を重点的に扱い、英文が聞こえてくる感覚が身につくような授業を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

* TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「総合英語 1」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語の内、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。既知の単語が出てくる文のリスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 15%

実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各教員から指示があります。

■ 教科書

ISBN 978-4-7647-4046-4 『Science for Fun!—楽しんで読む最新科学』 (服部 圭子、金星堂 : 2017)

ISBN 978-4-77736-346-9 『CUBIC LISTENING:CLOSING THE CULTURE GAP (リスニングの小箱10分間シリーズ)』 (ティモシー・キジェル、マクミランランゲージハウス : 2010)

ISBN 978-4-86312-274-1 『TOEIC Test Trainer Target 650 Revised Edition Student Book』 (Masahiko Yamaguchi、センゲージラーニング : 2015)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

総合英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

野口 : 非常勤講師 : 講師控室 (2号館2階) h-noguch@waka.kindai.ac.jp

山下 : 非常勤講師 : 講師控室 (2号館2階) yayoiyam@waka.kindai.ac.jp

藤永 : 非常勤講師 : 講師控室 (2号館2階) fujinaga@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

野口 : 担当授業の前後休憩時間とします。

山下 : 担当授業の前後休憩時間とします。

藤永 : 担当授業の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (1)

予習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く。

第2回 Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (2)

予習内容：リスニング Unit11 Armchair Quarterbackの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第3回 リスニング Unit11 Armchair Quarterback

予習内容：リスニング Unit12 The Good Bookの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit11 Armchair Quarterback単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】スポーツ観戦などに関する内容のリスニング問題を解く。

第4回 リスニング Unit12 The Good Book

予習内容：Unit10 Too Quick to bBe Roadkillの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit12 The Good Book単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】宗教や聖書に関する内容のリスニング問題を解く。

第5回 Unit10 Too Quick to bBe Roadkill (1)

予習内容：Unit10 Too Quick to bBe Roadkillテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit10 Too Quick to bBe Roadkill単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】環境に適応する燕の進化についての英文を読み解く。

第6回 Unit10 Too Quick to bBe Roadkill (2)

予習内容：リスニング Unit13 Sweetheartsの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：Unit10 Too Quick to bBe Roadkill単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】環境に適応する燕の進化についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第7回 リスニング Unit13 Sweethearts

予習内容：リスニング Unit14 What Did You Get for Christmas?の単語チェック
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit13 Sweethearts単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】海外の恋愛事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第8回 リスニング Unit14 What Did You Get for Christmas?

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbesの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit14 What Did You Get for Christmas?単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】海外のクリスマス事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第9回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes (1)

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbesテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】自分の身近にいる微生物についての英文を読み解く。

第10回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes (2)

予習内容：リスニング Unit17 ArmOnline Shoppingの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】自分の身近にいる微生物についての英文を読み解く。。

<文法・リスニング含む。>

第11回 リスニング Unit17 ArmOnline Shopping

予習内容：リスニング Unit18 Are You Going to the Prom?の単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit17 ArmOnline Shopping単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外のオンラインショッピングに関する内容のリスニング問題を解く。

第12回 リスニング Unit18 Are You Going to the Prom?

予習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to Schoolの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit18 Are You Going to the Prom?単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】プロムに関する内容のリスニング問題を解く。

第13回 Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School (1)

予習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to Schoolテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】学校に行けない子供の代わりに学校に行くロボットについての英文を読み解く。

第14回 Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School (2)

予習内容：TOEIC 5【文法】代名詞の予習

予習時間：60分

復習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】学校に行けない子供の代わりに学校に行くロボットについての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第15回 TOEIC 5

予習内容：TOEIC 6【文法】前置詞の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 5文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】時間を尋ねる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】代名詞

第16回 TOEIC 6

予習内容：TOEIC 7【文法】接続詞の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 6文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】場所を尋ねる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】前置詞

第17回 TOEIC 7

予習内容：TOEIC 8【スキル】スキニングの予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 7文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】確認をする時に使える英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】接続詞

第18回 TOEIC 8

予習内容：TOEIC 9【文法】関係詞の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 8スキル・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】留守番電話によく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【スキル】スキヤニング

第19回 TOEIC 9

予習内容：TOEIC 10【文法】分詞構文の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 9文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】アドバイスをする時によく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】関係詞

第20回 TOEIC 10

予習内容：TOEIC 11【文法】仮定法の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 10文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】誘う時によく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】分詞構文

第21回 TOEIC 11

予習内容：TOEIC 12【スキル】スキミングの予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 11文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】申し出をする時によく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】仮定法

第22回 TOEIC 12

予習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamstersの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 12文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】講演者を紹介する時によく使う英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【スキル】スキミング

第23回 Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters (1)

予習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamstersテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く。

第24回 Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters (2)

予習内容：リスニング Unit19 Read All About Itの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第25回 リスニング Unit19 Read All About It

予習内容：リスニング Unit20 Politically Correctの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の新聞事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第26回 リスニング Unit20 Politically Correct

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?の単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit20 Politically Correct単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】差別や偏見が含まれない言い方に関する内容のリスニング問題を解く。

第27回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (1)

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?テキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】異なる動物における共通点についての英文を読み解く。

第28回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (2)

予習内容：Unit15 Spying on Diseaseの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】異なる動物における共通点についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第29回 Unit15 Spying on Disease (1)

予習内容：Unit15 Spying on Diseaseテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit15 Spying on Disease単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】バクテリアについての英文を読み解く。

第30回 Unit15 Spying on Disease (2)

予習内容：定期試験に向けての総復習

復習内容：Unit15 Spying on Disease単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】バクテリアについての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

★可能であれば受講期間中にTOEIC-IPもしくはTOEICの公開試験を受験することも視野に入れてみる。

定期試験

定期試験の範囲については各担当者にお尋ねください。

■ホームページ

科目名 :	総合英語 2				
英文名 :	General English 2				
担当者 :	長谷川 由美・吉川 裕介・片岡 宏仁				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。リスニングについては、聴解が難しい部分を重点的に扱い、英文が聞こえてくる感覚が身につくような授業を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

* TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「総合英語 1」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語の内、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。既知の単語が出てくる文のリスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 15%

実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各教員から指示があります。

■ 教科書

ISBN 978-4-7647-4046-4 『Science for Fun!—楽しんで読む最新科学』 (服部 圭子、金星堂 : 2017)

ISBN 978-4-77736-346-9 『CUBIC LISTENING:CLOSING THE CULTURE GAP (リスニングの小箱10分間シリーズ)』 (ティモシー・キジェル、マクミランランゲージハウス : 2010)

ISBN 978-4-86312-260-4 『TOEIC Test Trainer Target 470 Revised Edition Student Book』 (Masahiko Yamaguchi、センゲージラーニング : 2015)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

総合英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

長谷川 : 長谷川研究室 (2号館5階) hasegawa@waka.kindai.ac.jp

吉川 : 吉川研究室 (2号館5階) y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

片岡 : 講師控室 (2号館2階) hrht_knk@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

長谷川 : 水曜 3 限目 (その他の時間帯は必ず予約すること)

吉川 : 月曜 3 限目 (その他の時間帯は必ず予約すること)

片岡 : 担当授業の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (1)

予習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く。

第2回 Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (2)

予習内容：リスニング Unit11 Armchair Quarterbackの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第3回 リスニング Unit11 Armchair Quarterback

予習内容：リスニング Unit12 The Good Bookの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit11 Armchair Quarterback単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】スポーツ観戦などに関する内容のリスニング問題を解く。

第4回 リスニング Unit12 The Good Book

予習内容：Unit10 Too Quick to bBe Roadkillの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit12 The Good Book単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】宗教や聖書に関する内容のリスニング問題を解く。

第5回 Unit10 Too Quick to bBe Roadkill (1)

予習内容：Unit10 Too Quick to bBe Roadkillテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit10 Too Quick to bBe Roadkill単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】環境に適応する燕の進化についての英文を読み解く。

第6回 Unit10 Too Quick to bBe Roadkill (2)

予習内容：リスニング Unit13 Sweetheartsの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：Unit10 Too Quick to bBe Roadkill単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】環境に適応する燕の進化についての英文を読み解く。
<文法・リスニング含む。>

第7回 リスニング Unit13 Sweethearts

予習内容：リスニング Unit14 What Did You Get for Christmas?の単語チェック
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit13 Sweethearts単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】海外の恋愛事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第8回 リスニング Unit14 What Did You Get for Christmas?

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbesの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：リスニング Unit14 What Did You Get for Christmas?単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リスニング】海外のクリスマス事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第9回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes (1)

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbesテキストにある演習問題
予習時間：60分
復習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】自分の身近にいる微生物についての英文を読み解く。

第10回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes (2)

予習内容：リスニング Unit17 ArmOnline Shoppingの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】自分の身近にいる微生物についての英文を読み解く。。

<文法・リスニング含む。>

第11回 リスニング Unit17 ArmOnline Shopping

予習内容：リスニング Unit18 Are You Going to the Prom?の単語チェック

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit17 ArmOnline Shopping単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外のオンラインショッピングに関する内容のリスニング問題を解く。

第12回 リスニング Unit18 Are You Going to the Prom?

予習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to Schoolの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit18 Are You Going to the Prom?単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】プロムに関する内容のリスニング問題を解く。

第13回 Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School (1)

予習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to Schoolテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】学校に行けない子供の代わりに学校に行くロボットについての英文を読み解く。

第14回 Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School (2)

予習内容：TOEIC 5【文法】動名詞の予習

予習時間：60分

復習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】学校に行けない子供の代わりに学校に行くロボットについての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第15回 TOEIC 5

予習内容：TOEIC 6【文法】to不定詞の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 5文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】時間を尋ねる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】動名詞

第16回 TOEIC 6

予習内容：TOEIC 7【文法】分詞の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 6文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】場所を尋ねる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】to不定詞

第17回 TOEIC 7

予習内容：TOEIC 8【スキル】スキニングの予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 7文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】確認をする時に使える英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】分詞

第18回 TOEIC 8

予習内容：TOEIC 9【文法】受動態の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 8スキル・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】留守番電話によく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【スキル】スキヤニング

第19回 TOEIC 9

予習内容：TOEIC 10【文法】比較の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 9文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】アドバイスをする時によく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】受動態

第20回 TOEIC 10

予習内容：TOEIC 11【文法】関係詞の予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 10文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】誘う時によく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】比較

第21回 TOEIC 11

予習内容：TOEIC 12【スキル】スキミングの予習

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 11文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】申し出をする時によく使われる英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【文法】関係詞

第22回 TOEIC 12

予習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamstersの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：TOEIC 12文法・単語および熟語の復習

復習時間：60分

【TOEIC】講演者を紹介する時によく使う英語表現をTOEIC形式の問題を解きながら学ぶ。

【スキル】スキミング

第23回 Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters (1)

予習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamstersテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く。

第24回 Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters (2)

予習内容：リスニング Unit19 Read All About Itの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第25回 リスニング Unit19 Read All About It

予習内容：リスニング Unit20 Politically Correctの単語チェック

予習時間：60分

復習内容：Unit13 Jet ag = Brain Famage for Hamsters単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】海外の新聞事情に関する内容のリスニング問題を解く。

第26回 リスニング Unit20 Politically Correct

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?の単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：リスニング Unit20 Politically Correct単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リスニング】差別や偏見が含まれない言い方に関する内容のリスニング問題を解く。

第27回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (1)

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?テキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】異なる動物における共通点についての英文を読み解く。

第28回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (2)

予習内容：Unit15 Spying on Diseaseの単語チェック、本文の内容理解

予習時間：60分

復習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】異なる動物における共通点についての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

第29回 Unit15 Spying on Disease (1)

予習内容：Unit15 Spying on Diseaseテキストにある演習問題

予習時間：60分

復習内容：Unit15 Spying on Disease単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】バクテリアについての英文を読み解く。

第30回 Unit15 Spying on Disease (2)

予習内容：定期試験に向けての総復習

復習内容：Unit15 Spying on Disease単語および熟語の復習

復習時間：60分

【リーディング】バクテリアについての英文を読み解く。

<文法・リスニング含む。>

★可能であれば受講期間中にTOEIC-IPもしくはTOEICの公開試験を受験することも視野に入れてみる。

定期試験

定期試験の範囲については各担当者にお尋ねください。

■ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	吉川 裕介				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

自然科学系の幅広いトピックを取り上げたテキストを使用し、自然科学・理工学に関する様々な内容に興味を持ち、英文で理解するための読解力を身に付ける。特に前期では精読を意識し、内容を正確に理解するための素地を養う。授業では予習を前提に授業を行い、適宜ペアワークによる意見交換や口頭練習を交えながら英語表現の定着を目指す。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語2」と合わせて、300~400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案を返却し、解説します。

■ 教科書

ISBN: 978-4-86312-287-1 Reading Dynamics 山科美和子 センゲージラーニング 2016

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

理系英語2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

吉川研究室 (2号館5階514) y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限(ただし、その他の時間帯は必ずメールで予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容: シラバスを熟読し、授業概要と到達目標を理解した上で受講すること。

予習時間: 90分

授業に関する概要説明と必要事項の伝達

学内TOEIC IPテストのお知らせ

予習・復習の説明

評価についての説明

第2回 Chapter 1 The birth-order myth①

予習内容: Chapter 1 The birth-order myth① (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間: 60分

復習内容: Chapter 1 The birth-order myth① (授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

出生順をめぐる神話に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第3回 Chapter 1 The birth-order myth②

予習内容：Chapter 1 The birth-order myth② (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 1 The birth-order myth②(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

出生順をめぐる神話に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第4回 Chapter 1 The birth-order myth③

予習内容：Chapter 1 The birth-order myth③ (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 1 The birth-order myth③(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

出生順をめぐる神話に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第5回 Chapter 2 My husband. the outsider①

予習内容：Chapter 2 My husband. the outsider① (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 2 My husband. the outsider①(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

国際結婚に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第6回 Chapter 2 My husband. the outsider②

予習内容：Chapter 2 My husband. the outsider② (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 2 My husband. the outsider②(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

国際結婚に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第7回 Chapter 2 My husband. the outsider③

予習内容：Chapter 2 My husband. the outsider③ (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 2 My husband. the outsider③(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

国際結婚に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第8回 中間試験およびフィードバック

予習内容：前半授業の復習

予習時間：90分

学習内容および到達度確認問題

中間試験後にフィードバックを行う。

第9回 Chapter 3 Hop, Skip... and software?前半

予習内容：Chapter 3 Hop, Skip... and software?前半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 3 Hop, Skip... and software?前半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

コンピューター早期導入に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第10回 Chapter 3 Hop, Skip... and software?後半

予習内容：Chapter 3 Hop, Skip... and software?後半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 3 Hop, Skip... and software?後半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

コンピューター早期導入に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第11回 Chapter 4 Highs and Lows in self-esteem前半

予習内容：Chapter 4 Highs and Lows in self-esteem前半(精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 4 Highs and Lows in self-esteem前半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

自尊心の浮き沈みに関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第12回 Chapter 4 Highs and Lows in self-esteem後半

予習内容：Chapter 4 Highs and Lows in self-esteem後半(精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 4 Highs and Lows in self-esteem後半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

自尊心の浮き沈みに関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第13回 Chapter 4 Who lives longer?前半

予習内容：Chapter 4 Who lives longer?前半(精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 4 Who lives longer?前半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

長生きに関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第14回 Chapter 4 Who lives longer?後半

予習内容：Chapter 4 Who lives longer?後半(精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 4 Who lives longer?後半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

長生きに関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第15回 まとめ

予習内容：後半授業の復習。定期試験に向けたテスト勉強

予習時間：90分

半期を振り返り全体的なフィードバックを行う。

期末試験についての説明

定期試験

テキストに基づいた定期試験を行う。

■ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	武智 美佳				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理系英語の力を身に付ける授業を行う。生命・自然・宇宙に関する英文とその内容把握を問う練習問題をするにより、読解力を養う。また、各ユニットにある英語表現だけでなく、広く自然科学に関する英文を身に着けるようにするために、各々理解を問う練習問題をする。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語2」と合わせて、300~400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784863122871 『READING DYNAMICS』（山科美和子, センゲージラーニング : 2016)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

理系英語2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・mtakechi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

UNIT 1 LIVING IN SOCIETY

予習内容 : CHAPTER 1 The Birth-Order Myth

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 1 The Birth-Order Myth

復習時間 : 60分

（前半） オリエンテーション

（後半） UNIT 1 LIVING IN SOCIETY

CHAPTER 1 The Birth-Order Myth

第2回 UNIT 1 LIVING IN SOCIETY

予習内容 : CHAPTER 2 My Husband, the Outsider

予習時間 : 60分
復習内容 : CHAPTER 1 The Birth-Order Myth
復習時間 : 60分
CHAPTER 1 The Birth-Order Myth

第3回 UNIT 1 LIVING IN SOCIETY

予習内容 : CHAPTER 2 My Husband, the Outsider
予習時間 : 60分
復習内容 : CHAPTER 2 My Husband, the Outsider
復習時間 : 60分
CHAPTER 2 My Husband, the Outsider

第4回 UNIT 1 LIVING IN SOCIETY

予習内容 : CHAPTER 3 Hop, Skip ... and Software?
予習時間 : 60分
復習内容 : CHAPTER 2 My Husband, the Outsider
復習時間 : 60分
CHAPTER 2 My Husband, the Outsider

第5回 UNIT 1 LIVING IN SOCIETY

予習内容 : CHAPTER 3 Hop, Skip ... and Software?
予習時間 : 60分
復習内容 : CHAPTER 3 Hop, Skip ... and Software?
復習時間 : 60分
CHAPTER 3 Hop, Skip ... and Software?

第6回 UNIT 1 LIVING IN SOCIETY

予習内容 : CHAPTER 4 Highs and Lows in Self-Esteem
予習時間 : 60分
復習内容 : CHAPTER 3 Hop, Skip ... and Software?
復習時間 : 60分
CHAPTER 3 Hop, Skip ... and Software?

第7回 小テスト

予習内容 : UNIT 1 LIVING IN SOCIETY
予習時間 : 60分
復習内容 : UNIT 1 LIVING IN SOCIETY
復習時間 : 60分
小テスト

第8回 UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING

予習内容 : CHAPTER 4 Highs and Lows in Self-Esteem
予習時間 : 60分
復習内容 : CHAPTER 4 Highs and Lows in Self-Esteem
復習時間 : 60分
CHAPTER 4 Highs and Lows in Self-Esteem

第9回 UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING

予習内容 : CHAPTER 5 Who Lives Longer?
予習時間 : 60分
復習内容 : CHAPTER 4 Highs and Lows in Self-Esteem
復習時間 : 60分
CHAPTER 4 Highs and Lows in Self-Esteem

第10回 UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING

予習内容 : CHAPTER 5 Who Lives Longer?
予習時間 : 60分
復習内容 : CHAPTER 5 Who Lives Longer?
復習時間 : 60分
CHAPTER 5 Who Lives Longer?

第11回 UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING

予習内容 : CHAPTER 6 Are Gifted Children Born or Made?

予習時間：60分
復習内容：CHAPTER 5 Who Lives Longer?
復習時間：60分
CHAPTER 5 Who Lives Longer?

第12回 UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING

予習内容：CHAPTER 6 Are Gifted Children Born or Made?
予習時間：60分
復習内容：CHAPTER 6 Are Gifted Children Born or Made?
復習時間：60分
CHAPTER 6 Are Gifted Children Born or Made?

第13回 UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING

予習内容：CHAPTER 6 Are Gifted Children Born or Made?
予習時間：60分
復習内容：CHAPTER 6 Are Gifted Children Born or Made?
復習時間：60分
CHAPTER 6 Are Gifted Children Born or Made?

第14回 小テスト

予習内容：UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING
予習時間：60分
復習内容：UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING
復習時間：60分
小テスト

第15回 小テスト

予習内容：UNIT 1 LIVING IN SOCIETY
UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING
予習時間：60分
復習内容：UNIT 1 LIVING IN SOCIETY
UNIT 2 HEALTH AND WELL-BEING
復習時間：60分
小テスト

定期試験

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	竹中 義胤				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

450語前後の長さの科学的な読み物を読むことで、読解力と語彙力を向上させていきます。

「生活環境」「自然資源」「医療」「生活様式」などを中心に基本的な言葉を使いながら、これらの話題を能動的に発信するための基礎固めをしていきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

基礎レベルの科学に関する語彙力をつけ、450語前後の科学的な読み物を理解する力を養成する。また、英語で科学的な事象について発話できるような土台を作っていく。

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%

レポート・小テスト等 20%

定期テスト 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791947836 『最新科学の知見』（永田 博人, 成美堂 : 2015）

■ 参考文献

■ 関連科目

理系英語 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日、水曜日、木曜日の昼休憩または月曜日5限の授業後、講師控室（2号館2階）に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Unit 1 Four-Legged Fish

進化の謎を探る

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第2回 Unit 2 Reproduction Without Males

パパはいらない、ママだけで

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第3回 Deeper and Deeper

深海の不思議な生き物

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第4回 Unit 4 An Explosive World Heritage

山体崩壊

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第5回 Fierce Fungi

深い森の地下抗争

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第6回 Unit 6 Extreme Weather

異常気象

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第7回 Unit 7 The Wolf Girls of Bengal

オオカミ少女はいなかった

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第8回 Unit 8 Finding Nessie

ネッシーはどこだ？

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第9回 Unit 9 Crop Circles

ミステリー・サークル

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第10回 Unit 10 Smart Roots

気になる木の根冠

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第11回 Unit 11 Insecticide Resistance

耐性昆虫との闘い

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第12回 Unit 12 Unwelcome Guests

寄生

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマに関連する語彙力養成および読解・ライティング・要約演習

第13回 Unit 1～Unit 4の復習及び語彙力強化

予習内容：単語の復習

予習時間：30分

復習内容：全体の復習

復習時間：30分

総復習

第14回 Unit 5～Unit 8の復習及び語彙力強化

予習内容：単語の復習

予習時間：30分

復習内容：全体の復習

復習時間：30分

総復習

第15回 Unit 9～Unit 12の復習及び語彙力強化

予習内容：単語の復習

予習時間：30分

復習内容：全体の総復習

復習時間：30分

総復習

前期末試験

授業中に指定します。

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 1						
英文名 :	Academic English 1						
担当者 :	武智 美佳						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

【医用工学科】

理系英語の力を身に付ける授業を行う。医療に関する英文とその内容把握を問う練習問題をするにより、読解力を養う。また、各ユニットにある英語表現だけでなく、広く医療に関する英文を身に着けるようにするために、各々理解を問う練習問題をする。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 2」と合わせて、300~400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

Signs And Symptoms:

True Stories By Doctors

医系コラム『バイタル・サインズ』で学ぶ基本医学演習

大下晴美/シーン・チドロウ/森茂

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

理系英語 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・mtakechi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

Chapter 1 And Down She Goes (1)

予習内容 : Chapter 1 And Down She Goes (1)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 1 And Down She Goes (1)

復習時間 : 60分

Chapter 1 And Down She Goes (1)

第2回 Chapter 1 And Down She Goes (1)

予習内容 : Chapter 1 And Down She Goes (1)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 1 And Down She Goes (1)

復習時間 : 60分

Chapter 1 And Down She Goes (1)

第3回 Chapter 2 And Down She Goes (2)

予習内容 : Chapter 2 And Down She Goes (2)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 2 And Down She Goes (2)

復習時間 : 60分

Chapter 2 And Down She Goes (2)

第4回 Chapter 2 And Down She Goes (2)

予習内容 : Chapter 2 And Down She Goes (2)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 2 And Down She Goes (2)

復習時間 : 60分

Chapter 2 And Down She Goes (2)

第5回 Chapter 3 Simple Sickness Gone Awry (1)

予習内容 : Chapter 3 Simple Sickness Gone Awry (1)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 3 Simple Sickness Gone Awry (1)

復習時間 : 60分

Chapter 3 Simple Sickness Gone Awry (1)

第6回 Chapter 3 Simple Sickness Gone Awry (1)

予習内容 : Chapter 3 Simple Sickness Gone Awry (1)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 3 Simple Sickness Gone Awry (1)

復習時間 : 60分

Chapter 3 Simple Sickness Gone Awry (1)

第7回 Chapter 4 Simple Sickness Gone Awry (2)

予習内容 : Chapter 4 Simple Sickness Gone Awry (2)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 4 Simple Sickness Gone Awry (2)

復習時間 : 60分

Chapter 4 Simple Sickness Gone Awry (2)

第8回 Chapter 4 Simple Sickness Gone Awry (2)

予習内容 : Chapter 4 Simple Sickness Gone Awry (2)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 4 Simple Sickness Gone Awry (2)

復習時間 : 60分

Chapter 4 Simple Sickness Gone Awry (2)

第9回 小テスト

予習内容 : 小テスト

予習時間 : 60分

復習内容 : 小テスト

復習時間 : 60分

小テスト

第10回 Chapter 5 Confusion That Comes And Goes (1)

予習内容 : Chapter 5 Confusion That Comes And Goes (1)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 5 Confusion That Comes And Goes (1)

復習時間 : 60分

Chapter 5 Confusion That Comes And Goes (1)

第11回 Chapter 5 Confusion That Comes And Goes (1)

予習内容 : Chapter 5 Confusion That Comes And Goes (1)
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 5 Confusion That Comes And Goes (1)
復習時間 : 60分
Chapter 5 Confusion That Comes And Goes (1)

第12回 Chapter 6 Confusion That Comes And Goes (2)

予習内容 : Chapter 6 Confusion That Comes And Goes (2)
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 6 Confusion That Comes And Goes (2)
復習時間 : 60分
Chapter 6 Confusion That Comes And Goes (2)

第13回 Chapter 6 Confusion That Comes And Goes (2)

予習内容 : Chapter 6 Confusion That Comes And Goes (2)
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 6 Confusion That Comes And Goes (2)
復習時間 : 60分
Chapter 6 Confusion That Comes And Goes (2)

第14回 Chapter 7 Brain Got Your Tongue? (1)

予習内容 : Chapter 7 Brain Got Your Tongue? (1)
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 7 Brain Got Your Tongue? (1)
復習時間 : 60分
Chapter 7 Brain Got Your Tongue? (1)

第15回 Chapter 7 Brain Got Your Tongue? (1)

予習内容 : Chapter 7 Brain Got Your Tongue? (1)
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 7 Brain Got Your Tongue? (1)
復習時間 : 60分
Chapter 7 Brain Got Your Tongue? (1)

定期試験

定期試験

■ **ホームページ**

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	長田 希好				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

【医用工学科】

理系の学術英語を確実に理解できるようになること、「速読」と「精読」の二種類の読み方のテクニックを習得し、その二つを巧みに組み合わせながら文章を読解できるようになることを目標とする。理系英語 1 では、各ユニットにある医療と健康に関する英文を読みその内容把握を問う練習問題を解くことにより、読解力を養う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 2」と合わせて、300 ～ 400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

"English for Healthcare Professionals Because We Care " (Maki Inoue and Tadashi Ihara: Cengage Learning) [ISBN] 978-4-86312-129-4.

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

理系英語 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）k-ci_osa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、Introduction

予習内容：テキスト全体に目を通し概要、そのレベルを確認しておくこと。

Introductionの問題を予め解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：Introductionで出てきた語彙を覚える

復習時間：30分

外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、Vocabulary Test

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に際しての重要事項について

Introduction：病院のフロアと医療専門の職業に関する語彙の問題

第2回 Unit 1: Body Parts (前半)

予習内容：人体各部に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した人体各部に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

人体各部に関する英語を学ぶ 医療現場で使われる英語表現を学習し、身体に関する語句を覚える。

第3回 Unit 1: Body Parts (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

人体各部に関する英語を学ぶ サメの襲撃と救急医療班の対応に関する文章を読み解く

第4回 Unit 2: Musculoskeletal System (前半)

予習内容：筋肉と骨に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した筋肉と骨に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

筋肉と骨に関する英語を学ぶ 筋骨格系疾患の症状、検査と疾患、治療と処置についての語句を覚える

第5回 Unit 2: Musculoskeletal System (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

筋肉と骨に関する英語を学ぶ 骨粗鬆症と飲酒・ステロイド、喫煙・ホルモン療法の関係についての文章を読み解く

第6回 Unit 3: Circulatory System (前半)

予習内容：循環器に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した循環器に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

循環器に関する英語を学ぶ 循環器系疾患の症状、検査と疾患、治療と処置についての語句を覚える

第7回 Unit 3: Circulatory System (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

循環器に関する英語を学ぶ 旅行中に心臓疾患の症状がでた女性についての文章を読み解く

第8回 Review Test 1

予習内容：Unit 1～Unit 3のリーディング、リスニングの理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。

復習時間：30分

Unit 1～3の英語表現、語句に関するテストを行い、解説、復習により知識の定着を目指す

第9回 Unit 4: Respiratory System (前半)

予習内容：呼吸器に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した呼吸器に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

呼吸器に関する英語を学ぶ 呼吸器系疾患の症状、検査と疾患、治療と処置についての語句を覚える

第10回 Unit 4: Respiratory System (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

呼吸器に関する英語を学ぶ 登山中に肺浮腫になった男性についての文章を読み解く

第11回 Unit 5: Digestive System (前半)

予習内容：消化器に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した消化器に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

消化器に関する英語を学ぶ 消化器系疾患の症状、疾患、治療と処置、内視鏡検査についての語句を覚える

第12回 Unit 5: Digestive System (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

消化器に関する英語を学ぶ 肝硬変になった女性についての文章を読み解く

第13回 Unit 6: Brain, Nervous System and Sensory System (前半)

予習内容：脳・神経・感覚に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した脳・神経・感覚に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

脳・神経・感覚に関する英語を学ぶ 脳・神経・感覚系疾患の症状、疾患、治療と処置、MRI検査についての語句を覚える

第14回 Unit 6: Brain, Nervous System and Sensory System (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

脳・神経・感覚に関する英語を学ぶ 分離脳による治療についての文章を読み解く

第15回 Review Test 2

予習内容：Unit 4～Unit 6のリーディング、リスニングの理解が理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。

復習時間：30分

Unit 4～6の英語表現、語句に関するテストを行い、解説、復習により知識の定着を目指す

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	澤邊 興平				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・ 指定教科書内の、科学エッセイの部分の読解に重点を置いた学習を行います。
- ・ 授業中に各受講生の担当課題範囲を決め翌週に発表してもらう形式なので、積極的に授業に参加してください。
- ・ 授業には辞書を必ず持参しましょう。
- ・ 受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 基礎英語力の向上と科学英語への関心を養うことを本授業の教育目標とします。
- ・ 300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。
 - ・ そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける
 - ・ 本文中で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を板書として提示します。

■ 教科書

[ISBN]9784523178149 『Mysteries in Science』(永田博人, 南雲堂 : 2016)
初回授業時まで購入しておくこと。(コピー不可)
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

理系英語 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時限前後の休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ

予習内容 : 語彙を調べ本文を通読する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間 : 60分

授業の進め方の説明

- ・ 予習の進め方

- ・授業の進め方
- ・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用制限について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に関する注意点について

科学技術英語の特徴

第2回 Unit1 : Parasitic Butterflies and Their Host Ants (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・昆虫の寄生に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第3回 Unit1 : Parasitic Butterflies and Their Host Ants (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・昆虫の寄生に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・寄生に関する他の事例を英語で読む

第4回 Unit2 : Where Have All the Honeybees Gone? (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・蜂群崩壊症候群に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第5回 Unit2 : Where Have All the Honeybees Gone? (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・蜂群崩壊症候群に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・養蜂に関する他の事例を英語で読む

第6回 Unit3 : He or She? (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・海洋生物の性転換に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第7回 Unit3 : He or She? (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・海洋生物の性転換に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・生物学における性転換に関する他の事例を英語で読む

第8回 Unit4 : Brain Regeneration (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・海馬の成長に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第9回 Unit4 : Brain Regeneration (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・海馬の成長に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・脳に関する他の事例を英語で読む

第10回 Unit5 : Now You See it, Now You Don't: The Invisible Gorilla (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・注意の幻想に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第11回 Unit5 : Now You See it, Now You Don't: The Invisible Gorilla (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・注意の幻想に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・選択的注意に関する他の事例を英語で読む

第12回 Unit6 : Be Careful of Paper-Cuts (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・耐性菌に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第13回 Unit6 : Be Careful of Paper-Cuts (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・耐性菌に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・抗生物質に関する他の事例を英語で読む

第14回 Unit7 : Baby Corals Dance Their Way Home (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・サンゴの生活環に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第15回 Unit7 : Baby Corals Dance Their Way Home (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・サンゴの生活環に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・海洋生物についての他の事例を英語で読む

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	長田 希好				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理系の学術英語を確実に理解できるようになること、「速読」と「精読」の二種類の読み方のテクニックを習得し、その二つを巧みに組み合わせながら文章を読解できるようになることを目標とする。理系英語 1 では、各ユニットにある「生物環境」「自然資源」「医療」「生活様式」などに関する英文を読みその内容把握を問う練習問題を解くことにより、読解力を養う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 2」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784791947836 『最新科学の知見』(永田 博人, 成美堂 : 2015)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

理系英語 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) k-ci_osa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation and Introduction

予習内容 : テキストのUnit 1～12に目を通し概要、そのレベルを確認しておくこと。

予習時間 : 30分

復習内容 : 前期の学習範囲の各Unitのリーディングを読み、それぞれの所要時間を記録しておくこと。

復習時間 : 60分

授業の進め方の説明

- ・ 予習の進め方
- ・ 授業の進め方
- ・ 課題

受講に際しての注意事項

- ・ 欠席/遅刻について

- ・定期試験について
 - ・総合評価について
- その他、受講に際しての重要事項について

第2回 Unit 1: Four-Legged Fish

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

進化の謎に関する英文を読み解く。

第3回 Unit 2: Reproduction Without Males

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

単為生殖に関する英文を読み解く。

第4回 Unit 3: Deeper and Deeper

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

深海生物に関する英文を読み解く。

第5回 Unit 4: Nature, Our Ferocious Mother

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

山体崩壊に関する英文を読み解く。

第6回 Unit 5: Fierce Fungi

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

菌に関する英文を読み解く。

第7回 Unit 6: Extreme Weather

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

異常気象に関する英文を読み解く

第8回 Review 1

予習内容：Unit 1～Unit 6のリーディングを読み、理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。

復習時間：30分

Unit 1～6の復習

第9回 Unit 7: The Wolf Girls of Bengal

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

オオカミに育てられた少女に関する英文を読み解く

第10回 Unit 8: Finding Nessie

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

ネッシーに関する英文を読み解く

第11回 Unit 9: Crop Circles

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

ミステリーサークルに関する英文を読み解く

第12回 Unit 10: Smart Roots

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

木の根冠に関する英文を読み解く

第13回 Unit 11: Insecticide Resistance

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

耐性昆虫との闘いに関する英文を読み解く

第14回 Unit 12: Unwelcome Guests

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

寄生に関する英文を読み解く

第15回 Review 2

予習内容：Unit 7～Unit 12のリーディングを読み、理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。

復習時間：30分

Unit 7～12の復習

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	中土井 智				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理系英語の基礎力を身につけるための授業。2回の授業につき1つの自然科学に関するトピックを紹介した記事を扱う。前半の授業では語彙の確認と本文読解を重点的にを行い、後半では本文に関する問題を解き、クラスメイト間での意見交換をする。授業ではテキストの内容を踏まえた上で、「聞く」、「話す」を中心としたグループワークを行う。そのためテキスト内の「読む」、「書く」アクティビティについては各自事前に予習を行って来る事が望ましい。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語2」と合わせ、通年での学習を通して300~400字程度で書かれた英文記事を、ところどころ辞書を活用しつつ概要をスムーズに把握できる英語読解力を修得する。さらに、内容理解を確認する活動を通して、重要なポイントを見つける精読力と意見発信力育成を目指す。最先端の科学や自然現象についての知識と考察力を養う。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業にて答案を返却し、解説を行う。

■ 教科書

[ISBN] 978-4-86312-289-5
『Science Frontiers —Developing Your English with National Geographic』 (Keiko Hattori, Toshio Hidaka, Yayoi Yamashita, Kana Matsuda, Judy Noguchi: CENGAGE Learning: 2016)

■ 参考文献

授業にて指示する。

■ 関連科目

理系英語2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・ nakadoi1704@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : 本授業のシラバスを読む

予習時間 : 15分

復習内容 : 本授業のシラバスを読む

復習時間 : 15分

授業に関する概要説明と必要事項の伝達

第2回 Unit1 Bare Bones

予習内容 : 「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」

予習時間：45分
復習内容：本文に関する質問 A
復習時間：15分
本文読解

第3回 Unit1 Bare Bones

予習内容：「Check the Form!」A& 「It's Your Turn!」
予習時間：30分
復習内容：「Check the Form!」A&B
復習時間：15分
内容理解

第4回 Unit2 Mummy Mystery

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」
予習時間：45分
復習内容：本文に関する質問 A
復習時間：15分
本文読解

第5回 Unit2 Mummy Mystery

予習内容：「Check the Form!」A& 「It's Your Turn!」
予習時間：30分
復習内容：「Check the Form!」A&B
復習時間：15分
内容理解

第6回 Unit3 Swim with Seahorses

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」
予習時間：45分
復習内容：本文に関する質問 A
復習時間：15分
本文読解

第7回 Unit3 Swim with Seahorses

予習内容：「Check the Form!」A& 「It's Your Turn!」
予習時間：30分
復習内容：「Check the Form!」A&B
復習時間：15分
内容理解

第8回 Review Test 1

予習内容：Unit1～Unit3
予習時間：60分
復習内容：問題プリント
復習時間：30分
Unit1～Unit3の確認テスト

第9回 Unit4 Mission to Mars

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」
予習時間：45分
復習内容：本文に関する質問 A
復習時間：15分
本文読解

第10回 Unit4 Mission to Mars

予習内容：「Check the Form!」A& 「It's Your Turn!」
予習時間：30分
復習内容：「Check the Form!」A&B
復習時間：15分
内容理解

第11回 Unit5 Feed the World

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」

予習時間：45分
復習内容：本文に関する質問 A
復習時間：15分
本文読解

第12回 Unit5 Feed the World

予習内容：「Check the Form!」 A& 「It's Your Turn!」
予習時間：30分
復習内容：「Check the Form!」 A&B
復習時間：15分
内容理解

第13回 Unit6 Into the Rain Forest

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」
予習時間：45分
復習内容：本文に関する質問 A
復習時間：15分
本文読解

第14回 Unit6 Into the Rain Forest

予習内容：「Check the Form!」 A& 「It's Your Turn!」
予習時間：30分
復習内容：「Check the Form!」 A&B
復習時間：15分
内容理解

第15回 Review Test 2

予習内容：Unit4～Unit6
予習時間：60分
復習内容：問題プリント
復習時間：30分
Unit4～Unit6の確認テスト

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	井上 麗子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

生物環境・自然資源・医療・生活様式のテーマについて、メディアで使用されたり、なじみのある基本的な内容に関心を持ち、英語で理解する読解力養成を目指した授業を行います。各ユニットの語彙学習や本文理解に関する課題提出、語彙の小テストを実施します。授業には必ず辞書を持参してください。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するよう心がけてください。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語2」と合わせて450語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表・課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間に試験・課題の要点を整理し、解説します。

■ 教科書

『Science Updates : 最新科学の知見』(永田博人, Bill Benfield) 成美堂:2016 [ISBN] 978-4-7919-4783-6

■ 参考文献

適宜、授業時に紹介します。

■ 関連科目

理系英語2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・rinoue@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : 初回の為、なし

復習内容 : Unit1: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成し、確認問題に取り組む。

復習時間 : 120分

- ・教科書Unit1: 『Four-Legged Fish』を具体例とし、授業の進め方、英語学習・小テスト・課題レポートやペアワーク等の授業の取り組み方を説明し、学習目標を提示します。
- ・『進化の謎を探る』の内容理解

第2回 Unit1: Four-Legged Fish

予習内容 : Unit1: 「Reading」についてパラグラフごとに要約を作成する。

予習時間 : 120分

復習内容：Unit1:「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習

復習時間：90分

- ・ Unit1:「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit1: 確認問題の解答解説を行います。

第3回 Unit2: Reproduction Without Males

予習内容：Unit2:「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間：90分

復習内容：Unit2:「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『パパはいらない、ママだけで』の内容理解
- ・ Unit2:「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit2: 確認問題の解答解説を行います。

第4回 Unit3: Deeper and Deeper

予習内容：Unit3:「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間：90分

復習内容：Unit3:「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『深海の不思議な生き物』の内容理解
- ・ Unit3:「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit3: 確認問題の解答解説を行います。

第5回 Unit4: An Explosive World Heritage

予習内容：Unit4:「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間：90分

復習内容：Unit4:「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『山体崩壊』の内容理解
- ・ Unit4:「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit4: 確認問題の解答解説を行います。

第6回 Unit5: Fierce Fungi

予習内容：Unit5:「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間：90分

復習内容：Unit5:「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『深い森の地下抗争』の内容理解
- ・ Unit5:「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit5: 確認問題の解答解説を行います。

第7回 Unit6: Extreme Weather

予習内容：Unit6:「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間：90分

復習内容：Unit6:「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『異常気象』の内容理解
- ・ Unit6:「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit6: 確認問題の解答解説を行います。

第8回 Unit1～6のまとめ

予習内容：Unit1～6の本文内容を確認する。

予習時間：90分

復習内容：作成済みのUnit1～6のボキャブラリーリストを再度暗唱し直す。

復習時間：90分

Unit1～6について、重要な英語表現の確認と「復習テスト」

第9回 Unit7: The Wolf Girls or Bengal

予習内容：Unit7:「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間：60分

復習内容：Unit7:「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間：90分

- ・ 『オオカミ少女はいなかった』の内容理解
- ・ Unit7: 「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit7: 確認問題の解答解説を行います。

第10回 Unit8: Finding Nessie

予習内容 : Unit8: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit8: 「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『ネッシーはどこだ?』の内容理解
- ・ Unit8: 「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit8: 確認問題の解答解説を行います。

第11回 Unit9: Crop Circles

予習内容 : Unit9: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit9: 「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『ミステリー・サークル』の内容理解
- ・ Unit9: 「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit9: 確認問題の解答解説を行います。

第12回 Unit10: Smart Roots

予習内容 : Unit10: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit10: 「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『気になる木の根冠』の内容理解
- ・ Unit10: 「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit10: 確認問題の解答解説を行います。

第13回 Unit11: Insecticide Resistance

予習内容 : Unit11: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit11: 「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『耐性昆虫との闘い』の内容理解
- ・ Unit11: 「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit11: 確認問題の解答解説を行います。

第14回 Unit12: Unwelcome Guests

予習内容 : Unit12: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べ、ボキャブラリーリストを作成する。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit12: 「Reading」についてスクリプトを見ながらリスニングの復習をし、パラグラフごとに要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ Unit12: 『寄生』の内容理解
- ・ Unit12: 「Reading」についてリスニング、リーディングストラテジーを用いての読解
- ・ Unit12: 確認問題の解答解説を行います。

第15回 Unit7~12のまとめ

予習内容 : 作成済みのUnit7~12のボキャブラリーリストを再度暗唱し直す。

予習時間 : 60分

復習内容 : 定期試験に向けて、Unit1~Unit12の総復習

復習時間 : 120分

Unit7~12について、重要な英語表現の確認と「復習テスト」

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	長谷川 由美				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

・理系英語 1 では、自然科学系および理工学系の話題を取り扱った英文の読解力を主に養成することを学習目的としています。授業ではペアやグループワークも取り入れますので、メンバーとコミュニケーションをとりながら学習を進めることもあります。予習必須です。かならず辞書を持参しましょう。また、受講期間中にランゲージスペースやランチタイムリーディングを有効活用するように心がけてください。(詳細は授業中に指示します。)

■ 学習・教育目標及び到達目標

・「理系英語 2」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読めるようになる。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

【[ISBN]978-4-7919-3416-4『科学の恩恵と私たちの暮らし Science in Our Daily Life』(小林 敏彦)成美堂：2018】

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

理系英語 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

長谷川研究室(2号館5階)・hasegawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 3 限目(その他の時間帯は必ず予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション+Unit1

復習内容：Unit1のPreview部分

復習時間：30分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題(ランチタイムリーディングへの参加など)

受講に際しての注意事項

- ・欠席/遅刻について
- ・忘れもの(テキスト・辞書)について
- ・携帯電話の使用の制限について

- ・単語／熟語の小テストについて
 - ・定期試験について
 - ・総合評価について
- その他、受講に際しての重要事項について

Unit1の概要を知り、ブレーストーミングを行う。

第2回 Unit1 Phone Dirt Reveals Personal Data前半

予習内容：Unit1後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit1前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)
- ・スマホから付着した物質からわかる個人情報について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第3回 Unit1 Phone Dirt Reveals Personal Data後半

予習内容：Unit2前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit1後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Unit1後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第4回 Unit2 Driverless Buses前半

予習内容：Unit2後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit2前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)
- ・自動運転バスの運行について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第5回 Unit2 Driverless Buses後半

予習内容：Unit3前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit2後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Unit2後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第6回 Unit3 Stealth Keys前半

予習内容：Unit3後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit3前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)
- ・複製不可能な鍵について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。。

第7回 Unit3 Stealth Keys後半

予習内容：Unit4前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit3後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Unit3後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第8回 Unit4 Unfamiliar Sources of Energy前半

予習内容：Unit4後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit4前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)

・近年において活用が進んでいる新しいエネルギー資源について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。。

第9回 Unit4 Unfamiliar Sources of Energy後半

予習内容：Unit5前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit4後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Unit4後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第10回 Unit5 Delivery by Drone前半

予習内容：Unit5後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit5前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)

・ドローンの活用事例について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第11回 Unit5 Delivery by Drone後半

予習内容：Unit6前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit5後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Unit5後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第12回 Unit6 Uber and its Future前半

予習内容：Unit6後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit6前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)

・Uber（アメリカの企業名）が行っているサービスについて書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第13回 Unit6 Uber and its Future後半

予習内容：Unit7前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit6後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Unit6後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第14回 Unit7 Convenience Stores in Japan前半

予習内容：Unit7後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit7前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)

・日本のコンビニエンスストアの社会的機能について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第15回 Unit7 Convenience Stores in Japan後半

予習内容：定期試験に向けての総復習

復習内容：Unit7後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Unit7後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

定期試験

範囲については授業中に指示をする。

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 1				
英文名 :	Academic English 1				
担当者 :	長谷川 由美				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理系英語 1 では、自然科学系および理工学系の話題を取り扱った英文の読解力を主に養成することを目的としています。そのために、テキスト中のライティング部分を割愛することがあります（授業中に指示します）。授業ではペアやグループワークも取り入れますので、メンバーとコミュニケーションをとりながら学習を進めることもあります。予習必須です。かならず辞書を持参しましょう。また、受講期間中にランゲージスペースやランチタイムリーディングを有効活用するように心がけてください。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 2」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

【ISBN978-1-107-68363-1】『Academic Encounters The Natural World 1 <Reading/Writing>』 Jennifer Wharton, Cambridge University Press, 2013

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

理系英語 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

長谷川研究室（2号館5階）・hasegawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 3 限目(その他の時間帯は必ず予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション+Preview Unit 1

予習内容 : Reading 1 Our Solar Systemの内容理解

予習時間 : 60分

授業の進め方の説明

- ・ 予習の進め方
- ・ 授業の進め方
- ・ 課題（ランチタイムリーディングへの参加など）

受講に際しての注意事項

- ・ 欠席/遅刻について
- ・ 忘れもの（テキスト・辞書）について

- ・携帯電話の使用の制限について
 - ・単語／熟語の小テストについて
 - ・定期試験について
 - ・総合評価について
- その他、受講に際しての重要事項について

Unit1の概要を知り、ブレーストーミングを行う。

第2回 Unit 1 Planet Earth, Chapter 1 The Physical Earth, Reading 1 Our Solar System

予習内容：Reading 2 Earth's Four Systemsの内容理解

予習時間：90分

復習内容：Reading 1 Our Solar Systemの単語や熟語を中心に復習

復習時間：30分

<Reading Skills>

Thinking about the topic
Previewing art

Asking and answering questions about a text

Previewing key parts of a text

<Vocabulary Skills>

Words from Latin and Greek

Cues for finding word meaning

Learning verbs with their prepositions

<Academic Success Skills>

Highlighting

Making a pie chart

Answering multiple-choice questions

Labeling diagrams

第3回 Unit 1 Planet Earth, Chapter 1 The Physical Earth, Reading 2 Earth's Four Systems

予習内容：Reading 3 Rocks on Our Planetの内容理解

予習時間：90分

復習内容：Reading 2 Earth's Four Systemsの単語や熟語を中心に復習

復習時間：30分

Same as 第2回

第4回 Unit 1 Planet Earth, Chapter 1 The Physical Earth, Reading 3 Rocks on Our Planet

予習内容：Reading 1 Plate Tectonicsの内容理解

予習時間：90分

復習内容：Reading 3 Rocks on Our Planetの単語や熟語を中心に復習

復習時間：30分

Same as 第2回

第5回 Unit 1 Planet Earth, Chapter 2 The Dynamic Earth, Reading 1 Plate Tectonics

予習内容：Reading 2 Volcanoesの内容理解

予習時間：90分

復習内容：Reading 1 Plate Tectonicsの単語や熟語を中心に復習

復習時間：30分

<Reading Skills>

Using headings to remember main ideas

Building background knowledge about the topic

Reading boxed texts

Illustration main ideas

Thinking about the topic

Reading for main ideas

<Vocabulary Skills>

Previewing key words

Prefixes

Prepositional phrases

Using grammar, context, and background knowledge to guess meaning

<Academic Success Skills>

Reading maps

Answering true/false questions

第6回 Unit 1 Planet Earth, Chapter 2 The Dynamic Earth, Reading 2 Volcanoes

予習内容 : Reading 3 Earthquakesの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 2 Volcanoesの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第5回

第7回 Unit 1 Planet Earth, Chapter 2 The Dynamic Earth, Reading 3 Earthquakes

予習内容 : UNIT1の内容を見て簡単なプレゼンテーションを考える。

予習時間 : 60分

復習内容 : Reading 3 Earthquakesの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第5回

第8回 Writing an academic paragraph about a place on Earth you like

Presentation

予習内容 : Reading 1 The Water Cycleの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : ライティングスキルの復習

復習時間 : 30分

<Writing Skills>

Parts of speech

Comparative adjectives

Writing simple and compound sentences

Writing definitions

Pronoun reference

Showing contrast

第9回 Presentation

Preview Unit 2 Water on Earth

Uni 2 Water on Earth, Chapter 3 Earth's Water Supply, Reading 1 The Water Cycle

予習内容 : Reading 2 Ground Water and Surface Waterの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 1 The Water Cycleの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

<Reading Skills>

Thinking about the topic

Examining graphics

Sequencing

Reading about statistics

Increasing reading speed

Reading for main ideas

Scanning

<Vocabulary Skills>

Synonyms

Suffixes that change verbs into nouns

Countable and uncountable nouns

Subject-verb agreement

<Academic Success Skills>

Understanding test questions

Answering multiple-choice questions

Mapping

Conducting a survey

第10回 Unit 2 Water on Earth, Chapter 3 Earth's Water Supply, Reading 2 Ground Water and Surface Water

予習内容 : Reading 2 Ground Water and Surface Waterの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 3 Glaciersの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第9回

第11回 Unit 2 Water on Earth, Chapter 3 Earth's Water Supply, Reading 3 Glaciers

予習内容 : Reading 3 Glaciersの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 1 Oceansの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第9回

第12回 Unit 2 Water on Earth, Chapter 4 Earth's Water Supply, Reading 1 Oceans

予習内容 : Reading 1 Oceansの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 2 Currentsの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

<Reading Skills>

Thinking about the topic

Building background knowledge about the topic

Reading maps

Examining graphics

Brainstorming

Reading for main ideas and details

<Vocabulary Skills>

Subject-verb agreement

Too and very

Adjective suffixes

<Academic Success Skills>

Taking notes

Highlighting

Labeling a map

Organizing ideas

第13回 Unit 2 Water on Earth, Chapter 4 Earth's Water Supply, Reading 2 Currents

予習内容 : Reading 2 Currentsの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 3 Waves and Tsunamisの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第12回

第14回 Unit 2 Water on Earth, Chapter 4 Earth's Water Supply, Reading 3 Waves and Tsunamis

予習内容 : UNIT2の内容を見て簡単なプレゼンテーションを考える。

予習時間 : 60分

復習内容 : Reading 3 Waves and Tsunamisの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第12回

第15回 Writing an academic paragraph about a water feature on earth

Presentation

復習内容 : ライティングスキルの復習

復習時間 : 30分

<Writing Skills>

Identifying topic sentences and supporting sentences

Writing topic sentences and supporting sentences

Writing about superlatives

Describing results

Concluding sentences

Parallel structure

Reviewing paragraph structure

定期試験

UNIT1とUNIT2の内容が定期試験範囲 (予定)

■ **ホームページ**

科目名 :	理系英語 1 〈再履修〉						
英文名 :	Academic English 1						
担当者 :	竹中 義胤						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本コースでは平易な科学に関する読み物を読みながら、基礎的な語彙力、必要な文的知識、及び読解力を身につけていきます。同時に単語の形態素の意味と機能について勉強し、文脈から単語の意味を推測する能力も養成していきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

基礎的な語彙力、基本的な文法知識、読解力の習得及び形態素分析の活用法の学習

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%

レポート・小テスト等 20%

期末試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791960255 『Science Finder—科学の不思議』（Jonathan Lynch, 成美堂：2017）

■ 参考文献

■ 関連科目

理系英語 2（再履修）

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月、水、木の昼休みまたは月曜日の5限授業終了後、講師控室（2号館2階）に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Unit 1 Digital Amnesia

（スマホと物忘れの危険な関係）

予習内容：warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第2回 Unit 2 Sleep Paralysis

（金縛りは心霊現象ではなかった）

予習内容：warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第3回 Unit 3 Why Are Some People Better at Learning Languages?

(語学力は脳で決まる?)

予習内容：warm-upの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第4回 Unit 4 The McCollough Effect

(見えないものが見えてくる—不思議なマッカロー効果)

予習内容：warm-upの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第5回 Unit 5 The Healthiest Drink? 21

(コーヒーを飲んで健康になろう)

予習内容：warm-upの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第6回 Unit 6 Health Advice for Fashion Lovers

(おしゃれは危険?)

予習内容：warm-upの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第7回 Unit 7 Live to Be 120

(糖尿病治療薬が寿命を延ばす)

予習内容：warm-upの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第8回 Unit 8 A New Antibiotic Found in the Soil

(新しい抗生物質が世界を救う?)

予習内容：warm-upの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第9回 Unit 9 The World's Oldest Creature?

(世界最高齢の生き物は貝だった)

予習内容：warm-upの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第10回 Unit 10 Lazy Ants

(巣に欠かせない怠け者のアリ)

予習内容：warm-upの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第11回 Units 1 & 2 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

第12回 Units 3 & 4 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

第13回 Units 5 & 6 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

第14回 Units 7 & 8 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

第15回 Units 9 & 10 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

期末試験

授業中に指定します。

■ホームページ

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	吉川 裕介				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

自然科学系の幅広いトピックを取り上げたテキストを使用し、自然科学・理工学に関する様々な内容に興味を持ち、英文で理解するための読解力を身に付ける。特に前期では精読を意識し、内容を正確に理解するための素地を養う。授業では予習を前提に授業を行い、適宜ペアワークによる意見交換や口頭練習を交えながら英語表現の定着を目指す。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語2」と合わせて、300~400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案を返却し、解説します。

■ 教科書

ISBN: 978-4-86312-287-1 Reading Dynamics 山科美和子 センゲージラーニング 2016

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

理系英語1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

吉川研究室 (2号館5階514) y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限(ただし、その他の時間帯は必ずメールで予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : シラバスを熟読し、授業概要と到達目標を理解した上で受講すること。

予習時間 : 90分

授業に関する概要説明と必要事項の伝達

学内TOEIC IPテストのお知らせ

予習・復習の説明

評価についての説明

第2回 Chapter 6 Are gifted children born or made?①

予習内容 : Chapter 6 Are gifted children born or made?① (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 6 Are gifted children born or made?① (授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

天才児に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第3回 Chapter 6 Are gifted children born or made?②

予習内容：Chapter 6 Are gifted children born or made?② (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 6 Are gifted children born or made?②(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

天才児に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第4回 Chapter 6 Are gifted children born or made?③

予習内容：Chapter 6 Are gifted children born or made?③ (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 6 Are gifted children born or made?③(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

天才児に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第5回 Chapter7 Students dig into sustainable farming at Vermont College前半

予習内容：Chapter7 Students dig into sustainable farming at Vermont College前半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter7 Students dig into sustainable farming at Vermont College前半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

学生による持続型農業に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第6回 Chapter7 Students dig into sustainable farming at Vermont College後半

予習内容：Chapter7 Students dig into sustainable farming at Vermont College前半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter7 Students dig into sustainable farming at Vermont College前半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

学生による持続型農業に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。
教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第7回 中間試験およびフィードバック

予習内容：Chapter 2 My husband, the outsider③ (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 2 My husband, the outsider③(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

学習内容および到達度確認問題

中間試験後にフィードバックを行う。

第8回 Chapter 8 Wilder places for wild things前半

予習内容：Chapter 8 Wilder places for wild things前半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：90分

復習内容：Chapter 8 Wilder places for wild things前半(授業で学んだ内容の復習)

動物園の使命に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第9回 Chapter 8 Wilder places for wild things後半

予習内容：Chapter 8 Wilder places for wild things後半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 8 Wilder places for wild things後半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

動物園の使命に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第10回 Chapter9 Antarctica: Whose continent is it away?前半

予習内容：Chapter9 Antarctica: Whose continent is it away?前半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter9 Antarctica: Whose continent is it away?前半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

南極大陸に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする。

第11回 Chapter9 Antarctica: Whose continent is it away?後半

予習内容：Chapter9 Antarctica: Whose continent is it away?後半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter9 Antarctica: Whose continent is it away?後半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

南極大陸に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第12回 Chapter 10 Matters of life and death前半

予習内容：Chapter 10 Matters of life and death前半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 10 Matters of life and death前半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

生死を分ける決断に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第13回 Chapter 10 Matters of life and death後半

予習内容：Chapter 10 Matters of life and death後半 (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 10 Matters of life and death後半(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

生死を分ける決断に関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第14回 Chapter 11 Switched at Birth: Women learn the truth 56 years later

予習内容：Chapter 11 Switched at Birth: Women learn the truth 56 years later (精読・単語や熟語、文法などの確認)

予習時間：60分

復習内容：Chapter 11 Switched at Birth: Women learn the truth 56 years later(授業で学んだ内容の復習)

復習時間：30分

新生児の取り違えに関する内容をペアで確認し、意見に違いがあれば自らで調べて解決を図る。

教員による質問を通して理解度を確認し、適宜解説をする

第15回 まとめ

予習内容：後半授業の復習。定期試験に向けたテスト勉強

予習時間：90分

半期を振り返り全体的なフィードバックを行う。

期末試験についての説明

定期試験

テキストに基づいた定期試験を行う。

■ホームページ

科目名 :	理系英語 2						
英文名 :	Academic English 2						
担当者 :	武智 美佳						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

理系英語 1 を通して身につけた英語力を基に、さらに高度な英語力の養成を目指す。特に、生命・自然・宇宙に関する英文とその内容把握を問う練習問題をすることにより、読解力を養う。また、各ユニットにある英語表現だけでなく、広く自然科学に関する英文を身につけるようにするために、各々理解を問う練習問題を。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。 * 1 2月上旬に実力テストを予定している。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 1」と合わせて、300~400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 15%
実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784863122871 『READING DYNAMICS』（山科美和子, センゲージラーニング : 2016)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

理系英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・mtakechi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

UNIT 3 THE ENVIRONMENT

予習内容 : CHAPTER 7 Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 7 Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College

復習時間 : 60分

CHAPTER 7 Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College

第2回 UNIT 3 THE ENVIRONMENT

予習内容 : CHAPTER 7 Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 7 Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College

復習時間 : 60分

CHAPTER 7 Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College

第3回 UNIT 3 THE ENVIRONMENT

予習内容 : CHAPTER 8 Wilder Places for Wild Things

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 8 Wilder Places for Wild Things

復習時間 : 60分

CHAPTER 8 Wilder Places for Wild Things

第4回 UNIT 3 THE ENVIRONMENT

予習内容 : CHAPTER 8 Wilder Places for Wild Things

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 8 Wilder Places for Wild Things

復習時間 : 60分

CHAPTER 8 Wilder Places for Wild Things

第5回 UNIT 3 THE ENVIRONMENT

予習内容 : CHAPTER 9 Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 9 Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?

復習時間 : 60分

CHAPTER 9 Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?

第6回 UNIT 3 THE ENVIRONMENT

予習内容 : CHAPTER 9 Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 9 Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?

復習時間 : 60分

CHAPTER 9 Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?

第7回 小テスト

予習内容 : UNIT 3 THE ENVIRONMENT

予習時間 : 60分

復習内容 : UNIT 3 THE ENVIRONMENT

復習時間 : 60分

小テスト

第8回 UNIT 4 ETHICAL ISSUES

予習内容 : CHAPTER 10 Matters of Life and Death

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 10 Matters of Life and Death

復習時間 : 60分

CHAPTER 10 Matters of Life and Death

第9回 UNIT 4 ETHICAL ISSUES

予習内容 : CHAPTER 10 Matters of Life and Death

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 10 Matters of Life and Death

復習時間 : 60分

CHAPTER 10 Matters of Life and Death

第10回 UNIT 4 ETHICAL ISSUES

予習内容 : CHAPTER 11 Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 11 Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later

復習時間 : 60分

CHAPTER 11 Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later

第11回 UNIT 4 ETHICAL ISSUES

予習内容 : CHAPTER 11 Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 11 Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later

復習時間 : 60分

CHAPTER 11 Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later

第12回 UNIT 4 ETHICAL ISSUES

予習内容 : CHAPTER 12 Saving Her Sister's Life

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 12 Saving Her Sister's Life

復習時間 : 60分

CHAPTER 12 Saving Her Sister's Life

第13回 UNIT 4 ETHICAL ISSUES

予習内容 : CHAPTER 12 Saving Her Sister's Life

予習時間 : 60分

復習内容 : CHAPTER 12 Saving Her Sister's Life

復習時間 : 60分

CHAPTER 12 Saving Her Sister's Life

第14回 小テスト

予習内容 : UNIT 4 ETHICAL ISSUES

予習時間 : 60分

復習内容 : UNIT 4 ETHICAL ISSUES

復習時間 : 60分

小テスト

第15回 小テスト

予習内容 : UNIT 3 THE ENVIRONMENT

UNIT 4 ETHICAL ISSUES

予習時間 : 60分

復習内容 : UNIT 3 THE ENVIRONMENT

UNIT 4 ETHICAL ISSUES

復習時間 : 60分

小テスト

定期試験

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	竹中 義胤				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理系英語 1 の内容と目標はそのまま、新たなテーマに取り組んでいきます。
 本コースでは、単語を形態素（接頭語、接尾語、語幹）に分け、意味の推測を行う練習も行います。
 また、現在分詞や関係詞などの機能や用法もしっかりと理解できるように学習します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

基本的な科学的語彙の習得、読解力の養成、形態素分析による語彙力向上、読解に不可欠な文法の再確認。

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%
 レポート・小テスト等 20%
 期末試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791947836 『最新科学の知見』（永田 博人, 成美堂 : 2015）

■ 参考文献

■ 関連科目

理系英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月、水、木の昼休憩または月曜日の 5 限の授業終了後に講師控室（2号館 2 階）に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Unit 13 Galileo's Inclined Plane

斜塔には行かなかったガリレオ

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第2回 Unit 14 All the Colors of the Rainbow

ニュートンとプリズム実験

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第3回 Unit 15 Watching the Earth Move

フーコーの振り子

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第4回 Unit 16 The G Factor

知能とは何だ？

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第5回 Unit 17 A Trip to the Land of Nod

眠りの不思議

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第6回 Unit 18 Lab-Grown Organs

再生医療

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第7回 Unit 19 Looking for New Earths

新しい地球を探せ

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第8回 Unit 20 Weird and Wonderful Worlds

月がとっても多いから

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第9回 Unit 21 The Invisible Universe

見果てぬ宇宙

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第10回 Unit 22 Eating Bugs

虫喰う人々

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第11回 Unit 23 Bacterial Batteries

シュワネラ菌で発電する

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第12回 Unit 24 Carbon Capture and Storage

二酸化炭素回収・貯留

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：本文をもう一度黙読し、理解度を確認する。その後、2回以上音読すること。

復習時間：30分

当該テーマの語彙力養成、読解、ライティング、要約演習

第13回 Unit 1～Unit 4の復習&語彙力養成

予習内容：単語の復習

予習時間：30分

復習内容：全体の復習

復習時間：30分

総復習

第14回 Unit 5～Unit 8の復習&語彙力養成

予習内容：単語の復習

予習時間：30分

復習内容：全体の復習

復習時間：30分

総復習

第15回 Unit 9～Unit 12の復習&語彙力養成

予習内容：単語の復習

予習時間：30分

復習内容：全体の復習

復習時間：30分

総復習

期末試験

授業中に指定します。

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	武智 美佳				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

【医用工学科】

理系英語 1 を通して身につけた英語力を基に、さらに高度な英語力の養成を目指す。特に、医療に関する英文とその内容把握を問う練習問題をすることにより、読解力を養う。また、各ユニットにある英語表現だけでなく、広く医療に関する英文を身につけるようにするために、各々理解を問う練習問題をすること。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。* 1 2 月上旬に実力テストを予定している。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 1」と合わせて、300~400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 15%

実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

Signs And Symptoms:

True Stories By Doctors

医系コラム『バイタル・サイエンス』で学ぶ基本医学演習

大下晴美/シーン・チドロウ/森茂

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

理系英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・mtakechi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

Chapter 8 Brain Got Your Tongue? (2)

予習内容 :

Chapter 8 Brain Got Your Tongue? (2)

予習時間 : 60分

復習内容 :

Chapter 8 Brain Got Your Tongue? (2)

復習時間：60分

Chapter 8 Brain Got Your Tongue? (2)

第2回

Chapter 8 Brain Got Your Tongue? (2)

予習内容：

Chapter 8 Brain Got Your Tongue? (2)

予習時間：60分

復習内容：

Chapter 8 Brain Got Your Tongue? (2)

復習時間：60分

Chapter 8 Brain Got Your Tongue? (2)

第3回

Chapter 9 Those Who Know Us Best (1)

予習内容：

Chapter 9 Those Who Know Us Best (1)

予習時間：60分

復習内容：

Chapter 9 Those Who Know Us Best (1)

復習時間：60分

Chapter 9 Those Who Know Us Best (1)

第4回

Chapter 9 Those Who Know Us Best (1)

予習内容：

Chapter 9 Those Who Know Us Best (1)

予習時間：60分

復習内容：

Chapter 9 Those Who Know Us Best (1)

復習時間：60分

Chapter 9 Those Who Know Us Best (1)

第5回

Chapter 10 Those Who Know Us Best (2)

予習内容：

Chapter 10 Those Who Know Us Best (2)

予習時間：60分

復習内容：

Chapter 10 Those Who Know Us Best (2)

復習時間：60分

Chapter 10 Those Who Know Us Best (2)

第6回

Chapter 10 Those Who Know Us Best (2)

予習内容：

Chapter 10 Those Who Know Us Best (2)

予習時間：60分

復習内容：

Chapter 10 Those Who Know Us Best (2)

復習時間：60分

Chapter 10 Those Who Know Us Best (2)

第7回

Chapter 11 Treating Disease In The Big Easy (1)

予習内容 :
Chapter 11 Treating Disease In The Big Easy (1)
予習時間 : 60分
復習内容 :
Chapter 11 Treating Disease In The Big Easy (1)
復習時間 : 60分

Chapter 11 Treating Disease In The Big Easy (1)

第8回

Chapter 11 Treating Disease In The Big Easy (1)

予習内容 :
Chapter 11 Treating Disease In The Big Easy (1)
予習時間 : 60分
復習内容 :
Chapter 11 Treating Disease In The Big Easy (1)
復習時間 : 60分

Chapter 11 Treating Disease In The Big Easy (1)

第9回 小テスト

予習内容 : 小テスト
予習時間 : 60分
復習内容 : 小テスト
復習時間 : 60分
小テスト

第10回

Chapter 12 Treating Disease In The Big Easy (2)

予習内容 : Chapter 12 Treating Disease In The Big Easy (2)
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 12 Treating Disease In The Big Easy (2)
復習時間 : 60分
Chapter 12 Treating Disease In The Big Easy (2)

第11回 Chapter 12 Treating Disease In The Big Easy (2)

予習内容 : Chapter 12 Treating Disease In The Big Easy (2)
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 12 Treating Disease In The Big Easy (2)
復習時間 : 60分
Chapter 12 Treating Disease In The Big Easy (2)

第12回 Chapter 13 Bugs Are Crawling In My Skin

予習内容 : Chapter 13 Bugs Are Crawling In My Skin
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 13 Bugs Are Crawling In My Skin
復習時間 : 60分
Chapter 13 Bugs Are Crawling In My Skin

第13回 Chapter 13 Bugs Are Crawling In My Skin

予習内容 : Chapter 13 Bugs Are Crawling In My Skin
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 13 Bugs Are Crawling In My Skin
復習時間 : 60分
Chapter 13 Bugs Are Crawling In My Skin

第14回 Chapter 14 Attacked From Within

予習内容 : Chapter 14 Attacked From Within
予習時間 : 60分
復習内容 : Chapter 14 Attacked From Within
復習時間 : 60分
Chapter 14 Attacked From Within

第15回 Chapter 14 Attacked From Within

予習内容 : Chapter 14 Attacked From Within

予習時間 : 60分

復習内容 : Chapter 14 Attacked From Within

復習時間 : 60分

60Chapter 14 Attacked From Within

定期試験

定期試験

■ **ホームページ**

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	長田 希好				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

【医用工学科】

理系の学術英語を確実に理解できるようになること、「速読」と「精読」の二種類の読み方のテクニックを習得し、その二つを巧みに組み合わせながら文章を読解できるようになることを目標とする。理系英語 2 では、各ユニットにある医療コラムの英文を読みその内容把握を問う練習問題を解くことにより、読解力を養う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 1」と合わせて、300 ～ 400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

発表および課題 15%

実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

"English for Healthcare Professionals Because We Care ", (Maki Inoue and Tadashi Ihara: Cengage Learning), [ISBN]978-4-86312-129-4

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

理系英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）k-ci_osa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、Vocabulary Test

予習内容：テキストのUnit 7～12に目を通し概要、そのレベルを確認しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：後期の学習範囲の各Unitのリーディングを読み、それぞれの所要時間を記録しておくこと。

復習時間：60分

授業の進め方の説明

・予習の進め方

・授業の進め方

・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に際しての重要事項について

Vocabulary Test：理系英語1で学んだ英語表現、語句に関するテストを行い、解説、復習により知識の定着を目指す。

第2回 Unit 7: Urinary System (前半)

予習内容：泌尿器に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した泌尿器に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

泌尿器に関する英語を学ぶ 泌尿器系疾患の症状、疾患、治療と処置、CT検査についての語句を覚える

第3回 Unit 7: Urinary System (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

泌尿器に関する英語を学ぶ 腎結石になった男性についての文章を読み解く

第4回 Unit 8: Reproductive System (前半)

予習内容：生殖器に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した生殖器に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

生殖器に関する英語を学ぶ 生殖器系疾患の症状、検査と疾患、治療と処置についての語句を覚える

第5回 Unit 8: Reproductive System (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

生殖器に関する英語を学ぶ 妊娠の初期段階であることが判明した女性についての文章を読み解く

第6回 Unit 9: Endocrine System (前半)

予習内容：内分泌に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した内分泌に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

内分泌に関する英語を学ぶ 内分泌系疾患の症状、疾患、治療と処置、血液検査についての語句を覚える

第7回 Unit 9: Endocrine System (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

内分泌に関する英語を学ぶ 糖尿病患者についての文章を読み解く

第8回 Review Test 1

予習内容：Unit 7～Unit 9のリーディング、リスニングの理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。

復習時間：30分

Unit 7～9の英語表現、語句に関するテストを行い、解説、復習により知識の定着を目指す

第9回 Unit 10: BLS(Basic Life Support) and ALS(Advanced Life Support) (前半)

予習内容：BLSとALSに関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説したBLSとALSに関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

BLS(Basic Life Support) and ALS(Advanced Life Support) に関する英語を学ぶ BLSとALS、救急救命士、救急現場に関する英語表現を覚える

第10回 Unit10: BLS(Basic Life Support) and ALS(Advanced Life Support) (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

BLS(Basic Life Support) and ALS(Advanced Life Support) に関する英語を学ぶ 登山中に肺浮腫になった男性についての文章を読み解く

第11回 Unit 11: Rehabilitation (前半)

予習内容：リハビリテーションに関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説したリハビリテーションに関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

リハビリテーションに関する英語を学ぶ リハビリテーション、使われる器具、症状、PET検査、理学療法士に関する英語表現を覚える

第12回 Unit 11: Rehabilitation (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

リハビリテーションに関する英語を学ぶ 脳卒中のリハビリ患者についての文章を読み解く

第13回 Unit 12: Diet and Nutrition (前半)

予習内容：食事と栄養に関する語句についての問題を解き、わからない語彙を辞書で調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した食事と栄養に関する英文を理解し、語句を覚えること。

復習時間：30分

食事と栄養に関する英語を学ぶ 食物アレルギー、食物と栄養に関する障害、栄養士に関する英語表現を覚える

第14回 Unit 12: Diet and Nutrition (後半)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

食事や栄養に関する英語を学ぶ ウエディングドレスダイエットについての文章を読み解く

第15回 Review Test 2

予習内容：Unit 10～Unit 12のリーディング、リスニングの理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。

復習時間：30分

Unit 10～12の英語表現、語句に関するテストを行い、解説、復習により知識の定着を目指す

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	澤邊 興平				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

- ・ 指定教科書内の、科学エッセイの部分の読解に重点を置いた学習を行います。
- ・ 授業中に各受講生の担当課題範囲を決め翌週に発表してもらう形式なので、積極的に授業に参加してください。
- ・ 授業には辞書を必ず持参しましょう。
- ・ 受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 基礎英語力の向上と科学英語への関心を養うことを本授業の教育目標とします。
- ・ 300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。
 - ・ そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける
 - ・ 本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を板書として提示します。

■ 教科書

[ISBN]9784523178149 『Mysteries in Science』(永田博人, 南雲堂 : 2016)
初回授業時まで購入しておくこと。(コピー不可)
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

理系英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時限前後の休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ、 Unit8 : Free Fall (前半)

予習内容 : 語彙を調べ本文を通読する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間 : 60分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用制限について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

Unit8 : Monarch Butterfly Migration (前半)

- ・渡りをする昆虫についての英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第2回 Unit8 : Monarch Butterfly Migration (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・渡りをする昆虫についての英文を読み解く（前回の続き）。
- ・生物の渡りについての他の事例を英語で読む

第3回 Unit9 : No Polar Bears in Antarctic (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・北極熊の進化についての英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第4回 Unit9 : No Polar Bears in Antarctic (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・北極熊の進化についての英文を読み解く（前回の続き）。
- ・哺乳類の進化についての他の事例を英語で読む

第5回 Unit10 : Wish Upon a Shooting Star (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・流星群とその影響についての英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する

第6回 Unit10 : Wish Upon a Shooting Star (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・流星群とその影響についての英文を読み解く（前回の続き）。
- ・彗星についての他の事例を英語で読む

第7回 Unit11 : It's Not Safe Out There! (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・地球近傍小天体に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第8回 Unit11 : It's Not Safe Out There! (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・地球近傍小天体に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・太陽系についての他の事例を英語で読む

第9回 Unit12 : Come Out, Come Out, Wherever You Are! (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・地球外生命体についての英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第10回 Unit12 : Come Out, Come Out, Wherever You Are! (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・地球外生命体についての英文を読み解く（前回の続き）。
- ・宇宙生物学に関する他の事例を英語で読む

第11回 Unit13 : Who Is The Smallest of Them All? (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・最小脊椎動物についての英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第12回 Unit13 : Who Is The Smallest of Them All? (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・最小脊椎動物についての英文を読み解く（前回の続き）。
- ・未発見動物に関する他の事例を英語で読む

第13回 Unit14 : Missing Link: Tiktaalik (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・陸上四肢動物の起源に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第14回 Unit14 : Missing Link: Tiktaalik (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・陸上四肢動物の起源に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・脊椎動物の進化に関する他の事例を英語で読む

第15回 Unit15 : The Bittersweet Battle with Cockroaches

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・腐食昆虫についての英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	長田 希好				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

理系の学術英語を確実に理解できるようになること、「速読」と「精読」の二種類の読み方のテクニックを習得し、その二つを巧みに組み合わせながら文章を読解できるようになることを目標とする。理系英語 1 では、各ユニットにある「生物環境」「自然資源」「医療」「生活様式」などに関する英文を読みその内容把握を問う練習問題を解くことにより、読解力を養う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 1」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784791947836 『最新科学の知見』(永田 博人, 成美堂 : 2015)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

理系英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) k-ci_osa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation and Introduction

予習内容 : テキストのUnit 13～24に目を通し概要、そのレベルを確認しておくこと。

予習時間 : 30分

復習内容 : 後期の学習範囲の各Unitのリーディングを読み、それぞれの所要時間を記録しておくこと。

復習時間 : 60分

授業の進め方の説明

- ・ 予習の進め方
- ・ 授業の進め方
- ・ 課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に際しての重要事項について

第2回 Unit 13:Galileo's Inclined Plane

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

ガリレオの実験に関する英文を読み解く

第3回 Unit 14:All the Colors of the Rainbow

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

ニュートンとプリズム実験に関する英文を読み解く

第4回 Unit 15:Watching the Earth Move

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

フーコーの振り子に関する英文を読み解く

第5回 Unit 16:The G Factor

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

知能と知性の差異に関する英文を読み解く

第6回 Unit 17:A Trip to the Land of Nod

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

睡眠に関する英文を読み解く

第7回 Unit 18:Lab-Grown Organs

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

再生医療に関する英文を読み解く

第8回 Review 1

予習内容：Unit 13～Unit 18のリーディングを読み、理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。

復習時間：30分

Unit 13～18の復習

第9回 Unit 19:Looking for New Earths

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いて

おくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

地球外生命体可能性惑星に関する英文を読み解く

第10回 Unit 20:Weird and Wonderful Worlds

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

衛星に関する英文を読み解く

第11回 Unit 21:The Invisible Universe

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

天文学に関する英文を読み解く

第12回 Unit 22:Eating Bugs

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

昆虫食に関する英文を読み解く

第13回 Unit 23:Bacterial Batteries

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

電流発菌に関する英文を読み解く

第14回 Unit 24:Carbon Capture and Storage

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。内容把握問題、語彙の問題などテキストの問題を解いてを解いておくこと。

予習時間：60分

復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。

復習時間：30分

二酸化炭素回収・貯留に関する英文を読み解く

第15回 Review 2

予習内容：Unit 19～Unit 24のリーディングを読み、理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分

復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。

復習時間：30分

Unit 19～24の復習

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	中土井 智				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

前期科目「理系英語1」に続く後期科目。理系英語の基礎力を身につけるための授業を行う。2回の授業につき1つの自然科学に関するトピックを紹介した記事を扱う。前半では語彙の確認と本文読解を重点的に行い、後半では本文内容確認及びトピックに関する問題への回答と、クラスメイト間での意見交換を行う。

授業ではテキストの内容を踏まえた上で、「聞く」、「話す」を中心としたグループワークを行う。そのためテキスト内の「読む」、「書く」アクティビティについては各自事前に予習を行って来る事が望ましい。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語1」と合わせ、通年での学習を通して300~400字程度で書かれた英文記事を、ところどころ辞書を活用しつつ概要をスムーズに把握できる英語読解力を修得する。また内容理解を確認する活動を通して、重要なポイントを見つける精読力と考察力を培う。

英語力と共に最先端の科学や自然現象についての知識と考察力を養う。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業にて答案を返却し、解説を行う。

■ 教科書

[ISBN] 978-4-86312-289-5

『Science Frontiers —Developing Your English with National Geographic』 (Keiko Hattori, Toshio Hidaka, Yayoi Yamashita, Kana Matsuda, Judy Noguchi: CENGAGE Learning: 2016)

■ 参考文献

授業にて指示する。

■ 関連科目

理系英語1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・ nakadoi1704@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : 本授業のシラバスを読む

予習時間 : 15分

復習内容 : 本授業のシラバスを読む

復習時間 : 15分

授業に関する概要説明と必要事項の伝達

第2回 Unit7 Turn Up the Heat

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」

予習時間：45分

復習内容：本文に関する質問 A

復習時間：15分

本文読解

第3回 Unit7 Turn Up the Heat

予習内容：「Check the Form!」 A& 「It's Your Turn!」

予習時間：30分

復習内容：「Check the Form!」 A&B

復習時間：15分

内容理解

第4回 Unit 8 Free Fall

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」

予習時間：45分

復習内容：本文に関する質問 A

復習時間：15分

本文読解

第5回 Unit 8 Free Fall

予習内容：「Check the Form!」 A& 「It's Your Turn!」

予習時間：30分

復習内容：「Check the Form!」 A&B

復習時間：15分

内容理解

第6回 Unit9 The Hidden Lives of Leaves

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」

予習時間：45分

復習内容：本文に関する質問 A

復習時間：15分

本文読解

第7回 Unit9 The Hidden Lives of Leaves

予習内容：「Check the Form!」 A& 「It's Your Turn!」

予習時間：30分

復習内容：「Check the Form!」 A&B

復習時間：15分

内容理解

第8回 Review Test 1

予習内容：Unit7～Unit9

予習時間：60分

復習内容：問題プリント

復習時間：30分

Unit7～Unit9の確認テスト

第9回 Unit10 Getting the Shot

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」

予習時間：45分

復習内容：本文に関する質問 A

復習時間：15分

本文読解

第10回 Unit10 Getting the Shot

予習内容：「Check the Form!」 A& 「It's Your Turn!」

予習時間：30分

復習内容：「Check the Form!」 A&B

復習時間：15分

内容理解

第11回 Unit11 Attack of the Germs

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」

予習時間：45分

復習内容：本文に関する質問 A

復習時間：15分

本文読解

第12回 Unit11 Attack of the Germs

予習内容：「Check the Form!」 A& 「It's Your Turn!」

予習時間：30分

復習内容：「Check the Form!」 A&B

復習時間：15分

内容理解

第13回 Unit12 Just Like the Earth?

予習内容：「Check Your Vocabulary!」 & 「Let's Read」

予習時間：45分

復習内容：本文に関する質問 A

復習時間：15分

本文読解

第14回 Unit12 Just Like the Earth?

予習内容：「Check the Form!」 A& 「It's Your Turn!」

予習時間：30分

復習内容：「Check the Form!」 A&B

復習時間：15分

内容理解

第15回 Review Test 2

予習内容：Unit10～Unit12

予習時間：60分

復習内容：問題プリント

復習時間：30分

Unit10～Unit12の確認テスト

定期試験

■ **ホームページ**

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	井上 麗子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

生物環境・自然資源・医療・生活様式のテーマについて、メディアで使用されたり、なじみのある基本的な内容に関心を持ち、英語で理解する読解力養成を目指した授業を行います。各ユニットの語彙学習や本文理解に関する課題提出、語彙の小テストを実施します。授業には必ず辞書を持参してください。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するよう心がけてください。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語 1」と合わせて450語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表・課題 15%
実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間に試験・課題の要点を整理し、解説します。

■ 教科書

『Science Updates : 最新科学の知見』(永田博人& Bill Benfield, 成美堂:2016) ISBN978-4-7919-4783-6

■ 参考文献

適宜、授業時に紹介します。

■ 関連科目

理系英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・rinoue@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Part V: 『Wonderful Experiments』

予習内容 : 初回の為、なし

復習内容 : Part Vについて、物理の基礎「ニュートンのプリズム実験、フーコーの振り子」を復習する。

復習時間 : 90分

教科書Part V～Ⅷを具体例とし、後期の授業の進め方や取り組み方を説明し、理系英語 2 の学習目標を提示します。

第2回 Unit13: Galileo's Inclined Plane

予習内容 : Unit13: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit13: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『斜塔には行かなかったガリレオ』の内容理解
- ・ Unit13: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第3回 Unit14: All the Colors of the Rainbow

予習内容 : Unit14: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit14: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『ニュートンとプリズム実験』の内容理解
- ・ Unit14: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第4回 Unit15: Watching the Earth Move

予習内容 : Unit15: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit15: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『フーコーの振り子』の内容理解
- ・ Unit15: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第5回 Unit16: The G Factor

予習内容 : Unit16: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit16: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『知能とは何だ?』の内容理解
- ・ Unit16: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第6回 Unit17: A Trip to the Land of Nod

予習内容 : Unit17: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit17: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『眠りの不思議』の内容理解
- ・ Unit17: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第7回 Unit18: Lab-Grown Organs

予習内容 : Unit18: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit18: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『再生医療』の内容理解
- ・ Unit18: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第8回 Unit13~18のまとめ

予習内容 : Unit13~18の英語表現を再度暗唱し直す。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit13~18の確認問題を再度やり直す。

復習時間 : 120分

Unit13~18について、重要な英語表現の確認と「復習テスト」

第9回 Unit19: Looking for New Earths

予習内容 : Unit19: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit19: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『新しい地球を探せ』の内容理解
- ・ Unit19: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第10回 Unit20: Weird and Wonderful Worlds

予習内容 : Unit20: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit20: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間 : 120分

- ・ 『月がとっでも多いから』の内容理解
- ・ Unit20: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第11回 Unit21: The Invisible Universe

予習内容：Unit21: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間：90分

復習内容：Unit21: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『見果てぬ宇宙』の内容理解
- ・ Unit21: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第12回 Unit22: Eating Bugs

予習内容：Unit22: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間：90分

復習内容：Unit22: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『虫喰う人々』の内容理解
- ・ Unit22: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第13回 Unit 23: Bacterial Batteries

予習内容：Unit23: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間：90分

復習内容：Unit23: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『シュワネラ菌で発電する』の内容理解
- ・ Unit23: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第14回 Unit 24: Carbon Capture and Storage

予習内容：Unit24: 「Reading」について、分からない語彙を辞書で調べる。

予習時間：90分

復習内容：Unit24: 「Reading」について、英語で要約を作成する。

復習時間：120分

- ・ 『二酸化炭素回収・貯留』の内容理解
- ・ Unit24: 「Reading」のシャドウイング・リプロダクション、確認問題の解答解説を行います。

第15回 Unit19～24のまとめ

予習内容：Unit19～24の英語表現を再度暗唱し直す。

予習時間：90分

復習内容：定期試験に向けて、Unit13～Unit24の総復習

復習時間：120分

Unit19～24について、重要な英語表現の確認と「復習テスト」

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	長谷川 由美				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

・理系英語2では、自然科学系および理工学系の話題を取り扱った英文の読解力を主に養成することを学習目的としています。授業ではペアやグループワークも取り入れますので、メンバーとコミュニケーションをとりながら学習を進めることもあります。予習必須です。かならず辞書を持参しましょう。また、受講期間中にランゲージスペースやランチタイムリーディングを有効活用するように心がけてください。(詳細は授業中に指示します。)

■ 学習・教育目標及び到達目標

・「理系英語1」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読めるようになる。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[[ISBN]978-4-7919-3416-4 『科学の恩恵と私たちの暮らし Science in Our Daily Life』 (小林 敏彦) 成美堂 : 2018]

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

理系英語 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

長谷川研究室 (2号館5階) ・ hasegawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 3 限目(その他の時間帯は必ず予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション+Unit 8

復習内容 : Unit8のPreview部分

復習時間 : 30分

授業の進め方の説明

- ・ 予習の進め方
- ・ 授業の進め方
- ・ 課題 (ランチタイムリーディングへの参加など)

受講に際しての注意事項

- ・ 欠席/遅刻について
- ・ 忘れもの (テキスト・辞書) について

- ・携帯電話の使用の制限について
 - ・単語／熟語の小テストについて
 - ・定期試験について
 - ・総合評価について
- その他、受講に際しての重要事項について

Unit8の概要を知り、ブレンストーミングを行う。

第2回 Unit8 Learn English with a Robot前半

予習内容：Unit8後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit8前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)
- ・人工知能ロボットを活用した英語学習について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第3回 Unit8 Learn English with a Robot後半

予習内容：Unit9前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit8後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Unit8後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第4回 Unit9 Noise Level and Disease前半

予習内容：Unit9後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit9前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)
- ・騒音が原因となる病気について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第5回 Unit9 Noise Level and Disease後半

予習内容：Unit10前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit9後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Unit9後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第6回 Unit10 Reading Faces前半

予習内容：Unit10後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit10前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)
- ・顔の表示を読み取る力について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。。

第7回 Unit10 Reading Faces後半

予習内容：Unit11前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit10後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

- ・Unit10後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第8回 Unit11 Meditation and Sports前半

予習内容：Unit11後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit11前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)

・近年において活用が進んでいる新しいエネルギー資源について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。。

第9回 Unit11 Meditation and Sports後半

予習内容：Unit12前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit11後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Unit11後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第10回 Unit12 Digital Disabilities前半

予習内容：Unit12後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit12前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)

・ネット依存症やスマホが原因で起こる体の異変について書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第11回 Unit12 Digital Disabilities後半

予習内容：Unit13前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit12後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Unit12後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第12回 Unit13 Euglena Dietary Supplements前半

予習内容：Unit13後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit13前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)

・栄養価の高さに注目されているミドリムシについて書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第13回 Unit13 Euglena Dietary Supplements後半

予習内容：Unit14前半Vocabulary PreviewとReading

予習時間：90分

復習内容：Unit13後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Unit6後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

第14回 Unit14 Fact about Koalas前半

予習内容：Unit14後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Writing, Discussionの解答とListening for Percetionの単語調べ

予習時間：90分

復習内容：Unit14前半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Vocabulary PreviewとReading(内容理解)

・オーストラリアを代表する動物コアラについて書かれた文を読み、どのような情報が書かれているのか読み取る。

第15回 Unit14 Fact about Koalas後半

予習内容：定期試験に向けての総復習

復習内容：Unit14後半の単語、語彙の復習

復習時間：60分

・Unit7後半のReading Comprehension Check,Best Sammary, Listening For Percetion, Writing, Discussion

定期試験

範囲については授業中に指示をする。

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 2				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	長谷川 由美				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理系英語2では、自然科学系および理工学系の話題を取り扱った英文の読解力を主に養成することを目的としています。そのために、テキスト中のライティング部分を割愛することがあります（授業中に指示します）。授業ではペアやグループワークも取り入れられるので、メンバーとコミュニケーションをとりながら学習を進めることもあります。予習必須です。かならず辞書を持参しましょう。また、受講期間中にランゲージスペースやランチタイムリーディングを有効活用するように心がけてください。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「理系英語1」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

【ISBN978-1-107-68363-1】『Academic Encounters The Natural World 1 <Reading/Writing>』 Jennifer Wharton, Cambridge University Press, 2013

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

理系英語1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

長谷川研究室（2号館5階）・hasegawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜3限目(その他の時間帯は必ず予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション+Preview Unit 3

予習内容 : Reading 1 The Composition of the Atmosphereの内容理解

予習時間 : 60分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題（ランチタイムリーディングへの参加など）

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
 - ・忘れもの（テキスト・辞書）について
 - ・携帯電話の使用の制限について
 - ・単語／熟語の小テストについて
 - ・定期試験について
 - ・総合評価について
- その他、受講に際しての重要事項について

Unit3の概要を知り、ブレーストーミングを行う。

第2回 Unit 3 The Air Around Us, Chapter 5 Earth's Atmosphere, Reading 1 The Composition of the Atmosphere

予習内容：Reading 2 The Structureの内容理解

予習時間：90分

復習内容：Reading 1 The Composition of the Atmosphereの単語や熟語を中心に復習

復習時間：30分

Building background knowledge about the topic

Thinking about the topic

Previewing key parts of a text examining graphics

Previewing art

<Vocabulary Skills>

Guessing meaning from context

Describing parts

Playing with words

Colons, such as and lists

Words from Latin and Greek

When Clauses

<Academic Success Skills>

Examining test questions

Taking notes with a chart

Using symbols and abbreviations

第3回 Unit 3 The Air Around Us, Chapter 5 Earth's Atmosphere, Reading 2 The Structure

予習内容：Reading 2 The Structureの内容理解

予習時間：90分

復習内容：Reading 3 Cloudsの単語や熟語を中心に復習

復習時間：30分

Same as 第2回

第4回 Unit 3 The Air Around Us, Chapter 5 Earth's Atmosphere, Reading 3 Clouds

予習内容：Reading 3 Cloudsの内容理解

予習時間：90分

復習内容：Reading 1 Climates around the Worldの単語や熟語を中心に復習

復習時間：30分

Same as 第2回

第5回 Unit 3 The Air Around Us, Chapter 6 Weather and Climate, Reading 1 Climates around the World

予習内容：Reading 2 Stormsの内容理解

予習時間：90分

復習内容：Reading 1 Climates around the Worldの単語や熟語を中心に復習

復習時間：30分

<Reading Skills>

Thinking about the topic

Applying what you have read

Previewing key parts of a text

Increasing reading speed

Reading for main ideas

<Vocabulary Skills>

Defining key words

Using a dictionary

Using this/that/these/those to connect ideas

Synonyms
Prepositions of location
<Academic Success Skills>
Understanding averages
Using a Venn diagram to organize ideas from a text
Examining statistics
Thinking critically about the topic

第6回 Unit 3 The Air Around Us, Chapter 6 Weather and Climate, Reading 2 Storms

予習内容 : Reading 3 Hurricanesの内容理解
復習内容 : Reading 2 Stormsの単語や熟語を中心に復習
same as 第5回

第7回 Unit 3 The Air Around Us, Chapter 6 Weather and Climate, Reading 3 Hurricanes

予習内容 : UNIT3の内容を見て簡単なプレゼンテーションを考える。
予習時間 : 60分
復習内容 : Reading 3 Hurricanesの単語や熟語を中心に復習
復習時間 : 30分
same as 第5回

第8回 Writing an academic paragraph about the climate in a place you know

Presentation

予習内容 : Reading 1 Living Thingsの内容理解
予習時間 : 90分
復習内容 : ライティングスキルの復習
復習時間 : 30分
<Writing Skills>
Previewing paragraph structure
Transition words
Writing about height
Writing an observation report
Introducing examples

第9回 Presentation

Preview Unit 4 Life on Earth

Unit 4 Life on Earth, Chapter 7 Plants and Animals, Reading 1 Living Things

予習内容 : Reading 2 Plant Lifeの内容理解
予習時間 : 90分
復習内容 : Reading 1 Living Thingsの単語や熟語を中心に復習
復習時間 : 30分
<Reading Skills>
Thinking about the topic
Building background knowledge about the topic
Previewing key parts of a text
<Vocabulary Skills>
Word families
Defining key words
Cues for finding word meaning
That clauses
Compound words
<Academic Success Skills>
Answering true/false questions
Asking for clarification
Conducting a survey
Making an outline
Applying what you have read
Thinking critically about the topic

第10回 Unit 4 Life on Earth, Chapter 7 Plants and Animals, Reading 2 Plant Life

予習内容 : Reading 3 Animal Lifeの内容理解
予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 2 Plant Lifeの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第9回

第11回 Unit 4 Life on Earth, Chapter 7 Plants and Animals, Reading 3 Animal Life

予習内容 : Reading 1 The Brainの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 3 Animal Lifeの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第9回

第12回 Unit 4 Life on Earth, Chapter 8 Humans, Reading 1 The Brain

予習内容 : Reading 2 The Skeletal and Muscular Systemsの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 1 The Brainの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

<Reading Skills>

Thinking about the topic

Applying what you have read

Increasing reading speed

Asking and answering questions about a text

Scanning for details

Building background knowledge about the topic

Sequencing

<Vocabulary Skills>

Using adjectives

Gerunds

Words that can be used as nouns or verbs

Prepositions of direction

Playing with words

<Academic Success Skills>

Highlighting and taking notes

Using a dictionary

Conducting an experiment

Answering multiple-choice questions

Highlighting and making an outline

第13回 Unit 4 Life on Earth, Chapter 8 Humans, Reading 2 The Skeletal and Muscular Systems

予習内容 : Reading 3 The Heart and the Circulatory Systemの内容理解

予習時間 : 90分

復習内容 : Reading 2 The Skeletal and Muscular Systemsの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第12回

第14回 Unit 4 Life on Earth, Chapter 8 Humans, Reading 3 The Heart and the Circulatory System

予習内容 : UNIT4の内容を見て簡単なプレゼンテーションを考える。

予習時間 : 60分

復習内容 : Reading 3 The Heart and the Circulatory Systemの単語や熟語を中心に復習

復習時間 : 30分

same as 第12回

第15回 Writing an academic paragraph about the human body

Presentation

復習内容 : ライティングスキルの復習

復習時間 : 30分

<Writing Skills>

Writing about similarities

Writing about differences

Writing a description

Writing about the body

定期試験

UNIT3とUNIT4の内容が定期試験範囲（予定）

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 2 〈再履修〉				
英文名 :	Academic English 2				
担当者 :	竹中 義胤				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理系英語 1 (再履修) に引き続き、平易な科学に関する読み物を読みながら、基礎的な語彙力、必要な文的知識、及び読解力を身につけていきます。同時に単語の形態素の意味と機能について勉強し、文脈から単語の意味を推測する能力も養成していきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

基礎的な語彙力、基本的な文法知識、読解力の習得及び形態素分析の活用法の学習

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%

レポート・小テスト等 20%

期末試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後(試験期間終了後)に模範答案(印刷物)を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791960255 『Science Finder—科学の不思議』(Jonathan Lynch, 成美堂: 2017)

■ 参考文献

■ 関連科目

理系英語 1 (再履修)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階254)・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月、水、木の昼休みまたは月曜日5限授業終了後、講師控室(2号館2階)に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Unit 11 (Almost) Vegetarian Bears

(ベジタリアンになったパンダの秘密)

予習内容: Warm-upの問題を解く

予習時間: 30分

復習内容: 授業内容の復習

復習時間: 30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第2回 Unit 12 Animals and Earthquakes

(動物だけが知る地震の前兆)

予習内容: Warm-upの問題を解く

予習時間: 30分

復習内容: 授業内容の復習

復習時間: 30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第3回 Unit 13 LiquiGlide

(特殊コーティング技術でケチャップが水のように)

予習内容：Warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第4回 Unit 14 Unbreakable Glass

(割れないガラスでスマホも安心)

予習内容：Warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第5回 Unit 15 Robots Are Winning

(ロボット優位の時代がやってくる)

予習内容：Warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第6回 Unit 16 Li-Fi

(Wi-Fi のイライラにさようなら?)

予習内容：Warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第7回 Unit 17 Enceladus

(土星の衛星に海発見!)

予習内容：Warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第8回 Unit 18 The Ninth Planet

(ポスト冥王星—太陽系の9番目の惑星が見つかる?)

予習内容：Warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第9回 Unit 19 Dyson Sphere

(宇宙人が作った巨大構造物)

予習内容：Warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第10回 Unit 20 When Will We See a Great Comet?

(もっと見たい大彗星)

予習内容：Warm-upの問題を解く

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析

第11回 Units 11 & 12 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

第12回 Units 13 & 14 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

第13回 Units 15 & 16 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

第14回 Units 17 & 18 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

第15回 Units 19 & 20 復習

予習内容：わからないところを事前に調べておく

予習時間：30分

復習内容：総復習

復習時間：30分

本文に関する問題を解く

期末試験

授業内に指定します。

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 1				
英文名 :	Oral Skills (English) 1				
担当者 :	ファミユラロ ラルフ マイケル				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

Students will be required to participate in pair work, small group and individual activities. These activities will include pronunciation, speaking, listening and writing skills.

■ 学習・教育目標及び到達目標

To become familiar with vocabulary and necessary expressions for basic communication skills.

■ 成績評価方法および基準

Oral Presentations 40%

In-class activities, Quizzes 40%

Written notes 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します

■ 教科書

Out Front ISBN: 9784865390339

Robert Diem & Roberto Rabbini

English Education Press www.englisheducationpress

2014

https://www.englishbooks.jp/catalog/product_info.php/out-front-student-book-6th-edition-p-31746

■ 参考文献

English-Japanese Dictionary is necessary.

■ 関連科目

オーラルスキル（英語） 2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

In-class questionnaires

■ 研究室・メールアドレス

bunbogu1@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

On campus Mondays 10:40-4:10, Fridays 9:00-4:10

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course Introduction

予習内容 : Orientation / Class Introduction

予習時間 : 30分

復習内容 : Basic questions and pronunciation practice

復習時間 : 60分

Orientation / Course Introduction

Pronunciation practice 1 vowels / Basic Questions

第2回 Personal Information / Introductions

予習内容 : Names, Titles, personal information exchange

予習時間 : 60分
復習内容 : Self-introduction presentation preparation
復習時間 : 30分
Personal Information /
the use of names and titles
Self-introduction presentation preparation

第3回 Family and Relatives

Self-introduction Presentations

予習内容 : Family-related question and answer practice
予習時間 : 45分
復習内容 : Self-Introduction presentations in groups
復習時間 : 45分
Members of the family
Questions about relatives
Self-introduction presentations

第4回 Housing

予習内容 : Pronunciation Practice and listening
予習時間 : 20分
復習内容 : Housing Questions & Answers, dialogue preparation
復習時間 : 70分
Pronunciation practice 2, minimal pairs
Types of dwellings
Questions and answers about residential areas and accommodations
Housing-related dialogue presentation practice.

第5回 Housing dialogue presentation

Family & relative review information

予習内容 : Pair presentations on housing topic
予習時間 : 45分
復習内容 : Family & relative review
復習時間 : 45分
Pair presentations on housing topic.
Family & relative vocabulary and written answers on family tree.

第6回 Likes and Dislikes

Free time activities

予習内容 : Likes and Dislikes practice
予習時間 : 30分
復習内容 : Free-time & Hobbies
復習時間 : 60分
Walk-around activity expressing likes and dislikes.
Questions and Answers about free-time
Hobbies, preferences

第7回 Numbers in English

予習内容 : Prices, dates, contact numbers
予習時間 : 30分
復習内容 : Listening practice. Questions & Answers with large numbers
復習時間 : 60分
Numbers in relation to prices, dates, contact numbers.
Listening for large numbers
Questions to elicit statistical information (population, area, percentages)

第8回 Time

Everyday schedules

予習内容 : Time practice
予習時間 : 30分
復習内容 : Questions & Answers about days, dates. Listening & writing the correct date
復習時間 : 60分
Time in English practice involving listening and information exchange.

Questions and answers for days and dates; months of the year
The difference in writing the dates between American and British-based cultures

第9回 Review of lessons 1-8

予習内容 : Review speaking practice

予習時間 : 30分

復習内容 : Note check & written review practice

復習時間 : 60分

Review practice involving speaking, listening and writing skills.

Note Check

第10回 Shopping

予習内容 : Shopping situation practice

予習時間 : 30分

復習内容 : World currencies, quantity and quality questions and answers

復習時間 : 60分

Applying the use of numbers to shopping situations

Introduction to currencies around the world

Questions to elicit quantity and quality, more practice with preferences

第11回 Offers and Invitations

予習内容 : Offers and Invitations Introduction and practice, including reasons & excuses

予習時間 : 45分

復習内容 : Offer / Invitation presentation preparation

復習時間 : 45分

Learning ways of expressing offers and invitations and how to accept or reject them.

Making excuse and giving reasons.

Offer / Invitation presentation preparation

第12回 Offer / Invitation presentation preparation

予習内容 : Pair presentations: Offer / Invitations

予習時間 : 60分

復習内容 : My favorite things: describing and explaining presentation preparation

復習時間 : 30分

Pair presentations on offers and invitations.

Favorite things. Expressing and describing favorite items and explaining how and when they are used.

Presentation on favorite things preparation.

第13回 Describing and explaining presentation in groups.

Adverbs of frequency introduction

confirming and clarifying unclear utterances

予習内容 : Describing and Explaining presentations

予習時間 : 30分

復習内容 : Adverbs of frequency; confirming & clarifying practice

復習時間 : 60分

Group activity on describing and explaining favorite items.

Introduction to the use of adverbs of frequency in regular routines

Pratice of asking for confirmations and clarifications of hard-to-understrand replies.

第14回 Pronunciation practice 3: More vowel minimal pairs

Future Introduction

Summer plans

予習内容 : Pronunciation and listening practice

予習時間 : 20分

復習内容 : Future tense practice, summer plans and note check information

復習時間 : 80分

Pronunciation and listening practice for more vowel sounds in English.

Introduction to future situations and plans

Questions and Answers about summer vacation plans

Review of notes from lessons 9-14.

第15回 First-term Review activities

予習内容 : Note check review

予習時間 : 60分

復習内容 : Written review of questions and answers during the 1st term lessons

復習時間 : 30分

Note check activity

Reviewing questions and answers of the presented materials during the 1st term, especially of lessons 9 - 14. This review will include written and spoken practice.

In-class activities are graded

In-class activities are graded

■ **ホームページ**

科目名 :	オーラルスキル（英語） 1				
英文名 :	Oral Skills (English) 1				
担当者 :	エドワード アフ カラギアニス				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時までに、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「オーラルスキル2」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

宿題/ 小テスト 60%
定期試験 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小テストは次の授業に返却します

■ 教科書

"Clip Art English - A Straightforward Approach, Second Edition", (Edward A. Karagianis: Eddie-Bones Publishing: 2013), [ISBN] 978-4-9907064-0-1.

■ 参考文献

最初の授業で指示します。

■ 関連科目

オーラルスキル2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・ekaragi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業説明 テキスト Self-Intro, What kind of, Genealogy

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

現在形、形容詞形

第2回 What kind of, Do you have any allergies? That's what friends are for,

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

現在形、副詞、出来る

第3回 What kind of, So/such, How often do you, , What are you up to,

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

現在形、副詞、出来る

第4回 How often do you, Adverbs for athletic people, Tank game

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

現在形、副詞、出来る

第5回 What are you up to, Activities, Applying for a job

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

現在形、趣味、出来る

第6回 Activities, Applying for a job, What time/Do you ever

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：30分

自分が出来ること、現在形、趣味、仕事関係

第7回 What time/Do you ever, New part-time job, Occupations, FUNCTION: Self-talk

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

現在形、仕事関係、自分のことを1分間話す

第8回 Occupations, On the airplane, I'll pick some up, 4つ揃え card game

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

I'm hungry, Requests, A favor, FUNCTION: Give & confirm instructions

第9回 I'm hungry, Requests, A favor, FUNCTION: Give & confirm instructions

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

食料品、食べ物、レストラン、丁寧語、説明をしたり確認したりする

第10回 Bird Watching, Where/What 1, Who is it game

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

現在進行形、形容詞、比較/最上級、人の描写

第11回 Where/What 2, Boyfriends, Tank game

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

比較/最上級

第12回 Which is /Who is, as ~as/not-as – as, What are you going to do?

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

比較級、最上級、未来形

第13回 Superlative Animals, Traveling to various, How to read numbers, Hurdle Race

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

最上級、未来形, 数字の読み方

第14回 Adjectives & related nouns, I'm broke

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

未来形 going to/will、形容詞 - 副詞

第15回 Write the questions for the sentences, From adj. into verbs, Tank game

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：試験勉強

復習時間：180分

未来形 going to/will、形容詞-動詞

定期試験

■ **ホームページ**

科目名 :	オーラルスキル（英語） 1						
英文名 :	Oral Skills (English) 1						
担当者 :	ジョン ドウデジアン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■ 学習・教育目標及び到達目標

This course aims to develop basic English proficiency through which students can communicate in English. Students will learn fundamental English language and conversation skills necessary for various situations in daily life.

Students are expected to:

- > cooperate
- > concentrate
- > make a strong effort
- > be on time
- > bring all necessary classroom materials including a Japanese-English Dictionary
- > bring and maintain a notebook
- > record and look up any unknown vocabulary items
- > return all homework assignments on time
- > be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:

- > acquired basic expressions and related vocabulary useful for daily life
- > acquired basic grammar necessary for daily conversation
- > acquired basic listening and speaking skills necessary for daily communication
- > learned how to facilitate the natural flow of conversation

■ 成績評価方法および基準

Coursework 35%

Participation 25%

Tests/Quizzes/Presentations 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■ 教科書

Talk a Lot Book One

David Martin

Second Edition (EFL Press)

■ 参考文献

none

■ 関連科目

Oral Skills (English) 2

■ 授業評価アンケート実施方法

The university course survey is the main method for students to evaluate the course and written comments are highly valued. Students are also encouraged to express their opinions about course content and methodology.

■研究室・メールアドレス

john4649@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

By appointment

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

*Subject to change in order to satisfy course objectives

1. Introduction

Course rules and objectives/Introductory activities

Explanation of rules and objectives/Diagnostic listening and speaking tasks

2. Making acquaintances

Greeting people and introducing yourself/Exchanging personal information with multiple classmates

3. Numbers

Using cardinal numbers/ Saying multiple digit numbers up to eight digits/ Exchanging numerical information

4. Dates

Using ordinal numbers/Using dates/Communicating about culturally and personally significant dates

5. Abilities

Expressing abilities past, present and future/Talking about interests/Discovering areas of mutual interest

6. Locations

Using prepositions of location/Describing locations within a confined space/ Explaining locations and identifying differences in drawings

7. Likes and dislikes

Asking and answering yes/no questions/Expressing preferences and discussing reasons for disliking something/Exchanging information regarding like and dislikes

8. Family

Using family vocabulary/Talking about immediate and extended family

9. Family

Discussing family relationships/Describing personality traits and giving opinions about relatives and friends

10. Telling time

Working with clocks/Telling time using everyday phrases/Discussing time spent on various activities

11. Daily routines

Talking about daily schedules and free time activities/Exchanging information about school and work schedules

12. School life

Discussing school related activities/Making plans and setting dates

13. Semester review

Review of major topics and points of emphasis from weeks 1-12

14. Written examination

Notebook review/Final review on areas of weakness

15. Speaking tasks/Notebook check

Pair and group speaking tasks/Notebook check/Preview of Oral Skills 2

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.

予習時間 : 30分

復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.

復習時間 : 30分

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 1						
英文名 :	Oral Skills (English) 1						
担当者 :	パトリック ポーレン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時までに、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。

This English conversation course will build student confidence and improve overall English speaking and listening proficiency through enjoyable in-class activities. Moreover, this course will provide the proper foundation for future English study.

■ 学習・教育目標及び到達目標

「オーラルスキル2」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 30%

口頭発表 40%

宿題／レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■ 教科書

“Fifty-fifty: A speaking and listening course, Book 1, Third Edition” (Warren Wilson and Roger Barnard, Pearson ELT: 2007) [ISBN] 9789620056642

■ 参考文献

Nothing

■ 関連科目

オーラルスキル2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Class Orientation

予習内容 : Read the syllabus and check

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Teacher to student introduction, explanation of the course and student responsibilities. Vocabulary for clarification.

第2回 Introductions and greetings

予習内容 : Think about and practice introducing oneself and a partner both formally and informally

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Introducing oneself and a partner both formally and informally

第3回 Abilities and Jobs

予習内容 : Think about asking and answering questions about abilities; discussing types of jobs, job qualifications and skills

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Asking and answering questions about abilities; discussing types of jobs, job qualifications and skills

第4回 Personal information

予習内容 : Think about and practicing asking for and giving personal information, discussing appropriate vs.inappropriate topics

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Asking for and giving personal information, discussing appropriate vs.inappropriate topics

第5回 Times and Dates

予習内容 : Think about and practice asking and answering questions about times and dates

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Asking and answering questions about times and dates

第6回 Routines and Schedules

予習内容 : Think about and practice understanding personal schedules,making appointments, and comparing routine.

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Understanding personal schedules. Making appointments.Comparing routine.

第7回 Review of weeks 1-6

予習内容 : Reviewing the topics covered in the first six weeks of the course

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

A review of the topics covered in the first six weeks of the course

第8回 Location and movement

予習内容 : Think about furniture and household furnishings. Discuss identifying locations in a room, discussing the movement of objects

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Talking about furniture and household furnishings. Identifying locations in a room, discussing the movement of objects

第9回 Directions

予習内容 : Talking about asking for, giving, and understanding map directions, giving directions to a taxi driver, describing stores and their services.

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Asking for, giving, and understanding map directions, giving directions to a taxi driver, describing stores and their services.

第10回 Travel

予習内容 : Discuss asking and answering questions about travel experiences, discussing foreign languages and cultures, making travel plans, checking into a hotel

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Asking and answering questions about travel experiences, discussing foreign languages and cultures, making travel plans, checking into a hotel

第11回 Movies and Television

予習内容 : Talk about movies and television, describing a movie, narrating a basic story

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Talking about movies and television, describing a movie, narrating a basic story

第12回 Processes

予習内容 : Talk about food and cooking, making a meal from a recipe, asking a friend for advice. Guessing processes from hints. Giving and confirming instructions.

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Talking about food and cooking, making a meal from a recipe, asking a friend for advice. Guessing processes from hints. Giving and confirming instructions.

第13回 Opinions

予習内容 : Talk about asking for opinions on both domestic and world issues, agreeing and disagreeing with someone politely

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

Asking for opinions on both domestic and world issues, agreeing and disagreeing with someone politely

第14回 Review of Weeks 7-13

予習内容 : Reviewing the topics covered in weeks 7-13 of the course

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language30

復習時間 : 30分

A review of the topics covered in weeks 7-13 of the course

第15回 Final Review and Summer Plans

予習内容 : Reviewing all the topics of the course, discussing summer holiday plans

予習時間 : 30分

復習内容 : Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間 : 30分

A final review of all topics, discussion of summer holiday plans

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 1						
英文名 :	Oral Skills (English) 1						
担当者 :	ユーリ ヤング						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

This is a first semester general English course for low intermediate non-English majors. This course will focus on developing vocabulary, along with the four skills of reading, listening, speaking, and writing under a communication context. Topics will be taken mostly from the textbook, but will include occasional conversation and cultural handouts in class.

■ 学習・教育目標及び到達目標

Learn new vocabulary, language structures, phrases, and expressions. Move beyond short simple sentences to more complex sentences. Improve in pronunciation, intonation, and stress. Begin to use English more fluently and confidently. Understand some basic differences between formal and informal language. Interact with other students in English.

■ 成績評価方法および基準

Two tests (テスト) 40%

Homework, classroom activities, and presentations (宿題、授業の発表、会話練習) 40%

Attendance, attitude, and participation (出席、態度) 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

We will review and do exercises together in class.

■ 教科書

[ISBN]9781305650787 , World Link Student Book 1 Developing English Fluency 3rd ed., by Susan Stempleski, Nancy Douglas, James R. Morgan, Publisher: Cengage, 2016

■ 参考文献

You are expected to take notes in a course notebook and to bring your textbook to every class.

■ 関連科目

Oral Skills (English) 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) yulieyang80@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course and self introduction

予習内容 : Attend class

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Course and self introduction

第2回 People

予習内容 : Buy the textbook and bring it to every class from now on

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 1 Lesson A People: Getting to know you

第3回 People

予習内容 : Lesson preview 20 min: present tense/past tense

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 1 Lesson B People: Appearance

第4回 Behavior

予習内容 : Lesson preview 20 min: describing appearance using be/have

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 2 Lesson A Behavior: Actions

第5回 Behavior

予習内容 : Lesson preview 20 min : This/that/these/those

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 2 Lesson B Behavior: Feelings and gestures

第6回 Shopping

予習内容 : Lesson preview 20 min: : Present continuous, subject and object pronouns

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 3 Lesson A Shopping: At the market

第7回 Shopping

予習内容 : Lesson preview 20 min: : subject pronouns and possessive adjectives

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 3 Lesson B Shopping: Let's go shopping

第8回 Review units 1-3

予習内容 : Lesson preview 20 min:

復習内容 : Study for the test 1 hour

Test #1 on units 1-3. Review and conversation exercises

第9回 Vacation

予習内容 : Lesson preview 20 min:: yes no questions & short answers

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 4 Vacation Lesson A: Weather

第10回 Vacation

予習内容 : Lesson preview 20 min: The present continuous

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 4 Vacation Lesson B: Travelling

第11回 Heroes

予習内容 : Lesson preview 20 min: affirmative and negative statements

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 5 Heroes Lesson A: Pioneers

第12回 Heroes

予習内容 : Lesson preview 20 min: possessive nouns/count and noncount nouns

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 5 Heroes Lesson B: Personal Heroes

第13回 The Mind

予習内容 : Lesson preview 20 min: Have got/ possessive pronouns: belong to

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 6 The Mind Lesson A: Memory

第14回 The Mind

予習内容 : Lesson preview 20 min: reading for details, scanning and skimming for information

復習内容 : Study for the test 1 hour

Unit 6 The Mind Lesson B: Sleep

第15回 Test #2 on units 4-6

予習内容 : Study for the test

復習内容 : None

Test #2 on units 4-6. Review and conversation exercises

■ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 1 〈再履修〉						
英文名 :	Oral Skills (English) 1						
担当者 :	エリック ジョンソン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

Our goal is working together on analytical, evaluative, and creative tasks that require higher-order thinking skills (Bloom's Taxonomy). Ideally, this means applying course material to clearly presenting our own interests and ambitions.

■ 学習・教育目標及び到達目標

Students cooperate to set up practical communication situations. As students naturally have varied experience of English education, a variety of positive approaches to speaking out will be shared and encouraged by all.

■ 成績評価方法および基準

Discussion activities 30%

Written work 40%

Formal speech presentations 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Major assignments receive written feedback. In person, meet immediately after class or at lunchtime.

■ 教科書

Unlock Listening and Skills 1 by N. M. White, Cambridge Uni. Press 2014. Student's ed. ISBN: 9781107678101.
Teacher ISBN: 9781107662117

■ 参考文献

none

■ 関連科目

Oral Skills (English) 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） ・ ejkindai@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 People: Family

予習内容 : Terms for family members, occupations, and countries

予習時間 : 140分

復習内容 : What's ___ name? How old is/are ___? Do/does ___ have any brothers/sisters?

復習時間 : 40分

Perform a self introduction and talk about household family members

第2回 People: Jobs

予習内容 : Film making jobs: cameraman, sound man, assistant, producer, presenter, crew.

予習時間 : 130分

復習内容 : What does ___ do? What does ___ want to do in the future?

復習時間 : 50分

Jobs in media, entertainment, and science-related fields.

第3回 People: Countries and Nationalities

予習内容 : Nationality designations, time phrases

予習時間 : 120分

復習内容 : Where's ____ from? My presentation is about ____.

復習時間 : 60分

Present an ideas map about a person who has lived in or visited foreign countries.

第4回 Seasons: Describing Landscape

予習内容 : Timing of seasonal weather events.

予習時間 : 100分

復習内容 : Location of the Tropic of Cancer, Tropic of Capricorn, and the equator.

復習時間 : 80分

Describe how various weather conditions change how a place looks.

第5回 Seasons: Meteorology

予習内容 : Adjectives: beautiful, natural, man-made, unusual

予習時間 : 120分

復習内容 : Dry season, rainy or monsoon season

復習時間 : 60分

Identifying nouns, adjectives, and verbs. Listing months and seasons.

第6回 Lifestyle: Sociology

予習内容 : Bedouin culture, traditional medicine, modern and traditional lifestyle.

予習時間 : 110分

復習内容 : Importance of preserving traditions.

復習時間 : 70分

Define "busy lifestyle" and decide how busy your schedule is in comparison.

第7回 Lifestyle: Anthropology]

予習内容 : Asking for (information/money)

予習時間 : 130分

復習内容 : Benefits of living with other people vs. living alone

復習時間 : 50分

Discuss exercise and eating habits. Judging locations by conversation cues.

第8回 Lifestyle: Creating a survey

予習内容 : Vocabulary for hobbies; likes and dislikes about food

予習時間 : 120分

復習内容 : Food, free time, sports, and technology as elements of lifestyle

復習時間 : 60分

Interviewing based on data from a questionnaire

第9回 Places: Urban geography

予習内容 : Common city sites (bank, bridge, library, mosque)

予習時間 : 120分

復習内容 : Direction words: this, these, here, that, those, there

復習時間 : 60分

Interpreting lines and symbols on a map

第10回 Places: Tourism Geography

予習内容 : Megaregions--do you live in one?

予習時間 : 130分

復習内容 : Factors in increasing or decreasing growth of tourism

復習時間 : 50分

Discuss a documentary about Australia's Great Barrier Reef

第11回 Places: Ask for and give directions

予習内容 : Prepositions: at, behind, between, in, in front of, next to, opposite

予習時間 : 120分

復習内容 : Imperative sentences that give directions without pronouns

復習時間 : 60分

Creating questions with "Where is the ___?" or "How do I get to ___?" patterns.

第12回 Sports science

予習内容 : Criteria for judging the danger of a sport; types of martial arts

予習時間 : 140分

復習内容 : comparative adjectives

復習時間 : 40分

Organize data in a table based on a free diving documentary

第13回 Health sciences

予習内容 : comparatives: healthier, stronger, more/less popular medical procedures

予習時間 : 120分

復習内容 : Speech introduction example

復習時間 : 60分

Discuss the way younger and older people understand and use health care system

第14回 Sports and exercise comparisons

予習内容 : Pilates, zumba, yoga, tae kwan do, kung fu

予習時間 : 140分

復習内容 : sports collocations

復習時間 : 40分

Speak about age and gender trends in joining a team or an exercise class

第15回 Final speech about one season or one sport in my hometown

予習内容 : Introduction, body paragraphs, and conclusion

予習時間 : 170分

復習内容 : Assessment card

復習時間 : 10分

Provide details and hold an audience's interest for several minutes

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 1 〈再履修〉				
英文名 :	Oral Skills (English) 1				
担当者 :	パトリック ポーレン				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時まで、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「オーラルスキル2」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 30%
 コース活動 40%
 宿題／レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■ 教科書

"Fifty-fifty: A speaking and listening course, Book 1, Third Edition" (Warren Wilson and Roger Barnard, Pearson ELT: 2007) [ISBN] 9789620056642

■ 参考文献

Nothing

■ 関連科目

オーラルスキル2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)/prpolen@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Class Orientation

Teacher to student introduction, explanation of the course and student responsibilities. Vocabulary for clarification.

第2回 Introductions and greetings

Introducing oneself and a partner both formally and informally

第3回 Abilities and Jobs

Asking and answering questions about abilities; discussing types of jobs, job qualifications and skills

第4回 Personal information

Asking for and giving personal information, discussing appropriate vs. inappropriate topics

第5回 Times and Dates

Asking and answering questions about times and dates

第6回 Routines and Schedules

Understanding personal schedules. Making appointments.. Comparing routine.

第7回 Review of weeks 1-6

A review of the topics covered in the first six weeks of the course

第8回 Location and movement

Talking about furniture and household furnishings. Identifying locations in a room, discussing the movement of objects

第9回 Directions

Asking for, giving, and understanding map directions, giving directions to a taxi driver, describing stores and their services.

第10回 Travel

Asking and answering questions about travel experiences, discussing foreign languages and cultures, making travel plans, checking into a hotel

第11回 Movies and Television

Talking about movies and television, describing a movie, narrating a basic story

第12回 Processes

Talking about food and cooking, making a meal from a recipe, asking a friend for advice. Guessing processes from hints. Giving and confirming instructions.

第13回 Opinions

Asking for opinions on both domestic and world issues, agreeing and disagreeing with someone politely

第14回 Review of Weeks 7-13

A review of the topics covered in weeks 7-13 of the course

第15回 Final Review and Summer Plans

A final review of all topics, discussion of summer holiday plans

■ **ホームページ**

科目名 :	オーラルスキル（英語） 2						
英文名 :	Oral Skills (English) 2						
担当者 :	ファミユラロ ラルフ マイケル						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

Students will be required to participate in pair work, small group and individual activities. These activities will include pronunciation, speaking, listening and writing skills.

■ 学習・教育目標及び到達目標

To become familiar with vocabulary and necessary expressions for basic communication skills.

■ 成績評価方法および基準

Oral Presentation 40%

In-class activities 40%

Written notes 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します

■ 教科書

Out Front ISBN: 9784865390339

Robert Diem & Roberto Rabbini

English Education Press www.englisheducationpress

2014

https://www.englishbooks.jp/catalog/product_info.php/out-front-student-book-6th-edition-p-31746

■ 参考文献

English-Japanese Dictionary is necessary.

■ 関連科目

オーラルスキル（英語） 1, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

In-class questionnaires

■ 研究室・メールアドレス

bunbogu1@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

On campus Mondays 10:40-4:10, Fridays 9:00-4:10

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Pronunciation Practice, Consonants

Introduction to Past Tense

Summer activities questions & answers

予習内容 : Pronunciation and listening practice

予習時間 : 30分

復習内容 : Past-tense activities

復習時間 : 60分

Pronunciation and listening practice with the consonant sounds of English

Introduction to the past tense: -ed verb forms

Summer activity walk-around and recent past-tense events

第2回 Past Tense, part II

Practice with irregular past-tense verb forms

予習内容 : Past tense question and answer practices

予習時間 : 60分

復習内容 : Past-tense presentation preparation

復習時間 : 30分

Talking about childhood, previous school experiences and the distant past.

regular and irregular verb forms and spelling

Past-tense question forms.

Past-tense Presentation preparation

第3回 Past-Tense presentation

Occupations

予習内容 : Past-tense Presentations

予習時間 : 60分

復習内容 : Occupation vocabulary and related concepts

復習時間 : 30分

Pair presentations using the past tense verb forms.

Vocabulary work on occupation names

第4回 "Used to" practice showing the changes in situations over long-term periods

Work-related actions & responsibilities

予習内容 : Used to do / be

予習時間 : 45分

復習内容 : Work-related activities and responsibilities

復習時間 : 45分

Practice using the, "Used to do / be" forms to show the differences in situations over time.

Work-related activities. Explaining what different jobs entail. Expressing whether a job is suitable or not for certain types of people.

第5回 Prepositions of Location I

Talking about shops and services

Describing cities, suburbs and the countryside

予習内容 : Prepositions of place

予習時間 : 45分

復習内容 : Shops & services, describing locations

復習時間 : 45分

Prepositions of place for indoor or small spatial areas including pair work practice.

Describing what products and services certain shops and businesses provide

Describing locations including urban, suburban and rural areas.

第6回 Prepositions of place II

How to do things

予習内容 : Prepositions of location in the town

予習時間 : 45分

復習内容 : How to do procedures practice

復習時間 : 45分

Practice with prepositions of place to explain where a building or other structure is located, including the use of street names and street addresses.

Practice explaining how to do simple procedures.

第7回 Directions

Using simple Maps

予習内容 : Pronunciation and listening with final "ed" sound

予習時間 : 30分

復習内容 : Directions and map practice

復習時間 : 60分

Pronunciation Practice with Consonants -- the final, "ed" sounds

Asking for and giving directions in natural conversations

Pair work with simple maps to guide the partner to a destination

第8回 Note review check

Explaining how to do a sequence preparation

予習内容 : Note Review check

予習時間 : 60分

復習内容 : Preparing a, "how to do" sequence explanation for presentation

復習時間 : 30分

Note check of lesson content for lessons 1 - 7.

Preparing a presentation on how to complete a procedure using linking words.

第9回 "How to do" a procedure presentation

Introduction to Invitations

予習内容 : How to do a procedure presentations

予習時間 : 45分

復習内容 : Introduction to Invitations

復習時間 : 45分

Presentations of a procedure with linking words in a sequence -- small groups will judge how clear the explanations are.

Introduction to the language needed for inviting, accepting and rejecting.

第10回 Making Reservations

Imperatives

Taking messages

予習内容 : Reservations practice

予習時間 : 45分

復習内容 : Imperatives and Message-taking

復習時間 : 45分

Practice for making reservations including responding to follow-up questions

Using the imperative form to warn or order people to do / not to do something

Practice listening and jotting down main ideas for relaying messages

第11回 Food types

adjective combination practice

Restaurant practice

予習内容 : Food Vocabulary and categories

予習時間 : 30分

復習内容 : adjective and restaurant activities

復習時間 : 60分

Vocabulary work with types of food and their flavors

combining adjectives to develop categories or items that reflect certain adjectival qualities

Restaurant ordering practice -- interactions between customers and waiters / waitresses

第12回 Pronunciation and listening practice: Consonant minimal pairs

Explaining illness symptoms

Health and the use of, "have" (a headache)

予習内容 : Pronunciation & listening

予習時間 : 30分

復習内容 : Health and doctor-visit practice

復習時間 : 60分

Pronunciation of minimal pair consonants (example, b & v) including listening to distinguish the differences

Going to the doctor for health reasons including health-related vocabulary

第13回 Technology

Health-related presentation preparation

予習内容 : Technology Topics

予習時間 : 45分

復習内容 : Health-related presentation preparation

復習時間 : 45分

Vocabulary practice for communication and other technology

Questions and answers on the advantages and disadvantages of ubiquitous technology

Health related pair presentation preparation

第14回 Health-related presentation preparation

Adjective and adverb practice

Note Review information

予習内容 : Health Presentations

予習時間 : 60分

復習内容 : adjectives and adverbs / Note check information

復習時間 : 30分

Pair presentations on health & illness-related situations

Deciding whether an adjective or an adverb is required when answering questions:

"What kind of" and "How does . . .?"

Note check information

第15回 Note Review check

Spoken and written review of lessons 9 - 14

予習内容 : Note Check

予習時間 : 60分

復習内容 : Speaking and writing practice

復習時間 : 30分

Note review check of lessons 9 - 14

Speaking and writing practice to review lessons 9 through 14.

In-class activities are graded

In-class activities are graded

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 2				
英文名 :	Oral Skills (English) 2				
担当者 :	エドワード アフ カラギアニス				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時まで、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「オーラルスキル1」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

宿題、小テスト 60%
定期試験 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小テストは次の授業に返却します

■ 教科書

Clip Art English - A "Straightforward Approach, Second Edition", (Edward A. Karagianis: Eddie-Bones Publishing: 2013), [ISBN] 978-4-9907064-0-1.

■ 参考文献

最初の授業で指示します。

■ 関連科目

オーラルスキル1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・ekaragi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 A Tasteless Patrol, Sensory Verbs, Sensory Verbs - matching

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

未来形、感覚動詞

第2回 Sensory Verbs & Tag Questions, 4つ揃え card game, Something, anything, nothing, etc.,

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

感覚動詞、Something, anything, nothing; someone, anyone, no one; など

第3回 How was your weekend? It was the first time

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

過去形

第4回 Did you get . . . ? Did you . . . when you were . . . ? 1/2, Face Game (print)

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

過去形

第5回 Did you . . . when you were . . . ? 2/2, Make a Mistake & questions, Tank Game

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

過去形

第6回 How did it go? Motion Sickness, Used to

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：30分

過去形、一位、二位など、車酔い 船酔いなど

第7回 Used to, Let & Make, Let & Make - matching

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

かつて、させてあげる - させる 強制

第8回 Let & Make - questionnaire, I Can't go, Did you have to

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

させる、しなければならない

第9回 What do they have to do to fulfill, You aren't allowed to etc, Because & So

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

しなければならない、してまいかない、しても良い

第10回 At the Beach, Relative Pronouna that/where, FUNCTION: Describe a process

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

関係代名詞、過程の説明

第11回 Tank Game, too - to/not - enough, Exercises - too - to/not - enough

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

関係代名詞

第12回 The Weather Forecast, Dreary Weather, Time For a Change

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

天気、過去分詞、現在分詞

第13回 Participial Adjectives, News live from Chui Chu, Change to the Passives

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

過去分詞、現在分詞、受動態

第14回 A Few Passives, Have you ever played/been, Work & Interests,

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した文法、表現をもう一度堪忍し小テストの勉強

復習時間：45分

受動態、現在完了形

第15回 How long have you been, How long have you been ~ing? Doctor's Office

予習内容：知らない単語を辞書で調べる

予習時間：30分

復習内容：試験勉強

復習時間：180分

現在完了形, 現在完了進行形、病気

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 2						
英文名 :	Oral Skills (English) 2						
担当者 :	ジョン ドウデジアン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■ 学習・教育目標及び到達目標

This course aims to foster basic English proficiency through which students can communicate in English. Students will learn English conversation skills necessary for various situations in daily life.

Students are expected to:

- > cooperate
- > concentrate
- > make a strong effort
- > be on time
- > bring all necessary classroom materials including a Japanese-English Dictionary
- > bring and maintain a notebook
- > record and look up any unknown vocabulary items
- > return all homework assignments on time
- > be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:

- > acquired basic expressions and related vocabulary useful for daily life
- > acquired basic grammar necessary for daily conversation
- > acquired basic listening and speaking skills necessary for daily communication
- > learned how to facilitate the natural flow of conversation

■ 成績評価方法および基準

Coursework 35%

Participation 25%

Tests/Quizzes/Presentations 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■ 教科書

Talk a Lot Book One Second Edition

David Martin

EFL Press

■ 参考文献

none

■ 関連科目

Oral Skills (English) 1

■ 授業評価アンケート実施方法

The university course survey is the main method for students to evaluate the course and written comments are highly valued. Students are also encouraged to express their opinions about course content and methodology.

■研究室・メールアドレス

john4649@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

By appointment

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

*Subject to change in order to satisfy course objectives

1. Summer vacation

Discussing summer vacation experiences/Interviewing classmates about past activities

2. Describing the recent past

Interviewing classmates/Reporting information

3. Body and health

Describing body parts, body types and physical appearance/Identifying people from a set of alternatives

4. Describing clothing/fashion

Describing clothing items, patterns and materials/Talking about fashion preferences

5. Describing people

Differentiating between people by communicating appearance/Adjective ordering

6. Making comparisons

Comparing two items and discussing differences/Using positive and negative forms to describe items

6. Describing locations

Saying a location from a map/Describing and sequencing /Confirming each step in a process

7. Directions in a city or town (maps)

Asking for and giving directions from a map/Using clarification and confirmation requests

8. Directions for trains and subways (maps and schedules)

Asking for and giving directions for mass transit/Clarifying and confirming time and place information

9. Making plans

Setting up personal and professional appointments/Turning down a request/ Making arrangements for meetings

10. Expressing future intent

Discussing future plans and hopes/Using relative time expressions/Expressing probability/Predicting future events

11. Talking about past experiences

Discussing life events and every day experiences/Using relative time expressions/Sequencing a series of events

12. Holidays

Identifying Japanese holidays, their origins and English names/Discussing and comparing Japanese and Western holidays

13. Semester review

Review of major topics and points of emphasis from weeks 1-12

14. Written examination

Notebook review/Final review on areas of weakness

15. Speaking tasks/Notebook check.

Pair and group speaking tasks/Notebook check/Preview of Oral Skills 3

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you

bring all your materials to class.

予習時間 : 30分

復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.

復習時間 : 30分

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 2						
英文名 :	Oral Skills (English) 2						
担当者 :	パトリック ポーレン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時までに、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。

This English conversation course will build student confidence and improve overall English speaking and listening proficiency through enjoyable in-class activities. Moreover, this course will provide the proper foundation for future English study.

■ 学習・教育目標及び到達目標

「オーラルスキル1」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 30%

口頭発表 40%

宿題／レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■ 教科書

"Fifty-fifty: A speaking and listening course, Book 1, Third Edition" (Warren Wilson and Roger Barnard, Pearson ELT: 2007) [ISBN] 9789620056642

■ 参考文献

Nothing

■ 関連科目

オーラルスキル1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Introduction to class, Talking about Summer Vacation

Explanation of course responsibilities. Review of clarification language. Discussing what one did during the summer vacation.

第2回 Describing People

Identifying people based on physical features

第3回 Family

Asking for and giving information about one's family and describing the personality of individual family members.

第4回 Shopping

Describing clothing, electronics, and personal items. Questioning a shop clerk. Buying and selling items. Discussing preferences.

第5回 Music

Talking about one's musical history and preference. Giving opinions about music.

第6回 Hobbies and interests

Discussing free time activities

第7回 Review of Weeks 1-6

A complete review of the topics covered in the first six weeks of the course.

第8回 Likes and dislikes

Discussing and comparing with others one's preferences. Talking about favorite things.

第9回 The Future

Asking about and giving information about one's future plans and activities. Making predictions about the future.

第10回 The Past

Discussing important life events and past activities, talking about weekends

第11回 Restaurants and Food

Ordering a meal at a restaurant, comparing and describing western and Japanese food

第12回 Japanese culture and places

Describing Japanese things. Talking about culture and places in Japan, especially one's hometown. Describing and comparing Japanese prefectures.

第13回 Discussing holidays

Talking about the differences of holidays between the United States and Japan. Discussing one's New Year's plans.

第14回 Talking about future English study

Discussing ways on how to improve one's English in the future and its benefits.

第15回 Review of Weeks 7-13

A complete review of the topics covered in weeks 7-13 of the course.

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 2						
英文名 :	Oral Skills (English) 2						
担当者 :	ユーリ ヤング						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

This is a second semester general English course for low intermediate non-English majors. This course will focus on developing vocabulary, along with the four skills of reading, listening, speaking, and writing under a communication context. Topics will be taken mostly from the textbook, but will include occasional conversation and cultural handouts in class.

■ 学習・教育目標及び到達目標

Learn new vocabulary, language structures, phrases, and expressions. Move beyond short simple sentences to more complex sentences. Improve in pronunciation, intonation, and stress. Begin to use English more fluently and confidently. Understand some basic differences between formal and informal language. Interact with other students in English

■ 成績評価方法および基準

Two tests (テスト) 40%

Homework, classroom activities, and presentations (宿題、授業の発表、会話練習) 40%

Attendance, attitude, and participation (出席、態度) 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

We will review and do exercises together in class.

■ 教科書

[ISBN]9781305650787 , World Link Student Book 1 Developing English Fluency 3rd ed., by Susan Stempleski, Nancy Douglas, James R. Morgan, Publisher: Cengage, 2016

■ 参考文献

You are expected to take notes in a course notebook and to bring your textbook to every class.

■ 関連科目

Oral Skills (English) 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) yulieyang80@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Summer vacation & Review

予習内容 : Attend class

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Talk about summer vacation and review

第2回 City Life

予習内容 : Lesson preview 20 min: past tense and forming questions

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 7 Lesson A: Big Cities

第3回 City Life

予習内容 : Lesson preview 20 min: prepositions of time

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 7 Lesson B: My neighborhood

第4回 All about you

予習内容 : Lesson preview 20 min: when and how long questions

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 8 All about you Lesson A: Sports

第5回 All about you

予習内容 : Lesson preview 20 min: frequency adverbs

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 8 All about you Lesson B: Personality

第6回 Change

予習内容 : Lesson preview 20 min: connecting ideas with : but, or, and, so

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 9: Change Lesson A: Habits

第7回 Change

予習内容 : Lesson preview 20 min: prepositions of place, imperatives

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 9: Change Lesson B: Goals

第8回 Test #1 units 7-9

予習内容 : Lesson preview 20 min: Very/ too/ really/ also

復習内容 : Study for test #1 and do the homework 1 hour

Review and test #1 units 7-9

第9回 Health

予習内容 : Lesson preview 20 min: Giving advice, questions with how much/how many

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 10 Health Lesson A: The body

第10回 Health

予習内容 : Lesson preview 20 min: count and noncount nouns

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 10 Health Lesson B: Stress

第11回 Achievement

予習内容 : Lesson preview 20 min: questions with like

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 11 Achievement Lesson A: Talented people

第12回 Achievement

予習内容 : Lesson preview 20 min: talk about ability with can and can't

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 11 Achievement Lesson B: Risk

第13回 At the movies

予習内容 : Lesson preview 20 min: movie categories

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 12 At the movies Lesson A: Type of movies

第14回 At the movies

予習内容 : Lesson preview 20 min: inviting someone to a movie

Unit 12 Movie Reviews

第15回 Test #2 Units 10-12

予習内容 : Study for test #2 and do the homework 1 hour

復習内容 : None.

Review and test #2 units 10-12

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 2 〈再履修〉				
英文名 :	Oral Skills (English) 2				
担当者 :	エリック ジョンソン				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

Our goal is working together on analytical, evaluative, and creative tasks that require higher-order thinking skills (Bloom's Taxonomy). Ideally, this means applying course material to clearly presenting our own interests and ambitions.

■ 学習・教育目標及び到達目標

Students cooperate to set up practical communication situations. As students naturally have varied experience of English education, a variety of positive approaches to speaking out will be shared and encouraged by all.

■ 成績評価方法および基準

Discussion activities 30%
Written work 40%
Formal speech presentations 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Major assignments are given written feedback. Spoken feedback after class or at lunchtime.

■ 教科書

Unlock Listening and Skills 1 by N. M. White, Cambridge Uni. Press 2014. Student's ed. ISBN: 9781107678101.
Teacher ISBN: 9781107662117

■ 参考文献

none

■ 関連科目

Oral Skills (English) 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） ・ ejkindai@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Careers and Human Resources

予習内容 : Collocations for jobs

予習時間 : 120分

復習内容 : Using "think" to give opinions

復習時間 : 60分

Discuss job hunting advice

第2回 Criteria for matching staff to jobs

予習内容 : Adjectives for people; have/has to

予習時間 : 110分

復習内容 : Examples of work-related experience

復習時間 : 70分

Role play a job interview to learn about human resource management

第3回 Home and buildings: demography

予習内容 : Housing issues in the world's most crowded urban spaces

予習時間 : 100分

復習内容 : Analyzing the colors of your living, studying, and working spaces.

復習時間 : 80分

Explaining roots of conflict for Dharavi slum residents and Indian government

第4回 Home and buildings: architecture

予習内容 : Importance of colors in Mexican, English, and Chinese restaurants

予習時間 : 120分

復習内容 : Contrasting nuances of lecture hall vs. classroom vs. lab

復習時間 : 60分

Asking for opinions and giving opinions

第5回 Home and buildings: new buildings idea discussion

予習内容 : What about _____? We should _____.

予習時間 : 120分

復習内容 : Use a map to determine and defend the best location to build a new business

復習時間 : 60分

Agreeing and disagreeing about others' new restaurant concept

第6回 Food and culture

予習内容 : Statistics about farming in the UK

予習時間 : 120分

復習内容 : Importance of certain dishes and cooking ingredients in our daily life or society

復習時間 : 60分

Predict content using visuals

第7回 Gastronomy survey

予習内容 : Pronunciation of -ty and -teen numbers

予習時間 : 140分

復習内容 : countable and uncountable nouns

復習時間 : 40分

Listen for numbers

第8回 Making and reporting results of a food culture survey

予習内容 : Evaluate food in healthy vs. fast food categories and estimate what % of our diets

予習時間 : 130分

復習内容 : Family meals, holiday dishes, heavily imported food

復習時間 : 50分

Design pie charts to present collected data

第9回 Animal behavior

予習内容 : Bald eagle nest building; oryx's "nomadic" behavior

予習時間 : 120分

復習内容 : What do ____ eat?

復習時間 : 60分

Making predictions to increase personal safety around animals

第10回 Zoology

予習内容 : Where vs. how do they live? Why are they special?

予習時間 : 120分

復習内容 : lung, waterproof, pouch, joey

復習時間 : 60分

Using phrases "a kind of", "that means", and "is the name for" in definitions

第11回 Describing animals

予習内容 : Rare animals (red pandas, rhinos); proposals for government conservation plan.

予習時間 : 110分

復習内容 : Predator, reptiles, insects

復習時間 : 70分

Use behavioral and zoological terms to make a detailed statement

第12回 Transport and logistics

予習内容 : journey, passenger, ticket, take/ride vs. drive

予習時間 : 130分

復習内容 : go by, depart, board, reserve, check in, take off, land

復習時間 : 50分

Identify public and private forms of transport

第13回 Urban planning

予習内容 : London Underground, Oyster cards

予習時間 : 120分

復習内容 : past simple sentences to tell the history of a transportation company

復習時間 : 60分

Note key words and numbers; discuss your transport options pro and con points

第14回 Describing solutions to transport problems

予習内容 : Case study about transport options in extreme weather conditions in Alaska

予習時間 : 110分

復習内容 : sky bridge, sky train, traffic jam, travelator

復習時間 : 70分

Identify examples of public or private transport crises and brainstorm ideas to fix it

第15回 Final speech: a prediction about a future building or transport type

予習内容 : Diamond style organization format

予習時間 : 170分

復習内容 : Related textbook vocabulary lists

復習時間 : 10分

Hold listeners' interest with a well organized, imaginative talk

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 2 〈再履修〉						
英文名 :	Oral Skills (English) 2						
担当者 :	パトリック ポーレン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時までに、英語での発話・聴解場面の経験が少ない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。

This English conversation course will build student confidence and improve overall English speaking and listening proficiency through enjoyable in-class activities. Moreover, this course will provide the proper foundation for future English study.

■ 学習・教育目標及び到達目標

「オーラルスキル1」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 30%

口頭発表 40%

宿題／レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■ 教科書

"Fifty-fifty: A speaking and listening course, Book 1, Third Edition" (Warren Wilson and Roger Barnard, Pearson ELT: 2007) [ISBN] 9789620056642

■ 参考文献

Nothing

■ 関連科目

オーラルスキル1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Introduction to class, Talking about Summer Vacation

Explanation of course responsibilities. Review of clarification language. Discussing what one did during the summer vacation.

第2回 Describing People

Identifying people based on physical features

第3回 Family

Asking for and giving information about one's family and describing the personality of individual family members.

第4回 Shopping

Describing clothing, electronics, and personal items. Questioning a shop clerk. Buying and selling items. Discussing preferences.

第5回 Music

Talking about one's musical history and preference. Giving opinions about music.

第6回 Hobbies and interests

Discussing free time activities

第7回 Review of Weeks 1-6

A complete review of the topics covered in the first six weeks of the course.

第8回 Likes and dislikes

Discussing and comparing with others one's preferences. Talking about favorite things.

第9回 The Future

Asking about and giving information about one's future plans and activities. Making predictions about the future.

第10回 The Past

Discussing important life events and past activities, talking about weekends

第11回 Restaurants and Food

Ordering a meal at a restaurant, comparing and describing western and Japanese food

第12回 Japanese culture and places

Describing Japanese things. Talking about culture and places in Japan, especially one's hometown. Describing and comparing Japanese prefectures.

第13回 Discussing holidays

Talking about the differences of holidays between the United States and Japan. Discussing one's New Year's plans.

第14回 Talking about future English study

Discussing ways on how to improve one's English in the future and its benefits.

第15回 Review of Weeks 7-13

A complete review of the topics covered in weeks 7-13 of the course.

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 3						
英文名 :	Oral Skills (English) 3						
担当者 :	ジョン ドウデジアン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■ 学習・教育目標及び到達目標

This course aims to develop English communication skills for learners studying science and technology. It will cover the fundamental language and skills necessary to communicate basic information in scientific and technological settings.

Students are expected to:

- > cooperate
- > concentrate
- > make a strong effort
- > be on time
- > bring all necessary classroom materials including a Japanese-English dictionary
- > bring and maintain a notebook
- > record and look up any unknown vocabulary items
- > return all homework assignments on time
- > be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:

- > acquired basic expressions and related vocabulary useful for science and technology
- > acquired basic grammar necessary for science and technology
- > acquired basic listening and speaking skills necessary for communicating scientific and technological information

■ 成績評価方法および基準

Coursework 35%

Participation 25%

Tests/Quizzes/Presentations 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■ 教科書

Technical English 1 Course Book

Pearson Longman

David Bonamy

ISBN 978-1-4058-4545-8

■ 参考文献

none

■ 関連科目

Oral Skills (English) 4

■ 授業評価アンケート実施方法

The university course survey is the main method for students to evaluate the course and written comments are

highly valued. Students are also encouraged to express their opinions about course content and methodology.

■ **研究室・メールアドレス**

john4649@waka.kindai.ac.jp

■ **オフィスアワー**

By appointment

■ **授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間**

*Subject to change in order to satisfy course objectives

Week 1

Course guidelines and syllabus
Conversation review and practice

Week2

Meeting and greeting people
Following instructions

Week 3

Exchanging information
Completing forms

Week 4

Using numerical information
Identifying parts

Week 5

Using checklists
Using an instruction manual

Week 6

Using voicemail
Ordering by phone

Week 7

Describing tools
Describing components

Week 8

Saying what things do
Describing a product

Week 9

Describing direction
Using an instruction manual

Week 10

Giving and following instructions
Explaining results

Week 11

Explaining movement
Using a flowchart

Week 12

Explaining electrical circuits
Describing every day routines

Week 13

Giving a demonstration

Explaining what you are doing

Week 14

Describing properties of materials

Making a phone call

Week 15

Receiving a phone call

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.

予習時間 : 30分

復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.

復習時間 : 30分

■ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 3				
英文名 :	Oral Skills (English) 3				
担当者 :	ファミユラロ ラルフ マイケル				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

Students will be required to participate in pair work, small group and individual activities. These activities will include pronunciation, speaking, listening and writing skills.

■ 学習・教育目標及び到達目標

To become familiar with vocabulary and necessary expressions for basic communication skills.

■ 成績評価方法および基準

Oral Presentations 40%

In-class activities 40%

Written Notes 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します

■ 教科書

Basic Communication for the Sciences ISBN 9784764740280

鈴木 栄

金星堂

2017

■ 参考文献

English-Japanese Dictionary is necessary.

■ 関連科目

オーラルスキル（英語） 1, 2, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

In-class questionnaires

■ 研究室・メールアドレス

bunbogu1@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

On campus Mondays 10:40-4:10, Fridays 9:00-4:10

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Pronunciation practice: Speaking and Listening

Course Introduction and Orientation

Basic questions and answers to elicit personal information

予習内容 : Pronunciation, Introduction and Orientation

予習時間 : 30分

復習内容 : Basic question practice and personal information

復習時間 : 60分

Practice of the sound system of (American) English

Course introduction and Orientation: How to do the lesson. How to pass the course.

Basic questions and answers about personal information.

第2回 Numbers and Data in English

Academic fields of study

予習内容 : Number-based information

予習時間 : 60分

復習内容 : School subjects and study

復習時間 : 30分

Practice asking and giving number-based information in English including temperature, contact info, prices and currencies.

Vocabulary and simple explanations of school subjects and majors of study

第3回 I am an Engineering Student

予習内容 : Self-introduction practice

予習時間 : 30分

復習内容 : Likes, dislikes and hobbies

復習時間 : 60分

Self-introduction practice

Explaining likes and dislikes

Hobbies questions and answers

第4回 Terrible! I Forgot My Math Homework

予習内容 : Pronunciation practice & small talk

予習時間 : 45分

復習内容 : Discussing feelings & emotions, responding

復習時間 : 45分

Pronunciation practice, sounds of American English including listening for minimal pairs

Small talk

Discussing emotions and feelings, basic adjectives

Responding to people's comments

第5回 Science information Info Exchange: Stars

Occupations and part-time jobs

予習内容 : Star topic speaking practice

予習時間 : 30分

復習内容 : Occupations Topic

復習時間 : 60分

Questions and answers to get statistical information for stars

Vocabulary practice related to occupations

Questions and answers to find out job content

第6回 I Love Math

予習内容 : School study & future jobs

予習時間 : 45分

復習内容 : Like & dislike + reasons why

復習時間 : 45分

Relation between school study and future jobs

Matching interests and personality with future jobs

More like / dislike practice with reasons why

第7回 How & Why

予習内容 : How is glass made?

予習時間 : 30分

復習内容 : How & Why Question practice

復習時間 : 60分

Since Topic: How is Glass Made?

Practicing How questions

review of, "Why" questions and answers

第8回 I am Very Good at Science

予習内容 : Can and Can't ability practice

予習時間 : 30分

復習内容 : expressing abilities through dialogue and questions / answers. Use of both, only one and neither

復習時間 : 60分

Ability: Can & Can't

Being good at certain subjects, sports, cooking, etc.

Use of both, only one and neither

**第9回 Pair presentation preparation (abilities)
expanded use of adjectives to describe things and conditions**

予習内容 : Pair presentation (Abilities)

予習時間 : 60分

復習内容 : Adjective combination practice

復習時間 : 30分

Pair presentation on abilities including the use of, "how to something."

Adjective combinations to describe items based on size, length, function, temperature, etc.

第10回 How was the Biology Test?

予習内容 : Pronunciation and Listening practice

予習時間 : 30分

復習内容 : Past tense, "be" and "did" verb practice

復習時間 : 60分

Pronunciation & Listening practice (American) sound system

The use of the past, "was / were" verbs

The use of past tense, "did" questions

第11回 How do Rainbows form?

予習内容 : Rainbow topic

予習時間 : 45分

復習内容 : Future Tense practices for facts and plans

復習時間 : 45分

Science Topic: How do rainbows form?

Introduction to future tense including uses for future, assumed facts and future plans

第12回 I am Going to Take Geometry Next Year

予習内容 : Future goals

予習時間 : 30分

復習内容 : Probability & Predictions

復習時間 : 60分

Using the future tense to describe future goals

Probability: Introduction to expressing probability and critically analyzing present conditions to make a prediction about the future.

第13回 Prepositions of Place

予習内容 : Pronunciation and listening including minimal pairs

予習時間 : 30分

復習内容 : Prepositions of place & map work

復習時間 : 60分

Pronunciation & listening of (American) sound system

Prepositions of place inside and outside the house

Map pair work for giving directions

第14回 I Want to be a Systems Engineer

予習内容 : History of Fireworks

予習時間 : 45分

復習内容 : Expressing desires and future possibilities to achieve a desire

復習時間 : 45分

Science Topic: The History of Fireworks

Personal desires: I want to ~ / I would like to ~

第15回 Note Review Check

予習内容 : Note Check

予習時間 : 60分

復習内容 : Summer plans

復習時間 : 30分

Note Review Check

Summer plans: Discussing ideas for summer travel, work and leisure

In-class activities are graded

In-class activities are graded

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル (英語) 3				
英文名 :	Oral Skills (English) 3				
担当者 :	ユーリ ヤング				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

This is a first semester high intermediate general English course for non-English majors. This course will focus on developing vocabulary, along with the four skills of reading, listening, speaking, and writing under a communication context. Topics will be taken mostly from the textbook, but will include occasional conversation and cultural handouts in class.

■ 学習・教育目標及び到達目標

Gain more knowledge in global cultures while learning English. Learn new vocabulary, language structures, phrases, and expressions. Move beyond short simple sentences to more complex sentences. Improve in pronunciation, intonation, and stress. Begin to use English more fluently and confidently. Understand some basic differences between formal and informal language. Interact with other students in English more comfortably.

■ 成績評価方法および基準

Two tests (テスト) 40%

Homework, classroom activities, and presentations (宿題、授業の発表、会話練習) 40%

Attendance, attitude, and participation (出席、態度) 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

We will review and do exercises together in class.

■ 教科書

[ISBN]9781305650992 , World Link Student Book 2 Developing English Fluency 3rd ed., by Susan Stempleski, Nancy Douglas, James R. Morgan, Publisher: Cengage 2016

■ 参考文献

You are expected to take notes in a course notebook and to bring your textbook to every class.

■ 関連科目

Oral Skills (English) 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) yulieyang80@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course and Self introduction

予習内容 : Attend class

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Introduce the course and self introduction

第2回 My life

予習内容 : Buy the textbook and bring it to every class. Lesson preview 20 min

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 1 My life Lesson B: Lessons learned

第3回 Let's eat

予習内容 : Lesson preview 20 min: the simple present tense vs. the continuous present tense

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 1 Let's eat Lesson A: Foods we like

第4回 Let's eat

予習内容 : Lesson preview 20 min: the comparative form of adjectives

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 2 Let's eat Lesson B: Eating well

第5回 Mysteries

予習内容 : Lesson preview 20 min: the superlative form of adjectives

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 3 Mysteries Lesson A: You're in luck

第6回 Mysteries

予習内容 : Lesson preview 20 min: stative verbs

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 3 Mysteries Lesson B: Unsolved mysteries

第7回 Test #1 units 1-3

予習内容 : Lesson preview 20 min: modals of present possibility

復習内容 : Study for the test and homework 1 hour

Review and take test #1 units 1-3

第8回 Trends

予習内容 : Lesson preview 20 min: Quantity expressions

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 4 Trends Lesson A: Lifestyle trends

第9回 Trends

予習内容 : Lesson preview 20 min: Requests with modal verbs

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 4 Trends Lesson B: Fashion trends

第10回 Out and about

予習内容 : Lesson preview 20 min: Modifiers really/pretty/quite/kind of/very

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 5 Out and about Lesson A: Running Errands

第11回 Out and about

予習内容 : Lesson preview 20 min: predictions with be going and will

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 5 Out and about Lesson B: My neighborhood

第12回 Goals

予習内容 : Lesson preview 20 min: plans and decisions with be going to and will

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 6 Goals Lesson A: Starting Out

第13回 Goals

予習内容 : Lesson preview 20 min: giving advice with could, should

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 6 Goals Lesson B: After graduation

第14回 Review

予習内容 : Lesson preview 20 min: giving strong advice with ought to, had better

復習内容 : Study for test #2 and do the homework 1 hour

Review units 3-6, conversation exercises

第15回 Test #2 units 3-6

予習内容 : Lesson preview 20 min

復習内容 : None

Conversation exercises, take test #2 units 3-6

■ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 3				
英文名 :	Oral Skills (English) 3				
担当者 :	エリック ジョンソン				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

This course prioritizes interaction with classmates to show science knowledge and overcome foreign language unfamiliarity. Although most work happens in small teams, the formal speech delivery component should challenge individual abilities.

■ 学習・教育目標及び到達目標

This course gives students experience speaking about essential scientific concepts. It should build on the generalized conversational structures presented in Oral Skills 1 and 2.

■ 成績評価方法および基準

Discussion activities 30%

Written work 40%

Formal speech presentations 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Written feedback on major assignments. Instructor can meet after class or lunchtime.

■ 教科書

Oxford Content and Language Support: Science by Saema Kauser, Sarah O' Donoghue. ISBN 9780199135301

■ 参考文献

None

■ 関連科目

Oral Skills (English) 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） ・ ejkindai@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Study skills; classification and characteristics of living things

予習内容 : Examples of mind map, flow chart, tables, prefixes, roots, and suffixes

予習時間 : 90分

復習内容 : Five kingdoms of organisms; vertebrate, invertebrate, and arthropods

復習時間 : 60分

Explain binomial classification, genus, and species

第2回 Cells

予習内容 : Perfect tenses used to show actions continuing. Animal vs. plant cells.

予習時間 : 120分

復習内容 : Chlorophyll's ability to perform photosynthesis. Haemoglobin and oxygen.

復習時間 : 60分

Describe organs, light microscope parts, cell features and specialisation

第3回 Human Nutrition

予習内容 : Digestion (mechanical, chemical), enzymes, acidic or alkaline pH values

予習時間 : 100分

復習内容 : Catabolic and anabolic reactions; 37 C and 50 C; lipase reaction products

復習時間 : 80分

Describe a balanced diet, main food groups, and four common food tests.

第4回 Plant Nutrition and Transport

予習内容 : Plant usage of water and minerals; transpiration rate; xerophyte adaptation

予習時間 : 110分

復習内容 : Passive tenses for writing about science experiment methods

復習時間 : 70分

List reactants, products, and three affecting factors for photosynthesis

第5回 Transport in humans; Breathing and respiration

予習内容 : Blood vessels and heart, deoxygenated to oxygenated (double circ. system)

予習時間 : 120分

復習内容 : Heart muscle contraction and tone. Five top risk factors for heart disease.

復習時間 : 60分

Name three important rules and two components making up blood.

第6回 Nerves, hormones, and homeostasis

予習内容 : Hormones, homeostasis, voluntary and reflex responses, and synapses.

予習時間 : 130分

復習内容 : How eyes focus, five hormone examples, thermoregulation, and excretion

復習時間 : 50分

Categorize sense organ stimuli; contrast central and peripheral systems

第7回 Reproduction in plants; inheritance and variation

予習内容 : Asexual reproduction, pollination, germination, and seed dispersal.

予習時間 : 140分

復習内容 : Plant health and survival in Japan's national flowers and trees.

復習時間 : 40分

Examine the importance of tubers. Differentiate wind vs. insect pollination.

第8回 Ecosystems and the environment

予習内容 : Carnivores, herbivores, trophic level, population size factors.

予習時間 : 120分

復習内容 : Predation, CFCs, carbon monoxide and dioxide, deforestation, herbicides.

復習時間 : 60分

Using graphic organizers: food chain, food web, #/biomass/energy pyramids

第9回 Nutrient cycles; the nature of matter

予習内容 : Three types of bacteria in the nitrogen cycle; 3 states of matter; diffusion

予習時間 : 110分

復習内容 : Sublimation, deposition, liquefaction, solidification, condensation, evaporation

復習時間 : 70分

Describe the movement of carbon, nitrogen and water around the Earth. Compare and contrast solid, liquid, and gas states.

第10回 Atoms, elements, and compounds

予習内容 : Isotope, electron configuration, compound, mixture, distillation.

予習時間 : 120分

復習内容 : Chemical symbol, valency number, noble gases.

復習時間 : 60分

Analyse the parts inside an atom, their charges and relative masses.

第11回 Experimental techniques

予習内容 : Pure substance vs. component; separation and purification techniques.

予習時間 : 100分

復習内容 : Word order when using more than one adjective.

復習時間 : 80分

Match an apparatus to different types of measurement.

第12回 The Periodic Table

予習内容 : Properties of alkali metals, transition metals, and noble gases.

予習時間 : 120分

復習内容 : How halogens react; displacement reaction; conductors; use of gases.

復習時間 : 60分

Study the method used to organize elements

第13回 Bonding

予習内容 : ionic compound, lattice structure, covalent bonds

予習時間 : 100分

復習内容 : Countable vs. uncountable nouns

復習時間 : 80分

Depict ionic structure of a crystal, a diamond, and graphite.

第14回 Metals properties, extraction, and uses

予習内容 : Names and uses of metals

予習時間 : 120分

復習内容 : Quantity phrases: a lot of, too much, and too many

復習時間 : 60分

Describe differences between metals and non-metals

第15回 Speech about the properties and practical uses of one periodic element

予習内容 : Refer to diamond model for a piece of writing.

予習時間 : 160分

復習内容 : Review week 12 lesson "The Periodic Table"

復習時間 : 20分

Show understanding about one of the core course topics.

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 3				
英文名 :	Oral Skills (English) 3				
担当者 :	トレント スプリグス				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

「オーラルスキル1・2」で身に付けた英語のオーラルスキルを基盤として、将来の英語使用場面（学会発表等）を見据えた形での、実的な英語発話訓練を行う。具体的には、プレゼンテーション、質疑応答等が出来るように、基本語彙・表現を身に付け、使えるようにする。「オーラルスキル1・2」で身に付けた英語のオーラルスキルを基盤として、将来の英語使用場面（学会発表等）を見据えた形での、実的な英語発話訓練を行う。具体的には、プレゼンテーション、質疑応答等が出来るように、基本語彙・表現を身に付け、使えるようにする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「オーラルスキル4」とともに、学術場面（学会発表）等で使用する語彙・構文について、発話出来るレベルで習得する。プレゼンテーション・質疑応答の際に必要な、談話（段落レベルの発話）を組み立てる力を習得する。

■ 成績評価方法および基準

Speaking project 30%
Group project 30%
Presentation 30%
Participation 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Speak during class.

■ 教科書

Activate, Oxford University Press, by Chandler-Grevatt

■ 参考文献

None.

■ 関連科目

Oral Skills (English) 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） ・ trentspriggs@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation

予習内容 : Not applicable.

復習内容 : None.

復習時間 : 10分

Students will receive an overview of the course, and be oriented for oral skills.

第2回 Cells

予習内容 : Cells, 1.2 Plant and Animal Cells

予習時間 : 15分

復習内容 : Cells, 1.2 Plant and Animal Cells

復習時間：15分

Plant and animal cells will be studied.

第3回 Cells (Continued)

予習内容：Cells

予習時間：15分

復習内容：Cells, 1.2 Plant and Animal Cells

復習時間：15分

Plant and animal cells will be studied.

第4回 Chapter Project 1

予習内容：Cells, 1.2 Plant and Animal Cells, Summary

予習時間：10分

復習内容：Cells, 1.2 Plant and Animal Cells, Summary

復習時間：10分

Students will complete the chapter project.

第5回 Oral Project 1

予習内容：Q & A.

予習時間：15分

復習内容：Q & A

復習時間：15分

Students will complete a speaking project.

第6回 The Skeleton

予習内容：Skeleton, 2.4

予習時間：15分

復習内容：Skeleton, 2.4

復習時間：15分

The skeleton will be studied.

第7回 The Skeleton (Continued)

予習内容：Skeleton, 2.4

予習時間：15分

復習内容：Skeleton, 2.4

復習時間：15分

The skeleton will be studied.

第8回 Chapter Project 2

予習内容：Skeleton, 2.4 Summary

予習時間：10分

復習内容：Skeleton, 2.4 Summary

Students will complete the chapter project.

第9回 Oral Project 2

予習内容：Conversation practice.

予習時間：15分

復習内容：Conversation practice.

復習時間：15分

Students will complete a speaking project.

第10回 Survey Project Overview and Part 1

予習内容：Survey Project Overview and Part 1

予習時間：15分

復習内容：Survey Project Overview and Part 1

復習時間：15分

Students will take a survey.

第11回 Survey Project (Part 2)

予習内容：Survey Project (Part 2)

予習時間：15分

復習内容：Survey Project (Part 2)

復習時間：15分

The class will take a survey.

第12回 Survey Project (Part 3)

予習内容 : Survey Project (Part 3)

予習時間 : 15分

復習内容 : Survey Project (Part 3)

Students will write surveys.

第13回 Survey Project (Part 3 Continued)

予習内容 : Students will analyze surveys.

予習時間 : 15分

復習内容 : Students will analyze surveys.

復習時間 : 60分

Students will analyze surveys.

第14回 Presentations

予習内容 : Practice

予習時間 : 15分

復習内容 : Reflect

復習時間 : 15分

Students will give presentations.

第15回 Review

予習内容 : None

復習内容 : Think in English. A lifetime.

The course will be fully reviewed. The students will be canvassed for feedback.

■ **ホームページ**

科目名 :	オーラルスキル（英語） 3 〈再履修〉						
英文名 :	Oral Skills (English) 3						
担当者 :	ジョン ドウデジアン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■ 学習・教育目標及び到達目標

This course aims to foster basic English proficiency through which students can communicate in English. Students will learn English conversation skills necessary for various situations in daily life.

Students are expected to:

- > cooperate
- > concentrate
- > make a strong effort
- > be on time
- > bring all necessary classroom materials
- > bring and maintain a notebook
- > record and look up any unknown vocabulary items
- > return all homework assignments on time
- > be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:

- > acquired basic expressions and related vocabulary useful for daily life
- > acquired basic grammar necessary for daily conversation
- > acquired basic listening and speaking skills necessary for daily communication
- > learned how to facilitate the natural flow of conversation

■ 成績評価方法および基準

Coursework 40%
Participation 25%
Tests/Quizzes 35%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■ 教科書

Let's Talk About It
Craig Drayton/Mark Gibbon
Pearson Longman
[ISBN]9789620189517

■ 参考文献

none

■ 関連科目

Oral Skills (English) 3
Oral Skills (English) 4
Oral Skills (English) 4 (再履修)

■ 授業評価アンケート実施方法

The university course survey is the main method for students to evaluate the course and written comments are highly valued. Students are also encouraged to express their opinions about course content and methodology.

■ 研究室・メールアドレス

john4649@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

By appointment

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

*Subject to change in order to satisfy course objectives

1. Course rules and objectives introductory activities

Explanation of rules and objectives/Diagnostic listening and speaking tasks

2. Levels of formality

Identifying the differences between formal, neutral and casual discourse

3. Personal relationships

Formulating yes/no and WH topic opening questions/Discussing personal information

4. Personal relationships

Expanding answers to questions by adding relevant information/Creating additional topic opening questions/Discussing personal information

5. Likes and dislikes

Clarifying and confirming information/Making topic opening questions/Discussing likes and dislikes

6. Likes and dislikes

Interviewing classmates to find out about preferences/Expanding discussions by using follow-up questions/Forming additional topic opening questions/ Discussing likes and dislikes

7. Friends and family

Practicing follow-up questions/Using family vocabulary/Generating topic opening questions/Discussing friends and family

8. Friends and family

Using follow-up questions/Designing additional topic opening questions/ Discussing friends and family

9. School life

Using mind maps to prepare for a discussion/Using discourse markers to pass the speaking turn or change the topic/Producing topic opening questions/Discussing school life

10. School life

Matching answers to questions and writing expanded answers/Practicing changing the topic and passing the conversation/Composing additional topic opening questions/Discussing school life

11. Holidays

Reviewing Japanese holidays and their origins. Generating topic opening questions. Discussing holidays in Japan.

12. Holidays

Comparing and contrasting Japanese and western holidays. Designing additional topic opening questions. Discussing holidays in Japan.

13. Semester review

Review of relevant topics covered during weeks 1-12 with a focus on discussion techniques

14. Written examination

Notebook review/Final review on areas of weakness

15. Spoken examination

Evaluation of students ability to apply concepts taught throughout the semester

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.

予習時間 : 30分

復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.

復習時間 : 30分

■ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 4						
英文名 :	Oral Skills (English) 4						
担当者 :	ジョン ドウデジアン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■ 学習・教育目標及び到達目標

This course aims to develop English communication skills for learners studying science and technology. It will cover the fundamental language and skills necessary to communicate basic information in scientific and technological settings.

Students are expected to:

- > cooperate
- > concentrate
- > make a strong effort
- > be on time
- > bring all necessary classroom materials
- > bring and maintain a notebook
- > record and look up any unknown vocabulary items
- > return all homework assignments on time
- > be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:

- > acquired basic expressions and vocabulary useful for science and technology
- > acquired basic grammar necessary for science and technology
- > acquired basic listening and speaking skills necessary for communicating scientific and technological information

■ 成績評価方法および基準

Coursework 35%

Participation 25%

Tests/Quizzes/Presentations 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■ 教科書

Technical English 1 Course Book

Pearson Longman

David Bonamy

ISBN 978-1-4058-4545-8

■ 参考文献

none

■ 関連科目

Oral Skills (English) 3

■ 授業評価アンケート実施方法

The university course survey is the main method for students to evaluate the course and written comments are

highly valued. Students are also encouraged to express their opinions about course content and methodology.

■研究室・メールアドレス

john4649@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

By appointment

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

*Subject to change in order to satisfy course objectives

Week 1

Review

Using a specifications chart

Week 2

Buying materials

Using a materials checklist

Week 3

Describing future plans

Using charts

Week 4

Checking on progress

Reporting damage

Week 5

Discussing past events

Explaining how things work

Week 6

Explaining what things do

Listening to automated messages

Week 7

Problems and solutions

Using a troubleshooting guide

Week 8

Giving and following warnings

Using safety signs

Week 9

Reporting an accident

Invitations

Week 10

Expressing permission

Expressing prevention

Week 11

Switches and relays

Explaining how a relay works

Week 12

Explaining how a turbine works

Making suggestions

Week 13

Expressing approximation

Checking data

Week 14

Following spoken instructions

Confirming actions

Week 15

Describing maintenance

Checking progress with charts

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.

予習時間 : 30分

復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.

復習時間 : 30分

■ホームページ

科目名 :	オーラルスキル (英語) 4						
英文名 :	Oral Skills (English) 4						
担当者 :	ファミユラロ ラルフ マイケル						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

Students will be required to participate in pair work, small group and individual activities. These activities will include pronunciation, speaking, listening and writing skills.

■ 学習・教育目標及び到達目標

To become familiar with vocabulary and necessary expressions for basic communication skills.

■ 成績評価方法および基準

Oral Presentations 40%

In-Class Activities 40%

Written Notes 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案 (写し) を返却します

■ 教科書

Basic Communication for the Sciences ISBN 9784764740280

鈴木 栄

金星堂

2017

■ 参考文献

English-Japanese Dictionary is necessary.

■ 関連科目

オーラルスキル (英語) 1, 2, 3

■ 授業評価アンケート実施方法

In-class questionnaire

■ 研究室・メールアドレス

bunbogu1@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

On campus Mondays 10:40-4:10, Fridays 9:00-4:10

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容及び時間

第1回 How was your summer?

予習内容 : Pronunciation and Listening

予習時間 : 20分

復習内容 : Regular & Irregular Past tense forms, Summer Vacation walk-around activity.

復習時間 : 70分

Pronunciation and Listening for the (American) English sound system

Regular & Irregular Past tense forms

Summer Vacation walk-around activity. Questions and answer practice including WH follow-up questions

第2回 Wind Turbines are Popular in Europe

予習内容 : Weather words and expressions

予習時間 : 45分

復習内容 : Responding to People's comments to show understanding, sympathy, etc.

復習時間 : 45分

Weather words and expressions

Converting centigrade to fahrenheit and vice-versa

Responding to People's comments to show understanding, sympathy, etc.

第3回 Forces of Nature

予習内容 : Tsunami Information

予習時間 : 45分

復習内容 : Presentation preparation for Force of Nature

復習時間 : 45分

Tsunami Information (reading & answering questions)

Presentation preparation for Force of Nature

第4回 I was Late Because of the Typhoon

予習内容 : Presentation of Forces of Nature

予習時間 : 60分

復習内容 : Reasons and excuses for lateness, cancellations and change of plans

復習時間 : 30分

Presentation of Forces of Nature in small groups. Students will judge each report for clarity and understanding.

Reasons and excuses for lateness, cancellations and change of plans

第5回 Requests

予習内容 : Pronunciation and Listening

予習時間 : 20分

復習内容 : Making requests and how to accept and decline politely

復習時間 : 70分

Pronunciation and Listening for the (American) sound system

Making requests and how to accept and decline politely including board game

第6回 Could you hand me a beaker?

予習内容 : Equipment & Tools

予習時間 : 45分

復習内容 : Making requests and asking for permission

復習時間 : 45分

What is it Used for? Equipment & Tools

Making requests and asking for permission. How to give and refuse permission politely

第7回 Famous Inventions

予習内容 : Using the comparative

予習時間 : 45分

復習内容 : Famous Invention presentation preparation

復習時間 : 45分

Using the comparative to explain modern conveniences and compare them to older ways of doing things

Famous Invention presentation preparation

第8回 I Often Play Computer Games

予習内容 : Famous Inventions presentations

予習時間 : 60分

復習内容 : Review of adverbs of frequency

復習時間 : 30分

Famous Inventions presentations in small groups. Students will judge each report for clarity and understanding.

Review of adverbs of frequency with WH follow-up questions

第9回 The Solar System

予習内容 : Informational reading and fill-in exercise on the planets

予習時間 : 45分

復習内容 : Using comparative and superlative adjectives

復習時間 : 45分

Informational reading and fill-in exercise on the planets of solar system and the major dwarf planets in the asteroid belt.

Using comparative and superlative adjectives in relation to the solar system topic

第10回 What Do you Think About the New Wi-Fi?

予習内容 : Pronunciation and Listening

予習時間 : 20分

復習内容 : Communication technology

Agreeing, disagreeing politely and giving opinions

復習時間 : 70分

Pronunciation and Listening for the (American) sound system

Communication technology

Agreeing, disagreeing politely and giving opinions

第11回 The Story of Orion

予習内容 : The Story of Orion

予習時間 : 45分

復習内容 : Giving instructions with connecting words

復習時間 : 45分

Reading and answering questions about the Orion constellation as it relates to mythology

Introduction to giving instructions with connecting words such as, "Next, Then, After That."

第12回 How Do I Use This Machine?

予習内容 : Positions and Directions

予習時間 : 45分

復習内容 : Explaining procedures via instructions preparation

復習時間 : 45分

Positions and Directions. Describing drawings to other students

Explaining procedures via instructions preparation

第13回 It's Next to the 3D Printer

予習内容 : Instructing other students in small groups

予習時間 : 60分

復習内容 : Prepositions of location

復習時間 : 30分

Instructing other students in small groups on how to do something with connecting words.

Using prepositions of location inside rooms or small spaces

第14回 What is an Atom?

予習内容 : Pronunciation and Listening

予習時間 : 20分

復習内容 : Atoms: Reading and question-making,

Note Review check information

復習時間 : 70分

Pronunciation and Listening for the (American) sound system

Reading and question-making on an information hand-out about Atoms

Note Review check information

第15回 Note review Check

予習内容 : Note review Check

予習時間 : 60分

復習内容 : Spoken and written practice

復習時間 : 30分

Note review Check

Spoken and written practice to review the main learning points of the 2nd term.

In-class activities are graded

In-class activities are graded

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 4						
英文名 :	Oral Skills (English) 4						
担当者 :	ユーリ ヤング						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

This is a second semester high intermediate general English course for non-English majors. This course will focus on developing vocabulary, along with the four skills of reading, listening, speaking, and writing under a communication context. Topics will be taken mostly from the textbook, but will include occasional conversation and cultural handouts in class.

■ 学習・教育目標及び到達目標

Gain more knowledge in global cultures while learning English. Learn new vocabulary, language structures, phrases, and expressions. Move beyond short simple sentences to more complex sentences. Improve in pronunciation, intonation, and stress. Begin to use English more fluently and confidently. Understand some basic differences between formal and informal language. Interact with other students in English more comfortably.

■ 成績評価方法および基準

Two tests (テスト) 40%

Homework, classroom activities, and presentations (宿題、授業の発表、会話練習) 40%

Attendance, attitude, and participation (出席、態度) 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

We will review and do exercises together in class.

■ 教科書

[ISBN]9781305650992 , World Link Student Book 2 Developing English Fluency 3rd ed., by Susan Stempleski, Nancy Douglas, James R. Morgan, Publisher: Cengage 2016

■ 参考文献

You are expected to take notes in a course notebook and to bring your textbook to every class.

■ 関連科目

Oral Skills (English) 3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) yulieyang80@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Summer vacation & Review

予習内容 : Attend class

復習内容 : Buy the textbook and bring it to every class. Lesson review and homework 20 min

Talk about summer vacation and review

第2回 Celebrations

予習内容 : Lesson preview 20 min: agreeing with other people's statements: so, too, neither, either

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 7 Celebrations Lesson B: Festivals & Holidays

第3回 Storytelling

予習内容 : Lesson preview 20 min: time clauses with before, after, when

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 8 Storytelling Lesson A: What's the story about?

第4回 Storytelling

予習内容 : Lesson preview 20 min: the past continuous

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 8 Storytelling Lesson B: Modern fairy tales

第5回 Work

予習内容 : Lesson preview 20 min: adverbs of matter

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 9 Work Lesson A: Workplace

第6回 Work

予習内容 : Lesson preview 20 min: the present perfect tense

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 9 Work Lesson B: Dream jobs

第7回 Test #1 units 1-3

予習内容 : Lesson preview 20 min: verb + infinitive

復習内容 : Study for test #1 and do the homework 1 hour

Review and take test #1 units 1-3

第8回 Telephoning

予習内容 : Lesson preview 20 min: making a request

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 10 Telephoning Lesson A: Making phone calls

第9回 Telephoning

予習内容 : Lesson preview 20 min: asking for permission

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 10 Telephoning Lesson B: Staying connected

第10回 Technology

予習内容 : Lesson preview 20 min: verb + gerund

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 11 Technology Lesson A: Then and now

第11回 Technology

予習内容 : Lesson preview 20 min: comparisons with as

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 11 Technology Lesson B: Making life better

第12回 Travel

予習内容 : Lesson preview 20 min: modal verbs of necessity

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 12 Travel Lesson A: Before you go

第13回 Travel

予習内容 : Lesson preview 20 min: used to/ since/ from

復習内容 : Lesson review and homework 20 min

Unit 12 Travel Lesson B: Adventures in travelling

第14回 Review

予習内容 : Lesson preview 20 min

復習内容 : Study for test #2 and do the homework 1 hour

Review units 3-6, conversation exercises

第15回 Test #2 units 3-6

予習内容 : Lesson preview 20 min

復習内容 : None

Conversation exercises, take test #2 units 3-6

■ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 4						
英文名 :	Oral Skills (English) 4						
担当者 :	エリック ジョンソン						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

This course prioritizes interaction with classmates to show science knowledge and overcome foreign language unfamiliarity. Although most work happens in small teams, the formal speech delivery component should challenge individual abilities.

■ 学習・教育目標及び到達目標

This course gives students experience speaking about essential scientific concepts. It should build on the generalized conversational structures presented in Oral Skills 1 and 2.

■ 成績評価方法および基準

Discussion activities 30%
Written work 40%
Formal speech presentations 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Written feedback on major assignments. Instructor can meet after class or lunchtime.

■ 教科書

Oxford Content and Language Support: Science by Saema Kauser, Sarah O' Donoghue. ISBN 9780199135301

■ 参考文献

None

■ 関連科目

Oral Skills (English) 3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） ・ ejkindai@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Chemical reactions

予習内容 : Exothermic vs. endothermic reaction. Calculation of change in energy.

予習時間 : 120分

復習内容 : Le Chatelier's principle, redox reactions

復習時間 : 60分

Describe bonds being made and broken, temp. changes, and products forming

第2回 Rates of reaction

予習内容 : Effects of concentration, temperature, surface area, and pressure

予習時間 : 120分

復習内容 : Catalysts, kinetic energy

復習時間 : 60分

Measure reaction time based on the collision rate of particles

第3回 Organic chemistry

予習内容 : Alkanes/alkenes, cracking, addition/condensation polymerisation

予習時間 : 130分

復習内容 : Unsaturated fats, fractional distillation

復習時間 : 50分

Describe chains of carbon atoms forming hydrocarbons and other structures

第4回 Forces

予習内容 : Friction, air resistance, difference between an objects weight and mass

予習時間 : 110分

復習内容 : Use of Hooke's Law; the moment of force

復習時間 : 70分

Show how greater resultant force accelerates an object, depending on mass

第5回 Energy

予習内容 : Energy efficiency, power measured in watts, conduction, convection, radiation

予習時間 : 120分

復習内容 : Three main ways in which heat is transferred

復習時間 : 60分

Analyze nine forms of energy

第6回 Waves

予習内容 : Angles of incidence and reflection; transverse and longitudinal waves

予習時間 : 120分

復習内容 : Refractive index, focal length

復習時間 : 60分

View changes in amplitude, frequency, and wavelength. List wave features.

第7回 The electromagnetic spectrum; Sound and ultrasound

予習内容 : Compression, rarefaction, echo

予習時間 : 130分

復習内容 : Ultrasound, echolocation

復習時間 : 50分

Define seven types of waves in the spectrum and their appearances or uses

第8回 Presentation of a favorite sound, musical instrument, or photograph

予習内容 : Diamond style organization format

予習時間 : 170分

復習内容 : Visual light waves or sound vocabulary from lessons #6-7

復習時間 : 10分

Creatively introduce and explain something that has a personal meaning

第9回 Radioactivity

予習内容 : Geiger counter; Alpha, Beta, and Gamma radiation; half-life

予習時間 : 120分

復習内容 : occurrences and uses of radioisotopes

復習時間 : 60分

Examine unstable nuclei with too many neutrons that emit radiation

第10回 Electric circuits

予習内容 : Circuit in parallel vs. circuit in series, thermistors, logic gates

予習時間 : 120分

復習内容 : voltage, resistance, calculation of electricity bills, electronic control systems

復習時間 : 60分

Explain measurement of electric current, charge, and electromotive force

第11回 Electricity in the home

予習内容 : ground wire (US) or Earth wire (UK); role of the fuse

予習時間 : 110分

復習内容 : double insulation

復習時間 : 70分

Categorize electricity by DC (battery) or AC (mains)

第12回 Generating electricity

予習内容 : Renewable and non-renewable energy sources

予習時間 : 130分

復習内容 : Primary coil, secondary coil, and iron core in transformers

復習時間 : 50分

Outlining steps for generator and transformer operation

第13回 Magnetism

予習内容 : Two methods for identifying the patterns of a magnetic fields

予習時間 : 120分

復習内容 : Electric motor diagram, process of induction, production of AC

復習時間 : 60分

List magnetic materials and three ways of strengthening magnetic fields

第14回 Electric Charge

予習内容 : conductors, insulators

予習時間 : 120分

復習内容 : Result of joining negatively charged objects. Why metals are good conductors.

復習時間 : 60分

Discuss practical uses of electrostatic charges

第15回 Final speech topic: best ways to use a wireless power supply system

予習内容 : Read news article "Nobel winner Amano eyes LED crystals for power tech"

予習時間 : 170分

復習内容 : Review lessons 10-12 regarding electrical power

復習時間 : 10分

Speak about future applications of a newly developed technology

■ ホームページ

科目名 :	オーラルスキル（英語） 4				
英文名 :	Oral Skills (English) 4				
担当者 :	トレント スプリグス				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

「オーラルスキル1・2」で身に付けた英語のオーラルスキルを基盤として、将来の英語使用場面（学会発表等）を見据えた形での、実的な英語発話訓練を行う。具体的には、プレゼンテーション、質疑応答等が出来るように、基本語彙・表現を身に付け、使えるようにする。「オーラルスキル1・2」で身に付けた英語のオーラルスキルを基盤として、将来の英語使用場面（学会発表等）を見据えた形での、実的な英語発話訓練を行う。具体的には、プレゼンテーション、質疑応答等が出来るように、基本語彙・表現を身に付け、使えるようにする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「オーラルスキル4」とともに、学術場面（学会発表）等で使用する語彙・構文について、発話出来るレベルで習得する。プレゼンテーション・質疑応答の際に必要な、談話（段落レベルの発話）を組み立てる力を習得する。

■ 成績評価方法および基準

Speaking project 30%
Group project 30%
Presentation 30%
Participation 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Speak during class.

■ 教科書

Activate, Oxford University Press, by Chandler-Grevatt ISBN 978-0-19-830715-0

■ 参考文献

None.

■ 関連科目

Oral Skills (English) 3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） ・ trentspriggs@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation

予習内容 : Not applicable.

復習内容 : None.

復習時間 : 10分

Students will receive an overview of the course, and be oriented for oral skills.

第2回 Nutrients 1.1

予習内容 : Nutrients 1.1

予習時間 : 15分

復習内容 : Nutrients 1.1

復習時間：15分
Nutrients will be studied.

第3回 Nutrients (Continued)

予習内容：Nutrients 1.1
予習時間：15分
復習内容：Nutrients 1.1
復習時間：15分
Nutrients will be studied.

第4回 Chapter Project 1

予習内容：Nutrients, Summary
予習時間：10分
復習内容：Nutrients, Summary
復習時間：10分
Students will complete the chapter project.

第5回 Oral Project 1

予習内容：Q & A.
予習時間：15分
復習内容：Q & A
復習時間：15分
Students will complete a speaking project.

第6回 Ecosystems 2.9

予習内容：Ecosystems, 2.9
予習時間：15分
復習内容：Ecosystems, 2.9
復習時間：15分
Ecosystems will be studied.

第7回 Ecosystems (Continued)

予習内容：Ecosystems, 2.9
予習時間：15分
復習内容：Ecosystems, 2.9
復習時間：15分
Ecosystems will be studied.

第8回 Chapter Project 2

予習内容：Ecosystems, 2.9 Summary
予習時間：10分
復習内容：Ecosystems, 2.9 Summary
Students will complete the chapter project.

第9回 Oral Project 2

予習内容：Essay practice.
予習時間：15分
復習内容：Essay practice.
復習時間：60分
Students will complete a speaking project.

第10回 Presentation Project Overview and Part 1

予習内容：Presentation Project Overview and Part 1
予習時間：15分
復習内容：Presentation Project Overview and Part 1
復習時間：15分
Students will prepare a presentation.

第11回 Presentation Project (Part 2)

予習内容：Presentation Project (Part 2)
予習時間：15分
復習内容：Presentation Project (Part 2)
復習時間：15分

The class will prepare a presentation.

第12回 Presentation Project (Part 3)

予習内容 : Presentation Project (Part 3)

予習時間 : 15分

復習内容 : Presentation Project (Part 3)

Students will write presentations.

第13回 Survey Project (Part 4)

予習内容 : Presentations.

予習時間 : 15分

復習内容 : Presentations

復習時間 : 10分

Students will give presentations.

第14回 Speaking practice

予習内容 : Q & A

予習時間 : 15分

復習内容 : Q & A

復習時間 : 15分

Students will practice speaking English for next year's job interviews.

第15回 Review

予習内容 : None

復習内容 : Think in English. A lifetime.

The course will be fully reviewed. The students will be canvassed for feedback.

■ **ホームページ**

科目名 :	オーラルスキル（英語） 4 〈再履修〉				
英文名 :	Oral Skills (English) 4				
担当者 :	ジョン ドウデジアン				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■ 学習・教育目標及び到達目標

This course aims to foster fundamental English proficiency through which students can communicate in English. Students will learn English conversation skills necessary for various situations in daily life.

Students are expected to:

- > cooperate
- > concentrate
- > make a strong effort
- > be on time
- > bring all necessary classroom materials including a Japanese-English dictionary
- > bring and maintain a notebook
- > record and look up any unknown vocabulary items
- > return all homework assignments on time
- > be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:

- > acquired basic expressions and related vocabulary useful for daily life
- > acquired basic grammar necessary for daily conversation
- > acquired basic listening and speaking skills necessary for daily communication
- > learned how to facilitate the natural flow of conversation

■ 成績評価方法および基準

Coursework 40%
Participation 25%
Tests/Quizzes 35%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■ 教科書

Let's Talk About It
Craig Drayton/Mark Gibbon
Pearson Longman
[ISBN]9789620189517

■ 参考文献

none

■ 関連科目

Oral Skills (English) 3
Oral Skills (English) 4
Oral Skills (English) 3 (再履修)

■ 授業評価アンケート実施方法

The university course survey is the main method for students to evaluate the course and written comments are highly valued. Students are also encouraged to express their opinions about course content and methodology.

■ 研究室・メールアドレス

john4649@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

By appointment

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

*Subject to change in order to satisfy course objectives

1. Spring vacation

Discussing spring vacation experiences. Interviewing classmates about past activities.

2. Japanese culture.

Discussing every day Japanese customs and life. Categorizing food by types..

3. Food

Categorizing food by tastes and textures. Composing topic opening questions. Discussing food in Japanese life.

4. Food

Describing Japanese dishes. Review of techniques for expanding answers. Creating additional topic opening questions. Discussing food in Japanese life.

5. Entertainment

Review of the use of follow-up questions. Forming topic opening questions. Discussing entertainment in Japanese life.

6. Entertainment

Interviewing classmates about entertainment preferences. Devising additional topic opening questions. Discussing entertainment in Japanese life.

7. Music

Categorizing music by genre. Identifying musical preferences and favorites. Initiating topic opening questions. Discussing music in Japan.

8. Music

Listening and identifying music by genre. Producing additional topic opening questions. Discussing music in Japan.

9. Occupations

Using working conditions and benefits to describe jobs/Devising additional topic opening questions/Discussing work and careers.

10. Occupations

Reviewing job titles/working conditions and benefits/Initiating topic opening questions/Discussing work and careers

11.Travel

Identifying popular tourist destinations in Japan. Formulating topic opening questions. Discussing travel in Japan.

12. Travel

Creating a travel itinerary for visitors to Japan. Making additional public opening questions. Discussing travel in Japan.

13. Semester review

Review of relevant topics covered during weeks one through 12 with a focus on discussion techniques.

14. Written examination. Notebook check.

15. Spoken examination. Pair and group speaking tasks.

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.

予習時間 : 30分

復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.

復習時間 : 30分

■ ホームページ

科目名 :	海外研修 (英語)				
英文名 :	Study Abroad Program (English)				
担当者 :	服部 圭子・長谷川 由美・吉川 裕介				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	通年
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この科目は、本学国際交流室所管の夏期または春期英語研修に参加し、海外における研修を修了して規定の成績を得た者に、所定の手続きを経て単位が与えられるものである。国際交流室主催の研修に加えて、学部での海外研修の事前・事後研修授業に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

なお、研修の申し込みは、各自行う必要がある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

英語圏で実際に生活することによって、日頃の学習の成果を試し、リスニング力、スピーキング力、ライティング力、リーディング力などの総合的英語力を身につけることを目標とする。また、異文化適応力をつけ、自らの意見を発信する力を養成する。さらに、海外での体験をまとめて、わかりやすく発表できるようになることを目指す。

■ 成績評価方法および基準

事前研修で課題とした記録 (30日分) 20%

ランゲージ・スペースでのプレゼンテーションのためのパワーポイント 10%

ランゲージ・スペースでのプレゼンテーションのための英文原稿 10%

ランゲージ・スペースでのプレゼンテーション 10%

海外研修先から届くスコア 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

研修後の発表およびレポートに関し、プレゼンテーションの録音や録画資料を用いて振り返りを行います。

■ 教科書

プリント資料 (研修時に配布)

■ 参考文献

初日に提示

■ 関連科目

特になし

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

服部研究室 (2号館5階) ・ khattori@waka.kindai.ac.jp

長谷川研究室 (2号館5階) ・ hasegawa@waka.kindai.ac.jp

吉川研究室 (2号館5階) ・ y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜5限 (服部) (その他の時間帯は、事前に予約してください)

水曜3限 (長谷川) (その他の時間帯は、事前に予約してください)

火曜4限 (吉川) (その他の時間帯は、事前に予約してください)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

事前学習として、本学国際交流室所管の夏期または春期英語研修に参加するに際しての心構えや準備できることについて意識を高める。また、参加者個々の参加目標/参加動機などの意見交換を行うことによって、どのようにすれば英語研修がより良いものになりうるのかを考える。具体的な準備としては、「自分」についてよりの確にアピールするための英語による自己紹介を考える。さらに、英語による日本文化の紹介について準備し、ホームステイや寮生活に必要な英語表現および非常事態や緊急事態に必要になりそうな英語表現について考える。

研修中は、現地の教員やスタッフの指示に従って、各々の研修先の授業や活動プログラムに積極的に参加する。
事後学習として、海外研修で得た経験の報告を行う。ランゲージスペースで英語による発表準備を行うために、研修時の写真などを用いた効率的な視覚資料（スライドなど）と発表原稿の作成を行う。そして、リハーサルを行って発表に対する意見交換をし、プレゼンテーションを行う。

最終的には、海外研修によって得た経験を今後の学習／生活にどのように活かせるのかについて意見交換を行い、これをまとめとする。

予習内容：海外研修前は英語での自己紹介や日本紹介のノートを作成する。研修中は、毎日の授業準備を丁寧に行う。

予習時間：500分

復習内容：研修中は授業や活動の振り返りを行うとともに、毎日の記録をつけて、学んだ英語表現や文化的経験に関して記述する。研修後は、各々、報告のためのプレゼンテーションの準備を行う。

復習時間：550分

■ホームページ

科目名 :	言語演習（英語） 1				
英文名 :	Language Seminar(English) 1				
担当者 :	竹中 義胤				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

英語の歌を聴くことでリスニングの力を向上させて行きます。同時に歌詞を和訳しながら文法のポイントも学び、歌や歌手に関連した読み物を読むことで自然な英文を読む力もつけていきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

リスニング及び文法のポイントの学習、読解力の向上、発音の改善

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%

レポート・小テスト等 20%

期末試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791933877 『ヒットソングで学ぶ総合英語—English with Pop Hits』（角山 照彦, 成美堂 : 2014）

■ 参考文献

■ 関連科目

言語演習（英語） 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月、水、木の昼休憩または月曜日の5限の授業終了後、講師控室（2号館2階）に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 UNIT 1 • Complicated (The Matrix Mix)

Avril Lavigne 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point : 音の同化①

Grammar : 接続詞と前置詞の区別

第2回 UNIT 1 • Complicated (The Matrix Mix)

Avril Lavigne 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第3回 UNIT 2 • S.O.S.

ABBA 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point：音の連結①

Grammar：仮定法

第4回 UNIT 2 • S.O.S.

ABBA 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第5回 UNIT 3 • You Are Not Alone (Radio Edit)

Michael Jackson 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point：音の脱落①

Grammar：品詞

第6回 UNIT 3 • You Are Not Alone (Radio Edit)

Michael Jackson 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第7回 UNIT 4 • Don't Wanna Lose You

Gloria Estefan 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point：音の同化②

Grammar：不定詞

第8回 UNIT 4 • Don't Wanna Lose You

Gloria Estefan 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第9回 UNIT 5 • How Crazy Are You?

Meja 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point : 音の脱落②

Grammar : 分詞

第10回 UNIT 5 • How Crazy Are You?

Meja 後半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容の見直し

復習時間 : 30分

リスニング練習

読解練習

第11回 UNIT 6 • Sunday Morning

Maroon 5 前半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容の見直し

復習時間 : 30分

Listening Point : ing の発音

Grammar : 形容詞・副詞

第12回 UNIT 6 • Sunday Morning

Maroon 5 後半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容の見直し

復習時間 : 30分

リスニング練習

読解練習

第13回 UNIT 7 • I Want It That Way

Backstreet Boys 前半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容の見直し

復習時間 : 30分

Listening Point : アメリカ英語の特徴①

Grammar : 知覚・使役動詞

第14回 UNIT 7 • I Want It That Way

Backstreet Boys 後半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容の見直し

復習時間 : 30分

リスニング練習

読解練習

第15回 総復習

予習内容 : わからないところを事前に調べておく

予習時間 : 30分

復習内容 : 全体の復習

復習時間 : 30分

全体の復習

期末試験

授業中に指定します。

■ ホームページ

科目名 :	言語演習（英語） 1				
英文名 :	Language Seminar(English) 1				
担当者 :	竹中 義胤				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

【医用工学科】

英語の歌を聴くことでリスニングの力を向上させて行きます。同時に歌詞を和訳しながら文法のポイントも学び、歌や歌手に関連した読み物を読むことで自然な英文を読む力もつけていきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

リスニング及び文法のポイントの学習、読解力の向上、発音の改善

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%

レポート・小テスト等 20%

期末試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791933877 『ヒットソングで学ぶ総合英語—English with Pop Hits』（角山 照彦, 成美堂 : 2014）

■ 参考文献

■ 関連科目

言語演習（英語） 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月、水、木の昼休憩または月曜日の5限の授業終了後、講師控室（2号館2階）に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 UNIT 1 • Complicated (The Matrix Mix)

Avril Lavigne 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point : 音の同化①

Grammar : 接続詞と前置詞の区別

第2回 UNIT 1 • Complicated (The Matrix Mix)

Avril Lavigne 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第3回 UNIT 2 • S.O.S.

ABBA 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point：音の連結①

Grammar：仮定法

第4回 UNIT 2 • S.O.S.

ABBA 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第5回 UNIT 3 • You Are Not Alone (Radio Edit)

Michael Jackson 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point：音の脱落①

Grammar：品詞

第6回 UNIT 3 • You Are Not Alone (Radio Edit)

Michael Jackson 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第7回 UNIT 4 • Don't Wanna Lose You

Gloria Estefan 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

Listening Point：音の同化②

Grammar：不定詞

第8回 UNIT 4 • Don't Wanna Lose You

Gloria Estefan 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第9回 UNIT 5 • How Crazy Are You?

Meja 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業内容の見直し

復習時間：30分
Listening Point：音の脱落②
Grammar：分詞

第10回 UNIT 5 • How Crazy Are You?

Meja 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の見直し
復習時間：30分
リスニング練習
読解練習

第11回 UNIT 6 • Sunday Morning

Maroon 5 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の見直し
復習時間：30分
Listening Point：ing の発音
Grammar：形容詞・副詞

第12回 UNIT 6 • Sunday Morning

Maroon 5 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の見直し
復習時間：30分
リスニング練習
読解練習

第13回 UNIT 7 • I Want It That Way

Backstreet Boys 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の見直し
復習時間：30分
Listening Point：アメリカ英語の特徴①
Grammar：知覚・使役動詞

第14回 UNIT 7 • I Want It That Way

Backstreet Boys 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の見直し
復習時間：30分
リスニング練習
読解練習

第15回 総復習

予習内容：授業内容の見直し
予習時間：30分
復習内容：全体の復習
復習時間：30分
全体の復習

期末試験

授業中に指定します。

■ ホームページ

科目名 :	言語演習 (英語) 1				
英文名 :	Language Seminar(English) 1				
担当者 :	ファミユラロ ラルフ マイケル				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

Students will be introduced to and study about different cultures and countries around the world. English-speaking nations will be the main focus of this course. Non-English speaking countries will also be focussed on, especially as topics for group reports. Please be aware that English is the main language of instruction. IMPORTANT: Students need to attend the class and work in cooperation with other students in order to receive a passing grade.

■ 学習・教育目標及び到達目標

To become aware of different concepts within other cultures as well as one's own culture. In addition, the student has a chance to learn some basic historical information about other countries.

■ 成績評価方法および基準

In-class participation 35%
Quizzes 30%
Group project work 35%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。

■ 教科書

There is no text book required for the class. The teacher will provide handouts and will occasionally present videos about other nations and issues. It is important that the students keep the handouts for class activities and quizzes. Note-taking is also highly recommended. It is the student's responsibility to keep up with the course work.

■ 参考文献

An English-Japanese dictionary is required.

■ 関連科目

言語演習(英語) 2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) bunbogu1@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

On campus Mondays 10:40-4:10, Fridays 9:00-4:10

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course Introduction

予習内容 : Countries, Languages & Nationalities

予習時間 : 45分

復習内容 : Cultural comparisons

復習時間 : 45分

Countries, Languages & Nationalities

Cultural comparisons regarding greetings, thanking, gestures and other daily actions

第2回 Japan

予習内容 : General world knowledge

予習時間 : 45分
復習内容 : Introduction to Japan
復習時間 : 45分
General world knowledge activity
Introduction to Japan, including pair work practice

第3回 New Zealand

予習内容 : Information exchange and video
予習時間 : 45分
復習内容 : New Zealand and the UK
復習時間 : 45分
New Zealand Information Exchange
Video on New Zealand's outdoor lifestyle
New Zealand's relation to the UK.

第4回 The nations of Southeast Asian: Cambodia Southeast Asia group project preparation

予習内容 : Cambodia
予習時間 : 30分
復習内容 : The nations of southeast Asia group preparation
復習時間 : 60分
Cambodia video and conversation practice
Preparation for group reports on the nations of southeast Asia: Vietnam, Thailand, Laos, Cambodia, Myanmar, Malaysia and Indonesia

第5回 Australia

予習内容 : Australia Information Exchange
予習時間 : 30分
復習内容 : Australian history and society
復習時間 : 60分
Group southeast Asia reports due
Australia Information Exchange
Australian history and society

第6回 Japan and Population Decline

予習内容 : World population statistics
予習時間 : 30分
復習内容 : Aging Nations and whether immigration to Japan should be increased
復習時間 : 60分
World population statistics
Aging nations
Immigration to Japan: Yes or No? Which is more important, economics or culture
Giving opinions

第7回 Spain

予習内容 : Introduction to Spain
予習時間 : 30分
復習内容 : Spain and South America, Review
復習時間 : 60分
Introduction to Spain (Video)
Spanish architecture
Spain's relation to south America
Review of weeks 1 - 7

第8回 Canada

予習内容 : Quiz
予習時間 : 25分
復習内容 : Canadian topics
復習時間 : 65分
Quiz on weeks 1 - 7 information
Introduction to Canada
Canadian Information Exchange

Canadian rural and urban life (Video)

第9回 Africa Part I

予習内容 : African Video

予習時間 : 30分

復習内容 : African nations and topics

復習時間 : 60分

African wildlife and national parks (Video)

The nations of Africa: the damage of colonialism

African social issues

第10回 Africa Part II

予習内容 : Africa (Video)

予習時間 : 30分

復習内容 : Group Project Report preparation

復習時間 : 60分

Europeans Colonial Powers & Africa

Group Project Report preparation: African nations

第11回 USA Part I

予習内容 : New York City video & listening practice

予習時間 : 30分

復習内容 : American topics

復習時間 : 60分

New York City video

USA Information Exchange

American topics & issues

第12回 USA Part II

予習内容 : Popular things in the USA

予習時間 : 30分

復習内容 : American issues, USA & Japan comparison

復習時間 : 60分

Popular things in the USA

American States and different lifestyles

Comparing Japan and the USA: similarities and differences

第13回 Turkey

予習内容 : The cultures of Turkey

予習時間 : 45分

復習内容 : Istanbul, Whirling Dervishes

復習時間 : 45分

The modern & traditional cultures of Turkey

Istanbul

Whirling Dervishes

第14回 India

予習内容 : India Video

予習時間 : 30分

復習内容 : English as a Unifying language, India and Japan

復習時間 : 60分

India Video

English as a Unifying language

Comparing India and Japan

第15回 Review

予習内容 : Quiz

予習時間 : 30分

復習内容 : Space exploration and Mars

復習時間 : 60分

In-class quiz, lessons 9-14

Out of this World: Will humans someday live on Mars? Space / Technology

In-class activities are graded

In-class activities are graded

■ ホームページ

科目名 :	言語演習 (英語) 1				
英文名 :	Language Seminar(English) 1				
担当者 :	岩橋 一樹				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

意見が分かれやすい様々なテーマの文章を読んで、それに対する自分の意見を英語で書いたり言ったりできるようにする。さらに、理由や具体例の提示の仕方を工夫し、読み手や聞き手に自分の伝えたいことを英語で伝えて納得してもらえようとする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

あるテーマについて2つの相反する立場から書かれた文章を読解し、それぞれの立場を理解できるようになる。あるテーマについて2つの相反する立場から話す2人の話者の会話を理解する。あるテーマに関して自分がどういう立場なのか明確に書いたり言ったりできる。さらに、理由や具体例の提示の仕方を工夫して自分の伝えたいことを書いたり言ったりできる。

■ 成績評価方法および基準

最終レポート 30%
 中間レポート 30%
 単語テスト 20%
 グループワーク 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

グループワークの際に書いた英文から間違いやすい英語表現をピックアップして翌週に解説する。

■ 教科書

Gillian Flaherty著 Which Side Are You On? Forming Views and Opinions 成美堂 ISBN 978-4-7919-6028-6

■ 参考文献

なし

■ 関連科目

言語演習(英語) 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・kazuki.iwahashi@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：教科書全体に目を通しておくこと

予習時間：45分

復習内容：教科書全体に目を通して、各ユニットで扱う文章のテーマを確認すること。

復習時間：45分

第2回 Unit 1 Cell phones

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

携帯電話を使うことの是非について2つの意見を読む・聞く

第3回 Unit 1 Cell phones

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

携帯電話の使用の是非について自分の意見を英語で書く

第4回 Unit 2 Freeters

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

フリーターとして生活することの是非に関する英文を読む・聞く

第5回 Unit 2 Freeters

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

フリーターになることの是非について自分の意見を英語で書く

第6回 Unit 3 The Olympic Games

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

オリンピックの意義について2つの英文を読む・聞く

第7回 Unit 3 The Olympic Games

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

オリンピックの意義について自分の意見を英語で書く

第8回 中間レポートの発表

予習内容：指定されたテーマで中間レポートを書くこと

予習時間：300分

復習内容：中間レポートの内容と、それに対するコメントと評価を見直す。

復習時間：60分

時事問題に関して各自の意見を英語でまとめて発表する

第9回 Unit 4 Marriage

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

早く結婚することの是非について2つの英文を読む・聞く

第10回 Unit 4 Marriage

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

早く結婚することの是非について自分の意見を英語で書く

第11回 Unit 5 Smoking and drinking

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

飲酒や喫煙の是非について2つの英文を読む・聞く

第12回 Unit 5 Smoking and drinking

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

飲酒や喫煙の是非について自分の意見を英語で書く

第13回 Unit 6 English

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

英語を学ぶことの是非について2つの英文を読む・聞く

第14回 Unit 6 English

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

英語を学ぶことの是非について自分の意見を英語で書く

第15回 最終レポートの案の発表

予習内容：指定されたテーマで最終レポート(案) を書くこと

予習時間：300分

復習内容：担当者のコメントを踏まえて最終レポートを清書する

復習時間：300分

時事問題に関して各自の意見を英語でまとめて発表する

■ホームページ

科目名 :	言語演習 (英語) 1				
英文名 :	Language Seminar(English) 1				
担当者 :	ジェイムズ ホーバット				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	集中
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

We will be focusing on helping students to discuss English for the sciences and technology. Videos, diagrams, specifications, and webpages will be used to talk about scientific processes, products, and so on.

■ 学習・教育目標及び到達目標

ビデオクリップ (2~5分) などによる現代や未来の身近なトピックスと英語の 歌等を使う中で、リスニングやリーディング能力の改善・進歩を図ることを学 習目標とする。また、グループディスカッションやクラスディスカッションを 通して自分の考えを英語で効果的に伝えたり、他者の考えを論理的に理解し たりする能力を高める養成やトレーニングを行なう。"英語で考え、英語で表現する姿勢を心がけてください。集中講座として開講されます。上級レベルの英語習得を目指す者を対象とする。(英語スキル上級A・B受講者など)

■ 成績評価方法および基準

ディスカッション 20%

授業中課題 40%

小テスト 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive some feedback, especially common errors, on their quizzes from the teacher during the class. Students will receive feedback on their assignments, especially common strengths and things to work on, from the teacher during the class. There will be some feedback on class discussions, good points, and some important errors / things to work on.

■ 教科書

授業内で指示します。

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

言語演習 (英語) 2、言語演習 (英語) 3、言語演習 (英語) 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) j_horvat@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Meeting in a Distribution Company 1

予習内容 : Write down some things people do in meetings (share information, solve problems, etc).

予習時間 : 15分

復習内容 : Write the English version of the key points of a meeting you had recently.

復習時間 : 15分

A video meeting between manufacturer and distributor. Vocabulary and phrases. Some discussion of initial contact in English with other workers in a workplace environment.

第2回 Materials, Supply, Manufacturing

予習内容 : Write down some common materials used for manufacturing.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write a simple path and description from materials supplier to manufacturer to distributor.

復習時間 : 15分

Supply and manufacturing process—supply chain, raw materials, tools and equipment, transport to the distributor.

第3回 Product Specifications 1

予習内容 : Measure and down the size of your smartphone or home computer.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write product specifications of something in a laboratory.

復習時間 : 15分

Products—size and dimension, weight, materials used, sources of power. We will share these with the class.

第4回 Product Specifications 2

予習内容 : Write down the capabilities of something in your kitchen.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write down the capabilities of some machine / equipment.

復習時間 : 15分

Capabilities and use for products. What can they do? What are they used for?

第5回 Recruiting Ads for Engineering, Science 1

予習内容 : Write down three interesting jobs and skills needed.

予習時間 : 15分

復習内容 : Find a recruiting ad in English and write five sentences about it.

復習時間 : 15分

Recruiting ads-- workers in engineering and science— skills needed, working conditions, details of work.

第6回 Recruiting Ads for Engineering, Science 2

予習内容 : What makes a job popular? Write down three reasons.

予習時間 : 15分

復習内容 : Compare a recruiting ad in English and in Japanese. Write down three things that are the same and three things that are different.

復習時間 : 15分

Comparing recruiting ads between English-speaking countries and Japan in more detail.

第7回 Describing Processes 1

予習内容 : Make a list of some natural processes (e.g. photosynthesis).

予習時間 : 15分

復習内容 : Write down a description of a natural process. What are the main steps?

復習時間 : 15分

Common processes in the natural world in English.

第8回 Describing Processes 2

予習内容 : Make a list of some processes in companies (e.g. the design process).

予習時間 : 15分

復習内容 : Write down a description of a process in manufacturing or technology.

What are the main steps?

復習時間 : 15分

Common processes in manufacturing, engineering, and technology companies.

第9回 Presentations on Food, Engineering, Science, or Technology Companies 1

予習内容 : Write down three things that people giving a speech need to do (e.g. speak loudly)

予習時間 : 15分

復習内容 : Think about a topic for your presentation.

復習時間 : 15分

Essential elements of a good presentation. Guidelines for presenters.

第10回 Presentations on Food, Engineering, Science, or Technology Companies 2

予習内容 : Think more about your presentation topic.

予習時間 : 15分

復習内容 : Finish writing your presentation.

復習時間 : 15分

Vocabulary and phrases needed to talk about these companies.

第11回 Emailing in the Technical Fields

予習内容 : When did you last send an email? What was the topic? Write three sentences.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write a short email to a company.

復習時間 : 15分

Common emails in technical fields.

第12回 Warning Labels, Signs, Laboratory Rules

予習内容 : Write three rules for the laboratory.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write down some common signs in your laboratory, in English.

復習時間 : 15分

Common written language used in the laboratory.

第13回 Great Technology Centers—Silicon Valley and Seattle

予習内容 : Write down three things you want to see in California or Washington State.

予習時間 : 15分

復習内容 : Find a picture of a city in the S.F. Bay Area of California or Washington State.

Write some sentences about it.

復習時間 : 15分

Vocabulary and speaking. Why are Silicon Valley and Seattle great technology centers?

What do we need to do when visiting?

第14回 The Culture of Start-Up Tech Companies, The Culture of Scientific Institutions

予習内容 : Write down three famous tech companies.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write a paragraph about the culture of either a tech company or a scientific institution.

復習時間 : 15分

The workplace culture of start ups and scientific laboratories.

第15回 Review and Wrap Up

予習内容 : Consider which activities in class were easy & which were more difficult.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write a brief comment about the class.

復習時間 : 15分

Review the class. Provide feedback.

There is no final exam.

■ホームページ

科目名 :	言語演習（英語） 2				
英文名 :	Language Seminar(English) 2				
担当者 :	竹中 義胤				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

言語演習（英語）1の内容と目標をそのままに別の歌をテーマにリスニング力と読解力を向上させていきます。同時に歌詞を訳することで文法のポイントも確認していきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

リスニング力及び読解力の向上、文法のポイントの確認

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%

レポート・小テスト等 20%

期末試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791933877 『ヒットソングで学ぶ総合英語—English with Pop Hits』（角山 照彦, 成美堂 : 2014）

■ 参考文献

■ 関連科目

言語演習（英語）1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月、水、木の昼休憩または月曜日の5限の授業終了後、講師控室（2号館2階）に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 UNIT 8 • Suddenly I See

KT Tunstall 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

Listening Point : アメリカ英語の特徴②

Grammar : 動名詞

第2回 UNIT 8 • Suddenly I See

KT Tunstall 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第3回 UNIT 9 • How Am I Supposed To Live Without You?

Michael Bolton 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

Listening Point：音の脱落③

Grammar：受動態

第4回 UNIT 9 • How Am I Supposed To Live Without You?

Michael Bolton 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第5回 UNIT 10 • Save The Best For Last

Vanessa Williams 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

Listening Point：助動詞の発音①

Grammar：完了形

第6回 UNIT 10 • Save The Best For Last

Vanessa Williams 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第7回 UNIT 11 • Last Christmas (Pudding Mix)

Wham! 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

Listening Point：音の連結②

Grammar：5 文型

第8回 UNIT 11 • Last Christmas (Pudding Mix)

Wham! 後半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

リスニング練習

読解練習

第9回 UNIT 12 • Torn

Natalie Imbruglia 前半

予習内容：わからない単語を事前に調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業の内容に見直し

復習時間：30分

Listening Point : 助動詞の発音②

Grammar : 助動詞

第10回 UNIT 12 • Torn

Natalie Imbruglia 後半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業の内容に見直し

復習時間 : 30分

リスニング練習

読解練習

第11回 UNIT 13 • La La (Means I Love You)

Swing Out Sister 前半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業の内容に見直し

復習時間 : 30分

Listening Point : 音の弱化

Grammar : 関係代名詞

第12回 UNIT 13 • La La (Means I Love You)

Swing Out Sister 後半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業の内容に見直し

復習時間 : 30分

リスニング練習

読解練習

第13回 UNIT 14 • With You

Chris Brown 前半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業の内容に見直し

復習時間 : 30分

Listening Point : 助動詞の発音③

Grammar : 否定

第14回 UNIT 14 • With You

Chris Brown 後半

予習内容 : わからない単語を事前に調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業の内容に見直し

復習時間 : 30分

リスニング練習

読解練習

第15回 総復習

予習内容 : わからないところを事前に調べておく

予習時間 : 30分

復習内容 : 全体の復習

復習時間 : 30分

全体の復習

期末試験

授業中に指定します。

■ **ホームページ**

科目名 :	言語演習（英語） 2						
英文名 :	Language Seminar(English) 2						
担当者 :	ファミユラロ ラルフ マイケル						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

Students will be introduced to and study about different cultures and countries around the world. English-speaking nations will be the main focus of this course. Non-English speaking countries will also be focussed on, especially as topics for group reports. Please be aware that English is the main language of instruction. IMPORTANT: Students need to attend the class and work in cooperation with other students in order to receive a passing grade.

■ 学習・教育目標及び到達目標

To become aware of different concepts within other cultures as well as one's own culture. In addition, the student has a chance to learn some basic historical information about other countries.

■ 成績評価方法および基準

In-Class Participation 35%
Quizzes 30%
Group Project Work 35%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■ 教科書

There is no text book required for the class. The teacher will provide handouts and will occasionally present videos about other nations and issues. It is important that the students keep the handouts for class activities and quizzes. Note-taking is also highly recommended. It is the student's responsibility to keep up with the course work.

■ 参考文献

An English-Japanese dictionary is required.

■ 関連科目

言語演習（英語） 1, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階） bunbogu1@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

On campus Mondays 10:40-4:10, Fridays 9:00-4:10

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Introduction to British Culture

予習内容 : United Kingdom / Great Britain / England differences

UK Information Exchange

予習時間 : 45分

復習内容 : British cultural topics

復習時間 : 45分

United Kingdom / Great Britain / England differences

UK Information Exchange
Colonization and the spread of the English language
Tea time, soccer, British musical influence

第2回 UK Part II

予習内容 : Scotland, Wales and Northern Ireland
Ireland Introduction

予習時間 : 60分

復習内容 : Ireland Video

復習時間 : 30分

Scotland, Wales and Northern Ireland
Difference between Northern Ireland & Ireland
Ireland Video

第3回 Peru, an introduction to Latin America

予習内容 : Peru Video

予習時間 : 30分

復習内容 : Cusco, Lima and Machu Picchu

復習時間 : 60分

Peru Video

Listening practice Cusco

Machu Picchu and mountains

第4回 Nations of Latin America introduction

Group Report preparation: Latin American nations

予習内容 : Latin American nations introduction

予習時間 : 30分

復習内容 : Group Report preparation: Latin American nations

復習時間 : 60分

Nations of Latin America

Group Report preparation: Latin American nations

第5回 Non-European Culture of New Zealand

予習内容 : Introduction to Maori culture and history

予習時間 : 45分

復習内容 : Maori creation story

復習時間 : 45分

Latin American Group Report due

Introduction to Maori culture and history

Maori creation story

第6回 Halloween and the Mexican day of the Dead Festival

予習内容 : Halloween topics

予習時間 : 60分

復習内容 : Mexican day of the dead

復習時間 : 30分

The origins of Halloween

Modern Halloween traditions

Mexican day of the Dead (Video)

第7回 Japan Revisited

Cultural Use of Time

予習内容 : Japan Topics

予習時間 : 45分

復習内容 : Cultural Use of time

復習時間 : 45分

Tokyo (Video)

Comparisons: Tokyo vs. Osaka

Monochromic and Polychromic time

Review of Lessons 1 - 7

第8回 Aboriginal Australia, Part I

予習内容 : Quiz, Introduction to the Australian Aborigines

予習時間 : 60分

復習内容 : Rabbit Proof Fence, Part 1

復習時間 : 30分

Quiz on Lessons 1 - 7

Introduction to the Australian Aborigines

Rabbit Proof Fence, Part 1

第9回 Aboriginal Australia, Part 2

予習内容 : Rabbit Proof Fence, part 2

予習時間 : 70分

復習内容 : Student opinion writing

復習時間 : 20分

Rabbit Proof Fence, part 2

Student opinion writing about Rabbit Proof Fence

第10回 China

予習内容 : China Video

予習時間 : 30分

復習内容 : Cultural influence, Taoism, folklore

復習時間 : 60分

China (Video)

China's cultural influence on other Asian nations

Taoism

Chinese folk tale

第11回 World Sports Culture

Group Project Preparation: Europe

予習内容 : World Sports

予習時間 : 30分

復習内容 : Group Project preparation: Europe

復習時間 : 60分

Popular sports around the world

Group Project preparation: Europe

第12回 Generational Differences & Subcultures

予習内容 : Generational Difference & Similarities

予習時間 : 60分

復習内容 : Japanese Subcultures

復習時間 : 30分

Comparison: You and Your Parents

History of generation Gap

Subcultures inside japan

第13回 1960's Generation Gap in the Western World -- new music, art, politics

予習内容 : 1960's Youth Rebellion

予習時間 : 30分

復習内容 : Music & Subcultures of the 1960's

復習時間 : 60分

Introduction to 1960's Youth Rebellion

Music & subcultures

第14回 Last Frontier on Earth

予習内容 : Antarctica Topics

予習時間 : 60分

復習内容 : Review Lessons 9 - 14

復習時間 : 30分

Introduction to Antarctica

Antarctica Video

Review of Lessons 9 - 14

第15回 The Future

予習内容 : Quiz on Lessons 9 - 14

予習時間 : 30分

復習内容 : The Future Questionnaire Activity

復習時間 : 60分

Quiz on Lessons 9 - 14

The Future for you and the human race

In-class activities are graded

In-class activities are graded

■ **ホームページ**

科目名 :	言語演習（英語） 2				
英文名 :	Language Seminar(English) 2				
担当者 :	岩橋 一樹				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

意見が分かれやすい様々なテーマの文章を読んで、それに対する自分の意見を英語で書いたり言ったりできるようにする。さらに、理由や具体例の提示の仕方を工夫し、読み手や聞き手に自分の伝えたいことを英語で伝えて納得してもらえるようにする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

あるテーマについて2つの相反する立場から書かれた文章を読解し、それぞれの立場を理解できるようになる。あるテーマについて2つの相反する立場から話す2人の話者の会話を理解する。あるテーマに関して自分がどういう立場なのか明確に書いたり言ったりできる。さらに、理由や具体例の提示の仕方を工夫して自分の伝えたいことを書いたり言ったりできる。

■ 成績評価方法および基準

最終レポート 30%
 中間レポート 30%
 単語テスト 20%
 グループワーク 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

グループワークの際に書いた英文から間違いやすい英語表現をピックアップして翌週に解説する。

■ 教科書

Gillian Flaherty著 Which Side Are You On? Forming Views and Opinions 成美堂 ISBN 978-4-7919-6028-6

■ 参考文献

なし

■ 関連科目

言語演習（英語） 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） ・ kazuki.iwahashi@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：教科書全体に目を通しておくこと

予習時間：45分

復習内容：教科書全体に目を通して、各ユニットで扱う文章のテーマを確認すること。

復習時間：45分

第2回 Unit 7 Exercise

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

運動の是非について2つの英文を読む・聞く

第3回 Unit 7 Exercise

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

運動の是非について自分の意見を英語で書く

第4回 Unit 8 Divorce

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

離婚の是非について2つの英文を読む・聞く

第5回 Unit 8 Divorce

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

離婚の是非について自分の意見を英語で書く

第6回 Unit 9 Cars

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

都市部で車を使うことの是非について2つの英文を読む・聞く

第7回 Unit 9 Cars

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

都市部で車を使うことの是非について自分の意見を英語で書く

第8回 中間レポートの発表

予習内容：指定されたテーマで中間レポートを書くこと

予習時間：300分

復習内容：中間レポートの内容と、それに対するコメントと評価を見直す。

復習時間：60分

時事問題について自分の意見を英語でまとめて発表する

第9回 Unit 10 Working Parents

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

共働きの是非について2つの英文を読む・聞く

第10回 Unit 10 Working Parents

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

共働きの是非について自分の意見を英語で書く

第11回 Unit 11 Computers

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

コンピューターの技術の発達の是非について英文を読む・聞く

第12回 Unit 11 Computers

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

コンピューター技術の発達の是非について自分の意見を書く

第13回 Unit 12 Television

予習内容：リーディングとリスニングの問題を解く 単語の意味を調べる

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

テレビを見ることの是非について2つの英文を読む・聞く

第14回 Unit 12 Television

予習内容：ライティングの文章を考える

予習時間：60分

復習内容：単語を覚える

復習時間：60分

テレビを見ることの是非について自分の意見を英語で書く

第15回 最終レポートの案の発表

予習内容：指定されたテーマで最終レポート(案) を書くこと

予習時間：300分

復習内容：担当者のコメントを踏まえて最終レポートを清書する

復習時間：300分

時事問題に関して各自の意見を英語でまとめて発表する

■ ホームページ

科目名 :	言語演習 (英語) 3				
英文名 :	Language Seminar(English) 3				
担当者 :	滝口 智子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この科目では映画『三銃士』(Three Musketeers, 2011)を教材として、様々な生きた英語に触れます。英語の聴解力を高めると同時に、映画の場面について説明し、感想を伝え、議論することで、英作文や口頭発表のための力を身に付けていきます。授業には必ず辞書を持参すること。なお、教育効果を考慮し、受講者数調整のため、初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は、履修不可です。

■ 学習・教育目標及び到達目標

映画を鑑賞しレビューを行う際には、その映画で背景とされる時代や文化への理解、さらには、受動的に楽しむだけでなく作り手の立場にも思いを寄せることが求められます。映画を教材として学ぶことで、エンターテインメントとしての映画鑑賞という姿勢から一歩進めて、英語運用能力を養いつつ、国際的な教養や異文化理解を高めることを目標とします。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 60%
課題・発表 20%
参加点 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題は適宜添削します。

■ 教科書

プリント配布

■ 参考文献

『三銃士』角川文庫、岩波文庫

■ 関連科目

言語演習 (英語) 1・言語演習 (英語) 2・言語演習 (英語) 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階講師控室
tom106@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金1-2

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Warm up, Scene 1

予習内容 : 『三銃士』について、どのような物語か調べておくこと。
予習時間 : 30分
課題をともに作成するための班分けを行い、授業の概要を理解します。
続けて、映画の Scene 1 を視聴します。

第2回 Scene 1

三銃士と主な登場人物

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答の復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、主なセリフを暗唱。

第3回 Scene 2

主人公の旅立ちと三銃士との出会い

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第4回 Scene 3

三銃士の仲間になる

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第5回 Scene 4

王と枢機卿とバッキンガム公

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第6回 Scene 5

王妃の手紙

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第7回 Scenes 1～5 まとめ (ディクテーションなど)

予習内容：これまでのsceneのスク립トを読む

予習時間：60分

復習内容：ディクテーション部分の音読

復習時間：30分

ディクテーション練習を行うことで、難しい英語の聴解力を高める。

第8回 scene 6

王妃の首飾り奪還作戦

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第9回 scene 7

女スパイ、ミレディの最期？

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習
予習時間：30分
復習内容：英問英答復習
復習時間：30分
難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。
感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第10回 scene 8

飛行船同士の激闘

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習
予習時間：30分
復習内容：英問英答復習
復習時間：30分
難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。
感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第11回 scene 9

帰ってきた飛行船

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習
予習時間：30分
復習内容：英問英答復習
復習時間：30分
難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。
感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第12回 scene 6～ scene 9のまとめ（ディクテーションなど）

予習内容：これまでのsceneの SCRIPT を読む
予習時間：60分
復習内容：ディクテーション部分の音読
復習時間：30分
ディクテーション練習を行うことで、難しい英語の聴解力を高める。

第13回 全体のまとめ（あらすじ紹介、感想の英作文と発表）

予習内容：全体の SCRIPT をもう一度さっと読み、復習しておく。
予習時間：60分
復習内容：原稿の口頭練習を行う。
復習時間：30分
あらすじを英語で書く練習を行う。
好きな場面やセリフを選び、感想を英語で書く練習を行う。
完成原稿を口頭発表する。

第14回 関連映画の視聴と英問英答（1）

予習内容：関連映画について下調べをしておく。
予習時間：30分
復習内容：英問英答の復習を行う。
復習時間：30分
関連映画の視聴（前半）と英問英答を行う。

第15回 関連映画の視聴と英問英答

復習内容：英問英答の復習を行う。
復習時間：30分
関連映画の視聴（後半）と英問英答を行う。

■ ホームページ

科目名 :	言語演習（英語） 3				
英文名 :	Language Seminar(English) 3				
担当者 :	服部 圭子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

異文化コミュニケーションを題材にしたテキストを使って、コミュニケーションのあり方を英語で読み解く。そして学んだ知識や表現を用いて、自分自身のことを表現したり、相手に尋ねたりする練習を行う。さらに、実際の異文化接触場面でコミュニケーションをとることを想定した、さまざまなアクティビティを行い、英語力そのものの向上のための訓練を演習形式で行う。辞書は必ず持参すること。

なお、教育効果を考慮し、受講者調整のため、初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は履修不可となります。

■ 学習・教育目標及び到達目標

異文化コミュニケーションに関する内容を読み解く力を養うとともに、自分自身の考えや経験を語ったり共有したりすることによって、相手からも新たな情報を引き出す力を身につけることを目標とする。英語を用いたアクティビティに参加することにより、間違いを恐れずに英語を用いて相手とかかわる力、異文化コミュニケーション能力の修得を目指す。さらに、発信した自分の意見をまとめて書く力の養成も目指す。

この科目の修得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 20%

授業中の発表および課題 40%

定期試験 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■ 教科書

[ISBN]978-4-523-17840-8 『Speaking of Intercultural Communication:』 異文化理解の英語コミュニケーション』 Peter Vincent著 (南雲堂)

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

言語演習（英語） 1、2、4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513号室）・khattori@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜日5限（その他の時間帯は必ず予約してください）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォーミングアップ

予習内容：自己紹介が英語でできるように準備する。

予習時間：60分

復習内容：自己紹介、コミュニケーションに関する意見を英語でまとめて書く。

復習時間：60分

授業の進め方についての説明

- ・予習、復習について
- ・授業内活動（ペアワーク、グループワーク、調査等）について
- ・課題、小テストおよび定期試験について

受講に際しての注意事項

- ・授業内の態度について
- ・欠席、遅刻について
- ・評価について

その他、受講に際しての重要事項について

自己紹介、コミュニケーションに関する意見をペアおよびグループで話し合う。

第2回 unit1 Communication

予習内容：unit1 Communicationの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：unit1 Communicationの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

異文化コミュニケーションに関する紹介、文化やコミュニケーションについて書かれた文章を読み解くコミュニケーションのあり方について、さまざまなアクティビティを通して学ぶ。授業で利用するテキストのパターンを観察する。

第3回 Unit2 Culture

予習内容：Unit2 Cultureの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit2 Cultureの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

文化について述べられた文章を読み解く。文化を語る上でよく使われる概念について学び、自らを振り返り、意見を述べる練習をする。そして、さまざまな文化について相違点を調べ、2パラグラフ程度の英語の文章を作成する。

第4回 Unit3 Nonverbal Communication

予習内容：Unit3 Nonverbal Communicationの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit3 Nonverbal Communicationの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

非言語コミュニケーションについての英文を読み説く。日本でみられる外国人の非言語行動の違い、日米間の誤解についての文章を読み、意見を述べある。

第5回 Unit4 Communicating Clearly

予習内容：Unit4 Communicating Clearlyの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit4 Communicating Clearlyの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

英語によるコミュニケーションの上で必要な文化的背景、文法的間違いに対する考え方についての英文を読む。意見の述べ方やコミュニケーションを通して生まれる誤解について考える。

第6回 Unit5 Culture and Values

予習内容：Unit5 Culture and Valuesの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit5 Culture and Valuesの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

正誤、公平・不公平などの価値観について考える。日本とアメリカが各々大切にしている価値観はどんなものか、その相違に関して調べ、意見を述べるができるようにする。

第7回 Unit6 Culture and Perception

予習内容：Unit6 Culture and Perceptionの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit6 Culture and Perceptionの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

文化による物事の捉え方の相違、表現の異なりについての考え方について書かれた英文を読み解く。物の見え方の違いなどについて、アクティビティを通して体験し、自分の考えをまとめて述べる。

第8回 U1～U6のまとめ

予習内容：U1～U6で扱った事象について、興味がある概念についてより深く調べる。

予習時間：60分

復習内容：調べ、発表したものを、英語でまとめる。

復習時間：60分

U1～U6で扱った事象について、インターネットを利用してより深く調べ、発表する。疑問に思ったことについて質問したり、意見を述べたりする機会とする。

第9回 Unit7 Diversity

予習内容：Unit7 Diversityの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit7 Diversityの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

日本の多様性についての英文を読み、さまざまなエスニックグループ、サブカルチャーに関して調べる。また、日本社会における外国人労働者問題について、自分の意見を述べる。

第10回 Unit8 Stereotypes

予習内容：Unit8 Stereotypesの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit8 Stereotypesの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

いくつかの写真を見て感じることを述べあう。ステレオタイプについて書かれた英文を読む。また、日本人に対するステレオタイプについて考える。

第11回 Unit9 Culture Shock

予習内容：Unit9 Culture Shockの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit9 Culture Shockの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

カルチャーショックの段階について書かれた英文を読む。そして、カルチャーショックによるストレスについて学び、意見を述べる。

第12回 Unit10 Culture and Change

予習内容：Unit10 Culture and Changeの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit10 Culture and Changeの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

異なる文化の受け入れ方が国によって異なること、文化は変化することについて書かれた英文を読む。グローバル化の功罪について意見を述べる。

第13回 U11 Talking about Japan

予習内容：U11 Talking about Japanの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：U11 Talking about Japanの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

日本は集団主義か個人主義か。海外に行く前に日本文化について知ることの意義、日本文化が各々のアイデンティティにどう影響しているかなどについて、英文を読んだりアクティビティを通して考える。

第14回 Unit12 Becoming a Global Person

予習内容：Unit12 Becoming a Global Personの'Reading'を訳し理解する。単語チェック。

予習時間：60分

復習内容：Unit12 Becoming a Global Personの指定のActivityを行う。

復習時間：60分

グローバル人材、異文化感覚のステージについて書かれた英文を読み解く。グローバルビレッジについて、人・言語・宗教などの視点から考える。

第15回 まとめ・発表

予習内容：Unit1～Unit12で学習した単語や熟語および表現を見直す。

予習時間：60分

復習内容：Unit1～Unit12で学習した概念を振り返り、意見をまとめる。

復習時間：60分

前期に読み学んだことについて振り返る。テキストで扱っているテーマを発展させ、自分なりに調査してまとめた事柄を発表する。オーディエンスは、語彙・表現・文の構造・意見や内容などの視点から評価する。異文化コミュニケーション時、または英語を用いたコミュニケーションにおける留意点などについての意見交換をする。

定期試験

■ホームページ

近畿大学生物理工学部 <http://www.waka.kindai.ac.jp/>

科目名 :	言語演習 (英語) 3				
英文名 :	Language Seminar(English) 3				
担当者 :	中土井 智				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

言語はツールとしての役割を担うだけではなく、詩や小説といった芸術としての側面をもっている。

この講座では英語で書かれないいくつかの文学作品を主にイギリス、アメリカから紹介する。演習では実際に原文で読む事で英語の語感と文法読解力を磨くと同時に、作品が書かれた背景にある社会と文化について見識を広める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- (1) 英語で書かれた文学を読む楽しさを覚える。
- (2) 構文を読み取る力を鍛える。
- (3) 主な英米文学の作家と作品を原文と共に知り、文化的な教養を身につける。
- (4) 他者との議論を通じて自分の考えを持ち、意見を発信することに慣れる。

■ 成績評価方法および基準

学期末レポート 40%

授業での発表 30%

ホームワーク等の課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業にて答案を返却し、解説を行う。

■ 教科書

授業にて指示する。

■ 参考文献

適宜授業にて指示する。

■ 関連科目

言語演習 (英語) 1 2 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・ nakadoi1704@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : 本授業シラバス

予習時間 : 15分

復習内容 : シラバス確認

復習時間 : 15分

授業に関する概論と必要事項の伝達

第2回 Nursery Rhymes

予習内容 : 配布プリント。知っている英語の歌詞原文リサーチ

予習時間 : 45分

復習内容 : 配布プリント確認

復習時間：30分

“Twinkle, Twinkle, Little Star”, “London Bridge Is Falling Down”他

第3回 William Shakespeare (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

William Shakespeare, Sonnet 18

第4回 William Shakespeare (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

Romeo and Juliet抜粋、及び映画紹介

第5回 Patrick Lafcadio Hearn (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

Patrick Lafcadio Hearn, Kwaidanより“Yuki-onna”他

第6回 Patrick Lafcadio Hearn (2)

予習内容：配布プリント、及びディスカッション準備考察

予習時間：45分

復習内容：考察まとめ

復習時間：30分

講読続き、及びグループディスカッション

第7回 William Wordsworth (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

William Wordsworth, “The Solitary Reaper”他

第8回 William Wordsworth (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

講読続き、及び解説

第9回 William Saroyan (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

William Saroyan, My Name is Aram より“The Summer of the Beautiful White Horse”

第10回 William Saroyan (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

講読続き、及び解説。

第11回 William Saroyan (3)

予習内容：配布プリント、及びディスカッション準備考察

予習時間：60分

復習内容：考察まとめ

復習時間：30分
講読続き、及びグループディスカッション

第12回 Jane Austin (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：60分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

Jane Austin, Pride and Prejudice抜粋

第13回 Jane Austin (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：60分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

講読続き、及び映画紹介

第14回 Summary

予習内容：授業復習

予習時間：90分

復習内容：答え合わせ

復習時間：30分

小テスト

第15回 Presentation

予習内容：リサーチ及び発表原稿作成

予習時間：90分

復習内容：考察まとめ

復習時間：30分

グループ内プレゼンテーション

エッセイ提出

■ ホームページ

科目名 :	言語演習 (英語) 4				
英文名 :	Language Seminar(English) 4				
担当者 :	滝口 智子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この科目では映画『魔法にかけられて』(Enchanted)を教材として、様々な生きた英語に触れます。英語の聴解力を高めると同時に、映画の場面について説明し、感想を伝え、議論することで、英作文や口頭発表のための力を身に付けていきます。授業には必ず辞書を持参すること。なお、教育効果を考慮し、受講者数調整のため、初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は、履修不可です。

■ 学習・教育目標及び到達目標

映画を鑑賞しレビューを行う際には、その映画で背景とされる時代や文化への理解、さらには、受動的に楽しむだけではなく作り手の立場にも思いを寄せることが求められます。映画を教材として学ぶことで、エンターテインメントとしての映画鑑賞という姿勢から一歩進めて、英語運用能力を養いつつ、国際的な教養や異文化理解を高めることを目標とします。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 60%
課題・発表 20%
参加点 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題は適宜添削します。

■ 教科書

映画『魔法にかけられて』(Enchanted) プリント配布

■ 参考文献

授業内で紹介

■ 関連科目

言語演習 (英語) 1・言語演習 (英語) 2・言語演習 (英語) 3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階講師控室
tom106@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金1-2

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Warm up, Scene 1

アニメの世界のお姫様

復習内容 : スクリプトの復習

復習時間 : 30分

課題をともに作成するための班分けを行い、授業の概要を理解します。

続けて、映画の Scene 1 を視聴します。

第2回 Scene 1

アニメの世界のお姫様

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答の復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、主なセリフを暗唱。

第3回 Scene 2

パパのお仕事は？

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第4回 Scene 3

ニューヨークへようこそ

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第5回 Scene 4

王子さま、継母、ニューヨークにやってくる

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第6回 Scene 5

セントラル・パークで踊ろう

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第7回 Scenes 1～5 まとめ (ディクテーションなど)

予習内容：これまでのsceneのスク립トを読む

予習時間：60分

復習内容：ディクテーション部分の音読

復習時間：30分

ディクテーション練習を行うことで、難しい英語の聴解力を高める。

第8回 scene 6

王子さまは来やしない

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習

予習時間：30分

復習内容：英問英答復習

復習時間：30分

難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。

感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第9回 scene 7

サヨナラの前に：舞踏会に行こう

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習
予習時間：30分
復習内容：英問英答復習
復習時間：30分
難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。
感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第10回 scene 8

サヨナラは言いたくない

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習
予習時間：30分
復習内容：英問英答復習
復習時間：30分
難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。
感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第11回 scene 9

継母の呪い

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習
予習時間：30分
復習内容：英問英答復習
復習時間：30分
難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。
感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第12回 scene 10

ドラゴンからロバートを救え

予習内容：単語と熟語調べ、発音練習
予習時間：60分
復習内容：英問英答復習
復習時間：30分
難しい箇所の翻訳、構文分析、英問英答。
感想を英語で作成、大事なセリフを暗唱。

第13回 scene 6 ～ scene 10 まとめ、ディクテーション

予習内容：映画後半のスク립トを読み直す
予習時間：60分
復習内容：ディクテーション部分の口頭練習
復習時間：30分
映画後半のまとめと聞き取りの練習

第14回 映画全体のまとめ

予習内容：全体のスク립トを読み直す
予習時間：60分
復習内容：原稿を読む練習を行う。
復習時間：30分
あらすじを英語で書く練習を行う。
好きな場面やセリフを選び、感想を英語で書く練習を行う。
完成原稿を口頭発表する。

第15回 関連映画の視聴と英問英答

復習内容：英問英答の復習を行う。
復習時間：30分
関連映画の視聴と英問英答を行う。

■ ホームページ

科目名 :	言語演習（英語） 4				
英文名 :	Language Seminar(English) 4				
担当者 :	服部 圭子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

TED TALKを扱ったテキストを用い、さまざまなテーマについて、その内容に関する語彙を学び、まとまった文章を読解し、関連情報に触れたうえで、実際のプレゼンテーションを見聞きする。それらを通して、あるテーマに関して英語で意見を述べるために必要な知識や方法を学ぶ。決められた部分に関する予習は必ずすること。辞書は必ず持参すること。

なお、教育効果を考慮し、受講者調整のため、初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は履修不可となります。

■ 学習・教育目標及び到達目標

英語でのコミュニケーション時に扱われるさまざまなテーマに関する見識を深めるとともに、語彙力や英語表現力を向上させる。また、関連の内容について書かれた英語の文章を読んで大意が理解できるようになること、プレゼンテーションを見聞きして、内容が理解できクリティカルに考えるようになることを目標とする。リスニング力の向上を図ると同時に、ノートテーキングの技術を高め、聞き取ったものをまとめて発表したり、関連のトピックについて調査したり自分自身の意見を述べたりする力を養成する。

この科目の修得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

小テスト等 30%

授業中の発表および課題等 30%

プレゼンテーション 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

発表およびプレゼンテーションの後、授業内で行います。

■ 教科書

[ISBN]-13:978-1-337-68859-8 21st Century Communication: Listening, Speaking, and Critical Thinking, Lida Baker, Laurie Blass, (CENGAGE Learning)

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

言語演習（英語） 1・2・3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠しています。

■ 研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階）・khattori@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 5限（その他の時間帯は、事前に予約してください）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、イントロダクション

予習内容：簡単な英語での自己紹介ができるように準備する。Welcome to 21st Century Communicationの部分を読む。

予習時間：30分

復習内容：自己紹介を次週提出できるように英作する。

復習時間：60分

(1)授業の進め方の説明

- ・ 授業の目標
- ・ 授業の計画
- ・ 指導方法
- ・ 評価方法
- ・ 予習、復習について

(2)受講に際しての注意事項

(3)自己紹介

第2回 Unit 1 Small Action, Big Results

予習内容： Before you listenの語彙を調べる。

予習時間： 45分

復習内容： After you listenの意見をまとめる。Water Facts Quizを行う。

復習時間： 45分

自己紹介の続き。自分の好みや関心が言えるように練習する。Tips for Saving Waterを用いて、環境問題について考え、数字を聞き取ったり、リスニングをしながらノートテキングを行う。

第3回 Unit 1 Small Action, Big Results

予習内容： Before you watch の語彙や表現を調べ、問題を解く。

予習時間： 45分

復習内容： After you watchの演習を行う。

復習時間： 45分

TED TALKの"How to use a paper towel"を用いて、ペーパータオル使い方をテーマに、クリティカルに英語で議論するための表現を学ぶ。

第4回 Unit 1 Small Action, Big Results

予習内容： 簡単なプレゼンテーションを行うためのWhat, How, Whereについて考える。

予習時間： 30分

復習内容： 発表したプレゼンテーションを振り返り、修正を加えて書き直す。

復習時間： 60分

wh-questionsを用いて、環境問題をテーマに、簡単なプレゼンテーションを組み立て、クラスで発表する。

第5回 Unit2 Connectiong to Nature

予習内容： Before you listenの語彙を調べる。

予習時間： 45分

復習内容： After you listenの意見をまとめる

復習時間： 45分

省略やを学ぶ。TED TALKの"Photos from a Safari"を用いて、話し手のトーンや感情を聞き取る練習をするとともに、描写的な表現を学ぶ。

第6回 Unit2 Connectiong to Nature

予習内容： Before you watch の語彙や表現を調べ、問題を解く。

予習時間： 45分

復習内容： After you watchの演習を行う。

復習時間： 45分

TED TALKの"Photos from a storm chaser"を用いて、ポーズの置き方に留意してまとめりで内容を捉える方法を学ぶ。省略やシンボルを用いたノートテキングや、文章を予測する聞き方についても学ぶ。

第7回 Unit2 Connectiong to Nature

予習内容： Presentation Scoring Rubrics(p.179)の項目を読む。

予習時間： 45分

復習内容： 視覚的に効果的であることを意識したプレゼンテーションを準備する。

復習時間： 45分

絵や図、写真、ビデオ、地図、その他のvisual aidsを効果的に用いて、自然との関わりに関するプレゼンテーションを行う練習をする。どのような点で評価されるかについて学ぶ。

第8回 Unit1～Unit2のまとめ

予習内容： 視覚的に効果的であることを意識したプレゼンテーションを準備する。

予習時間： 45分

復習内容： 発表に対する評価を踏まえて、読み原稿およびパワーポイントを修正する。

復習時間： 45分

Unit1～Unit2で学んだ内容や表現、プレゼンテーションの技術などについて復習する。Independent Student Handbook

(p.162-177)の利用を確認する。

第9回 Unit 3 Going Places

予習内容：Before you listenの語彙を調べる。

予習時間：45分

復習内容：After you listenの意見をまとめ、Communicateの課題を行う。

復習時間：45分

"No Car, No Worries"を用いて、イントネーションに留意した聞き方を学ぶ。

第10回 Unit 3 Going Places

予習内容：Before you watch の語彙や表現を調べ、問題を解く。

復習内容：After you watchの演習を行う。

TED TALK "A Skate board with a boost"を用いて、情報に視覚的表現の要素を盛り込んだ図や表の読み取り方を学習する。

第11回 Unit 3 Going Places

予習内容：Think Criticallyの部分を読む。

予習時間：30分

復習内容：Put it togetherの図を用いて、自分の意見をまとめる。

復習時間：60分

TED TALKの"A Skate board with a boost"を用いて、クリティカルに考え、概念を整理する方法を学習する。

第12回 Unit 4 Music, Music, Everywhere

予習内容：Before you listenの語彙を調べる。

予習時間：45分

復習内容：After you listenの意見をまとめる。

復習時間：45分

'What's your Music-Listening Style?'を用いて、プレゼンテーションにおける理由の述べ方について学習する。音の続け方についても学ぶ。

第13回 Unit 4 Music, Music, Everywhere+プレゼンテーションの準備

予習内容：Before you listenの語彙を調べる。

予習時間：45分

復習内容：After you watchの演習を行う。プレゼンテーションの準備をする。

復習時間：60分

TED TALKの"Why I take the piano on the road ... and in the air"を用いて、クリティカルに考え、概念を整理する方法を学習する。最終プレゼンテーションに向けて、効果的な話の導入表現も学ぶ。

第14回 まとめと発表（1）

予習内容：Presentation Strategies (pp.173-175)を読む。

予習時間：45分

復習内容：プレゼンテーションの準備、または発表した原稿の修正を行う。

復習時間：60分

- ・後期の授業で扱ったテーマのなかで自分をもっとも興味を持った社会問題についてリサーチをする。
- ・自分の主張を論理的に展開させ、クリティカルな視点を持ち、説得力のある原稿を作成する。
- ・そのテーマに関してプレゼンテーションを行う。（質疑応答を含む）
- ・他の発表者のプレゼンテーションを評価する。

第15回 まとめと発表（2）

予習内容：Vocabulary Learning Strategies (pp.175-177)を読む。

予習時間：45分

復習内容：各自のプレゼンテーションを振り返り、コメントなどのフィードバックを加味して提出用の修正原稿を作成する。

復習時間：60分

- ・後期の授業で扱ったテーマのなかで自分をもっとも興味を持った社会問題についてリサーチをする。
- ・自分の主張を論理的に展開させ、説得力のある原稿を作成する。
- ・そのテーマに関してプレゼンテーションを行う。（質疑応答を含む）

■ホームページ

科目名 :	言語演習（英語） 4				
英文名 :	Language Seminar(English) 4				
担当者 :	中土井 智				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

「言語演習3」に引き続き、英語で書かれたいくつかの文学作品を主にイギリス、アメリカから紹介する。演習では実際に原文で読む事で英語の語感と文法読解力を磨くと同時に、作品が書かれた背景にある社会と文化について見識を広める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- (1) 英語で書かれた文学を読む楽しさを覚える。
- (2) 構文を読み取る力を鍛える。
- (3) 主な英米文学の作家と作品を原文と共に知り、文化的な教養を身につける。
- (4) 他者との議論を通じて自分の考えを持ち、意見を発信することに慣れる。

■ 成績評価方法および基準

- 学期末レポート 40%
- 授業での発表 30%
- ホームワーク等の課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業にて答案を返却し、解説を行う。

■ 教科書

授業にて指示する。

■ 参考文献

適宜授業にて指示する。

■ 関連科目

言語演習（英語）1 2 3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） ・ nakadoi1704@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

- 予習内容：本授業のシラバスを読む
- 予習時間：15分
- 復習内容：本授業のシラバスを読む
- 復習時間：15分
- 授業に関する概論と必要事項の伝達

第2回 Edgar Allan Poe (1)

- 予習内容：配布プリント
- 予習時間：45分
- 復習内容：配布プリント確認
- 復習時間：30分

Edgar Allan Poe, "The Black Cat"

第3回 Edgar Allan Poe (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

講読続き、及び解説

第4回 Edgar Allan Poe (3)

予習内容：配布プリント、及びディスカッション準備考察

予習時間：45分

復習内容：考察まとめ

復習時間：30分

講読続き、及びグループディスカッション

第5回 Emily Dickinson (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

Emily Dickinson, 'A Narrow Fellow in the Grass', 'A Bird came down the Walk'

第6回 Emily Dickinson (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

精読続き、及び解説

第7回 George Orwell (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

George Orwell, "Shooting an Elephant"

第8回 George Orwell (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

講読続き、及び解説

第9回 George Orwell (3)

予習内容：配布プリント、及びディスカッション準備考察

予習時間：60分

復習内容：考察まとめ

復習時間：30分

講読続き、及びグループディスカッション

第10回 Judith Wright (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

Judith Wright, "Eve to her Daughters"他

第11回 Judith Wright (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

精読続き、及び解説

第12回 J.M. Coetzee (1)

予習内容：配布プリント

予習時間：60分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

J.M Coetzee, “The Dog”

第13回 J.M. Coetzee (2)

予習内容：配布プリント

予習時間：45分

復習内容：配布プリント確認

復習時間：30分

講読続き、及び解説

第14回 Summary

予習内容：授業復習

予習時間：90分

復習内容：答え合わせ

復習時間：30分

小テスト

第15回 Presentation

予習内容：リサーチ及び発表原稿作成

予習時間：90分

復習内容：考察まとめ

復習時間：30分

グループ内プレゼンテーション

エッセイ提出

■ **ホームページ**

科目名 :	言語演習（英語） 4				
英文名 :	Language Seminar(English) 4				
担当者 :	上村 バックス 尚美				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	集中
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

英語を手段として様々な内容の素材を解釈・理解したり、英語力そのものの向上のための訓練を演習形式で行う。授業には必ず辞書を持参すること。なお、教育効果を考慮し、受講者数調整のため、初日に抽選を行う場合がある。その際、初日を欠席した学生は、履修不可となる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

プロフェッショナルとして活動できるための英語をどのように習得するか、また、仕事に利用できるように言語ツールとリソースの使い方を学ぶ。コーパスの構築、コンコーダンスソフトの使い方、Websiteの活用方法を練習する。なお、教育効果を考慮し、受講者数調整のため、初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は、履修不可です。

■ 成績評価方法および基準

ポートフォリオ 50%
授業中の発表 30%
授業中の課題提出 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

授業内で指示します。

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

言語演習（英語） 1 2 3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）：backes@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

Websiteの活用術

予習内容：英語による理工系分野のサイトを調査してURLを持参する。

予習時間：45分

復習内容：授業中に学習した理工系分野特有の表現などをまとめる。

復習時間：45分

理工系分野における英語の重要性や言語習得について講義する。

理工系分野特有の表現や理論構造をジャンルアプローチを用いて講義する。

第2回 科学技術分野の表現（数字、数式などの読み方）

予習内容：自分に関連した分野での数式など専門的表現を調査する。

予習時間：45分

復習内容：授業中に学習したものととも数式などの表現をまとめる。

復習時間：45分

理工系分野では数式など英語に直訳すると誤訳になる場合が多く、英語ではどのように表現されるか発音も含めて学習する。

第3回 科学技術分野の専門用語の発音、文法など

予習内容：自分に関連した分野での専門的表現を調査する。

予習時間：45分

復習内容：授業中に学習したものととも専門用語などの表現をまとめる。

復習時間：45分

理工系では専門用語が頻出するが、専門用語を単体で学習するのではなく文中でどのように使用されるかを学習する。

第4回 コーパスでの発見（1）

予習内容：自分の関連分野の研究論文を5本選択する。

予習時間：45分

復習内容：共起表現を3件所定の書式でまとめる。

復習時間：45分

コーパスソフトを用いて共起表現の分析の手法を学習する。

第5回 コーパスでの発見（2）

予習内容：選択した研究論文をテキストファイルに保存する。

予習時間：45分

復習内容：共起表現を3件所定の書式でまとめる。

復習時間：45分

第6回 Websiteを利用しての発表練習（1）

一般的な会話でペア練習

予習内容：オンライン音声教材で会話文を検索する。

予習時間：45分

復習内容：会話文をシャドーイング練習し、録音する。

復習時間：45分

第7回 Websiteを利用しての発表練習（2）

スピーチなどのモノログ練習

予習内容：オンライン音声教材でスピーチを検索する。

予習時間：45分

復習内容：スピーチをシャドーイング練習し、録音する。

復習時間：45分

第8回 Websiteを利用しての発表練習（3）

科学技術ニュースの伝え方

予習内容：科学技術ニュースを3本検索する。

予習時間：45分

復習内容：科学技術ニュースをシャドーイング練習し録音する。

復習時間：45分

第9回 Websiteを利用しての発表練習（4）

NatureやScience Podcastなどのrecitation

予習内容：Podcastsを視聴する。

予習時間：45分

復習内容：Podcastsを1～2分間分を暗記し録音する。

復習時間：45分

第10回 Websiteを利用しての発表練習（5）

研究分野のPodcast的な紹介

予習内容：自分の研究分野に近いPodcastsを検索する。

予習時間：45分

復習内容：自分の研究分野の紹介をPodcast的にレポートする。

復習時間：45分

第11回 論文のジャンル分析（タイトル）

予習内容：研究論文を5本選ぶ。

予習時間：45分

復習内容：授業中に学習したようにタイトルを所定の書式にまとめる。

復習時間：45分

第12回 論文のジャンル分析（要旨）

予習内容：選択した研究論文のタイトルと要旨の部分を分類する。

予習時間：45分

復習内容：授業中に学習したように要旨を所定の書式にまとめる。

復習時間：45分

第13回 論文のジャンル分析（実験方法）

予習内容：選択した研究論文の実験方法の部分を分類する。

予習時間：45分

復習内容：授業中に学習したように実験方法を所定の書式にまとめる。

復習時間：45分

第14回 論文のジャンル分析（結果、考察）

予習内容：選択した研究論文の結果と考察の部分を分類する。

予習時間：45分

復習内容：授業中に学習したように結果と考察を所定の書式にまとめる。

復習時間：45分

第15回 研究分野の発表

予習内容：自分の研究分野の紹介をどのようにまとめるか考えてくる。

予習時間：45分

復習内容：自分の研究分野の紹介を背景、先行研究、現在注目されている研究などをもとに準備する。

復習時間：45分

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 3 (コンプリヘンション)				
英文名 :	Science English (Comprehension) 3				
担当者 :	長谷川 由美				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・ 伝統ある科学雑誌Scienceのオンライン版掲載の記事を題材にしたテキストを使用し、理論的展開が明快な科学エッセイの読解に重点を置いた学習を行います。
- ・ 授業中にはグループやペアワークをしますので、積極的に参加してください。
- ・ 授業には辞書を必ず持参しましょう。
- ・ 受講期間中にランチタイムリーディングに参加してください（詳細は授業中に指示）。
- ・ 単語などの小テストを行うことがあります（詳細は授業中に指示）。
- ・ 受講期間中にTOEICの公開テストやTOEIC-IPテストを受講するようにしましょう。
- ・ 予習必須のクラスです。予習は必ずしてきましょう。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 科学英語への関心と実践的英語力の向上を養うことを本授業の教育目標とします。
- ・ 中級レベル以上の科学英文を読み、内容を理解できる。
 - ・ 本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。
 - ・ 本文に関連した内容の英文を読み、理解することができる。
 - ・ 本文に関連した内容の英文で使われている科学英語の語彙力を向上させる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

Science Fair : 『Science』で読む科学の世界
(野崎・松本・クレアリー 南雲堂 : 2012) ISBN978-4-523-17698-5
初回授業時まで購入しておくこと。(コピー不可)
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

理系英語 4 (コンプリヘンション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

長谷川研究室 (2号館5階) ・ hasegawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜3限目 (そのほかの時間帯は必ず予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ

予習内容：Unit1：Why Diets Fail（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方
- ・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用制限について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に関する注意点について

第2回 Unit1：Why Diets Fail前半

予習内容：Unit1：Why Diets Fail後半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit1：Why Diets Fail前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

- ・なぜダイエットが難しいのかについての英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第3回 Unit1：Why Diets Fail後半

予習内容：Unit2：Dance Moves前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit1：Why Diets Fail後半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

- ・なぜダイエットが難しいのかについての英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第4回 Unit2：Dance Moves前半

予習内容：Unit2：Dance Moves後半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit2：Dance Moves前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

- ・ダンスの動きの魅力に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第5回 Unit2：Dance Moves後半

予習内容：Unit3：The Origins of Tidiness前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit2：Dance Moves後半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

- ・ダンスの動きの魅力に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第6回 Unit3：The Origins of Tidiness前半

予習内容：Unit3：The Origins of Tidiness後半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit3：The Origins of Tidiness前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

- ・整理整頓の人類史的起源に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する

第7回 Unit3：The Origins of Tidiness後半

予習内容：Unit4：Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit3：The Origins of Tidiness後半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

- ・整理整頓の人類史的起源に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する

第8回 Unit4 : Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material前半

予習内容 : Unit4 : Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material後半 (内容理解・演習問題)

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit4 : Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material前半 (語彙・熟語の復習)

復習時間 : 30分

- ・ 蜘蛛の糸の研究と応用に関する英文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第9回 Unit4 : Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material後半

予習内容 : Unit5 : Goodbye to Sunspots?前半 (内容理解・演習問題)

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit4 : Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material後半 (語彙・熟語の復習)

復習時間 : 30分

- ・ 蜘蛛の糸の研究と応用に関する英文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第10回 Unit5 : Goodbye to Sunspots?前半

予習内容 : Unit5 : Goodbye to Sunspots?後半 (内容理解・演習問題)

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit5 : Goodbye to Sunspots?前半 (語彙・熟語の復習)

復習時間 : 30分

- ・ 太陽黒点減少についての英文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第11回 Unit5 : Goodbye to Sunspots?後半

予習内容 : Unit6 : The Moon's Phase Affects Rainfall前半 (内容理解・演習問題)

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit5 : Goodbye to Sunspots?後半 (語彙・熟語の復習)

復習時間 : 30分

- ・ 太陽黒点減少についての英文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第12回 Unit6 : The Moon's Phase Affects Rainfall前半

予習内容 : Unit6 : The Moon's Phase Affects Rainfall後半 (内容理解・演習問題)

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit6 : The Moon's Phase Affects Rainfall前半 (語彙・熟語の復習)

復習時間 : 30分

- ・ 月の周期と降水量の関係についての英文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第13回 Unit6 : The Moon's Phase Affects Rainfall後半

予習内容 : Unit7 : Safe Passage for Salmon前半 (内容理解・演習問題)

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit6 : The Moon's Phase Affects Rainfall後半 (語彙・熟語の復習)

復習時間 : 30分

- ・ 月の周期と降水量の関係についての英文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第14回 Unit7 : Safe Passage for Salmon前半

予習内容 : Unit7 : Safe Passage for Salmon後半 (内容理解・演習問題)

予習時間 : 90分

復習内容 : Unit7 : Safe Passage for Salmon前半 (語彙・熟語の復習)

復習時間 : 30分

- ・ 鮭の稚魚にやさしい河川についての英文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第15回 Unit7 : Safe Passage for Salmon後半

予習内容 : 定期試験のための勉強 (総復習)

復習内容 : Unit7 : Safe Passage for Salmon後半 (語彙・熟語の復習)

復習時間 : 30分

- ・ 鮭の稚魚にやさしい河川についての英文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

定期試験

授業で学んだところまでを試験範囲とします。

■ホームページ

科目名 :	理系英語 3 (コンプリヘンション)				
英文名 :	Science English (Comprehension) 3				
担当者 :	武知 薫子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・ 科学的な英文を要点を把握しながら読み進める「パラグラフ・リーディング」を学習します。
- ・ 後期の理系英語3と連動して開講されるため、前期では、教本のChapter 1 から Chapter 6 を学習します。
- ・ 各講義では教本の各 Chapter を半分に分けて学習し、2つの講義で1 Chapter分を終えます。
- ・ 各Chapterの終了回で、グループ学習を用いた発展的な活動を行い、英語への理解を深化させます。
- ・ 辞書（電子辞書を含む）を必ず持参してください。スマートフォンや携帯電話での検索・辞書アプリは原則使用不可とします。

■ 学習・教育目標及び到達目標

段落ごとに要点を把握する「パラグラフ・リーディング」を学び、効率のよい読解方を身に付けるとともに、単語力・文法力といった基本的な英語力を見直し、グループ学習を通じて英語を用いたコミュニケーション力を培うことを、本授業の教育目標とします。

- ・ 学習した語い・文法をもとに、400～450字程度の科学的な内容の英文を読み解き、理解できる。
- ・ 学習した語彙・文法・慣用句を、自分から発信する表現に応用して用いることができる。
- ・ 科学的な小論文の構造を理解し、要旨を把握することができる。
- ・ 科学的な小論文形式の短い英文を書くことができる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題（宿題を含む） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■ 教科書

『Reading Choice』（山科美和子 他、センゲージラーニング：2013）
[ISBN]9781285197494
教科書の販売時期に必ず購入すること。（コピー不可）

この他、必要に応じて授業中にプリントを配付します。

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

理系英語 4 (コンプリヘンション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・datatuj@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 パラグラフ・リーディング：高校での英語学習から、大学での英語学習への転換

予習内容：Chapter 1（前半）

予習時間：60分

復習内容：クラスルールにそって、課題を準備する。

復習時間：60分

オリエンテーション、ウォームアップ

1. 授業の進め方の説明
 - ・予習の進め方
 - ・授業の進め方（ペアワーク、グループワークについて）
 - ・ノートの取り方
2. 受講に関する注意事項
 - ・欠席／遅刻について
 - ・忘れ物（テキスト・辞書について）
 - ・携帯電話・スマートフォンの使用制限について
 - ・小テストについて
 - ・定期試験について
 - ・総合評価について

第2回 Chapter 1: A Cultural Difference: Being on Time（前半）

予習内容：Chapter 1（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 1（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第3回 Chapter 1: A Cultural Difference: Being on Time（後半）

予習内容：Chapter 1の提出物、Chapter 2（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 1の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第4回 Chapter 2: Changing Lifestyles and New Eating Habits（前半）

予習内容：Chapter 2（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 2（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第5回 Chapter 2: Changing Lifestyles and New Eating Habits（後半）

予習内容：Chapter 2の提出物、Chapter 3（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 2の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第6回 Chapter 3: Technology Competes for Family Time（前半）

予習内容：Chapter 3（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 3（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第7回 Chapter 3: Technology Competes for Family Time（後半）

予習内容：Chapter 3の提出物、Chapter 4（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 3の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第8回 Chapter 4: Language: Is It Always Spoken?（前半）

予習内容：Chapter 4（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 4（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する

第9回 Chapter 4: Language: Is It Always Spoken?（後半）

予習内容：Chapter 4の提出物、Chapter 5（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 4の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第10回 Chapter 5: Loneliness: How Can We Overcome It?（前半）

予習内容：Chapter 5（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 5（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する

第11回 Chapter 5: Loneliness: How Can We Overcome It?（後半）

予習内容：Chapter 5の提出物、Chapter 6（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 5の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第12回 Chapter 6: The Importance of Grandmothers（前半）

予習内容：Chapter 6（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 6（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第13回 Chapter 6: The Importance of Grandmothers（後半）

予習内容：Chapter 6の提出物

予習時間：60分

復習内容：Chapter 6の要点のまとめ

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第14回 復習と発表（1）

予習内容：応用演習の成果発表の準備

予習時間：60分

復習内容：要点のまとめ、試験にむけての弱点の強化

復習時間：60分

- ・グループワーク、または個人で、Chapter 1からChapter 6で学んだパラグラフリーディングのやり方、学習の仕方のポイントを演習問題を通して復習し、不明確な箇所は随時質問する。
- ・各Chapterの後半の応用演習の中から各自が1つ、2つを選び、クラスまたはグループでその成果を発表し、演習での気づきと学びをクラスメートと共有する。

第15回 復習と発表（2）

予習内容：応用演習の成果発表の準備

予習時間：60分

復習内容：要点のまとめ、試験にむけての弱点の強化

復習時間：60分

- ・グループワーク、または個人で、Chapter 1からChapter 6で学んだパラグラフリーディングのやり方、学習の仕方のポイントを演習問題を通して復習し、不明確な箇所は随時質問する。
- ・各Chapterの後半の応用演習の中から各自が1つ、2つを選び、クラスまたはグループでその成果を発表し、演習での気づきと学びをクラスメートと共有する。

定期試験

Chapter 1 からChapter 6までの学習内容から、総括的に出題する。

■ホームページ

科目名 :	理系英語 3 (コンプリヘンション)				
英文名 :	Science English (Comprehension) 3				
担当者 :	中土井 智				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理系英語の実践的な力を身につけるための授業。AFP World Academic Archive (WAA) の映像を使用する。2回の授業につき1つの、「環境」・「健康」・「科学技術」いずれかに関するトピックを紹介した記事を扱う。前半ではニュースのリスニング・リーディングを中心的行い、後半ではトピックに関連したエッセイを読み内容理解を進展させ、理解度をライティングで確かめる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 「理系英語4」と合わせて通年での学習を通して、英語で書かれた記事の概要を理解できる実力を養う。
2. ニュースを目で見て、耳で聞き、放送原稿を読み、関連した問題に英語で答える活動を積み重ねる事で総合的な英語力を鍛える。
3. 英語によるメディアを日常的に活用できる。
4. 社会事情や科学技術に関する話題への興味と理解を進展させる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業にて答案を返却し、解説を行う。

■ 教科書

[ISBN] 978-4-7919-6034-7

『APF World Focus — Environment, Health, and Technology 一』 (穴戸真, Kevin Murphy, 高橋真理子: 2017)

■ 参考文献

授業にて指示する。

■ 関連科目

理系英語4 (コンプリヘンション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・ nakadoi1704@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : 本授業のシラバスを読む

予習時間 : 15分

復習内容 : 本授業のシラバスを読む

復習時間 : 15分

授業に関する概要説明と必要事項の伝達

第2回 Lesson1 Global Warming and Climate Change

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第3回 Lesson1 Global Warming and Climate Change

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第4回 Lesson2 Diet and Health for Long Lives

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第5回 Lesson2 Diet and Health for Long Lives

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第6回 Lesson3 Self-Driving for the Future

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第7回 Lesson3 Self-Driving for the Future

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第8回 Review Test 1

予習内容：Lesson1～Lesson3
予習時間：60分
復習内容：問題プリント
復習時間：30分
Lesson1～Lesson3の確認テスト

第9回 Lesson4 Sustaining Biodiversity and Protecting Species

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第10回 Lesson4 Sustaining Biodiversity and Protecting Species

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第11回 Lesson5 3D Printers for Creating Body Parts

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第12回 Lesson5 3D Printers for Creating Body Parts

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第13回 Lesson6 IT and Education

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第14回 Lesson6 IT and Education

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第15回 Review Test 2

予習内容：Lesson4～Lesson6
予習時間：60分
復習内容：問題プリント
Lesson4～Lesson6の確認テスト

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 3 (プレゼンテーション)				
英文名 :	Science English (Presentation) 3				
担当者 :	服部 圭子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

英語でのプレゼンテーションに関する知識とスキルを、テキストやモデルスピーチによる実例を通して学んでいきます。英語の運用能力の向上を念頭に、プレゼンテーションの準備、発表、評価を繰り返す中で段階的に実践的なプレゼンテーションのスキルを育成することを目指します。なお、教育効果を考慮し、受講者調整のため、初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は、履修不可となります。

■ 学習・教育目標及び到達目標

英語でのプレゼンテーションに関する知識とスキルをを学び、英語の運用能力を高めながら、論理的で説得力のあるプレゼンテーションをおこなう実践力を身につけることを目標とします。

この科目の修得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%

プレゼンテーション 30%

課題等の提出 20%

小テスト 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■ 教科書

[ISBN] 978-1-107-43578-0 Present Yourself2:second edition, Steven Gershon(Cambridge University Press)

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

理系英語 4 (プレゼンテーション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

服部研究室 (2号館5階) khattori@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜日 5限 (その他の時間帯は必ず予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーションと英語プレゼンテーションの基礎

予習内容: 簡単な自己紹介を考えておく。

予習時間: 30分

復習内容: 英語によるプレゼンテーションについて調べる。

復習時間: 60分

(1) 授業の進め方を説明する。

- ・ 授業の目的
- ・ 授業計画
- ・ 指導方法

- ・評価方法

(2)テキストとDVD等を使ってプレゼンテーションの基礎を説明する。

- ・プレゼンテーションに関する基本的な知識
- ・プレゼンテーションの準備のしかた
- ・プレゼンテーションの実行

第2回 Getting Ready

予習内容：Getting Readyの単語の意味をチェックする。

予習時間：45分

復習内容：授業中に学習した語彙や表現を復習する。

復習時間：45分

オーディエンスのことを把握する。これまでのプレゼンテーションの経験についてペアで話す。準備の過程を確認し、自己紹介に関して自身でブレインストーミングをする。

第3回 Giving your presentation

予習内容：brainstormingに基づき、自己紹介を考える。

予習時間：45分

復習内容：自己紹介を完成させて書く。

復習時間：45分

プレゼンテーション時に大切なテクニックの要素を確認する。各々自己紹介をする。

第4回 Unit1 A person to admire(1)

予習内容：Unit1 A person to admire の単語をチェックする。

予習時間：45分

復習内容：Unit1 A person to admire の問題を解き、表現を復習する。

復習時間：45分

人物描写、ある人の背景や歴史の説明の仕方について学ぶ。

第5回 Unit1 A person to admire(2)

予習内容：Sophieのプレゼンテーションに関する語彙をチェックする。

予習時間：45分

復習内容：Adding impact、Developing presentation techniques の問題を解く。

復習時間：45分

Malalaについて発表する場合の観点について整理し、アウトラインを考える。実際のプレゼンテーションのDVDを見て聞き取り、プレゼンテーションの開始・終了方法、ノートカードの準備について学ぶ。

第6回 Unit1 A person to admire(3)

予習内容：A person to admire を選び、プレゼンテーションを準備する。

予習時間：45分

復習内容：発表原稿を見直して修正する。

復習時間：45分

アイコンタクトについて学び、練習を行い、各自順番に3分間のプレゼンテーションをおこなう。(質疑応答の時間も設ける。)他のクラスメートは評価シートを使ってすべてのプレゼンテーションの評価をし、コメントを書く。

第7回 Unit2 A great vacation idea(1)

予習内容：Unit2 A great vacation ideaの語彙をチェックする。

予習時間：45分

復習内容：授業内で学習した語彙や表現を復習する。

復習時間：45分

旅行に関するインタビューを行い、目的地を決めて旅行プランを立てる。旅行先について述べる際の表現を学ぶ。

第8回 Unit2 A great vacation idea(2)

予習内容：Andyのプレゼンテーションに関する語彙をチェックする。

予習時間：45分

復習内容：プレゼンテーションに関する表現を復習する。

復習時間：45分

旅行のアイデア作成過程、プレゼンテーションのアウトラインの作成過程を、アンドーの例から学ぶ。そして、各々の発表アイデアを練る。また、オーディエンスへの質問の仕方や結論の述べ方について学ぶ。

第9回 Unit2 A great vacation idea(3)

予習内容：休暇に行きたいところについてパソコンで調べ、パワーポイントを利用し、発表する準備を行う。

予習時間：60分

復習内容：発表した内容を振り返り、修正版を作成する。

復習時間：45分

ポディーランゲージについて学び、グループ内で練習を行い、タイムを計る。順番に各グループがプレゼンテーションをおこなう。(質疑応答の時間を設ける。)他のクラスメートは評価シートを使ってすべてのプレゼンテーションの評価をし、それぞれコメントを書く。

第10回 Unit 3 Young people today (1)

予習内容：Unit 3 Young people today の語彙をチェックする。

予習時間：45分

復習内容：授業で学習した表現を復習し、簡単なアンケートを英語で作成する。

復習時間：60分

調査の仕方について学び、クラス内で簡単な調査を行う。そして、その結果の提示・発表の仕方を学ぶ。

第11回 Unit 3 Young people today (2)

予習内容：調査結果を提示する表現を予習する。

予習時間：45分

復習内容：Kateのプレゼンテーションで用いられた表現を復習し、課題をとく。

復習時間：45分

表やグラフを用いて結果を提示する方法を学ぶ。Young people and technologyに関するモデルプレゼンテーションを見て、調査データの示し方やプレゼンテーションの構成を確認する。

第12回 Unit 3 Young people today (3)

予習内容：Unit 3 Young people today に関する発表のテーマや内容を考える。

予習時間：45分

復習内容：プレゼンテーションの原稿やパワーポイントを作成する。

復習時間：45分

Power Pointの操作(表の追加等)を学ぶ。重要なポイントの強調方法について考える。

これまでのモデルプレゼンテーションを見直し、活用できる語彙や表現について確認し、チェックポイントに留意して、各自テーマを決めてプレゼンテーションの原稿準備をし、スライドを作成・点検し、発表準備を行う。

第13回 プレゼンテーション (1)

予習内容：プレゼンテーションの内容を完成し、発表練習を行う。

予習時間：45分

復習内容：コメントを取り入れて、発表原稿を修正する。質問の仕方を練習する。

プレゼンテーションの前に、ペアやグループでリハーサルをおこなう。(アイコンタクト、声の抑揚やゲスチャーなどの身体的メッセージの効果を意識する)

順番に各自5分程度のプレゼンテーションをおこなう。(質疑応答の時間を設ける。)他のクラスメートは評価シートをつかって、すべてのプレゼンテーションの評価をし、それぞれコメントを書く。

第14回 プレゼンテーション (2)

予習内容：プレゼンテーションの内容を完成し、発表練習を行う。

予習時間：45分

復習内容：コメントを取り入れて、発表原稿を修正する。

復習時間：45分

プレゼンテーションの前に、ペアやグループでリハーサルをおこなう。(アイコンタクト、声の抑揚やゲスチャーなどの身体的メッセージの効果を意識する)

順番に各自5分程度のプレゼンテーションをおこなう。(質疑応答の時間を設ける。)他のクラスメートは評価シートをつかって、すべてのプレゼンテーションの評価をし、それぞれコメントを書く。

第15回 英語プレゼンテーションのまとめ

予習内容：プレゼンテーションの要点や英語表現を確認する。

予習時間：45分

復習内容：プレゼンテーションの内容を修正し、パワーポイントと共に提出する準備をする。

復習時間：60分

各々の発表に対する評価やコメントを参考に、プレゼンテーションのフィードバックをおこなう。自分プレゼンテーションを振り返り、自己評価をする。「プレゼンテーションを成功させるために何が大事か」についてディスカッションをする。前期の授業の総括をする。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 3 (プレゼンテーション)				
英文名 :	Science English (Presentation) 3				
担当者 :	澤邊 興平				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・ 科学雑誌の記事・論文等（ハンドアウトとして配布）を題材に取り上げ、その内容理解を前提に、関連トピックの紹介や批判・分析などを英語による発信・発表として行う事、及びその準備・アドバイスが主な授業内作業となります。
- ・ 初回・次回授業までに各受講生（数名から成るグループ）の発表予定を決めます。
- ・ 他グループの発表に関する建設的コメント・批評も求めます（一定比率で成績に反映させます）。
- ・ 授業には辞書を必ず持参しましょう。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 科学英語への関心と英語による発信力の向上を養うことを本授業の教育目標とします。
- ・ 中級レベルの科学英文を読み、内容を理解できる。
 - ・ 使われている単語や熟語を自分のものにする。
 - ・ それらを用いて、関連内容について英語で発信できる。
 - ・ 本文に関連した内容の英文を見付け、読み、理解し、編集・作文することができる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 40%
小テスト 20%
発表および課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を提示します。

■ 教科書

Writing for Presentations in English ライティングで学ぶ英語プレゼンテーションの基礎
（杉田 由仁 Richard R. Caraker 南雲堂：2013）ISBN 9784523177319
初回授業時までに購入しておくこと。（コピー不可）
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

理系英語 4 (プレゼンテーション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時限前後の休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

授業の進め方の説明

- ・ 予習の進め方
- ・ 授業の進め方
- ・ 課題

受講に際しての注意事項

- ・ 欠席／遅刻について
- ・ 忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・ 携帯電話の使用制限について
- ・ 定期試験について
- ・ 総合評価について

その他、受講に関する注意点について

科学技術英語の特徴

第2回 Chapter1 Section 1 : The History of Our University (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 自分の大学の歴史についての例文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
- ・ 以上の理解に基づき自身の立場からの発信を試みる。

第3回 Chapter1 Section 1 : The History of Our University (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 自分の大学の歴史についての英文を推敲する（前回の続き）。
- ・ 文中に使用されている単語・熟語・文の構造を点検する。
- ・ 他の教育機関についても解説を試みる。

第4回 Chapter1 Section 2 : My Favorite Country (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 自分が関心のある国について書くことで考えをまとめてみる。
- ・ 上の点に関して情報を収集し書いて整理する。

第5回 Chapter1 Section 2 : My Favorite Country (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 自分が関心のある国についての考えを書くことによって深める（前回の続き）。
- ・ 文中に使用すべき単語・熟語・文の構造を理解し、実践に活用する。

第6回 Chapter1 Section 3 : The Four Basic Food Groups (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 4大基本食品群について書くことで考えをまとめてみる。
- ・ 上の点に関して情報を収集し書いて整理する。

第7回 Chapter1 Section 3 : The Four Basic Food Groups (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 4大基本食品群についての考えを書くことによって深める（前回の続き）。

- ・文中に使用するべき単語・熟語・文の構造を理解し、実践に活用する。

第8回 Chapter2 Section 1 : Should Students Wear School Uniforms? (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・学生は制服を着るべきか、という論点について自分の考えを書いてまとめてみる。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第9回 Chapter2 Section 1 : Should Students Wear School Uniforms? (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・学生は制服を着るべきか、という論点について、自分の考えと反対の意見を想定し、それに対する応答を考えることで説得力を増すよう努め、書いて整理する。
- ・上の点に関して複数意見を発掘し、情報を収集のうえ、書いて整理する。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第10回 Chapter2 Section 2 : The Case for Organ Donation (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・臓器提供という論点について自分の考えを書いてまとめてみる。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第11回 Chapter2 Section 2 : The Case for Organ Donation (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・臓器提供という論点について、自分の考えと反対の意見を想定し、それに対する応答を考えることで説得力を増すよう努め、書いて整理する。
- ・上の点に関して複数意見を発掘し、情報を収集のうえ、書いて整理する。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第12回 Chapter2 Section 3 : Global Warming (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・地球温暖化という論点について自分の考えを書いてまとめてみる。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第13回 Chapter2 Section 3 : Global Warming (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・地球温暖化という論点について、自分の考えと反対の意見を想定し、それに対する応答を考えることで説得力を増すよう努め、書いて整理する。
- ・上の点に関して複数意見を発掘し、情報を収集のうえ、書いて整理する。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第14回 プレゼンテーション演習 (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：各発表の要点をまとめる。

復習時間：45分

- ・この時点までに準備された原稿に基づきグループごとに発表してもらいます。

- ・聴き手側からのフィードバックも求めます。

第15回 プレゼンテーション演習（後半）

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：各発表の要点をまとめる。

復習時間：45分

- ・この時点までに準備された原稿に基づきグループごとに発表してもらいます（前回の続き）。
- ・聴き手側からのフィードバックも求めます。

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	理系英語 4 (コンプリヘンション)				
英文名 :	Science English (Comprehension) 4				
担当者 :	吉川 裕介				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

伝統ある科学雑誌Scienceのオンライン版掲載の記事を題材にしたテキストを使用し、理論的展開が明快な科学エッセイの読解に重点を置いた学習を行う。特に、専門性の高い内容となるため必ず予習をして授業に臨むことを出席の条件とする。授業では予習の段階で精読ができていることを前提とし、論理的な展開や内容の要約といった解釈を中心に行う。また、担当者を割り当ててテキストの内容を理解するために役立つ資料を準備し、そのハンドアウトの作成までを予習で課すこともある。

■ 学習・教育目標及び到達目標

専門性の高い科学英語を理解できる英語読解力を身につけることを目標とする。以下は到達目標である。

- ・ 中級レベル以上の科学英文を読み、内容を理解できる。
- ・ 本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。
- ・ 本文に関連した内容の英文を読み、理解することができる。
- ・ 本文に関連した内容の英文で使われている科学英語の語彙力を向上させる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

Science Fair : 『Science』で読む科学の世界
(野崎・松本・クレアリー 南雲堂 : 2012) ISBN978-4-523-17698-5
初回授業時まで購入しておくこと。(コピー不可)

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

理系英語3 (コンプリヘンション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

吉川研究室 (2号館5階) y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜3限目 (それ以外の時間帯は必ずメールで予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : シラバスをきちんと読み、授業概要や到達目標を理解した上で履修すること。

予習時間 : 90分

授業運営についての説明

予習・復習についての説明

学内TOEIC IPテストの連絡

評価についての説明

受講に関する注意点について

第2回 Unit 8 Face to Face with Human Mobility Research前半

予習内容：Unit 8 Face to Face with Human Mobility Research前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit 8 Face to Face with Human Mobility Research前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。

教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。

各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第3回 Unit 8 Face to Face with Human Mobility Research後半

予習内容：Unit 8 Face to Face with Human Mobility Research後半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit 8 Face to Face with Human Mobility Research後半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。

教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。

各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第4回 Unit9 Alien Gases in Our Atmosphere前半

予習内容：Unit9 Alien Gases in Our Atmosphere前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit9 Alien Gases in Our Atmosphere前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。

教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。

各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第5回 Unit9 Alien Gases in Our Atmosphere後半

予習内容：Unit9 Alien Gases in Our Atmosphere後半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit9 Alien Gases in Our Atmosphere後半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。

教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。

各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第6回 Unit10 Altitude Doping has its limits前半

予習内容：Unit10 Altitude Doping has its limits前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit10 Altitude Doping has its limits前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。

教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。

各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第7回 Unit10 Altitude Doping has its limits後半

予習内容：Unit10 Altitude Doping has its limits前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit10 Altitude Doping has its limits前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。

教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。

各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第8回 Unit 11 When pigeons flock, who's in command?前半

予習内容：Unit 11 When pigeons flock, who's in command?前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit 11 When pigeons flock, who's in command?前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。
教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。
各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第9回 Unit 11 When pigeons flock, who's in command?前半

予習内容：Unit 11 When pigeons flock, who's in command?前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit 11 When pigeons flock, who's in command?前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。
教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。
各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第10回 Unit 12 Japanese guts are made for sushi前半

予習内容：Unit 12 Japanese guts are made for sushi前半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit 12 Japanese guts are made for sushi前半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。
教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。
各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第11回 Unit 12 Japanese guts are made for sushi後半

予習内容：Unit 12 Japanese guts are made for sushi後半（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit 12 Japanese guts are made for sushi後半（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。
教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。
各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第12回 Unit 13 Cats' tongue employ tricky physics

予習内容：Unit 13 Cats' tongue employ tricky physics（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit 13 Cats' tongue employ tricky physics（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。
教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。
各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第13回 Unit 14 India's groundwater disappearing at alarming rate

予習内容：Unit 14 India's groundwater disappearing at alarming rate（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit 14 India's groundwater disappearing at alarming rate（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。
教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。
各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第14回 Unit15 A Greener way to make plastic

予習内容：Unit15 A Greener way to make plastic（内容理解・演習問題）

予習時間：90分

復習内容：Unit15 A Greener way to make plastic（語彙・熟語の復習）

復習時間：30分

本文の理解に齟齬がないかペアで確認し、意見の相違があればどちらを支持するのかを各ペアで確認する。
教員の質問に答えながら理解度を確認し、適宜解説を加える。
各パラグラフの要点を整理し、論旨を要約する。

第15回 まとめ

予習内容：定期試験のための勉強（総復習）

予習時間：30分

復習内容：定期試験のための勉強（総復習）

復習時間：60分

半期を振り返り、全体的なフィードバックを行う。

期末試験についての説明。

定期試験

授業で学んだところまでを試験範囲とする。

■ **ホームページ**

科目名 :	理系英語 4 (コンプリヘンション)				
英文名 :	Science English (Comprehension) 4				
担当者 :	武知 薫子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・ 科学的な英文を要点を把握しながら読み進める「パラグラフ・リーディング」を学習します。
- ・ 後期の理系英語 3 と連動して開講されるため、前期では、教本のChapter 1 から Chapter 6 を学習します。
- ・ 各講義では教本の各 Chapter を半分に分けて学習し、2つの講義で1 Chapter分を終えます。
- ・ 各Chapterの終了回で、グループ学習を用いた発展的な活動を行い、英語への理解を深化させます。
- ・ 辞書（電子辞書を含む）を必ず持参してください。スマートフォンや携帯電話での検索・辞書アプリは原則使用不可とします。

■ 学習・教育目標及び到達目標

段落ごとに要点を把握する「パラグラフ・リーディング」を学び、効率のよい読解方を身に付けるとともに、単語力・文法力といった基本的な英語力を見直し、グループ学習を通じて英語を用いたコミュニケーション力を培うことを、本授業の教育目標とします。

- ・ 学習した語い・文法をもとに、400～450字程度の科学的な内容の英文を読み解き、理解できる。
- ・ 学習した語彙・文法・慣用句を、自分から発信する表現に応用して用いることができる。
- ・ 科学的な小論文の構造を理解し、要旨を把握することができる。
- ・ 科学的な小論文形式の短い英文を書くことができる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題（宿題を含む） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■ 教科書

『Reading Choice』（山科美和子 他、センゲージラーニング：2013）
[ISBN]9781285197494
教科書の販売時期に必ず購入すること。（コピー不可）

この他、必要に応じて授業中にプリントを配付します。

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

理系英語 3 (コンプリヘンション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・datatuj@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 パラグラフ・リーディング：高校での英語学習から、大学での英語学習への転換

予習内容：Chapter 7（前半）

予習時間：60分

復習内容：クラスルールにそって、課題を準備する。

復習時間：60分

オリエンテーション、ウォームアップ

1. 授業の進め方の説明
 - ・予習の進め方
 - ・授業の進め方（ペアワーク、グループワークについて）
 - ・ノートの取り方
2. 受講に関する注意事項
 - ・欠席／遅刻について
 - ・忘れ物（テキスト・辞書について）
 - ・携帯電話・スマートフォンの使用制限について
 - ・小テストについて
 - ・定期試験について
 - ・総合評価について

第2回 Chapter 7:The Reliability of Eyewitnesses（前半）

予習内容：Chapter 7（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 7（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第3回 Chapter 7:The Reliability of Eyewitnesses（後半）

予習内容：Chapter 7の提出物、Chapter 8（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 7の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第4回 Chapter 8: Innocent until Proven Guilty: The Criminal Court System（前半）

予習内容：Chapter 8（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 8（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第5回 Chapter 8: Innocent until Proven Guilty: The Criminal Court System（後半）

予習内容：Chapter 8の提出物、Chapter 9（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 8の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第6回 Chapter 9: Solving Crimes with Modern Technology（前半）

予習内容：Chapter 3（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 3（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第7回 Chapter 9: Solving Crimes with Modern Technology（前半）

予習内容：Chapter 9の提出物、Chapter 10（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 9の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第8回 Chapter 10: Ancient Artifacts and Ancient Air（前半）

予習内容：Chapter 10（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 10（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する

第9回 Chapter 10: Ancient Artifacts and Ancient Air（後半）

予習内容：Chapter 10の提出物、Chapter 11（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 10の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第10回 Chapter 11: Medical Technology: Saving Lives with Robotics（前半）

予習内容：Chapter 11（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 11（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する

第11回 Chapter 11: Medical Technology: Saving Lives with Robotics（後半）

予習内容：Chapter 11の提出物、Chapter 12（前半）の予習

予習時間：60分

復習内容：Chapter 11の要点をまとめる。

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第12回 Chapter 12: Mars Our Neighbor in Space（前半）

予習内容：Chapter 12（後半）

予習時間：60分

復習内容：Chapter 12（前半）

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を学ぶ。
- ・教本の設問に答えながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第13回 Chapter 12: Mars Our Neighbor in Space（前半）

予習内容：Chapter 12の提出物

予習時間：60分

復習内容：Chapter 12の要点のまとめ

復習時間：60分

- ・登場する語句表現を用いてグループワークを行う。
- ・発展的な問いに答え、活動をしながら、パラグラフの要点を把握する方法を学ぶ。
- ・「わからないこと」を質問シートにまとめる。
- ・次の講義までの演習課題（宿題）を熟知する。

第14回 復習と発表（1）

予習内容：応用演習の成果発表の準備

予習時間：60分

復習内容：要点のまとめ、試験にむけての弱点の強化

復習時間：60分

- ・グループワーク、または個人で、Chapter 7からChapter 12で学んだパラグラフリーディングのやり方、学習の仕方のポイントを演習問題を通して復習し、不明確な箇所は随時質問する。
- ・各Chapterの後半の応用演習の中から各自が1つ、2つを選び、クラスまたはグループでその成果を発表し、演習での気づきと学びをクラスメートと共有する。

第15回 復習と発表（2）

予習内容：応用演習の成果発表の準備

予習時間：60分

復習内容：要点のまとめ、試験にむけての弱点の強化

復習時間：60分

- ・グループワーク、または個人で、Chapter 7からChapter 12で学んだパラグラフリーディングのやり方、学習の仕方のポイントを演習問題を通して復習し、不明確な箇所は随時質問する。
- ・各Chapterの後半の応用演習の中から各自が1つ、2つを選び、クラスまたはグループでその成果を発表し、演習での気づきと学びをクラスメートと共有する。

定期試験

Chapter 7 からChapter 12までの学習内容から、総括的に出題する。

■ホームページ

科目名	理系英語 4 (コンプリヘンション)				
英文名	Science English (Comprehension) 4				
担当者	中土井 智				
開講学科	外国語科目				
単 位	1単位	開講年次	3年次	開講期	後期
科目区分	外国語科目				
備 考					

■ 授業概要・方法等

前期科目「理系英語3」に続く後期科目。理系英語の実践的な力を身につけるための授業。AFP World Academic Archive (WAA) の映像を使用する。2回の授業につき1つの、「環境」・「健康」・「科学技術」いずれかに関するトピックを紹介した記事を扱う。前半ではニュースのリスニング・リーディングを中心的に行い、後半ではトピックに関連したエッセイを読み内容理解を進展させ、理解度をライティングで確かめる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 「理系英語4」と合わせて通年での学習を通して、英語で書かれた記事の概要を理解できる実力を養う。
2. ニュースを目で見て、耳で聞き、放送原稿を読み、関連した問題に英語で答える活動を積み重ねる事で総合的な英語力を鍛える。
3. 英語によるメディアを日常的に活用できる。
4. 社会事情や科学技術に関する話題への興味と理解を進展させる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業にて答案を返却し、解説を行う。

■ 教科書

[ISBN] 978-4-7919-6034-7

『APF World Focus — Environment, Health, and Technology 一』 (穴戸真, Kevin Murphy, 高橋真理子: 2017)

■ 参考文献

授業にて指示する。

■ 関連科目

理系英語3 (コンプリヘンション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室) ・ nakadoi1704@gmail.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：本授業のシラバスを読む

予習時間：15分

復習内容：本授業のシラバスを読む

復習時間：15分

授業に関する概要説明と必要事項の伝達

第2回 Lesson7 Protection from Natural Disasters

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第3回 Lesson7 Protection from Natural Disasters

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第4回 Lesson8 Practical Uses of Drones

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第5回 Lesson8 Practical Uses of Drones

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第6回 Lesson9 Garbage Problems

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第7回 Lesson9 Garbage Problems

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第8回 Review Test 1

予習内容：Lesson7～Lesson9
予習時間：60分
復習内容：問題プリント
復習時間：30分
Lesson7～Lesson9の確認テスト

第9回 Lesson10 Eating Disorders

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第10回 Lesson10 Eating Disorders

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第11回 Lesson11 Virtual Reality for Therapy and Treatment

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第12回 Lesson11 Virtual Reality for Therapy and Treatment

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第13回 Lesson12 Ecotourism and Protection of the Natural Habitat

予習内容：「Key Word Study」 & 「Listening Practice」 1&2
予習時間：45分
復習内容：「Comprehension Check」 & 「Summary」
復習時間：15分
本文記事読解

第14回 Lesson12 Ecotourism and Protection of the Natural Habitat

予習内容：「Reading」 & 「Vocabulary Check」
予習時間：30分
復習内容：「Comprehension Questions」 & 「Grammar Check」
復習時間：15分
本文エッセイ読解

第15回 Review Test 2

予習内容：Lesson10～Lesson12
予習時間：60分
復習内容：問題プリント
復習時間：30分
Lesson10～Lesson12の確認テスト

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 4 (プレゼンテーション)				
英文名 :	Science English (Presentation) 4				
担当者 :	服部 圭子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

英語でのプレゼンテーションに関する知識とスキルを、テキストやモデルスピーチによる実例を通して学んでいきます。英語の運用能力の向上を念頭に、プレゼンテーションの準備、発表、評価を繰り返す中で段階的に実践的なプレゼンテーションのスキルを育成することを目指します。なお、教育効果を考慮し、受講者調整のため、初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は、履修不可となります。

■ 学習・教育目標及び到達目標

英語でのプレゼンテーションに関する知識とスキルをを学び、英語の運用能力を高めながら、論理的で説得力のあるプレゼンテーションをおこなう実践力を身につけることを目標とします。

この科目の修得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%

プレゼンテーション 30%

課題などの提出 20%

小テスト 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■ 教科書

[ISBN] 978-1-107-43578-0 Present Yourself2:second edition, Steven Gershon(Cambridge University Press)

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

理系英語 3 (プレゼンテーション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

服部研究室 (2号館5階) khattori@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜日 5限 (その他の時間帯は必ず予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーションと英語プレゼンテーションの基礎

予習内容 : 英語プレゼンテーションに大切なことについて調べる。

予習時間 : 30分

復習内容 : Expansion activities1をする。

復習時間 : 60分

(1)授業の進め方を説明する。

- ・ 授業の目的
- ・ 授業計画
- ・ 指導方法

- ・評価方法

(2)テキストとDVDを使ってプレゼンテーションの基礎を説明する。

- ・プレゼンテーションに関する基本的な知識
- ・プレゼンテーションの準備のしかた
- ・プレゼンテーションの実行

第2回 Unit4 Let me explain (1)

予習内容：Unit4 Let me explain の語彙や表現を調べる。

予習時間：30分

復習内容：Expansion activities 2 をする。

復習時間：60分

トリビアクイズを用いたアクティビティの実施。物事のプロセスの提示の仕方を学ぶ。

第3回 Unit4 Let me explain (2)

予習内容：How we sleep、Adding impactの語彙や表現を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Expansion activities 3 をする。

復習時間：45分

プロセスや段階の説明の仕方を、How We Sleepに関するモデルプレゼンテーションを見て学ぶ。

第4回 Unit4 Let me explain (3)

予習内容：Developing presentation techniquesの問題をする。

予習時間：45分

復習内容：Expansion activities 4 をする。how something works or happensに関するプレゼンテーションのテーマについて考える。

復習時間：45分

オーディエンスに質問を投げかけたり、オーディエンスからの質問に答える方法について学ぶ。物事の手順について、段階的に説明することをテーマに、グループで発表準備を行う。

第5回 Unit4 Let me explain (4)

予習内容：how something works or happensに関するプレゼンテーションの準備をする。

予習時間：45分

復習内容：授業内でもらったコメントをもとに原稿を書き直す。

復習時間：45分

グループでプレゼンテーションをおこなう。(質疑応答の時間も設ける。)他のクラスメートは評価シートを使ってすべてのプレゼンテーションの評価をし、コメントを書く。

第6回 U5 In my opinion (1)

予習内容：U5 In my opinionの語彙や表現を調べる。

予習時間：30分

復習内容：Focusing on languageの課題をする。

復習時間：60分

社会の問題や生活の事象に関する意見を述べるときの表現を学ぶ。また主張する意見をサポートする要素を述べる表現に触れる。

第7回 U5 In my opinion (2)

予習内容：Emmaのプレゼンテーションの語彙や表現を調べる。

予習時間：30分

復習内容：Adding impact で紹介された表現をもとにさまざまな文を作成する。

復習時間：60分

EmmaのSay no to metというモデルプレゼンテーションを見て、Emmaの主張、それらをサポートする意見の述べ方について学ぶ。

第8回 U5 In my opinion (3)

予習内容：persuasive presentation に関するテーマを見つけ、プレゼンテーションの準備を始める。

予習時間：45分

復習内容：Expansion activities 4 の語彙を調べる

復習時間：45分

結論を述べるときの表現について学ぶ。声の調子、強調やポーズをとることによる対比の仕方等について学び、説得力のあるプレゼンテーション方法について考える。Fo

第9回 U5 In my opinion (4)

予習内容：persuasive presentation about an issue n に関するプレゼンテーションを準備する。

復習内容：授業内でもらったコメントをもとに原稿を書き直す。

ある物事の手順やステップに関するプレゼンテーションをおこなう。(質疑応答の時間を設ける。)他のクラスメートは評価シートを使ってすべてのプレゼンテーションの評価をし、それぞれコメントを書く。

第10回 U6 In the news (1)

予習内容：U6 In the newsの語彙や表現を調べる。

予習時間：30分

復習内容：Focusing on languageの課題をする。

ニュースのヘッドラインの例に触れ、ニュースの内容の概要の述べ方について学ぶ。

第11回 U6 In the news (2)

予習内容：Jasonのプレゼンテーションの語彙や表現を調べる。

復習内容：Adding impact で紹介された表現をもとにさまざまな文を作成する。

JasonによるThe Future of Workのプレゼンテーションを見て、その構成について考える。

第12回 U6 In the news (3)

予習内容：The future of workのoutlineに関する課題をする。

予習時間：30分

復習内容：Expansion activities 4の語彙を調べる。各々の最終プレゼンテーションの準備を行う。

復習時間：60分

フレーズの間におくポーズ、グループディスカッションを導く方法等について学ぶ。

これまでのモデルプレゼンテーションを見直し、活用できる語彙や表現について確認し、チェックポイントに留意して、各自テーマを決めてプレゼンテーションの原稿準備をし、スライドを作成・点検し、発表準備を行う。

第13回 プレゼンテーション (1)

予習内容：各自のプレゼンテーションの原稿とパワーポイントを準備する。

予習時間：60分

復習内容：他の学生の発表で用いられた語彙や表現の復習をする。

復習時間：30分

プレゼンテーションの前に、ペアやグループでリハーサルをおこなう。(アイコンタクト、声の抑揚やゲスチャーなどの身体的メッセージの効果を意識する)

順番に各自5分程度のプレゼンテーションをおこなう。(質疑応答の時間を設ける。)他のクラスメートは評価シートをつかって、すべてのプレゼンテーションの評価をし、それぞれコメントを書く。

第14回 プレゼンテーション (2)

予習内容：各自のプレゼンテーションの原稿とパワーポイントを準備する。

予習時間：60分

復習内容：他の学生の発表で用いられた語彙や表現の復習をする。

復習時間：30分

プレゼンテーションの前に、ペアやグループでリハーサルをおこなう。(アイコンタクト、声の抑揚やゲスチャーなどの身体的メッセージの効果を意識する)

順番に各自5分程度のプレゼンテーションをおこなう。(質疑応答の時間を設ける。)他のクラスメートは評価シートをつかって、すべてのプレゼンテーションの評価をし、それぞれコメントを書く。

第15回 英語プレゼンテーションのまとめ

予習内容：英語のプレゼンテーションについて大切なことについて、授業で学んだことを振り返り整理する。

予習時間：30分

復習内容：授業内でもらったコメントをもとに原稿を修正する。他の学生の発表を参考にして各自の原稿を修正する。

復習時間：60分

各々の発表に対する評価やコメントを参考に、プレゼンテーションのフィードバックをおこなう。自分プレゼンテーションを振り返り、自己評価をする。「プレゼンテーションを成功させるために何が大事か」についてディスカッションをする。後期の授業の総括をする。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	理系英語 4 (プレゼンテーション)				
英文名 :	Science English (Presentation) 4				
担当者 :	澤邊 興平				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

- ・ 科学雑誌の記事・論文等（ハンドアウトとして配布）を題材に取り上げ、その内容理解を前提に、関連トピックの紹介や批判・分析などを英語による発信・発表として行う事、及びその準備・アドバイスが主な授業内作業となります。
- ・ 初回・次回授業までに各受講生（数名から成るグループ）の発表予定を決めます。
- ・ 他グループの発表に関する建設的コメント・批評も求めます（一定比率で成績に反映させます）。
- ・ 授業には辞書を必ず持参しましょう。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 科学英語への関心と英語による発信力の向上を養うことを本授業の教育目標とします。
- ・ 中級レベルの科学英文を読み、内容を理解できる。
 - ・ 使われている単語や熟語を自分のものにする。
 - ・ それらを用いて、関連内容について英語で発信できる。
 - ・ 本文に関連した内容の英文を見付け、読み、理解し、編集・作文することができる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 40%
小テスト 20%
発表および課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を提示します。

■ 教科書

Writing for Presentations in English ライティングで学ぶ英語プレゼンテーションの基礎
（杉田 由仁 Richard R. Caraker 南雲堂：2013）ISBN 9784523177319
初回授業時までに購入しておくこと。（コピー不可）
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

理系英語 3 (プレゼンテーション)

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時限前後の休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

授業の進め方の説明

- ・ 予習の進め方
- ・ 授業の進め方
- ・ 課題

受講に際しての注意事項

- ・ 欠席／遅刻について
- ・ 忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・ 携帯電話の使用制限について
- ・ 定期試験について
- ・ 総合評価について

その他、受講に関する注意点について

科学技術英語の特徴

第2回 Chapter1 Section 4 : Japan's Education System (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 日本の教育制度についての例文を読み解く。
- ・ 本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
- ・ 以上の理解に基づき自身の立場からの発信を試みる。

第3回 Chapter1 Section 4 : Japan's Education System (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 日本の教育制度についての英文を推敲する（前回の続き）。
- ・ 文中に使用されている単語・熟語・文の構造を点検する。
- ・ 他の国の教育制度についても解説を試みる。

第4回 Chapter1 Section 5 : What Is Science? (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 科学とは何かという問いについて書くことで考えをまとめてみる。
- ・ 上の点に関して情報を収集し書いて整理する。

第5回 Chapter1 Section 5 : What Is Science? (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ 科学とは何かという問いについての考えを書くことによって深める（前回の続き）。
- ・ 文中に使用すべき単語・熟語・文の構造を理解し、実践に活用する。

第6回 Chapter1 Section 6 : Social Networking Services (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ SNSという物について、書くことで考えをまとめてみる。
- ・ 上の点に関して情報を収集し書いて整理する。

第7回 Chapter1 Section 6 : Social Networking Services (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ SNSという物についての考えを書くことによって深める（前回の続き）。

- ・文中に使用すべき単語・熟語・文の構造を理解し、実践に活用する。

第8回 Chapter2 Section 4 : Exercise and Physical Fitness (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・運動と身体的健康という論点について自分の考えを書いてまとめてみる。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第9回 Chapter2 Section 4 : Exercise and Physical Fitness (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・運動と身体的健康という論点について、自分の考えと反対の意見を想定し、それに対する応答を考えることで説得力を増すよう努め、書いて整理する。
- ・上の点に関して複数意見を発掘し、情報を収集のうえ、書いて整理する。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第10回 Chapter2 Section 5 : Overpopulation (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・人口過剰という論点について自分の考えを書いてまとめてみる。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第11回 Chapter2 Section 5 : Overpopulation (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・人口過剰という論点について、自分の考えと反対の意見を想定し、それに対する応答を考えることで説得力を増すよう努め、書いて整理する。
- ・上の点に関して複数意見を発掘し、情報を収集のうえ、書いて整理する。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第12回 Chapter2 Section 6 : Hybrid or Electric? (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ハイブリッド車が電気自動車かという論点について自分の考えを書いてまとめてみる。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第13回 Chapter2 Section 6 : Hybrid or Electric? (後半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：授業内容の復習および発表の原稿作成。

復習時間：45分

- ・ハイブリッド車が電気自動車かという論点について、自分の考えと反対の意見を想定し、それに対する応答を考えることで説得力を増すよう努め、書いて整理する。
- ・上の点に関して複数意見を発掘し、情報を収集のうえ、書いて整理する。
- ・文中で使用されるべき単語・熟語・文の構造を理解し、応用に活かす。

第14回 プレゼンテーション演習 (前半)

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：各発表の要点をまとめる。

復習時間：45分

- ・この時点までに準備された原稿に基づきグループごとに発表してもらいます。

- ・聴き手側からのフィードバックも求めます。

第15回 プレゼンテーション演習（後半）

予習内容：当該箇所の課題を自力で試みておく。

予習時間：45分

復習内容：各発表の要点をまとめる。

復習時間：45分

- ・この時点までに準備された原稿に基づきグループごとに発表してもらいます（前回の続き）。
- ・聴き手側からのフィードバックも求めます。

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	英語実践 1				
英文名 :	Essential English 1				
担当者 :	澤邊 興平				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・低年齢層対象の科学雑誌Science News for Kids掲載のエッセイを題材にしたテキストを使用し、理論的展開が明快な科学エッセイの読解に重点を置いた学習を行います。
- ・授業中に各受講生の担当課題範囲を決め翌週に発表してもらう形式なので、積極的に授業に参加してください。
- ・授業には辞書を必ず持参しましょう

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 基礎英語力の向上と科学英語への実践的な関心を養うことを本授業の教育目標とします。
- ・平易な科学英文を読み、内容を理解できる。
 - ・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期テスト 50%
課題（宿題含む） 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題担当者の答案を基に模範解答を作成して板書で提示します。

■ 教科書

Science Explorer : 『Science News』 やさしい科学英語リーディング演習
(野崎・松本・クレーター 南雲堂 : 2013) ISBN978-4-523-17757-9
初回授業時までには必ず購入しておくこと。(コピー不可)
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業内に指示します。

■ 関連科目

英語実践 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ

予習内容 : 語彙を調べ本文を通読する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間 : 60分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方

・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用制限について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に関する注意点について

科学技術英語の特徴

第2回 Unit1 : Self-cleaning Clothes (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・光触媒による自浄衣服に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第3回 Unit1 : Self-cleaning Clothes (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・光触媒による自浄衣服に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・光触媒の他の事例を英語で読む

第4回 Unit2 : Wet-dog Physics (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・犬の胴震いの原理に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第5回 Unit2 : Wet-dog Physics (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・犬の胴震いの原理に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・動物の行動に関する他の事例を英語で読む

第6回 Unit3 : Hot Technology (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・廃熱の有効利用に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第7回 Unit3 : Hot Technology (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・廃熱の有効利用に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・リサイクル技術に関する他の事例を英語で読む

第8回 Unit4 : Elephant Songs (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・象の超低音域発声に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第9回 Unit4 : Elephant Songs (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・象の超低音域発声に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・動物と発声に関する他の事例を英語で読む

第10回 Unit5 : The Origin of Mummies (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・南米砂漠のミイラに関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第11回 Unit5 : The Origin of Mummies (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・南米砂漠のミイラに関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・新大陸古代史に関する他の事例を英語で読む

第12回 Unit6 : Tracing a Gem's Origins (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・レーザー誘起分光法に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第13回 Unit6 : Tracing a Gem's Origins (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・レーザー誘起分光法に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・鉱物分析に関する他の事例を英語で読む

第14回 Unit7 : Costs of Missing Sleep (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・短時間睡眠に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第15回 Unit7 : Costs of Missing Sleep (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・短時間睡眠に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・睡眠についての他の事例を英語で読む

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	英語実践 2				
英文名 :	Essential English 2				
担当者 :	澤邊 興平				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・低年齢層対象の科学雑誌Science News for Kids掲載のエッセイを題材にしたテキストを使用し、理論的展開が明快な科学エッセイの読解に重点を置いた学習を行います。
- ・授業中に各受講生の担当課題範囲を決め翌週に発表してもらう形式なので、積極的に授業に参加してください。
- ・授業には辞書を必ず持参しましょう

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 基礎英語力の向上と科学英語への実践的な関心を養うことを本授業の教育目標とします。
- ・平易な科学英文を読み、内容を理解できる。
 - ・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期テスト 50%
課題（宿題含む） 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題担当者の答案を基に模範解答を作成して板書で提示します。

■ 教科書

Science Explorer : 『Science News』 やさしい科学英語リーディング演習
(野崎・松本・クレアリー 南雲堂 : 2013) ISBN978-4-523-17757-9
初回授業時までには必ず購入しておくこと。(コピー不可)
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業内に指示します。

■ 関連科目

英語実践1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ

予習内容 : 語彙を調べ本文を通読する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間 : 60分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方
- ・授業の進め方

・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用制限について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に関する注意点について

科学技術英語の特徴

第2回 Unit8 : Lasers of a feather (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・鳥の羽毛にヒントを得たレーザー生成法に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第3回 Unit8 : Lasers of a feather (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・鳥の羽毛にヒントを得たレーザー生成法に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・レーザーに関する他の事例を英語で読む

第4回 Unit9 : Paralyzed rats walk again (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・脊髄麻痺ラットの治療に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第5回 Unit9 : Paralyzed rats walk again (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・脊髄麻痺ラットの治療に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・再生医療に関する他の事例を英語で読む

第6回 Unit10 : Threatened coral get fishy rescue (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・魚に守ってもらうサンゴに関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第7回 Unit10 : Threatened coral get fishy rescue (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・魚に守ってもらうサンゴに関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・サンゴに関する他の事例を英語で読む

第8回 Unit11 : Mammals feel the heat (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・温暖化の哺乳類への影響に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第9回 Unit11 : Mammals feel the heat (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・温暖化の哺乳類への影響に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・温暖化に関する他の事例を英語で読む

第10回 Unit12 : Sugar-pill medicine (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・プラセボに関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第11回 Unit12 : Sugar-pill medicine (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・プラセボに関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・医薬に関する他の事例を英語で読む

第12回 Unit13 : Food web woes (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・食物連鎖に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第13回 Unit13 : Food web woes (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・食物連鎖に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・生態系に関する他の事例を英語で読む

第14回 Unit14 : Climate coolers (前半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・温暖化対策に関する英文を読み解く。
- ・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第15回 Unit14 : Climate coolers (後半)

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分

復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。

復習時間：60分

- ・温暖化対策に関する英文を読み解く（前回の続き）。
- ・環境保護についての他の事例を英語で読む

定期試験

■ホームページ

科目名 :	英語スキル上級 1				
英文名 :	Advanced Skills in English 1				
担当者 :	上村 バックス 尚美				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	集中
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この科目は、英語圏在住経験者や、すでにTOEIC 500点以上（目安）またはそれ相当の資格を取得している学生を対象に実施する。アカデミックリスニングとリーディングを通してレセプティブな理解力養成を行ない、アカデミックなトピックについて情報を収集し、内容を要約し、レポートにまとめるような、高度な英語スキルを養成することを目指す。総合的な英語力を伸ばす一方で、専門領域において英語を駆使できるスキルを学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

理工系分野において最新の情報は英語で発信されており、学科や研究分野に関わらず常日頃から英語能力の向上を図ることが不可欠である。本講座は基礎的英語運用能力を有する者を対象に、学術系文書特有の英文を中心に読解力と聴解力の向上を目指し、内容理解だけでなく文章構造の分析能力も養うことを目標とする。本講座受講後も各自英語能力向上のための学習を継続することを前提とし、それに必要なスキル（文章要約、言語特徴観察と分析、リスニングの際のノートテイキング等）を習得することを到達目標とする。

■ 成績評価方法および基準

ポートフォリオ 50%
 授業中の発表 30%
 授業中の課題提出 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

英語スキル上級 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）:backes@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 読解力や聴解力練習のためのウェブサイトなどの紹介

予習内容：科学誌や英字新聞の科学セクションを閲覧する。

予習時間：30分

復習内容：科学ニュースを3本選択しレポートにまとめる。

復習時間：60分

Nature, Scienceなどの科学誌やNew York Timesなどの英字新聞の科学セクションの記事などから各自興味のある分野の情報を検索閲覧する方法を学ぶ。

第2回 学術系文書の言語特徴の検証

予習内容：共起表現サイトを用いてアカデミックな表現を検索する。

予習時間：45分

復習内容：共起表現検索サイトで科学系のアカデミックな表現例を検索し、それらの特徴や用法をまとめる。

復習時間：45分

共起表現検索サイトで科学系のアカデミックな表現例を検索し、それらの特徴や用法をまとめ発表する。

発表内容をデータとしてポートフォリオに保存する。

第3回 Nature誌、Science誌論文要旨講読（1）

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する。

予習時間：45分

復習内容：科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの要旨をスライドにまとめる。

復習時間：45分

科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの要旨をスライドにまとめ発表する。

第4回 Nature誌、Science誌論文要旨講読（2）

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する

予習時間：45分

復習内容：科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの要旨をスライドにまとめる。

復習時間：45分

科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの要旨をスライドにまとめ発表する。

第5回 Nature誌、Science誌論文序論講読（1）

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する

予習時間：45分

復習内容：科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの序論をスライドにまとめる。

復習時間：45分

科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの序論をスライドにまとめ発表する。

第6回 Nature誌、Science誌論文序論講読（2）

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する

予習時間：45分

復習内容：科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの序論をスライドにまとめる。

復習時間：45分

科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの序論をスライドにまとめ発表する。

第7回 論文序論の内容を要約し、発表と質疑応答

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する

予習時間：45分

復習内容：収集した論文の一つを要旨と序論を用いて内容を要約し発表と質疑応答の準備をする。

復習時間：45分

収集した論文の一つを要旨と序論を用いて内容を要約し発表と質疑応答の練習をする。

第8回 理系関連ニュースリスニング（1）

予習内容：科学系ニュースを視聴する。

予習時間：45分

復習内容：オンライン音声教材の中から科学系ニュースを用いてリスニングし、録音する。

復習時間：45分

VOA、New York Timesなどのオンライン音声教材の中から科学系ニュースを用いてリスニング力を強化する。

第9回 理系関連ニュースリスニング（2）

予習内容：科学系ニュースを視聴する。

予習時間：45分

復習内容：オンライン音声教材の中から科学系ニュースを用いてリスニングし、録音する。

復習時間：45分

前回使用した教材のシャドーイング練習をして、発表する。

第10回 理系ポッドキャスト・リスニング（1）

予習内容：Podcastsのオンライン音声教材を用いてリスニングする。

予習時間：45分

復習内容：Podcastsのオンライン音声教材を用いてシャドーイング練習をする。

復習時間：45分

Nature、Science Podcastsのオンライン音声教材を用いてリスニング力を強化する。

第11回 理系ポッドキャスト・リスニング (2)

予習内容：Podcastsのオンライン音声教材を用いてシャドーイング練習をする。

予習時間：45分

復習内容：Podcastsのオンライン音声教材を用いてシャドーイング練習をし録音する。

復習時間：45分

前回使用した教材のシャドーイング練習をして、発表する。

第12回 理系レクチャー・リスニング (1)

予習内容：オンライン音声教材の科学系講義のリスニングしてくる。

予習時間：45分

復習内容：レクチャー特有の表現などをレポートにまとめる。

復習時間：45分

オンライン音声教材の科学系講義のリスニングをして内容をまとめる。

第13回 理系レクチャー・リスニング (2)

予習内容：前回利用した講義教材のシャドーイング練習する。

予習時間：45分

復習内容：前回利用した講義教材のシャドーイング練習し録音する。

復習時間：45分

前回利用した講義教材のシャドーイング練習し成果を録音しポートフォリオに保存する。

第14回 理系トピック・プレゼンテーション (1)

予習内容：理系プレゼンテーションの準備をする。

予習時間：45分

復習内容：プレゼンテーション内容をまとめる。

復習時間：45分

今までの授業でカバーした科学系トピックの中から自分の興味のあるトピックを選び、新聞、ネット、科学雑誌及び論文などの媒体を横断しどのように発信されているかをスライドにまとめ発表する。

第15回 理系トピック・プレゼンテーション (2)

予習内容：理系プレゼンテーションの準備をする。

予習時間：45分

復習内容：プレゼンテーション内容をまとめる。

復習時間：45分

今までの授業でカバーした科学系トピックの中から自分の興味のあるトピックを選び、新聞、ネット、科学雑誌及び論文などの媒体を横断しどのように発信されているかをスライドにまとめ発表する。

■ホームページ

科目名 :	英語スキル上級 2				
英文名 :	Advanced Skills in English 2				
担当者 :	ジェイムズ ホーバット				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	集中
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この科目は、英語圏在住経験者や、すでにTOEIC 500点以上（目安）またはそれ相当の資格を取得している学生を対象に実施する。アカデミックリスニングとリーディングを通してレセプティブな理解力養成を行ない、さらにアカデミックなトピックについて情報を収集し、内容を要約し、レポートにまとめるようなプロダクティブな能力や発信能力など、高度な英語スキルを養成することを旨とする。総合的な英語力を伸ばす一方で、専門領域において英語を駆使できるスキルを学ぶ。授業には必ず辞書を持参すること。なお、教育効果を考慮し、受講者数調整のため、初日に抽選を行う場合がある。その際、初日を欠席した学生は、履修不可となる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

理工系分野において最新の情報は英語で発信されており、学科や研究分野に関わらず常日頃から英語能力の向上を図ることが不可欠である。本講座は基礎的英語運用能力を有する者を対象に、理系トピックのプレゼンテーションやディスカッションを通して、内容だけでなく使用頻度の高い言い回しや発音などの練習を行い発信能力向上を養うことを目標とする。本講座受講後も各自英語能力向上のための学習を継続することを前提とし、それに必要な発信スキル（口頭発表、ディスカッション等）を習得することを到達目標とする。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 30%
 授業中の発表 20%
 レポート 25%
 プレゼンテーション 25%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

The teacher will give feedback in class to students about common issues-- the strong points and points to work on-- with their reports and written work. The teacher will give feedback about the quizzes-- strong points and areas to work on. The teacher will also give feedback in class about the students speaking, mentioning common good points and common errors.

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

英語スキル上級 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階） j_horvat@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Comparing Spoken and Written English 1

予習内容 : Write down five technical terms and their meanings in English.

予習時間：15分

復習内容：Complete the exercises we discussed in class.

復習時間：30分

Differences in daily conversation and formal English. Common Phrases used in scientific papers. Technical terms versus common language.

第2回 Comparing Spoken and Written English 2

予習内容：Write down some common words we read in an English newspaper or magazine.

予習時間：15分

復習内容：Re-read the newspaper article and the scientific journal. Finish the exercise, which is about contrasting the words used.

復習時間：30分

Examining the same subject in newspaper articles versus a scientific journal-- contrasting vocabulary used and structure of the writing

第3回 Structure of a research article

予習内容：Find a research article (not a literature review) you like. Please bring it to class.

予習時間：15分

復習内容：Find the main areas (background, past studies, gap in knowledge, purpose & description) of your article's introduction

復習時間：30分

Focus of a research article, main areas covered, special focus on the introduction (background, past studies, gap in knowledge, purpose & description)

第4回 Corpus Linguistics

予習内容：Download Antconc to your computer.

予習時間：15分

復習内容：Review the material about corpus linguistics. Do the exercises assigned.

復習時間：30分

Students will build a personalized corpus using their own articles. These will be put together and analyzed using corpus software.

第5回 Corpus Linguistics 2

予習内容：Students bring three articles (not literature reviews) to class.

予習時間：15分

復習内容：Write some common areas and some different areas of your three articles.

復習時間：30分

Students will analyze their conclusions and discuss them together. Also online concordance databases.

第6回 Journal Article Application Cover Letter

予習内容：Borrow a copy of a journal from your laboratory. Look at it. Bring it to class. (Don't forget to return it to your laboratory after class!)

予習時間：15分

復習内容：Find the author's instructions for your favorite journal.

復習時間：30分

Components of a cover letter. Successful cover letters. Rules for correspondence.

第7回 Discussion of Successful Presentations

予習内容：Write down three things we should do to give a good speech (e.g. speak loudly)

予習時間：15分

復習内容：Write a brief presentation

復習時間：30分

elements of a successful scientific presentation, rules for academic presentations, things to be aware of

第8回 Students Present About An Area of Interest

予習内容：Prepare your presentation

予習時間：15分

復習内容：Write about your favorite class presentation. Why was it your favorite?

復習時間：30分

Based on articles, students present about an area they would like to focus on.

第9回 Safety Rules in the Laboratory

予習内容：Write down three rules (on trains, in school, in the car, etc.) in life.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write down some rules for your laboratory.

復習時間 : 30分

Safety Rules, Communicating with Imperatives, Using Requests, discussing laboratory equipment and procedures in English

第10回 Current Topic in Science

予習内容 : Preview the article, which I gave you at the 第9回 class. Circle any new vocabulary. Check it in a dictionary.

予習時間 : 15分

復習内容 : Re-read the article we talked about in class. Write your reflection.

復習時間 : 30分

Articles on a current topic, based on the students interest as evidenced in the class, will be read, examined, and discussed

第11回 Scientific Meetings and Conferences

予習内容 : Talk to your "seniors" on campus. Has any of them been to a conference? Write down the conference name, date, and place. Write down what they did at the conference (e.g. They attended a presentation, or they gave a poster presentation, etc.)

予習時間 : 15分

復習内容 : Fill out the conference registration form.

復習時間 : 30分

Types of Conferences, Conference Agenda, Conference Registration, Language to use with other participants

第12回 Poster Presentations

予習内容 : Preview some poster presentations I give you. Fill out the worksheet.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write a rough draft of your poster.

復習時間 : 30分

What makes a successful poster, explaining in English about the poster, things to be aware of

第13回 Poster Presentations 2

予習内容 : Look again at your poster rough draft.

予習時間 : 15分

復習内容 : Finish writing your poster.

復習時間 : 30分

Further discussion of Posters, examining examples, discussing a copy in progress

第14回 Student Poster Presentations

予習内容 : Prepare your poster presentation.

予習時間 : 30分

復習内容 : Write about your favorite class poster presentation. Why was it your favorite?

復習時間 : 30分

Students will present their poster (the main focus will be the introduction section) to the class

第15回 Review and Wrap Up

予習内容 : Think about areas of the class that were difficult and not so difficult.

予習時間 : 15分

復習内容 : Write a comment to the instructor about this class.

復習時間 : 30分

Students will receive some final feedback on their performance in this class (strong areas, areas to work on.)

Students will also have a chance to reflect on the class.

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 1				
英文名 :	TOEIC 1				
担当者 :	澤邊 興平				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・指定教科書を用いて、リスニングとリーディングの、両面からの学習を行います。
- ・教科書1ユニットを授業1回以内にこなす進度で、適宜小テストを行いますので、積極的に授業に参加してください。
- ・授業には辞書を必ず持参しましょう。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 中級レベル英語力の総合的な向上を本授業の教育目標とします。
- ・リスニングにおいては、音の消滅・短縮などのポイントをつかむ。
 - ・リーディング問題では、文の構造を見抜くヒント、要点を見抜く力を身に付ける。
 - ・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を提示します。

■ 教科書

[ISBN]9784523177234 『Navigator for the TOEIC® Test 〈Newly Updated Edition〉』 (Donald Beaver, Michael Walker, 三原 京 ; 2013)
初回授業時まで購入しておくこと。(コピー不可)
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

TOEIC 2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) ・ ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時限前後の休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ

予習内容 : 当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間 : 45分

復習内容 : 既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間 : 45分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方

- ・授業の進め方
- ・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用制限について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に関する注意点について

ビジネス英語の特徴

第2回 Lesson1 : Headhunting

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・HeadhuntingをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第3回 Lesson2 : The Internet

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・The InternetをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第4回 Lesson3 : Weddings

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・WeddingをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第5回 Lesson4 : Corporate Culture

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・Corporate CultureをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第6回 Lesson5 : Music

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・MusicをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第7回 Lesson6 : Movies

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・MoviesをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第8回 Lesson7 : Sightseeing

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ SightseeingをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第9回 Lesson8 : Recruiting

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ RecruitingをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第10回 Lesson9 : Shopping

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ ShoppingをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第11回 Lesson10 : Forecasts

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ ForecastsをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第12回 Lesson11 : Customs

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ CustomsをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第13回 Lesson12 : Crime

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ CrimeをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第14回 文法・熟語・発音

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ TOEIC問題に頻出する文法・熟語を復習する。
- ・ TOEIC問題に即して発音の重要ポイントを復習する。

第15回 復習・総括

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ TOEICのリスニング問題への対策を復習する。
- ・ TOEICのリーディング問題への対策を復習する。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 1				
英文名 :	TOEIC 1				
担当者 :	滝口 智子				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

リスニングとリーディングを総合したTOEIC対策授業を行う。学内や学部内で開催されるIPテストの受験が奨励され、その獲得点が点数に応じて成績に加点される。なお、不受験のために評価が不利になることはない。

※この科目の履修希望者は、初回の授業に必ず出席し、オリエンテーションを受け、「受講希望者名簿」に記入する必要があります。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1, 2年次に培ったTOEIC対策のためのビジネス英語運用能力の基礎を、反復学習を通して語彙, 文法, リスニングなどあらゆる分野において定着させる。Lレベル: TOEIC 400点, または2年次からの50点のスコア・アップ, Mレベル: TOEIC 500点, または2年次からの100点のスコア・アップ, Hレベル: TOEIC600点, または2年次からの100点のスコアアップをめざす。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 60%

参加点 20%

発表・課題 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間中に、疑問点を話しあい、課題を互いに添削しあう時間を設けます。

■ 教科書

『新TOEICテスト はじめての解答技術』ヒロ前田著 (アルク: 2011) ISBN:978-4-7574-1217-0

※この科目の教科書は事前に購入せず、第1回目の授業で教員の指示を聞いてから購入してください。

■ 参考文献

授業中に指示します。

■ 関連科目

TOEIC2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階講師控室

tom106@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金1-2

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

第2回 Part 1

予習内容: 小テストの予習、教科書の予習

予習時間: 30分

復習内容: 教科書の復習

復習時間: 30分

パート1、写真を見て答える問題の練習をします。

第3回 Part 2

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
リスニングのパート2、問と答の問題を練習します。

第4回 Part 2

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
パート2、問と答の問題の練習、続きです。

第5回 Part 3

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
パート3、リスニング会話問題の練習です。

第6回 Part 3

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
パート3によく出てくるリスニング会話問題への対策を強化します。

第7回 Part 4

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
パート4、説明文問題の練習をします。

第8回 Part 4

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
パート4の対策を強化します。

第9回 Part 5

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
パート5、短文穴埋め問題の練習をします。

第10回 Part 5

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
パート5によく出てくる問題をさらに練習します。

第11回 Part 6

予習内容：小テストの予習、教科書の予習
予習時間：30分
復習内容：教科書の復習
復習時間：30分
パート6、長文穴埋め問題に挑戦します。

第12回 Part 6

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

パート6、長文穴埋め問題の対策を強化します。

第13回 Part 7

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

パート7、読解問題に挑戦します。

第14回 Part 7

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

パート7、読解問題への対策を強化します。

第15回 まとめ

予習内容：テストの予習

予習時間：30分

復習内容：まとめ事項の復習

復習時間：30分

これまで学んだことの中から、とくに難しいパートを選び、さらに練習を行います。

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 1				
英文名 :	TOEIC 1				
担当者 :	竹中 義胤				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

TOEICテストで得点を伸ばすための基礎固めを行います。TOEICで450点以上取れていない場合は、基礎的な語彙力の不足や基本的な文法や語法が十分に理解できていないのかもしれないかもしれません。聴解力については音のつながりのルールがよくわからないため文の分析が出来ず、聞き取れた一部の単語に依存している場合があります。また、読解に関しては英文の構成やキーワードの役割などがよく理解できていない可能性があります。本コースでは練習問題を解くことでこうした問題を克服し、TOEICの問題を解くのに不可欠な基礎的な英語力を養成していきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

基礎的な聴解力と読解力を養成し、TOEIC450点以上の得点を目指します。

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%

レポート・小テスト等 20%

定期試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791934218 『Successful Steps for the TOEIC L&R Test A Topic-based Approach—New Edition』（塚野 壽一, 成美堂 : 2018)

■ 参考文献

■ 関連科目

TOEIC 2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月、水、木の昼休憩または月曜日の5限の授業終了後、講師控室（2号館2階）に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Entertainment ◇文型 □名詞 映画や音楽などの娯楽

予習内容 : キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 読解練習問題

復習時間 : 30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第2回 Personnel 求人広告や社内人事 ◇現在形 □代名詞

予習内容 : キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間 : 30分

復習内容 : 読解練習問題

復習時間 : 30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第3回 Office Work & Supplies オフィス業務や備品など ◇過去形 □形容詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第4回 Office Messages 電話やEメールなどのオフィスメッセージ ◇未来を表す表現 □冠詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第5回 Eating Out ランチやパーティーなどの外食 ◇進行形 □副詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第6回 Technology コンピューターなどの科学技術 ◇完了形 □比較

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第7回 Research and Merchandise Development 調査研究や商品開発 ◇助動詞 □動詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第8回 Finance and Budgets 銀行業務や経理などの財務 ◇受動態 □不定詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第9回 Purchases ショッピングや注文・出荷など ◇時制の一致 □分詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第10回 Manufacturing 工場管理や生産ラインなどの製造 ◇主語と動詞の呼応 □動名詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認 2. ポイントの整理 3. 聴解練習

第11回 Marketing & Sales マーケティングや販売 ◇仮定法, 他

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認
2. ポイントの整理
3. 聴解練習

第12回 Travel 交通機関や旅行関連 ◇平叙文 □関係詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認
2. ポイントの整理
3. 聴解練習

第13回 Contracts & Negotiations 契約や交渉など ◇命令文 □等位接続詞, 他

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認
2. ポイントの整理
3. 聴解練習

第14回 Housing & Properties 住宅やビルなどの不動産 ◇疑問文 □従位接続詞

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認
2. ポイントの整理
3. 聴解練習

第15回 リスニングとリーディング演習コーナー

予習内容：キーボキャブラリーの単語の意味の確認

予習時間：30分

復習内容：読解練習問題

復習時間：30分

1. 語彙の確認
2. ポイントの整理
3. 聴解練習

期末試験

授業中に指示します。

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 1				
英文名 :	TOEIC 1				
担当者 :	吉川 裕介				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

TOEIC形式の演習テキストを通してTOEICのスコアアップを図る。TOEICの問題形式を把握し、ビジネスシーンに頻出するレジスターに慣れることで、より効率的に問題を解く素地を養う。リスニングはテキストのリスニングを中心に言い、特に質問や会話の内容を聞き取ることに重点を置く。リーディングはまずTOEICに頻出する語彙を徹底的に身につける。主にテキストを通して文法や語彙を確認し、ビジネスで使用される文体にも慣れる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

TOEIC400点以上の取得を目標とする。自らの不得意な部分を補い、得意な部分を伸ばせるよう主体的に努力すること、また、なぜ英語の資格を取るの必要があるのかを自らで理解し、1年を通して主体的な学習姿勢を身につけることを目標とする。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

小テスト 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。

■ 教科書

[ISBN]9784342550034 Journey to Success [Revised Edition] 倉田誠 桐原書店 2018

■ 参考文献

授業内で指示する。

■ 関連科目

TOEIC 2・3・4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

吉川研究室(2号館5階) y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限(ただしそれ以外の時間帯は必ず事前にメールで予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容: TOEICの目標スコアの設定、テキストの単語・熟語の確認

予習時間: 45分

復習内容: 1年間の学習計画を立てる

復習時間: 45分

受講者のTOEICの現時点でのスコア・目標スコアを確認する。(学内IPテストの紹介)

授業運営を説明する。

予習・復習の仕方を説明する。

単語テストの実施について説明する。

主体的な学習の重要性について説明する。

第2回 Unit 1 Departure / Arrival

予習内容: TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 1 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

空港での会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第3回 Unit 2 Homestay

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 2 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

ホームステイでの会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第4回 Unit 3 Telephone

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 3 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

電話での会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第5回 Unit 4 Shopping

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 4 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

買い物での会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第6回 Unit 5 Getting around

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 5 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

外出先での会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第7回 Unit 6 Eating out

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 6 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

外食先での会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第8回 Review Unit 1

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

授業の前半を振り返り、テキスト内の単語・熟語の定着度を確認する。

第9回 Unit 7 Party and Celebrations

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 7 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

パーティでの会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第10回 Unit 8 Hotel

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 8 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

ホテルでの会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第11回 Unit 9 Sightseeing

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 9 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

観光での会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第12回 Unit 10 Staying healthy

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 10 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

健康に関する会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第13回 Unit 11 Housing

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 11 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

住まい探しに関する会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第14回 Unit 12 Studying abroad

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。Unit 12 Word Bankを調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

留学先での会話を想定したテキスト内容を通して、リスニングおよびリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

第15回 まとめ

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。

予習時間：60分

復習内容：これまでのテキストの総復習

復習時間：30分

全体的なフィードバックを行う。

半期を通して主体的に学習できたか内省する。

定期試験

テキストに基づいたTOEIC形式のテストを行う。ただし、長文はテキスト以外の英文を用意する予定である。

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 2				
英文名 :	TOEIC 2				
担当者 :	澤邊 興平				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

- ・指定教科書を用いて、リスニングとリーディングの、両面からの学習を行います。
- ・教科書1ユニットを授業1回以内にこなす進捗で、適宜小テストを行いますので、積極的に授業に参加してください。
- ・授業には辞書を必ず持参しましょう。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 中級レベル英語力の総合的な向上を本授業の教育目標とします。
- ・リスニングにおいては、音の消滅・短縮などのポイントをつかむ。
 - ・リーディング問題では、文の構造を見抜くヒント、要点を見抜く力を身に付ける。
 - ・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を提示します。

■ 教科書

[ISBN]9784523177234 『Navigator for the TOEIC® Test 〈Newly Updated Edition〉』 (Donald Beaver, Michael Walker, 三原 京 : 2013)
初回授業時まで購入しておくこと。(コピー不可)
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業にて指示します。

■ 関連科目

TOEIC1, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時限前後の休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

授業の進め方の説明

- ・予習の進め方

- ・授業の進め方
- ・課題

受講に際しての注意事項

- ・欠席／遅刻について
- ・忘れ物（テキスト・辞書）について
- ・携帯電話の使用制限について
- ・定期試験について
- ・総合評価について

その他、受講に関する注意点について

ビジネス英語の特徴

第2回 Lesson1 : New Products

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・New ProductsをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第3回 Lesson2 : Global Matters

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・Global MattersをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第4回 Lesson3 : Health

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・HealthをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第5回 Lesson4 : Parties

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・PartiesをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第6回 Lesson5 : Skiing

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・SkiingをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第7回 Lesson6 : Travel

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・TravelをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第8回 Lesson7 : Dating

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ DatingをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第9回 Lesson8 : Hospitals

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ HospitalsをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第10回 Lesson9 : Advertising

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ AdvertisingをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第11回 Lesson10 : Opportunities

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ OpportunitiesをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第12回 Lesson11 : Employment

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ EmploymentをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリスニング問題を解く。

第13回 Lesson12 : Banking/Finance

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ Banking/FinanceをキーワードにTOEIC形式の問題を解く。
- ・ 問題に使用されている単語・熟語を理解してリーディング問題を解く。

第14回 文法・熟語・発音

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ TOEIC問題に頻出する文法・熟語を復習する。
- ・ TOEIC問題に即して発音の重要ポイントを復習する。

第15回 復習・総括

予習内容：当該箇所の問題を自力で解いておく。

予習時間：45分

復習内容：既習問題の正誤を確認復習する。

復習時間：45分

- ・ TOEICのリスニング問題への対策を復習する。
- ・ TOEICのリーディング問題への対策を復習する。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 2						
英文名 :	TOEIC 2						
担当者 :	滝口 智子						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

リスニングとリーディングを総合したTOEIC対策授業を行う。学内や学部内で開催されるIPテストの受験が奨励され、その獲得点が点数に応じて成績に加点される。なお、不受験のために評価が不利になることはない。

※この科目の履修希望者は、初回の授業に必ず出席し、オリエンテーションを受け、「受講希望者名簿」に記入する必要があります。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1, 2年次に培ったTOEIC対策のためのビジネス英語運用能力の基礎を、反復学習を通して語彙、文法、リスニングなどあらゆる分野において定着させる。Lレベル：TOEIC 400点、または2年次からの50点のスコア・アップ、Mレベル：TOEIC 500点、または2年次からの100点のスコア・アップ、Hレベル：TOEIC600点、または2年次からの100点のスコアアップをめざす。

■ 成績評価方法および基準

小テスト 60%

参加点 20%

課題・発表 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間中に、疑問点を話しあい、課題を添削しあう時間を設けます。

■ 教科書

TOEIC(R)L&Rテスト 直前の技術

(ISBN:9784757430488)

ロバート・ヒルキ/相澤俊幸/ヒロ前田共著 (アルク)

※この科目の教科書は事前に購入せず、第1回目の授業で教員の指示を聞いてから購入してください。

■ 参考文献

授業中に指示します。

■ 関連科目

TOEIC1, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階 講師控室

tom106@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金1-2

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

第2回 Part 2

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

リスニング応答問題の練習をします。w h 疑問文の対策を強化します。

第3回 Part 2

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

リスニング応答問題、とくにYes / No 疑問文の対策を強化します。

第4回 Part 5

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

短文穴埋め問題の対策をします。

第5回 Part 5

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

短文穴埋め問題の対策をし、とくに動詞のかたちと代名詞の使い方を学びます。

第6回 Part 6

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

長文穴埋め問題の対策をします。

第7回 Part 1

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

リスニング、写真描写問題の対策をします。

第8回 Part 7

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

復習内容：教科書の復習

読解問題の対策をします。短い文書から取り組みます。

第9回 Part 7

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

読解問題、とくにダブルパッセージの練習を行います。

第10回 Part 3

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

リスニング会話問題の対策を行います。設問を先に読む練習をします。

第11回 Part 3

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

リスニング会話問題の対策を強化します。

第12回 Part 4

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

説明文問題の対策をします。設問の順番に注目します。

第13回 Part 4

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

説明文問題の対策を強化します。

第14回 まとめ

予習内容：小テストの予習、教科書の予習

予習時間：30分

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

総仕上げとして、模擬試験を行います。

第15回 まとめ

予習内容：テストの予習

予習時間：30分

模擬試験の解答を参照しながら、反省会を行います。

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 2						
英文名 :	TOEIC 2						
担当者 :	竹中 義胤						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

TOEIC1のコースに引き続き、TOEICで得点を上げるのに必要な聴解力と読解力を練習問題を解きながら養成していきます。語彙力アップ、必要な文法・語法に関する知識の獲得、聴解問題や読解問題を解く時のコツを身につけていきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

語彙力アップ、必要な文法・語法に関する知識の獲得、聴解問題や読解問題を解く時のコツを身につけながら、TOEIC500以上を目指す。

■ 成績評価方法および基準

平常点 30%

レポート・小テスト等 20%

期末試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784791934201 『START-UP COURSE FOR THE TOEIC L&R TEST—REVISED EDITION』（北山 長貴, 成美堂 : 2018)

■ 参考文献

■ 関連科目

TOEIC 1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月、水、木の昼休憩または月曜日 5 限の授業終了後、講師控室（2号館2階）に来てください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Transportation and Information（交通と情報案内）

予習内容 : Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間 : 30分

復習内容 : Grammar Upgrade〔時制、進行形〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間 : 30分

Vocabulary Upgrade〔旅行関係〕

Listening Upgrade〔疑問代名詞、進行形〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第2回 Instructions and Explanations（指示と説明）

予習内容 : Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間 : 30分

復習内容 : Grammar Upgrade〔完了形、態〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間：30分

Vocabulary Upgrade〔交通、販売〕

Listening Upgrade〔助動詞、形容詞、時・場所・数の表現〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第3回 Eating and Drinking（飲食）

予習内容：Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間：30分

復習内容：Grammar Upgrade〔文の構造〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間：30分

Vocabulary Upgrade〔飲食店・食品〕

Listening Upgrade〔動詞・過去形〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第4回 Business Scene（ビジネス）

予習内容：Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間：30分

復習内容：TOEIC EXERCISE: Part 5~7〔Double Passage〕

復習時間：30分

Vocabulary Upgrade〔建築、商談〕

Listening Upgrade〔疑問副詞、動詞と目的語、時・場所・数の表現〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第5回 Communication（通信・コミュニケーション）

予習内容：Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間：30分

復習内容：Grammar Upgrade〔形容詞、限定詞〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間：30分

Vocabulary Upgrade〔通信、指示〕

Listening Upgrade〔否定疑問、場所・数・金額の表現〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第6回 Socializing（社交）

予習内容：Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間：30分

復習内容：Grammar Upgrade〔準動詞：不定詞、分詞、動名詞〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間：30分

Vocabulary Upgrade〔建築、約束〕

Listening Upgrade〔疑問副詞、動詞と目的語〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第7回 Invitation（招待・案内）

予習内容：Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間：30分

復習内容：Grammar Upgrade〔副詞、法助動詞〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間：30分

Vocabulary Upgrade〔食品、案内〕

Listening Upgrade〔疑問副詞、時制、感謝・同意の表現〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第8回 Medical Treatment and Insurance（医療・保険）

予習内容：Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間：30分

復習内容：TOEIC EXERCISE: Part 5~7〔Double Passage〕

復習時間：30分

Vocabulary Upgrade〔歯科、医療〕

Listening Upgrade〔There~, Who~〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第9回 Culture and Entertainment (文化・娯楽)

予習内容 : Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間 : 30分

復習内容 : Grammar Upgrade〔仮定法〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間 : 30分

Vocabulary Upgrade〔美術館、入場料〕

Listening Upgrade〔Why~, 完了形、手段・時の表現〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第10回 Shopping (買い物)

予習内容 : Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間 : 30分

復習内容 : Grammar Upgrade〔接続詞、分詞構文〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間 : 30分

Vocabulary Upgrade〔購入、応募、案内〕

Listening Upgrade〔Would~, 名詞、肯定・否定の表現〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第11回 Sports and Exercise (運動・フィットネス)

予習内容 : Vocabulary Upgradeの単語の意味のチェック

予習時間 : 30分

復習内容 : Grammar Upgrade〔完了形、完了進行形〕

TOEIC EXERCISE: Part 5~7

復習時間 : 30分

Vocabulary Upgrade〔運動、開催〕

Listening Upgrade〔否定疑問、前置詞句〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第12回 Trouble and Claims (トラブル・申請)

予習内容 : わからないところを事前に調べておく

予習時間 : 30分

復習内容 : TOEIC EXERCISE: Part 5~7〔Double Passage〕

復習時間 : 30分

Vocabulary Upgrade〔パーティー、荷物〕

Listening Upgrade〔受動態の進行形、付加疑問文〕

TOEIC EXERCISE: Part 1~4

第13回 Extra Test 1

予習内容 : わからないところを事前に調べておく

予習時間 : 30分

復習内容 : 総復習

復習時間 : 30分

Single Passage

Online Chat Discussion

第14回 Extra Test 2

予習内容 : わからないところを事前に調べておく

予習時間 : 30分

復習内容 : 総復習

復習時間 : 30分

Text Message Chain

Double Passage

第15回 Extra Test 3

予習内容 : わからないところを事前に調べておく

予習時間 : 30分

復習内容 : 総復習

復習時間 : 30分

Double Passage
Triple Passage

期末テスト

学期末に指示します。

■ **ホームページ**

科目名 :	TOEIC 2						
英文名 :	TOEIC 2						
担当者 :	長谷川 由美						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

TOEIC形式の問題を解くことにより、TOEICスコアのアップを目標とした授業を行います。リスニングは問題を解いた後にスク립トを配布し、リスニングで解答した問題をリーディングすることにより、読めばわかるのに聞きとれなかった部分などを各自で確認します。文法・リーディングパートは基本的には予習部分となります。文法パートは「どうしてその解答が正しいのか」を文法的に説明できるようになりましょう。またリーディングパートに関しては、「どの部分を読んで正解を引き出したのか」を明確にしましょう。また、学内で実施されるTOEIC-IPテストもしくは公開テストを受講期間内にできるだけ1回は受験し、自分の実力を把握するようにしましょう。

■ 学習・教育目標及び到達目標

TOEIC400点～500点を取得することを目標とする。自分の 得手不得手を理解し、得意なところをさらに伸ばし、不得意なところをどのようにすれば克服できるのかを考え、スコアアップに向けて実行する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 40%
提出物 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784255155647 ブリッジから始めるTOEIC® (林姿穂、朝日出版社 : 2015)
初回授業時まで購入しておくこと。(コピー不可)
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■ 参考文献

授業内で指示します。

■ 関連科目

TOEIC1・3・4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

長谷川研究室 (2号館5階) ・ hasegawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 3 限目(その他の時間帯は必ず予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : UNIT 1のvocabulary check (Listening & Reading Section) ,Grammar, Practice

予習時間 : 90分

復習内容 : 具体的な目標スコアを決める

復習時間 : 10分

・TOEICについての確認 (学内で行われるIPテストと公開テストについての説明)

・授業の進め方

- ・予習・復習の仕方
- ・課題について（ランゲージスペースで行われているランチタイムリーディングについての説明）
- ・小テストについて（小テストはいくつかのユニットをまとめてテストを行う。テストをする日は授業中に指示する。）

UNIT1のリスニング部分のみをする。

第2回 Unit 1 Eating out

Grammar: Be動詞

予習内容：UNIT2のvocabulary check（Listening & Reading Section）,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT1の単語と熟語

復習時間：30分

・外食する際によく使う単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。

・Be動詞の使い方を理解する。

【テキスト】 pp.2～pp.7

第3回 Unit 2 Travel

Grammar: 一般動詞

予習内容：UNIT3のvocabulary check（Listening & Reading Section）,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT2の単語と熟語

復習時間：30分

・旅行の際によく使う単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。

・一般動詞の使い方を理解する。（Be動詞との区別がつくように。）

【テキスト】 pp.8～pp.13

第4回 Unit 3 Amusement

Grammar: 品詞

予習内容：UNIT4のvocabulary check（Listening & Reading Section）,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT3の単語と熟語

復習時間：30分

・娯楽施設でよく使う単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。

・名詞、代名詞、動詞、形容詞、福祉、前置詞、接続詞、間投詞の特徴を理解する。

【テキスト】 pp.14～pp.19

第5回 Unit 4 Meetings

Grammar: 自動詞・他動詞

予習内容：UNIT5のvocabulary check（Listening & Reading Section）,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT4の単語と熟語

復習時間：30分

・会議でよく使う単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。

・自動詞と他動詞の違いを理解する。

【テキスト】 pp.20～pp.25

第6回 Unit 5 Personnel

Grammar: 受動態

予習内容：UNIT6のvocabulary check（Listening & Reading Section）,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT5の単語と熟語

復習時間：30分

・人事関連の単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。

・能動態と受動態の違いを理解し、言い換えることができるようになる。

・過去分詞の復習。

【テキスト】 pp.26～pp.31

第7回 Unit 6 Shopping

Grammar: 代名詞

予習内容：UNIT7のvocabulary check（Listening & Reading Section）,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT6の単語と熟語

復習時間：30分

- ・買い物のおきに使える単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。
 - ・各種代名詞（主格・所有格・所有代名詞・再帰代名詞）の特徴を理解し、正しく使えるようになる。
- 【テキスト】 pp.32～pp.39

第8回 Unit 7 Advertisement

Grammar: 数えられる名詞、数えられない名詞

予習内容：UNIT8のvocabulary check (Listening & Reading Section) ,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT7の単語と熟語

復習時間：30分

- ・広告によく使われている単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。
 - ・可算名詞、府可算名詞の特徴を理解し、正しく使えるようになる。
- 【テキスト】 pp.40～pp.47

第9回 Unit 8 Daily Life

Grammar: 数量詞

予習内容：UNIT9のvocabulary check (Listening & Reading Section) ,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT8の単語と熟語

復習時間：30分

- ・日常生活でよく使われている単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。
 - ・many, much, little, fewなどの数量詞の特徴を理解し、使い分けができるようになる。
- 【テキスト】 pp.48～pp.55

第10回 Unit 9 Office Work

Grammar: TO不定詞

予習内容：UNIT10のvocabulary check (Listening & Reading Section) ,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT9の単語と熟語

復習時間：30分

- ・職場でよく使われている単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。
 - ・TO不定詞の形を理解し、名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法の使い分けができるようになる。
- 【テキスト】 pp.56～pp.63

第11回 Unit 10 Business

Grammar: 動名詞

予習内容：UNIT11のvocabulary check (Listening & Reading Section) ,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT10の単語と熟語

復習時間：30分

- ・ビジネスシーン（ネゴシエーションなど）でよく使われている単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。
 - ・動名詞の形を理解するとともに、前回に学んだTO不定詞との類似点・相違点を理解する。
- 【テキスト】 pp.64～pp.71

第12回 Unit 11 Traffic

Grammar: 助動詞

予習内容：UNIT12のvocabulary check (Listening & Reading Section) ,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT11の単語と熟語

復習時間：30分

- ・交通機関を利用するときによく使われている単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。
 - ・助動詞の基本的な文法を理解し、それぞれの助動詞が持つ意味を理解する。
- 【テキスト】 pp.72～pp.79

第13回 Unit 12 Finance and Banking

Grammar: 前置詞

予習内容：UNIT13のvocabulary check (Listening & Reading Section) ,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT12の単語と熟語

復習時間：30分

- ・経済・金融関連の単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。

・よく使う前置詞の基本的な意味を理解し、重要な前置詞句を覚える。

【テキスト】 pp.80～pp.87

第14回 Unit 13 Media

Grammar: 接続詞

予習内容：UNIT14のvocabulary check (Listening & Reading Section) ,Grammar, Practice

予習時間：90分

復習内容：UNIT13の単語と熟語

復習時間：30分

・メディア関連の単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。

・よく使う接続詞の基本的な意味を理解し、前置詞との違いを理解する。

【テキスト】 pp.88～pp.95

第15回 Unit 14 Health and Welfare

Grammar: 比較

予習内容：（締め切りまでに*締切日は授業中に指示する）ランチタイムリーディングに2回参加する。

予習時間：90分

復習内容：UNIT14の単語と熟語、定期試験に向けての総復習

・健康や福祉関連の単語やフレーズをTOEIC形式で学ぶ。

・原級・比較級・最上級の基本的な形を理解する。

【テキスト】 pp.96～pp.103

定期試験

テキストに出てきた内容をもとにしたTOEIC形式のテスト（リスニングとリーディング）を実施する。

問題はテキストに出てきた問題と同じとは限らない。

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 3				
英文名 :	TOEIC 3				
担当者 :	吉川 裕介				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

TOEIC形式の演習テキストを通してTOEICのスコアアップを図る。TOEICの問題形式を把握し、ビジネスシーンに頻出するレジスターに慣れることで、より効率的に問題を解く素地を養う。リスニングは比較的容易なリスニング教材を用いてシャドーイングを行い、日本語を介さずに理解するよう反復訓練する。リーディングはまずTOEICに頻出する語彙を徹底的に身につける。長文はTOEICのみならずTOEFLなどの教材も織り交ぜ、限られた時間で要旨を把握するための速読訓練を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

TOEIC600点以上の取得を目標とする。大学院進学には730点程度を求められることもあるため、教員と目標スコアを設定して到達することを目指す。また、なぜ英語の資格を取るの必要があるのかを自らで理解し、主体的な学習姿勢を身につけることを目標とする。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。

■ 教科書

[ISBN]9784863123397 『Before—After Practice for the TOEIC L&R』 (センゲージラーニング : 2018)

■ 参考文献

授業内で指示する。

■ 関連科目

TOEIC1・2・4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

吉川研究室(2号館5階) y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限(ただしそれ以外の時間帯は必ず事前にメールで予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : TOEICの目標スコアの設定、テキストの単語・熟語の確認

予習時間 : 45分

復習内容 : 1年間の学習計画を立てる

復習時間 : 45分

受講者のTOEICの現時点でのスコア・目標スコアを確認する。(学内IPテストの紹介)

授業運営を説明する。

予習・復習の仕方を説明する。

単語テストの実施について説明する。

主体的な学習の重要性について説明する。

第2回 プレテスト

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
プレテストを実施し、現在の英語力を確認する。
テキスト問題の解説し、フィードバックを行う。
テキストの予習・復習について再度確認する。

第3回 Unit 1 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリスニング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第4回 Unit 1 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。
第1回単語テスト

第5回 Unit 2 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリスニング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第6回 Unit2 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。
第2回単語テスト

第7回 Unit 3 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリスニング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第8回 Unit 3 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。

TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。

第3回単語テスト

第9回 Unit 4 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

テキストのリスニング演習を行う。

問題の要点と解説を行う。

リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第10回 Unit 4 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

テキストのリーディング演習を行う。

問題の要点と解説を行う。

TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。

第4回単語テスト

第11回 Unit 5 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

テキストのリスニング演習を行う。

問題の要点と解説を行う。

リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第12回 Unit 5 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

テキストのリーディング演習を行う。

問題の要点と解説を行う。

TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。

第5回単語テスト

第13回 Unit 6 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

テキストのリスニング演習を行う。

問題の要点と解説を行う。

リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第14回 Unit 6 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認

予習時間：60分

復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認

復習時間：30分

テキストのリーディング演習を行う。

問題の要点と解説を行う。

TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。

第6回単語テスト

第15回 まとめ

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。

予習時間：60分

復習内容：これまでのテキストの総復習

復習時間：30分

全体的なフィードバックを行う。

半期を通して主体的に学習できたか内省する。

定期試験

テキストに基づいたTOEIC形式のテストを行う。ただし、長文はテキスト以外の英文を用意する予定である。

■ホームページ

科目名 :	TOEIC 4				
英文名 :	TOEIC 4				
担当者 :	吉川 裕介				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

TOEIC形式の演習テキストを通してTOEICのスコアアップを図る。TOEICの問題形式を把握し、ビジネスシーンに頻出するレジスターに慣れることで、より効率的に問題を解く素地を養う。リスニングは比較的容易なリスニング教材を用いてシャドーイングを行い、日本語を介さずに理解するよう反復訓練する。リーディングはまずTOEICに頻出する語彙を徹底的に身につける。長文はTOEICのみならずTOEFLなどの教材も織り交ぜ、限られた時間で要旨を把握するための速読訓練を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

TOEIC600点以上の取得を目標とする。大学院進学には730点程度を求められることもあるため、教員と目標スコアを設定して到達することを目指す。また、なぜ英語の資格を取るの必要があるのかを自らで理解し、主体的な学習姿勢を身につけることを目標とする。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。

■ 教科書

[ISBN]9784863123397 『Before—After Practice for the TOEIC L&R』 (センゲージラーニング : 2018)

■ 参考文献

授業内で指示する。

■ 関連科目

TOEIC1・2・3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

吉川研究室(2号館5階) y-yoshikawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限(ただしそれ以外の時間帯は必ず事前にメールで予約すること)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容 : TOEICの目標スコアの設定、テキストの単語・熟語の確認

予習時間 : 45分

復習内容 : 半年間の学習計画を立てる

復習時間 : 45分

受講者のTOEICの現時点でのスコア・目標スコアを確認する。(学内IPテストの紹介)

授業運営を説明する。

予習・復習の仕方を説明する。

単語テストの実施について説明する。

前期を振り返り、どの程度学習計画に沿って実践できたかを内省する。

第2回 Unit 5 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリスニング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第3回 Unit 5 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。
第1回単語テスト

第4回 Unit 6 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリスニング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第5回 Unit 6 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。
第2回単語テスト

第6回 Unit7 Listening section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリスニング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。

第7回 Unit 7 Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。
第3回単語テスト

第8回 Unit 8 Listening & Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。

問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。

第9回 Unit 9 Listening & Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。
第4回単語テスト

第10回 Unit 10 Listening & Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。

第11回 Unit 11 Listening & Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。
第5回単語テスト

第12回 Unit 12 Listening & Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。

第13回 Unit 13 Listening & Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分
テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。
第6回単語テスト

第14回 Unit 14 Listening & Reading section

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。テキスト内の単語の確認
予習時間：60分
復習内容：テキストで間違えた問題、テキスト内の単語・熟語の確認
復習時間：30分

テキストのリーディング演習を行う。
問題の要点と解説を行う。
リスニング教材を使ってシャドーイングをする。
TOEFL等の教材を用いて速読の訓練を行う。

第15回 まとめ

予習内容：TOEICの単語を学習計画に準じて覚える。

予習時間：60分

復習内容：これまでのテキストの総復習

復習時間：30分

全体的なフィードバックを行う。

半期を通して主体的に学習できたか内省する。

定期試験

テキストに基づいたTOEIC形式のテストを行う。ただし、長文はテキスト以外の英文を用意する予定である。

■ホームページ

科目名 :	理系英語応用 1				
英文名 :	Applied Science English 1				
担当者 :	片岡 宏仁				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この授業では、英語で書かれた科学分野の文献・議論を理解するための語学的な基礎トレーニングを提供します。重要構文の復習と応用に加えて統計などの基本的な語彙・表現を身につけたうえで、文構造を正確に把握しながら自身をもって内容を理解できるようにすることを目指します。主な教材には比較的平易な統計学の解説や科学エッセイなどの抜粋を利用します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

この授業では、次の3点の習得を目指します：

- (1) 複雑な文構造を性格に把握できること
- (2) 中級程度の一般的な語彙と科学分野で汎用性の高い語彙を理解・使用できること
- (3) 短い英語記事の要点を抽出して要約できること

■ 成績評価方法および基準

課題提出 30%
 プレゼン・口頭レポート 30%
 小テスト 20%
 授業内の発言 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

予習リーディング課題の要点を授業時にハンドアウト・スライドにて解説します。
 サポート用のウェブサイトにて解説ハンドアウトを掲載します。

■ 教科書

指定の教科書はありません。

■ 参考文献

[ISBN]0241957710 『The Sense of Style: The Thinking Person's Guide to Writing in the 21st Century』 (Steven Pinker, Penguin : 2015)

■ 関連科目

理系英語応用2

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) ; hrht_knk@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 導入

- 1.1 「科学英語」と学習の指針
- 1.2 授業全体の概要について
- 1.3 英語力の確認問題
- 1.4 自己紹介

第2回 統計の初歩を英語で学ぶ #1: Raw Data

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

- 2.1 語彙を増やす
- 2.2 重要構文のおさらい
- 2.3 ショートプレゼンテーション
- 2.4 リーディング課題の解説

第3回 統計の初歩を英語で学ぶ #2: Sorting

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

- 3.1 語彙を増やす #2
- 3.2 重要構文のおさらい
- 3.3 ショートプレゼンテーション
- 3.4 予習リーディング課題の解説

第4回 統計の初歩を英語で学ぶ #3: Sample size, etc.

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

- 4.1 語彙を増やす
- 4.2 重要構文のおさらい
- 4.3 ショートプレゼンテーション
- 4.4 リーディング課題の解説

第5回 統計の初歩を英語で学ぶ #4: More complex analysis

5.1 語彙を増やす

5.2 重要構文のおさらい

5.3 ショートプレゼンテーション

5.4 リーディング課題の解説

第6回 統計の初歩を英語で学ぶ #5: Parameters

6.1 語彙を増やす

6.2 重要構文のおさらい

6.3 ショートプレゼンテーション

6.4 リーディング課題の解説

第7回 統計の初歩を英語で学ぶ #6: Bell curve

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

- 7.1 語彙を増やす
- 7.2 重要構文のおさらい
- 7.3 ショートプレゼンテーション
- 7.4 リーディング課題の解説

第8回 統計の初歩を英語で学ぶ #7: Probabilities

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

- 8.1 語彙を増やす
- 8.2 重要構文のおさらい
- 8.3 ショートプレゼンテーション
- 8.4 リーディング課題の解説

第9回 統計とバイアスについて英語で読む #1: "The law of large numbers"

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

9.1 語彙を増やす

9.2 重要構文のおさらい

9.3 ショートプレゼンテーション

9.4 リーディング課題の解説

第10回 統計とバイアスについて英語で読む #2: "The law of large numbers"

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

10.1 語彙を増やす

10.2 重要構文のおさらい

10.3 ショートプレゼンテーション

10.4 リーディング課題の解説

第11回 統計とバイアスについて英語で読む #3: "The law of large numbers"

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

11.1 語彙を増やす

11.2 重要構文のおさらい

11.3 ショートプレゼンテーション

11.4 リーディング課題の解説

第12回 統計とバイアスについて英語で読む #4 "Representativeness"

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

12.1 語彙を増やす

12.2 重要構文のおさらい

12.3 ショートプレゼンテーション

12.4 リーディング課題の解説

第13回 統計とバイアスについて英語で読む #5 "Sampling"

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

13.1 語彙を増やす

13.2 重要構文のおさらい

13.3 ショートプレゼンテーション

13.4 リーディング課題の解説

第14回 統計とバイアスについて英語で読む #6 "Sampling"

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

14.1 語彙を増やす

14.2 重要構文のおさらい

14.3 ショートプレゼンテーション

14.4 リーディング課題の解説

第15回 統計とバイアスについて英語で読む #7 "Fallacy"

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙と構文

復習時間：30分

15.1 語彙を増やす

15.2 重要構文のおさらい

15.3 ショートプレゼンテーション

15.4 リーディング課題の解説

定期試験

授業内で学習した語彙・構文およびリーディング素材について、主に以下の事項を出題します。

- (1) 学習した語彙項目での例文完成問題
- (2) 重要構文を用いた表現問題
- (3) リーディング素材の内容理解問題

■ホームページ

科目名 :	理系英語応用 2				
英文名 :	Applied Science English 2				
担当者 :	片岡 宏仁				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

「理系英語応用1」と同様に、この授業では、英語で書かれた科学分野の文献・議論を理解するための語学的な基礎トレーニングを提供します。フィーリングや当てずっぽうで英文を読み書きするのではなく、文構造の正確な把握をふまえて自信をもって内容を理解できるようになることを目指します。主な教材には比較的平易な科学記事や生物学の入門テキストなどを抜粋して利用します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

この授業では、次の3点の習得を目指します：

- (1) 文構造を正確に把握できること
- (2) 中級程度の一般的な語彙と科学分野での汎用性の高い語彙を理解して使用できること
- (3) 短い英語記事の要点を抽出してまとめられること

■ 成績評価方法および基準

課題提出 40%
 プレゼン・口頭レポート 20%
 小テスト 20%
 授業内の発言 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

予習リーディング課題の要点解説を授業内で行います。
 英日対訳と正答例をサポート用ウェブサイトに掲載します。

■ 教科書

指定の教科書はありません。

■ 参考文献

[ISBN]0241957710 『The Sense of Style: The Thinking Person's Guide to Writing in the 21st Century』 (Steven Pinker, Penguin : 2015)

■ 関連科目

理系英語応用1

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) ; hrht_knk@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 導入

予習内容 : なし
 復習内容 : なし

- 1.1 (再び) 科学英語について: 学習の指針
- 1.2 授業全体の概要
- 1.3 英語力の確認問題

1.4 自己紹介

第2回 「論証」とその基本用語を学ぶ

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙の復習

復習時間：30分

2.1 語彙強化

2.2 担当者レポートとディスカッション

2.3 ミニマムな論証: premises & conclusion

2.4 今日のまとめ

第3回 論証の基本ルールと英語表現

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙の復習

復習時間：30分

3.1 語彙強化

3.2 担当者レポートとディスカッション

3.3 論証の基本ルール

3.4 比較しよう：いい論証とダメな論証

3.5 今日のまとめ

第4回 一般化とその英語表現 #1

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙の復習

復習時間：30分

4.1 語彙強化

4.2 担当者レポートとディスカッション

4.3 「一般化」(generalization) #1

4.4 比較しよう：いい例とダメな例

第5回 一般化とその英語表現 #2

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙の復習

復習時間：30分

5.1 語彙強化

5.2 担当者レポートとディスカッション

5.3 「一般化」(generalization) #2

5.4 比較しよう：いい例とダメな例

5.5 今日のまとめ

第6回 情報源・出典を示す

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙の復習

復習時間：30分

6.1 語彙強化

6.2 担当者レポートとディスカッション

6.3 情報源・出典 (sources)

6.4 比較しよう：いい例とダメな例

6.5 今日のまとめ

第7回 原因についての論証 #1

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙の復習

復習時間：30分

7.1 語彙強化

7.2 担当者レポートとディスカッション

- 7.3 因果関係と相関 (correlation) #1
- 7.4 英文理解：かんたんな具体例を考えよう
- 7.5 今日のまとめ

第8回 原因についての論証 #2

- 予習内容：予習リーディング課題
- 予習時間：30分
- 復習内容：語彙の復習
- 復習時間：30分
- 8.1 語彙強化
- 8.2 担当者レポートとディスカッション
- 8.3 因果関係と相関 (correlation) #2
- 8.4 英文理解：かんたんな具体例を考えよう
- 8.5 今日のまとめ

第9回 演繹的な論証 #1

- 予習内容：予習リーディング課題
- 予習時間：30分
- 復習内容：語彙の復習
- 復習時間：30分
- 9.1 語彙強化
- 9.2 担当者レポートとディスカッション
- 9.3 演繹的な論証 #1
- 9.4 具体例で英語表現を学ぶ
- 9.5 今日のまとめ

第10回 演繹的な論証 #2

- 予習内容：予習リーディング課題
- 予習時間：30分
- 復習内容：語彙の復習
- 復習時間：30分
- 10.1 語彙強化
- 10.2 担当者レポートとディスカッション
- 10.3 演繹的な論証 #1
- 10.4 具体例で英語表現を学ぶ
- 10.5 今日のまとめ

第11回 Microbiology: 細胞の仕組みを英語でおさらいしよう #1

- 予習内容：予習リーディング課題
- 予習時間：30分
- 復習内容：語彙の復習
- 復習時間：30分
- 11.1 語彙強化
- 11.2 担当者レポートとディスカッション
- 11.3 リーディング解説
- 11.4 今日のまとめ

第12回 Microbiology: 細胞の仕組みを英語でおさらいしよう #2

- 予習内容：予習リーディング課題
- 予習時間：30分
- 復習内容：語彙の復習
- 復習時間：30分
- 12.1 語彙強化
- 12.2 担当者レポートとディスカッション
- 12.3 リーディング解説
- 12.4 今日のまとめ

第13回 Microbiology: 細胞の仕組みを英語でおさらいしよう #3

- 予習内容：予習リーディング課題
- 予習時間：30分
- 復習内容：語彙の復習
- 復習時間：30分

- 13.1 語彙強化
- 13.2 担当者レポートとディスカッション
- 13.3 リーディング解説
- 13.4 今日のまとめ

第14回 Microbiology: 細胞の仕組みを英語でおさらいしよう #4

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙の復習

復習時間：30分

- 14.1 語彙強化
- 14.2 担当者レポートとディスカッション
- 14.3 リーディング解説
- 14.4 今日のまとめ

第15回 Microbiology: 細胞の仕組みを英語でおさらいしよう #5

予習内容：予習リーディング課題

予習時間：30分

復習内容：語彙の復習

復習時間：30分

- 15.1 語彙強化
- 15.2 担当者レポートとディスカッション
- 15.3 リーディング解説
- 15.4 今日のまとめ

定期試験

授業内で扱った語彙項目・キーワード解説・リーディング素材について出題します。主に、次の出題項目に分かれます：

- (1) 語彙項目をもちいた例文完成問題
- (2) ミニ論証の英作文
- (3) リーディング素材の内容理解問題
- (4) 細胞生物学の基本語彙（図解のキーワード補完など）

■ホームページ

科目名 :	ドイツ語総合 1				
英文名 :	Basic German 1				
担当者 :	田中 秀穂・北川 尚・南谷 真紀				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

日常のさまざまな場面で使われる会話を中心とするテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。

ドイツ語総合1とドイツ語総合2は継続して履修登録してください。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、ドイツ語検定で言えば5級に相当する語彙と基本フレーズを習得することを通じて、実際に使える初歩的なドイツ語力の獲得を目指します。

また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784560064191 『プレーミアエ ドイツ語総合読本』(神竹道士, 白水社: 2018)

■ 参考文献

授業で紹介します。「ドイツ語について」の項を参照。

■ 関連科目

ドイツ語総合2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■ オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ドイツ語圏の国、アルファベット、綴りと発音

予習内容: ドイツ語が使用されている地域、ドイツ語の特徴について調べる。

予習時間: 45分

復習内容: ドイツ語の発音、挨拶を練習する。

復習時間: 45分

アルファベットと発音の基本を学ぶ

第2回 Lektion1. Ich bin Student.

予習内容: Lektion1に出てくる単語の読み方と意味を調べる。

予習時間: 45分

復習内容: Lektion1の文章と単語を復習する。

復習時間：45分

動詞の人称変化（1）、人称代名詞（1）重要動詞sein

第3回 Lektion1. Ich bin Student.

予習内容：Lektion 1 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 1 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

疑問文（1）決定疑問文、定動詞第二位の原則。

第4回 Lektion2 Das ist ein Mann.

予習内容：Lektion 2 前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 2 前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

名詞の性、冠詞一定冠詞と不定冠詞、重要動詞haben

第5回 Lektion 2 Das ist ein Mann.

予習内容：Lektion 2 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 2 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

注意すべき動詞、疑問文（2）—補足疑問文

第6回 まとめと復習：小テスト

予習内容：Lektion 1 およびLektion 2 の内容を確認する。

予習時間：45分

復習内容：小テストでよくできなかった点を復習する。

復習時間：45分

まとめと復習・小テスト

第7回 Lektion 3 Mein Vater ist Ingenieur.

予習内容：Lektion 3 前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 3 前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

名詞の複数形、定冠詞類・不定冠詞類

第8回 Lektion3. Mein Vater ist Ingenieur

予習内容：Lektion 3 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 3 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

否定文

第9回 Lektion4. Mach zuerst die Hausaufgaben!

予習内容：Lektion 4 前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 4 前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

動詞の現在人称変化（2）—不規則動詞

第10回 Lektion4. Mach zuerst die Hausaufgaben!

予習内容：Lektion 4 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 4 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

命令文、勧誘文

第11回 Lektion5. Ich fahre in die Schweiz.

予習内容：Lektion 5 前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 5 前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

人称代名詞（2）一人称代名詞の3、4格

第12回 Lektion5. Ich fahre in die Schweiz.

予習内容：Lektion 5 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 5 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

前置詞、並列接続詞

第13回 Lektion6. Das muss sehr lustig sein.

予習内容：Lektion 6 前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 6 前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

話法の助動詞、未来の助動詞

第14回 Lektion6. Das muss sehr lustig sein.

予習内容：Lektion 6 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 6 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

zu不定詞

第15回 まとめと復習・補足・小テスト

予習内容：前期の学習内容を振り返る。

予習時間：45分

復習内容：小テストでできなかった項目を確認する。

復習時間：45分

まとめと復習・補足・小テスト

定期試験

■ホームページ

科目名 :	ドイツ語総合2						
英文名 :	Basic German 2						
担当者 :	田中 秀穂・北川 尚・南谷 真紀						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。

ドイツ語総合1とドイツ語総合2は継続して履修登録してください。ドイツ語総合1を履修せずに、ドイツ語総合2を履修することはできません。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定4級に相当する語彙と表現を習得し、基礎的なドイツ語を理解する力をつけます。

また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784560064191 『ブレーミエ ドイツ語総合読本』(神竹道士, 白水社 : 2018)

■ 参考文献

授業で紹介します。

「ドイツ語について」の項を参照

■ 関連科目

ドイツ語総合1・3・4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■ オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 前期の復習

予習内容 : 前期に学習した単語や文法事項を確認する。

予習時間 : 45分

復習内容 : 授業時に分からなかった単語や文法事項を復習する。

復習時間 : 45分

前期の復習

第2回 Lektion7. Der letzte Ritter kommt!

予習内容 : Lektion 7 前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 7 前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

形容詞の用法、形容詞の格変化

第3回 Lektion7. Der letzte Ritter kommt!

予習内容：Lektion 7 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 7 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

形容詞の名詞化、序数詞

第4回 Lektion8. Das wichtigste Exportland ist Frankreich.

予習内容：Lektion 8 前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 8 前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

形容詞・副詞の比較変化、比較表現

第5回 Lektion8. Das wichtigste Exportland ist Frankreich.

予習内容：Lektion 8 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 8 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

比較表現、esの用法

第6回 まとめと復習

予習内容：Lektion 7 およびLektion 8 の単語の発音と意味を確認する。

予習時間：45分

復習内容：小テストでできなかった単語や文法事項を復習する。

復習時間：45分

まとめと復習

第7回 Lektion9. Es fand 1810 zum ersten Mal statt.

予習内容：Lektion 9 前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 9 前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

分離動詞と非分離動詞

第8回 Lektion9. Es fand 1810 zum ersten Mal statt.

予習内容：Lektion 9 後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 9 後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

動詞の3基本形、過去形

第9回 Lektion10. Ich habe ein Brötchen gegessen.

予習内容：Lektion10前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

現在完了形

第10回 Lektion10. Ich habe ein Brötchen gegessen.

予習内容：Lektion10後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

従属接続詞、相関接続詞

第11回 Lektion11. Das kann ich mir gut vorstellen.

予習内容：Lektion11前半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion11前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

再帰代名詞

第12回 Lektion11. Das kann ich mir gut vorstellen.

予習内容：Lektion11後半の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion11後半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

再帰動詞、分詞

第13回 Lektion12. Er gründete eine Liedertafel, die heute noch besteht.

予習内容：Lektion12の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion12の文法事項について復習する。

復習時間：45分

定関係代名詞、指示代名詞、不定関係代名詞

第14回 Lektion13. Das Konzert wird im Fernsehen übertragen.

予習内容：Lektion13の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion13の文法事項を復習する。

復習時間：45分

動作受動、受動文の時制、自動詞の受動文、状態受動、その他の受動表現

第15回 Lektion14. Die Reue komme immer zu spät.

予習内容：Lektion14の単語の意味と発音を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion14の文法事項を復習する。

復習時間：45分

接続法の用法、まとめ

定期試験

■ホームページ

科目名 :	ドイツ語総合3				
英文名 :	Basic German 3				
担当者 :	南谷 真紀				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

これまで学んだドイツ語の文法や基本構造をもう一度確認しながら、語彙や表現の聴き取り、口頭練習、ドイツ語作文の練習などにより、ドイツの日常生活で使うことができ、またいろいろな場面で簡単に応用できる表現を習得します。随時、プリントなどの補助教材を使うことがあります。

ドイツ語総合3とドイツ語総合4は継続して履修登録してください。この科目を履修するには、前年までにドイツ語総合1・2のうち、少なくとも一方の単位を取得している必要があります。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「総合1・2」で学んだドイツ語の知識をもとに、さらにドイツ語の表現力や応用力を養い、簡単な会話や文章が理解できる力をつけましょう。

また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784261012668 『Vier Jahreszeiten—4ステップドイツ語』（林 良子, 郁文堂 : 2017)

■ 参考文献

授業で紹介します。

■ 関連科目

ドイツ語総合1・2・4

ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4

ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■ オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Lektion 1 アルファベットと読み方、挨拶

予習内容 : ドイツ語のアルファベットの発音や挨拶について調べる。

予習時間 : 45分

復習内容 : アルファベット、単語の読み方、挨拶の表現を練習する。

復習時間 : 45分

アルファベット / 挨拶 / 発音の原則 / 人称代名詞とsein動詞

第2回 Lektion 1+a 国名、挨拶、sein動詞

予習内容：Lektion 1 +aの単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion 1 +aの単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
国名、挨拶、sein動詞をつかった練習

第3回 Lektion2 お名前はなんと言いますか？

予習内容：Lektion 2 の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion 2 の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の現在人称変化、注意が必要な動詞の変化、文の作り方、いろいろな疑問詞

第4回 Lektion2+a 自己紹介をする

予習内容：Lektion2+aの単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion2+aの単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
自己紹介の練習をする

第5回 Lektion3 今日時間がありますか？

予習内容：Lektion3の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion3の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
名詞の性、定冠詞・不定冠詞の格変化、haben動詞

第6回 Lektion3+a 何を持っているのかいう・人を誘う

予習内容：Lektion3+aの単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion3+aの単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
何を持っているのかを言う表現、人を誘う表現についてのグループ練習

第7回 まとめと小テスト

予習内容：Lektion1、Lektion2、Lektion3の単語と文法を復習する
予習時間：45分
復習内容：小テストでできなかった問題を復習する
復習時間：45分
前期前半のまとめと小テスト

第8回 Lektion4 フランス語を話しますか？

予習内容：Lektion 4 の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion 4 の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
不規則動詞の現在人称変化、命令形、名詞の複数形、人称代名詞の格変化

第9回 Lektion4+a 好きなもの、ことを言う

予習内容：Lektion4+aの単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion4+aの単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
好きなもの、ことについて言う表現をつかったパートナー練習

第10回 Lektion5 私は友達と湖に行きます

予習内容：Lektion 5 の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion 5 の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
冠詞類、前置詞

第11回 Lektion5+a どこにあるかを言う・交通手段について話す

予習内容：Lektion 5 +aの単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 5 +aの単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

どこにあるかを言う・交通手段について話す。グループ練習と作文練習をする。

第12回 Lektion6 他に何かご入用ですか？

予習内容：Lektion 6 の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 6 の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

話法の助動詞、話法の助動詞を用いた文、möchteとwerden、副文

第13回 Lektion6+a 買い物をする・知っているかどうかを尋ねる。

予習内容：Lektion 6 +aの単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion 6 +aの単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

買い物をする・知っているかどうかを尋ねる表現を使ったグループ練習、作文練習。

第14回 時刻、方向、専攻などの表現

予習内容：時刻、方向、専攻などの単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：時刻の表現、方向や専攻についての単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

時刻の表現、方向や専攻についての単語を使ったグループ練習、作文練習

第15回 前期のまとめ

予習内容：前期に学習した単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：前期に学習した単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

Lektion 1 からLektion 6 までの内容を振り返り、まとめる

定期試験

■ホームページ

科目名 :	ドイツ語総合4				
英文名 :	Basic German 4				
担当者 :	南谷 真紀				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

これまで学んだドイツ語の文法や基本構造をもう一度確認しながら、語彙や表現の聴き取り、口頭練習、ドイツ語作文の練習などにより、ドイツの日常生活で使うことができ、またいろいろな場面で簡単に応用できる表現を習得します。随時、プリントなどの補助教材を使うことがあります。

ドイツ語総合3とドイツ語総合4は継続して履修登録してください。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「総合1・2」で学んだドイツ語の知識をもとに、さらにドイツ語の表現力や応用力を養い、簡単な会話や文章が理解できる力をつけましょう。

また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表および課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784261012668 『Vier Jahreszeiten—4ステップドイツ語』(林 良子, 郁文堂 : 2017)

■ 参考文献

授業で紹介します。

■ 関連科目

ドイツ語総合1・2・3

ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4

ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■ オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ドイツ語総合3の復習

予習内容 : ドイツ語総合3 で出てきた単語を調べる

予習時間 : 45分

復習内容 : ドイツ語総合3 の文法事項を復習する

復習時間 : 45分

ドイツ語総合3 の学習内容を復習する

第2回 Lektion7 何時にパーティーが始まりますか？

予習内容 : Lektion7の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion7の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

分離動詞、非分離動詞、zu不定詞、非人称主語のes、不定代名詞のman

第3回 Lektion7+a 列車の時刻を尋ねる・天候・予定について話す

予習内容：Lektion7 +aの単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion7 +aの単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

列車の時刻を尋ねる・天候・予定についての会話練習、作文練習

第4回 Lektion8 学校ではどうでしたか？

予習内容：Lektion8の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion8の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

動詞の三基本形、過去形、分離・非分離動詞の過去形・過去分詞、前置詞と人称代名詞の融合形

第5回 Lektion8+a 物語や詩を味わう・場所を尋ねる・昔のことを尋ねる

予習内容：Lektion8+a単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion8+aの単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

現在完了形、過去形を使った会話練習、作文練習

第6回 Lektion9 市の中心部も見物したのですか？

予習内容：Lektion9の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion9の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

現在完了形、過去完了形

第7回 Lektion9+a 過去の予定・状態について話す、行った場所を尋ねる

予習内容：Lektion9+aの単語と文法事項を調べる

予習時間：45分

復習内容：Lektion9+aの文法事項を復習する

復習時間：45分

過去の予定や状態について、および行った場所についての会話練習、作文練習

第8回 中間テスト、まとめ

予習内容：Lektion6～9の単語と文法事項を復習する。

予習時間：45分

復習内容：中間テストでできなかった箇所を復習する。

復習時間：45分

後期前半の学習内容をまとめる

第9回 Lektion10 実を言うとあまり気分が良くないんです

予習内容：Lektion10の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

形容詞の格変化、序数、分詞の用法、再帰代名詞と再帰動詞

第10回 Lektion10 +a 服装・持ち物について話す

予習内容：Lektion10 +aの単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion10 +aの単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

服装・持ち物についての会話練習、作文練習

第11回 Lektion11 君たちは協会に行かないのですか？

予習内容：Lektion11の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion11の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

受動態、自動詞による受動、比較の表現

第12回 Lektion11+a いつ生まれたか尋ねる・兄弟姉妹について話す

予習内容：Lektion11+aの単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion11+aの単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

いつ生まれたか尋ねる・兄弟姉妹についての会話練習、作文練習

第13回 Lektion12 日本で再会できればいいのだけれども

予習内容：Lektion12の単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion12の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

接続法、定関係代名詞、不定関係代名詞

第14回 Lektion12+a 願望・将来の夢を語る

予習内容：Lektion12+aの単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：Lektion12+aの文法事項を復習する。

復習時間：45分

願望および将来の夢についての会話練習、作文練習

第15回 後期のまとめ

予習内容：後期に学習した単語の発音と意味を調べる。

予習時間：45分

復習内容：後期に学習した単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分

Lektion7からLektion12までの内容を振り返り、まとめる

定期試験

■ホームページ

科目名 :	中国語総合 1				
英文名 :	Basic Chinese 1				
担当者 :	村田 浩・平坂 仁志・王 蘭・東條 智恵				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合1」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「中国語総合2」とあわせて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

[ISBN]9784764707047 『初級中国語 講読編—自分のことばで表現する中国語』（奥村 佳代子, 金星堂 : 2017)

■ 参考文献

[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイズ中日・日中辞典 第3版, 中型版』（杉本達夫, 三省堂）
[ISBN]9784095156958 『中日辞典 第2版, 大活字版』（北京・商務印書館, 小学館）
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語（講談社現代新書 987）』（相原茂, 講談社）
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一步（ちくま新書 066）』（木村英樹, 筑摩書房）

■ 関連科目

中国語総合2・3・4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）
平坂 hirasaka@waka.kindai.ac.jp
村田 mypatax@waka.kindai.ac.jp
東條 tudi-zhihui@hotmail.co.jp
王 wanglan@sin-hinoo.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1課 発音1

予習内容 : シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。

予習時間 : 45分

復習内容 : 授業内容を読み返して復習する。

復習時間 : 45分

声調と母音

第2回 第2課 発音 2

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

子音と鼻母音

第3回 第3課 発音 3

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

軽声と声調変化

第4回 第4課 発音 4

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

数の言い方と数を使う表現

第5回 第5課 朝何を食べますか

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第6回 第5課 朝何を食べますか

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第7回 第6課 私は林玲です

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第8回 第6課 私は林玲です

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第9回 復習 1

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

第5課と第6課の復習

第10回 第7課 家は西安にあります

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第11回 第7課 家は西安にあります

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第12回 第8課 今年18歳です

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第13回 第8課 今年18歳です

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第14回 復習2

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

第7課と第8課の復習

第15回 総復習

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

前期の復習

定期試験

■ホームページ

科目名 :	中国語総合 2						
英文名 :	Basic Chinese 2						
担当者 :	村田 浩・平坂 仁志・王 蘭・東條 智恵						
開講学科 :	外国語科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

「中国語総合2」では、「中国語総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「中国語総合1」とあわせて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4の達成に關与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

[ISBN]9784764707047 『初級中国語 講読編—自分のことばで表現する中国語』（奥村 佳代子, 金星堂 : 2017)

■ 参考文献

[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイズ中日・日中辞典 第3版, 中型版』（杉本達夫, 三省堂）
[ISBN]9784095156958 『中日辞典 第2版, 大活字版』（北京・商務印書館, 小学館）
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語（講談社現代新書 987）』（相原茂, 講談社）
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一步（ちくま新書 066）』（木村英樹, 筑摩書房）

■ 関連科目

中国語総合1・3・4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）
平坂 hirasaka@waka.kindai.ac.jp
村田 mypatax@waka.kindai.ac.jp
東條 tudi-zihui@hotmail.co.jp
王 wanglan@sin-hinoo.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 総合1の復習

予習内容 : これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間 : 45分

復習内容 : 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間 : 45分

前期で習った内容の復習

第2回 第9課 家は学校から近いです

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第3回 第9課 家は学校から近いです

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第4回 第10課 私は塾でアルバイトしています

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第5回 第10課 私は塾でアルバイトしています

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第6回 第11課 昨日本を一冊買いました

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第7回 第11課 昨日本を一冊買いました

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第8回 復習1

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

第9課～第11課の復習

第9回 第12課 趣味は水泳です

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第10回 第12課 趣味は水泳です

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第11回 第13課 食欲はすごくあります

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第12回 第13課 食欲はすごくあります

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第13回 第14課 また先生にしかられました

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

新出単語の説明、短文読解

第14回 第14課 また先生にしかられました

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

練習問題とその応用

第15回 復習2

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

前期の復習

定期試験

■ホームページ

科目名 :	中国語総合3				
英文名 :	Basic Chinese 3				
担当者 :	垣内 智之				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

中国語総合1, 2を履修し、基礎的事項を習得した学生を対象とする科目です。

中国語総合1, 2で学習した単語や文法事項を復習しながら、単語量と文法的な知識を増やし、自分の言葉で表現できる力を養います。「総合3」では、主に「読む」と「書く」に重点を置き、中国語運用能力の基礎を身につけます。中国語を読んで理解し、自分の言いたいことが書けること、また情報や自分の考えを場面や目的に応じて適切に伝えられることを目指します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「中国語総合4」とあわせて、中国語検定4級程度の常用語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 20%

口頭発表及び課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

[ISBN]9784560069233 『中国語つぎへの一歩(解答なし)』 (伊 景春,白水社)

■ 参考文献

[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイズ中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)

[ISBN]9784095156958 『中日辞典 第2版, 大活字版』 (北京・商務印書館, 小学館)

[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書 987)』 (相原茂, 講談社)

[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書 066)』 (木村英樹, 筑摩書房)

■ 関連科目

中国語総合1・2・4

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) kakiuchi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 発音の復習

予習内容: これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間: 45分

復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間: 45分

今までに習った発音を復習する

第2回 第1課 中国に行こう

予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

助動詞「可以」「要」・主述述語文

第3回 第1課 中国に行こう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

目的語が主述句のとき

第4回 第2課 ジャスミン茶を飲もう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

「的」の用法・原因理由の表現

第5回 第2課 ジャスミン茶を飲もう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

文末の助詞

第6回 第3課 友達を作ろう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

連動文

第7回 第3課 友達を作ろう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

「是～的」の文・疑問詞「怎么」

第8回 復習1

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

第1課～第3課の復習

第9回 第4課 長城に登ろう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

副詞「就」

第10回 第4課 長城に登ろう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

「了」の用法

第11回 第5課 卓球を楽しもう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

様態補語

第12回 第5課 卓球を楽しもう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

可能性の予測をあらわす「会」・「仮定」をあらわす「要是」

第13回 第6課 漢字を覚えよう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

結果補語 1

第14回 第6課 漢字を覚えよう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

「少し」の表現

第15回 復習 2

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

第4課～第6課の復習

定期試験

■ホームページ

科目名 :	中国語総合 4				
英文名 :	Basic Chinese 4				
担当者 :	垣内 智之				
開講学科 :	外国語科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

「中国語総合3」に引き続き、語彙と文法的な知識を増やし、自分の言葉で表現できる力を養い、総合的な中国語運用能力を伸ばしてゆきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

「中国語総合3」とあわせて、中国語検定4級程度の常用語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4の達成に關与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

[ISBN]9784560069233 『中国語つぎへの一歩(解答なし)』 (尹 景春,白水社)

■ 参考文献

[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイズ中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156958 『中日辞典 第2版, 大活字版』 (北京・商務印書館, 小学館)
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書 987)』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書 066)』 (木村英樹, 筑摩書房)

■ 関連科目

中国語総合1・2・3

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) kakiuchi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 総合3の復習

予習内容: これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間: 45分

復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間: 45分

前期で習った内容を復習する

第2回 第7課 街を歩こう

予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

存現文

第3回 第7課 街を歩こう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

主語がフレーズするとき・「～了～了」の用法

第4回 第8課 中国映画を観よう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

「状態の持続」をあらわす「着」

第5回 第8課 中国映画を観よう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

副詞「再」・疑問詞の不定用法

第6回 第9課 チャイナドレスを買おう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

方向補語

第7回 第9課 チャイナドレスを買おう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

使役文

第8回 復習1

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

第7課～第9課の復習

第9回 第10課 中華を食べよう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

可能補語

第10回 第10課 中華を食べよう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

強調表現

第11回 第11課 西遊記を読もう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

結果補語 2

第12回 第11課 西遊記を読もう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

受身文

第13回 第12課 春節を祝おう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

近未来の表現

第14回 第12課 春節を祝おう

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。

予習時間：45分

復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。

復習時間：45分

処置文

第15回 復習 2

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。

予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分

第10課～第12課の復習

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	化学 I						
英文名 :	Chemistry 1						
担当者 :	藤澤 雅夫						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

化学は物質の本質を究明し、物質の変化と物質間の相互作用を研究する学問である。量の単位であるモルの定義を明らかにする。原子核から原子、分子、結晶までの構造論を取り扱う。物質の三態とその変化を取り扱ったあと、分析化学の基礎となるpHや酸塩基平衡を解説する。有機化合物の構造に関する知識を習得させることで、合成高分子と生体高分子の学習の基礎とする。以上の学習に有効な問題演習も取り入れる。この講義は、高校で化学の全単元を履修しなかった学生にも配慮して進める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

原子の構造に関する基礎的事項を理解する。
 電子配置の規則を説明できる。
 化学結合の種類と特徴を説明できる。
 物質の三態に関する基礎的事項を理解する。
 酸・塩基の概念を理解する。
 有機化合物の構造式を記述し、それらの構造式から化合物の性質を理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 85%
 小テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
 小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784407331325 『新編基礎化学(専門基礎ライブラリー)』(実教出版:2013)

■ 参考文献

[ISBN]9784781908274 『新化学概論(サイエンスライブラリ化学)』(吉岡 甲子郎, サイエンス社:1997)

■ 関連科目

化学Ⅱ、化学実験

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤澤研究室(2号館5階504号室)・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日1限
 必ず事前に連絡してください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 インTRODクシヨン:化学という学問

SI・単位・化学に必要な最低限の数学

予習内容:有効数字、対数・指数に関して予習すること。

予習時間:90分

復習内容:教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、数値の取り扱い方、単位の変換について確認すること。

復習時間：90分

第2回 原子の構造

予習内容：原子の基本構造に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、各原子やイオンにおける陽子、中性子、電子について確認すること。

復習時間：90分

第3回 原子の電子軌道

予習内容：電子軌道に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、主量子数、方位量子数、磁気量子数、スピン量子数および電子配置について確認すること。

復習時間：90分

第4回 化学結合：共有結合

予習内容：電子対に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、混成軌道について確認すること。

復習時間：90分

第5回 化学結合：金属結合とイオン結合

予習内容：自由電子、イオン結合の強さに関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、イオン結合性、共有結合性、結晶における充填率について確認すること

復習時間：90分

第6回 分子間力

予習内容：極性に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、双極子モーメントについて確認すること。

復習時間：90分

第7回 分子間相互作用

予習内容：分子間相互作用の種類に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、分子間にはたらく弱い力について確認すること。

復習時間：90分

第8回 物質の状態変化

予習内容：物質がとりうる状態に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、各状態における粒子間にはたらく力について確認すること。

復習時間：90分

第9回 気体

予習内容：理想気体の状態方程式に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、理想気体の状態式、実在気体の状態方程式について確認すること。

復習時間：90分

第10回 固体の構造

予習内容：結晶格子に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、結晶構造における密度-原子量-格子定数の関係について確認すること。

復習時間：90分

第11回 液体、溶液の濃度と溶解度

予習内容：溶液の濃度の表し方に関連する内容を予習する。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、ある一つの溶液に対して数種以上の濃度で記述できることについて確認すること。

復習時間：90分

第12回 化学平衡と酸・塩基

予習内容：化学平衡と平衡定数に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、溶液のpHを求め方について確認すること。

復習時間：90分

第13回 元素の分類と無機化合物

予習内容：元素の分類に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、代表的な無機化合物の性質について確認すること。

復習時間：90分

第14回 有機化合物の分類と異性体

予習内容：有機化合物の構造の分類に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、有機化合物の命名法について確認すること。

復習時間：90分

第15回 合成高分子と生体高分子

予習内容：高分子化合物の構成単位に関連する項内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、高分子化合物の分子構造について確認すること。

復習時間：90分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	化学 I						
英文名 :	Chemistry 1						
担当者 :	櫻井 一正						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

化学とは、物質の性質や変化を理解するための考え方をまとめたものである。化学の考え方は、新たな材料や薬品の合成法の開発、およびDNAの複製や酵素反応といった生物現象の理解まで広く利用することができる。そのための第一歩として、化学 I では高校化学で習った内容を復習し、今後の関連する科目に必要な知識を固める。また、授業中では演習問題を多く取り入れ、授業内容の理解を進める。中間テストと期末テストを行い、受講者が授業内容の復習と理解をすることを図る。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 1) 高校化学の範囲を復習し、基礎を固める
- 2) モル数や濃度、pHなどの化学の基本概念をマスターする
- 3) 化学結合の機構を知り、分子構造を視覚的、立体的に理解する

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%
 中間テスト 40%
 授業中の演習 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内演習や中間テストの解答と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載し、かつその一部を次回の授業の冒頭で説明する。

■ 教科書

[ISBN]9784407331325 『新編基礎化学 (専門基礎ライブラリー)』 (実教出版 : 2013)

■ 参考文献

[ISBN]9784781912707 『基礎化学 (新・物質科学ライブラリ)』 (梶原 篤, サイエンス社 : 2011)

■ 関連科目

化学実験、化学 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

櫻井 一正 (高圧力蛋白質研究センター) ・ sakurai@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限か木曜日2限
 事前にEメールでアポイントをとってください

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 物質の成り立ち、化学の計算

予習内容 : Universal Passportで公開している授業スライドと、指定教科書の講義内容に該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間 : 20分

復習内容 : 授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間 : 30分

第2回 原子の構造と電子殻のエネルギー

予習内容 : 授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間 : 20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第3回 化学結合と分子の構造

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第4回 共有結合以外の結合

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第5回 物質の状態と状態方程式

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第6回 反応熱

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第7回 化学平衡

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第8回 酸と塩基・pH

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第9回 酸化還元反応

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第10回 中間テスト

予習内容：これまでの授業内容を予習しておく

予習時間：60分

復習内容：中間テストの問題の解法をおさらいしておく

復習時間：30分

第11回 有機化合物の様々な化学式

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第12回 有機化合物の命名法

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第13回 有機化学の反応

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第14回 原子軌道とエネルギー準位図

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく

復習時間：30分

第15回 共有結合、分子軌道と分子の形

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：定期試験に向け、これまでの授業内容を復習しておく

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	化学 I				
英文名 :	Chemistry 1				
担当者 :	高木 良介				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

化学 I では、原子や分子の構造と性質、化学結合の種類、溶液の濃度の計算など、他の専門科目を学ぶ上で必要となる化学的基礎知識を習得することを目的とする。はじめに、物質、生体の基本をなす原子の構造と性質を理解し、原子どうしの反応による分子の形成と化学結合について学ぶ。溶液の濃度について解説し、溶液の濃度計算を習得するための演習問題を行う。さらに、生体を構成する有機化合物の構造と性質を解説し、生体高分子や生化学に関する基礎的な内容を理解する。この講義は、高校で化学を十分に学ばなかった学生に配慮して進める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

この授業を履修することで、以下の各項目について理解することを到達目標とする。

原子の構造と性質および質量数について理解する。

化学結合の種類と性質、分子間力について理解する。

溶液の濃度について理解し、濃度計算、変換ができる。

有機化合物について基礎的な知識を習得し、有機化学反応について理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%

授業中の課題およびレポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784785330910 『メディカル化学—医歯薬系のための基礎化学』（齋藤 勝裕, 裳華房 : 2012）

[ISBN]9784621040416 『生命科学のための基礎化学—無機物理化学編』（Molly M. Bloomfield, 丸善 : 1995）

[ISBN]9784621040423 『生命科学のための基礎化学—有機・生化学編』（Molly M. Bloomfield, 丸善 : 1995）

[ISBN]9780471120780 『Chemistry and the Living Organism, Study Guide』（Molly M. Bloomfield, Wiley : 1995）

■ 関連科目

化学 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

高木研究室（西1号館5階558）

rtakagi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 3 限と水曜日 3 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 原子の構造

予習内容：原子を構成する物質について予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、原子の構成、構造を理解すること

復習時間：60分

すべての物質は、原子の集合体である。原子は微小な物質であるが構造を有し、互いに化学結合して分子を作る。この講義では、このような物質、生体の基本をなす原子の構造と性質について解説する。

第2回 原子量と物質量（モル）

予習内容：原子量の計算方法とアボガドロ定数およびモルの概念について予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、原子量とモルを理解すること

復習時間：60分

原子の質量を表す数値に原子量がある。原子の集団の質量とアボガドロ定数、および物質量（モル）の概念を解説する。

第3回 電子配置と周期表

予習内容：周期表について予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、電子配置とその表記法を理解すること

復習時間：60分

この講義では原子の電子殻と電子配置について解説する。原子は原子核と電子から構成されており、原子に属する電子は電子殻に入る。電子がどの軌道にどのような状態で入っているかを表したものが電子配置であり、ここでは電子配置と周期表の関係について述べる。

第4回 溶液の濃度、濃度計算と変換／溶液の重量濃度とモル濃度、アボガドロ数

予習内容：濃度表記の種類について予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、濃度計算ができるようになること

復習時間：60分

濃度の概念について解説する。化学の分野では溶液を扱うことが多く、ある溶媒にどれくらいの溶質が溶けているかを表す「濃度」は、いろいろな表し方がある。それぞれの濃度の表し方の違いを理解し、濃度計算の方法を学ぶ。

第5回 電気陰性度と分子の極性

予習内容：電気陰性度とはなにか、極性とはなにかについて予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、電気陰性度と分子の極性を理解すること

復習時間：60分

電気陰性度と周期表について解説する。原子は電気陰性度が大きいほど電子をよく引き付けるため、異種の原子間で化学結合しているとき、各原子の電子の電荷分布は偏りをもつ。この講義では原子の電気陰性度とそれによって生じる分子の極性について説明する。

第6回 化学結合（共有、配位、イオン、疎水性など）

予習内容：化学結合の種類にはどのようなものがあるかを予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、化学結合の種類と共有結合における混成軌道の考え方を理解すること

復習時間：60分

化学結合の種類について解説する。2つの原子がエネルギー的により安定であれば化学結合によって分子を生じる。この講義では、化学結合の種類について説明し、共有結合における混成軌道の考え方について述べる。

第7回 分子間にはたらく弱い力（静電力、ファンデルワールス力、水素結合、疎水結合など）

予習内容：分子間力にはどのようなものがあるかを予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、分子間力の種類を理解すること

復習時間：60分

原子が集合し化学結合によって分子を形成するように分子も集合してより高次の構造体を形成する。この講義では分子間にはたらく様々な分子間力について学ぶ。

第8回 化学反応式の書き方（質量保存の法則）

予習内容：質量保存の法則とはなにかについて予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、質量保存の法則に基づいた化学反応式を書けるようになること

復習時間：60分

生成物の全質量は反応物の全質量に等しいとした質量保存の法則について解説する。原子は化学反応によって新たに生み出されることはないし、壊されることもないため、化学反応の前後で原子数はつり合う。この講義では、このような質量保存の法則に基づいた化学反応式について学ぶ。

第9回 化学反応速度論と化学平衡

予習内容：化学反応速度とはなにか、また、化学平衡とはなにかを予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、化学平衡について理解すること

復習時間：60分

化学反応の過程において、複雑な原子の組み換えやエネルギーの変化を詳細に解析しようとする化学反応速度論について解説する。また、化学反応では重要な、みかけ上変化が起こってないように見える化学平衡について説明する。

第10回 酸と塩基

予習内容：酸と塩基の定義および緩衝液とはなにかについて予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、酸と塩基、pH、緩衝液について理解すること

復習時間：60分

酸と塩基の定義、そして、pHと緩衝液について解説する。この講義では、酸・塩基のいくつかの定義について述べ、さらに酸と塩基の関係の中で、溶液の酸性・塩基性および中和について述べる。

第11回 酸化還元反応

予習内容：酸化と還元の定義について予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、酸化還元反応式を書けるようにすること

復習時間：60分

多くの化学反応は、ある原子から他のある原子への電子の移動を伴い、このような反応を酸化還元反応という。この講義では、酸化、還元について解説し、酸化還元反応式の書き方を学ぶ。

第12回 有機化合物の構造と種類

予習内容：有機化合物の構成元素と種類について予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、有機化合物の構造式を理解すること

復習時間：60分

この講義では、構成元素の種類は少ないが非常に多くの種類の化合物が存在する有機化合物の構造の表し方について解説する。生命現象に関わる重要な分子の多くは有機化合物であり、有機化学的な反応性などを理解するうえで必要となる有機化合物の基礎的な知識について述べる。

第13回 有機化合物の命名法

予習内容：IUPACの規則に基づく命名法について予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、IUPACの規則に基づいた有機化合物の命名ができるようになること

復習時間：60分

有機化合物は非常に多くの種類が存在し、これらは体系的に命名されている。この講義では、IUPACの規則に基づいた命名法について解説する。

第14回 有機化合物の化学反応

予習内容：有機化合物の反応の種類について予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、生体内でおこる化学反応を理解すること

復習時間：60分

この講義では様々な有機化学反応について解説する。有機化学反応は生体内における糖質やタンパク質などの代謝の過程を理解するうえで重要であり、ここでは生体内で見られる種々の代謝における生体成分の変化を理解する。

第15回 生体エネルギー

予習内容：生体エネルギーとはなにかについて予習すること

予習時間：60分

復習内容：授業中に行った演習問題を解き、ATPの反応を理解すること

復習時間：60分

この講義では、生物が活着している状態を維持するためや、生体内における物質の代謝などに用いられる「生体のエネルギー通貨」と呼ばれるATPについて解説する。また、ATPの高エネルギーリン酸結合について述べる。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	化学Ⅱ						
英文名 :	Chemistry 2						
担当者 :	藤澤 雅夫						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

化学は物質の本質を究明し、物質の変化と物質間の相互作用を研究する学問であり、物質を扱う他の科目の基礎となる。化学IIでは分子構造、化学変化や分子間相互作用などの内容を理解することを目的とする。はじめに、初歩的な量子論を用いて原子の構造を解説する。エントロピー、ギブスエネルギーについて詳しく解説したのち、熱力学に基づいて化学平衡を説明する。また生物学的な系での平衡、物理的平衡なども解説する。そして順次、反応速度論、有機化学、立体異性、高分子および生化学に関する基礎的な問題を扱う。以上の学習に有効な問題演習も取り入れる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

水素原子の波動関数が3種類の量子数によって規定されることを理解できる。
 平衡論、熱力学と反応速度の基礎的概念を理解できる。
 結合状態と混成軌道など、化合物の構造と異性体の種類を理解できる。
 構造式から立体分子構造をイメージできる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 85%
 小テスト 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
 小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784781908276 『新化学概論 (サイエンスライブラリ化学)』 (吉岡 甲子郎, サイエンス社 : 1997)

■ 参考文献

[ISBN]9784807905089 『物理化学—分子論的アプローチ〈上〉』 (D.A. マッカーリ, 東京化学同人 : 1999)
 [ISBN]9784807905096 『物理化学—分子論的アプローチ〈下〉』 (マッカーリ, 東京化学同人 : 2000)
 [ISBN]9784563045876 『ハート基礎有機化学』 (ハロルド ハート, 培風館 : 2002)

■ 関連科目

化学Ⅰ、化学実験

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤澤研究室 (2号館5階504号室) ・ fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日1限
 必ず予め連絡を下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 化学結合、分子の構造と分子間力

予習内容 : 化学結合の種類と分子構造との関連性を予習する。

予習時間 : 90分

復習内容 : 教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、電子構造と分子の形について確認すること。

復習時間 : 90分

第2回 物質の三態

予習内容：気体、液体、気体それぞれ特徴に関連する内容を予習する。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、三態それぞれにおける粒子間にはたらく力の様子について確認すること。

復習時間：90分

第3回 溶液の濃度

予習内容：溶解現象に関連する内容を予習する。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、溶液が種々の濃度であらわされることについて確認すること。

復習時間：90分

第4回 希薄溶液の諸法則

予習内容：固体、気体の溶解度に関連する内容を予習する。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、Henryの法則、Raoultの法則、束一性について確認すること。

復習時間：90分

第5回 相平衡

予習内容：系の平衡状態が、温度、圧力、組成などによって決まることを予習する。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、相の数と自由度の関係について確認すること。

復習時間：90分

第6回 熱力学第一法則と熱化学

予習内容：外界-系間の、物質、エネルギーの出入りの有無で、系が分類されることを予習する。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。

復習時間：90分

第7回 熱力学第二法則とエントロピー

予習内容：熱力学的温度に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。

復習時間：90分

第8回 エントロピーのもうひとつの意味

予習内容：ボルツマン定数に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。

復習時間：90分

第9回 化学平衡

予習内容：質量作用の法則に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、平衡定数の算出方法について確認すること。

復習時間：90分

第10回 物質変化の方向：ギブスエネルギー

予習内容：定温・定圧過程に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、ギブスエネルギーの変化量の算出方法について確認すること。

復習時間：90分

第11回 電離平衡

予習内容：pHの定義、水のイオン積に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、電離定数と電離度の関係、緩衝作用のしくみについて確認すること。

復習時間：90分

第12回 化学反応速度と反応次数

予習内容：反応次数の定義に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、一次反応、二次反応におけるそれぞれの半減期との関係について確認すること。

復習時間：90分

第13回 反応速度と温度

予習内容：活性化エネルギーに関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって温度の上昇が反応速度に与える影響について確認すること。

復習時間：90分

第14回 有機化合物：構造異性、配座異性、幾何異性と立体異性

予習内容：異性体の種類に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、異性体の数について確認すること。

復習時間：90分

第15回 合成高分子・生体高分子の構造と分子間相互作用

予習内容：高分子の構造に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、コンフィグレーションとコンフォメーションについて確認すること。

復習時間：90分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	化学Ⅱ						
英文名 :	Chemistry 2						
担当者 :	櫻井 一正						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

化学とは、物質の性質や変化を理解するための考え方をまとめたものである。化学の考え方は、新たな材料や薬品の合成法の開発、およびDNAの複製や酵素反応といった生物現象の理解まで広く利用することができる。化学Ⅱではよく耳にする「エネルギー」の正体が、分子や原子の振る舞いであることを理解する。そして化学反応の進行方向や物質の状態がどのように決められるのかを、エネルギーの考え方に基づき理解する。期間中3回程度小テストを行い、授業内容の理解を深める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 1) 「エネルギー」とは「モノ」ではなく「概念」であることを理解する
- 2) エントロピー最大の点が化学平衡点であるという概念を理解する
- 3) 化学反応や化学平衡の方向を知るための具体的な計算方法を理解する

■ 成績評価方法および基準

定期テスト 50%
小テスト 40%
授業中宿題 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや授業中演習の解答と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載し、かつその一部を授業中に説明する。

■ 教科書

[ISBN]9784781912707 『基礎化学(新・物質科学ライブラリ)』(梶原 篤, サイエンス社 : 2011)

■ 参考文献

[ISBN]9784781913179 『基礎 化学演習(新・演習物質科学ライブラリ)』(梶原 篤, サイエンス社 : 2013)
[ISBN]9784407331325 『新編基礎化学(専門基礎ライブラリー)』(実教出版 : 2013)
[ISBN]9784807907038 『生命科学系のための基礎化学(CatchUP)』(Mitch Fry, 東京化学同人 : 2009)
[ISBN]9784152090072 『万物を駆動する四つの法則—科学の基本、熱力学を究める』(ピーター アトキンス, 早川書房 : 2009)

■ 関連科目

化学Ⅰ、化学実験

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

櫻井 一正 (高圧力蛋白質研究センター) ・ sakurai@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日3限か木曜日2限
事前にEメールでアポイントをとってください

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 物理量、状態量とSI単位系

予習内容 : Universal Passportで公開している授業スライドと、指定教科書の講義内容に該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間 : 20分

復習内容 : 授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第2回 物質の状態とエネルギー準位

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第3回 化学ポテンシャル

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第4回 混合溶液の状態図

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第5回 束一的性質

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第6回 第1回小テスト および エンタルピーと熱力学第一法則

予習内容：これまでの授業内容をおさらいしておく

予習時間：60分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第7回 エンタルピーの温度依存性

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第8回 エントロピーと熱力学第二法則

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第9回 ギブスエネルギーと化学平衡

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第10回 ギブスエネルギーの温度依存性

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第11回 第2回小テスト および 反応速度論の考え方

予習内容：これまでの授業内容をおさらいしておく

予習時間：60分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第12回 反応次数と反応機構の決定方法

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第13回 可逆反応、逐次反応の速度式の導出

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第14回 反応速度の温度依存性

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく

予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題

復習時間：30分

第15回 第3回小テスト および 授業内容の総括

予習内容：これまでの授業内容をおさらいしておく

予習時間：60分

復習内容：定期試験に向け、これまでの演習問題の解法のおさらいをする

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	基礎数学						
英文名 :	Basic Mathematics						
担当者 :	吉田 久・足立 雅彦・藤岡 秀彰・後藤 知博・松下 真人						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

生物理工学部における専門課程の基礎的な理論を学ぶために必要な数学の基礎を学習する。本講義では、計算の技法、式の文法、式と図形についての基本概念を俯瞰すると共に、初等関数について理解することを目標とする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は今後修得する自然科学系の教養科目および専門科目を学ぶために必要不可欠な微分積分、線形代数学、物理学の基礎となる内容を学習し、基本的な考え方の理解と、実際の応用場面において、これらを利用できるようにするための計算力を身につける。

- ・計算の技法を身に付ける。
- ・式の文法を理解する。
- ・式と図形の関係を理解する。
- ・初等関数について理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト・課題 25%
e-ラーニング 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小テスト・課題に関しては模範解答を配布します。なお、特に注意を要する問題については、授業内に解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784779512605 『教養としての数学(増補版)』(堤 裕之, ナカニシヤ出版 : 2017)
必要に応じてプリントを配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784407321678 『基礎数学(数学シリーズ 新版)』(岡本 和夫, 実教出版 : 2010)

■ 関連科目

プラクティス基礎数学、微分積分学、線形代数学、基礎物理学、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

基礎教育センター (3号館2階就職情報室内)

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 四則演算と計算順序

予習内容 : 教科書第1講と第2講に目を通す。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書第1講と第2講演習問題Aを解く。

復習時間 : 30分

第2回 べき

予習内容 : 教科書第3講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第3講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第3回 計算とその結果の表現

予習内容：教科書第4講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第4講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第4回 演算の特色

予習内容：教科書第5講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第5講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第5回 関係演算子と文字の利用

予習内容：教科書第6講と第7講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第6講と第7講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第6回 公式と方程式

予習内容：教科書第8講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第8講演習問題Aを解く（(1) (2) のように附番されている問題は奇数番のみ）。

復習時間：30分

第7回 関数とグラフ

予習内容：教科書第9講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第9講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第8回 種々の関数と漸化式

予習内容：教科書第10講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第10講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第9回 比例・反比例と比，割合と単位

予習内容：教科書第11講と第12講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第10講と第12講演習問題Aを解く。

復習時間：60分

第10回 長さ・面積・体積

予習内容：教科書第13講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第13講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第11回 座標と角度（三角関数）

予習内容：教科書第14講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第14講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第12回 方程式と図形

予習内容：教科書第15講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第15講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第13回 指数関数

予習内容：教科書第18講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第18講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第14回 対数関数

予習内容：教科書第19講

予習時間：30分

復習内容：教科書第18講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第15回 まとめ

予習内容：配布資料（まとめ）に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：配布資料（まとめ）演習問題を解く。

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	基礎数学				
英文名 :	Basic Mathematics				
担当者 :	堤 裕之				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

生物理工学部における専門課程の基礎的な理論を学ぶために必要な数学の基礎を学習する。本講義では、計算の技法、式の文法、式と図形についての基本概念を俯瞰すると共に、初等関数について理解することを目標とする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は今後修得する自然科学系の教養科目および専門科目を学ぶために必要不可欠な微分積分、線形代数学、物理学の基礎となる内容を学習し、基本的な考え方の理解と、実際の応用場面において、これらを利用できるようにするための計算力を身につける。

- ・ 計算の技法を身に付ける。
- ・ 式の文法を理解する。
- ・ 式と図形の関係を理解する。
- ・ 初等関数について理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートは返却します。また、出来ていない問題について、個別指導を行います。なお、特に注意を要する問題については、授業内に解説を行います。試験は、レポート問題とほぼ同様の問題を出題する予定であることから、詳しくはレポートの解説を参照してもらうことになります。

■ 教科書

[ISBN]9784779512605 『教養としての数学（増補版）』（堤 裕之, ナカニシヤ出版 : 2017)

■ 参考文献

[ISBN]9784486018636 『オイラーの贈物—人類の至宝 $e^{i\pi}=-1$ を学ぶ』（吉田 武, 東海大学出版会 : 2010)

■ 関連科目

プラクティス基礎数学、微分積分学、線形代数学、基礎物理学、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）：tsutsumi@ouhs.ac.jp

備考：携帯からの質問メールは受け付けません。

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 四則演算と計算順序

予習内容：教科書第1講と第2講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第1講と第2講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第2回 べき

予習内容：教科書第3講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第3講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第3回 計算とその結果の表現

予習内容：教科書第4講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第4講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第4回 演算の特色

予習内容：教科書第5講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第5講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第5回 関係演算子と文字の利用

予習内容：教科書第6講と第7講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第6講と第7講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第6回 公式と方程式

予習内容：教科書第8講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第8講演習問題Aを解く（(1) (2) のように附番されている問題は奇数番のみ）。

復習時間：30分

第7回 関数とグラフ

予習内容：教科書第9講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第9講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第8回 種々の関数と漸化式

予習内容：教科書第10講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第10講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第9回 比例・反比例と比，割合と単位

予習内容：教科書第11講と第12講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第10講と第12講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第10回 長さ・面積・体積

予習内容：教科書第13講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第13講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第11回 座標と角度（三角関数）

予習内容：教科書第14講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第14講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第12回 方程式と図形

予習内容：教科書第15講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第15講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第13回 指数関数

予習内容：教科書第18講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第18講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第14回 対数関数

予習内容：教科書第19講に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第19講演習問題Aを解く。

復習時間：30分

第15回 まとめ

予習内容：配布資料（まとめ）に目を通す（初回の授業時に配布）。

予習時間：30分

復習内容：配布資料（まとめ）演習問題を解く。

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	数学				
英文名 :	Mathematics				
担当者 :	福田 誠				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

現在では微分積分学、線形代数学は、あらゆる工学現象を解明・解析する際に必要不可欠な道具になっている。この科目は、高校数学Ⅱの復習を兼ねて、数列、初等関数とグラフから始め、演習も取り入れて授業を進める。解答解説について学生にもプレゼンテーションをしてもらう。

■ 学習・教育目標及び到達目標

学生は、今後修得する自然科学系の教養科目および専門科目を学ぶために必要不可欠な微分積分学、線形代数学の基礎を学習し、基礎的な考え方の理解と、実際の応用場面において、これらを利用できるようにするための計算力を身につける。自然科学や工学現象の理解に必要な道具としての数学力を修得する。

- ・ 数列、関数の基礎を理解する。
- ・ 初等関数の微分と積分の基礎を理解する。
- ・ 微分方程式の概念と解法の基礎を理解する。

この科目の習得は本学科の定めるディプロマ・ポリシーの達成に付随的に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小テスト終了後、授業中に「試験の要点の説明、解説」などをします。

■ 教科書

[ISBN]9784407310825 『Primary大学ノート 微分積分』(藤田 岳彦, 実教出版 : 2007)

演習問題冊子を配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784407332483 『新版 微分積分: 基礎から偏微分・重積分・微分方程式まで (数学シリーズ 新版)』(佐伯 昭彦 (ほか5名), 実教出版 : 2013)

[ISBN]9784407321685 『微分積分1 (数学シリーズ 新版)』(岡本 和夫, 実教出版 : 2010)

[ISBN]9784407321708 『微分積分〈2〉 (新版数学シリーズ)』(実教出版 : 2012)

[ISBN]9784407321692 『線形代数 (新版数学シリーズ)』(実教出版 : 2011)

高校数学Ⅱ、Ⅲの教科書、参考書

■ 関連科目

1年後期 微分積分学、線形代数学の基礎となる科目です。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

福田研究室 (東1号館1階120) : fukuda@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜 2限、火曜 3限

(事前に連絡などをお願いします。)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

授業毎に、事前にテーマ・具体的に取り組む問題が分かりますので、これについての予習、復習をしてください。

予習内容 : 演習問題冊子

予習時間：120分
復習内容：演習問題冊子
復習時間：120分

第1回 数列

第2回 数列の極限

第3回 初等関数

第4回 関数の極限

第5回 関数の微分

第6回 微分の性質

第7回 微分法の応用

第8回 微分法の応用（テイラー展開）

第9回 不定積分と定積分

第10回 積分の性質

第11回 置換積分と部分積分

第12回 有理関数の積分

第13回 区分求積法

第14回 微分方程式（1）

第15回 微分方程式（2）

定期試験

■ **ホームページ**

科目名 :	数学				
英文名 :	Mathematics				
担当者 :	楠 正暢				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

大学で学ぶ数学、情報学ならびに殆どの専門科目を学ぶために必要不可欠な基礎知識の第一歩として微分積分学を学習する。この科目は、数学としての微分積分学ではなく、生物理工学に必要な実用道具としての微分積分学を修得することを目的としている。したがって、基本的な意味や使い方、例題などにも時間をかけて講義を進める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は今後修得する自然科学系の教養科目および専門科目を学ぶために必要不可欠な微分積分学の基礎から応用までを学習し、数学的な考え方の理解と、実際の応用場面において、これらを利用できるようにするための計算力を身につける。
・1変数の微分と積分について基礎から応用までを理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
小テスト 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の課題に対する解説をします。

■ 教科書

[ISBN]9784407310825 『Primary大学ノート 微分積分』(藤田 岳彦, 実教出版: 2007)

■ 参考文献

指定しない

■ 関連科目

微分積分学、線形代数学、その他の物理学や専門科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

楠研究室(東1号館1階111)・kusunoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

土曜 1～2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、関数とその性質

予習内容: テキストから全体像を理解する。

予習時間: 30分

復習内容: 講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間: 90分

第2回 関数の極限

予習内容: 前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間: 30分

復習内容: 講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間: 90分

第3回 微分係数

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第4回 導関数

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第5回 導関数の性質

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第6回 三角関数の導関数

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第7回 指数関数・対数関数の導関数

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第8回 合成関数の導関数

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第9回 逆関数と逆関数の微分

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第10回 微分法の応用

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第11回 高次導関数とテイラー展開

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第12回 不定積分Ⅰ（基本的な不定積分、置換積分）

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第13回 不定積分Ⅱ（部分積分、様々な関数の積分）

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。
予習時間：30分
復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。
復習時間：90分

第14回 定積分

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第15回 定積分の応用

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	数学				
英文名 :	Mathematics				
担当者 :	中迫 昇				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

大学で学ぶ数学、情報学ならびに殆どの専門科目を学ぶために必要不可欠な基礎知識の第一歩として微分積分学を学習する。この科目は、数学としての微分積分学ではなく、生物理工学に必要な実用道具としての微分積分学を修得することを目的としている。したがって、基本的な意味や使い方、例題などにも時間をかけて講義を進める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は今後修得する自然科学系の教養科目および専門科目を学ぶために必要不可欠な微分積分学の基礎から応用までを学習し、数学的な考え方の理解と、実際の応用場面において、これらを利用できるようにするための計算力を身につける。

- ・1変数の微分と積分について基礎から応用までを理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小テストについては回答例を示します。

定期試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784477026428 『新微分積分〈1〉』(高遠節夫他, 大日本図書: 2012)

■ 参考文献

[ISBN]9784407310825 『Primary大学ノート微分積分』(藤田岳彦, 実教出版: 2007)

[ISBN]9784489021374 『すぐわかる微分積分』(石村園子, 東京図書: 2012)

[ISBN]9784785315184 『理工系入門微分積分』(石原繁, 裳華房: 1999)

■ 関連科目

微分積分学、線形代数学、その他の物理学や専門科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

中迫研究室(東1号館3階319)・nakasako@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜2限

事前にメール等で予約をとってもらえると助かります。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、関数とその性質

予習内容: テキストをざっと眺め、全体像を理解する。

予習時間: 30分

復習内容: 講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間: 90分

第2回 関数の極限

予習内容: 前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間: 30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第3回 微分係数

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第4回 導関数

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第5回 導関数の性質

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第6回 三角関数の導関数

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第7回 指数関数・対数関数の導関数

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第8回 合成関数の導関数

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第9回 逆関数と逆関数の微分

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第10回 微分法的应用

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第11回 高次導関数とテイラー展開

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第12回 不定積分 I (基本的な不定積分、置換積分)

予習内容：前回分の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第13回 不定積分 II (部分積分、様々な関数の積分)

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第14回 定積分

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

第15回 定積分の応用

予習内容：前回の講義ノートを見直すとともに、テキストの今回の範囲を読み全体像を理解する。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートをもとに内容を理解する。テキストの例題、問題、演習問題を何度も解く。

復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	数学				
英文名 :	Mathematics				
担当者 :	藤井 雅雄				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

大学における自然科学系の教養科目および専門科目を履修するにあたって、必要不可欠な基礎知識である微分積分学、線形代数学を学習する。この科目では、高校で数学Ⅲ、数学Cを履修していない学生にも理解できるように、毎回演習を取り入れた方法で授業を進める。

自然科学の仕組みや現象の論理的知識の理解に必要な数学の学力を習得する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は今後習得する自然科学系の教養科目および専門科目を学ぶために必要不可欠な微分積分学、線形代数学の基礎を学習し、基礎的な考え方の理解と、実際の応用場面において、活用できるための計算力を身につける。

- ・初等関数の微分と積分についての基礎とその応用を理解する。
- ・行列演算の基礎を理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%

授業中の課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

適時プリント配布。1回目の講義で説明します。

■ 参考文献

[ISBN]9784785315184 『理工系入門 微分積分』(石原 繁, 裳華房 : 1999)

■ 関連科目

微分積分学、線形代数学など。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階254)・fujii@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 数学の広がり

予習内容 : 専門分野における数学の必要性を調査すること。

予習時間 : 150分

復習内容 : 専門分野における数学の活用例を調査すること。

復習時間 : 90分

自然科学は、観察・観測・実験などによってその共通性・規則性が発見され、それが数式で表現される。

ミクロな細胞組織での現象、大気汚染現象などは実験をすることは極めて困難で、数学モデルを作る必要がある。また、新材料、新薬などの研究開発では分子レベルの挙動をコンピュータで解析する。このような数学の広がりについて解説します。

第2回 数と式

予習内容 : 高校数学などの参考書(図書館の利用)を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

整式、因数分解、実数、有理化などを学びます。

第3回 直線の傾き

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

直線の傾きが微分への鍵となり、曲線も直線で表現できることを学びます。

第4回 関数の極限

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

関数の極限の概念、不定形などを学びます。

第5回 3次・4次関数

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

関数の平行移動、接点と重解、3次・4次関数の概形図などについて学びます。

第6回 微分係数と導関数

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

微分係数と導関数の定義、導関数の記号法について学びます。

第7回 導関数の計算

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

微分計算の公式、合成関数、逆関数、パラメータ表示の関数の微分を学びます。

第8回 微分法の応用(1)

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

接線の方程式、曲線の近似式、関数の概形図の求め方などを学びます。

第9回 不定積分

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

不定積分の定義、積分記号、積分公式、置換積分法、部分積分法などを学びます。

第10回 定積分

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

定積分の定義、定積分の公式などを学びます。

第11回 定積分の応用

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

面積計算、体積計算などを学びます。

第12回 いろいろな関数の微分法

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

指数関数、対数関数、三角関数などの微分法を学びます。

第13回 微分法の応用(2)

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

ロピタルの定理、テイラー展開、マクローリン展開などを学びます。

第14回 行列(1)

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

行列の加法、減法、実数倍、積などを学びます。

第15回 行列(2)

予習内容：高校数学などの参考書（図書館の利用）を用いて該当箇所を事前に調査し、分からない箇所を明確にしておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、配布した演習問題を解くことで理解を深めること。

復習時間：150分

逆行列、行列と連立方程式などを学びます。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	生物学 I						
英文名 :	Biology 1						
担当者 :	平井 秀一						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

遺伝子に関する理解は近年急速に深まり、遺伝のみならず成長、運動、思考など様々な生命活動が遺伝子に依存していることが明らかになってきています。このことは現代社会に大きなインパクトを与えているのですが、内容が正確に理解されているかについては疑問です。本科目では、生命を支える遺伝子について何がわかっていて何がわかっていないかを皆さんが理解し、現代社会が抱える様々な問題について自ら考える際の助けになるよう、これまでに世界中で展開されてきた関連する研究の成果を簡潔にまとめ、系統的に整理して講義します。一部専門性の高い内容を含むが、高校生物学を履修しなかった受講者にも理解できるように基本から順に説明します。講義終了時に少なくとも一つの質問事項をあげることを念頭に置いて受講することを求めます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、遺伝子の多様な機能について理解することができます。このことは、生命が長い歴史の中で維持し、進化させてきた遺伝子という分子システム研究の現状を認識し、これらの産業への利用方法や生じうる問題について自ら考えるための基礎となるものです。さらに講義に積極的に参加することにより、科学的な思考の習慣を身につけることができます。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1~5の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中課題（ミニッツペーパー） 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間にミニッツペーパーにある設問について模範解答を示し解説します。
ミニッツペーパーに記入された受講生からの質問に答える形で復習を行います。

■ 教科書

教科書は指定しない。講義は配布資料に沿って行う。

■ 参考文献

【ISBN】9784807908899 分子細胞生物学第7版 東京化学同人
エッセンシャル細胞生物学 原書第4版 南江堂
Molecular Biology of THE CELL sixth ed. Garland Science

■ 関連科目

生物学II

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・hirais@wakayama-med.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生命は細胞と遺伝子に宿る

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

遺伝子

遺伝情報

ゲノム

染色体

細胞

第2回 生殖と遺伝

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

無性生殖と有性生殖

体細胞と生殖細胞

メンデルの法則

遺伝性の疾患に見られる遺伝形式

第3回 細胞の運命

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

細胞分化と遺伝情報

幹細胞

ES細胞とiPS細胞

第4回 遺伝子操作 I

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

遺伝子操作とは ～クローン羊、青いバラ、iPS細胞

農業と遺伝子操作 ～青いバラと遺伝子組換え食品

第5回 遺伝子操作II

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

医療と遺伝子操作 ～バイオ医薬品

遺伝子操作の制限 ～カルタヘナ法など

第6回 遺伝子の複製

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

二重螺旋構造と半保存的複製

ヌクレオチド鎖の方向性と複製の方向性

プライマーとテロメア

第7回 遺伝子の発現（転写）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

正しい転写を可能にする分子機構

転写効率の調節

真核生物におけるmRNAのプロセッシング

エピジェネティックな遺伝子発現制御

第8回 遺伝子の発現（翻訳）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

アミノアシル tRNAの合成

リボソーム=タンパク質合成装置

翻訳の開始

ペプチド鎖の伸長

翻訳の終結

第9回 遺伝子の変異と修復

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

遺伝子変異の種類

遺伝子変異を生む様々な要因

修復の方法（構成、ミスマッチ修復、塩基除去修復、ヌクレオチド除去修復、非相同末端連結、相同組換え）

第10回 遺伝的多様性と疾患

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

遺伝情報の個人差

疾病の原因となる遺伝子の変異

遺伝する変異と遺伝しない変異

第11回 がん遺伝子

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

癌腫、肉腫、白血病

がん遺伝子

がん抑制遺伝子

がんの遺伝

第12回 免疫と遺伝子

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

自然免疫と獲得免疫

液性免疫と細胞性免疫

アレルギー

AIDS

第13回 ウイルス

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

様々な“菌”

ウイルスの構成成分

ウイルスの感染

ウイルスの増殖

第14回 心と遺伝子

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

脳を持つ生物

発生過程における脳形成

ヒトの脳

第15回 生命の進化と多様性

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニツツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

生物の種

系統分類

生命の起源と進化

定期試験

各講義項目にある内容について、選択式問題および記述式問題に対する回答を求める。

■ホームページ

科目名 :	生物学 I				
英文名 :	Biology 1				
担当者 :	小谷 猛夫				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

生物は約40億年前に単細胞生物として海水中に出現したのが最初であると考えられている。また、最初の脊椎動物として出現したのは魚類であり、やがて長い年月の経過とともに陸生動物が出現し、現在に至っている。本講義では、生物が最初に出現した当時とよく似た環境であると考えられている海底熱水噴出孔と生物、生物の進化、脊椎動物・主に哺乳動物の体を構成している各種細胞や組織の構造とそこにみられる生物現象について学修します。なお、この科目は全学科共通の学部基礎科目であり、高校で生物を履修していなかった学生を主たる対象とします。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 生物の出現とその進化の概要、
- 2) 生物体の最小構成単位である細胞の構造と機能、
- 3) 我々ヒトを含めた哺乳動物の体を構成している各種組織の構造と機能を理解し、
- 4) 生物学的に生命とは何かを考える基礎的知識を修得することができます。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

講義内容を記したプリントおよび板書した中にすべての解答がある。

■ 教科書

教科書は使わない。講義内容を記したプリントを配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784061534315 『絵でわかる細胞の世界 (絵でわかるシリーズ)』 (黒谷 明美, 講談社 : 2001)
 その他参考書としては医学・獣医学系の組織学・解剖学・生理学に関する本なら入門書から専門書までどれでもよい。

■ 関連科目

生物学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) kotani1945@t.zaq.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

以下の内容で授業を行う。講義内容を記したプリントをあらかじめ配布する。

予習内容 : 次回の講義内容を記したプリントを読み予習する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 講義のプリント、板書した事柄のメモなどを理解し、復讐する。

復習時間 : 60分

第1回 生命の起源 : 海底熱水噴出孔と生物

第2回 各種顕微鏡の特性と顕微鏡標本作成法の概略

第3回 細胞の構造と機能-1

第4回 細胞の構造と機能-2

第5回 細胞増殖と細胞死

第6回 生殖細胞と初期発生

第7回 上皮組織の種類・構造・役割

第8回 外分泌腺と内分泌腺の構造・役割

第9回 結合組織の種類・構造・役割

第10回 骨・軟骨組織の構造と役割

第11回 筋組織の種類と構造・収縮機構

第12回 神経組織の構造と役割

第13回 血液細胞とその役割

第14回 遺伝の基礎知識

第15回 がん細胞

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	生物学Ⅱ						
英文名 :	Biology 2						
担当者 :	平井 秀一						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

生物の構成単位である細胞の生理的な機能は、細胞内外のシグナル伝達により支えられており、このシグナル伝達は複雑かつ多様な細胞の構造に依存しています。本科目ではまずシグナル伝達というものの実体について講義した後、これを支える細胞の構造について講義します。さらに多様な細胞の生理機能について、病理的な視点を交えた講義を行います。一部専門性の高い内容を含みますが、高校生物学を履修しなかった受講者にも理解できるよう基本から順に説明します。講義終了時に少なくとも一つの質問事項をあげることを念頭に置いて受講することを求めます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、細胞の構造と機能に関する基本的な知識を習得することができます。これは細胞という生命システムの基礎研究や産業への利用における問題を認識し、その解決の方法について自ら考える際の基礎となるものです。さらに講義に積極的に参加することにより、科学的な思考の習慣を身につけることができます。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1～5の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中課題（ミニッツペーパー） 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間にミニッツペーパーにある設問について模範解答を示し解説します。
ミニッツペーパーに記入された受講生からの質問に答える形で復習を行います。

■ 教科書

教科書は指定しない。講義は配布資料に沿って行う。

■ 参考文献

【ISBN】9784807908899 分子細胞生物学第7版 東京化学同人
エッセンシャル細胞生物学 原書第4版 南江堂
Molecular Biology of THE CELL sixth ed. Garland Science

■ 関連科目

生物学 I

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・hirais@wakayama-med.ac.jp

■ オフィスアワー

講義終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 シグナル伝達概論

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

物質の流れと情報の流れ

細胞外のシグナル伝達と細胞内シグナル伝達
受容体とリガンド

第2回 細胞内シグナル伝達経路

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

細胞内シグナル伝達を担う多様な分子

Gタンパク質共役型受容体

低分子量Gタンパク質

第3回 細胞の基本構造と多様性

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

原核細胞と真核細胞

細胞小器官の構造と機能

個体を形成する様々な細胞

幹細胞

第4回 細胞膜I 膜の基本構造と透過性

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

生体膜の構成要素

膜輸送を支える構造体

受動的な膜輸送と能動的な膜輸送

第5回 細胞膜II 膜の流れ

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

エキソサイトーシス

エンドサイトーシス

分解と再利用

ファゴサイトーシス

オートファジー

第6回 細胞骨格

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

マイクロフィラメント

微小管

中間径フィラメント

第7回 細胞接着と結合組織

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

器官、組織、細胞

上皮細胞に見る多様な細胞間接着構造

細胞-基質間接着を支える構造

第8回 イオンチャネルと膜電位

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

静止膜電位

脱分極と活動電位

第9回 カルシウムシグナルと筋収縮

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

カルシウムチャンネル

カルシウム結合タンパク質

アクチン結合タンパク質と筋収縮制御

第10回 細胞増殖とその制御

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

細胞周期とサイクリン/CDK

細胞周期のチェックポイント

増殖因子による制御

第11回 細胞分化とその制御

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

幹細胞と前駆細胞

受精、卵割、胚葉分化

体軸形成、体節形成、器官形成

第12回 エネルギー代謝

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

細胞内でのエネルギー産生機構

クエン酸回路と電子伝達系

光合成

第13回 個体中の環境維持

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

地球という生物における物質循環

ヒトの体内環境の維持

pH、血糖値、血圧

第14回 遺伝情報を守るシステム

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

遺伝子DNAの維持管理

mRNAの維持管理

タンパク質の維持管理

第15回 まとめ

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。

予習時間：30分

復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分

各講義項目に関する補足説明など

定期試験

各講義項目についての選択式問題と記述式問題に対する回答を求める。

■ホームページ

科目名 :	生物学Ⅱ						
英文名 :	Biology 2						
担当者 :	小谷 猛夫						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

生物学Ⅰにおいて得られた脊椎動物、特に哺乳動物の体を構成している細胞・組織の構造と機能についての知識をもとにして、生物学Ⅱにおいてはヒトを含めて哺乳動物の各器官系の構造と機能について、動物間の差異や病的状態に言及しながら講義します。また、ウイルスや細菌などから生体をまもる機構や傷害された組織の修復機構について学修します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 脊椎動物、特にヒトを含めた哺乳動物の正常な体の構造と機能、および
- 2) それらの動物間差異や異常（病的状態）を知り、
- 3) いろいろな傷害に対する巧妙な生体の防御機構や修復機構についての基礎的知識を修得することができます。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

講義内容を記したプリントおよび板書した中にすべての解答がある。

■ 教科書

教科書は使わない。講義内容を記したプリントを配付する。

■ 参考文献

参考書としては医学・獣医学系の組織学・解剖学・生理学・病理学に関する本なら入門書から専門書までどれでもよい。

■ 関連科目

生物学Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）kotani1945@t.zaq.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

以下の内容で授業を行う。講義内容を記したプリントをあらかじめ配布する。

予習内容：次回の講義内容を記したプリントをあらかじめ読み予習する。

予習時間：30分

復習内容：講義のプリント、板書した事柄のメモなどを理解し、復讐する。

復習時間：60分

第1回 心臓の構造と機能

第2回 呼吸器系の構造と機能

第3回 消化器系の構造と機能1：消化管

第4回 消化器系の構造と機能2：肝臓と膵臓

第5回 泌尿器系の構造と機能

第6回 脳・脊髄の構造と機能

第7回 感覚器系の構造と機能

第8回 運動器系（骨・関節・筋肉）の構造と機能

第9回 内分泌系および生殖器系の構造と機能

第10回 動物組織の傷害

第11回 動物組織の傷害に対する修復機構

第12回 免疫とアレルギー

第13回 細菌感染と生体の防御反応

第14回 ウイルス感染と生体の防御反応

第15回 腫瘍

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	基礎物理学				
英文名 :	Basic Physics				
担当者 :	西垣 勉・前田 収・藤岡 秀彰・足立 雅彦・向井 誠一				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

はじめに、物理現象を理解するのに必要なベクトルと数学的知識を学習し、静力学（力の釣り合い、モーメント、支点と反力）および運動と力（ニュートンの運動の法則）を中心とした力学の基礎を学ぶ。またプラクティス物理の時間にて演習を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

物理学は“自然現象にひそむ法則を探索する”学問であり、数学・化学・生物学・地学とともに科学および理工学の基礎となる。本講では、物理学の基本的な考え方を理解することができるように授業を進めていく。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト 15%
課題演習及び宿題 10%
e-ラーニング 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小テスト・課題に関しては模範解答を配布します。なお、特に注意を要する問題については、授業内に解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784627160729 『やさしい基礎物理(第2版)』（潮 秀樹, 森北出版：2014）

■ 参考文献

[ISBN]9784627155411 『ビジュアルアプローチ基礎物理 上-力学・波動-』（大野 秀樹, 森北出版：2013）
[ISBN]9784627155619 『ビジュアルアプローチ基礎物理 準拠問題集』（大野 秀樹, 森北出版：2013）

■ 関連科目

プラクティス基礎物理学、物理学Ⅱ、基礎数学、数学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）
hiroказu_miyamoto@wao-corp.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

教科書に沿って授業を進めるので、事前に予習して授業中に理解するように努めてください。講義内容の理解を深めるために、「基礎物理学」「物理学Ⅰ」では、プレイスメントの結果により履修科目（「基礎物理学」あるいは「物理学Ⅰ」）が決まります。

なお、「基礎物理学」「物理学Ⅰ」の2科目のうち1科目しか履修出来ません。（来年度以降も履修出来ません）。

第1回 速度と加速度（1）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第2回 速度と加速度（2）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第3回 慣性の法則（1）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第4回 慣性の法則（2）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第5回 慣性の法則（3）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第6回 慣性の法則（4）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第7回 エネルギー・運動量・角運動量（1）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第8回 エネルギー・運動量・角運動量（2）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第9回 エネルギー・運動量・角運動量（3）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第10回 エネルギー・運動量・角運動量（4）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第11回 エネルギー・運動量・角運動量（5）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第12回 万有引力・重力・慣性力（1）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第13回 万有引力・重力・慣性力（2）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第14回 万有引力・重力・慣性力（3）

予習内容：教科書の該当箇所をよく読み、わからない点などを確認すること。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング演習をおこなうこと。

復習時間：120分

第15回 総復習

予習内容：今まで習った例題・問題で解けなかった箇所を確認しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：教科書の指定された箇所の例題・問題を解き理解すること。e-ラーニング修了テストをおこなうこと。

復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	物理学 I						
英文名 :	Physics 1						
担当者 :	木村 裕一						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

物理学は、様々な自然現象の背景にある法則を明らかにする学問であり、理工学の諸分野の基礎となる。また、物理学を理解するための学習の過程は、より専門的で高度な事柄を理解するためのトレーニングともなるので重要な科目である。

本講では、力学を取り扱うが、高校で物理学を修得しなかった、或は習得が不十分であった学生も対象として講義を運用する共に、微積分やベクトル解析も活用して、力学現象を説明していく。

講義では、公式などの導出過程は出来るだけ省略せずに説明すると共に、設問に対しては、解く過程を丁寧に説明するので、講義中はノートの作成に注力し、その内容を良く復習し、不明な点は、次回の講義で質問すること。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講の習得により、質量、位置、速度、加速度といった力学の概念を理解すると共に、これらの物理量の間で成立する法則や、基本的な運動である、円運動、単振動、衝突現象や、現象を記述するために使用する力学的エネルギー保存則や運動量保存則などを理解する。また微分表現など、物理量を取り扱うための方法を理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験終了後、模範解答及び解説を、UNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

[ISBN]9784320034938 『大学新入生のための物理入門 第2版』(廣岡 秀明, 共立出版 : 2012)

■ 参考文献

特に無し。

■ 関連科目

物理学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して実施。

■ 研究室・メールアドレス

木村研究室(東1号館4階410)・ukimura@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日の3限目

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 位置, 速度, 加速度

予習内容 : §3の概略を把握する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 本講の復習。

復習時間 : 60分

力学では、物体の移動の様子を定量的に扱うが、その基本事項である、物体の位置、速度、加速度を、微分積分を用いて導入する。テキスト、§3。

第2回 位置, 速度, 加速度

予習内容：速度・加速度の概念を理解する。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分
前講を続けると共に、微分・積分の図形的な解釈に言及する。

第3回 位置, 速度, 加速度, 章末問題へ

予習内容：前講の内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分
前講を続けると共に、§3の章末問題を解く。

第4回 微分方程式による運動の解析

予習内容：§4の内容に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分
位置の時間微分が速度、速度の時間微分が加速であることから、運動方程式は、位置に対する二階の微分方程式となる。そこで、簡単な運動の実例である自由落下を例に取り、微分法的式による、運動の解析について解説する。

テキスト、§4。

第5回 微分方程式による運動の解析

予習内容：自由落下の微分方程式による解法を理解する。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分
引続き、斜面に沿った運動、斜方投射を、微分法的式によって解析していく。

第6回 微分方程式による運動の解析。章末問題へ。

予習内容：微分法的式による運動の解析方法を理解する。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分
§4の章末問題を解く。

第7回 張力や摩擦が掛る運動の解析

予習内容：§5の概略を把握する。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分
張力や、摩擦など、重力以外の力が作用する運動の解析を行う。テキストの、§5。

第8回 空気抵抗が作用する落下の解析

予習内容：自由落下に対する微分法的四季による解析方法の確認。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分
空気抵抗が作用する落下を、微分方程式を用いて解析する。微分法的式の解法が、これまでとは複雑になる。

第9回 様々な運動, §6, 章末問題

予習内容：§6の内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分
§6の章末問題を解く。

第10回 等速円運動

予習内容：§6の内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：本講の復習。
復習時間：60分

等速円運動について考える。公式を暗記するという要素を排除し、物理的な論理を追うことで、等速円運動に関する様々な関係を導出していく。

第11回 等速円運動にの章末問題

予習内容：§6の内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

§6の章末問題を解く。

第12回 単振動の解析

予習内容：§7の内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

単振動について、解析していく。テキスト、§7。

第13回 仕事・エネルギー

予習内容：§8及び§9の内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

仕事、及びエネルギーの概念を導入する。テキスト、§8及び§9。

第14回 運動量の保存則, 運動エネルギーの保存則と、力学

予習内容：運動量の保存則を理解しておく。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

運動量保存則の考え方及びその合理性について説明した後、運動エネルギーの保存則を導出する。

第15回 力学の総括

予習内容：本講義全体の復習、及び質問点の描出。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

本講義全体を振り返ると共に、難しかった点を再度解説する。

定期試験

公式を暗記しているだけでは、物理学を理解したことにはならない。公式の導出過程を問う問題となるので、講義の内容を良く理解し、式変形の過程などに疑問が無いようにした上で試験に臨むこと。

■ホームページ

科目名 :	物理学 I						
英文名 :	Physics 1						
担当者 :	藤井 雅雄						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代社会は、さまざまな科学技術の恩恵を受けています。したがって、科学的知識、とりわけ自然科学の基本である物理学の知識は教養として、また理工学の諸分野の基礎として重要です。本講では、力学の基礎について学びます。力学の基礎を学ぶことで、後年に学ぶ専門分野の理解を容易にすることが期待されます。この講義においては、履修生が高校において物理学を学び、理解していることを前提としていません。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、速さ、速度、加速度といった力学の基礎概念を理解するとともに、これら物理量の間で成立する法則や、基本的な運動である、円運動、単振動、衝突現象や、現象を記述するための力学的エネルギー保存則や運動量保存則などを理解します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中の課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784627155411 『ビジュアルアプローチ基礎物理 上-力学・波動-』（大野 秀樹, 森北出版：2013）

■ 参考文献

[ISBN]9784627155619 『ビジュアルアプローチ基礎物理 準拠問題集』（大野 秀樹, 森北出版：2013）

■ 関連科目

物理学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・ fujii@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 運動の表し方（1） 速度、加速度

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

速さ、速度と変位、平均の速度、加速度について学びます。

第2回 運動の表し方（2） 等加速度直線運動

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

等速直線運動、等加速度直線運動について学びます。

第3回 力と運動の法則（1） 第1、2、3法則

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

運動の第1法則、第2法則、第3法則について学びます。

第4回 力と運動の法則（2） ばねの力、摩擦力

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

重力と万有引力、ばねの力、垂直抗力と摩擦力について学びます。

第5回 いろいろな運動

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

2物体の運動、自由落下、鉛直投げあげ、摩擦力が働く運動について学びます。

第6回 力積と運動量

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

力積、運動量、力積と運動量の変化、運動量保存の法則、反発係数について学びます。

第7回 仕事とエネルギー

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

仕事、エネルギーについて学びます。

第8回 力学的エネルギーの保存

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

力学的エネルギー保存について学びます。

第9回 力の合成と分解

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

平面、空間での運動について学びます。特に、力の合成と分解について学びます。

第10回 速度の合成

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

速度の合成、相対速度について学びます。

第11回 平面における運動量保存の法則

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

仕事の原理、水平方向に投げ出した運動、斜めに投げあげた運動、斜面上にある物体の運動について学びます。

第12回 等速円運動

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

等速円運動について学びます。

第13回 単振動

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

単振動、慣性力について学びます。

第14回 剛体にはたらく力

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

力のモーメントについて学びます。

第15回 流体にはたらく力

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

流体の性質について学びます。

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	物理学 I				
英文名 :	Physics 1				
担当者 :	松本 俊郎				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

物理学は自然現象に潜む法則を探索する学問で、理工学の基礎となる学問です。本講では力学を対象とします。最初に、運動の表し方について、速さ、変位、速度、加速度などの基本概念について学びます。つぎに、これらの物理量の間になり立つ運動の法則を学びます。さらに、この法則を用いて、基本的な運動（円運動、単振動、衝突現象など）を学びます。最後に運動をより深く理解するためのいろいろな物理量（仕事、エネルギー、運動量、反発係数、単振動など）やそれらを用いて成立する法則（力学的エネルギー保存則や運動量保存則など）について学びます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 力、質量、位置、速度、加速度などの基本概念および、このような物理量の取り扱い方に関する知識を持つことができる。
 2. つぎに、これらの基本概念間になり立つ運動の法則や、基本的な運動（円運動、単振動、衝突現象など）を理解できる。
 3. さらに、力学的エネルギー保存則や運動量保存則などを学ぶことにより運動に関する考え方を深めることができる。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3、4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
平常点（講義中の小テストやミニレポート） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORT に掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784627155411 『ビジュアルアプローチ基礎物理 上-力学・波動-』（大野 秀樹, 森北出版：2013）
[ISBN]9784627155619 『ビジュアルアプローチ基礎物理 準拠問題集』（大野 秀樹, 森北出版：2013）
[留意事項]適宜プリントを配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784320034938 『大学新入生のための物理入門 第2版』（廣岡 秀明, 共立出版：2012）
[ISBN]9784780602005 『自然科学の基礎としての物理学』（原 康夫, 学術図書出版社：2014）

■ 関連科目

物理学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・matumoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

講義内容の理解を深めるために、随時、演習を行うので関数電卓を持参のこと。

第1回 物理学、力学の概説

予習内容：「自然現象や人の生活と物理学の関係を把握し、授業で学ぶ時の目標となるよう準備する。」

予習時間：60分

復習内容：「物理学と工学のかかわりを材料、エネルギー等について、考察する。」

復習時間：60分

物理学の概要、および力学の法則の発見の歴史と人間社会への貢献について理解する。

第2回 運動の表し方

予習内容：「物体の運動状態の変化を表現するための方法を予習する。」

予習時間：60分

復習内容：「ニュートンの運動の第2法則を理解し、等速直線運動、等加速度直線運動について理解する。」

復習時間：60分

速さ、速度と変位、平均の速度、瞬間の速度、加速度、等速直線運動、等加速直線運動について学ぶ。

第3回 力と運動の法則（1）

予習内容：「教科書1.2力と運動の法則 に関して、力の大きさと方向、ニュートンの3法則を読み、グラフを作成する。」

予習時間：60分

復習内容：「配布プリントの復習及び演習を行いこれらを理解する。」

復習時間：60分

力、質量、運動の第1法則（慣性の法則）、運動の第2法則（運動方程式）、運動の第3法則（作用・反作用の法則）について学ぶ。

第4回 力と運動の法則（2）

予習内容：「教科書1.2.6重力と万有引力の項及び1.2.7ばねの力1.2.8垂直抗力と摩擦力について、例題を解く。」

予習時間：60分

復習内容：「配布プリントの復習問題集1.2の該当問題を解いて理解する。」

復習時間：80分

重力と万有引力、ばねの力、垂直抗力と摩擦力について学ぶ。

第5回 いろいろな運動

予習内容：「教科書1.3いろいろな運動について、説明をノートに書き写して予習し、例題を解く。」

予習時間：60分

復習内容：「配布プリントの復習および問題集1.3の問題28～30を解いて理解する。」(80分)

復習時間：80分

2つの物体間に作用する運動、自由落下、鉛直投げ上げ、摩擦力が働く運動について学ぶ。

第6回 力積と運動量（1）

予習内容：「教科書1.4力積と運動量について、説明をノートに書き写して予習し、例題を解く。」

予習時間：60分

復習内容：「問題集1.4の問題37～40を解いて理解する。」

復習時間：80分

力積、運動量、力積と運動量の変化について学ぶ。

第7回 力積と運動量（2）

予習内容：「教科書1.4.4運動量保存の法則、1.4.5反発係数について、説明をノートに書き写して予習し、例題を解く。」

予習時間：60分

復習内容：「問題集1.4の43～46を解答し理解を深める。」

復習時間：80分

運動量保存の法則、反発係数、演習問題を解く。

第8回 力学的エネルギー（1）

予習内容：「教科書1.5力学的エネルギーについて、説明をノートに書き写して予習し、例題を解く。」

予習時間：60分

復習内容：「問題集1.5力学的エネルギーの48～51を解答し理解を深める。」

復習時間：80分

仕事、仕事とエネルギー、運動エネルギーについて学ぶ。

第9回 力学的エネルギー（2）

予習内容：「教科書1.5.4位置エネルギー、1.5.5力学的エネルギーの保存について、説明をノートに書き写して予習し、例題を解く。」

予習時間：80分

復習内容：「問題集1.5力学的エネルギーの52～54を解答し理解を深める。」

復習時間：80分

位置エネルギー、力学的エネルギー保存の法則、演習問題を解く。

第10回 平面・空間での運動（1）

予習内容：「教科書1.6を読み、力をベクトルで表す方法と複数の力の合成方法について予習する。」

予習時間：80分

復習内容：「問題集1.6平面・空間での運動の中で、58～61を解く。」

復習時間：80分

運動方程式の表し方、力の表し方とベクトルの性質、力の合成について学ぶ。

第11回 平面・空間での運動（2）

予習内容：「教科書1.6.5速度の合成、相対速度を読んで例題を解く」。

予習時間：80分

復習内容：「問題集1.6平面・空間での運動について、58～60を解いて理解を深める。」

復習時間：80分

力の分解、速度の合成、相対速度について学ぶ。

第12回 平面・空間での運動（3）

予習内容：「教科書1.6.7～1.6.9を読み、実際にノートに書き写しながら、計算をする。」

予習時間：60分

復習内容：「問題集1.6 63,64,66を解答し理解を深める。」

復習時間：80分

平面における運動量保存の法則、仕事の原理、水平方向に投げ出した運動について学ぶ。

第13回 平面・空間での運動（4）

予習内容：「教科書1.6.10斜めに投げ上げた運動～1.6.12等速円運動を読み、実際にノートに書き写しながら、計算をする。」

予習時間：80分

復習内容：「問題集1.6 71,74を解答し理解を深める。ホドグラフについて復習する。」

復習時間：80分

斜めに投げ上げた運動、斜面上にある物体の運動、等速円運動について学ぶ。

第14回 平面・空間での運動（5）

予習内容：「教科書1.6.13惑星の運動（ケプラーの法則）～1.6.16慣性力を読み、実際にノートに書き写しながら、計算をする。」

予習時間：100分

復習内容：「配布プリント及び講義内容を復習し理解を深める。問題集1.6 74を解く。定期試験に備えて、教科書、講義ノート、プリントにより再整理し、例題及び問題集を解く。」

復習時間：80分

惑星の運動（ケプラーの法則）、単振動、単振り子、慣性力について学ぶ。

第15回 剛体や流体にはたらく力

予習内容：「教科書1.7剛体や流体にはたらく力について、実際にノートに書き写しながら、計算をする。」

予習時間：80分

復習内容：「問題集1.7 77、79を解答し理解を深める。定期試験に備えて、教科書、講義ノート、プリントにより再整理し、例題及び問題集を解く。」

復習時間：80分

力のモーメント、流体の性質ならびに、演習問題を解く。

定期試験

学習・教育目標及び到達目標に記されているように、以下の点について、教科書、プリント、問題集により、重点的に解く。

- (1) 力、質量、位置、速度、加速度などの基本項目
- (2) 運動の法則や、基本的な運動
- (3) 力学的エネルギー保存則や運動量

■ホームページ

科目名 :	物理学Ⅱ						
英文名 :	Physics 2						
担当者 :	西垣 勉						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

物理学は自然現象に潜む法則を探索する学問で、理工学の基礎となる学問です。本講では前期に学んだ力学にひき続き、物理学を構成する熱力学、波動、及び電磁気学の基礎について学びます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は温度、熱、波動、電気、磁気、及び関連する物理量の基本概念を理解し、熱力学、光学、電磁気学の基本法則（熱力学の第一・第二法則、反射・屈折の法則、クーロンの法則、オームの法則、ファラデー電磁誘導の法則等）を学びます。これらの基本法則を用いて熱機関の効率、ドップラー効果、レンズの特性、光の回折現象、直流回路や交流回路の特性、モーターの原理などを理解します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%

授業中の課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業中課題については、翌回以降の授業時間に答案を返却し、要点を解説します。

試験については、試験期間終了後に試験の要点と講評をUNIVRESAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784627160729 『やさしい基礎物理(第2版)』(潮 秀樹, 森北出版: 2014)

■ 参考文献

[ISBN]9784627155411 『ビジュアルアプローチ基礎物理 上-力学・波動-』(大野 秀樹, 森北出版: 2013)

[ISBN]9784627155510 『ビジュアルアプローチ基礎物理 下-熱・電磁気・原子-』(大野 秀樹, 森北出版: 2013)

[ISBN]9784627155619 『ビジュアルアプローチ基礎物理 準拠問題集』(大野 秀樹, 森北出版: 2013)

[ISBN]9784320034938 『大学新入生のための物理入門 第2版』(廣岡 秀明, 共立出版: 2012)

■ 関連科目

物理学 I

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

西垣研究室(西1号館3階352)・nisigaki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 5 限

事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 流体・弾性体

予習内容: 圧力、弾性率について、テキストを予習してくる

予習時間: 30分

復習内容: 圧力、弾性率についての授業中課題を復習する

復習時間: 60分

・流体・弾性体の力と変形を考察するにあたっての基本となる、圧力、体積などの物理量の定義と表し方について学ぶ。

第2回 熱と分子運動(1)

予習内容：身近な熱現象について調べてくる

予習時間：30分

復習内容：温度の定義と考え方についての授業中課題を復習する

復習時間：30分

- ・温度の定義と考え方等について学び、身近な現象について考察する。

第3回 熱と分子運動（2）

予習内容：気体の分子の運動の数式での表し方について、テキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：気体の温度と分子の運動、理想気体の状態方程式についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・気体の温度が分子の運動とどのように結び付けられるかを学ぶ。
- ・理想気体の状態方程式を理解する。

第4回 熱と分子運動（3）

予習内容：理想気体からの熱や仕事の出入りをともなう問題について、テキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：熱力学の第一法則についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・熱力学の第一法則について学ぶ。
- ・理想気体からの熱や仕事の出入りをともなう問題について、熱力学の第一法則を適用して解けるようになる。

第5回 熱と分子運動（4）

予習内容：定積変化、定圧変化などについて、テキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：定積変化、定圧変化などについての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・定積変化、定圧変化などについて学ぶ。

第6回 電磁現象の基礎（1）

予習内容：静電気力、クーロンの法則等について、テキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：静電気力、クーロンの法則についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・静電気力、クーロンの法則などについて理解する。

第7回 電磁現象の基礎（2）

予習内容：静電気力のエネルギー、電界、電位などについて予習してくる

予習時間：30分

復習内容：静電気力のエネルギー、電界、電位などについての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・静電気力のエネルギー、電界、電位などについて理解する。

第8回 電磁現象の基礎（3）

予習内容：基本電気回路とその性質について、テキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：基本電気回路についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・抵抗、コンデンサなどはたらきについて理解する。
- ・基本電気回路とその性質について理解する。

第9回 電磁現象の基礎（4）

予習内容：電流と磁場について、テキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：電流と磁場についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・電流と磁場の関係について理解する。

第10回 電磁気学の基本法則

予習内容：電磁気学の基本法則について、テキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：電磁気学の基本法則についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・電磁気学の基本法則について理解する。

第11回 波動と光（1）

予習内容：波の表し方と進み方についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：波の表し方と進み方についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・波動とはなにか、波の表し方と進み方について学ぶ。
- ・波の回折、屈折、反射、吸収、干渉などの基本的用語について説明できるようになる。

第12回 波動と光（2）

予習内容：単振動の定義と性質について復習してくる

予習時間：30分

復習内容：単振動とその合成についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・単振動とその合成について学ぶ。

第13回 波動と光（3）

予習内容：音波の性質と音の大きさの表し方について調べてくる

予習時間：30分

復習内容：音波の性質についての授業中課題を復習する

音の強さのレベル、音圧レベルを求める宿題に取り組む

復習時間：120分

- ・波動現象としての音波について学ぶ。
- ・音圧レベルの考え方と計算方法について習熟する。
- ・身近な音響問題を波動現象として考察するとどうなるかを学ぶ。

第14回 波動と光（4）

予習内容：光の性質についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：光の性質についての授業中課題を復習する

復習時間：30分

- ・電磁波の1種としての光の性質について学ぶ。

第15回 波動と光（5）

予習内容：光の屈折・干渉、レンズの性質等についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：光の屈折・干渉についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・光の屈折・干渉について学ぶ。

定期試験

波動・音・光・熱・電磁気の基礎について学んだ内容をもとに、初見の問題について、学んだ基礎概念や解法などを正しく適用して問いに答えることができるかを記述式試験により問う。

■ホームページ

科目名 :	物理学Ⅱ						
英文名 :	Physics 2						
担当者 :	木村 裕一						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本講では、物理学Ⅰに引き続いて、主に電磁気学について学ぶ。

電磁気学は、クーロン力から始まり、物理的な考察を重ね上げて、実用性が高い交流理論までに至る学問領域であることから、本講を通して物理的な考察過程を学ぶことができる。また、特に工学系3学科の受講生にとって、学科の専門性において重要な電気電子工学に対する素養を身につけることができる。

物理学Ⅰと同様に、高校での物理を、大学数学を用いて解説していくが、更に、ベクトル解析を用いた、電場及び磁場の導入も行う。

講義では、公式などの導出過程は出来るだけ省略せずに説明すると共に、設問に対しては、解く過程を丁寧に説明するので、講義中はノートの作成に注力し、その内容を良く復習し、不明な点は、次回の講義で質問すること。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、主に電磁気関連の物理量の基本概念を理解することができる。これらは、今後のより専門的な科目の基礎となるものである。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験終了後、模範解答及び解説を、UNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

[ISBN]9784320034938 『大学新入生のための物理入門 第2版』(廣岡 秀明, 共立出版: 2012)

■ 参考文献

特に無し。

■ 関連科目

物理学Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して実施。

■ 研究室・メールアドレス

木村研究室(東1号館4階410)・ukimura@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日の3限目

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 クーロン力

予習内容: 講義全体の内容の把握。

予習時間: 30分

復習内容: 本講の復習。

復習時間: 60分

電荷間にはクーロン力と呼ばれる力が発生する。電磁気学では、ここを出発点として、電場、電位といった物理的な概念・物理

量を定めていく。今回は、その基礎となるクーロン力について解説する。

第2回 電場・電気力線

予習内容：クーロン力の理解。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

クーロン力を、電荷が周辺の空間に作用して生成される「電場」から受ける力として考えることで、電磁気学の考え方は進んでいく。本講では、電場、および電場を表現する手段である電気力線を導入する。

第3回 ガウスの定理、ベクトル解析

予習内容：電場、電気力線の理解。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

電場に対する基本的な関係である、ガウスの定理の証明に進む。今回は、電場を生成する電荷から発生する電気力線を、電荷を包む閉曲面上で数え上げる。このために、面積分を導入する。

第4回 ガウスの定理、ベクトル解析の続き

予習内容：前回の講義内容の確認。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

ガウスの定理で、電気力線を発生する、電荷の側から、発生する電気力線の数を数え上げる。体積積分や、ベクトルの湧き出し(ダイバージェンス)の概念を導入する。

第5回 静電場の章末問題

予習内容：章末問題に目を通しておく。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

§21の章末問題を解く。

第6回 電力, オームの法則

予習内容：§22に目を通しておく。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

電場の導入によって、いよいよ電荷が動くようになったので、その動く量を規定するオームの法則、及び、電場とのエネルギーの遣り取りを記述する電力について説明する。

テキスト、§22。

第7回 磁場

予習内容：ガウスの法則に関する講義内容を復習しておく。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

電流が流れると、磁場が発生するが、電流と磁場との間の関係を導出する。

第8回 §22の章末問題

予習内容：§22の章末問題に目を通しておく。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

電流や磁場に関する、§22の章末問題を解く。

第9回 直流回路、コンデンサー

予習内容：§23の内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

実用回路の解析に向けて、直流回路の解説に移る。

合成抵抗、合成容量の公式を解説した後、コンデンサーの動作原理を解説することで、 $Q=CV$ の関係を導出する。

テキスト、§23である。

第10回 CR回路過度応答

予習内容：§23.7に目を通すと共に、物理学 I での微分方程式の取扱いを復習しておく。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

コンデンサーへの充電回路が示す、過度的な応答について、微分方程式を用いたアプローチで解説する。テキスト、§23.7になる。

第11回 直流回路の章末問題

予習内容：§23の章末問題に目を通しておく。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

§23の章末問題を解く。

第12回 交流回路, §24, 実効値

予習内容：§24の内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

§24の交流回路に進む。オームの法則から、抵抗の「抵抗値」は、交流の周波数に依らずに一定となることを導き、続いて、交流回路での電力の取扱いが必要となる、実効値の概念を説明する。

第13回 交流回路でのコンデンサー, コイル

予習内容：§24.5以降の内容に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

コンデンサーやコイルでは、周波数によって、その「抵抗としての大きさ」が変化する。このことを、前章までで導出してあった、コンデンサー及びコイルに対する物理的な関係から導く。

第14回 共振回路・インピーダンス

予習内容：交流回路の講義内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

交流回路において、抵抗、コンデンサー、コイルを組み合わせることで、周波通に対する選択性が出現する。この現象を、解説する。

第15回 交流回路, §24, 章末問題

予習内容：§24の内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：本講の復習。

復習時間：60分

§24の章末問題を解く。

定期試験

公式を暗記しているだけでは、物理学を理解したことにはならない。公式の導出過程を問う問題となるので、講義の内容を良く理解し、式変形の過程などに疑問が無いようにした上で試験に臨むこと。

■ホームページ

科目名 :	物理学Ⅱ						
英文名 :	Physics 2						
担当者 :	藤井 雅雄						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代社会は、さまざまな科学技術の恩恵を受けています。したがって、科学的知識、とりわけ自然科学の基本である物理学の知識は教養として、また理工学の諸分野の基礎として重要です。本講では、前期に学んだ力学に引き続き、物理学を構成する波動、熱力学、電磁気学の基礎について学びます。これらの基礎を学ぶことで、後年に学ぶ専門分野の理解を容易にすることが期待されます。この講義においては、履修生が高校において物理学を学び、理解していることを前提としていません。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、光、音、温度、熱、電気、磁気および関連する物理量の基本概念を理解し、光学、音響学、熱力学、電磁気学の基本法則（反射・屈折の法則、熱力学の第1・第2法則、クーロンの法則、オームの法則、ファラデーの電磁誘導の法則など）を学びます。これらの基本法則を用いて、レンズの特性、光の回折現象、ドップラー効果、熱機関の効率、直流回路や交流の特性、モーターの原理などを理解します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中の課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784627155411 『ビジュアルアプローチ基礎物理 上-力学・波動-』（大野 秀樹, 森北出版：2013）
[ISBN]9784627155510 『ビジュアルアプローチ基礎物理 下-熱・電磁気・原子-』（大野 秀樹, 森北出版：2013）

■ 参考文献

[ISBN]9784627155619 『ビジュアルアプローチ基礎物理 準拠問題集』（大野 秀樹, 森北出版：2013）

■ 関連科目

物理学Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・fujii@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 静電気力

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。

復習時間：150分

帯電、クーロンの法則について学びます。

第2回 電界とガウスの法則

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
電界、電気力線、ガウスの法則について学びます。

第3回 電位

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
電位と電位差、等電位面、導体と静電誘導、静電遮蔽について学びます。

第4回 電流と電圧

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
電流、オームの法則、電力とジュール熱について学びます。

第5回 直流回路

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
抵抗の接続、電池の起電力と内部抵抗、電流計と電圧計、キルヒホッフの法則について学びます。

第6回 電流と磁界

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
磁石による磁界、電流による磁界、電流が磁界から受ける力、モーターの原理について学びます。

第7回 電磁誘導と交流

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
電磁誘導、交流について学びます。

第8回 温度と熱

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
温度、熱、固体の膨張、温度の測定、熱容量と比熱、潜熱について学びます。

第9回 熱力学の第1法則

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱力学の第1法則について学びます。

第10回 熱力学の第2法則

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
熱効率、熱力学の第2法則について学びます。

第11回 直線上を伝わる波

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分

復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
波、波の基本式、正弦波、横波と縦波、波の重ね合わせ、波の反射について学びます。

第12回 平面・空間を伝わる波

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
波面とホイヘンスの原理、波の干渉、回折現象について学びます。

第13回 音波

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
音の発生、音の速さ、音の3要素、うなりなどについて学びます。

第14回 ドップラー効果

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
ドップラー効果について学びます。

第15回 光の進み方

予習内容：教科書の該当箇所を、よく読み、分からない箇所を整理しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートを読み返し、該当箇所の教科書の例題、章末問題を解くこと。
復習時間：150分
光の反射、屈折、全反射、レンズについて学びます。

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	物理学Ⅱ						
英文名 :	Physics 2						
担当者 :	松本 俊郎						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

物理学は自然現象に潜む法則を探索する学問で、理工学の基礎となります。本講義では、前期に学んだ力学に引き続き、物理学を構成する波動、熱力学、及び電磁気学の基礎について学びます。

波動において、身の回りの光、音や地震などの波動を扱う上で基礎となる波動、正弦波、横波、縦波等の物理量を解説します。つぎに、光、音波等について学びます。光について、直進するという考え方に伴う反射、屈折の法則、レンズの結像の法則等について学び、波動としての考え方に伴う干渉、回折について学習します。

熱力学において、最初に、熱の表し方について、温度、熱、熱量、熱容量などの基本概念について学びます。つぎに、気体分子ひとつひとつの運動を通して、圧力や温度を理解し、気体がもつ運動エネルギーや内部エネルギーについて解説します。さらに、これらの概念を用いて、気体がする仕事や熱効率等から熱力学の第1及び第2法則について学びます。

電磁気学において、最初に、電気量やクーロンの法則等、電気による力の表し方、物質の電氣的性質、電解、電位等について解説します。さらに、コンデンサー、電流と電圧、直流回路、電磁波について学習します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 音、光や地震等の物理現象に対して、波の基礎や縦波や横波、干渉及び回折の考え方から理解できる。レンズによる結像の考え方からカメラ等の性能に関する考察が可能になる。
 2. 熱現象に関する日常的事実から出発し、それらの経験法則の相互関連を理解し、体系的に理解できる。熱と温度や熱容量と比熱という概念を把握し気体の状態に関する考え方を確立できる。熱力学の第1及び第2法則を導き、熱現象とエネルギー保存則を考察できる。
 3. 物質の電氣的性質、オームの法則の成り立ち、磁気力及び電磁誘導について理解できる。
 4. 直流電源と電気抵抗とコンデンサーを含む回路に関する計算方法を体得できる。交流回路における基本的な素子の役割及び電磁波の波動的性質を理解できる。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3、4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 80%
平常点（講義中の小テストやミニレポート） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORT に掲載します。

■ 教科書

- [ISBN]9784627155510 『ビジュアルアプローチ基礎物理 下-熱・電磁気・原子-』（大野 秀樹, 森北出版：2013）
[ISBN]9784627155619 『ビジュアルアプローチ基礎物理 準拠問題集』（大野 秀樹, 森北出版：2013）

■ 参考文献

- [ISBN]9784780602005 『自然科学の基礎としての物理学』（原 康夫, 学術図書出版社：2014）
[ISBN]9784320034938 『大学新入生のための物理入門 第2版』（廣岡 秀明, 共立出版：2012）

■ 関連科目

物理学Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・matumoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

講義内容の理解を深めるために、随時演習を行うので関数電卓を持参のこと。

第1回 光の進み方

予習内容：「教科書P.89～P.95を通読し、特に、絶対屈折率及び、相対屈折率等を確認し、理解を深める」

予習時間：60分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題2.1 1～6について解く。」

復習時間：60分

幾何光学と波動光学の取り扱い、ならびに、光の速さ、反射と屈折について学ぶ。

第2回 レンズ

予習内容：「教科書P.95～P.103を通読し、特に、グラフ用紙上で、図2.12のレンズ形状について、屈折の法則を用いて、光線の進み方を描き、結像の式による作図との一致性を確認し、理解を深める」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題2.1 10～14、16及び、教科書の章末問題2.1,2.2 2.3及び2.6について解く。」

復習時間：60分

結像の焦点、近軸光線、結像の式、凸レンズ、凹レンズへの適用、眼やカメラの結像について学ぶ。

第3回 直線上を伝わる波

予習内容：「教科書P.103～P.113を通読し、特に、波の変位が、位置と時刻の関数で表されることを確認し、理解を深める」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、波の重ね合わせの原理をグラフ用紙上で、波の式を想定して、図2.31の如く手書きし計算結果と比べる。基礎物理-準拠-問題集の問題2.2 20～26、16について解く。問図2.10の波形を式で表せるか試みる」

復習時間：60分

媒質を伝わる波、正弦波、横波と縦波について学ぶ。

第4回 平面・空間を伝わる波（1）

予習内容：「教科書P.113～P.139を通読し、理解を深める」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習する。基礎物理-準拠-問題集の問題2.3 32、33、問題2.4 39～41について解く。」

復習時間：80分

ホイヘンスの原理、光路差、波の干渉について学ぶ。

第5回 平面・空間を伝わる波（2）

予習内容：「教科書P.139～P.154を通読し、理解を深める」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習する。基礎物理-準拠-問題集の問題2.5 56、58～60について解く。」

復習時間：80分

光路差、波の干渉について学ぶ。

第6回 温度と熱

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.1～P.14を通読し、特に、温度と熱の違いを確認し、例題の解答を試み、理解を深める」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題3.1 2,4,6,8,9,10,12,14及び、教科書章末問題3.1～3.3について解く。」

復習時間：80分

【第6回から、「基礎物理 下」を使用します。】

温度、熱、温度の測定、熱容量について学ぶ。

第7回 気体分子の運動

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.15～P.24を通読し、特に、理想気体の状態方程式について、理解し、例題の解答を試みる」

予習時間：60分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題3.2 21～27について解く。」

復習時間：80分

理想気体の状態方程式、気体の運動エネルギーについて学ぶ。

第8回 熱力学第1法則及び気体の熱力学過程(1)

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.24～P.31を通読し、例題の解答を試みる」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題3.3 42,43,51,について解く。」

復習時間：80分

気体がする仕事、熱力学第1法則、及び気体の熱力学過程について学ぶ。

第9回 気体の熱力学過程(2)及び、熱力学第2法則(1)

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.31～P.41を通読し、例題の解答を試みる」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題3.3 52,53について解く。」

復習時間：60分

定圧変化、断熱変化、カルノーサイクルについて学ぶ。

第10回 熱力学第2法則(2)

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.41～P.47を通読し、例題の解答を試みる」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題3.4 56,58,～60について解く。」

復習時間：60分

熱効率、オットーサイクル、エントロピー増大の法則、クラウジウスの原理、トムソンの原理について学ぶ。

第11回 静電気力、電界、電位

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.49～P.66を通読し、例題の解答を試みる」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題4.1 2,4,6,8,10,11,13,24,26,28について解く。」

復習時間：60分

帯電、クーロンの法則、電界、電位と電位差について学ぶ。

第12回 コンデンサー

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.67～P.74を通読し、例題の解答を試みる」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題4.4 30,31,32,33,34について解く。」

復習時間：60分

コンデンサーと電気容量、コンデンサーの接続について学ぶ。

第13回 電流、電圧、直流回路(1)

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.75～P.81を通読し、例題の解答を試みる」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題4.5 41～44、50～52について解く。」

復習時間：60分

電流、オームの法則、電力、抵抗の接続一直列及び並列接続について学ぶ。

第14回 直流回路(2)、電流と磁界

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.81～P.97を通読し、例題の解答を試みる」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題4.7 57～60について解く。定期試験に備えて、教科書、講義ノート、プリントにより復習し、例題及び問題集を解く」

復習時間：60分

電池の起電力と内部抵抗、電流計及び電圧計、キルヒホッフの法則、電流と磁界について学ぶ。

第15回 電磁誘導と交流

予習内容：「教科書「基礎物理 下」P.97～P.113を通読し、例題の解答を試みる」

予習時間：80分

復習内容：「授業内容を復習し、基礎物理-準拠-問題集の問題4.8 74,76,77,79,82について解く。定期試験に備えて、教科書、講義ノート、プリントにより復習し、例題及び問題集を解く」

復習時間：80分

電磁誘導、交流、電磁波について学ぶ。

定期試験

学習・教育目標及び到達目標に記されているように、以下の点について、教科書、プリント、問題集により、重点的に解く。

- (1) 波の基礎や縦波や横波、干渉及び回折、レンズによる結像
- (2) 熱と温度や熱容量、気体の状態、及び、熱力学の第1及び第2法則
- (3) 物質の電気的性質、オームの法則、磁気力及び電磁誘導
- (4) 直流電源と電気抵抗とコンデンサーを含む回路、交流回路

■ホームページ

科目名 :	微分積分学						
英文名 :	Calculus						
担当者 :	吉田 久						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本講義は、大学で学ぶ数学、物理学ならびにほとんど全ての専門科目を学ぶために必要不可欠な基礎として、微分積分学を学習する。この科目は、数学としての微分積分学ではなく、理工科系に必要な実用道具としての微分積分を修得することを目標としている。したがって、数学的な定義・定理・証明だけでなく、基本的な意味や使い方、例題などに主眼をおいて講義を進める。受講者はまず、前期の講義科目「数学」で学んだ初等関数に関する微分積分の概念を再度確認する目的で、微分積分学の基本定理から定積分までを学習する。その後、2変数以上の関数に拡張した偏微分や重積分を学習する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義では、理工科系に必要な実用道具としての微分積分を修得するために、以下のことを到達目標とする。

1. 2変数関数を例にして、多変数関数という概念を理解すること。
2. 多変数関数の解析に重要な、偏微分、全微分、接平面などの基本的な概念を理解し、実際に計算技法をマスターする。
3. さらに2次形式を学び、偏微分概念とともに多変数関数の極値問題を理解する。
4. 多変数関数における重積分の概念を理解し、計算技法をマスターする。
5. 多変数関数の変数変換を理解し、重積分の計算を容易にする方法を修得する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
 中間試験 30%
 宿題（各回1問から5問程度の演習問題） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784477026428 『新微分積分1』 (高遠 節夫, 大日本図書 : 2012)
 [ISBN]9784477026855 『新微分積分2』 (高遠 節夫, 大日本図書 : 2013)

■ 参考文献

[ISBN]9784489002649 『よくわかる微分積分』 (有馬 哲, 東京図書 : 1988)
 [ISBN]9784477026442 『新微分積分1問題集』 (高遠節夫, 大日本図書 : 2013)
 [ISBN]9784477026879 『新微分積分2問題集』 (高遠節夫, 大日本図書 : 2014)

■ 関連科目

基礎数学、数学、その他の専門科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

吉田研究室（東1号館4階418）・yoshida@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

前期
 水曜日 4時限目、5時限目

後期
 金曜日 2時限目、3時限目

ただし、出張中、会議中を除く

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 積分の応用（曲線の長さ、回転体の体積）

予習内容：曲線の長さ、体積、広義積分の意味を調べる。

予習時間：15分

復習内容：演習問題を通して知識の定着と計算能力を養う

復習時間：30分

第2回 2変数関数と曲面・極限・連続

予習内容：2変数関数の定義とグラフの書き方について調べる。また、2変数関数を含む多変数関数の極限および連続の概念を事前に調べる。

予習時間：20分

復習内容：2変数関数の計算およびグラフの書き方について、例題および練習問題を解くとともに、多変数関数の極限操作に関する例題・練習問題を解く。

復習時間：30分

第3回 偏導関数

予習内容：多変数関数の偏導関数・偏微分係数について、その定義と計算方法を理解する。

予習時間：20分

復習内容：多変数関数の極限操作について例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第4回 接平面と全微分

予習内容：多変数関数の全微分の定義を調べる。また、2変数関数のグラフにおける接平面の意義を調べたうえで、接平面の方程式と全微分の関係性を調べる。

予習時間：20分

復習内容：全微分の計算および接平面の方程式を求める例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第5回 合成関数の微分法

予習内容：合成関数の微分法について、その定義を調べて理解する。

予習時間：20分

復習内容：合成関数の微分法を用いた関数の微分、2変数関数の偏微分の例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第6回 高次偏導関数

予習内容：高次の偏導関数の意義と応用場面を調べる。

予習時間：20分

復習内容：高次偏導関数の計算の例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第7回 多項式による近似

予習内容：多項式を用いた関数の近似法について、定義を調べる。

予習時間：20分

復習内容：多項式による関数の近似の例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第8回 中間試験、極大・極小

予習内容：2変数関数の極大・極小の概念を調べる。

予習時間：20分

復習内容：2変数関数の極大・極小を判別する例題と練習問題を解く。30

復習時間：30分

第9回 陰関数の微分法

予習内容：陰関数の定義を調べる。

予習時間：20分

復習内容：陰関数の微分計算の例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第10回 条件付き極値問題

予習内容：Lagrangeの乗数法について調べる。

予習時間：20分

復習内容：条件付き極値問題の例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第11回 重積分の定義

予習内容：定積分について定義を十分に理解する。

予習時間：20分

復習内容：重積分の計算の定義を定積分の定義の発展として整理し、理解する。

復習時間：30分

第12回 重積分の計算

予習内容：重積分の実際の計算方法について理解する。

予習時間：20分

復習内容：重積分の計算の例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第13回 2変数関数の変数変換

予習内容：ヤコビアンの定義について調べる。

予習時間：20分

復習内容：変数変換の例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

第14回 広義重積分・3重積分

予習内容：極限操作との組み合わせが必要な重積分の例を調べる。

予習時間：20分

復習内容：広義重積分の例題と練習問題を解く。また、3重積分の練習問題にも取り組む。

復習時間：30分

第15回 重積分の応用

予習内容：重積分によって計算可能な定積分の例を調べる。

予習時間：20分

復習内容：重積分による面積や体積の計算に関する例題と練習問題を解く。

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	微分積分学				
英文名 :	Calculus				
担当者 :	西垣 勉				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

微分積分学は、数学を応用・活用する分野全般に対する基礎知識であり、特に科学あるいは科学技術を理解する際に根幹をなす方法論を提供する。この科目は、数学としての微分積分学ではなく、理工科系に必要な実用道具としての微分積分を修得することを目標としている。したがって、数学的な定義・定理・証明だけでなく、基本的な意味や使い方、例題などに主眼をおいて講義を進める。特に本講義では、前期の講義科目「数学」で1変数関数の微分積分法についてほぼ学習し終えた受講者を対象として、その概念を2変数以上の関数に拡張した偏微分や重積分について重点的に学習する。また、物理現象等の対応の解説とともに概念の理解を促す講義を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義では、理工科系に必要な実用道具としての微分積分を修得するために、以下のことを到達目標とする。

1. 2変数関数を例にして、多変数関数という概念を理解すること。
2. 多変数関数の解析に重要な、偏微分、全微分、接平面などの基本的な概念を理解し、実際に計算技法をマスターする。
3. さらに2次形式を学び、偏微分概念とともに多変数関数の極値問題を理解する。
4. 多変数関数における重積分の概念を理解し、計算技法をマスターする。
5. 多変数関数の変数変換を理解し、重積分の計算を容易にする方法を修得する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中課題・小テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業中課題については、翌回以降の授業時間に答案を返却し、要点を解説します。
試験については、試験期間終了後に試験の要点と講評をUNIVRESAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784477026855 『新微分積分2』 (高遠 節夫, 大日本図書 : 2013)
[ISBN]9784477026879 『新微分積分2問題集』 (高遠節夫, 大日本図書 : 2014)

■ 参考文献

[ISBN]9784477026428 『新微分積分1』 (高遠 節夫, 大日本図書 : 2012)
[ISBN]9784477026442 『新微分積分1問題集』 (高遠節夫, 大日本図書 : 2013)
[ISBN]9784407332483 『新版 微分積分: 基礎から偏微分・重積分・微分方程式まで (数学シリーズ 新版)』 (佐伯 昭彦 (ほか5名, 実教出版 : 2013)
[ISBN]9784407332490 『新版 微分積分 演習 (新版数学シリーズ)』 (岡本 和夫, 実教出版 : 2013)

■ 関連科目

基礎数学、数学、各学科の専門科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

西垣研究室 (西1号館3階352) ・ nisigaki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 5限
事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 2変数関数と曲面

予習内容：2変数関数の定義とグラフの書き方について調べる。

予習時間：30分

復習内容：2変数関数の計算およびグラフの書き方について、例題および練習問題を解く。

復習時間：60分

第2回 多変数関数と極限・連続

予習内容：2変数関数の発展として、2変数関数を含む多変数関数の極限および連続の概念を事前に調べる。

予習時間：30分

復習内容：多変数関数の極限操作に関する例題・練習問題を解く。

復習時間：60分

第3回 偏導関数

予習内容：多変数関数の偏導関数・偏微分係数について、その定義と計算方法を理解する。

予習時間：30分

復習内容：多変数関数の極限操作について例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第4回 接平面と全微分

予習内容：多変数関数の全微分の定義を調べる。また、2変数関数のグラフにおける接平面の意義を調べたうえで、接平面の方程式と全微分の関係性を調べる。

予習時間：30分

復習内容：全微分の計算および接平面の方程式を求める例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第5回 合成関数の微分法

予習内容：合成関数の微分法について、その定義を調べて理解する。

予習時間：30分

復習内容：合成関数の微分法を用いた関数の微分、2変数関数の偏微分の例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第6回 高次偏導関数

予習内容：高次の偏導関数の意義と応用場面を調べる。

予習時間：30分

復習内容：高次偏導関数の計算の例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第7回 多項式による近似

予習内容：多項式を用いた関数の近似法について、定義を調べる。

予習時間：30分

復習内容：多項式による関数の近似の例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第8回 極大・極小

予習内容：2変数関数の極大・極小の概念を調べる。

予習時間：30分

復習内容：2変数関数の極大・極小を判別する例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第9回 陰関数の微分法

予習内容：陰関数の定義を調べる。

予習時間：30分

復習内容：陰関数の微分計算の例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第10回 条件付き極値問題

予習内容：Lagrangeの乗数法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：条件付き極値問題の例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第11回 重積分の定義

予習内容：定積分について定義を十分に理解する。

予習時間：30分

復習内容：重積分の計算の定義を定積分の定義の発展として整理し、理解する。

復習時間：60分

第12回 重積分の計算

予習内容：重積分の実際の計算方法について理解する。

予習時間：30分

復習内容：重積分の計算の例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第13回 2変数関数の変数変換

予習内容：ヤコビアンの定義について調べる。

予習時間：30分

復習内容：変数変換の例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

第14回 広義重積分・3重積分

予習内容：極限操作との組み合わせが必要な重積分の例を調べる。

予習時間：30分

復習内容：広義重積分の例題と練習問題を解く。また、3重積分の練習問題にも取り組む。

復習時間：60分

第15回 重積分の応用

予習内容：重積分によって計算可能な定積分の例を調べる。

予習時間：30分

復習内容：重積分による面積や体積の計算に関する例題と練習問題を解く。

復習時間：60分

定期試験

■ ホームページ

科目名	微分積分学						
英文名	Calculus						
担当者	西川 博昭						
開講学科	学部基礎科目						
単 位	2単位	開講年次	1年次	開講期	後期	必修選択の別	選択科目
科目区分	基礎科目						
備 考							

■ 授業概要・方法等

本講義は、大学で学ぶ数学、物理学ならびにほとんど全ての専門科目を学ぶために必要不可欠な基礎として、微分積分学を学習する。この科目は、数学としての微分積分学ではなく、理工科系に必要な実用道具としての微分積分を修得することを目標としている。したがって、数学的な定義・定理・証明だけでなく、基本的な意味や使い方、例題などに主眼をおいて講義を進める。前期の講義科目「数学」で学んだ初等関数に関する微分積分の概念を再度確認する目的で、微分積分学の基本定理を学習する。また、微分的应用としてグラフの概略を調べる方法、定積分的应用として図形の体積や曲線の長さを計算する方法を学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義では、理工科系に必要な実用道具としての微分積分を修得するために、以下のことを到達目標とする。

1. 1変数の初等関数に関する微分積分の概念を復習し、合成関数や逆関数、それに対数関数微分法を使いこなせるようにする。
2. 微分法を修得した後、微分法的应用について学び、関数の極値や曲線の凹凸などを微分を使って解析できることを理解する。
3. 不定積分、定積分の関係を理解し、積分計算法(置換積分、部分積分、有理関数・無理関数)などについてマスターする。
4. 面積、体積、曲線の長さなど積分計算の应用について学び、これを理解する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
 中間試験 30%
 宿題(各回1問から5問程度の演習問題) 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

出題した宿題は翌週の講義時間に解説します。また、試験の要点と解説はUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784477026428 『新微積分1』(高遠 節夫, 大日本図書 : 2012)
 [ISBN]9784477026855 『新微積分2』(高遠 節夫, 大日本図書 : 2013)

■ 参考文献

[ISBN]9784489002649 『よくわかる微分積分』(有馬 哲, 東京図書 : 1988)
 [ISBN]9784477026442 『新微積分1問題集』(高遠節夫, 大日本図書 : 2013)
 [ISBN]9784477026879 『新微積分2問題集』(高遠節夫, 大日本図書 : 2014)

■ 関連科目

基礎数学、数学、その他の専門科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

西川研究室(東1号館3階312)・nishik32@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

前期
 木曜 4限

後期
 木曜 4限

ただし、出張中、会議中を除く

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 数列とその和、数列の極限

予習内容：数列の基本的性質

予習時間：30分

復習内容：極限の計算

復習時間：90分

第2回 関数の極限と連続

予習内容：極限の基本的計算

予習時間：30分

復習内容：関数の極限操作の具体例

復習時間：90分

第3回 導関数1（性質、合成関数の微分）

予習内容：導関数の数式的定義と図形的定義の関係

予習時間：30分

復習内容：合成関数の微分の計算練習

復習時間：90分

第4回 導関数2（逆関数微分法）

予習内容：逆関数の定義

予習時間：30分

復習内容：逆関数の微分の計算練習

復習時間：90分

第5回 導関数3（対数関数微分法）

予習内容：対数関数の定義

予習時間：30分

復習内容：対数関数微分法の計算練習

復習時間：90分

第6回 微分法の応用1（関数の増減と極値）

予習内容：微分係数の図形的意味の再確認

予習時間：30分

復習内容：関数の極値および増研の様子を調べる計算練習

復習時間：90分

第7回 微分法の応用2（高次導関数と曲線の凹凸）

予習内容：高次導関数の定義

予習時間：30分

復習内容：関数の凹凸を調べる計算練習

復習時間：90分

第8回 微分法の応用3（変曲点）

予習内容：極値と変曲点の定義

予習時間：30分

復習内容：極値および変曲点を求める計算練習

復習時間：90分

第9回 不定積分と定積分、中間試験

予習内容：不定積分の定義

予習時間：30分

復習内容：不定積分および定積分の計算練習

復習時間：90分

第10回 積分の計算1（置換積分法）

予習内容：基本的な関数の不定積分

予習時間：30分

復習内容：置換積分法の計算練習

復習時間：90分

第11回 積分の計算2（部分積分法）

予習内容：微分の公式の再確認

予習時間：30分

復習内容：部分積分の計算練習

復習時間：90分

第12回 積分の計算3（有理・無理関数の積分）

予習内容：有理関数と無理関数の定義

予習時間：30分

復習内容：有理関数および無理関数の積分の計算練習

復習時間：90分

第13回 積分の計算4（三角関数の積分）

予習内容：三角関数の基本的積分の再確認

予習時間：30分

復習内容：三角関数の積分の計算練習

復習時間：90分

第14回 積分の応用1（面積、体積）

予習内容：定積分の定義の確認

予習時間：30分

復習内容：定積分を応用して図形の面積・体積を求める計算練習

復習時間：90分

第15回 積分の応用2（長さ）

予習内容：直線の長さを求める計算の再確認

予習時間：30分

復習内容：定積分を応用して曲線の長さを求める計算練習

復習時間：90分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	微分積分学						
英文名 :	Calculus						
担当者 :	堤 裕之						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本講義は、大学で学ぶ殆んど理数系専門科目に必要な不可欠な微分積分学の基礎知識を学習する。数学としての微積分ではなく、理工科系に必要な実用道具としての微分・積分の応用を習得することを目標としている。したがって、数学的な定義・定理・証明だけでなく、基本的な意味や使い方、例題などに主眼をおいて講義を進める。受講者はまず、前期の講義科目「数学」で学んだ初等関数に関する一変数の微分積分の知識を更に補充するために、微積分の基本定理やその応用について学習する。続いて、二変数関数の場合の偏微分や重積分とその応用について学習する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義では、生物理工系の学生が関連専門科目を履修するにあたって必要な、実用的な微積分の知識を修得するために、以下のことを到達目標とする。

1. 1変数の初等関数の微分・積分の高度な問題に再挑戦し、計算技法をマスターする。
2. 1変数の微分法の応用として、曲線の関数の特性を解析し、極値、凹凸などを求める。
3. 1変数の積分法の応用として、平面曲線の面積、長さ、および回転体の体積、表面積の計算法を究める。
4. 多変数関数の偏微分法、重積分法の基本定理を理解し、その技法を身につける。
5. 2変数関数の偏微分の応用として、テーラー展開、ラグランジェの乗数法などの解析法を修得する。
6. 重積分の応用として、立体図形の求積法を修得する。

■ 成績評価方法および基準

- 定期試験 70%
- 中間まとめレポート 10%
- 期末まとめレポート 10%
- 授業内レポート 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは指定教科書の問題の中から出題されます。教科書には略解が載せられていますが、特に注意が必要な問題については授業内で解説します。試験問題についても同様です。

■ 教科書

[ISBN]9784785315184 『理工系入門 微分積分』(石原 繁, 裳華房 : 1999)

■ 参考文献

[ISBN]9784320016330 『やさしく学べる微分積分』(石村 園子, 共立出版 : 1999)

■ 関連科目

基礎数学、数学、線形代数学など

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) : tsutsumi@ouhs.ac.jp
備考 : 携帯からの質問メールは受け付けません。

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 微分とは何か、微分の計算公式

予習内容：教科書§4～§11に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書P21, P27, P30, P38, P48問題Bを解く

復習時間：60分

第2回 テイラー展開とは何か

予習内容：教科書§14～§16に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書P72, P78, P84, P89問題Bを解く

復習時間：60分

第3回 積分とは何か、そしてその計算公式

予習内容：教科書§19, §29に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：教科書P95, P100, P105, P109問題Bを解く

復習時間：30分

第4回 微分積分学の基本定理とは何か、積分の計算と変数変換

予習内容：教科書§21～§27に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：教科書P116, P120, P123, P128, P139問題Bを解く

復習時間：30分

第5回 関数と極限（2変数）

予習内容：教科書§30に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§30の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第6回 連続関数

予習内容：教科書§31に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§31の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第7回 偏導関数

予習内容：教科書§32に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§32の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第8回 高次偏導関数

予習内容：教科書§33に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§33の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第9回 合成関数の微分法

予習内容：教科書§34に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§34の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第10回 テイラーの定理とテイラー展開

予習内容：教科書§35～§37に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§37の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第11回 極大・極小

予習内容：教科書§38に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§38の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第12回 2重積分の定義

予習内容：教科書§39に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§39の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第13回 2重積分の計算・累次積分

予習内容：教科書§40に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§40の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第14回 極座標による2重積分

予習内容：教科書§41に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§41の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

第15回 体積・曲面積

予習内容：教科書§42に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書§42の演習問題Bを解く。

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	線形代数学						
英文名 :	Linear Algebra						
担当者 :	大澤 恭子						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

線形代数学は、微分積分学とともに、問題を表現し、整理し、理解し、解決するときに利用できる重要な理論であり、理工学は言うに及ばず、経済学等の広範な分野で用いられている。とりわけ、ライフサイエンス系の課題に取り組む、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科では、システム・情報工学、制御工学、ロボット工学、シミュレーション工学、医工学などを関連基礎分野として位置づけており、これらを理解する上で線形代数学が必要不可欠な理論的基礎となっている。本講では、ベクトル、行列と行列式、連立1次方程式、固有値と固有ベクトル、行列の対角化などの線形代数学の基本事項について講述する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

学習・教育目標及び到達目標

- ・行列の和、差、積の計算ができること。
- ・拡大係数行列の基本変形を用いて連立一次方程式を解くことができること。
- ・逆行列を用いて連立一次方程式を解くことができること。
- ・クラメル公式を用いて連立一次方程式を解くことができること。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回のレポートに関し、課題に対する解説をします。

■ 教科書

[ISBN]9784320016606 『やさしく学べる線形代数』(石村 園子, 共立出版 : 2000)

■ 参考文献

指定しない

■ 関連科目

他の数学科目、専門科目全般

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大澤(西1号館3階358)・t-osawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日3限と4限

※それ以外の時間帯は必ずメールで予約をすること

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 線形代数ガイダンス

予習内容 : 講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容 : 講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第2回 行列とベクトル

予習内容 : 講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容 : 講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第3回 行列の演算

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第4回 行列と連立一次方程式

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第5回 行基本変形

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第6回 階段行列と掃き出し法

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第7回 行列の階数

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第8回 行列の基本変形を用いた連立一次方程式の解法

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第9回 単位行列と逆行列

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第10回 逆行列を用いた連立一次方程式の解法

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第11回 行列式とサラスの方法

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第12回 余因子行列

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第13回 余因子展開

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第14回 行列式の性質

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

第15回 クラームルの公式

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。(30分)

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。(30分)

定期試験

■ホームページ

科目名 :	線形代数学						
英文名 :	Linear Algebra						
担当者 :	宮下 尚之						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

線形代数学は、微分積分学とともに、問題を表現し、整理し、理解し、解決する時に利用できる重要な理論であり、理工学は言うに及ばず、経済学などの広範な分野でも用いられている。とりわけ、通信・システム・情報工学、制御工学、ロボット工学、シミュレーション工学、医工学、最近ではコンピュータを用いた生命科学などに関連する基礎分野では、線形代数学が必要不可欠な理論的基礎となっている。線形代数学には深淵な学術的な側面もあるが、本講義では将来、学生諸君の役に立つ「実学として使える線形代数」の「知識（概念）」と「技術」を教える。最初に行列の概念と基礎演算を学ぶ。前半は行列を用いた連立1次方程式の解法や、行列式、逆行列、など行列演算の基礎知識と技術を、後半は部分空間、一次独立・一次従属や線形変換、固有値と固有ベクトルなど線形代数学の線形空間に関する基本事項について講述する。講義は具体例を挙げながら進める。また、講義中に3-6名のチームを作って講義内で出す課題に取り組んでもらう（簡易アクティブラーニング）。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者はこの講義を履修し、正しく予習・復習することにより、

- 1) 線形代数の基礎知識である、ベクトル、行列、行列を用いた連立1次方程式の解法、行列式
- 2) 線形空間の基礎知識である、部分空間、一次独立・一次従属・基底・線形変換・固有値問題

の概念を理解し、その計算技術を身に付ける事ができます。

特に、線形代数の「有用性」と「概念」を理解するとともに、それらの基本的計算「技術」を修得する。具体的には、教科書に取り上げられている練習問題プラスα程度を確実に解く力を身につけることを目標とする。この概念と技術は次年度以降に続く学科の講義の基礎となるだけでなく、卒業研究や、卒業後、企業での研究開発における基礎的な必須知識となる。本講義はディプロマポリシー 2にある論理的思考の育成を目指します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%

講義中アクティブラーニングで実施する課題への取り組み 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

講義中アクティブラーニングで実施する課題に関して、講義中に解説もしくはUNIPAにて解答を配布する。

講義の最初に線形代数学に関するルーブリック表を全員に配布する。自分自身で表をチェックして到達度を確認しながら教科書の問題を解いて下さい。

■ 教科書

[ISBN]9784320016606 『やさしく学べる線形代数』(石村 園子, 共立出版 : 2000)

■ 参考文献

[ISBN]9784563002169 『入門線形代数』(三宅 敏恒, 培風館 : 1991)

[ISBN]9784339061093 『理工系 基礎数学演習』(山口公平ほか, コロナ社 : 2015)

■ 関連科目

基礎数学、数学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

宮下研究室 (東1号館2-217) miya@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金曜日・1限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

必要なサポート課題や回答を適宜、UNIPAにてpdfもしくはdocファイル形式で配布する。

基本的に教科書に基づいて実施するが、上級クラスであるので、教科書に無い重要な内容も一部教える。試験範囲は教科書全範囲となる。講義中のアクティブラーニングで演習を行うが時間的に足りないので、教科書の例題・問題・演習問題を講義で教えた方法でスラスラ解けるようになるまで行い、反復練習して下さい。第1回の講義やUNIPAに線形代数学のルーブリック表を掲載するので、それを使って自分の理解度チェックを行いながら、予習・復習を行って下さい。数学は暗記科目ではありません。手を動かして問題を解き、解き方を理解する事が非常に重要です。また、背景にある数学を理解できるところまで来ると完璧です。

予習内容：講義中の課題や教科書などを用いて実施すること

復習内容：講義中の課題や教科書・参考書などを用いて実施すること

第1回 ガイダンスと行列の基礎

予習内容：2次元ベクトルについての復習を十分にしておく。行列の基礎・行列の和差の予習（教科書p.7まで読む）、行列について調べてくる。

予習時間：120分

復習内容：行列の基礎・行列の和差についてノートや演習の復習をする、教科書p.7までの問題を解く。

復習時間：120分

プレゼンテーションと黒板を使って、行列の概念や目的に関する講義を行う。

第2回 行列の基本演算

予習内容：行列の積・ 2×2 行列の逆行列の予習（教科書p.17まで）

予習時間：120分

復習内容：行列の積・様々な行列についての復習を教科書や講義中の演習課題に沿って行う

復習時間：120分

行列の演算の基礎と、様々な行列の紹介を行う。

第3回 基本変形と連立1次方程式の解法

予習内容：行基本変形の予習（教科書p.25まで）

予習時間：120分

復習内容：行基本変形の復習を教科書や講義中の課題に沿って行う。

復習時間：120分

行基本変形の基礎を講義する。

第4回 行列の階数と連立1次方程式

予習内容：連立1次方程式の行列を使った解き方の予習（教科書p.39まで）

予習時間：120分

復習内容：連立1次方程式を行列を使って解く練習を教科書や講義中の課題に沿って行う

復習時間：120分

連立1次方程式の解と行列の回数について講義する。

第5回 掃き出し法による逆行列の求め方

予習内容：行基本変形を用いた逆行列の求め方（教科書p.44まで）

予習時間：120分

復習内容：掃き出し法を用いて逆行列を求める練習を教科書や講義中の課題に沿って行う

復習時間：120分

行基本変形を用いて逆行列を求めることができる。その方法の講義をする。

第6回 行列式の定義

予習内容：行列式の基礎知識（教科書p.47まで）

予習時間：120分

復習内容：行列式の定義を用いて値を求める練習を教科書や講義中の課題に沿って行う

復習時間：120分

行列式の基本的について講義する。行列式の定義からサラスの公式までを講義する。

第7回 行列式の性質と余因子展開

予習内容：余因子と余因子展開（教科書p.65まで）

予習時間：120分

復習内容：余因子と余因子展開で逆行列を求める練習を教科書や講義中の課題に沿って行う

復習時間：120分

行列式の7つの性質と余因子展開について講義する。

第8回 行列式を用いた逆行列の求め方、連立1次方程式の解法（クラメールの公式）

予習内容：余因子行列を用いた逆行列の求め方とクラメールの公式の予習（教科書p.74まで）

予習時間：120分

復習内容：余因子行列を用いた逆行列の求め方とクラメールの公式を使う練習を教科書や講義中の課題に沿って行う

復習時間：120分

余因子行列を用いた逆行列の求め方と、クラメールの公式について講義する。

第9回 空間ベクトル

予習内容：ベクトルの復習と内積の予習（教科書p.87まで）

予習時間：120分

復習内容：ベクトルと内積の復習を教科書や講義中の課題に沿って行う

復習時間：120分

ここでは多次元ベクトルのベクトル演算（内積など）についての講義を行う。

第10回 線形空間の定義

予習内容：線形空間の一次結合について予習しておく（教科書p.92まで）

予習時間：120分

復習内容：部分空間と一次結合についての復習を教科書や講義中の課題で行う

復習時間：120分

抽象的であるが線形空間に関する講義を行う。特に一次結合の理解を深める。

第11回 線形独立と線形従属

予習内容：一次独立・一次従属・基底について予習する（教科書p.120まで）

予習時間：120分

復習内容：一次独立・一次従属・基底について教科書や講義中課題で復習する

復習時間：120分

一次独立、一次従属の定義と空間的な意味合いについて講義する。

第12回 内積空間

予習内容：内積と外積の予習をする（教科書p.124まで）

予習時間：120分

復習内容：内積と外積の復習を教科書や講義中課題に沿って行う

復習時間：120分

内積空間と、内積と外積についての講義をする。

第13回 正規直交基底

予習内容：グラム・シュミットの直交化法の手順を予習する（教科書p.129まで）

予習時間：120分

復習内容：グラム・シュミットの直交化の練習を教科書や講義中課題に沿って行う

復習時間：120分

シュミットの正規直交化法についての講義を行う。

第14回 固有値と固有ベクトル

予習内容：固有値と固有ベクトルについての予習（教科書p.138まで）

予習時間：120分

復習内容：固有値と固有ベクトルの復習を教科書や講義中課題で行う

復習時間：120分

固有値と固有ベクトルの意味について講義を行う。

第15回 行列の対角化

予習内容：対角化の予習（教科書p.161まで）

予習時間：120分

復習内容：対角化の復習を教科書や講義中課題に沿って行う

復習時間：120分

幾つかの対角化法について講義する。

定期試験

教科書全範囲および講義ノートと講義中の課題に準ずる基礎問題と応用問題を出す。

試験範囲は1-15回全てを範囲とする。

■ホームページ

科目名 :	線形代数学						
英文名 :	Linear Algebra						
担当者 :	根本 充貴						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

線形代数学は、微積分学とともに、問題を表現し、整理し、理解し、解決するときに利用できる重要な理論であり、理工学は言うに及ばず、経済学等の広範な分野で用いられている。とりわけ、ライフサイエンス系の課題に取り組む、システム生命科学科、人間工学科、医用工学科では、システム・情報工学、制御工学、ロボット工学、シミュレーション工学、医工学などを関連基礎分野として位置づけており、これらを理解する上で線形代数学が必要不可欠な理論的基礎となっている。本講では、ベクトル、行列と行列式、連立1次方程式、固有値と固有ベクトル、行列の対角化などの線形代数学の基本事項について講述する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・ 行列の和、差、積の計算ができること。
- ・ 拡大係数行列の基本変形を用いて連立一次方程式を解くことができること。
- ・ 逆行列を用いて連立一次方程式を解くことができること。
- ・ クラームルの公式を用いて連立一次方程式を解くことができること。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テストおよび練習問題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の小テスト・練習問題に関し、適宜解説をします。

■ 教科書

[ISBN]9784320016606 『やさしく学べる線形代数』(石村 園子, 共立出版 : 2000)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

他の数学科目、専門科目全般

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

根本研究室(東1号館3階310)・nemoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜1~4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 線形代数ガイダンス

予習内容 : 教科書を閲覧し、線形代数のイメージをつかむ

予習時間 : 30分

復習内容 : 講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間 : 30分

第2回 行列の定義と演算

予習内容 : 教科書の講義内容部分を事前に関連する

予習時間 : 30分

復習内容 : 講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第3回 正方行列と逆行列

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第4回 連立一次方程式・行基本変形

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第5回 行列の階数と掃き出し法

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第6回 連立一次方程式の解

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第7回 逆行列

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第8回 行列式の定義

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第9回 行列式の展開

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第10回 行列式の性質

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第11回 逆行列の存在条件

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第12回 クラメールの公式

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第13回 ベクトル

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第14回 線形空間の定義

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

第15回 線形性・線形変換

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に閲覧する

予習時間：30分

復習内容：講義内に出題した練習問題、課題を解く

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	線形代数学						
英文名 :	Linear Algebra						
担当者 :	堤 裕之						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

線形代数学は、微分積分学とともに、問題を表現し、整理し、理解し、解決するときに利用できる重要な理論であり、理工学は言うに及ばず、経営学などの広範な分野でも用いられている。とりわけ、通信・システム・情報工学、ロボット工学、シミュレーション工学、医工学などに関連する基礎分野では、線形代数学は、その基礎理論を提供する重要な役割を果たしている。特に、行列、行列式、ベクトルは、コンピュータを利用した科学技術計算の理論と方法を理解する上での不可欠な知識である。本稿では、行列と行列式、ベクトル、連立一次方程式、固有値と固有ベクトルなどの線形代数学の基本事項について講述する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

線形代数学の基礎知識とその有用性を理解し、行列・行列式・ベクトルの具体的な計算技術を修得する。連立一次方程式、逆行列、行列式や固有値・固有ベクトルなどの学習を通じて、教科書に取り上げられている程度の問題が確実に解ける能力を身につけることを到達目標とする。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
 中間まとめレポート 10%
 期末まとめレポート 10%
 授業内レポート 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは指定教科書の問題の中から出題されます。教科書には略解が載せられていますが、特に注意が必要な問題については授業内で解説します。試験問題についても同様です。

■ 教科書

[ISBN]9784320016606 『やさしく学べる線形代数』(石村 園子, 共立出版 : 2000)

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

基礎数学、数学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) : tsutsumi@ouhs.ac.jp

備考 : 携帯メールからの質問は受け付けません。

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 行列

予習内容 : 教科書第1章第1節に目を通す。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書第1章第1節練習問題を解く。

復習時間 : 30分

第2回 連立1次方程式の掃き出しによる解法

予習内容：教科書第1章第2-1, 2-2, 2-3, 2-4節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第1章第2-1, 2-2, 2-3, 2-4節練習問題を解く。
復習時間：30分

第3回 逆行列の掃き出しによる導出

予習内容：教科書第1章第2-5節に目を通す。
復習内容：教科書第1章第2-5節練習問題を解く。

第4回 行列式

予習内容：教科書第1章第3-1節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第1章第3-1節練習問題を解く。
復習時間：30分

第5回 行列式の性質

予習内容：教科書第1章第3-2節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第1章第3-2節練習問題を解く。
復習時間：30分

第6回 ベクトルと内積

予習内容：教科書第2章第1-1, 1-2節に目を通す。
復習内容：教科書第2章第1-1, 1-2節練習問題を解く。

第7回 線形空間

予習内容：教科書第2章第2節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第2節練習問題を解く。
復習時間：30分

第8回 内積空間

予習内容：教科書第2章第3-1節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-1節練習問題を解く。
復習時間：30分

第9回 正規直交基底

予習内容：教科書第2章第3-2節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-2節練習問題を解く。
復習時間：30分

第10回 固有値と固有ベクトル

予習内容：教科書第2章第3-3節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-3節練習問題を解く。
復習時間：30分

第11回 対角化

予習内容：教科書第2章第3-4節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-4節練習問題を解く。
復習時間：30分

第12回 直交行列による対角化

予習内容：教科書第2章第3-4節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-4節練習問題を解く。
復習時間：30分

第13回 対角化・直交行列による対角化の実例

予習内容：教科書第2章第3-4節に目を通す。
復習内容：教科書第2章第3-4節練習問題を解く。

第14回 2次曲線の標準形

予習内容：教科書第2章第3-5節に目を通す。

予習時間：30分

復習内容：教科書第2章第3-5節練習問題を解く。

復習時間：30分

第15回 まとめ

予習内容：教科書全体に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：配布プリントの演習問題を解く。

復習時間：60分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	化学実験						
英文名 :	Chemistry Experiments						
担当者 :	藤澤 雅夫						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

化学の基礎的概念を実験によって習得させ、実験の進め方・結果のまとめ方、実験のマナーを体得させることを目的とする。まず、実験を始めるに当たっての心構え、安全指針から、使用する機器；器具類の正しい名称と操作法、および薬品類の安全な取り扱い方法などを体得させる。実験の記録のとり方、レポートの書き方等を学習することによって、実験に対する考察力を育成する。実験テーマとして、定性：定量分析、無機化合物の合成と精製、有機化合物の合成、物理化学実験を行う。また、理解を深めるために複数回の小テストを行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

基礎的実験テクニックだけではなく、講義では得られない問題解決能力や文献探索能力を育成する。

■ 成績評価方法および基準

実験レポート 70%

小テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート最終提出期限2週間後に、「レポートの要点」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

テーマごとにディレクションを配布する。

近畿大学編「安全要覧」

■ 参考文献

[ISBN]9784759808315 『化学のレポートと論文の書き方』（泉 美治, 化学同人：1999）

■ 関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤澤研究室（2号館5階504号室）・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日1限

必ず予め連絡を下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 安全教育（危険物質・有害物質の取り扱い）

予習内容：近畿大学編「安全要覧」を熟読すること。

予習時間：90分

復習内容：配布したディレクションを熟読すること。

復習時間：90分

第2回 実験器具、装置類の操作法

予習内容：配布したディレクションの実験器具、装置類の操作法の項目を熟読すること。

予習時間：90分

復習内容：ディレクションとビデオの内容を照らし合わせて、実例における取り扱い方を確認すること。

復習時間：90分

第3回 定性分析（金属イオンの反応）

予習内容：配布したディレクションの定性分析の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第4回 定量分析（中和滴定）

予習内容：配布したディレクションの中和滴定の項目を熟読すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第5回 定量分析（pHメーターと緩衝液）

予習内容：配布したディレクションのpHメーターの項目を熟読すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第6回 酸化還元滴定と化学的酸素要求量の測定

予習内容：配布したディレクションの酸化還元滴定の項目を熟読すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第7回 塩化ナトリウムの単結晶の作成

予習内容：配布したディレクションにおける塩化ナトリウムの単結晶作成の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第8回 ミョーバンの合成と精製

予習内容：配布したディレクションにおけるミョーバンの合成の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第9回 玉ねぎからのケルセチンの抽出と草木染

予習内容：配布したディレクションにおけるケルセチンの合成の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第10回 石けんの合成

予習内容：配布したディレクションにおける石けんの合成の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献を基にレポートを作成する。

復習時間：120分

第11回 香りエステル合成

予習内容：配布したディレクションにおける香りエステルの合成の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第12回 高分子化合物の合成（PMMA）

予習内容：配布したディレクションにおけるPMMAの合成の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第13回 6,6-ナイロンの合成

予習内容：配布したディレクションにおける6,6-ナイロンの合成の項目を予習すること。

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第14回 常圧蒸留

予習内容：配布したディレクションにおける常圧蒸留の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

第15回 紫外可視分光光度法と線形最小二乗法

予習内容：配布したディレクションの紫外可視分光光度法の項目を予習すること。

予習時間：90分

復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。

復習時間：120分

■ホームページ

科目名 :	化学実験						
英文名 :	Chemistry Experiments						
担当者 :	高木 良介						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

化学の基礎的概念を実験によって習得させ、実験の進め方、結果のまとめ方、実験のマナーを体得させることを目的とする。実験を始めるに当たっての心構え、安全指針から、使用する機器や器具類の正しい名称と操作法、および薬品類の安全な取り扱い方法などを体得させる。実験手法の指導や、実験の記録のとり方、レポートの書き方等を学習することで、実験に対する考察力を育成し、実験結果のまとめ方とレポート作成における留意点を理解させる。実験テーマとして、定性分析、定量分析、無機や有機化合物の合成と精製、物理化学実験を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

実験を通して一般化学ならびに生化学の基礎を理解する。実験方法の確認、実施、後処理、実験レポート作成といった一連の流れを身につける。

■ 成績評価方法および基準

毎回のレポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎回レポートを採点したうえで、レポートに改善点やコメント等を付して返却する。

■ 教科書

配布プリント

■ 参考文献

『安全要覧』（近畿大学編）
 [ISBN]9784121006240 『理科系の作文技術(中公新書(624))』（木下 是雄, 中央公論新社 : 1981）
 [ISBN]9784759808315 『化学のレポートと論文の書き方』（泉 美治, 化学同人 : 1999）

■ 関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

高木研究室（西1号館5階558）
 rtakagi@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日3限と水曜日3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回の予習と復習について
 予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題に解答しておくこと
 予習時間：30分
 復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する
 復習時間：150分

第1回 安全教育（危険物質・有害物質の取り扱い）

第2回 実験ノート・レポート指導

第3回 実験器具、装置類の操作法

第4回 物質量とアボガドロ数

第5回 合成繊維（ナイロン、レーヨンの合成）

第6回 セッケンの合成

第7回 中和滴定

第8回 酸化還元滴定と化学的酸素要求量（COD）の測定

第9回 ミヨウバンの合成

第10回 香り（エステル）の合成

第11回 蒸留によるアルコールの分離と精製

第12回 ショ糖の酵素反応物の定性分析

第13回 デュマ法による分子量の決定

第14回 化学発光

第15回 タンパク質の定性反応

■ ホームページ

科目名 :	化学実験						
英文名 :	Chemistry Experiments						
担当者 :	櫻井 一正						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

化学の基礎的概念を実験によって習得させ、実験の進め方、結果のまとめ方、実験のマナーを体得させることを目的とする。実験を始めるに当たっての心構え、安全指針から、使用する機器や器具類の正しい名称と操作法、および薬品類の安全な取り扱い方法などを体得させる。実験の記録のとり方、レポートの書き方等を指導し、実験結果のまとめ方とレポート作成における留意点を理解させる。実験テーマとして、定性分析、定量分析、無機や有機化合物の合成と精製、物理化学実験を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

化学の基礎知識を実験を通して習得する。そして、実験の計画、準備、実験の実施、後処理、データ整理、レポート作成といった一連の流れを学び、実験を自分の手で実施する技術、及び、自身の行った実験や考えを他人に伝達する技術を習得する。なお、毎回の実験内容やレポート作成における到達目標をルーブリックで示し、それをレポート採点基準としても用いる。

■ 成績評価方法および基準

毎回のレポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎回レポートをルーブリックを元に採点したうえで、その採点票とともにレポートに改善点やコメント等を付して返却する。

■ 教科書

配布プリント

■ 参考文献

『安全要覧』（近畿大学編）
 [ISBN]9784121006240 『理科系の作文技術(中公新書(624))』（木下 是雄, 中央公論新社 : 1981）
 [ISBN]9784759808315 『化学のレポートと論文の書き方』（泉 美治, 化学同人 : 1999）

■ 関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

櫻井 一正（高圧力蛋白質研究センター）・sakurai@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日3限か木曜日2限
 事前にEメールでアポイントをとってください

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 安全教育（危険物質・有害物質の取り扱い）

予習内容：入学時配布済みの安全要覧や有害物質処理指針を熟読し、内容を理解しておく

予習時間：30分

復習内容：授業でのコメントや配布資料を振り返り、化学実験を行う際留意すべき点をおさらいしておく

復習時間：30分

第2回 実験ノート・レポート作成法実験前指導

予習内容：配布資料を読み、ノートやレポート作成で留意すべき点を自分なりに考えておく

予習時間：30分

復習内容：授業でのコメントや配布資料を読み返し、今後のノートやレポート作成で留意すべき点をおさらいしておく

復習時間：30分

第3回 実験器具、装置類の操作法

予習内容：配布資料や高校教科書などを読み、化学実験で使う器具の種類とその使い方を予習しておく

予習時間：30分

復習内容：授業でのコメントや配布資料を振り返り、化学実験用の器具を扱う上で留意すべき点をおさらいしておく

復習時間：30分

第4回 アボガドロ数の決定

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第5回 ナイロン、レーヨンの合成

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第6回 セッケンの合成

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第7回 中和滴定

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第8回 酸化還元滴定と化学的酸素要求量の測定

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第9回 ミヨウバンの合成と単結晶の作製

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第10回 エステルの合成

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第11回 蒸留

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第12回 デュマ法による分子量の決定

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第13回 NMRによる定性分析

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第14回 ショ糖の酵素反応物の定性分析

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分

復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する

復習時間：150分

第15回 実験ノート・レポート作成法実験後指導

予習内容：これまでの実験ノートやレポートを読み返し、反省点を挙げておく

予習時間：30分

復習内容：授業でのコメントや配布資料を振り返り、今後のノートやレポート作成で留意すべき点をおさらいしておく

復習時間：30分

■ホームページ

科目名 :	物理学実験						
英文名 :	Physics experiment						
担当者 :	木村 裕一・久保田 均・村田 一夫・水谷 勝己・山口 勝己						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本実験では、各種の実験装置を用いて、力学・熱学・光学・電磁気学等の基本的物理量の測定を行うことを通して、基本的な物理法則やその測定のための実験方法を理解することを目的とする。また、科学レポートの書き方も学習する。

前半の5回では、基礎的な実験を一斉に実施することを通して、実験の基本的な方法、データの纏め方、レポートの書き方の基礎を学ぶ。後半の8回では、4班に分かれ、4つの実験を2週ずつ、順に実施する。尚、前期・後期で、講義内容は同一である。

全ての講義に出席し、全てのレポートを提出することが、単位取得の前提となる。

中学理科教員の資格取得のための科目だが、本講は、飽くまで基礎的な物理現象に対する実験講義である。従って、資格取得を目的としない学生の受講も可能である。

但し、実験機材の準備の都合上、受講の定員があることから、これを超過した場合には、抽選を行う。

従って、受講を希望する学生は、初回の講義に、必ず出席すること。講義は、10号館の、物理学・地学実験室で実施する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

物理学実験では様々な装置を用いて身近な自然現象を観測し、それを支配する物理法則を実験や測定により深く理解することを目標とする。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートに対して教員がコメントを書き込むことを通して、実験内容をフィードバックする。

■ 教科書

各テーマごとに指導書を配付する。

■ 参考文献

■ 関連科目

物理学I・II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

(代表) 木村研究室 (東1号館4階410)・ukimura@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限目

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 実験ガイダンス

予習内容：シラバスを読み、実験内容を把握する。

予習時間：30分

復習内容：実験の進め方等を把握する。

復習時間：30分

実験の内容や進め方について説明する。

第2回 測定値と有効数字、誤差などに関する実験(1/2)

予習内容：実験内容を把握する。

予習時間：30分

復習内容：レポートの作成。

復習時間：60分

物理学実験の基本的な技法を習得するために、長さを精密に測定するための機材である、ノギス及びマイクロメーターを用いた測定を行う。有効数字、レポートの書き方などを説明する。

第3回 測定値と有効数字、誤差などに関する実験(2/2)

予習内容：前回の実験内容及び結果の把握。

予習時間：30分

復習内容：レポートの作成。

復習時間：60分

実験を完了すると共に、レポートの書き方を指導する。レポート用紙や定規など、レポートを執筆するための用具一式を持参すること。

第4回 基礎電気回路（オシロスコープの使用方法・低域通過フィルタの特性）(1/3)

予習内容：実験内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：レポートの作成、及びレポートの修正。

復習時間：60分

電気現象を測定するための装置である、オシロスコープを用いて、様々な交流は径の測定や、リサージュ図形の測定を行うことを通して、より複雑な物理現象の測定技法を習得する。

第5回 基礎電気回路（オシロスコープの使用方法・低域通過フィルタの特性）(2/3)

予習内容：前回の実験結果の把握。

予習時間：30分

復習内容：レポートの作成と修正。

復習時間：60分

実験を継続し、今回で完了する。

第6回 基礎電気回路（オシロスコープの使用方法・低域通過フィルタの特性）(3/3)

予習内容：実験結果の把握。

予習時間：30分

復習内容：レポートの執筆と修正。

復習時間：60分

オシロスコープの実験に係るレポートの執筆を指導する。レポートを書くための用具一式を持参すること。

第7回 重力加速度の測定(1/2)

予習内容：実験内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：実験データの整理。レポートの修正。

復習時間：60分

振子の周期から、重力の強さを測定する実験を行う。

第8回 重力加速度の測定(2/2)

予習内容：実験結果の把握。

予習時間：30分

復習内容：レポートの執筆及び修正。

復習時間：120分

実験を完了すると共に、試問を実施する。

第9回 光学系の特性に関する実験（結像および回折）(1/2)

予習内容：実験内容の把握。

予習時間：30分

復習内容：実験結果を纏める。レポートの修正。

復習時間：120分

光学現象であり、結像及び回折現象を測定する。

第10回 光学系の特性に関する実験（結像および回折）(2/2)

予習内容：前回の実験結果の把握。

予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆及び修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第11回 電気抵抗に関する実験(1/2)

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験結果の把握。レポートの修正。
復習時間：120分
電気抵抗を、電流計や電圧計を用いて測定する。

第12回 電気抵抗に関する実験(2/2)

予習内容：前回の実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの修正。レポートの修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第13回 熱の仕事等量に関する実験(1/2)

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験結果を纏める。レポートの修正。
復習時間：120分
熱現象の基本物理量の一つである、熱の仕事当量を測定する。

第14回 熱の仕事等量に関する実験(2/2)

予習内容：前回の実験結果の把握。レポートの修正。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆。レポートの修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第15回 レポート指導

予習内容：レポートの執筆。レポートの修正。
予習時間：120分
復習内容：レポートの修正。
復習時間：120分
全てのレポートの提出を完了する。

■ホームページ

科目名 :	生命科学概論				
英文名 :	Introduction of Life Science				
担当者 :	加藤 博己				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

生命の多面的、総合的な探求を行い、生命科学全般についての導入的な内容を学修します。本講義では、特に生命の誕生から現在に至る生き物たちの歴史を紐解くとともに、現代社会が直面する様々な課題、すなわち絶滅危惧動物の保護管理や生態系の保全、人とウイルスの戦い、生殖補助医療の背景と課題、再生医療の展望、そして科学の発展により揺らぐ倫理観などについて学び、それにより生命科学がこれからの社会にどう役に立っていくのか、科学を享受する私たちはどのような姿勢を身に着けるべきかについて考えていきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は本授業を履修することで

- 1) 生命の成り立ちと人類が直面する課題、特に生殖補助医療における取り組みと課題について再考し、
- 2) 野生動物と人間活動の関わり合いを理解し、課題解決に向けた取り組みについて学び、
- 3) 科学が人類に何をもたらし、私たちがこれからどのように貢献していくのかについての理解を深める。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 30%

レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては、翌回の授業時間に提出された受講者の考えに対する分析結果を示し共有することで、受講者は多面的な思考を身につけます。

定期試験については、試験期間終了後「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

必要に応じてプリント等を配布する。

■ 参考文献

■ 関連科目

生物学 I、II

■ 授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

先端技術総合研究所教員控室 (2号館5階510) ・ kato@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日2限・金曜日2限

事前にメールにてアポイントを取ってください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生命とは何か 地球は巨大な実験室だ

予習内容：生物の定義と生物誕生の歴史について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：生物と無生物の境界線を考察すること。

復習時間：30分

第2回 生物として独立できなかつた小さなものたち

予習内容：ウイルス、原核生物、真核生物に関する基礎知識を予習すること。

予習時間：30分

復習内容：ミトコンドリアや葉緑体の出現過程に関する諸説の根拠を確認すること。

復習時間：30分

第3回 もう一つの生物 ミトコンドリア物語～母の力を生きるエネルギーに

予習内容：ミトコンドリアの構造と機能について基礎知識を予習すること。

予習時間：30分

復習内容：生物がミトコンドリアを獲得したことによる意義を考察すること。

復習時間：30分

第4回 人類の起源と進化－覆される定説－

予習内容：人類の起源について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：ミトコンドリアイブやアダムYの示す意味を理解すること。

復習時間：30分

第5回 「細胞死」 One for all, all for one

予習内容：アポトーシスとネクローシスについて基礎的理解をすること。

予習時間：30分

復習内容：アポトーシスのしくみを理解し、なぜアポトーシスが重要なのか確認すること。

復習時間：30分

第6回 人類対ウイルス 終わりのなき戦いを制するのはどちらか

予習内容：ウイルスの基本構造と生活環について基礎的理解をしておくこと。

予習時間：30分

復習内容：なぜ人類はウイルスを制することができないのか考察すること。

復習時間：30分

第7回 ヒトの性と生殖 卵子の道のり、精子の道のり（1）

予習内容：有性生殖と無性生殖について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：体細胞分裂と減数分裂のしくみの違いを確認すること。

復習時間：30分

第8回 ヒトの性と生殖 卵子の道のり、精子の道のり（2）

予習内容：配偶子と生殖器官形成の構造について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：配偶子形成と受精について理解すること。

復習時間：30分

第9回 生殖補助医療 いま日本で何が起きているのか（1）

予習内容：少子化の背景と少子化による社会的な課題について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：高齢妊娠におけるリスクを理解すること。

第10回 生殖補助医療 いま日本で何が起きているのか（2）

予習内容：生殖補助医療の現状について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：生殖補助医療を取りまく環境と課題について考察すること。

復習時間：30分

第11回 老化 時間にあがなうことはできるのか

予習内容：加齢卵子・加齢精子（卵子の老化、精子の老化）について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：配偶子の老化を防ぐためにどのような手段があるのか確認すること。

復習時間：30分

第12回 野生動物の保護と環境の保全 Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ

予習内容：日本国内の絶滅危惧動物について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：希少動物の保全に向けた取り組みについて理解すること。

復習時間：30分

第13回 野生動物の再生に挑む 最新の科学は絶滅に瀕する動物たちを救えるか

予習内容：クローン技術やiPS細胞について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：先端生命科学が環境保全に果たす役割について考察すること。

復習時間：30分

第14回 再生医療 我々のからだはどこまで作り変えられるのか

予習内容：iPS細胞の臨床応用に向けた取り組みについて予習すること。

予習時間：30分

復習内容：iPS細胞の臨床応用に向けた課題について確認すること。

復習時間：30分

第15回 生命倫理と研究倫理 今スタート地点に立つ君たちへ

予習内容：生命倫理・研究倫理に係る報道等の情報について調べておくこと。

予習時間：30分

復習内容：生命倫理・研究倫理に係る事例についてポイントを確認すること。

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	基礎食品化学				
英文名 :	Food Chemistry				
担当者 :	尼子 克己				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

人間は成長し、生命を維持するために食物を摂取しなければならない。食物は体内で生命活動のエネルギー源や、種々の活動の補助因子としてはたらく。また近年、生体に必須ではないものの生理的過程に作用する食品中の成分にも注目が集まっている。しかし、こうした人間の体を構成する物質も食糧も、すべては化学物質であり、その変化も化学理論に則って起こる。この講義では食品の構成成分、構造、性質、反応などについて化学・生化学的に解説し、それをもとに調理・加工によって起こる変化を理解する。また、いくつかの食品に関わるトピックスを紹介し、現代の食環境に対する興味と問題意識を育む。

■ 学習・教育目標及び到達目標

化学的知見をもとに、食品成分の性質、体内動態、機能が説明できるようになること。加工によって食品に起こる変化、保蔵の原理などを理解し、食品素材が安全で美味しい食品になる仕組みを説明できるようになること。自分の生活や仕事に役立てることのできる知識を修得すること。

■ 成績評価方法および基準

定期試験の成績 80%

講義に対する積極性・理解度（講義中、終了時等の簡易な質問等で評価） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

吉田勉 監修、早瀬文孝ら 編、臼井照幸ら 著「わかりやすい食品化学」三共出版（2008）(ISBN:4782705492)。適宜プリントを配布します。

■ 参考文献

藤本健四郎、金子憲太郎編「健康からみた基礎食品学(改訂二版)」アイケイコーポレーション(2007)(ISBN:4874921825)

川岸舜朗、中村良 編著「新しい食品化学」三共出版（2000）(ISBN: 4782704259)

■ 関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ、化学実験

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）または食品安全工学科東研究室・amakok@jindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 食品の機能、栄養素の分類、エネルギーの概念 水の役割

予習内容：教科書p.2-6をよく読んでおくこと。化学結合の種類と特徴について調べておくこと。「ヘスの法則」について初歩的なレベルで良いので調べておくこと。

予習時間：60分

復習内容：我々が口にする食品は生物由来であること、地球環境が生物の繁栄に深く関わっていることに立って、生物における水の役割を講義で触れた化学結合の観点から説明できるよう整理する。

復習時間：60分

食品の機能、栄養素の分類、エネルギーの概念 水の役割

食品の役割（一次機能、二次機能、三次機能）がいかなるものであるかを理解する。
食品を構成する成分（三大栄養素、五大栄養素）の分類とその意義を理解する。
食品を摂取することで得られるエネルギーが、化学反応におけるエネルギー生成と基本的に同じであることを理解する。
食品の主要成分であり様々な物質の溶媒である水の特徴を、主に化学結合の観点から理解する。

第2回 炭水化物 単糖類

予習内容：教科書第2章2-1-2「炭水化物」の(1)定義(2)単糖の(i)主な単糖、および2-2-2「味」の(2)甘味をよく読んでおくこと。「質量作用の法則」「ルシャトリエの原理」について初歩的なレベルで良いので調べておくこと。

予習時間：60分

復習内容：単糖にはなぜ多くの異性体が存在するのか、なぜ果物には冷やすと甘くなるものが多いのかを、単糖の化学構造と化学平衡に基づいて説明できるように整理する。

復習時間：60分

単糖類の構造、構造式の記述方法、鎖状構造と環状構造の化学平衡について説明する。

第3回 炭水化物 誘導糖

予習内容：教科書第2章2-1-2「炭水化物」の(2)単糖の(ii)単糖誘導糖をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義で説明した内容に基づいて実用された誘導糖のインパクト、例えばエリスリトールがなぜダイエット甘味料として広く販売されているのに清涼飲料水には使われなくなったのかについて説明できるように整理する。

復習時間：60分

種々の誘導糖の化学的構造と性質、摂取後の体内動態などについて説明する。「下痢と浸透圧」について初歩的なレベルで良いので調べておくこと。

第4回 炭水化物 二糖類

予習内容：教科書第2章2-1-2「炭水化物」の(3)オリゴ糖類、第3章3-6-3「食品成分に作用する酵素」の(1)糖質に作用する酵素をよく読んでおくこと。「乳糖不耐性」について初歩的なレベルでよいので調べておくこと。

予習時間：60分

復習内容：「果糖ぶどう糖液糖」はどのようにして作られ、このような記載がなされているのか、市販の砂糖（グラニュー糖、上白糖、ザラメ糖、三温糖など）の製法・用途の違いを化学的に説明できるように整理する。

復習時間：60分

代表的二糖の構造と還元性の有無、異性化糖と転化糖の製造法と特徴、食品成分表示のルールについて説明する。

第5回 炭水化物 多糖類

予習内容：教科書第2章2-1-2「炭水化物」の(4)多糖類をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：ご飯やモチが蒸す・炊くなどで柔らかくなり冷めると固くなる現象、冷凍食品の麺類が弾力を維持できるように行われる加工、ジャムやフルーチェが固まる仕組み、人工イクラの製造法等、授業で挙げた調理・食品加工の事例を化学的に説明できるように整理する。

復習時間：60分

多糖類の構造と特徴、用途、それらと物性（ゲル化など）の関係を化学構造に基づいて説明する。

第6回 脂肪酸・トリグリセリド

予習内容：教科書第2章2-1-3「脂質」をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：脂質の構造的特徴が食品の性質に与える影響、例えばチョコレートはなぜバターなどと違って固まり、パキッと割れて口の中においしさが広がるのかを化学的に説明できるように整理する。

復習時間：60分

脂質の定義・構造、脂肪酸の分類と必須脂肪酸、エマルジョンとその食品への利用について説明する。

第7回 コレステロール

予習内容：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：コレステロール代謝、特定保健用食品の関与成分がなぜその保健効果を発揮すると考えられるかを、実例を交えて説明できるように整理する。

復習時間：60分

コレステロールの構造と代謝、脂質代謝等にはたらく特定保健用食品の作用機序について説明する。

第8回 アミノ酸

予習内容：教科書第2章2-1-4「タンパク質」の(1)タンパク質とは (2)アミノ酸の構造と機能をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：アミノ酸の構造的特徴、食品におけるタンパク質の定量、いくつかのアミノ酸についてその作用が説明できるように整理する。

復習時間：60分

アミノ酸の構造・分類、味と機能について説明する。

第9回 タンパク質

予習内容：教科書第2章2-1-4「タンパク質」の(3)タンパク質の種類 (4)タンパク質の構造 をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：タンパク質の高次構造の変化（変性）がどのような化学的機序によっておこり、それが食品素材にどのような効果をもたらすのか について説明できるよう整理する。

復習時間：60分

タンパク質の構造、体内動態、タンパク質の変性と食品の関係について説明する。

第10回 食品における色

予習内容：教科書第2章2-2-1「色素」 をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：色素の色調変化、たとえば紫キャベツで焼きそばを作ると色がどのように変化するかといった現象を、化学における各種指示薬の構造変化と関連付けて説明できるよう整理する。

復習時間：60分

ヒトにおける色の認識、色が食品の機能に与える影響、色素の構造と色調変化、食品中に含まれる色素成分とその特徴について説明する。

第11回 食品における味と香り

予習内容：教科書第2章2-2-2「味」、2-2-3「香り」 をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：細胞における情報伝達の仕組みを踏まえて、味と香りがどのように認識されるか、また代表的な旨味成分とそれらの効果について、説明できるように整理する。

復習時間：60分

ヒトにおける味と香りの受容機構、味の相互作用、受容体の構造、代表的な食品の味・香り成分、辛味成分について説明する。

第12回 酸化と加熱変化

予習内容：教科書第3章3-1「酸化」、3-2「加熱変化」 をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義内で挙げた幾つかの食品について、酸化や加熱変化がどのように関わるかを説明できるよう整理する。例えば、「ポテトチップスはなぜアルミ蒸着した袋に入れて販売されるのか」「食品中のアクリルアミドはどのようにして生成するか」など。

復習時間：60分

食品の酸化、および加熱変化について説明する。

第13回 褐変反応

予習内容：教科書第3章3-7「褐変反応」 をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：褐変反応が食品に果たす役割、酵素的・非酵素的褐変を防ぐ方法をそれらの発生原理に基づいて説明できるよう整理する。

復習時間：60分

カラメル化反応、メイラード反応、ストレッカー分解など非酵素的褐変とそれに伴う反応、酵素的褐変にかかわる成分とそれらの食品における意義について説明する。

第14回 食品の貯蔵（1）

予習内容：教科書第4章4-1「原理」 4-2「物理的方法」 をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：食品の貯蔵方法名とその利用例を対応付けて説明できるよう整理する。

復習時間：60分

水分活性の定義と性質、食品の貯蔵方法、特に乾燥や凍結・加熱といった物理的手法について具体例を挙げて説明する。

第15回 食品の貯蔵（2）

予習内容：教科書第4章4-3「化学的方法」をよく読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：食品の貯蔵方法名とその利用例を対応付けて説明できるよう整理する。

復習時間：60分

食品の貯蔵方法、特に放射線やキュアリングなどの物理的方法と、塩蔵・糖蔵、CA貯蔵などの科学的方法について具体例を上げて説明する。

定期試験

講義で触れた内容全般について、適語補充と記述（説明）問題を組合せて出題する。

■ホームページ

科目名 :	知的財産権						
英文名 :	Intellectual Property						
担当者 :	尾崎 嘉彦						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

激化する国際競争の中で、我が国は「知的財産立国」を国家戦略として掲げています。これは科学技術により創造した「知」を知的財産権として保護、活用することにより経済、社会を活性化すると共に世界をリードしようとする考え方に基づいています。本講では生物科学系の学生を対象に、将来、産業界の一員として、知的財産立国を支えていく上で必要となる知的財産権に関する法律、制度、出願事務と運用等の基礎的な知識を習得し、知的財産特有の思考法・判断力を涵養すること、さらに遺伝子やタンパク質あるいは栽培作物の品種や医薬品等の生物科学系産業技術特有の知的財産権の問題について理解を深めることを目的に、学部基礎科目として開講しています。知的財産権の中でも、特に特許について、事例を示しながら出願から登録までの流れ、権利の運用等についても学びます。さらに、育成者権など特許以外の知的財産権を概観し、生物系産業における知的財産権の現状について理解を深めます。なお、本講義では企業などでの具体的な研究開発のプロセスを取り上げて議論を行うため、具体的な研究の手順をある程度理解していた方がより理解が深まると期待されます。このため、2年次配当ですが、研究室に配属された3年次以降に受講する方がより学修効果が高まることが期待されます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者はこの授業を履修することにより、生物科学系産業技術特有の知的財産権の諸問題について理解を深めるとともに、知的財産関連の制度、法律、出願事務等の基礎的な知識を習得し、知的財産権を活用する基礎的な能力と知的財産権を尊重する遵法精神を身につけます。この科目は所属する学科により関連するディプロマポリシーが異なりますので、自分の所属する学科のカリキュラム体系図等を参照してください。例えば、食品安全工学科の場合はDP2に関連します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト（1回） 20%
レポート（A4レポート用紙3枚程度） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

いずれの課題、試験も要点の解説を行います。
小テストとレポートについては講義時間内に行います。定期試験については試験終了後ユニバーサルパスポートに掲示します。

■ 教科書

[ISBN]9784827112153 『産業財産権標準テキスト 特許編 第8版』（発明推進協会：2013）
その他予習復習用の資料として、講義スライドのハンドアウトを配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784798044514 『技術者・研究者のための特許の知識と実務 第2版』（高橋 政治, 秀和システム：2015）
[ISBN]9784061531529 『できる技術者・研究者のための特許入門 元特許庁審査官の実践講座 (KS科学一般書)』（淵 真悟, 講談社：2014）

■ 関連科目

現代社会と法、科学技術と人間・社会

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

尾崎研究室(西1号館1階153)・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金曜3限
その他、随時（事前にメールにてアポイントをとってください。）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 知的財産権の概観

予習内容：教科書p1-20に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：知的財産の概念と権利として保護することの意義、例示された6種類の知的財産権について保護される対象や期間、根拠となる法律などについて整理しておくこと。

復習時間：60分

第2回 発明と特許

予習内容：教科書p41-59に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、特許制度成立の背景とその理念および

現在の我が国の特許制度における「特許法上の発明」について整理すること。

復習時間：120分

第3回 特許になるための条件

予習内容：教科書p60-80に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、特許における「新規性」および「進歩性」の概念について理解を深め、自らの言葉で説明できるよう整理しておくこと。

復習時間：90分

第4回 特許情報の形態と意義

予習内容：教科書p89-97に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：公開特許公報にどのような項目があり、それぞれにどのような内容が記載されているのか、配付資料を参照し確認する。

復習時間：60分

第5回 特許情報の調査の手法（特許情報プラットフォーム『J-PlatPat』の検索方法）

予習内容：J-plat-patに接続し、メニュー構成などをあらかじめ確認しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：実際に自らJ-plat-patを操作し、講義時間内に与えられたテーマに沿って特許情報の検索を行うこと。

復習時間：120分

第6回 特許の出願から登録まで(1) 開発内容を特許化する場合の留意点

予習内容：教科書p121-139に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、特許出願前の準備として行われることがらを整理しておくこと。

復習時間：60分

第7回 特許の出願から登録まで(2) 特許出願事務の実際

予習内容：教科書p141-156に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、特許の出願から登録に至る事務手続きの流れを整理しておくこと。

復習時間：60分

第8回 特許の出願から登録まで(3) 特許の審査と登録

予習内容：事前に配付する実際の特許出願例における拒絶理由通知書に目を通しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義で紹介した実体審査の事例について、拒絶理由通知書での指摘内容と先行特許の内容を対比し整理しておくこと。

復習時間：120分

第9回 特許の出願から登録まで(4) 特許の出願人と発明者

予習内容：教科書p81-86に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、職務発明制度および国内優先権制度について概要を整理しておくこと。

復習時間：90分

第10回 知的財産権に関する国際的枠組み

予習内容：教科書p163-181に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、パリ条約の理念と同盟国で適用される原則および国際出願におけるパリルートとPCTの相違点について整理しておくこと。

復習時間：90分

第11回 特許の効力と侵害への対応

予習内容：教科書p157-159に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、取り上げた事例について特許法69条に規定される「試験又は研究のためにする特許発明の実施」にあたるかどうかの考え方を整理しておくこと。

復習時間：90分

第12回 技術移転と知的財産戦略

予習内容：教科書p160-161に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、取り上げた事例について、知的財産の活用の類型ごとに整理しておくこと。

復習時間：90分

第13回 特許以外の知的財産権(1) 商標権

予習内容：教科書p193-195に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、商標権のあらましおよび、地域団体商標制度と地理的表示保護制度の相違点について整理しておくこと。

復習時間：90分

第14回 特許以外の知的財産権(2) 育成者権

予習内容：事前に配付する資料に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、育成権制度のあらまし、および育成者権と商標権を組み合わせた最近の農産物のブランド戦略について、整理しておくこと。

第15回 知的財産権をめぐる国内外の動き

予習内容：これまでの配付資料及び講義ノート、教科書を熟読し、疑問点などを抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義で取り上げたトピックスについて、再度の配付資料及び講義ノートを見直し、問題点の整理を行うこと。

復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	Webデザイン						
英文名 :	Design practice for World Wide Web page						
担当者 :	吉田 久						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

様々な情報の発信、交換、活用にインターネットは不可欠である。近畿大学ではe-learningシステムを利用した教育、主に研究のための電子ジャーナル検索ポータルあるいは学生生活を快適にする各種情報のWebによる提供などにインターネットを活用している。このような情報がどのように作成され発信されているのかを知ることは、情報を発信する者に限らず、情報を利用する者にとっても重要である。本学に学ぶ学生は、在学中にも社会人となってもその両方の立場に立つことになる。本講では、情報の整理と発信のためのビジュアルデザインについて実習によってその手法を知り、意味を考える。Web制作に必要なソフトウェアと独特の手法について、ソフトの実際操作、情報の発信シミュレーションといった実習を通して体得する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

情報を如何に整理し、如何にわかりやすく発信するかについては、多様な方法論が存在する。そのなかで、もっとも汎用性が高いソフトウェアの基本操作と機能を知り、オーソドックスな方法を学びつつ、将来の研究発表や成果報告に必要な技術とセンスを会得する。同時に、わかりやすい情報のデザインテクニックとグローバルに公表する技術の基礎も会得する。

■ 成績評価方法および基準

課題の提出状況と内容 90%
プレゼンテーション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

中間試験は事後対応が発生することを考慮し、試験解答は掲示しません。
プレゼンテーションのみ、総評を授業内でアナウンスします。

■ 教科書

プリント、パワーポイントによる講義

■ 参考文献

[ISBN]9784797354430 『Webデザインの基本ルール-プロに学ぶ、一生枯れない永久不滅テクニック (Design Lab+ 1-3)』
(デザインラボ編集部, ソフトバンククリエイティブ : 2009)
「情報リテラシー」制作 : N T Tラーニングシステムズ

■ 関連科目

学科専門科目として開講される 情報リテラシー、情報処理基礎 およびそれらに対応する科目。
<事務部注⇒26年度より基礎情報計の科目は各学科とも共通教養科目「情報処理基礎Ⅰ・Ⅱ」として統合されます。>

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254 (講師控室)

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション・ファイル管理

予習内容 : 「大文字・小文字・記号」がスムーズに入力できるように予習を行っておくこと。

予習時間 : 30分

復習内容 : ファイル管理について復習を行うこと。

復習時間 : 30分

- ◆授業概要：授業日程・成績評価・出欠・授業目標について
- ◆共有ディレクトリの確認
- ◆ファイル管理：保存・コピー・移動・削除
- ◆HTMLでのWebページ作成体験

第2回 情報倫理

予習内容：「◆レッスンブック»情報倫理.xlsm」を一読しておくこと。

※「◆レッスンブック»情報倫理.xlsm」は第1回授業で配布しています。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を反復すること。

復習時間：30分

- ◆ICTにおける情報倫理：情報セキュリティの必要性・防御知識の習得
- ◆著作権：引用と違法ダウンロード刑事罰化
- ◆情報化社会の現状と対策：人的脅威と情報の価値
- ◆情報化社会の現状と対策：技術的脅威の被害と対策
- ◆セキュリティ対策：マルウェア・不正アクセス・標的型攻撃と拡張子
- ◆インターネットの仕組み
- ◆スマートフォンのセキュリティ対策

第3回 PowerPoint①

予習内容：「◆レッスンブック»PowerPoint.xlsm：Leeson1」を一読しておくこと。

※「◆レッスンブック»PowerPoint.xlsm」は第1回授業で配布しています。

予習時間：30分

復習内容：「◆レッスンブック»PowerPoint.xlsm：練習問題A」を実施すること。

復習時間：60分

- ◆Power Pointの概要・画面構成
- ◆基本操作：文字入力・編集・テーマ
- ◆オブジェクトの挿入と編集：画像・SmartArt・表

第4回 PowerPoint②

予習内容：「◆レッスンブック»PowerPoint.xlsm：Leeson2」を一読しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：「◆レッスンブック»PowerPoint.xlsm：練習問題B」を実施すること。

復習時間：60分

- ◆オブジェクトの挿入と編集：表・図形
- ◆ハイパーリンクの挿入
- ◆共通デザインの利用：スライドマスター・ヘッダーとフッター
- ◆印刷のレイアウト

第5回 PowerPoint③

予習内容：「◆レッスンブック»PowerPoint.xlsm：Leeson3」を一読しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：「◆レッスンブック»PowerPoint.xlsm：練習問題C」を実施すること。

復習時間：60分

- ◆オブジェクトの挿入と編集：グラフ
- ◆アニメーション効果：画面切り替え・アニメーション
- ◆プレゼンテーション作成手順とプレゼンター留意事項について

第6回 中間課題①

予習内容：「プレゼンテーション作成シート.docx」を完成させておくこと。

予習時間：60分

復習内容：課題作成を進めること。

復習時間：90分

- ◆プレゼンテーション作成

第7回 中間課題②

予習内容：「プレゼンテーション評価シート.xlsm」を一読しておくこと。

予習時間：5分

復習内容：なし

- ◆課題提出・発表

第8回 Webデザイン①

予習内容：第1回の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を反復すること。

復習時間：60分

◆インターネットのしくみ・Webページのしくみ

◆Webページ作成 実習①：HTML（基本タグ）

第9回 Webデザイン②

予習内容：第8回の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を反復すること。

復習時間：60分

◆Webページ作成 実習②：HTML（リンク・画像・リスト）

第10回 Webデザイン③

予習内容：第9回の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を反復すること。

復習時間：60分

◆Webページ作成 実習③：HTML/CSS

第11回 Webデザイン④

予習内容：なし

復習内容：授業内容を反復すること。

復習時間：30分

◆Webデザインの考え方

◆ユニバーサルデザイン・Webユーザビリティ・Webアクセシビリティ・W3C

第12回 Webデザイン⑤

予習内容：なし

復習内容：授業内容を反復すること。

復習時間：30分

◆Webデザイン 実習①：情報をデザインする

第13回 Webデザイン⑥

予習内容：中間課題のプレゼンテーションファイルを見直しておくこと。

予習時間：30分

復習内容：課題作成を進めること。

復習時間：90分

◆Webデザイン 実習②：期末課題作成

第14回 Webデザイン⑦

予習内容：なし

復習内容：課題作成を進めること。

復習時間：90分

◆Webデザイン 実習③：期末課題作成

第15回 期末課題・知識テスト

予習内容：第8回～第12回の授業内実習を反復し、知識テストの予習を行っておくこと。

予習時間：90分

復習内容：なし

◆第8回～第12回を範囲とする択一式のテストを行う。（ノートの参照可）

◆期末課題の提出

■ホームページ

科目名 :	バイオテクノロジー技術論				
英文名 :	Guidance for Experience to Biotechnology				
担当者 :	瀧川 義浩				
開講学科 :	学部基礎科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	基礎科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

近年、農業、医薬ならびに食品といった様々な分野で活用されているバイオテクノロジーの役割は大きい。本講義では、それらを理解するために必要な植物バイオテクノロジーの知識、技術ならびに植物病害防除技術の内容を説明する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

植物バイオテクノロジーに必要な初歩的な植物組織培養技術、遺伝子工学技術などの関連基礎知識を養う。また、植物に病害を引き起こす微生物、害虫の存在やそれらからの防除方法についての基本的な知識も修得する。本講義終了後の期末試験に合格すれば2単位を習得する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験終了後（試験期間終了後）に生物生産工学研究室（5 1 2 号室実験室）前にて試験の要点等を掲示します。

■ 教科書

特に指定しないが、関連の参考文献もしくはそれ以外の文献を調査して予習復習することが望ましい。

■ 参考文献

ISBN9784782103333 高山真策「植物バイオテクノロジー」幸書房
 ISBN9784540042324 大沢勝次「植物バイオテクの基礎知識」農文協
 その他、必要であれば適宜授業時に紹介をします。

■ 関連科目

遺伝子工学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準じます。

■ 研究室・メールアドレス

生物生産工学実験室（東1号館 5階512号実験室）

■ オフィスアワー

土曜日 4 時限目 事前にメールにてアポイントを取ってください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本講義は、(1)バイオテクノロジーの体系と原理、(2)バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法、(3)植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類、(4)植物組織培養技術、(5)バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要、(6)植物病害防除技術、の6つの内容に分けられている。それぞれ(1)から(6)の講義内容についてはそれぞれが連続した内容を複数回に分けたものとなっている。本講義で紹介する内容の(1)ではバイオテクノロジーの語源や歴史などについて幅広い講義を2回に分けて連続的に行う。(2)についてはバイオテクノロジーの実験に必要な実験室の設備、機器類を紹介し、さらに植物バイオテクノロジーの実施に必要な培地の組成やその作製方法について連続した内容で2回に分けて講義を実施する。(3)については植物組織培養を実施するにあたり、植物がもつ基本的な再生経路やそれに関連する植物ホルモンについて基礎的な内容の講義を連続した内容で3回に分けて講義を実施する。(4)については実際の研究例を紹介しながら植物組織培養技術について連続的な内容を3回に分けて講義を実施する。(5)についてはバイオ技術に必要な非常に初歩的な遺伝子工学技術の概要（遺伝子組換え植物作製方法についても）について連続的な内容で3回にわけて講義を実施する。最後に(6)であるが、農業作物を安定的に生産するうえで重要なことに病虫害管理が挙げられる。その病虫害の防除方法について種々のバイオ技術や物理的技術を利用した方法に関する講義を2回に分けて連続的な講義を実施する。

第1回 バイオテクノロジーの体系と原理（1）

予習内容：バイオテクノロジー（バイオ）の語源や歴史について事前に調査することが望ましい。また、バイオテクノロジーの良い点、悪い点について自分の考えをまとめておくこと。初回の講義でそれを記述をしてもらいます。

予習時間：120分

復習内容：講義内容を参考にして復習ノートを作製すること。

復習時間：60分

第2回 バイオテクノロジーの体系と原理（2）

予習内容：バイオテクノロジーが使用されている研究にはどのようなものが該当するのかを事前に調査することが望ましい。

予習時間：120分

復習内容：講義ノートを読み返し復習ノートを作製すること。

復習時間：60分

第3回 バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法（1）

予習内容：バイオ実験に必要な実験室の設備などを関連文献を参考にしながら知識を入れておく事。

予習時間：60分

復習内容：講義ノートの読み返しや参考文献を読んでおくこと。

復習時間：60分

第4回 バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法（2）

予習内容：バイオ実験に必要な培地の種類や作製方法などを理解すること。今後の基礎実験や研究で必要となる。

予習時間：90分

復習内容：講義ノートの読み返しや参考文献を読んで情報の整理をしておくこと。また、ここまでの復習ノートを作製すること。

復習時間：120分

第5回 植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（1）

予習内容：基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについて事前に勉強しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：講義ノートをよく読み返し、知識の整理をしておくこと。

復習時間：60分

第6回 植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（2）

予習内容：(1)からの続きになるので、基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについて勉強しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：講義ノートをよく読み返し、知識の整理をしておくこと。

復習時間：60分

第7回 植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（3）

予習内容：(2)からの続きになるので、基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについて事前に勉強しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：第5～7回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。

復習時間：180分

第8回 植物組織培養技術（1）

予習内容：第5～7回の講義内容（植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類）が重要なポイントになるので事前にそれらを復習しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。

復習時間：60分

第9回 植物組織培養技術（2）

予習内容：植物組織培養技術を用いた研究について事前に情報を入れておくこと。できれば日本語の植物組織培養の文献を読み、実験方法を予習しておくことが望ましい。

予習時間：180分

復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。

復習時間：60分

第10回 植物組織培養技術（3）

予習内容：第8～9回の講義内容をもとに植物組織培養技術を用いた研究についてさらに詳しい情報を入れておくこと。できれば日本語の植物組織培養の文献を読んでおくこと。

予習時間：120分

復習内容：第8～10回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。

復習時間：120分

第11回 バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（1）

予習内容：高校の教科書に記載されている遺伝子工学の知識について復習しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。

復習時間：60分

第12回 バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（2）

予習内容：組換え植物を作製するための方法について予め知識を入れておく事。

予習時間：120分

復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。特に、組換え植物作製方法の原理に要点を絞る事が望ましい。

復習時間：60分

第13回 バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（3）

予習内容：組換え植物を作製するための方法について予め知識を入れておく事。

予習時間：120分

復習内容：第11～13回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。

復習時間：120分

第14回 植物病害防除技術（1）

予習内容：植物に病害を引き起こす微生物、害虫および植物病害防除の方法について予め知識を入れておく事。

予習時間：120分

復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。

復習時間：60分

第15回 植物病害防除技術（2）

予習内容：生物学的および物理的な植物病害防除の方法について予め知識を入れておく事。

予習時間：120分

復習内容：第14～15回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。また、定期試験にあたって、到達目標の達成状況を参照しつつ講義内容全体を復習し、定期試験対策のための復習ノートを作製すること。

復習時間：180分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	ロボットメカニクス技術論						
英文名 :	Guidance for Experience to Robot Mechanics						
担当者 :	渡辺 俊明						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本講義では、全学部生を対象にロボット技術の概要を平易に解説する。ロボットメカニズムを中心に、センサー技術や制御技術も含めたロボット全体の仕組みと原理を理解・把握することを目的とする。

本講義を履修した学生（希望者）を対象に、夏季休暇を利用して「ロボット夏季宿泊実習」を実施し、ロボットメカニズム、センサー、制御回路、制御ソフトの製作を体験学習することができる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

ロボットは、機構、センサー、自動制御、制御回路、制御ソフトなど総合的な工学・技術を必要とするものであり、その工学・技術は様々な産業機械や家電機器にも使用されている。受講者は、この授業を履修することにより、産業用ロボットを題材としてこれらの工学・技術の概要を把握し、幅広い分野の学生が「自動的に動く機械の仕組み」を理解でき、高学年で本格的なロボット工学の履修を目指している学生が「工学の重要性」と「技術の面白さ」を理解できる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%

授業中課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

小試験や課題レポートを、講義時間中に説明によりFBする

■ 教科書

井上利勲・土井誠「ロボットメカニクス技術論」改訂第2版 (株)貴志

■ 参考文献

[ISBN]9784627913820 『ロボット工学の基礎(第2版)』(川崎 晴久, 森北出版: 2012)

[ISBN]9784627944220 『メカトロニクス入門 (第2版)』(土谷 武士, 森北出版: 2004)

■ 関連科目

ロボット制御技術論

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階254)と東1号館1階106室 FAセンター

watanabe@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ロボット工学・技術の歴史・定義・概要

復習内容: ノートの整理

復習時間: 60分

第2回 ロボットの骨格と自由度

予習内容: 教科書に目を通しておく

予習時間: 60分

復習内容: ノートの整理

復習時間：60分

第3回 ロボットの自由度と分類

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第4回 リンク機構とロボットの関節の概要

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第5回 ロボットの関節とその構造

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第6回 ロボットの駆動源とモータ

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第7回 力の変換と減速機

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第8回 回転/直動変換、関節の構成

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第9回 ロボット感覚機能と関節角度センサーの構造

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第10回 力覚センサ

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第11回 視覚認識と信号伝達

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第12回 ロボットコントローラの働きと数値制御

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：ノートの整理

復習時間：60分

第13回 サーボ機構とデジタル回路

予習内容：教科書に目を通しておく

予習時間：60分
復習内容：ノートの整理
復習時間：60分

第14回 ロボット軌道生成と運動学

予習内容：教科書に目を通しておく
予習時間：60分
復習内容：ノートの整理
復習時間：60分

第15回 ロボットへの命令・ロボット言語

予習内容：教科書に目を通しておく
予習時間：60分
復習内容：ノートの整理
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	ロボット制御技術論						
英文名 :	Guidance for Experience of Robot Controls						
担当者 :	久保田 均						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

ロボットの初めて学習する受講者を対象にして、ロボット制御・プログラミング・画像処理技術を解りやすく解説する。また、最近話題の機械学習（深層学習）の題材を紹介する。

[授業概要]

- ①ロボットの制御方法の基礎的解説。
- ②ロボットプログラミングの基礎的解説。
- ③画像処理技術の基礎的解説。
- ④機械学習（深層学習）の紹介。

[授業方法]

- ①できる限り演習を主体にし、自ら考え、学ぶようにする。
- ②題材として、紙ロボットの製作、ライントレーサを使ったプログラムづくりを学ぶ。
- ③画像処理、機械学習に関しては、最近話題の題材等を紹介する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義を通じて、ロボットの制御技術・ロボットプログラミング、画像処理の基礎が理解できると共に、マイコンを利用した機器の仕組みが理解できる。また、最近話題の機械学習（深層学習）についても興味をもてるようになる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
授業中の演習、レポート等 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

講義中、重要な事柄はその都度いいます。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

なし。

■ 関連科目

ロボットメカニクス技術論

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・kubota@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業前後の休憩時間。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ロボットの歴史と現状

復習内容：教科書の復習。

復習時間：15分

第2回 紙ロボット製作によるロボットの動かし方（PTP制御）

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第3回 紙ロボット製作によるロボットの動かし方（CP制御）

復習内容：教科書の復習とレポート作成

復習時間：30分

第4回 シミュレーションによるサーボコントロールの基礎

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第5回 シミュレーションによるサーボコントロールの基礎

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第6回 シミュレーションによるサーボコントロールの基礎

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第7回 ロボットプログラミング

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第8回 ロボットプログラミング

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第9回 ロボットプログラミング

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第10回 モータと制御回路

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第11回 モータと制御回路

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第12回 画像処理

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第13回 画像処理

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第14回 機械学習

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

第15回 機械学習

復習内容：教科書の復習

復習時間：30分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	自主演習						
英文名 :	Autonomous seminar for the biology-oriented science and technology						
担当者 :	生物理工学部全教員						
開講学科 :	学部基礎科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	通年	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

自主演習は、学生が生物理工学部の教育・研究理念に沿った課題を自主的に提案し、その解決に向けて大学生としての主体性を持った創造的な活動を、単独またはグループで行う演習科目です。自主演習は2年生以上の学生が履修でき、個人または数人のグループが指導教員のもとで行います。履修に先立って、履修希望者は自主演習計画書を大学に提出する必要がある、その内容等をもとに最も適任と思われる指導教員が選任されます。履修希望者は指導教員との間で課題の妥当性や解決に向けた活動計画を練り上げ、綿密な打ち合わせのもとに演習を遂行していきます。なお、演習課題は生物理工学と関連をもったものであればよく、他の授業等に差し障りがなければBOST工房にある作業台、工具等のほか、キャンパス内の設備を利用することができます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

学生個人または小規模なグループで、自らが課題を設け、解決に向けた計画を立てる。
自ら立案した遂行計画を成し遂げることができる。
個人、グループにかかわらずコミュニケーション力、交渉力の必要性を経験的に理解する。

■ 成績評価方法および基準

プレゼンテーション 25%
目的の達成度・最終報告書 35%
設定課題に対する計画書・調査等報告書 15%
取り組みとして演習日誌への記録の充実度 25%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を示し、その評価を学生へフィードバックする

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

指定しない

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

（代表）吉田研究室（東1号館4階418）・yoshida@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

本演習指導教員のオフィスアワー

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本授業は前もって提出された計画書に基づき、その達成に至る手順を指導教員と綿密に打ち合わせてから作業に取り組む必要があります。演習の授業回数に決まりはありませんが、延べ30時間以上の演習と15時間以上の授業時間外学習が必要です。

■ ホームページ

科目名 :	教職論						
英文名 :	The Study of Teaching Profession						
担当者 :	小田 義隆						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

教職課程全体の入門として配置される科目であり、教職に就くとはどういうことか、教職の全体像をつかみながら学校教育の専門家になるために必要な資質・能力を講義する。現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- (1) 教職の意義について、①公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。②進路選択に向け、他の職業との比較を通して教職の職業的特徴を理解している。
- (2) 教員の役割について、①教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。②今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。
- (3) 教員の職務内容について、①幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解している。②教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。③教員に課せられる服務上及び身分上の義務及び身分保障を理解している。
- (4) チーム学校への対応、校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
提出物 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に、試験の要点と解説する。

■ 教科書

[ISBN]9784623058358 『現代教育制度論 第四刷』 (土屋 基規, ミネルヴァ書房 : 2015)

■ 参考文献

[ISBN]9784762015236 『現代教職論』 (土屋 基規, 学文社 : 2006)
[ISBN]9784865607000 『「チーム学校」まるわかりガイドブック』 (加藤崇英, 教育開発研究所:2016)

■ 関連科目

教職科目全般

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

小田研究室 (2号館5階509) ・ oda@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 4 限
事前にメールにてアポイントをとること。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 教職の意義

予習内容 : 学校体験を振り返り教師の意義や必要性を考える。
予習時間 : 30分

復習内容：教職の意義をレポートにまとめる。

復習時間：30分

第2回 教師の歴史と教師像の変遷

予習内容：教師という職業の成り立ちを調べる。

予習時間：30分

復習内容：師範型教師などの教師像の変遷をまとめる。

復習時間：30分

第3回 教員養成の制度と思想

予習内容：教師を養成する意義を考えまとめる。

予習時間：30分

復習内容：教員養成制度の変遷をまとめる。

復習時間：30分

第4回 教師の免許制度

予習内容：教師の免許状制度の概要をまとめる。

予習時間：30分

復習内容：教師が免許状を持つ意義、免許状の種類、免許制度の変遷をまとめる。

復習時間：30分

第5回 教師の採用制度

予習内容：自分が教員採用選考試験受験予定の自治体の教員採用選考試験受験要項をみる。

予習時間：30分

復習内容：教師の採用制度における選考の意義および制度の問題点をまとめる。

復習時間：30分

第6回 教師の資質向上と研修制度

予習内容：一般公務員と教育公務員の研修について調べる。

予習時間：30分

復習内容：一般公務員と教育公務員の研修の違い及び、教師の資質向上策について考えをまとめる

復習時間：30分

第7回 教師と教育法規（服務、身分保障を中心に）

予習内容：教師に与えられた権利と、教師が守らなければならない義務を考える

予習時間：30分

復習内容：地方公務員としての教師と教育公務員としての教師の服務についてまとめる。

復習時間：30分

第8回 教師の職務①（学校の組織と学校運営）

予習内容：学校の組織について調べてまとめる

予習時間：30分

復習内容：教師の職階とその内容についてまとめる。

復習時間：30分

第9回 教師の職務②（教育課程編成・学習指導）

予習内容：生徒体験において感じた教師と教科内容の関係についてまとめる。

予習時間：30分

復習内容：教師と教育内容との関係を考えまとめる。

復習時間：30分

第10回 教師の職務③（教育相談および学級経営）

予習内容：教師は学級経営に学校教育相談を活かすべきか考える。

予習時間：30分

復習内容：学級経営と教職員法制の関係をまとめる。

復習時間：30分

第11回 教師と保護者・地域社会との連携

予習内容：地域・保護者と教師の関係を実生活から考える。

予習時間：30分

復習内容：PTAの制度、地域と学校の連携の実態等をまとめる。

復習時間：30分

第12回 チーム学校と教師の職務

予習内容：チーム学校とは何かを調べる。

予習時間：30分

復習内容：チーム学校が期待する学校と社会の在り方をまとめる。

復習時間：30分

第13回 教師をめぐる問題（学級崩壊）

予習内容：学校現場における学級崩壊の現状を調べる。

予習時間：30分

復習内容：学級崩壊の社会的原因とその対策を考えまとめる。

復習時間：30分

第14回 教師をめぐる問題（バーンアウト）

予習内容：教師のバーンアウトの現状を調べる。

予習時間：30分

復習内容：教師のバーンアウトの現状と課題、予防する対策を考えまとめる。

復習時間：30分

第15回 21世紀の教師をめぐる教育改革

予習内容：21世紀の教師をめぐる教育改革をまとめる。

予習時間：30分

復習内容：21世紀の教師をめぐる制度の在り方を考えまとめる。

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	教育原理						
英文名 :	The Study of Principles of Education						
担当者 :	小田 義隆						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

教職課程において解説される他の教科との関連をはかりながら、教職課程のコアとして位置づけ、基礎的・基本的事項を学習する。教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶ。また、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解し、さらに、現代社会における教育課題とその要因を多角的に分析できる力を養う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- (1) 教育の基本的概念について、①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。②子ども、教員、家庭、学校等教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。
- (2) 教育に関する歴史について、①家族と社会による教育の歴史を理解している。②近代教育制度の成立と展開を理解している。③現代社会の教育課題を歴史的な視点から理解している。
- (3) 教育に関する思想、①家庭や子どもに関わる教育の思想を理解している。②学校や学習に関わる教育の思想を理解している。③代表的な教育家の思想を理解している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
提出物 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に試験の要点を解説する。

■ 教科書

[ISBN]9784938795849 『子どもと教師のための教育原理 第二版』（石田美清, 保育出版社：2017）

■ 参考文献

[ISBN]9784313611412 『現代教育概論 第4次改訂版』（佐藤晴雄, 学陽書房：2017）
[ISBN]9784166611294 『文部省の研究 「理想の日本人像」を求めた百五十年』（辻田真佐憲, 文春新書：2017）

■ 関連科目

持続可能な社会論、国際社会と日本、教育行政学ほか教職課程諸科目。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 4 限
事前にメールにてアポイントをとること。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション 教育とは何か

予習内容：教育とは何かを考える。
予習時間：30分
復習内容：西洋・東洋における教育の成り立ちを復習する。
復習時間：30分

第2回 教育の本質と思想（教育の目的・社会的規定、近代教育思想）

予習内容：近代の教育思想家を調べる。

予習時間：30分

復習内容：開発主義、経験主義の教育思想家を確認する。

復習時間：30分

第3回 子ども観 再考①（ルソーの子ども観、子どもの自然と発達）

予習内容：ルソー・ペスタロッチの教育思想を調べる。

予習時間：30分

復習内容：ルソー・ペスタロッチの教育思想の相違を確認する。

復習時間：30分

第4回 子ども観 再考②（医学からのアプローチ）

予習内容：イタル等、医学からの教育へのアプローチを考える。

予習時間：30分

復習内容：子どもを対象とした医学の発展を確認する。

復習時間：30分

第5回 子ども観 再考③（心理学からのアプローチ）

予習内容：スタンレー・ホール等の心理学者の子どもへの着目を調べる。

予習時間：30分

復習内容：子どもを対象とした心理学の発展を確認する。

復習時間：30分

第6回 子どもの権利条約（子どもの権利条約、成立の意義と内容）

第7回 「遺伝と環境」と教育

予習内容：遺伝・環境・教育の関係を考える。

予習時間：30分

復習内容：遺伝を重視する考え方、環境を重視する考え方、両方重視する考え方等を確認する。

復習時間：30分

第8回 日本の近代化と教育（学制頒布から終戦までの教育）

予習内容：日本における教育の成立を調べる。

予習時間：30分

復習内容：日本における教育の成立で、重要な教育制度・法規を確認する。

復習時間：30分

第9回 戦後教育改革（憲法・教育基本法の成立と意義）

予習内容：戦後教育改革を調べる。

予習時間：30分

復習内容：戦前・戦後の断絶、連続性を確認する。

復習時間：30分

第10回 戦後教育改革のその後（50年代以降の学校教育の変容）

予習内容：教育の逆コースを調べる。

予習時間：30分

復習内容：戦後教育改革の展開を確認する。

復習時間：30分

第11回 日本の経済成長と学校（60年代高度経済成長と学校の機能）

予習内容：高度経済成長期について調べる。

予習時間：30分

復習内容：高度経済成長期の教育のその後の影響を確認する。

復習時間：30分

第12回 能力主義と学校（能力主義の教育論的検討）

予習内容：能力主義とは何かを調べる。

予習時間：30分

復習内容：能力主義と教育の関係・影響を確認する。

復習時間：30分

第13回 教育改革にどう向き合うか

予習内容：臨教審以降の教育改革を調べる。

予習時間：30分

復習内容：教育改革で何を変えようとしたのかを考える。

復習時間：30分

第14回 教育基本法の改正（新教育基本法成立）と教育改革

予習内容：2006年の教育基本法改正の概要を調べる。

予習時間：30分

復習内容：教育基本法の改正点とその影響を確認する。

復習時間：30分

第15回 現代日本の教育問題を考える

予習内容：現在進行中の教育改革について調べる。

予習時間：30分

復習内容：チーム学校・学校と地域との連携等、現代の教育改革の方向性を確認する。

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

科目名	教育心理学						
英文名	Educational Psychology						
担当者	村上 凡子						
開講学科	教職科目						
単 位	2単位	開講年次	1年次	開講期	前期, 後期	必修選択の別	必修科目
科目区分	教職科目						
備 考							

■ 授業概要・方法等

本科目は、教育者となるために学修することのうち、心理学の分野で探究されてきた教育に関する知見をテーマとします。定型発達児における認知能力や社会的能力の発達段階、特別な教育的支援ニーズのある子どもの特性や対応を取り上げます。また、ヒトの「学習」および「動機づけ」の仕組み、学びのユニバーサルデザインに関する知見を概説し、望ましい授業方法について検討を行います。さらに、より良い学級づくりのために、教育者がどのような役割を果たせばよいのかについて理解を深めます。教育者に求められるコミュニケーション能力の向上をねらいとして、講義形式に加えて、必要に応じてグループによる意見交流および発表を取り入れます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本科目の目標は、①対人専門職である教師に必要な社会的能力の向上を目指すこと、②発達の観点からの子ども理解に関する心理学的な知見を理解し、修得すること、③授業実践や学級経営に関する基礎的な知識について理解し、修得することの3点です。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
小テスト 15%
復習シートと自作の復習内容の提出 5%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験については、試験終了後に試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。小テストは15回の授業のうち、2回実施します。次の回に採点をしたものを返却し、解説します。提出物は次の回に正誤を示し、必要に応じてコメントを記して返却します。

■ 教科書

特に使用しません。必要な資料は適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784641123458 『はじめて出会う心理学 改訂版(有斐閣アルマ)』(長谷川 寿一, 有斐閣: 2008)
[ISBN]9784883671106 『教育心理学—保育者をめざす人へ』(石井 正子, 樹村房: 2011)
[ISBN]9784472403187 『教育心理学(玉川大学教職専門シリーズ)』(作間 慎一, 玉川大学出版部: 2005)

■ 関連科目

「教育原理」「教職論」

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の規則に応じて実施します。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階 講師控室 murakami@shinai-u.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時間帯の前後とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 教職課程における「教育心理学」の位置づけと学修内容

予習内容: 教職課程を履修する動機について報告できるよう記述する。

予習時間: 30分

復習内容: 授業で提示した「教育心理学」の主な内容について、大項目と下位項目についてまとめる。

復習時間：60分

教職について省察し、教育心理学の学修内容を確認する。心理テストの結果に示される自らの社会的能力の特性と照らし合わせながら、教育者としてのキャリア発達について検討する。

第2回 ピアジェによる認知能力の発達段階

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、第2回の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

教育心理学者ピアジェが唱えた認知能力の発達段階について、各時期の特徴を取り上げる。中学、高校にあたる時期の特徴に関しては、多角的な面から検討を加える。

第3回 子ども理解とパーソナリティに関する理論

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

近年におけるパーソナリティ心理学の知見に基づいて、子どものパーソナリティをどのように理解すればよいのかという点について、基礎的な事項を取り上げる。

第4回 エリクソンによる社会的能力の発達段階と青年期の発達課題

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

心理学者エリクソンが唱えた心理・社会的発達段階について概説し、特に青年期における発達の危機について詳しく取り上げる。

第5回 青年期前期の発達課題と対応

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

中学生の時期は、青年期前期に当たる。中1ギャップといわれる我が国の中学生における発達の危機について、心理学の知見に照らし合わせて詳しく取り上げる。また、中1ギャップを予防するための基本的な考え方や実践について検討を加える。

第6回 行動理論からみた学習－条件付けの応用－

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

古典的条件付けおよびオペラント条件付けの基本原理および、各条件付けの教育場面での応用について検討する。

第7回 認知論からみた学習－記憶のしくみ－

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

符号化、貯蔵、検索という一連の記憶の過程を、体験的な学習を交えながら理解を深める。長期記憶の忘却率の実験結果を示し、「忘れる」ことを前提とした授業方法について検討を試みる。

第8回 学習意欲－「やる気」の生成・消失過程

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

動機付けの理論に基づいて、心理学からみた学習への「やる気」を取り上げる。「やる気」が生成し、高まる過程とその要因、消失する要因について取り上げる。

第9回 特別な教育的支援ニーズのある子どもへの対応

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

特別な教育的支援ニーズの多様な側面を取り上げ、各ニーズに応じた学校教育における対応の基本について示す。

第10回 授業の本質と学びのユニバーサルデザイン

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

授業の構成要素を確認し、特に授業方法に関して、学びにくさのある子どもたちに対する具体的な授業の工夫をユニバーサルデザインの観点から取り上げる。

第11回 学習過程と評価

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

子どもの成長を支え、能力や個性の伸長を図るために、「学習」が成立する過程を確認し、子ども理解ならびに授業の改善のため評価の方法、評価の子どもへのフィードバックについて学ぶ。

第12回 授業方法及び教授者の姿勢に関する基礎的理論

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

適性処遇交互作用、ピグマリオン効果といった教育心理学の基礎的な知見を理解し、教授者である教師としての望ましい在り方について検討する。

第13回 様々な学習理論

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

プログラム学習や発見学習に焦点を当て、実際の教科において導入する際の効果や課題について検討を加える。

第14回 学級集団のしくみと学級経営

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

メンバーが一定期間固定される学級集団の性質および学級経営の基本概念を確認する。また、望ましい学級経営の在り方について、リーダーシップに関する「PM理論」をもとに考察する。生徒と教師との関係についても検討を行う。

第15回 望ましい授業づくりと学級づくり

予習内容：予習資料に目を通し、別途配布する修得すべき学術用語のすべての内容についてノート等にまとめる。

予習時間：30分

復習内容：授業中に課す復習シートへの取り組みをもとに、授業の内容について小テストを自作し、解答する。

復習時間：60分

わかりやすく面白い授業づくり、どの生徒にも居場所のある学級づくりというテーマについて検討し、教職の意義や自己課題について考えを深める。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	教育行政学						
英文名 :	The Study of Educational Administration						
担当者 :	小田 義隆						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代の学校教育に関する制度的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。教育行政は、一般行政とは違う独自の仕組みをもち、教育活動の条件整備を立法に基づき行う行政活動である。その教育行政の仕組みと現状、問題を検討する。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的な知識も学習する。授業方法としては、主として講義形式で行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

(1) 教育に関する制度的事項について、①公教育の原理及び理念を理解している。②教育制度を構成している教育関係法規を理解している。③教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解している。④教育制度をめぐる諸課題について例示することができる。

(2) 学校と地域との連携について、①地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解している。②地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。

(3) 学校安全への対応について、①学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解している。②生活安全、交通安全、災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理および安全教育の両面から具体的な取組を理解している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%

提出物 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に「試験の要点と解説」する。

■ 教科書

[ISBN]9784623058358 『現代教育制度論 第四刷』 (土屋 基規, ミネルヴァ書房 : 2015)

[ISBN]9784002709086 『教育委員会は不要なのか』 (中嶋哲彦, 岩波ブックレットNo908, 2017)

■ 参考文献

[ISBN] 9784780712940 『地域に根ざす学校づくり ―“子どもが主人公”の学校改革を求めて』 (仲田 陽一, 本の泉社 : 2016)

[ISBN] 9784623073368 『事例で学ぶ学校の安全と事故防止』 (添田久美子, ミネルヴァ書房 : 2015)

■ 関連科目

教職関連科目全般、生活のなかの憲法

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

小田研究室 (2号館5階509) ・ oda@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 4 限

事前にメールにてアポイントをとること。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 人間の自由・平等原理と教育行政

予習内容 : 人間の自由・平等についてこれまでの人生でどのように考えてきたかをまとめる。

予習時間 : 30分

復習内容：人間の自由・平等原理と教育行政の関わりを振り返りまとめる。

復習時間：30分

第2回 一般行政と教育行政

予習内容：一般行政と教育行政の違いをまとめてくる。

予習時間：30分

復習内容：一般行政と教育行政に関する演習問題を解く。

復習時間：30分

第3回 国の教育行政制度

予習内容：国の中央教育行政制度の概要をまとめる。

予習時間：30分

復習内容：文部科学省の組織と権限をまとめる。

復習時間：30分

第4回 地方の教育行政制度、地方分権

予習内容：地方における教育行政制度の概要をまとめる。

予習時間：30分

復習内容：教育委員会の組織と権限をまとめる。

復習時間：30分

第5回 教育委員会制度の歴史

予習内容：教育委員会制度の成り立ちと展開をまとめる。

予習時間：30分

復習内容：教育委員の公選制から任命制、総合教育会議などのタームから現代までの教育委員会の成り立ちと展開をまとめる。

復習時間：30分

第6回 教育行政と学校の管理・運営

予習内容：教育行政と学校の管理・運営に関してまとめる。

予習時間：30分

復習内容：教育委員会と学校の関係を簡潔にまとめる。

復習時間：30分

第7回 教育行政と教師（教員養成と採用・研修）

予習内容：教師と教育行政の関係をまとめる。

予習時間：30分

復習内容：教師の養成・採用・研修についてまとめる。

復習時間：30分

第8回 学校評価と教員評価

予習内容：日本の評価制度について考える。

予習時間：30分

復習内容：学校評価・教員評価についてまとめる。

復習時間：30分

第9回 少年非行と教育行政

予習内容：少年法の変遷についてまとめる。

予習時間：30分

復習内容：少年の保護についてまとめる。

復習時間：30分

第10回 乳幼児教育と教育行政

予習内容：就学前の子どもの生活を考える。

予習時間：30分

復習内容：就学前の子どもの生活の場に関する制度と法を考える。

復習時間：30分

第11回 高等教育と教育行政

予習内容：日本の高等教育制度の概要をまとめる。

予習時間：30分

復習内容：教育行政と大学との関係をまとめる。

復習時間：30分

第12回 学校の安全と法

予習内容：学校安全に関する法律をまとめる。

予習時間：30分

復習内容：学校安全に関する法律の成立と展開を振り返りまとめる。

復習時間：30分

第13回 学校内外における事故防止

予習内容：学校体験における事故の危険を考えてまとめる。

予習時間：30分

復習内容：学校・学校外での学校安全についてまとめる。

復習時間：30分

第14回 学校と地域の連携（地域に根ざす学校づくり）

予習内容：学校体験において地域との連携等を感じたことをまとめる。

予習時間：30分

復習内容：地域との連携の現状と課題をまとめる。

復習時間：30分

第15回 まとめ、現代社会と教育行政

予習内容：これまでの復習内容を振り返り学んだことをまとめる。

予習時間：30分

復習内容：試験に向けて、理解が浅い部分を発見し、調べ学習で補強する。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	教育課程論						
英文名 :	Theory of School Curriculum						
担当者 :	渡部 容子						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

何のために（教育目的／教育目標）、何を（教育内容）、いつどのように何を用いて（教育方法）教え、学ばせるかを計画し、実践し、評価する教育課程編成の能力は、教職の専門性の中核といえる。その基礎を養うために、この授業では、教育課程の基本的な考え方としくみ、編成原理、評価、歴史、改革動向等について概説する。

また、現行の学習指導要領を中心とする教育課程についての理解を深め、関連する教職科目に繋げる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 1) 学校教育における教育課程の意義について理解する。
- 2) 教育課程編成に関する基礎的知識を獲得する。
- 3) 現代日本の教育課程および学習指導要領について理解する。

■ 成績評価方法および基準

中間試験および定期試験 75%

提出物 15%

授業への積極的参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

中間試験および定期試験は、答案回収後その場において解題講義を行う。

■ 教科書

[ISBN]9784623082698『よくわかる教育課程（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』第2版（ミネルヴァ書房：2018）

■ 参考文献

中学校学習指導要領(2017.3) および同解説

高等学校学習指導要領(2017.3) および同解説 *該当箇所は授業時に指示する。

■ 関連科目

教職科目全般

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

渡部研究室（2号館5階） ywtbn@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 カリキュラムと教育課程、子どもの発達

予習内容：教科書第I章、第V章に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第1回記入

以下、各回とも要点をまとめたノート作成をすることが望ましい。

復習時間：15分

1.シラバスを用いて授業オリエンテーションを行う。

2.「発達」の概念を軸とした教育学と教育課程

3.「カリキュラム」と「教育課程」

4.日本における教育課程の特徴

第2回 学校教育と教育課程のしくみ

予習内容：教科書第I章、第VI章に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第2回記入

復習時間：15分

- 1.「教育課程」の定義
- 2.教育課程固有の検討課題
- 3.授業に関して－学習指導要領
- 4.授業に関して－教科書

第3回 近代日本の教育課程（明治・大正・昭和前期）

予習内容：教科書第14章1.2.3.に目を通す

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第3回記入

各時期の教育課程の特徴を、学校系統樹と照らし合わせながら理解する。

復習時間：20分

- 1.明治期の教育課程
- 2.大正自由教育期の教育課程
- 3.国民学校期の教育課程

第4回 現代日本の教育課程（1968年まで）

予習内容：教科書第14章4.5、第15章1.2.3.4.に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第4回記入

各学習指導要領の特徴を整理する。

復習時間：60分

学習指導要領の展開

- 1.1947年学習指導要領
- 2.1951年学習指導要領
- 3.1958年学習指導要領
- 4.1968年学習指導要領

第5回 現代日本の教育課程（1998年まで）

予習内容：教科書第15章5.6.7.に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第5回記入

各学習指導要領の特徴を整理する。

復習時間：60分

学習指導要領の展開

- 1.1977年学習指導要領
- 2.1989年学習指導要領
- 3.1998年学習指導要領

第6回 現行の教育課程

予習内容：教科書第15章8.9および参考文献に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第6回記入

学習指導要領の特徴を整理する。

復習時間：60分

- 1.2008年学習指導要領
- 2.2015年一部改正 学習指導要領
- 3.2017年学習指導要領

第7回 中間試験およびその解題

予習内容：教科書・配布資料などを参照して、第6回までの授業の復習を行う。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第7回記入

中間試験で理解が不十分であったことが分かった部分を見直す。

復習時間：60分

- 1.中間試験を実施する。

2.中間試験の答案回収後、解題を行う。

第8回 カリキュラムの編成原理 (1)

予習内容：教科書第Ⅲ章、第Ⅳ章1.2.3.4.5.6.7.に目を通す。以後、実践記録の読書リストを作成し、順次読み進むことが望ましい。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第8回記入。

キーワードを整理する。

復習時間：60分

- 1 内容選択の基準
- 2 カリキュラムの編成原理
- 1.経験主義
- 2.系統主義
- 3.スコープとシークエンス
- 4.領域論
- 5.初等教育のカリキュラム原理
- 6.中等教育のカリキュラム原理
- 7.カリキュラムの種類

第9回 カリキュラムの編成原理 (2)

予習内容：教科書第Ⅳ章8.9.10.および第Ⅶ章に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第9回記入

キーワードを整理する。

復習時間：60分

- 1 カリキュラムの編成原理
- 8.タイラー原理
- 9.工学的アプローチと羅生門的アプローチ
- 10.構成主義的学習観にたつカリキュラム設計
- 2 カリキュラムの社会学
- 1.近代学校批判
- 2.カリキュラムの社会理論
- 3.教育と平等
- 4.隠れたカリキュラム

第10回 カリキュラムと教育環境

予習内容：教科書第Ⅷ章に目を通す

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第10回記入

復習時間：15分

- 1.開かれた学校づくり
- 2.教育と学習の道具
- 3.学校建築と教室
- 4.教室と学級編成
- 5.時間割
- 6.教授組織の編成

第11回 カリキュラムと評価

予習内容：教科書第Ⅸ章に目を通す

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第11回記入

復習時間：60分

- 1.教育評価の考え方
- 2.カリキュラム評価
- 3.指導要録・通知表
- 4.学力の評価
- 5.授業の評価
- 6.学校の評価

第12回 カリキュラムの履修スタイル

予習内容：教科書第Ⅹ章に目を通す。

予習時間：90分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第12回記入

復習時間：15分

- 1.カリキュラムの共通化
- 2.履修主義と修得主義
- 3.必須科目と選択科目
- 4.能力別グルーピング
- 5.入試
- 6.高大接続
- 7.学校種間連携と接続
- 8.生涯学習のカリキュラム
- 9.職業と専門教育

第13回 教科と教科外のカリキュラム

予習内容：教科書第XI章と第XII章に目を通す。

予習時間：90分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第13回記入

復習時間：15分

- 1 教科のカリキュラム
 - 1.国語科のカリキュラム
 - 2.算数・数学科のカリキュラム
 - 3.社会科のカリキュラム
 - 4.理科のカリキュラム
 - 5.生活科のカリキュラム
 - 6.音楽科のカリキュラム
 - 7.図画工作・家庭科のカリキュラム
 - 8.技術・家庭科のカリキュラム
 - 9.情報のカリキュラム
 - 10.保健体育科のカリキュラム
 - 11.外国語科のカリキュラム
 - 12.特別の教科 道徳のカリキュラム
- 2 教科外のカリキュラム
 - 1.総合的な学習の時間
 - 2.特別活動
 - 3.生徒指導と生活指導
 - 4.進路指導・キャリア教育

第14回 世界のカリキュラムと教育改革

予習内容：教科書第14章に目を通す

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第14回記入

関心のある国について、更に調べることが望ましい。

復習時間：90分

- 1.中国・韓国
- 2.アメリカ合衆国・オーストラリア
- 3.イギリス・フランス・ドイツ
- 4.フィンランド・オランダ
- 5.国際バカロレア

第15回 近年のカリキュラム改革の動向および授業の振り返り

予習内容：教科書第13章に目を通す。

「学習の軌跡」をきれいに記入し、自らの学びを振り返る。

予習時間：30分

復習内容：授業全体を振り返り、「学習の軌跡」第15回、まとめを記入

復習時間：60分

- 1 近年のカリキュラム改革の動向
 - 1.環境教育のカリキュラム
 - 2.国際理解教育のカリキュラム
 - 3.市民性教育のカリキュラム
 - 4.平和と安全のための教育

- 5.表現教育のカリキュラム
- 6.性教育のカリキュラム
- 7.プログラミング教育のカリキュラム
- 8.メディア・リテラシー教育のカリキュラム

2 授業の振り返り

- 1.「シラバス」「学習の軌跡」をもとに、教育課程論の振り返りを行う。
- 2.他の教職科目との関連について確認を行う。

定期試験と解題

定期試験を実施する。試験範囲は、学習範囲全般である。

中間試験の範囲を含む。

試験を終え答案回収後、パワーポイントを用いて試験の解題を行う。

■ホームページ

科目名 :	道徳教育論						
英文名 :	The Study of Moral Education						
担当者 :	渡部 容子						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

授業では、まずテキストを用いながら、現代社会と道徳、道徳性の発達、学校で行われる道徳教育、日本における道徳教育の歴史、道徳教育と宗教の関係等について概説する。次に現行の「特別の教科 道徳」について講義を行い、実際に授業を行うために必要な学習指導計画の立案、教材研究などについて学ぶ。テキストを毎回熟読し理解に努めたり、教材研究の経験を広げるなど、積極的な取り組みが必要である。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 1) 道徳・道徳性について広い見地から、認識し、考えることができる。
- 2) 道徳教育の目標・教材・指導過程・評価の各レベルの基本的な知識を持ち、論じることができる。
- 3) 「特別の教科 道徳」について理解し、授業を行うために必要な基本がわかる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
提出物 40%
授業への積極的参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験は終了、答案回収後その場で解題講義を実施する。提出物については、事前に採点基準を示すとともに、事後の指導を希望する学生には個別指導を行う。

■ 教科書

- ① [ISBN]9784762026553 『道徳教育-改訂版(教師教育テキストシリーズ)』(学文社:2016)
- ② 文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」2017年3月。

■ 参考文献

講義時に新刊も含め適宜紹介する。

■ 関連科目

教職科目全般

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

渡部研究室(2号館5階) ywtbn@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 「道徳」学習経験の振り返り

予習内容: シラバス、教科書の目次に目を通しておく。

予習時間: 20分

復習内容: 授業を振り返り、「学習の軌跡」第1回記入

復習時間: 15分

1. シラバスを用いて授業ガイダンスを行う。
2. 受講生の了解のうえで、簡単なアンケートを実施し、小中学校および一部高等学校で受けた道徳教育の経験を振り返る。
3. 「道徳教育が欠けている」「いけないことだと思う」等の事例について、受講生同士で意見交換を行う。

第2回 学習指導要領の変遷と「道徳」のあゆみ

予習内容：教科書①の「序」に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第2回記入

復習時間：15分

1. 第1回で行った振り返りの結果を共有し、「特別の教科 道徳」までの学習指導要領の変遷について講義を行う。
2. 「道徳教育が欠けている」「いけないことだと思う」等の事例が、どのような性質の問題なのかを腑分けしていき、道徳教育論の学びの導入とする。
3. 第3回以降の教科書①の読み方、資料の調べ方等について解説を行う。

第3回 現代社会と道徳

予習内容：教科書①第1章を読み、要点を理解する。コメントに指名された場合は、コメントの準備をする。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第3回記入

復習時間：20分

教科書①第1章参照

1. 道徳を必要とするのは誰か
2. 良心の自覚を促すには何が必要か
3. 学校の教育活動全体と道徳
4. 道徳教育を担う教師の課題

第4回 道徳教育の本質と目標

予習内容：教科書①第2章を読み、要点を理解する。コメントに指名された場合は、コメントの準備をする。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第4回記入

復習時間：20分

教科書①第2章参照

1. 道徳的価値とその問題点
2. 社会規範の内面化としての道徳性とその問題点
3. 総合的な能力としての道徳性

第5回 道徳性の発達（1）発達理論

予習内容：教科書①第3章を読み、要点を理解する。
コメントに指名された場合は、コメントの準備をする。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第5回記入

復習時間：20分

教科書①第3章参照

1. 道徳性の発達理論とその臨界
 - 1) フロイト
 - 2) ピアジェ
 - 3) コールバーグ
2. 「可逆操作の高次化における階層-段階理論」

第6回 道徳性の発達（2）幼児期からの実際

予習内容：発達理論に関する配布資料に目を通す

予習時間：90分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第6回記入

復習時間：20分

1. 幼児期の道徳性の発達
視聴覚教材を用いて
2. 青年期までの発達と道徳性
3. 討議

第7回 道徳教育はどうあるべきか

予習内容：教科書①第4章を読み、要点を理解する。
コメントに指名された場合は、コメントの準備をする。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第7回記入

復習時間：20分

教科書①第4章参照

- 1.特設「道徳の時間」導入の歴史的背景
- 2.「道徳」授業批判
- 3.モラル・ジレンマ授業の意義と問題点
- 4.ジャスト・コミュニティ・プログラムと市民性教育－鍵概念としての「対話」－

第8回 道徳教育の方法

予習内容：教科書①第5章を読み、要点を理解する。
コメントに指名された場合は、コメントの準備をする。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第8回記入

復習時間：20分

教科書①第5章参照

- 1.国家主義的道徳教育と民主的道徳教育
- 2.道徳教育の指導形態
- 3.道徳教育の計画

第9回 道徳教育の授業

予習内容：教科書①第6章を読み、要点を理解する。
コメントに指名された場合は、コメントの準備をする。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第9回記入

復習時間：20分

教科書①第6章参照

- 1.道徳授業の前提となる諸要素
- 2.道徳科の指導案
- 3.道徳科の「教育内容・教材研究」
- 4.道徳科における評価
- 5.道徳科授業の「落とし穴」

第10回 道徳教育の歴史

予習内容：教科書①第7章を読み、要点を理解する。
コメントに指名された場合は、コメントの準備をする。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第10回記入

復習時間：20分

教科書①第7章参照

- 1.道徳教育の歴史をなぜ、問うのか
- 2.明治期の道徳教育
- 3.大正、昭和戦前期の道徳教育
- 4.敗戦後の道徳教育
- 5.全面主義・特設時代の道徳教育

第11回 道徳教育と宗教

予習内容：教科書①第8章を読み、要点を理解する。
コメントに指名された場合は、コメントの準備をする。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第11回記入

復習時間：20分

教科書①第8章

- 1.宗教的道徳教育が必要だと主張されるが
- 2.宗教的価値の絶対性と相対性
- 3.近代における宗教と道徳の関係性原理
- 4.日本における道徳教育と宗教の「関係」

第12回 道徳の授業づくり（1）指導計画の作成

予習内容：教科書②学習指導要領解説を丁寧に読みノートをとる。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第12回記入

復習時間：20分

教科書②参照

- 1 全体計画

- 2 年間指導計画
- 3 学習指導案

第13回 道徳の授業づくり（2）視聴覚教材の研究

予習内容：学習指導案の立案の手順を復習しておく。

予習時間：20分

復習内容：視聴覚教材を用いた学習指導案を完成させる。

授業を振り返り、「学習の軌跡」第13回記入

復習時間：120分

視聴覚教材を用いた授業と評価

1. 視聴覚教材の視聴
2. ワークシートの記入
3. 学習指導案作成の実際
4. 視聴覚教材の再視聴

第14回 道徳の授業づくり（3）読み物教材の研究

予習内容：配付された読み物資料を熟読し、授業の構想を立てる。

予習時間：60分

復習内容：読み物教材を用いた学習指導案を完成させる。

授業を振り返り、「学習の軌跡」第14回記入

復習時間：120分

1. 読み物教材の熟読
2. 学習指導案の立案
3. 学習指導案のバリエーション

第15回 道徳教育論のまとめ

予習内容：「学習の軌跡」の記入を点検し、振り返りを行いながら必要事項を埋めておく。提出物を整えておく。

予習時間：60分

復習内容：教科書、配布資料、「学習の軌跡」を用いて第1回からの復習を行い、試験準備を行う。

復習時間：180分

1. 「学習の軌跡」を用いて、総まとめを行う。
2. 「学習の軌跡」の第15回目を記入する。

定期試験と解題

定期試験を実施する。試験範囲は、学習範囲全般である。

試験を終え答案回収後、パワーポイントを用いて試験の解題を行う。

■ホームページ

科目名 :	特別活動論						
英文名 :	The Theory of Extra-curricular Activities						
担当者 :	森本 芳生						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

まず特別活動の概説を講義したのち、この領域で社会的に問題となっている事例を紹介する。その後1990年代中葉からの教育改革の中心的テーマの一つである「生きる力」の形成・教育にかかわって、「特別活動」領域および「総合的な学習の時間」で問題とされる事例を紹介する。これらを問題とする際、20～30分程度の映像資料を多用する予定である。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講生はこの授業を履修することによって、1) こんにちの社会状況のもとでの学校における特別活動の意義、2) いわゆる「生きる力」論、3) 特別活動における教師個人の問題意識の重要性を理解することができる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%

小テスト 20%

レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験 要点・解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

小テスト 講義で説明・確認したことのテストであるため、正答は各自授業ノートを見直してください。

レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。

■ 教科書

使用しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784773501377 『たのしい「生活指導」』（「たのしい授業」編集委員会, 仮説社: 1999)

[ISBN]9784623038336 『豚のPちゃんと32人の小学生一命の授業900日』（黒田 恭史, ミネルヴァ書房: 2003)

[ISBN]9784761911331 『部活動—その現状とこれからのあり方』（西島 央, 学事出版: 2006)

[ISBN]9784750323824 『働くことを学ぶ (若者の希望と社会)』（明石書店: 2006)

[ISBN]9784750330525 『「食育」批判序説—「朝ごはん」運動の虚妄をこえて、科学的食・生活教育へ』（森本 芳生, 明石書店: 2009)

■ 関連科目

教職課程諸科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) ・ baaqk409@jttk.zaq.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス (授業の概要・特別活動とは何か)

予習内容: 学校教育の全体像

予習時間: 20分

復習内容: 学校教育における特別活動の位置・役割

復習時間: 30分

第2回 特別活動論概説（1）歴史的変遷

予習内容：戦後学習指導要領の変遷

予習時間：30分

復習内容：学習指導要領改訂の諸要因と特別活動

復習時間：30分

第3回 特別活動論概説（2）教科教育との関連と差異

予習内容：教科教育と教科外教育

予習時間：20分

復習内容：教科教育のなかの特別活動、教科外教育としての特別活動

復習時間：30分

第4回 特別活動に関する教育問題（1）入学式・卒業式

予習内容：学校行事とは何か

予習時間：30分

復習内容：身体性を伴った学習の場と儀式的行事への関心

復習時間：30分

第5回 特別活動に関する教育問題（2）学級づくり

予習内容：学級担任の仕事

予習時間：30分

復習内容：学級づくりのやりがいとは何か

復習時間：30分

第6回 「生きる力」とは何か、何故問題とされるのか。

予習内容：「生きる力」論の登場について

予習時間：30分

復習内容：「生きる力」論の現在

復習時間：30分

第7回 子どもの食事情と生活リズム

予習内容：戦後社会と家族関係の変化

予習時間：30分

復習内容：私的生活と学校教育の関係・特別活動の役割

復習時間：30分

第8回 学校給食の現状と課題

予習内容：学校給食の歴史

予習時間：30分

復習内容：学校給食の現在とその問題点

復習時間：30分

第9回 「遠足」はいま（歩くこと・遊び環境の変遷）

予習内容：後期戦後社会における子どもの生活-遊び環境変化

予習時間：30分

復習内容：「生きる力」論における健康問題

復習時間：40分

第10回 交通安全教育

予習内容：学校安全とは何か

予習時間：30分

復習内容：交通安全教育の今日的課題

復習時間：30分

第11回 文化祭

予習内容：学校教育における文化祭（文化的行事）の変遷

予習時間：30分

復習内容：高校文化祭の可能性と課題

復習時間：30分

第12回 青年期の生き方と特別活動の課題

予習内容：発達段階としての青年期

予習時間：20分

復習内容：青年期的課題と学校教育・特別活動の役割

復習時間：30分

第13回 「総合的な学習の時間」との関連

予習内容：「総合的な学習の時間」創設経緯と現在

予習時間：30分

復習内容：「総合的な学習（探求）の時間」と特別活動との関連

復習時間：40分

第14回 特別活動の年間計画

予習内容：「6・3・3」制、小中一貫・中高一貫教育

予習時間：30分

復習内容：特別活動の年間計画を規定する制度論的要因と課題

復習時間：40分

第15回 まとめ・補足

予習内容：授業全体を振り返って

予習時間：30分

復習内容：特別活動の可能性と課題

復習時間：30分

定期試験 第15回授業を踏まえて各自の「まとめ」

■ホームページ

科目名 :	教育方法学						
英文名 :	The Study of Educational Methods						
担当者 :	谷口 知美						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	集中	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現代社会における子どもの貧困やヴィゴツキーの発達論を軸にしなから、発達と教育との関係について理解を深める。共同学習の意義をつかんだうえで、発問を軸とした授業づくりの方法を知る。教育評価について基本的な知識を得たうえで、PISA調査等の学力調査について自分の考えをもつ。授業分析をおこない、自分なりの授業展開について考える。基本的には講義形式で進めるが、グループディスカッションも適宜取り入れる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

技能に流れずに、子どもの発達と教育についての考え方を理解し、授業を構成する主体としての力量を習得する。

■ 成績評価方法および基準

平常点（意見カード、ワークシート、発表） 45%
授業内テスト 55%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

テスト終了後、出題の意図および解答のポイントについて解説する。

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考文献

適宜提示する。

■ 関連科目

教育課程論

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室） thirata@center.wakayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 教育方法学の対象

予習内容：教育方法学とは何かを調べる。

予習時間：60分

復習内容：教育方法学の対象について理解を深める。

復習時間：60分

「つまずきを生かす授業」の例から、教育方法学の対象について理解する。

第2回 現代社会と子ども(1)子どもの貧困

予習内容：子どもの貧困の現状について調べる。

予習時間：60分

復習内容：子どもの貧困問題の背景についてまとめる。

復習時間：60分

子どもの貧困の定義、現状、その背景にある社会構造をつかむ。

第3回 現代社会と子ども(2)子どもの貧困への対応

予習内容：貧困問題に対してできることを考える。
予習時間：60分
復習内容：講義で検討した実践記録をさらに分析する。
復習時間：60分
子どもの貧困に対して、授業内外での取り組みについて考える。

第4回 子どもの発達と教育

予習内容：ピアジェとヴィゴツキーの発達論について調べる。
予習時間：60分
復習内容：子どもの発達と教育との関係性について自分の考えをまとめる。
復習時間：60分
ヴィゴツキーの発達論を中心に、子どもの発達と教育との関係性を理解する。

第5回 共同的な学習の意義

予習内容：共同学習について調べる。
予習時間：60分
復習内容：共同学習の理論と実際についての理解を深める。
復習時間：60分
一斉授業と共同学習について理解し、具体的な授業のあり方を知る。

第6回 教材解釈と発問づくり

予習内容：発問について調べる。
予習時間：60分
復習内容：講義で扱った教材について、自分の解釈をまとめる。
復習時間：60分
教材解釈と発問づくりを軸に、授業の構想の仕方を理解する。

第7回 つまづきを生かす授業

予習内容：第1回の講義で用いた実践例について復習する。
予習時間：60分
復習内容：つまづきを生かす授業をする方法をまとめる。
復習時間：60分
平均の学習を例にして、つまづきを生かす授業の意義を理解する。

第8回 学習指導案の構想

予習内容：学習指導案について調べる。
予習時間：60分
復習内容：学習指導案を作成する。
復習時間：60分
発問を軸とした学習指導案の作成方法をつかむ。

第9回 教育評価の発展

予習内容：「相対評価」と「目標に準拠した評価」について調べる。
予習時間：60分
復習内容：教育評価の歴史をまとめる。
復習時間：60分
「相対評価」と「目標に準拠した評価」を中心に教育評価の歴史を理解する。

第10回 教育評価の方法

予習内容：近年普及している教育評価方法について調べる。
予習時間：60分
復習内容：新しい教育評価方法の長所と短所を考える。
復習時間：60分
パフォーマンス評価などの教育評価方法を知る。

第11回 学力調査について(1)PISA調査

予習内容：PISA調査について調べる。
予習時間：60分
復習内容：PISA調査の特質と課題についてまとめる。
復習時間：60分
PISA調査の問題を解き、PISA調査の特質をつかむ。

第12回 学力調査について(1)全国学力・学習状況調査

予習内容：全国学力・学習状況調査について調べる。

予習時間：60分

復習内容：全国学力・学習状況調査に対する自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

全国学力・学習状況調査の特質および影響について理解する。

第13回 授業分析(1)理科の授業

予習内容：仮説実験授業について調べる。

予習時間：60分

復習内容：講義で視聴した授業をもとに、自分なりの授業展開を考える。

復習時間：60分

中学校理科の授業を分析し、自分の考えをもつ。

第14回 授業分析(2)数学科の授業

予習内容：中学3年生の「平方根」について調べる。

予習時間：60分

復習内容：講義で視聴した授業をもとに、自分なりの授業展開を考える。

復習時間：60分

中学校数学科の授業を分析し、自分の考えをもつ。

第15回 情報機器の活用

予習内容：授業におけるICTについて調べる。

予習時間：60分

復習内容：効果的な情報機器の活用方法について自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

効果的な情報機器の活用方法について考える。

■ホームページ

科目名 :	教育方法学						
英文名 :	The Study of Educational Methods						
担当者 :	森本 芳生						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

授業では、近代学校教育における教育方法の特質を、近世の教育機関・学習場面でのそれと比較して把握したのち、今日に至る100年余の学校教育での注目すべき教育方法を順次取り上げ、解説を加えていく。その際、そうした教育方法の背後にある教育観・教育思想・社会状況等にも言及する。方法を単なる技術次元の問題としてのみ捉えてほしくない為である。こうした作業を通して、学校教育およびそこの教育方法に対する関心を高め、知見を得ることが授業目的である。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講生はこの授業を履修することによって、1) 学校教育における教育方法の特質、2) 教育方法が教育思想・教育観と切り離して考えられない事、3) これまで教育現場で試みられてきた代表的教育方法、4) 今後の課題を知ることができる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%
小テスト 20%
レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験 要点・解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
小テスト 講義で説明・確認したことのテストであるため、正答は各自授業ノートを見直してください。
レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784820802563 『時代を拓いた教師たち—戦後教育実践からのメッセージ』(田中 耕治, 日本標準 : 2005)

■ 参考文献

[ISBN]9784000260053 『教育方法学 (岩波テキストブックス)』(佐藤 学, 岩波書店 : 1996)
[ISBN]9784903500348 『教育の方法 (放送大学叢書)』(佐藤 学, 左右社 : 2010)
[ISBN]9784820804406 『教育実践学と教育方法論—カリキュラム・教科指導・学力を教育実践から問い直す』(臼井 嘉一, 日本標準 : 2010)

■ 関連科目

教職課程諸科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) baaqk409@jttk.zaq.ne.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、教科書の使い方

予習内容 : 歴史区分、近世・近代・現代

予習時間 : 15分

復習内容 : 近代学校教育の位置

復習時間 : 20分

第2回 近世の教育方法 (寺子屋・藩学・日常生活)

予習内容：近世社会における身分・地域性
予習時間：15分
復習内容：近世における学習の機会と方法
復習時間：20分

第3回 学校教育の開始

(ルソー・ペスタロッチ教育法の輸入)

予習内容：近代公教育とは
予習時間：20分
復習内容：明治初期の学校教育・教育方法の特質
復習時間：30分

第4回 授業の定型化

(ヘルバルト学派の段階教授法の輸入・浸透)

予習内容：ヘルバルト学派とは
予習時間：20分
復習内容：ヘルバルト式段階教授法の受容と学校教育への影響
復習時間：30分

第5回 明治期の学校教育・教育方法の総括

予習内容：明治時代とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：明治期の学校教育と支配的教育方法の変化
復習時間：30分

第6回 大正自由主義教育（児童中心主義教育）の展開と挫折

予習内容：大正時代とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：大正新教育運動の意義と限界
復習時間：30分

第7回 生活綴り方教育の登場と弾圧

予習内容：昭和初期とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：生活綴り方教育の意義
復習時間：30分

第8回 戦後教育改革

予習内容：学習指導要領（試案）について
予習時間：30分
復習内容：学習指導要領（試案）に現れた教育行政と教育現場の関係性
復習時間：30分

第9回 系統主義教育と仮説実験授業

予習内容：高度経済成長期とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：科学の時代と学校教育、理数系「重視」と対抗的教育方法開発
復習時間：30分

第10回 仮説実験授業の拡大

予習内容：仮説実験授業の思想と方法
予習時間：30分
復習内容：数学教育、社会科教育と仮説実験授業の思想
復習時間：30分

第11回 「できる」と「わかる」に関して、百ます計算・暗誦

予習内容：近年のドリル学習法「強制」「流行」
予習時間：30分
復習内容：「わからないけれどできる」をどう考えるか
復習時間：30分

第12回 生活綴り方教育の現在－「教育と生活の結合」「教育と科学の結合」

予習内容：格差社会とは
予習時間：20分

復習内容：生活綴り方教育の再評価

復習時間：30分

第13回 教育方法と教育観

予習内容：「ほんものの教育」を求めた教師たち

予習時間：30分

復習内容：なぜ「教育方法は政治」なのか

復習時間：30分

第14回 ICT教育の可能性と課題

予習内容：ICT教育とは

予習時間：30分

復習内容：21世紀型学力とICT教育

復習時間：30分

第15回 課題と展望

予習内容：授業内容を振り返って

予習時間：30分

復習内容：各自の「ほんものの教育」への志向を広げ・深める

復習時間：30分

定期試験

第15回授業を踏まえて各自の「まとめ」

■ホームページ

科目名 :	生徒指導論						
英文名 :	Guidance						
担当者 :	渡部 容子						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

学校は、学習の場であると同時に、児童生徒が相互の人間関係を築き、その中で自らの生き方や進路を探っていく場でもある。それを適切に援助し導いていくのが生徒指導である。授業では、生徒指導の意義と原理、生徒理解およびその前提となる発達を軸とした人間観・子ども観、学校の教育活動における生徒指導の理論と実践方法、個別課題の検討、家庭・地域・専門機関との連携、社会との接続等について講義を行う。

適宜グループワークや討論を交え、個別課題については発表（プレゼンテーション）を予定しており、積極的な授業参加が必要である。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 1) 生徒指導の基礎的な理論と実践方法について理解をしている。
- 2) 生徒および生徒集団を、発達のにとらえることができ、深く理解しようとする。
- 3) 学校と社会の接続について認識し、生徒指導に生かす視点を持つ。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%
 課題 20%
 提出物 20%
 授業への積極的参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験は、答案の回収をした後に、その場で解題講義を実施する。課題は、授業内の発表形式である場合は、発表後に講評を行う。提出の場合は、講評を書き込んで複写物を授業期間内に返却する。

■ 教科書

[ISBN]9784877302740 『生徒指導提要』（文部科学省, 教育図書 : 2011)

■ 参考文献

[ISBN]9784762026201 『生徒指導・進路指導:理論と方法(教師のための教育学シリーズ)』（林 尚示, 学文社 : 2016)

■ 関連科目

「教育原理」「教育課程論」「道徳教育論」「教育実習Ⅰ・Ⅱ」

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

渡部研究室（2号館5階） ywtbn@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業ガイダンス、生徒指導の意義と原理

予習内容 : 教科書の第1章に目を通す。

予習時間 : 60分

復習内容 : 授業を振り返り、「学習の軌跡」第1回記入

復習時間 : 15分

1. シラバスをもとに授業ガイダンスを行う。

2.課題の作成方法、提出物「学習の軌跡」についての説明を行う。

3.生徒指導の意義と原理について講義を行う。

教科書・第1章

第2回 生徒指導の前提となる子ども観

予習内容：「児童の権利に関する条約」を用意し、条文全文に目を通す。参考文献②にも目を通すことが望ましい。

予習時間：60分

復習内容：・英文の「児童の権利に関する条約」の課題箇所を訳す。

・授業を振り返り、「学習の軌跡」第2回記入

復習時間：90分

- 1.古代から21世紀に至るまでの「子ども観」の歴史について講義を行う。
- 2.「児童の権利に関する条約」に集約された現代の子ども観について、その背景および条文に触れながら講義を行う。
- 3.現代の「発達保障」の理論にも言及する。
- 4.子ども観と「生徒理解」、教職がどのように関係するのかについて、討論を行い考える。

第3回 児童生徒理解と生徒指導

予習内容：・教科書の第3章に目を通す。

・「発達障がい」に関連した図書のリストを作ったり、読み始めることが望ましい。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第3回記入

復習時間：15分

- 1.児童生徒を理解するための基本的な事項について講義を行う。

教科書①第3章、②第3章、

- 2.「発達障がい」について、配布資料をもとに補足する。

第4回 教育課程と生徒指導

予習内容：教科書の第2章に目を通す。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第4回記入。

授業で紹介のあった教育実践書を読むことが望ましい。

復習時間：90分

- 1.生徒指導と教育課程の関係について講義を行う。特に、教科外のみならず、各教科にも生徒指導が位置づくことについて言及する。

教科書の第2章

- 2.過去の優れた教育実践をとりあげ、理解を深める。

第5回 学校における生徒指導体制と計画

予習内容：・教科書の第4章、第6章I第6節に目を通す。

・学校教育法施行規則第70条、第104条、第135条を用意し、条文を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第5回記入

復習時間：15分

- 1.学校における生徒指導体制の基本的な考え方、組織と運営、生徒指導主事の役割、教員研修等について講義を行う。

教科書の第4章参照

- 2.生徒指導の全体計画、年間指導計画について、資料を配布し講義を行う。
- 3.学校全体ですべての児童生徒を対象とした指導を行う際の組織的対応の在り方について講義を行う。

教科書の第6章I参照

- 4.学校種間や学校間の連携についても言及する。

第6回 家庭・地域・関係機関との連携、法制度

予習内容：教科書の第7章、第8章に目を通す。

予習時間：90分

復習内容：・授業を振り返り、「学習の軌跡」第6回記入

・関連ある資料や統計、図書に目を通すことが望ましい。

復習時間：60分

- 1.生徒指導における家庭・地域との連携の必要性と方法について講義を行う。
- 2.生徒指導に関係した専門機関・関係機関とその役割、連携の進め方について講義を行う。

教科書の第8章参照

- 3.生徒指導に関わる法制度について講義を行う。

教科書の第7章参照

- 4.苦情への対応についても言及する。

第7回 生徒指導の個別課題（基本的生活習慣）

予習内容：・教科書の第6章Ⅰ第5節・第6節・第7節に目を通す。

- ・教育基本法第5条、第6条、第10条、学校教育法第21条、学校保健安全法第26条を用意し、目を通す。
- ・課題の発表会であればスライドを用意する。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第7回記入

復習時間：15分

- 1.食事習慣・睡眠習慣・運動習慣・排泄習慣などの基本的生活習慣の確立が、どのように学校生活にも関わり、生徒の社会的自立や自己実現につながるかについて講義を行う。
- 2.関連して、校内規律や学校安全についても講義を行う。
教科書の第6章Ⅰ第5節・第6節・第7節参照
- 3.<学生によるプレゼンテーション>今回のテーマを課題に選んだ学生がパワーポイントを用いて発表を行う。発表は、サブテーマを絞り、テーマの選択理由・背景・実態・問題点・対策・考察など6枚のスライドで簡潔に行う。（受講人数により、発表形態や時間は確定するが、6枚のスライド作成は全員が行い、課題として最終回に提出する。）
- 4.討議を行う。

第8回 生徒指導の個別課題（いじめ）

予習内容：・教科書の第6章Ⅱ第6節に目を通す。

- ・新聞記事などで、関心をもった事件などを調べておく。
- ・課題の発表会であればスライドを用意する。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第8回記入

復習時間：15分

- 1.いじめ問題について講義を行う。
教科書の第6章Ⅱ第6節参照
- 2.<学生によるプレゼンテーション>今回のテーマを課題に選んだ学生がパワーポイントを用いて発表を行う。発表は、サブテーマを絞り、テーマの選択理由・背景・実態・問題点・対策・考察など6枚のスライドで簡潔に行う。（受講人数により、発表形態や時間は確定するが、6枚のスライド作成は全員が行い、課題として最終回に提出する。）
- 3.討議を行う。

第9回 生徒指導の個別課題（不登校）

予習内容：・教科書の第6章Ⅱ第11.12.13節に目を通す。

- ・関連の統計などを調べておく。
- ・課題の発表会であればスライドを用意する。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第9回記入

復習時間：15分

- 1.不登校問題について講義を行う。
教科書の第6章Ⅱ第12節参照
- 2.<学生によるプレゼンテーション>今回のテーマを課題に選んだ学生がパワーポイントを用いて発表を行う。発表は、サブテーマを絞り、テーマの選択理由・背景・実態・問題点・対策・考察など6枚のスライドで簡潔に行う。（受講人数により、発表形態や時間は確定するが、6枚のスライド作成は全員が行い、課題として最終回に提出する。）
- 3.討議を行う。

第10回 生徒指導の個別課題（インターネット）

予習内容：・教科書の第6章Ⅱ第7節に目を通す。

- ・新聞記事などで、関心をもった事件などを調べておく。
- ・課題の発表会であればスライドを用意する。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第10回記入

復習時間：15分

- 1.インターネットや携帯電話と生徒指導について講義を行う。
教科書の第6章Ⅱ第7節参照
- 2.<学生によるプレゼンテーション>今回のテーマを課題に選んだ学生がパワーポイントを用いて発表を行う。発表は、サブテーマを絞り、テーマの選択理由・背景・実態・問題点・対策・考察など6枚のスライドで簡潔に行う。（受講人数により、発表形態や時間は確定するが、6枚のスライド作成は全員が行い、課題として最終回に提出する。）
- 3.討議を行う。

第11回 生徒指導の個別課題（虐待・性に関する問題）

予習内容：・教科書の第6章Ⅱ第8節第10節に目を通す。

- ・新聞記事などで、関心をもった事件などを調べておく。
- ・課題の発表会であればスライドを用意する。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第11回記入

復習時間：15分

1.児童虐待に関する基本的知識、学校の対応について講義を行う。

教科書の第6章Ⅱ第10節参照

2.性に関する問題行動や性的被害の防止、学校の対応について講義を行う。

教科書の第6章Ⅱ第8節参照

3.<学生によるプレゼンテーション>今回のテーマを課題に選んだ学生がパワーポイントを用いて発表を行う。発表は、サブテーマを絞り、テーマの選択理由・背景・実態・問題点・対策・考察など6枚のスライドで簡潔に行う。(受講人数により、発表形態や時間は確定するが、6枚のスライド作成は全員が行い、課題として最終回に提出する。)

4.討議を行う。

第12回 生徒指導の個別課題（少年非行・暴力）

予習内容：教科書の第7・8章、配布された資料や統計に目を通す。

予習時間：40分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」12第回記入。

礼状を兼ねた感想文を書く（翌週提出）。

復習時間：50分

- ・関係機関の専門家をゲストスピーカーとして招聘予定である。

1.少年非行に関わる法制度と関係機関、全国および県内の状況、保護者・学校・関係機関の連携等について講義を受ける。

2.質疑応答

第13回 進路指導の理論と方法（働くことと学ぶこと）

予習内容：キャリア教育の関連の本を検索し、1冊は目を通す

予習時間：150分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第13回記入

復習時間：15分

1.働くことと学ぶことの接続・移行について歴史的に概説する。

2.「生涯学習」概念の登場と、現代の「キャリア」概念について講義を行う。

3.学校における進路指導・キャリア教育の意義と原理について講義を行う。

第14回 進路指導の理論と方法（キャリアデザイン）

予習内容：先週からの続きとしてキャリア教育の関連の本を読み終える。

予習時間：120分

復習内容：授業を振り返り、「学習の軌跡」第14回記入

復習時間：15分

1.学校におけるキャリア教育の進め方について講義を行う。

2.キャリア教育の全体計画、年間指導計画の立案について講義を行う。

3.高等学校における特徴あるキャリア教育の実践例について、年間指導計画と共に紹介する。

第15回 生徒指導論のまとめ

予習内容：「学習の軌跡」の記入を点検し、振り返りを行いながら必要事項を埋めておく。提出物を整えておく。

予習時間：60分

復習内容：教科書、配布資料、「学習の軌跡」を用いて第1回からの復習を行い、試験準備を行う。

復習時間：120分

1.「学習の軌跡」を用いて、総まとめを行う。

2.「学習の軌跡」の第15回を記入する。

定期試験

定期試験を実施する。試験範囲は、学習範囲全般である。

試験を終え答案回収後、パワーポイントを用いて試験の解題を行う。

■ホームページ

科目名 :	教育相談						
英文名 :	Educational Counseling						
担当者 :	村上 凡子						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

現在、いじめや不登校といった課題に加えて、発達障害、児童虐待への対応など教育相談の領域に対する社会からの要請は大きくなっています。こうした状況を踏まえ、教員として子どもたちの多様な教育相談領域のニーズに適切に対応するために、必要な専門的知識を学びます。さらに、教育相談に求められる態度や実践力に関して講義に加えて演習形式を導入し、理論と実践双方の方向から学びを深めていきます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

この授業の到達目標は、1) 教育相談領域に関する現代の課題を確認し、教育相談の意義と役割について理解すること、2) 児童生徒理解のための基礎的知識を習得すること、3) 教育相談に必要な自己理解や対人援助に関する実践力を高めることの3点です。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
小テスト 20%
予習復習ノート 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験に関しては、試験終了後試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

小テストに関しては、15回の授業うち2回実施します。時期については初回に示します。次の回に採点したものを返却し、解説します。

予習・復習課題に関して、次の授業時間中、及び回収した翌週に確認の上返却します。必要に応じてコメントを伝えます。

■ 教科書

[ISBN]9784761920685 『入門 学校教育相談—知っておくべき基礎基本と実際の対応』(嶋崎 政男, 学事出版: 2014)

■ 参考文献

[ISBN]9784121020666 『いじめとは何か—教室の問題、社会の問題(中公新書)』(森田 洋司, 中央公論新社: 2010)

[ISBN]9784760825868 『自己カウンセリングとアサーションのすすめ』(平木 典子, 金子書房: 2000)

■ 関連科目

「生徒指導」「教育心理学」

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の規則に準じて実施します。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階 講師控室 murakami@shinai-u.ac.jp

■ オフィスアワー

授業時間の前後に質問等に応じます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 教育相談の意義と役割

予習内容: 学校教育をめぐる情報の中で、興味・関心をもった内容を記録する。

予習時間: 60分

復習内容: 復習のキーワード: 問題解決的機能、予防的機能、開発的機能 内容: 教育相談の3つの機能を、自らの中学校、高等学校時代を想起し、具体的な事例に即して的確に理解できるようノートにまとめる。

復習時間: 60分

学校教育をめぐる教育相談領域のニーズを確認し、教育相談の意義や機能とその役割を学ぶ。問題解決的機能だけでなく、問題の発生を予防する機能の重要性についても検討を深める。

第2回 教育相談に関する基本的対人態度

予習内容：キーワード：レポート（ラポール）、メラビアン法則に着目し、教科書の予習範囲の中で要点のまとめ及び意見をノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：授業で行った演習の振り返りと日常生活への応用についての意見を記述する。

復習時間：60分

積極的傾聴の態度、共感的な応答など1対1の対人援助場面における基本的な原則について、体験的に学ぶ。

第3回 児童生徒理解の方法

予習内容：キーワード：受容、繰り返し、明確化に焦点を当て、教科書の予習範囲の要点をまとめ、意見を記述する。

予習時間：60分

復習内容：本時の授業目標の到達度を自己評価し、授業で行った演習を振り返り、教職課程を履修するものとしての自己課題を記述する。

復習時間：60分

教育相談に求められる児童生徒理解の方法を多様な観点から取り上げる。またその一環として学校現場で実施可能な心理テストとその評価方法について学ぶ。

第4回 教育相談の校内体制と他職種・他機関との連携

予習内容：キーワード：スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童相談所に焦点を当て、教育相談におけるはたらきを教科書により確認し、ノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：授業で取り上げた事例をもとに、外部の専門職の名称、専門機関の名称を区別して正確に理解できるよう小テストあるいは復習シートを自ら作成し、解答する。次の回にテストあるいは復習シートに他の受講生に取り組んでもらい、その出来栄えについて検討を加える。

復習時間：60分

学級担任、教育相談担当者等から構成される校内の組織体制の在り方や、スクールカウンセラーなど外部の学校支援者及び外部機関との連携に関して事例をもとに検討する。

第5回 自己理解・人間関係づくりのための実践

予習内容：キーワード：構成的グループ・エンカウンターの意味および教育相談における意義を教科書により確認し記述する。中学生、高校生の時代に体験していれば、その内容も記述する。

予習時間：60分

復習内容：授業で実践した構成的グループ・エンカウンターすべての過程において振り返りを行い、教育相談における意義について体験に基づいた意見を記述する。

復習時間：60分

児童生徒を対象として個別的援助法及び、学級集団を対象とした人間関係づくりの方法を取り上げる。特に、構成的グループエンカウンター技法に焦点を当て、理論と実践双方を取り上げる。

第6回 共感能力、自己表現力を高めるための実践

予習内容：キーワード：アサーション・トレーニングについて理論的に理解するために教科書の内容をまとめ、日常生活におけるアサーションについて振り返りを行い、記述する。

予習時間：60分

復習内容：授業で実践的に学んだアサーション・トレーニングの振り返りを行う。学校教育における応用についての意見を記述する。

復習時間：60分

教員が行う教育相談の実践に必要な資質と能力を高めるために、共感能力や自己表現力の向上をめざして自己主張トレーニングを中心的に学ぶ。

第7回 自己調整力を高めるための実践

予習内容：キーワード：アンガーマネジメントの概念と実践方法を自らの中学生、高校生の時代の出来事と関連付けて理解し、教科書の内容をもとにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：授業でのアンガーマネジメントの実践を振り返り、日常生活上での実践について、また教育相談場面での活用について意見を記述する。

復習時間：60分

生徒のみならず教員の自己調整力を高めるために、アンガーマネジメントの技法を体験し、望ましくない行動をとる生徒への対応を検討する。

第8回 発達障害に関する基礎的理解と対応の原則

予習内容：キーワード：神経発達症、限局的学習症、注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症に着目し、教科書の内容をもとに、自ら神経発達症児・者とのかかわりを踏まえて、適切な対応をまとめる。

予習時間：60分

復習内容：授業で取り上げた内容について振り返り、当事者と周りの子どもとの相互理解が深まるような指導の在り方について意見を記述する。

復習時間：60分

特別支援教育の対象となる神経発達症のある子どもの特性を確認し、当事者への支援に加えて、周囲との相互理解が深まるような実践について検討する。

第9回 発達障害児への特別支援教育

予習内容：キーワード：第8回に配布した事例について、個別の指導計画を自分なりに作成する。

予習時間：60分

復習内容：受講生同士の意見交流、教員からの情報提示を踏まえて、①障害への理解、②個別の指導計画作成に必要な能力という観点から意見を記述する。

復習時間：60分

個別の指導計画の策定に必要な基本的事項を理解し、通常の学級における授業上の配慮や、学級経営などの多角的な視点から、提示された指導計画に関して検討を加える。

第10回 「いじめ」に関する基礎理論

予習内容：キーワード：いじめの定義、いじめの四層構造、傍観者、観衆に着目し、各概念を記述する。また、いじめの発生と持続の要因について意見をノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：授業で確認した基本的事項(キーワード)を確実に理解するために自力で小テストを作成し、自ら解答する。次の回に自作の小テストに他の受講生に解答してもらおう。その出来栄えについて検討を加える。

復習時間：60分

いじめの四層構造の基礎理論を取り上げる。また、いじめ同調傾向に関する研究や欧米諸国との比較研究に触れながら、我が国におけるいじめの特徴について考察を加える。

第11回 「いじめ」への対応の原則

予習内容：キーワード：学校ストレス、共感性に着目し、「学校ストレス」の構成要素を自らの経験に基づき記述する。また、自ら共感性を發揮した場面も記述する。

予習時間：60分

復習内容：授業の内容を踏まえ、いじめの発生を減少させるための日ごろの学校教育の在り方について意見を記述する。

復習時間：60分

いじめが発生してからの問題解決機能及び、いじめを予防するための開発的機能としての実践法を検討する。本講義で取り上げた方法の有効性も考究する。

第12回 「不登校」への対応

予習内容：キーワード：不登校の定義および長期欠席との関連を確認し記述する。不登校率が減少しない理由について意見を記述する。

予習時間：60分

復習内容：授業の内容を踏まえ、不登校の予防と生じた際に対応について振り返り、記述する。

復習時間：60分

不登校と長期欠席について多様な観点から理解を深め、問題解決的機能と開発的機能の双方の観点から実践的に学ぶ。

第13回 児童虐待に関する基礎的理解

予習内容：児童福祉法第一条をノートに写す。児童虐待の世界標準の4類型について資料をもとに記述し、区別して理解する。児童虐待の世代間伝播率についての予測を書く。

予習時間：60分

復習内容：授業の内容を踏まえ、児童虐待に関する基本的事項について、長期記憶として貯蔵されるよう、自作の小テストあるいは復習シートを考案し、取り組む。次の回にテストあるいは復習シートに他の受講生に取り組んでもらい、その出来栄えについて検討を加える。

復習時間：60分

我が国における重大な社会的課題としての児童虐待の問題を取り上げる。その実態、発生要因、対応の原則について検討する。

第14回 被虐待児への対応

予習内容：配布資料をもとに、被虐待児が在籍するクラスでいじめの抑止に成功した要因について、当事者と周囲の子ども双方への働きかけに関する教員の実践をまとめる、

予習時間：60分

復習内容：グループ討議を踏まえて、予習内容を深め、配慮を要する子どもが在籍するクラスでいじめを抑止する実践の要点をまとめる。

復習時間：60分

被虐待児の小学校から中学校までの成長過程に関して、被虐待経験からの回復と当事者に対するいじめの抑止という観点から教員がどのような役割を果たすべきか検討する。

第15回 教育相談における保護者対応

予習内容：共感的理解を保護者に示すための原則について、事前に配布された事例について、「教育相談」で取り上げた基本的な対人態度の原則を踏まえて、保護者への対応を記述する。

予習時間：60分

復習内容：授業での実践を通して、得たことと課題を記述する。

復習時間：60分

当事者の保護者への対応についての原則を示し、役割演技等を通して実践的に学ぶ。

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	教育実習特講						
英文名 :	A Theory of Teaching Practice						
担当者 :	渡部 容子・小田 義隆						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

教育実習は教職課程を履修した者のみが経験できる重要な実践的学習である。教育実習を通して、教職の意味を実践的に把握し、教職の道を人生の生き方として選択するケースも多い。講義のほか、学生自身が模擬授業を立案・実施し、それをもとにグループによる討論や相互の検討を行い、実践的に教科指導に必要な課題を認識し、教材、生徒、教師によって構成される授業とは何かについて考察を深め、次年度の教育実習に備える。

■ 学習・教育目標及び到達目標

教職課程における学修を基盤に、実習校及び生徒に対する責任感をもって教科指導（授業）の実習に取り組むことができるように、教材研究、学習指導案作成、授業過程の構想づくり、授業における生徒理解の在り方等、教師の職務に必要な基礎的な力量を形成する。

■ 成績評価方法および基準

学習指導案の作成 40%
 模擬授業 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業終了後に試験・課題の評価に関する要点を解説する。

■ 教科書

『理系のための教育実習ハンドブック』（渡部容子・小田義隆，近畿大学：2018）
 【留意事項】参考文献のうち教育実習を行う学校種の解説総則編・解説教科編をテキストとする。
 ※中学校免許取得者は以下のテキストも必ず購入すること。
 『よくわかる社会福祉施設—教員免許志願者のためのガイドブック』（全国社会福祉協議会：2015）[ISBN]9784793511578

■ 参考文献

『中学校学習指導要領 平成20年3月告示』（文部科学省，東山書房：2008）
 『中学校学習指導要領解説 総則編』（文部科学省，ぎょうせい：2008）
 『中学校学習指導要領解説 理科編』（文部科学省，大日本図書：2008）
 『中学校学習指導要領解説 数学編—平成20年9月』（文部科学省，教育出版：2008）
 『中学校学習指導要領解説 道徳編』（文部科学省，日本文教出版：2008）
 『高等学校学習指導要領』（文部科学省，東山書房：2011）
 『高等学校学習指導要領解説 総則編〔平成21年〕』（文部科学省，東山書房：2009）
 『高等学校学習指導要領解説 数学編理数編』（文部科学省，実教出版：2009）
 『高等学校学習指導要領解説 理科編理数編』（文部科学省，実教出版：2009）
 『高等学校学習指導要領解説 情報編』（文部科学省，開隆館出版販売：2010）
 [ISBN]9784761920487 『新版 教育実習安心ハンドブック』（小山 茂喜，学事出版：2014）
 [ISBN]9784054057050 『学習指導案と分かる授業のつくり方：プロ教師になる！（教育ジャーナル選書）』（大木 光夫，学研教育みらい：2013）
 [ISBN]9784091050151 『教育実習完璧ガイド：実習生・受け入れ校必携（教育技術MOOK）』（宮崎 猛，小学館：2015）
 [ISBN]9784906768288 『アクティブ・ラーニング対応 わかる！書ける！ 授業改善のための学習指導案 教育実習・研究授業に役立つ』（藤村 裕一，ジャムハウス：2015）
 [ISBN]9784382057234 『アクティブラーニング入門（アクティブラーニングが授業と生徒を変える）』（小林昭文，産業能率大学出版部：2015）

■ 関連科目

教職課程科目のすべて

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

渡部研究室（2号館5階507室）・ywtnb@waka.kindai.ac.jp

小田研究室（2号館5階509室）・oda@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

渡部・水曜 2 限

小田・木曜 4 限

事前にメールにてアポイントメントをとってください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 教育実習の目的と授業

予習内容：教育実習への心構えを考える

予習時間：30分

復習内容：教育実習の意義をまとめる。

復習時間：30分

第2回 教育実習の視点（生徒、教職員との関係）、学習指導案の作成方法

予習内容：学習指導案の書き方を自分なりに考える。

予習時間：30分

復習内容：講義で習った近畿大学生物理工学部の学習指導案の書き方を復習する。

復習時間：30分

第3回 学生による模擬授業 1（以下、教科・学校種により班を編成する）

予習内容：学習指導案を作成する。

予習時間：30分

復習内容：作成して実施した学習指導案をブラッシュアップする。

復習時間：30分

第4回 学生による模擬授業 2

予習内容：学習指導案を作成する。

予習時間：30分

復習内容：作成して実施した学習指導案をブラッシュアップする。

復習時間：30分

第5回 学生による模擬授業 3

予習内容：学習指導案を作成する。

予習時間：30分

復習内容：作成して実施した学習指導案をブラッシュアップする。

復習時間：30分

第6回 学生による模擬授業 4

予習内容：学習指導案を作成する。

予習時間：30分

復習内容：作成して実施した学習指導案をブラッシュアップする。

復習時間：30分

第7回 学生による模擬授業 5

予習内容：学習指導案を作成する。

予習時間：30分

復習内容：作成して実施した学習指導案をブラッシュアップする。

復習時間：30分

第8回 学生による模擬授業 総括

予習内容：学習指導案を作成する。

予習時間：30分

復習内容：作成して実施した学習指導案をブラッシュアップする。

復習時間：30分

■ ホームページ

科目名 :	教職実践演習（中・高）				
英文名 :	Seminar for Prospective Teachers(Junior and Senior High School)				
担当者 :	渡部 容子・小田 義隆				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

本演習では、教職課程の最終段階として、自らの学びを振り返り、特に補充・発展させるべき自己の課題を明らかにする。そのために、「履修カルテ」を活用した省察とグループディスカッション、教育実習での研究授業を発展させた模擬授業と相互評価、学校見学や授業見学などの教育フィールドワーク、重要なテーマ別のゲストスピーカーを交えた講話とディスカッションなどを行う。少人数でのグループ活動、学外での学び、外部講師の招聘などを含んでおり、特に積極的な授業参加と、自らの資質・能力の向上を目指す意欲が必要である。

■ 学習・教育目標及び到達目標

中学校教諭・高等学校教諭として必要な基礎的な知識と専門性の形成に関して、以下の4項目について確認し、自己の課題を明らかにする。

- ① 教育に対する使命感や責任感を持ち、生徒に対する愛情が豊かであること。
- ② 社会性や対人関係、コミュニケーションの能力が適切であること。
- ③ 生徒や学校に関する必要な知識や対応能力の基礎を身に付けていること。
- ④ 理科もしくは数学科についての専門的指導力の基礎を形成していること。

■ 成績評価方法および基準

授業課題 50%
 総括レポートおよび履修カルテ 40%
 授業への積極的参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎回の授業課題については、原則翌週に講評を行う。総括レポートについては、担当者が講評を書き込み「履修カルテ」と共に卒業までの期間に返却する。

■ 教科書

指定しない。

【留意事項】関連の既習教科書・学習指導要領等を適宜参照のこと。必要な回には資料を配布する。

■ 参考文献

指定しない。

【留意事項】関連の既習参考書・学習指導要領・中央教育審議会答申等を適宜参照のこと。新刊を含めて、参考となる文献は授業時に適宜紹介するので、これまで読書計画に加えて読むことが望ましい。

■ 関連科目

教職科目全般

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

渡部研究室（2号館5階） ywtbn@waka.kindai.ac.jp
 小田研究室（2号館5階） oda@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

渡部・水曜2限
 小田・木曜4限
 事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 履修カルテを使った振り返りⅠ（全般について）

予習内容：・「履修カルテ」を十分に整理し、必要なところをすべて記入しておく。

・教職課程の履修状況、成績等から自らの到達点を考え、補うべきところ、伸ばしていきたいところについて考えをまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：グループディスカッションを通して、再度自分の課題について考え、総括レポートに繋がるように書き留めておく。

復習時間：30分

- 1.授業オリエンテーション…この科目の趣旨、ねらい、評価等について説明の後、「授業計画表」および「課題一覧」を配布し、詳細を説明する。
- 2.グループ分けを行う。
- 3.「履修カルテ」の記入を確認した後、グループごとに、それぞれの学びの振り返りについて意見交換を行う。

第2回 履修カルテを使った振り返りⅡ（教育実習を中心に）

予習内容：教育実習を中心に振り返りを行い、後輩にアドバイスをするとすれば、という想定でまとめておく。

予習時間：40分

復習内容：【履修カルテ】「履修カルテ」は、「教職実践演習」最終回後に提出する必要があるため、教育関係書の読書やボランティアなどを継続して進める。

復習時間：40分

- 1.教育実習、スクール・インターンシップ、ボランティアなど学外での学びを中心に振り返りを行い、グループごとに意見交換を行う。
- 2.グループディスカッションの結果は、第1回と合わせて「後輩へのアドバイス」としてグループごとにまとめて提出する。

第3回 授業の方法と技術Ⅰ

予習内容：教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。

予習時間：90分

復習内容：【課題①】模擬授業の講評も踏まえて、学習指導案を更に改良したものを提出用に用意しておく。

復習時間：90分

- ・教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、それをもとに模擬授業を順次行う。
- ・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
- ・授業者は、事前に学習指導案を用意し（教員用2部、グループ員用各1部）、必要な教具も用意する。
- ・模擬授業の前には、授業の背景、意図、改善点などをプレゼンテーションし、終了後は質疑応答を行う。
- ・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

予習内容：教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。

第4回 授業の方法と技術Ⅱ

予習内容：教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。

予習時間：90分

復習内容：【課題①】模擬授業の講評も踏まえて、学習指導案を更に改良したものを提出用に用意しておく。

復習時間：90分

- ・教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、それをもとに模擬授業を順次行う。
- ・グループごとの発表順に従い、司会、タイムキーパーが進行する。
- ・授業者は、事前に学習指導案を用意し（教員用2部、グループ員用各1部）、必要な教具も用意する。
- ・模擬授業の前には、授業の背景、意図、改善点などをプレゼンテーションし、終了後は質疑応答を行う。
- ・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

予習内容：教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。

第5回 授業の方法と技術Ⅲ

予習内容：教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。

予習時間：90分

復習内容：【課題①】模擬授業の講評も踏まえて、学習指導案を更に改良したものを提出用に用意しておく。

復習時間：90分

- ・教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、それをもとに模擬授業を順次行う。
- ・グループごとの発表順に従い、司会、タイムキーパーが進行する。
- ・授業者は、事前に学習指導案を用意し（教員用2部、グループ員用各1部）、必要な教具も用意する。
- ・模擬授業の前には、授業の背景、意図、改善点などをプレゼンテーションし、終了後は質疑応答を行う。
- ・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第6回 教育フィールドワークⅠ（学校見学）

予習内容：見学する学校のHPを調べ、学校の沿革や教育方針、特色などを事前によく把握する。

予習時間：60分

復習内容：教育フィールドワークのまとめの一部として見学したことの内容をまとめておく。

復習時間：20分

- ・教育フィールドワークは、和歌山県内の中学校で実施予定である。
- ・事前に資料を配布し説明を行う。必要な申込み、誓約書の提出などを期限までに行っておくこと。
- ・学校の施設・設備、環境が、生徒の学習や活動および当該校の特色とどのように関わっているのかを意識しながら見学を行う。

第7回 教育フィールドワークⅡ（授業見学）

予習内容：見学する教科の単元などを予め調べ、熟知しておくこと。自分の免許状取得予定教科であれば、自らの学習指導案を立案するところまで予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：教育フィールドワークのまとめの一部として授業見学の感想をまとめておく。

復習時間：60分

- ・和歌山県内の中学校の公開授業に参加予定である。
- ・質疑応答や講評会への参加も可能であれば行う。

第8回 教育フィールドワークⅢ（学校経営・教員研修の実際）

予習内容：研修テーマについて事前学習を行う。関連する書籍や統計、白書、答申などに目を通して、発表や討議が理解できるように準備する。

予習時間：60分

復習内容：【課題②】研修見学の内容と感想をまとめ、前回・前々回と合わせて、教育フィールドワークのまとめを作成する。

復習時間：90分

- ・和歌山県内の中学校の研修会へ参加予定である。
- ・学校経営の方針・実践について知り、同時に教員研修の実際を学ぶ。

第9回 授業の方法と技術Ⅳ

予習内容：教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。

予習時間：90分

復習内容：【課題①】模擬授業の講評も踏まえて、学習指導案を更に改良したものを提出用に用意しておく。

復習時間：90分

- ・教育実習の研究授業で用いた学習指導案を改善し、それをもとに模擬授業を順次行う。
- ・グループごとの発表順に従い、司会、タイムキーパーが進行する。
- ・授業者は、事前に学習指導案を用意し（教員用2部、グループ員用各1部）、必要な教具も用意する。
- ・模擬授業の前には、授業の背景、意図、改善点などをプレゼンテーションし、終了後は質疑応答を行う。
- ・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。
- ・各グループで、優れた模擬授業を行ったものを代表として選ぶ。

第10回 授業の方法と技術Ⅴ

予習内容：代表者は、行った模擬授業の略案を提出し、授業の準備を行う。

予習時間：60分

復習内容：【課題③】これまでの模擬授業の感想票を完成する。

復習時間：20分

- ・各グループの代表が、全員の前で模擬授業を行う。
- ・代表者は、学習指導案（略案）を教員に予め提出しておく。
- ・全体で講評会を行う。

第11回 学級経営の実際と留意点

予習内容：学校経営に関連した既習科目を復習する。

予習時間：60分

復習内容：【課題④】提出する感想文を書く。

復習時間：60分

1. 現職教員をゲストスピーカーとして招き、学級経営の実際と留意点についてお話を伺う。
2. 講師との質疑応答を行う。
3. グループディスカッションで、自らの課題に引き付けて学ぶ。

第12回 特別支援教育の実際と留意点

予習内容：特別支援教育や発達障害に関連した本を新たに1冊以上読んで出席すること。

予習時間：120分

復習内容：【課題⑤】提出する感想文を書く。

復習時間：60分

1. 現職教員をゲストスピーカーとして招き、特別支援教育の実際と留意点についてお話を伺う。
2. 講師との質疑応答を行う。
3. グループディスカッションで、自らの課題に引き付けて学ぶ。

第13回 ソーシャルワークと生徒支援

予習内容：関連する新聞記事を検索し、ブックレット、本を新たに1冊以上読む。

予習時間：120分

復習内容：【課題⑥】提出する感想文を書く。

復習時間：60分

1. ソーシャルワーカーをゲストスピーカーとして招き、困難な状況にある子どもたちや家庭の実態、支援の在り方、学校と福祉機関との連携等についてお話を伺う。
2. 講師との質疑応答を行う。
3. グループディスカッションで、自らの課題に引き付けて学ぶ。

第14回 これからの学校と教師の課題

予習内容：「これからの学校と教師の課題」に関連する興味あるトピックについて調べ、グループでディスカッションができる資料を作成する。

予習時間：60分

復習内容：ディスカッションの内容、自分の考え等をまとめておく。

復習時間：40分

- ・外部講師による連続講話も踏まえ、テーマについて各グループでディスカッションを行う。
- ・資料を添えて各自1つのトピックを持ち寄り、それを素材として話し合う。
- ・自らの振り返りや課題発見と繋げることが望ましい。

第15回 「教職実践演習」と教職課程履修のまとめ

予習内容：「教職実践演習」を振り返り、何を得たのか発表できるように考えを深めておく。

予習時間：60分

復習内容：【総括レポート】総括レポートの作成

復習時間：120分

1. 全体で「教職実践演習」での学びを総括し、何を学び取ったのかそれぞれ発表を行う。
2. 総括レポートについて説明を行う。

■ホームページ

科目名 :	理科教育法 I						
英文名 :	Methodology of Teaching Science I						
担当者 :	伊丹 芳徳						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本科目は、教育職員免許法「教職課程及び指導法に関する科目」に定められた理科教育免許の取得に必修の科目です。中学校学習指導要領 理科編ならびに高等学校学習指導要領 理科編 理数編に沿った教育実践力の習得とともに、自然科学に関する素養を涵養します。

この科目の修得は「近畿大学における教員養成の理念と目的」の、とりわけ「2. 教員に求められる専門性、実践的指導力の養成」の達成に関与しています。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者はこの授業を受講することによって

- ①小学校・中学校・高等学校の理科教育の学習体系を把握し
- ②中学校や高等学校での理科教育の授業指導案を作成する能力を習得し
- ③理科教育の授業展開の実践力を養います

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

演習レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に模範答案(印刷物)を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784402085285 『未来へひろがるサイエンス 1』平成30年度用中学校理科教科書1年本冊』(啓林館)

[ISBN]9784402085292 『未来へひろがるサイエンス 1』平成30年度用中学校理科教科書1年マイノート』(啓林館)

[ISBN]9784402085308 『未来へひろがるサイエンス 2』平成30年度用中学校理科教科書2年本冊』(啓林館)

[ISBN]9784402085315 『未来へひろがるサイエンス 2』平成30年度用中学校理科教科書2年マイノート』(啓林館)

[ISBN]9784402085322 『未来へひろがるサイエンス 3』平成30年度用中学校理科教科書3年本冊』(啓林館)

[ISBN]9784402085339 『未来へひろがるサイエンス 3』平成30年度用中学校理科教科書3年マイノート』(啓林館)

また適宜、プリントを配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784827815405 『中学校学習指導要領』(文部科学省, 東山書房)

[ISBN]9784827815412 『高等学校学習指導要領 平成21年3月』(文部科学省, 東山書房: 2015)

また適宜、授業中に紹介します。

■ 関連科目

理科教育法特講 I, 理科教育法 II, 理科教育法特講 II および他の教職課程教科・科目

■ 授業評価アンケート実施方法

本学実施規定に準拠して行います

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)

itami.y@hb.tp1.jp

■ オフィスアワー

当該科目授業時間後の約2時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション「理科教員養成と理科教育法 I」

予習内容：理科教員採用試験内容についてネット検索する
予習時間：30分
復習内容：実施した理科教員採用試験過去問の答え合わせを行う
復習時間：60分

- ①授業内容の概要と成績評価方法の説明
- ②都道府県の教員採用試験の概要
- ③教員採用試験過去問の解説

第2回 理科教員採用試験問題の研究

予習内容：理科教員採用試験方法についてネット検索等を行う
予習時間：30分
復習内容：理科教員採用試験の分析を行う
復習時間：60分

- ①理科教員採用試験方法と過去問についての解説

第3回 学習指導要領と教科書(物理・化学)との関係

予習内容：中・高校の学習指導要領 理科を一読する
予習時間：30分
復習内容：学習指導要領と中学・高校の理科教科書(物理・化学)との関係をまとめる
復習時間：60分
物理・化学分野に関する学習指導要領と中学・高校の理科教科書との関係について理解する

第4回 学習指導要領と教科書(生物・地学)との関係

予習内容：中・高校の学習指導要領 理科を再読する
予習時間：30分
復習内容：学習指導要領と中学・高校の理科教科書(生物・地学)との関係をまとめる
復習時間：60分
生物・地学分野に関する学習指導要領と中学・高校の理科教科書との関係について理解する

第5回 理科教育の捉え方・考え方

予習内容：学習指導要領 理科の変遷について調べる
予習時間：30分
復習内容：学習指導要領 理科の変遷をまとめる
復習時間：60分
学習指導要領 理科の変遷をたどり、現在から将来にわたって求められる理科教育の在り方について考える

第6回 理科教育と科学技術との関連

予習内容：理科教育に期待される項目を調べる
予習時間：30分
復習内容：理科教育が科学技術の継承・発展に果たす役割をまとめる
復習時間：60分
理科教育が科学技術の継承・発展に果たす役割をOECDの調査結果報告等を基に研究する

第7回 科学実験と安全管理

予習内容：科学実験での安全管理を調べる
予習時間：30分
復習内容：学校管理下での科学実験での安全管理をまとめる
復習時間：60分
学校管理下での科学実験での安全管理について、法的根拠、安全管理、事故例などを研究する

第8回 授業研究(物理)

予習内容：中学校「エネルギー分野」内容構成を把握する
予習時間：30分
復習内容：中学校「エネルギー分野」の指導案を作成する
復習時間：60分
「エネルギー分野」に関する授業計画、授業指導案の作成、模擬授業

第9回 授業研究(化学)

予習内容：中学校「粒子分野」の内容構成を把握する
予習時間：30分
復習内容：中学校「粒子分野」の指導案を作成する
復習時間：60分
「粒子分野」に関する授業計画、授業指導案の作成、模擬授業

第10回 授業研究(生物)

予習内容：中学校「生命分野」の内容構成を把握する

予習時間：30分

復習内容：中学校「生命分野」の指導案を作成する

復習時間：60分

「生命分野」に関する授業計画，授業指導案の作成，模擬授業

第11回 授業研究「地学」

予習内容：中学校「地球分野」の内容構成を把握する

予習時間：30分

復習内容：中学校「地球分野」の指導案を作成する

復習時間：60分

「地球分野」に関する授業計画，授業指導案の作成，模擬授業

第12回 学習指導計画での板書について(物理)

予習内容：中学校「エネルギー分野」板書のあり方について調べる

予習時間：30分

復習内容：中学校「エネルギー分野」での板書案の作成

復習時間：60分

「エネルギー分野」学習指導計画での板書案の作成，模擬授業

第13回 学習指導計画での板書について(化学)

予習内容：中学校「粒子分野」板書のあり方について調べる

予習時間：30分

復習内容：中学校「粒子分野」での板書案の作成

復習時間：60分

「粒子分野」学習指導計画での板書案の作成，模擬授業

第14回 学習指導計画での板書について(生物)

予習内容：中学校「生命分野」板書のあり方について調べる

予習時間：30分

復習内容：中学校「生命分野」での板書案の作成

復習時間：60分

「生命分野」学習指導計画での板書案の作成，模擬授業

第15回 学習指導計画での板書について(地学)

予習内容：中学校「地球分野」板書のあり方について調べる

予習時間：30分

復習内容：中学校「地球分野」での板書案の作成

復習時間：60分

「地球分野」学習指導計画での板書案の作成，模擬授業

定期試験

- ・学習指導「理科」に関する論述
- ・授業指導案の作成
- ・理科一般教養・教職教養問題

■ホームページ

科目名 :	理科教育法Ⅱ						
英文名 :	Methodology of Teaching Science II						
担当者 :	伊丹 芳徳						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

本科目は、理科教育法Ⅰに引き続いて行う、理科教員免許の取得に必修な科目で、学習指導要領 理科に基づいて授業計画や理科教材の作成、授業展開等の教育実践力を育むとともに、自然科学についての素養を培います。

この科目の修得は「近畿大学における教員養成の理念と目的」の、とりわけ「2. 教員に求められる専門性、実践的指導力の養成」の達成に關与しています。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本科目を受講することで、

- ①学校での理科教育の目標についての理解を深め
- ②理科教育体系を把握し
- ③理科の授業計画を立案し、実施する等の教育実践力を高めます

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

演習レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に模範答案(印刷物)を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784402085285 『未来へひろがるサイエンス 1』平成30年度用中学校理科教科書1年本冊』（啓林館）

[ISBN]9784402085292 『未来へひろがるサイエンス 1』平成30年度用中学校理科教科書1年マイノート』（啓林館）

[ISBN]9784402085308 『未来へひろがるサイエンス 2』平成30年度用中学校理科教科書2年本冊』（啓林館）

[ISBN]9784402085315 『未来へひろがるサイエンス 2』平成30年度用中学校理科教科書2年マイノート』（啓林館）

[ISBN]9784402085322 『未来へひろがるサイエンス 3』平成30年度用中学校理科教科書3年本冊』（啓林館）

[ISBN]9784402085339 『未来へひろがるサイエンス 3』平成30年度用中学校理科教科書3年マイノート』（啓林館）

また適宜、プリントを配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784827815405 『中学校学習指導要領』（文部科学省, 東山書房）

[ISBN]9784827815412 『高等学校学習指導要領 平成21年3月』（文部科学省, 東山書房 : 2015）

また適宜、授業中に紹介します

■ 関連科目

理科教育法Ⅰ, 理科教育法特講Ⅰ, 理科教育法特講Ⅱおよび他の教職課程科目

■ 授業評価アンケート実施方法

本学実施規程に準拠して行います

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)

itami.y@hb.tp1.jp

■ オフィスアワー

当該科目授業後の約2時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション「理科教員養成と理科教育法Ⅱについて」

予習内容：教員採用試験についての調査を行う

予習時間：30分

復習内容：教員採用試験過去問を研究する

復習時間：60分

①授業内容と成績評価の説明

②教員採用試験の実施形態と過去問

第2回 授業展開事例研究(物理)

予習内容：「力の合成・分解」について復習する

予習時間：30分

復習内容：「力の合成・分解」に関する問題を解く

復習時間：60分

①力の合成・分解

②関連する教採過去問研究

第3回 授業展開事例研究(物理)

予習内容：「運動」についての復習を行う

予習時間：30分

復習内容：「運動」についての問題を解く

復習時間：60分

①力と運動

②関連する教採過去問研究

第4回 授業展開事例研究(物理)

予習内容：「エネルギー」を復習する

予習時間：30分

復習内容：「エネルギー」についての問題を解く

復習時間：60分

①エネルギー

②関連する教採過去問研究

第5回 授業展開事例研究(化学)

予習内容：「水溶液」を復習する

予習時間：30分

復習内容：「水溶液」についての問題を解く

復習時間：60分

①教科書内容の研究（水溶液）

②小テストを作成，実施する授業展開の検討

③簡易模擬授業の実施

第6回 授業展開事例研究(生物)

予習内容：「遺伝」を復習する

予習時間：30分

復習内容：「遺伝」についての問題を解く

復習時間：60分

①教科書内容の研究（遺伝）

②小テストを作成，実施する授業展開の検討

③簡易模擬授業の実施

第7回 授業展開事例研究(地学)

予習内容：「太陽系・宇宙」を復習する

予習時間：30分

復習内容：「太陽系・宇宙」についての問題を解く

復習時間：60分

①教科書内容の研究（太陽系、宇宙）

②小テストを作成，実施する授業展開の検討

③簡易模擬授業の実施

第8回 授業展開事例研究(化学)

予習内容：「中和」を復習する

予習時間：30分

復習内容：「中和」についての問題を解く

復習時間：60分

- ①教科書内容の研究（化学：中和）
- ②小テストを作成，実施する授業展開の検討
- ③簡易模擬授業の実施

第9回 「環境」分野での授業展開研究

予習内容：「環境」について復習する

予習時間：30分

復習内容：「環境」についての問題を解く

復習時間：60分

- ①「環境」内容の研究
- ②小テストを作成，実施する授業展開の検討
- ③簡易模擬授業の実施

第10回 「物理」分野での授業展開研究

予習内容：「力と運動」の小テストを作成する

予習時間：30分

復習内容：「力と運動」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①「力と運動」内容の研究
- ②小テストを作成，実施する授業展開の検討
- ③簡易模擬授業の実施

第11回 「物理」分野での授業展開研究

予習内容：「比熱、電気」の小テストを作成する

予習時間：30分

復習内容：「比熱、電気」の模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①「比熱、電気」内容の研究
- ②小テストを作成，実施する授業展開の検討
- ③簡易模擬授業の実施

第12回 「化学」分野での授業展開研究

予習内容：「物質、中和」の小テストを作成する

予習時間：30分

復習内容：「物質、中和」の模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①「物質、中和」内容の研究
- ②小テストを作成，実施する授業展開の検討
- ③簡易模擬授業の実施

第13回 「化学」分野での授業展開研究

予習内容：「酸化還元」の小テストを作成する

予習時間：30分

復習内容：「酸化還元」の模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①「酸化還元」内容の研究
- ②小テストを作成，実施する授業展開の検討
- ③簡易模擬授業の実施

第14回 「生物」分野での授業展開研究

予習内容：「遺伝子」の小テストを作成する

予習時間：30分

復習内容：「遺伝子」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①「遺伝子」内容の研究
- ②小テストを作成，実施する授業展開の検討
- ③簡易模擬授業の実施

第15回 「生物」分野での授業展開研究

予習内容：「体内環境の維持」の小テストを作成する

予習時間：30分

復習内容：「体内環境の維持」の模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①「体内環境の維持」内容の研究
- ②小テストを作成，実施する授業展開の検討
- ③簡易模擬授業の実施
- ④文部科学省等の答申内容研究

定期試験

- ・理科教育に関する論述
- ・授業指導案の作成
- ・理科一般教養・教職教養の問題

■ホームページ

科目名 :	理科教育法特講 I				
英文名 :	Methods for Scientific Education Special Lecture I				
担当者 :	伊丹 芳徳				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理科教育法 I に引き続き、理科教員に必要な教育関係法令の理解、授業指導案作成、教材開発実践力の伸長を図るための授業を行います。

この科目の修得は「近畿大学における教員養成の理念と目的」の、とりわけ「2. 教員に求められる専門性、実践的指導力の養成」の達成に関与しています。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本授業では

- ① 中学校理科ならびに高等学校理科の教科内容概要を理解し
- ② 学習指導要領に基づいて授業を展開し
- ③ 授業を実践する能力を養成します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

演習レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に模範答案(印刷物)を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784864553261 『教員採用試験対策オープンセサミシリーズ ステップアップ問題集 ⑤ 中学理科 2019年度版』 (東京アカデミー編、七賢出版)

また適宜、プリントを配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784010217146 『受験生の50%以下しか解けない 差がつく入試問題 理科 改訂版』 (旺文社 : 2016)

[ISBN]9784827815405 『中学校学習指導要領』 (文部科学省, 東山書房)

[ISBN]9784827815412 『高等学校学習指導要領 平成21年3月』 (文部科学省, 東山書房 : 2015)

また適宜、授業中に紹介します

■ 関連科目

理科教育法 I, 理科教育法 II, 理科教育法特講 II および他の教職課程科目

■ 授業評価アンケート実施方法

本学実施規程に準拠して行います

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)

itami.y@hb.tp1.jp

■ オフィスアワー

授業後の約1時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション「本授業と理科教員養成、教採関連事項について」

予習内容 : 理科教員に期待される項目を調べる

予習時間 : 30分

復習内容 : 教採の構成と実施形態をまとめる

復習時間：60分

①特講Ⅰの目的(理科教員の養成)、講義の構成、試験・評価の説明

②教採の構成と実施形態

第2回 教員採用試験事例研究

予習内容：教員採用試験過去問を調べる

予習時間：30分

復習内容：教員採用試験過去問を解答する

復習時間：60分

教員採用試験過去問および実施形態の解説

第3回 小・中・高校の学習内容の系統的展開について(物理・化学)

予習内容：物理・化学分野での、小・中・高校の学習内容の系統性を調べる

予習時間：30分

復習内容：物理・化学分野での、小・中・高校の学習内容の系統性をまとめる

復習時間：60分

物理・化学分野について、小・中・高校の学習内容の系統性の理解

第4回 小・中・高校の学習内容の系統的展開について(生物・地学)

予習内容：生物・地学分野での、小・中・高校の学習内容の系統性を調べる

予習時間：30分

復習内容：生物・地学分野での、小・中・高校の学習内容の系統性をまとめる

復習時間：60分

生物・地学分野について、小・中・高校の学習内容の系統性の理解

第5回 学習指導要領にみる理科教育の変遷

予習内容：学習指導要領の歴史を調べる

予習時間：30分

復習内容：理科教育の変遷を学習指導要領の改訂に沿ってまとめる

復習時間：60分

理科教育の変遷を学習指導要領の改訂に沿ってまとめ、研究する

第6回 指導法にみる理科教育の変遷

予習内容：理科教育の考え方を調べる

予習時間：30分

復習内容：系統学習や仮設実験授業、構成主義等の概要をまとめる

復習時間：60分

系統学習や仮設実験授業、構成主義などを取り上げ、自らの教育観を考える

第7回 理科での危機管理

予習内容：理科での危機管理の在り方を調べる

予習時間：30分

復習内容：理科での危機管理の事例をまとめる

復習時間：60分

理科教育についての危機管理体制の整備を目的にして、危機管理の在り方を研究する

第8回 教材研究(物理)

予習内容：物理分野(エネルギー)での教材例を調べる

予習時間：30分

復習内容：物理分野(エネルギー)での教材例をまとめる

復習時間：60分

物理分野(エネルギー)での教材開発と学習指導案の作成を行い、これを用いた模擬授業をする

第9回 教材研究(化学)

予習内容：化学分野(粒子)での教材例を調べる

予習時間：30分

復習内容：化学分野(粒子)での教材例をまとめる

復習時間：60分

化学分野(粒子)での教材開発と学習指導案の作成を行い、模擬授業をする

第10回 教材研究(生物)

予習内容：生物分野(生命)での教材例を調べる

予習時間：30分

復習内容：生物分野(生命)での教材例をまとめる

復習時間：60分

生物分野(生命)での教材開発と学習指導案の作成を行い、これを用いた模擬授業をする

第11回 教材研究(地学)

予習内容：地学分野(地球)での教材例を調べる

予習時間：30分

復習内容：地学分野(地球)での教材例をまとめる

復習時間：60分

地学分野(地球)での教材開発と学習指導案の作成を行い、これを用いた模擬授業をする

第12回 系統的な授業計画(物理)

予習内容：物理分野の学習指導案における板書案を調べる

予習時間：30分

復習内容：物理分野の学習指導案における板書案を作成する

復習時間：60分

物理分野の学習指導案における板書案を策定し、これを用いた模擬授業を行う

第13回 系統的な授業計画(化学)

予習内容：化学分野の学習指導案における板書案を調べる

予習時間：30分

復習内容：化学分野の学習指導案における板書案を作成する

復習時間：60分

化学分野の学習指導案における板書案を策定し、これを用いた模擬授業を行う

第14回 系統的な授業計画(生物)

予習内容：生物分野の学習指導案における板書案を調べる

予習時間：30分

復習内容：生物分野の学習指導案における板書案を作成する

復習時間：60分

生物分野の学習指導案における板書案を策定し、これを用いた模擬授業を行う

第15回 系統的な授業計画(地学)

予習内容：地学分野の学習指導案における板書案を調べる

予習時間：30分

復習内容：地学分野の学習指導案における板書案を作成する

復習時間：60分

地学分野の学習指導案における板書案を策定し、これを用いた模擬授業を行う

定期試験

- ①学習指導要領に沿った授業の展開の工夫について
- ②学習指導案の作成
- ③教採過去問

■ホームページ

科目名 :	理科教育法特講Ⅱ				
英文名 :	Methods for Scientific Education Special Lecture II				
担当者 :	伊丹 芳徳				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理科教員に求められる教育法規の理解や教育実践力を養成するための授業を行います。

この科目の修得は「近畿大学における教員養成の理念と目的」の、とりわけ「2. 教員に求められる専門性、実践的指導力の養成」の達成に関与しています。

■ 学習・教育目標及び到達目標

理科教育法Ⅱと関連した内容で、

- ①学習指導要領に沿った理科学習指導案の作成、
- ②作成した学習指導案に基づいた模擬授業を行い、
- ③授業実践力を養成します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

演習レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784864553261 『教員採用試験対策オープンセサミシリーズ ステップアップ問題集 ⑤中学理科 2019年度版』（東京アカデミー編、七賢出版）

また適宜、プリントを配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784010217146 『受験生の50%以下しか解けない 差がつく入試問題 理科 改訂版』（旺文社：2016）

[ISBN]9784827815405 『中学校学習指導要領』（文部科学省, 東山書房）

[ISBN]9784827815412 『高等学校学習指導要領 平成21年3月』（文部科学省, 東山書房：2015）

また適宜、授業中に紹介します

■ 関連科目

理科教育法Ⅱ、および他の教職課程科目

■ 授業評価アンケート実施方法

本学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控え室(2号館2階)

itami.y@hb.tp1.jp

■ オフィスアワー

当該科目授業後の約1時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション(授業計画と評価について)

予習内容：教員採用試験について調査する

予習時間：30分

復習内容：教員採用試験を解く

復習時間：60分

①授業計画概説と成績評価方法についての説明

②教員採用試験問題の解説

第2回 学習指導案研究(物理)

予習内容：学習指導案「力」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「力」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

①学習指導案「力」の作成

②模擬授業(板書を含む)

③実験教材「アルコールロケット」製作と実験

第3回 学習指導案研究(物理)

予習内容：学習指導案「運動」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「運動」の模擬授業を行う

復習時間：60分

①学習指導案「運動」の作成

②模擬授業(板書を含む)

③実験教材「リングキャッチャー」の活用

第4回 学習指導案研究(物理)

予習内容：学習指導案「エネルギー」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「エネルギー」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

①学習指導案「エネルギー」の作成

②模擬授業(板書を含む)

③教員採用試験過去問 検討

第5回 学習指導案研究(化学)

予習内容：学習指導案「水溶液の性質」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「水溶液の性質」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

①学習指導案「水溶液の性質」の作成

②模擬授業(板書を含む)

③教員採用試験過去問 検討

第6回 学習指導案研究(生物)

予習内容：学習指導案「遺伝」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「遺伝」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

①学習指導案「遺伝」の作成

②模擬授業(板書を含む)

③教員採用試験過去問 検討

第7回 学習指導案研究(地学)

予習内容：学習指導案「太陽系、恒星」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「太陽系、恒星」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

①学習指導案「太陽系、恒星」の作成

②模擬授業(板書を含む)

③教員採用試験過去問 検討

第8回 学習指導案研究(化学)

予習内容：学習指導案「中和」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「中和」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①学習指導案「中和」の作成
- ②模擬授業(板書を含む)
- ③教員採用試験過去問 検討

第9回 学習指導案研究(環境教育)

予習内容：学習指導案「環境教育」及び「科学技術と人間」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「環境教育」及び「科学技術と人間」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①学習指導案「環境教育」及び「科学技術と人間」の作成
- ②模擬授業(板書を含む)
- ③教員採用試験過去問 検討

第10回 学習指導実践研究(物理)

予習内容：学習指導案「力と運動」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「力と運動」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①学習指導「力と運動」の実践
- ②模擬授業と相互評価
- ③教員採用試験過去問 検討

第11回 学習指導実践研究(物理)

予習内容：学習指導案「比熱」・「電気」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「比熱」・「電気」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①学習指導「比熱」、「電気」の実践
- ②模擬授業と相互評価
- ③教員採用試験過去問 検討

第12回 学習指導実践研究(化学)

予習内容：学習指導案「物質質量」・「中和反応」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「物質質量」・「中和反応」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①学習指導「物質質量」、「中和反応」の実践
- ②模擬授業と相互評価
- ③教員採用試験過去問 検討

第13回 学習指導実践研究(化学)

予習内容：学習指導案「酸化還元」・「科学技術と人間」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「酸化還元」・「科学技術と人間」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①学習指導「酸化還元」、「科学技術と人間」の実践
- ②模擬授業と相互評価
- ③教員採用試験過去問 検討

第14回 学習指導実践研究(生物)

予習内容：学習指導案「遺伝」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「遺伝」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①学習指導「遺伝」の実践
- ②模擬授業と相互評価
- ③教員採用試験過去問 検討

第15回 学習指導実践研究(生物)並びに理科教育関連法規のまとめ

予習内容：学習指導案「恒常性」を作成する

予習時間：30分

復習内容：「恒常性」についての模擬授業を行う

復習時間：60分

- ①学習指導「恒常性」の実践
- ②模擬授業と相互評価
- ③理科教育関連法規のまとめ
- ④教員採用試験過去問 検討

定期試験

- ①理科教育関連法規
- ②理科学習指導案の作成
- ③理科専門教養問題並びに一般教養問題

■ホームページ

科目名 :	数学科教育法 I				
英文名 :	Methodology of Mathematics Education I				
担当者 :	今井 敏博				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

中学校数学科教員免許・高等学校数学科教員免許を取得するために履修する必要がある科目である。中学校教諭、高等学校教諭に必要な資質の習得を目標とする。教材内容の背景を探り、実際に教科書に掲載されている教材に結びつけていく。問答によって授業を進め、後半には演習を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

授業で扱った内容を確実に習得し、自分が授業実践を行うときに適用・応用する力を身につけることを、学習目標・教育目標・到達目標とする。

■ 成績評価方法および基準

レポート 50%
授業中課題 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては評価後コメントを記入し返却します。
授業中課題については、答案を回収し翌回の授業時間に解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784316300139 『中学校学習指導要領解説 数学編—平成20年9月』(文部科学省, 教育出版: 2008)
[ISBN]9784407319255 『高等学校学習指導要領解説数学編理数編』(文部科学省, 実教出版: 2015)
[ISBN]9784316300078 『個に応じた指導に関する指導資料—発展的な学習や補足的な学習の推進(中学校数学編)』(文部科学省, 教育出版: 2003)

■ 参考文献

[ISBN]9784491016443 『和英/英和 算数・数学用語活用辞典』(東洋館出版社: 2000)
[ISBN]9784906488261 『算数・数学教育の理論と実践—算数・数学科教育法』(正田実, 現代教育社(堺): 2003)
[ISBN]9784319106844 『教師教育講座 第14巻 中等数学教育』(小山正孝, 協同出版: 2014)
[ISBN]9784319106653 『教科教育の理論と授業〈2〉理数編(新教職教育講座)』(協同出版: 2012)
[ISBN]9784863590816 『算数・数学科教育(教科教育学シリーズ 第3巻)』(一藝社: 2015)

■ 関連科目

数学科教育法Ⅱ
数学科教育法特講Ⅰ
数学科教育法特講Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階講師控室・imai-t@maroon.plala.or.jp

■ オフィスアワー

授業時間帯の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 整除性

予習内容: 整除性という用語を調べておくこと
予習時間: 30分

復習内容：整除性を復習し、整除性を扱った授業展開例を調べること
復習時間：60分
整除性とその教材としての扱いを解説する。

第2回 順序構造と約数・倍数

予習内容：順序構造という用語を調べておくこと
予習時間：30分
復習内容：約数・倍数の図的表記を復習し、確実に理解すること
復習時間：60分
順序構造を解説し、約数・倍数との関連を考察する。

第3回 ユークリッドの互除法

予習内容：ユークリッド互除法という用語について調べておくこと
予習時間：30分
復習内容：ユークリッド互除法の方法の理解を確実にし、計算できるようにすること
復習時間：60分
ユークリッドの互除法を解説し、現在の学校数学の最大公約数の扱いと比較する。

第4回 公約数の図的表記

予習内容：約数・倍数の図的表記（第2回）を復習しておくこと
予習時間：30分
復習内容：いろいろな2つの数の公約数を図的表記から求められるようにすること
復習時間：60分
2数の公約数の図的表記に関する演習を行う。

第5回 ピタゴラス数を導く方法

予習内容：ピタゴラス数という用語を調べておくこと
予習時間：30分
復習内容：ピタゴラス数を導く方法を確実に理解し、大きい数をも求められるようにすること
復習時間：60分
ピタゴラス数を導く方法を解説し、実際にピタゴラス数を求める。

第6回 数概念の拡張 - 整数 -

予習内容：整数という用語について調べておくこと
予習時間：30分
復習内容：整数の計算の数学的定義にしたがって計算ができるように復習すること
復習時間：60分
整数の構成を数学的に解説し、教材との関連を考察する。

第7回 数概念の拡張 - 有理数 -

予習内容：有理数という用語について調べておくこと
予習時間：30分
復習内容：有理数の計算の数学的定義にしたがって計算ができるように復習すること
復習時間：60分
有理数の構成を数学的に解説し、教材との関連を考察する。

第8回 正の数・負の数に関する教材とその指導（1）

予習内容：正の数・負の数についての本講義の教科書での記述を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：正の数・負の数の授業実践例を調べること
復習時間：60分
正の数・負の数の導入教材とその指導法を考察する。

第9回 正の数・負の数に関する教材とその指導（2）

予習内容：正の数・負の数の計算に関する本講義の教科書の記述を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：正の数・負の数の計算に関する授業実践例を調べること
復習時間：60分
正の数・負の数の計算方法の意味理解に関する指導法を紹介する。

第10回 平方根の導入教材

予習内容：平方根という用語を調べておくこと
予習時間：30分

復習内容：平方根の導入に関する授業実践例を調べること

復習時間：60分

平方根の導入教材の様々を紹介する。

第11回 ルート2は有理数でないことの証明

予習内容：背理法という用語を調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：ルート2の数は有理数でないことの証明を扱った授業実践例を調べること

復習時間：60分

ルート2は有理数でないことの証明方法を難易にしたがって様々紹介する。

第12回 平方根の定義とその指導

予習内容：平方根に関する本講義の教科書での記述を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：平方根を扱った授業実践例を調べること

復習時間：60分

平方根の定義の指導を生徒の意味理解の観点から考察する。

第13回 平方根の計算とその指導（1）

予習内容：平方根の加減の計算についての本講義の教科書の記述をよんでおくこと

予習時間：30分

復習内容：平方根の加減の計算についての授業実践例を調べること

復習時間：60分

加法の意味理解を扱う

第14回 平方根の計算とその指導（2）

予習内容：平方根の乗除に関する本講義の教科書の記述を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：平方根の乗除を扱った授業実践例を調べること

復習時間：60分

乗法の意味理解を扱う。

第15回 「数」教材の学習指導要領での扱いとその変遷

予習内容：「数」教材の学習指導要領の記述を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：「数」教材の系統性についての理解を確実にすること

復習時間：60分

戦後の変遷を振り返る。

■ホームページ

近畿大学 <http://www.kindai.ac.jp>

科目名 :	数学科教育法Ⅱ						
英文名 :	Methodology of Mathematics Education II						
担当者 :	今井 敏博						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

中学校数学科教員免許・高等学校数学科教員免許を取得するために履修する必要がある科目である。中学校教諭、高等学校教諭に必要な資質の習得を目標とする。教材内容の背景を探り、実際に教科書に掲載されている教材に結びつけていく。問答によって授業を進め、後半には演習を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

授業で扱った内容を確実に習得し、自分が授業実践を行うときに適用・応用する力を身につけることを、学習目標・教育目標・到達目標とする。

■ 成績評価方法および基準

レポート 50%
授業中課題 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては、評価後コメントを記入して返却します。
授業中課題については、答案を回収し翌回の授業時間に解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784316300139 『中学校学習指導要領解説 数学編—平成20年9月』(文部科学省, 教育出版: 2008)
[ISBN]9784407319255 『高等学校学習指導要領解説数学編理数編』(文部科学省, 実教出版: 2015)
[ISBN]9784316300078 『個に応じた指導に関する指導資料—発展的な学習や補充的な学習の推進(中学校数学編)』(文部科学省, 教育出版: 2003)

■ 参考文献

[ISBN]9784491016443 『和英/英和 算数・数学用語活用辞典』(東洋館出版社: 2000)
[ISBN]9784906488261 『算数・数学教育の理論と実践—算数・数学科教育法』(正田実, 現代教育社(堺): 2003)
[ISBN]9784319106844 『教師教育講座 第14巻 中等数学教育』(小山正孝, 協同出版: 2014)
[ISBN]9784319106653 『教科教育の理論と授業〈2〉理数編(新教職教育講座)』(協同出版: 2012)
[ISBN]9784863590816 『算数・数学科教育(教科教育学シリーズ 第3巻)』(一藝社: 2015)

■ 関連科目

数学科教育法Ⅰ
数学科教育法特講Ⅰ
数学科教育法特講Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階講師控室・imai-t@maroon.plala.or.jp

■ オフィスアワー

授業時間帯の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 数の式の意味(1)

予習内容: 等号の役割について自分なりに調べておくこと
予習時間: 30分

復習内容：等号の小・中・高の校種ごとの扱いの違いについて整理すること

復習時間：60分

関係を表す記号と生徒の誤認識を扱う。

第2回 数の式の意味（2）

予習内容：演算記号、かっこの役割について自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：演算、かっこに関する授実践での指導上の留意点をまとめること

復習時間：60分

演算、かっこなどの記号と生徒の誤認識を扱う。

第3回 数の式、方程式の語源

予習内容：方程式の語源について自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：方程式を扱った和算の例について調べること

復習時間：60分

歴史的な考察を行う。

第4回 数の式の種類

予習内容：本講義の教科書における「文字と式」の部分を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：文字式の4つの分類の理解を確実にすること

復習時間：60分

オープン型・クローズド型、フレーズ型・センテンス型の分類を行う。

第5回 数の式を用いるよさ

予習内容：本講義の教科書の「数式」に関する部分を読み「よさ」という用語が用いられている箇所をチェックしておくこと

予習時間：30分

復習内容：講義で扱った内容と類似の授業実践例を調べること

復習時間：60分

数の式のよさを生徒に感得させる指導法を考察する。

第6回 数の式と思考の有効性

予習内容：逆思考、順思考という用語を調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：順思考、逆思考の違いについての理解を確実にすること

復習時間：60分

逆思考、順思考と学校数学との関連を考察する。

第7回 方程式の指導（1）

予習内容：本講義の教科書における方程式の記述について読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：方程式の文字xの扱いについての理解を確実にすること

復習時間：60分

方程式と恒等式の違い、文字xの未知数的扱いと変数的扱いの違いを考察する。

第8回 方程式の指導（2）

予習内容：本講義の教科書における方程式における変数の扱いの部分を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：学校の数学科の授業実践における方程式の導入について調べること

復習時間：60分

方程式の文字xの変数的扱いの導入を考察する。

第9回 方程式の指導（3）

予習内容：本講義の教科書における方程式の解き方の記述部分を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：方程式の解き方の授業実践例を調べること

復習時間：60分

方程式の解き方の指導例を紹介する。

第10回 方程式を用いた問題解決

予習内容：本講義の教科書における1次方程式の応用に関する記述部分を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：1次方程式の応用を扱った授業実践例を調べること
復習時間：60分
日常的な題材による方程式を用いた問題解決の指導例を紹介する。

第11回 連立方程式の指導

予習内容：本講義の教科書における連立方程式の記述部分について調べること
予習時間：30分
復習内容：加減法、代入法など連立方程式を扱った授業実践例を調べること
復習時間：60分
連立方程式の加減法、代入法の価値を考察する。

第12回 不等式の解き方（1）

予習内容：本講義の教科書における不等式の記述部分を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：命題としての不等式の見方についての理解を確実にすること
復習時間：60分
オープンセンテンスとしての不等式の見方を考察する。

第13回 不等式の指導（2）

予習内容：本講義の教科書における不等式の応用の記述部分について読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：不等式の応用を扱った授業展開例を調べること
復習時間：60分
日常的な問題解決における不等式の活用を考察する。

第14回 関数の導入

予習内容：本講義の教科書における関数の記述部分を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：関数の導入についての授業実践例を調べること
復習時間：60分
変化と対応の扱い、表・式・グラフの表現方法を考察する。

第15回 関数の定義

予習内容：関数の定義について自分なりに調べておくこと
予習時間：30分
復習内容：学校数学における関数の扱いの変遷についての理解を確実にすること
復習時間：60分
関数の定義の学校数学での扱いに関する変遷を考察する。

■ホームページ

近畿大学 <http://www.kindai.ac.jp>

科目名 :	数学科教育法特講 I				
英文名 :	The Study of Mathematics Education I				
担当者 :	今井 敏博				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

中学校数学科教員免許・高等学校数学科教員免許を取得するために選択履修することができる科目である。中学校教諭、高等学校教諭に必要な資質の習得を目標とする。教材内容の背景を探り、実際に教科書に掲載されている教材に結びつけていく。問答によって授業を進め、後半には演習を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

授業で扱った内容を確実に習得し、自分が授業実践を行うときに適用・応用する力を身につけることを、学習目標・教育目標・到達目標とする。

■ 成績評価方法および基準

レポート 50%
授業中課題 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては、評価後コメントを記入して返却します。
授業中課題については、答案を回収し翌回の授業時間に解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784316300139 『中学校学習指導要領解説 数学編—平成20年9月』(文部科学省, 教育出版: 2008)
[ISBN]9784407319255 『高等学校学習指導要領解説数学編理数編』(文部科学省, 実教出版: 2015)
[ISBN]9784316300078 『個に応じた指導に関する指導資料—発展的な学習や補足的な学習の推進(中学校数学編)』(文部科学省, 教育出版: 2003)

■ 参考文献

[ISBN]9784491016443 『和英/英和 算数・数学用語活用辞典』(東洋館出版社: 2000)
[ISBN]9784906488261 『算数・数学教育の理論と実践—算数・数学科教育法』(正田実, 現代教育社(堺): 2003)
[ISBN]9784319106844 『教師教育講座 第14巻 中等数学教育』(小山正孝, 協同出版: 2014)
[ISBN]9784319106653 『教科教育の理論と授業〈2〉理数編(新教職教育講座)』(協同出版: 2012)
[ISBN]9784863590816 『算数・数学科教育(教科教育学シリーズ 第3巻)』(一藝社: 2015)

■ 関連科目

数学科教育法 I
数学科教育法 II
数学科教育法特講 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階講師控室・imai-t@maroon.plala.or.jp

■ オフィスアワー

授業時間帯の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 平面図形の指導(1)

予習内容: 本講義の教科書における平行線、三角形の合同条件に関する記述箇所を読んでおくこと
予習時間: 30分

復習内容：平行線、三角形の合同条件に関する授業実践例を調べること
復習時間：60分
平行線、三角形の合同条件の指導法を、生徒の誤認識を含めて考察する。

第2回 平面図形の指導（2）

予習内容：本講義の教科書における三角形の性質、平行四辺形の性質に関する記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：三角形の性質、平行四辺形の性質を扱った授業実践例を調べること
復習時間：60分
三角形の性質、平行四辺形の性質とその指導を考察する。

第3回 図形の論証

予習内容：本講義の教科書における平面図形の論証に関する記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：平面図形の証明を扱った授業実践例を調べること
復習時間：60分
平面図形に関する証明問題の指導を考察する。

第4回 相似の導入

予習内容：本講義の教科書における相似に関する記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：相似の証明を扱った授業実践例を調べること
復習時間：60分
相似の定義、相似の位置などの基本的概念の指導を考察する。

第5回 平行線と線分の比の指導

予習内容：本講義の教科書における平行線と線分の比に関する記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：平行線と線分の比に関する授業実践例を調べておくこと
復習時間：60分
相似との関連から、種々の性質の指導を考察する。

第6回 円に関する性質の指導

予習内容：本講義における円に関する性質の記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：円に関する性質の授業実践例を調べておくこと
復習時間：60分
2つの円の位置関係、円周角と中心角、円に内接する四角形に関する証明とその指導を考察する。

第7回 三平方の定理の指導

予習内容：本講義の教科書における三平方の定理の記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：三平方の定理を扱った授業実践例を調べること
復習時間：60分
いくつかの証明方法を考察する。

第8回 確率教材の導入

予習内容：本講義の教科書における確率に関する記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：確率の導入を扱った授業実践例を調べること
復習時間：60分
確率の概念（ラプラス流、ミーゼス流）を解説する。

第9回 場合の数の指導

予習内容：本講義の教科書における場合の数に関する記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分
復習内容：場合の数を扱った授業実践例を調べること
復習時間：60分
和の法則、積の法則を扱う。

第10回 確率の求め方

予習内容：本講義の教科書における確率の計算の記述箇所を読んでおくこと
予習時間：30分

復習内容：確率の計算を扱った授業実践例を調べること

復習時間：60分

確率の加法性、確率の乗法性について扱う。

第11回 統計の基本

予習内容：本講義の教科書における統計に関する記述箇所を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：平均や標準偏差を扱った授業実践例を調べること

復習時間：60分

代表値と偏差の概念について扱う。

第12回 正規分布

予習内容：本講義の教科書における正規分布の記述箇所を読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：正規分布を扱った授業実践例を調べること

復習時間：60分

正規分布、標準得点について解説する。

第13回 2つの平均値の差の検定

予習内容：平均値の差の検定について自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：平均値の差の検定の社会での応用について考察すること

復習時間：60分

t検定の手法について解説する。

第14回 カイ二乗検定

予習内容：カイ二乗検定について自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：カイ二乗検定の社会での応用について考察すること

復習時間：60分

カイ二乗検定の手法とその使い方について解説する。

第15回 図形、確率・統計に関する教材の学習指導要領における扱い

予習内容：図形、確率・統計の学習指導要領での記述箇所を調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：図形教材の系統性、確率・統計教材の系統性をまとめること

復習時間：60分

現在および歴史的変遷を解説する。

■ホームページ

近畿大学 <http://www.kindai.ac.jp>

科目名 :	数学科教育法特講Ⅱ				
英文名 :	The Study of Mathematics Education II				
担当者 :	今井 敏博				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

中学校数学科教員免許・高等学校数学科教員免許を取得するために選択履修することができる科目である。中学校教諭、高等学校教諭に必要な資質の習得を目標とする。学習者に関する要因を扱った近年の研究を紹介する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

授業で扱った内容を確実に習得し、自分が授業実践を行うときに適用・応用する力を身につけることを、学習目標・教育目標・到達目標とする。

■ 成績評価方法および基準

レポート 50%
授業中課題 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては、評価後コメントを記入して返却します。
授業中課題については、答案を回収して翌回の授業時間に解説します。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784491026268 『数学教育学研究ハンドブック』（東洋館出版社：2011）

■ 関連科目

数学科教育法Ⅰ
数学科教育法Ⅱ
数学科教育法特講Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階講師控室・imai-t@maroon.plala.or.jp

■ オフィスアワー

授業時間帯の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 数学教育における創造性（1）

予習内容：創造性という用語について自分なりに調べておくこと
予習時間：30分
復習内容：思考の固着を克服することについての理解を深めること
復習時間：60分
思考の固着、洞察などの創造的思考を考察する。

第2回 数学教育における創造性（2）

予習内容：拡散的思考という用語を自分なりに調べておくこと
予習時間：30分
復習内容：拡散的思考の評価方法としての数量化を理解すること
復習時間：60分

拡散的思考とその評価方法を考察する。

第3回 数学教育における創造性（3）

予習内容：数学教育における問題設定について自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：問題設定を取り入れた数学科の授業実践を調べること

復習時間：60分

多様なアイデアを引き出す問題設定について考察する。

第4回 数学的問題解決

予習内容：ポリアの問題解決の4段階について自分なりに調べること

予習時間：30分

復習内容：数学的問題解決に焦点をあてた授業実践例を調べること

復習時間：60分

ポリアの4段階を具体的な題材を用いて解説する。

第5回 数学教育における情意的要因（1）

予習内容：情意という用語を自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：数学的問題解決における情動についてまとめること

復習時間：60分

情意的要因の分類と情動について解説する。

第6回 数学教育における情意的要因（2）

予習内容：信念、態度という用語を自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：数学教育における児童・生徒の信念、態度の測定についてまとめること

復習時間：60分

信念、態度とその評価方法を解説する。

第7回 教材研究（1）－正四面体－

予習内容：正四面体について自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：正四面体に関する数学的な分析を確実に理解すること

復習時間：60分

正四面体の種類と性質を数学的に解説する。

第8回 教材研究（2）－図形数－

予習内容：図形数という用語を自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：図形数の数学的分析についての理解を確実にすること

復習時間：60分

三角数、四角数、・・・の性質を考察する。

第9回 教材研究（3）－格子点を結んで描く図形－

予習内容：幾何板（ジオボード）について自分なりに調べること

予習時間：30分

復習内容：格子点上の図形から見出される規則についての理解を確実にすること

復習時間：60分

格子点上に図形を描き、性質を導く数学的活動を行う。

第10回 教材研究（4）－円上の点を結んで描く図形－

予習内容：スターパターンという用語を調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：円上に描いた図形から見出される規則に関する理解を確実にすること

復習時間：60分

円上の等間隔の点を結んで図形を描く数学的活動を行う。

第11回 数学教育の史的変遷（1）－明治から昭和初期－

予習内容：明治時代の教育について自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：明治時代の国定教科書の特徴をまとめておくこと

復習時間：60分

国定教科書の出現とその改訂を解説する。

第12回 数学教育の史的変遷（2）－昭和初期から戦前－

予習内容：数学教育改造運動という用語を調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：数学教育改造運動の影響を受けた国定教科書の特徴をまとめること

復習時間：60分

数学教育改造運動のわが国への影響を解説する。

第13回 数学教育の史的変遷（3）－戦後－

予習内容：戦後の学習指導要領の改訂年度を調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：戦後の学習指導要領の改訂時期の社会的背景をまとめること

復習時間：60分

戦後の学習指導要領の特徴を解説する。

第14回 戦後のアメリカの数学教育

予習内容：アメリカの全米数学教師協議会について自分なりに調べておくこと

予習時間：30分

復習内容：アメリカの数学教育の動向のわが国への影響をまとめること

復習時間：60分

戦後日本に影響を及ぼしたアメリカの数学教育の主な動きについて解説する。

第15回 世界からみた日本の数学教育

予習内容：PISA, TIMSSという国際調査について自分なりに調べること

予習時間：30分

復習内容：PISA, TIMSSにおける日本の子どもたちの学力と情意の状況をまとめること

復習時間：60分

国際調査における日本の結果を解説する。

■ホームページ

近畿大学 <http://www.kindai.ac.jp>

科目名 :	情報科教育法 I						
英文名 :	Methodology of Teaching Information Studies I						
担当者 :	豊田 充崇						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	集中	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

当講義は、高等学校「共通教科情報科」および「専門教科情報科」を指導担当するための知識・技能を習得することを目的とします。（※但し、「専門教科情報科」は、情報科教育法Ⅱにて実施します。）

まずは、コンピュータの原理やその操作、情報の取り扱い方、情報メディアの特性、通信ネットワークの構造からその活用等幅広い情報技術に関する知識を学び、さらに、情報科の学習指導要領の読み解き・カリキュラムの構成方法・授業計画の立案等のいわゆる「授業づくり」に着手します。特に、主要な演習的活動における指導方法の習得においては、マルチメディア作品等を実際に作成したり最新のタブレットデバイス等を活用しながら受講者（生徒の立場）と指導者としての両者の立場から学ぶこととなります。また、指導技術の向上のため、自作教材を用いた「模擬授業」を取り入れ、実践的な授業力を向上させます。

このような演習を円滑におこなうために、コンピュータの基本操作を習得していること、Office系ソフトウェアの基本的な操作及び電子メールやインターネットの活用方法が事前に習得されていることが必要です。また、情報科教育法ⅠとⅡは連続して受講してください。

なお、「情報科教育法」では、作品づくりや演習的なワークが多くあります。模擬授業も行いますので、コミュニケーション能力は特に重要です。受け身ではなく、自主的、主体的な活動に期待します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・情報教育の主要な目標である「情報活用の実践力の育成」「情報の科学的な理解」「情報化社会に参画する態度」を踏まえ、情報科で指導する学習内容を理解する。
- ・情報科学に関する幅広い知識を持ち、情報メディアを課題解決のため、暮らしを豊かにするために活用するといった意図を持って、創作的な学習活動をおこなえるようになること。
- ・情報処理の手段としてのコンピュータだけではなく、表現・発信のツールとして活用できるようになること。また、「情報モラル」に関しては特に留意して、最新のトラブル事例なども把握し、指導できるようになること。
- ・授業者として、生徒らに「わかる授業」を実施するための基本的な授業スキル・指導方法・教材作成方法を習得する。また、カリキュラム構成、教材研究・授業設計等一連の「授業づくり」の手順や方法を理解すること。

■ 成績評価方法および基準

- 情報教育に関する知識を問う小テスト 15%
- 授業中の発表や学習意欲 15%
- 授業レポート 20%
- プレゼンテーション 10%
- 模擬授業（授業計画立案、指導案・教材作成を含む） 25%
- マルチメディア作品 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題については、すべてPC上で作成し、その課題ファイル（word,excel,powerpoint形式の他に、画像・映像ファイル、プログラム等）は受講者全員分をクラウド上で共有します。課題提出条件を満たしているかどうか、創意工夫がされているかを判断し、演習中に指導と評価を一体化しておこないます。

■ 教科書

[ISBN]: 9784274219207 『情報科教育法 改訂3版』（久野 靖,辰己丈夫（監修） オーム社（2016/8/26）
※できるだけ新しいテキストを利用したいため、実際の購入テキストや資料については講義初日に指示します。

■ 参考文献

- ・高等学校学習指導要領解説 情報編（文部科学省）
（文部科学省ウェブサイトから上記の解説の1～40ページまでを印刷して初日に持参すること。両面・割り付け印刷、タブレット等で閲覧できるようにでも可。）

■ 関連科目

特になし

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・連絡電子メールアドレス：toyoda@center.wakayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス（授業の目的と内容について）

予習内容：高校時に受講した「情報科」の内容を振り返りつつ、「情報科」の学習指導要領を一読する。

予習時間：45分

復習内容：情報科の学習指導要領を改めて読み見返し、その目的・内容の概要をおさえる。

復習時間：60分

第2回 情報科とは（情報教育の経緯、教科「情報」が設置された背景、科目の概要、学習指導要領の改訂について）

予習内容：情報科の学習指導要領（解説編）の冒頭部分を一読しておく。

予習時間：45分

復習内容：講義で示した情報教育の経緯等については、文部科学省サイトにて原文にあたり、必要な箇所は印刷するなど、情報教育の概念理解を深める。

復習時間：60分

第3回 「情報科」の学習指導要領解説から学習内容の理解と要点整理

予習内容：「情報科」の学習指導要領解説の指導内容部分を一読しておく。

予習時間：45分

復習内容：講義で示した指導内容について自分なりの要点を整理する。

復習時間：30分

第4回 共通教科情報科「社会と情報」の目標と内容について

予習内容：「情報科」の学習指導要領解説及び購入した教科書の関係部分を一読しておく。

予習時間：45分

復習内容：共通教科情報科「社会と情報」の目標と内容について、理解不足な点を改めて調べる・まとめる。

復習時間：60分

第5回 共通教科情報科「情報の科学」の目標と内容について

予習内容：「情報科」の学習指導要領解説及び購入した教科書の関係部分を一読しておく。

予習時間：45分

復習内容：共通教科情報科「情報の科学」の目標と内容について、理解不足な点を改めて調べる・まとめる。

復習時間：60分

第6回 情報科における課題選択の観点、教材化の工夫

予習内容：情報科の指導内容を把握し、具体的な授業実践事例を参照し、持参する。

予習時間：45分

復習内容：改めて講義中に示した授業実践事例・利用教材について、指導案や教材の中身等を確認する。

復習時間：60分

第7回 情報科における課題解決の方法、進め方、留意点について

予習内容：情報科の指導内容を把握し、具体的な授業実践事例を参照し、持参する。

予習時間：45分

復習内容：改めて講義中に示した授業実践事例・利用教材について、指導案や教材の中身等を確認する。

復習時間：60分

第8回 カリキュラムの構成方法および学習指導計画の立案

予習内容：情報科の実際の年間指導計画などを調べ、持参する。

予習時間：45分

復習内容：講義で示した先進事例などを改めて確認・印刷するなどしてファイリングしておく。

復習時間：60分

第9回 具体的な授業を想定した学習指導案の作成

予習内容：各種教育センターサイト等から先進的な授業実践の指導案を入手して、参考になるものを印刷媒体で数点に絞って持参する。

予習時間：45分

復習内容：教育実習時に備えられるように、学習指導案の書き方などを改めて復習する。

復習時間：60分

第10回 模擬授業(1) 教材作成や基本的な授業スキル

予習内容：授業実践の実演準備をしておく。学習指導案と必要な教材・教具（提示資料、ワークシート、サンプルデータ等）を揃えておく。

予習時間：60分

復習内容：模擬授業の振り返りをおこない、自己評価した結果、改善を要する点についてまとめておく。

復習時間：45分

第11回 模擬授業(2) 授業の基本的な進め方、生徒評価の方法等

予習内容：授業展開の方法・生徒の学習評価の方法について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：特に学習評価の方法については、数量的な評価以外に「形成的な評価（ポートフォリオ、ルーブリック、パフォーマンス）」についてまとめておく。

復習時間：60分

第12回 模擬授業(3) 授業の具体的な展開について、授業評価の方法等

予習内容：「よい授業の条件」について事前に調べておく。

予習時間：45分

復習内容：優れた授業の条件について、自らの模擬授業を振り返り、比較する。

復習時間：60分

第13回 授業分析 模擬授業の評価・改善点等について討議する

予習内容：主体的・対話的な授業の進め方について事前に調べておく。

予習時間：45分

復習内容：自らの授業改善の具体的な提案をまとめておく。

復習時間：60分

第14回 情報メディアの活用(1) 調査・分析

予習内容：excel等表計算・統計分析ソフトの基本操作を確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義中に実施した調査・分析手法を再度実施して理解を深め、応用範囲を見極める。

復習時間：60分

第15回 情報メディアの活用(2) まとめ・情報発信

予習内容：Powetpoint等のプレゼンテーションソフトウェアの活用方法を確認しておく。

予習時間：60分

復習内容：情報のまとめ方、他者を意識した発信・表現の手法について復習し、実際の授業実践における応用範囲を見極める。

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	情報科教育法Ⅱ						
英文名 :	Methodology of Teaching Information Studies II						
担当者 :	豊田 充崇						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	集中	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

当講義は、高等学校「共通教科情報科」および「専門教科情報科」を指導担当するための知識・技能を習得することを目的とします。（※但し、「専門教科情報科」は、情報科教育法Ⅱにて実施します。）

まずは、コンピュータの原理やその操作、情報の取り扱い方、情報メディアの特性、通信ネットワークの構造からその活用等幅広い情報技術に関する知識を学び、さらに、情報科の学習指導要領の読み解き・カリキュラムの構成方法・授業計画の立案等のいわゆる「授業づくり」に着手します。特に、主要な演習的活動における指導方法の習得においては、マルチメディア作品等を実際に作成したり最新のタブレットデバイス等を活用しながら受講者（生徒の立場）と指導者としての両者の立場から学ぶこととなります。また、指導技術の向上のため、自作教材を用いた「模擬授業」を取り入れ、実践的な授業力を向上させます。

このような演習を円滑におこなうために、コンピュータの基本操作を習得していること、Office系ソフトウェアの基本的な操作及び電子メールやインターネットの活用方法が事前に習得されていることが必要です。また、情報科教育法ⅠとⅡは連続して受講してください。

なお、「情報科教育法」では、作品づくりや演習的なワークが多くあります。模擬授業も行いますので、コミュニケーション能力は特に重要です。受け身ではなく、自主的、主体的な活動に期待します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・情報教育の主要な目標である「情報活用の実践力の育成」「情報の科学的な理解」「情報化社会に参画する態度」を踏まえ、情報科で指導する学習内容を理解する。
- ・情報科学に関する幅広い知識を持ち、情報メディアを課題解決のため、暮らしを豊かにするために活用するといった意図を持って、創作的な学習活動をおこなえるようになること。
- ・情報処理の手段としてのコンピュータだけではなく、表現・発信のツールとして活用できるようになること。また、「情報モラル」に関しては特に留意して、最新のトラブル事例なども把握し、指導できるようになること。
- ・授業者として、生徒らに「わかる授業」を実施するための基本的な授業スキル・指導方法・教材作成方法を習得する。また、カリキュラム構成、教材研究・授業設計等一連の「授業づくり」の手順や方法を理解すること。

■ 成績評価方法および基準

- 情報教育に関する知識を問う小テスト 15%
- 授業中の発表や学習意欲 15%
- 授業レポート 20%
- プレゼンテーション 10%
- 模擬授業（授業計画立案、指導案・教材作成を含む） 25%
- マルチメディア作品 15%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題については、すべてPC上で作成し、その課題ファイル（word,excel,powerpoint形式の他に、画像・映像ファイル、プログラム等）は受講者全員分をクラウド上で共有します。課題提出条件を満たしているかどうか、創意工夫がされているかを判断し、演習中に指導と評価を一体化しておこないます。

■ 教科書

[ISBN]: 9784274219207 『情報科教育法 改訂3版』（久野 靖,辰己丈夫（監修） オーム社（2016/8/26）
※できるだけ新しいテキストを利用したいため、実際の購入テキストや資料については講義初日に指示します。

■ 参考文献

- ・高等学校学習指導要領解説 情報編（文部科学省）
（文部科学省ウェブサイトから上記の解説の1～40ページまでを印刷して初日に持参すること。両面・割り付け印刷、タブレット等で閲覧できるようにでも可。）

■ 関連科目

特になし

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・連絡電子メールアドレス：toyoda@center.wakayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 メディアリテラシーとその教材化について

予習内容：メディアリテラシーを含め、各種リテラシー（21世紀型スキル、キーコンペテンシー等）について事前に調べておく。

予習時間：45分

復習内容：「リテラシー」についての意味の理解を深めるとともに、講義中に示した「メディアリテラシー」を指導するための教材を実際に生徒の立場で体験する。

復習時間：60分

第2回 著作権、情報倫理、情報モラル・セキュリティとその教材化について

予習内容：高校時に学ぶ情報倫理・著作権及び情報セキュリティに関する教科書部分を一読しておく。

予習時間：45分

復習内容：講義中に示した各種資料を各自でファイリング等をして要点をまとめておくこと。特に著作権関係は原文にあたり、必要に応じて印刷する。情報セキュリティに関しては、文部科学省による各種資料にあたること。

復習時間：60分

第3回 専門教科「情報」の解説と共通教科情報科との相違点

予習内容：学習指導要領解説および教科書の関係箇所を一読してくること。

予習時間：45分

復習内容：講義中に示した学習指導要領解説および教科書の関係箇所を再度読み直し、内容理解に務める。

復習時間：60分

第4回 専門教科情報科「情報産業と社会」の目標と内容について(1)

予習内容：学習指導要領解説および教科書の関係箇所を一読してくること。

予習時間：45分

復習内容：講義中に示した学習指導要領解説および教科書の関係箇所を再度読み直し、内容理解に務める。

復習時間：60分

第5回 専門教科情報科「課題研究」の目標と内容について(2)

予習内容：学習指導要領解説および教科書の関係箇所を一読してくること。

予習時間：45分

復習内容：講義中に示した学習指導要領解説および教科書の関係箇所を再度読み直し、内容理解に務める。

復習時間：60分

第6回 カリキュラムの構成・学習指導計画・学習指導案の作成

予習内容：専門教科「情報」に関する年間指導計画や単元構成についての資料及び学習指導案をリサーチしておく。

予習時間：60分

復習内容：講義中に示した先進校での事例については、改めて元資料にあたり、必要な箇所をファイリングしておく。

復習時間：45分

第7回 専門教科情報科における課題選択の観点、教材化の工夫

予習内容：実際の授業時に利用する教材や教具についてのリサーチをしておく。

予習時間：60分

復習内容：講義中に示した先進校での事例については、改めて元資料にあたり、必要な箇所をファイリングしておく。

復習時間：45分

第8回 専門教科情報科における問題解決の方法、進め方、留意点について

予習内容：専門教科「情報科」における演習的授業に関して、具体的な演習内容について、授業実践事例を収集しておく。

予習時間：45分

復習内容：演習的な授業において、指導上必要となるPCの操作スキル等の習熟をおこなっておく。

復習時間：60分

第9回 模擬授業(4) 教材作成や基本的な授業スキル

予習内容：演習的な授業において必要な教材・教具の準備、指導方法や配慮事項についてリサーチをしておく。

予習時間：60分

復習内容：演習的な授業において、指導上必要となるPCの操作スキル等の習熟をおこなっておく。

復習時間：45分

第10回 模擬授業(5) 授業の基本的な進め方、生徒評価の方法等

予習内容：演習的な授業において必要な「活動のプロセスの評価」「成果物の評価方法」についてリサーチしておく。

復習内容：演習的な授業において、生徒らの活動や成果物をどのように評価するかについての復習しておく。

第11回 模擬授業(6) 授業の具体的な展開について、授業評価の方法等

予習内容：演習的な授業の成否をどのように授業者自らが評価するかについて、関連資料や文献などをリサーチしておく。

予習時間：60分

復習内容：講義中に示した授業評価の手法において、自らの模擬授業を振り返り、改善点をまとめておく。

復習時間：60分

第12回 授業分析 模擬授業の評価・改善点等について討議する

予習内容：他者の模擬授業を振り返り、自己の授業との比較において、授業の評価・改善点を提案できるようにしておく。

予習時間：45分

復習内容：授業改善の提案内容を、今後の教育実習等に活かせるように改善指導案を書いておく。

復習時間：60分

第13回 情報メディアの活用(3) 問題解決型学習

予習内容：PBL型授業等、生徒が主体的に情報メディアを活用して課題を遂行する形式の授業実践についてリサーチをおこなっておく。

予習時間：45分

復習内容：PBL型授業の計画を立てられるように、先進事例や教科書を再読し、テーマ設定や授業進行、そのための手立てや配慮事項などを考えられるようになっておく。

復習時間：60分

第14回 情報メディアの活用(4) 問題解決型学習

予習内容：PBL型授業について、再度国内の事情や新しい学習指導要領の内容も踏まえつつ、リサーチをおこなう。

予習時間：45分

復習内容：PBL型授業の計画を立てられるように、先進事例や教科書を再読し、テーマ設定や授業進行、そのための手立てや配慮事項などを考えられるようになっておく。

復習時間：60分

第15回 評価の方法（ポートフォリオ等）

予習内容：PBL型授業及び情報科全般において、試験の得点にとどまらない、学習のプロセスや成果物をどのように評価するかについて、その手法や先進事例をリサーチする。

予習時間：45分

復習内容：特に演習授業時における「やらせっぱなし」を避けるために、事前にどのような配慮がひつようなか、プロセスをどのように評価するか等、当講義全体を振り返りつつ、多様な評価手法について理解を深めておく。

復習時間：60分

■ ホームページ

科目名 :	物理学概論 I				
英文名 :	Introduction to Physics I				
担当者 :	濱端 広充				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

物理学は、自然現象を観測し、そこに潜む法則を見出すことを目的とする。この講義では、日常の身のまわりの現象を科学的に考察し、現象を理解する能力と数的に解析する能力を養うことを目指す。物理学概論 I では、力と運動、仕事とエネルギー、エネルギーの保存および熱力学を主なテーマとして講義する。必要に応じてプリントを配布して、理解を深める。本科目は教職課程の科目で、中学校・高等学校における物理学分野の授業に必要な資質を習得することを目的とする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、大学で物理学に関する事柄を学ぶうえで基礎知識として習得しておかなければならない項目や、物理学的なものの見方、考え方について学習します。すなわち、

- 1) 基本となるベクトル・スカラーの概念とその物理的意味。
- 2) 物理量や状態量、エネルギーの概念、
- 3) 物理現象の観測結果からそこに潜む一般化された物理法則を導出する過程と得られた法則などを学習し、さらに
- 4) 身のまわりの自然現象を物理的にとらえ、それらに物理法則を適用する能力を培うことができます。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

解答例をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784808220761 『基礎物理』(山田泰一, 東京教学社: 2017)

■ 参考文献

[ISBN]9784780602005 『自然科学の基礎としての物理学』(原 康夫, 学術図書出版社: 2014)

[ISBN]9784780605006 『物理学入門』(原 康夫, 学術図書出版社: 2015)

■ 関連科目

物理学概論 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) hamabata@sci.osaka-cu.ac.jp

■ オフィスアワー

講義前後の休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンスと物理を学ぶための基礎

予習内容: 教科書付章「物理を学ぶための基礎」第1節から第3節を読んで、理解困難な箇所を抜き出しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: 教科書や講義ノートを読み返し、SI単位系や有効数字、さらにベクトル演算についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間: 60分

自然現象と物理量、単位と次元、数量換算と有効数字

第2回 運動の表し方

予習内容：教科書第1章1.1.1節から1.1.3節までを読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、速度や加速度についての理解を深め、物体の運動の表し方を習得すること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

移動距離と変位、平均の速さと瞬間の速さ、位置ベクトル、速度、加速度

第3回 等加速度直線運動と力

予習内容：教科書1.1.4節と1.2節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、等加速度直線運動（自由落下運動、鉛直投げ上げ運動）および物体にはたらく力の表し方や力のつり合いについて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

等加速度直線運動と具体例（自由落下、鉛直投げ上げ運動）、力の表し方と力のつり合い

第4回 運動の法則と運動量の保存

予習内容：教科書1.3節と1.4節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、運動の3法則についての理解を深め、運動方程式をつくり方を習得すること。さらに、運動量保存則や衝突現象について理解すること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

ニュートンの運動の3法則（慣性の法則、運動の法則-運動方程式、作用反作用の法則）、重力と質量、運動方程式の作り方、運動量と力積、運動量保存の法則と衝突現象

第5回 力学的エネルギー

予習内容：教科書1.5節を読み、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、仕事と力学的エネルギーの関係について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

仕事と力学的エネルギー（運動エネルギー、位置エネルギー）、力学的エネルギー保存の法則

第6回 いろいろな運動（1）

予習内容：教科書1.6.1節から1.6.4節までを読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、水平や斜方に投射された物体の運動、摩擦力を受ける物体の運動などについて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

水平や斜方に投射された物体の運動、摩擦力を受ける物体の運動、ばねの弾性力と弾性力の位置エネルギー

第7回 いろいろな運動（2）

予習内容：教科書1.6.5節から1.6.7節までを読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、等速円運動や単振動について、さらに慣性力についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

等速円運動、慣性力、単振動（ばね振り子、単振り子）

第8回 剛体にはたらく力のつり合い

予習内容：教科書1.7節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、剛体にはたらく力とそのつり合いについて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

剛体の概念、剛体にはたらく力の3要素、力のモーメント、剛体にはたらく力の合成、剛体の重心と剛体のつり合い

第9回 流体の力学

予習内容：教科書1.8節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読んで、静止流体にはたらく力や運動している流体に対する連続の式やベルヌーイの定理につ

いて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

流体とは、静止した流体にはたらく力のつり合い、運動している流体の力学

第10回 力学に関するまとめとレポート課題についての解説

予習内容：これまで学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった箇所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：レポート課題について、再度自力で解いてみること。

復習時間：120分

第11回 熱と温度、仕事

予習内容：教科書2.1節と2.2節を読んで、理解困難な箇所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、物質の三態や絶対温度、熱の仕事当量などについて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

熱運動、熱平衡（熱とは、温度とは）、物質の三態、温度と熱の表記、熱の仕事当量、比熱・熱容量、固体の熱膨張、熱の伝わり方

第12回 気体の法則

予習内容：教科書2.3節を読んで、理解困難な箇所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、物質量モルやアボガドロ数を理解し、理想気体の状態方程式を説明できるようになること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

理想気体の状態方程式、気体の分子運動論

第13回 熱力学（1）

予習内容：教科書2.4.1節から2.4.4節までを読んで、理解困難な箇所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、熱力学第1法則の理解を深め、マイヤーの関係式を説明できるようになること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

内部エネルギー、熱力学第1法則、気体がする仕事、気体の比熱

第14回 熱力学（2）

予習内容：教科書2.4.5節と2.4.6節を読んで、理解困難な箇所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返して、熱力学第2法則についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと

復習時間：120分

熱機関と仕事、熱機関の効率、可逆過程と不可逆過程、熱力学第2法則

第15回 熱とエネルギーに関するまとめとレポート課題についての解説

予習内容：熱とエネルギーについて学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった箇所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：力学の分野を含めてこれまで学習してきた内容について、理解が浅かった箇所について教科書や講義ノートを再度読み返すこと。定期試験に向けて、再度レポート課題を自力で解いてみること。

復習時間：180分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	物理学概論Ⅱ						
英文名 :	Introduction to Physics II						
担当者 :	濱端 広充						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

物理学は、自然現象を観測し、そこに潜む法則を見出すことを目的とする。この講義では、日常の身のまわりの現象を科学的に考察し、現象を理解する能力と数理的に解析する能力を養うことを目指す。物理学概論Ⅱでは、波動、波動現象と光学、電磁気学および原子物理を主なテーマとして講義する。必要に応じてプリントを配布して、理解を深める。本科目は教職課程の科目で、中学校・高等学校における物理学分野の授業に必要な資質を習得することを目的とする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、大学で物理学に関する事柄を学ぶうえで基礎知識として習得しておかなければならない項目や、物理学的なものの方、考え方について学習します。すなわち、

- 1) 物理学概論Ⅰでの学習項目に続けて、波動現象や電磁気現象の本質、それらとエネルギーのかかわり、
- 2) 量子現象、
- 3) 物理現象の観測結果からそこに潜む一般化された物理法則を導出する過程と得られた法則などを学習し、さらに
- 4) 身のまわりの自然現象を物理的にとらえ、それらに物理法則を適用する能力を培うことができます。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

解答例をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784808220761 『基礎物理』(山田泰一, 東京教学社: 2017)

■ 参考文献

[ISBN]9784780602005 『自然科学の基礎としての物理学』(原 康夫, 学術図書出版社: 2014)

[ISBN]9784780605006 『物理学入門』(原 康夫, 学術図書出版社: 2015)

■ 関連科目

物理学概論Ⅰ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2号館2階) hamabata@sci.osaka-cu.ac.jp

■ オフィスアワー

講義前後の休憩時間

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 波とその表し方

予習内容: 教科書3.1節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: 教科書や講義ノートを読み返し、波の基本となる波長、振動数、速さの関係について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間: 120分

波の発生、波の種類と表し方、正弦波

第2回 波の重ね合わせと波の伝わり方

予習内容：教科書3.2節と3.3節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読んで、波の重ね合わせや波の伝わり方についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

波の重ね合わせ原理、波の干渉と定常波、ホイヘンスの原理、波の反射・屈折・回折

第3回 音波

予習内容：教科書3.4節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、音波に関連してうなりや気中の共鳴、ドップラー効果について理解を深めること。

復習時間：120分

音の三要素と超音波、音の速さ、うなり、気中の共鳴、ドップラー効果

第4回 光波

予習内容：教科書3.5節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、光の屈折や干渉についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

光の反射と屈折、光の回折と干渉、レンズと顕微鏡

第5回 波動に関するまとめとレポート課題についての解説

予習内容：これまで学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：レポート課題について、再度自力で解いてみること。

復習時間：120分

第6回 静電気（1）

予習内容：教科書4.1.1節と4.1.2節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、電場および電場中の電荷の振る舞いについて理解し、クーロンの法則やガウスの法則についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

静電気力と電荷、静電場

第7回 静電気（2）

予習内容：教科書4.1.3節と4.1.4節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、電位と仕事の関係およびコンデンサーの特性について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

電場がする仕事と電位、コンデンサーの電気容量、コンデンサーに蓄えられる静電エネルギー、複数コンデンサーの合成容量

第8回 電流

予習内容：教科書4.2節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、オームの法則、合成抵抗の計算法、キルヒホッフの法則などを理解し、直流回路の特性について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

電流とオームの法則、電流のする仕事とジュール熱

第9回 電流と磁場

予習内容：教科書4.3節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、磁場や磁気力の特性、電流がつくる磁場、電流が磁場から受ける力、および電流と磁場の関係についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

磁気力と静磁場、電流がつくる磁場、電流が磁場から受ける力、磁場中を動く荷電粒子が受ける力

第10回 電磁誘導

予習内容：教科書4.4.1節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、電磁誘導の法則についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

電磁誘導と誘導起電力、ファラデーの電磁誘導の法則、ローレンツ力と誘導起電力、相互誘導と自己誘導

第11回 交流と電磁波

予習内容：教科書4.4.2節と4.4.3節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、交流の原理や電磁波の発生と伝わり方についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

交流の発生と実効値、電磁波の発生と伝わり方

第12回 電磁気学に関するまとめとレポート課題についての解説

予習内容：電磁気学について学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：レポート課題について、再度自力で解いてみること。

復習時間：120分

第13回 原子物理（1）

予習内容：教科書5.1節から5.4節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、光電効果など古典物理では理解困難な現象について理解すること。レポート課題に積極的に取り組むこと。

復習時間：120分

電子の発見、光電効果、X線

第14回 原子物理（2）

予習内容：教科書5.5節と5.6節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、水素原子とボーアの理論および放射線と原子核についての理解を深めること。

復習時間：120分

原子の構造、放射線と原子核

第15回 原子物理に関するまとめとレポート課題についての解説

予習内容：原子物理について学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった個所を抜き出しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：これまで学習してきた内容すべてのうち理解が浅かった個所について教科書や講義ノートを再度読み返すこと。定期試験に向けて、再度レポート課題を自力で解いてみること。

復習時間：180分

定期試験

■ホームページ

科目名	地学概論 I						
英文名	Essentials of Geoscience I						
担当者	佐藤 昇						
開講学科	教職科目						
単 位	2単位	開講年次	1年次	開講期	前期	必修選択の別	必修科目
科目区分	教職科目						
備 考							

■ 授業概要・方法等

地学は、宇宙から足下の大地、そしてそこに生きる生物まで、137億の時間と空間の中での、物質の生成と運動、進化を解き明かし、理解しようとする学問です。「地学概論 I」では、宇宙・天体、気象を学びます。観測技術の発展などにより、太陽系の姿や宇宙の起源と構造について、宇宙のイメージがより具体的なものになってきました。現在明らかになりつつある宇宙の姿について考えます。気象は私たちのもっとも身近な自然環境です。地球環境の変化に関する科学的な理解を深め、人と地球環境のあり方を考えます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 宇宙・天体、気象について、基礎基本となる幅広い新しい知識を学び、市民レベルの「近未来の地球環境」を考える基礎となる「現代の自然観」を身につける。
2. 中学校・高等学校での地学分野の教科内容の授業実践に役立つ知識と経験を身につける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
レポート（個々の授業のまとめ等） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

適宜プリントを配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784535607514 『人類の住む宇宙 第2版(シリーズ現代の天文学 第1巻)』(日本評論社:2017)
 [ISBN]9784416211328 『基礎からわかる天文学』(誠文堂新光社:2011)
 [ISBN]9784769912286 『天文マニア養成マニュアル』(恒星社厚生閣:2010)
 [ISBN]9784072699430 『宇宙のしくみ—宇宙開発年表&太陽系惑星データつき(主婦の友ベストBOOKS)』(高柳 雄一, 主婦の友社:2010)
 [ISBN]9784480688965 『宇宙はこう考えられている: ビッグバンからヒッグス粒子まで(ちくまプリマー新書)』(青野 由利, 筑摩書房:2013)
 [ISBN]9784254161144 『基礎気象学』(浅井 富雄, 朝倉書店:2000)
 [ISBN]9784062577212 『図解・気象学入門—原理からわかる雲・雨・気温・風・天気図(ブルーバックス)』(古川 武彦, 講談社:2011)
 [ISBN]9784860644338 『風はなぜ吹くのか、どこからやってくるのか(BERET SCIENCE)』(杉本 憲彦, ベレ出版:2015)
 [ISBN]9784834340129 『ニューステージ新地学図表—地学基礎+地学対応』(浜島書店, 浜島書店:2013)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階) sato@edu.osaka-c.ed.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 天体の位置と運動

予習内容：参考文献等を参照し「天体の位置の表し方」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①天球
- ②日周運動
- ③公転運動と星座

第2回 太陽の活動と内部構造

予習内容：参考文献等を参照し「太陽の組成と構造」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①太陽系の構成とその特徴
- ②太陽の内部構造
- ③太陽の活動と地球への影響

第3回 太陽系の惑星と運動

予習内容：参考文献等を参照し「太陽系の構造とその誕生」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①太陽系の惑星
- ②惑星の視運動
- ③ケプラーの法則

第4回 恒星の性質

予習内容：参考文献等を参照し「恒星までの距離とその明るさ」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①恒星の距離
- ②恒星の明るさ（絶対等級）
- ③恒星の光の色とスペクトル

第5回 恒星の進化

予習内容：参考文献等を参照し「恒星の誕生とその一生」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①恒星の種類（HR図）
- ②恒星の誕生
- ③恒星の一生

第6回 銀河系と宇宙の構造

予習内容：参考文献等を参照し「宇宙の広がり」と銀河の分布」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①私たちの銀河系
- ②宇宙の大規模構造
- ③宇宙の膨張
- ④宇宙の始まりと未来

第7回 太陽系と地球の形成、地球大気の構造

予習内容：参考文献等を参照し「地球大気の進化と鉛直構造」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①地球大気の進化の概略

②地球大気の鉛直方向の構造

③大気圧

第8回 地球大気の熱収支と大気の大循環

予習内容：参考文献等を参照し「地球の熱収支」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

①太陽放射

②地球の熱収支

③大気の大循環

第9回 雲と降水

予習内容：参考文献等を参照し「雲と雨のでき方」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

①大気中の水蒸気

②雲のでき方（乾燥断熱と湿潤断熱）

③雲の種類

④雨のでき方（氷晶雨と暖かい雨）

第10回 天気の変化

予習内容：参考文献等を参照し「偏西風と温帯低気圧の構造」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

①コリオリの力

②風の吹き方

③温帯低気圧と移動性高気圧

第11回 四季の天気と気象災害

予習内容：参考文献等を参照し「日本の四季の天気の特徴」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

①気団

②大気の安定度

③日本の四季の天気の特徴と気象災害

第12回 気象観測と天気予報

予習内容：参考文献等を参照し「気象観測と天気予報」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

①気象観測

②天気図（地上・高層）

③天気予報（数値予報）

第13回 海洋の構造と運動

予習内容：参考文献等を参照し「海洋の鉛直構造と大循環」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

①海水の性質

②海流（風成海流）

③深層流（熱塩循環）

第14回 大気と海洋の相互作用

予習内容：参考文献等を参照し「台風とエルニーニョ」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①台風の特徴
- ②台風による災害
- ③エルニーニョ／ラニーニャ

第15回 大気環境の変動

予習内容：参考文献等を参照し「オゾン層の破壊と地球温暖化」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①オゾン層の破壊
- ②地球温暖化
- ③ヒートアイランド

定期試験

■ホームページ

科目名 :	地学概論Ⅱ						
英文名 :	Essentials of Geoscience II						
担当者 :	佐藤 昇						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

地学は、宇宙から足下の大地、そしてそこに生きている生物まで、137億年の時間と空間の中での、物質の生成と運動、進化を解き明かし、理解しようとする学問です。「地学概論Ⅱ」では固体地球について、現在起きている身近な事象から、過去の地球変動の歴史へと認識を広げながら学び、地球の46億年の物語を読み解きます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 地球をつくる物質とその変動の歴史について、基礎基本となる幅広い新しい知識を学び、市民レベルの「近未来の地球環境」を考えるための基礎となる「現代の自然観」を身に付ける。
2. 中学校・高等学校での地学分野の教科内容の授業実践に役立つ知識と経験を身に付ける。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
レポート（個々の授業のまとめ等） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

適宜プリントを配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784759813241 『地球環境46億年の大変動史(DOJIN選書 24)』(田近 英一, 化学同人: 2009)
 [ISBN]9784798024356 『図解入門最新地球史がよくわかる本[第2版] (How-nual Visual Guide Book)』(川上 紳一, 秀和システム: 2009)
 [ISBN]9784486020998 『地球学入門 第2版 一惑星地球と大気・海洋のシステム』(酒井 治孝, 東海大学出版会: 2016)
 [ISBN]9784405106543 『カラー版徹底図解 地球のしくみ』(新星出版社: 2006)
 [ISBN]9784309252582 『いちばんやさしい地球変動の話』(巽 好幸, 河出書房新社: 2011)
 [ISBN]9784062578349 『図解・プレートテクトニクス入門 (ブルーバックス)』(木村 学, 講談社: 2013)
 [ISBN]9784000062466 『地球全史——写真が語る46億年の奇跡』(岩波書店: 2012)
 [ISBN]9784622077497 『気候変動を理学する——古気候学が変える地球環境観』(多田 隆治, みすず書房: 2013)
 [ISBN]9784398200549 『なるほど知図帳 日本の自然災害 (地図帳 マップル)』(昭文社: 2014)
 [ISBN]9784834340129 『ニューステージ新地学図表—地学基礎+地学対応』(浜島書店, 浜島書店: 2013)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）sato@edu.osaka-c.ed.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 近畿地方の地形と地質

予習内容：参考文献等を参照し「地表の変化」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①地表の変化の仕方
- ②近畿地方の地形と地質の特徴
- ③近畿の新しい地殻変動

第2回 地球の形と大きさ

予習内容：参考文献等を参照し「地球の大きさと形」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①地球の大きさ
- ②地球の形
- ③地球の内部構造の調査法
- ④陸と海

第3回 地球の内部構造

予習内容：参考文献等を参照し「地球内部の構造と構成物質」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①地球の内部構造
- ②地球内部の構成物質
- ③地球内部の物性

第4回 プレートテクトニクス1

予習内容：参考文献等を参照し「プレートの境界とその運動」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①プレートとプレート境界
- ②プレートの運動
- ③ウエゲナーの大陸移動説

第5回 プレートテクトニクス2

予習内容：参考文献等を参照し「プレートテクトニクスの確立」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①古地磁気学と大陸移動節の復活
- ②海底拡大
- ③ウィルソンサイクル
- ④プルームテクトニクス

第6回 岩石と鉱物

予習内容：参考文献等を参照し「火成岩の成り方とその組織構造」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①火成岩の分類
- ②火成岩の組織
- ③造岩鉱物

第7回 火山とマグマ

予習内容：参考文献等を参照し「マグマの成り方と火山噴火」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①マグマの成り方
- ②火山の分類
- ③火山噴火と噴出物

第8回 火山噴火と火山災害

予習内容：参考文献等を参照し「火山災害の事例」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①噴火災害の要因と噴火現象の分類
- ②火山災害の事例
- ③火山噴火の予測
- ④火山の恩恵

第9回 地震のしくみ

予習内容：参考文献等を参照し「地震波の特徴とその記録」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①地震と断層
- ②震度とマグニチュード
- ③地震波の種類と性質
- ④地震記録の見方

第10回 地震災害

予習内容：参考文献等を参照し「地震災害の事例」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①地震による災害
- ②兵庫県南部地震と東北地方太平洋沖地震
- ③今後予測される地震
- ④地震に備えて

第11回 地層の形成と地殻変動

予習内容：参考文献等を参照し「堆積岩と変成岩の種類とでき方」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①風化作用による岩石の碎屑物
- ②堆積岩（続成作用）
- ③地層の重なりと構造
- ④変成岩（変成作用）

第12回 地層の年代を知る

予習内容：参考文献等を参照し「地層の年代決定の仕方」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①相対年代と絶対年代
- ②化石（示準化石・示相化石）
- ③放射性同位体
- ④地質年代表

第13回 地球の歴史と生物進化1

予習内容：参考文献等を参照し「地球の歴史」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①地球の形成
- ②生命の誕生
- ③スノーボールアース仮説
- ④顕生代の5大生物大量絶滅事件

第14回 地球の歴史と生物進化2

予習内容：参考文献等を参照し「新生代第四紀の特徴と人類の進化」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①新生代第四紀
- ②酸素同位体温度計
- ③第四紀の気候変動
- ④人類の進化

第15回 日本列島の構造と形成史

予習内容：参考文献等を参照し「日本列島の形成」について予習する

予習時間：60分

復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：60分

- ①島弧としての日本列島の特徴
- ②付加体
- ③日本列島の地質と構造
- ④日本列島の形成史

定期試験

■ホームページ

科目名 :	地学実験				
英文名 :	Experiments in Geoscience				
担当者 :	佐藤 昇				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期, 後期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

地学は、地球を含めた宇宙全体の自然を歴史的に認識し、現在、未来を知ろうとする学問で、具体的には、天文学、気象学、地震学、地質学(地形、地質、岩石・鉱物・化石)などがあります。

天文分野では天体望遠鏡を組み立て天体観測をしたり、天文ソフトによるシミュレーションなどを、気象分野では断熱変化、大気圧、雲の発生などを、地震学では地震波から震源の特定、液状化などを、地質学では、鉱物岩石の観察などを実習、実験します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

地学について、基礎理論を含め、観察、実習、実験を行うことによって、自然に対する総合的な見方や考え方を養います。

特に、天体、気象、固体地球の各分野について、中学校・高等学校の教科書での実験観察の基本的な内容を重点的に学ぶとともに、自らの観察実験に基づく研究へと発展させるような創造的な能力を培うものとします。

■ 成績評価方法および基準

実験レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回以降の授業時間にレポートを返却します。

■ 教科書

適宜プリントを配布します。

■ 参考文献

特にありません。

■ 関連科目

地学概論Ⅰ、Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

物理、地学実験室(10号館109) sato@edu.osaka-c.ed.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 地球の大きさ、形

地球の大きさ、形がいかにして理解されてきたかを概観した後、下記の実習をする。

- ①あるデータをもとに、地球の大きさを計算する。
- ②地球は回転楕円体であるが、その本質を知るために仮想惑星の作図をする。

第2回 天体の位置のあらし方(特に赤道座標)、天体の見え方

赤道座標などについて解説をした後、下記の実習をする。

- ①星図に、太陽の年周運動を記入する。
- ②星図を見て、天体の南中高度、南中時刻などを計算する。
- ③星図を見て、周極星、出没星、全没星を区分する。 等

第3回 惑星の運動(ケプラーの第一、第二、第三法則)

真円の宇宙観を解き放ったケプラーの功績を概観した後、次の実習をする。

①火星の位置変化のデータをもとに火星の軌道の作図をし、ケプラーの第一、第二、第三法則が成立している事を確認する。

第4回 天体望遠鏡の使い方(太陽、月、惑星の観測) ※天気の都合で日程が前後する

天体望遠鏡、赤道義の解説をした後、次の実習をする。

- ①天体望遠鏡の組み立て、収納。
- ②極軸の合わせ方。
- ③ファインダーの合わせ方。
- ④太陽、月、惑星などの観察。

第5回 天文ソフトによる天文現象のシミュレーション

ある天文ソフトを概観した後、次の実習をする。

- ①世界の各地での天体の見え方のシミュレーション。
- ②日食、月食、惑星食、星食、流星などのシミュレーション。
- ③惑星の公転、自転に関するシミュレーション。 等

第6回 気象観測

気象要素とその観測方法を概観した後、次の実験・実習を行う。

- ①気象観測値の時間変化の特徴から天気を推定する。
- ②雲の分類。
- ③大気圧と水圧の関係を考える。

第7回 雲や雨の形成

断熱変化および雲・雨の形成について概観した後、次の実験・観察を行う。

- ①湿度と露点の測定。
- ②減圧装置を使って、乾燥空気および湿潤空気についての気圧と温度との関係を調べる。
- ③シャボン玉の中にできる水滴(雲)を観察する。
- ④フイズキーパーで雲をつくる。

第8回 天気図の分類

気象観測と天気図について概観した後、次の実習を行う。

- ①四季の気圧に関するイソプレット図を作成し、日本の天気の特徴をとらえる。

第9回 気象データの解析

日本の天気の特徴を概観した後、気象データを解析する実習を行う。

- ①地上気象観測値から大気現象に関する規則性を導き出す。

第10回 地震波

地震波の種類、震源距離の求め方、震源を特定する方法を概観した後、次の実習をする。

- ①三か所の地震波のデータから震源を特定する。
- ②一か所の地震波のデータから震源を特定する。

第11回 地震災害(断層、液状化など)

地震災害に関して概観した後、次の実習をする。

- ①液状化の簡易実験。
- ②津波のモデル実験。
- ③断層のモデル実験。

第12回 地形とそれらをつくるもの

地形の成り立ちを概観した後、次の実験・実習を行う。

- ①空中写真の判別実習。
- ②流水実験と堆積実験。
- ③堆積岩の観察。

第13回 鉱物の観察

偏光板と鉱物の光学的性質及び主な鉱物の性質を概観した後、次の実習をする。

- ①偏光板を使って、方解石の光学的性質を調べる。
- ②火山灰中の鉱物を調べる。

第14回 偏光顕微鏡による岩石薄片の観察

岩石の成因を概観した後、次の観察をする。

- ①岩石鉱物の肉眼観察。
- ②岩石鉱物の偏光顕微鏡観察。
- ③色指数による火成岩の分類。

第15回 化石の観察

地質時代と化石について概観した後、次の実習を行う。

①微化石の顕微鏡観察を行い、その変化から堆積環境の変化をとらえる。

■ホームページ

科目名 :	代数学概論 I				
英文名 :	Introduction to Algebra 1				
担当者 :	平井 崇晴				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

主に群論について概説する。学期のはじめは群論を学ぶための準備に充てる。集合や2項関係から始めて、必要最小限の概念や数学記法を用意する。その後、群の定義を与えて本論に入るが、いくつかの例や剰余類など初歩的な内容にとどめる。その代わり、大学数学がどのように作られていくのかが実感できるような授業展開を予定している。学期の終盤では実用的な応用として公開鍵暗号（RSA暗号）を簡単に紹介する。また、原則として毎回演習を行い、学習の定着を目指す。

■ 学習・教育目標及び到達目標

高校までの数学に比べ内容が抽象的になるため、面食らう学生も多いと思われる。そこで、内容を厳選する代わりに、本講義で習う記法を数学言語として意のままに操れること、抽象的な概念をイメージできることを到達目標とする。その上で群論を実感し、身近に感じることが授業のテーマである。無味乾燥な事務的処理の習得をさせるつもりは全くない。ボリュームが極めて少ない代わりに、きっちりできるようになって頂く。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に試験の要点と解説を公式ホームページ <http://takaharu-hirai.private.coocan.jp/kinki/algebra/algebra.html> に掲載します。
各回実施の演習は翌日に解説します。

■ 教科書

「代数学概論 I・II 2018年度版 サブノート」プリント教材を製本したものを、学内コンビニエンスストアで販売予定。

■ 参考文献

[ISBN]9784797367546 『数学ガール/ガロア理論 (数学ガールシリーズ 5)』 (結城 浩, SBクリエイティブ : 2012)

■ 関連科目

線形代数学、幾何学 IA・IB・IIA・IIB

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階 非常勤講師控室・takaharu.hirai@nifty.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容及び時間

第1回 ガイダンス (講義概要と達成目標および受講心得)

予習内容 : 特になし。時間が許せば集合に関連する用語について中学・高校の数学教科書で確認する。

予習時間 : 60分

復習内容 : 講義内容を聴いてみて自分が不得意とする数学用語について中学・高校の数学教科書で確認する。

復習時間 : 30分

この授業に関する仕組みと扱う代数学の講義内容について概説する。

達成目標および受講心得を述べる。

第2回 集合と2項関係

予習内容 : 集合に関連する用語について中学・高校の数学教科書で確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に内包的記法について何度も練習する。

復習時間：60分

集合と集合記法、共通集合、和集合、空集合等の定義について学ぶ。

内包的記法について使い方に慣れる。

集合の濃度について定義を与える。

2項演算について定義を与える。

演算が定義されているとはどういうことか学習する。

第3回 群の定義

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に演算表の作り方・使い方について何度も練習する。

復習時間：60分

群の定義を与える。

特に単位元や逆元とは何か、イメージできるように心がけることが肝要である。

本時だけで理解することは不可能なので、講義全体を通して常に意識する必要がある。

単位元・逆元の性質を学ぶ。

第4回 群に関する用語等

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に部分群であるかどうかの判定法を習得する。

復習時間：60分

可換群、群の位数、部分群について定義を与える。

部分群を判定する定理を学ぶ。

第5回 同値関係

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に同値類の性質を理解する。

復習時間：60分

同値関係の定義を与える。「 \sim 」の一般化であることを把握することが肝要。

同値類の性質とその証明について思考法や手法に慣れる。

類別について学習する。

第6回 合同式および剰余類

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に剰余類や商集合のイメージができること。

復習時間：60分

合同式の定義を与える。

剰余類の定義を与える。

同値関係であることの証明を学習する。

商集合の定義を与える。

第7回 数字根

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に数字根の利便性を実感すること。

復習時間：60分

数字根の定義と活用について学ぶ。

検算やマジックに活用されることを知る。

第8回 同値類による類別

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に左剰余類とラグランジュの定理についてどういってお話なのか把握する。

復習時間：60分

部分群によって類別が可能であることを学ぶ。

左剰余類の定義を与える。

具体例で左剰余類を体感する。

ラグランジュの定理を学習する。

第9回 剰余類と加法群

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に \mathbb{Z}_n が群であることの証明について何を行っているのか把握する。

復習時間：60分

剰余類のつくる加法群を定義する。

具体例による解説を行う。

第10回 剰余類と乗法群 (1)

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に群になるかどうかだけでなく、どんな工夫を与えることで群にできるかを熟考する。

復習時間：60分

加法を乗法に変更して乗法群が定義できるかどうかを試す。

どうすれば群にできるかを考察する。

第11回 剰余類と乗法群 (2)

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に群にならなかった乗法群に与えた工夫を吟味する。

復習時間：60分

n と素な剰余類(既約剰余類)を定義する。

互いに素の考えを導入することで群にすることができた過程を考察する。

第12回 オイラーの関数 (RSA暗号の準備)

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特にオイラーの関数と n と素な剰余類の位数との関係を理解する。

復習時間：60分

n と素な剰余類が可換群であることを確認する。

n と素な剰余類の位数について考察する。

フェルマの小定理を紹介する。

第13回 公開鍵暗号 (1)

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：与えられた条件のもと、公開鍵を実際に作成する。

復習時間：60分

プリント教材によって公開鍵暗号を学ぶ。

共通鍵暗号と公開鍵暗号の違いを紹介する。

公開鍵暗号として RSA 暗号を紹介する。

公開鍵の作成手順を学ぶ。

第14回 公開鍵暗号 (2)

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はプリント等で確認する。

予習時間：30分

復習内容：実際に暗号文を復号化する。

復習時間：60分

RSA暗号の暗号化・復号化を学習する。

試験情報にも関わることを告知する。

第15回 まとめ

予習内容：RSA暗号の理解を確認する。

予習時間：30分

復習内容：試験に向けて総復習を行う。返却された演習やサブノートの問題を復習する。

復習時間：180分

前期学習内容の総復習および試験情報、対策について告知する。

定期試験

公式ホームページ <http://takaharu-hirai.private.coccan.jp/kinki/algebra/algebra.html> 参照のこと

■ホームページ

代数学概論公式ホームページ <http://takaharu-hirai.private.coccan.jp/kinki/algebra/algebra.html>

科目名 :	代数学概論Ⅱ						
英文名 :	Introduction to Algebra 2						
担当者 :	平井 崇晴						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

代数学概論Ⅰに引き続いて群論を概説し、現在それがどのように応用されているかを紹介する。代数学概論Ⅰでは群として数の集合を主な対象としたのに対し、本講義では数以外の集合を対象とする。対称群や交代群、正多面体群、巡回群などを扱い、群論が広く一般に活躍する理論であることを実感させるような内容である。一見無関係と思われるあみだくじやスライドパズル、ルービックキューブなどの問題解決に群論が一役買っていることを紹介する。原則として毎回演習を行い、学習の定着を目指す。

■ 学習・教育目標及び到達目標

代数学概論Ⅰに引き続き、数学言語としての数学記法を読み取り自由に扱えるようになること、抽象概念を自分なりにイメージして操作できるようになることを到達目標とする。群論が全く無関係と思えるパズルなどの問題の解決に用いられることに感動し、広く一般に活用可能であることを体感することが授業のテーマである。無味乾燥な事務的処理の習得をさせるつもりは全くない。ボリュームが極めて少ない代わりに、きっちりできるようになって頂く。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に試験の要点と解説を公式ホームページ <http://takaharu-hirai.private.coocan.jp/kinki/algebra/algebra.html> に掲載します。

各回実施の演習は翌日に解説します。

■ 教科書

「代数学概論Ⅰ・Ⅱ 2018年度版 サブノート」プリント教材を製本したもの。学内コンビニエンスストアで販売予定。

■ 参考文献

[ISBN]9784797367546 『数学ガール/ガロア理論 (数学ガールシリーズ 5)』 (結城 浩, SBクリエイティブ : 2012)

■ 関連科目

線形代数学、幾何学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

2号館2階 非常勤講師控室。takaharu.hirai@nifty.com

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 変換と群

予習内容 : 前期内容を概観しておく。特に群の定義を復習しておく。

予習時間 : 120分

復習内容 : サブノートの間を復習する。特に4次対称群の元を求めるにはどうすればよいか確認しておく。

復習時間 : 60分

全射・単射について知識を確認し、変換を定義する。

変換の集合が変換の合成を演算として群をなすことを学習する。

恒等変換、逆変換と単位元、逆元との対応を学習する。

対称群、置換群を定義する。
4次対称群の元をすべて求める。

第2回 互換

予習内容：前週行った問題を解きなおしてみる。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。
予習時間：30分
復習内容：サブノートの問題を復習する。特に交代群が対称群の部分群であることをよく理解すること。
復習時間：60分
互換および偶置換・奇置換を定義する。
交代群を定義する。

第3回 あみだくじ

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。
予習時間：30分
復習内容：サブノートの問題を復習する。特に条件に合うあみだくじの作り方を習得する。
復習時間：60分
あみだくじが隣接互換(基本互換)として捉えられることを学習する。
与えられた条件を満たすあみだくじの作り方を学習する。

第4回 スライドパズル

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。
予習時間：30分
復習内容：サブノートの問題を復習する。特にスライドパズルのスライド変換可能性について判定できること。
復習時間：60分
スライドパズルを置換表示する。
スライドパズルとあみだくじの関係性を学習する。
スライド変換可能性について学習する。

第5回 織って作る多面体

予習内容：特になし。時間が許せば前時の復習に当てる。
予習時間：30分
復習内容：授業中に完成しなかった正多面体の作成に挑戦する。
復習時間：180分
カラーの紙でできた帯を織るだけで正多面体を作る。

第6回 正6面体群

予習内容：前々週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。
予習時間：30分
復習内容：サブノートの問題を復習する。特にサブノートの重要例題を習得する。
復習時間：60分
立方体を実際に回転させながら正6面体群の各元を生成する。

第7回 群の同型

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。
予習時間：30分
復習内容：サブノートの問題を復習する。特に二つの群についてそれぞれの演算が同じ振る舞いをするとはどういうことなのか理解を確認する。
復習時間：60分
群の同型を定義する。
群を同一視していることを把握する。
 S_4 と $P(6)$ の同型を理解する。

第8回 正4面体群

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。
予習時間：30分
復習内容：サブノートの問題を復習する。特に $P(4)$ の各元を互換表示として見たときどれも偶置換であることを確認する。
復習時間：60分

正四面体を実際に回転させながら正4面体群の各元を生成する。

A_4 と $P(4)$ の同型を理解する。

第9回 正多面体群

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に正多面体の頂点・辺・面の個数が求められるように練習する。

復習時間：60分

各正多面体群同士の関連性を学習する。

正多面体の頂点・辺・面の個数をラグランジュの定理から導く。

第10回 巡回群

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に生成元を用いた巡回群の表記が無理なくできるように復習する。

復習時間：60分

巡回群を定義する。

生成元、巡回群の表記法を習得する。

巡回部分群について学習する。

第11回 有限巡回群

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に有限巡回群の同型について何を主張しているのか、その意義を確認する。

復習時間：60分

有限巡回群を定義する。

有限巡回群の同型について学習する。

第12回 元の位数

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に元の位数が即座に求められるように練習する。

復習時間：60分

元の位数を定義する。

群の位数との違いと関連性について確認する。

位数が素数の群について調べる。

第13回 群が働く

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特にある群がある集合に働いているとき、その確認ができるようになること。

復習時間：60分

「群が集合に働く」を定義する。

群が集合に働くイメージをつかむ。

第14回 軌道

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：サブノートの間を復習する。特に軌道を求められるように復習する。

復習時間：60分

軌道を定義する。

立方体の回転を使って軌道のイメージを確認する。

第15回 まとめ

予習内容：前週に返却された演習を復習する(ことが本時の予習につながる)。できなかつたり不安な点はサブノートで確認する。

予習時間：30分

復習内容：試験に向けて総復習を行う。返却された演習やサブノートの間を復習する。

復習時間：180分

後期学習内容の総復習および試験情報、対策について告知する。

定期試験

■ホームページ

代数学概論公式ホームページ <http://takaharu-hirai.private.cocan.jp/kinki/algebra/algebra.html>

科目名 :	幾何学 I A				
英文名 :	Geometry 1A				
担当者 :	森杉 馨				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この講義では、後期の I B での実数論の理解の準備として、数学言語として基礎的な集合論的な扱いになれることを目標とする。背理法などにもなれることも目標のひとつである。これらは、中学校、高校の数学のバックグラウンドでもある。特に、濃度の概念を学び、ものを数えるという行為の意味、さらに無限を数えると言う観点で、後期の実数論を集合的観点から前もって補足する。そのため、適宜、演習などを行いながらの講義となる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

中学校・高校の数学理解をより厳密に行うには、背後に集合論や実数論が必要になることが多い。このことは、図形の性質などを見るとき、面積や長さを調べることに関連している。幾何学 I A、B の講義では、実数とは有理数のいかなる意味の拡張であるか、何故にそのような拡張が必要となるのかを理解することを目標とする。そのため前期の I A では、数学言語としての簡単な集合概念を理解し、それを使えるようになることを目標とする。

■ 成績評価方法および基準

中間試験 90%

レポート 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題を課した時は、講義中に論評し、解説する。

■ 教科書

プリントを配付する。

■ 参考文献

集合及び実数に関して書いてあるものであれば何でもよい、ただし、詳し過ぎるものは好ましくない。

■ 関連科目

引き続き幾何学 I B を受講することが望ましい。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室 (2 号館2 階) kaoru_morisugi_1947@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 集合

予習内容：特になし、第2回以降も同じ。

復習内容：前回の講義のノートを読み直しておくこと、とりわけ新しい定義、定理の内容を復習しておくこと。第2回以降も同じ。

復習時間：45分

第2回 命題、否定、対偶、背理法など

第3回 集合の記号と意味

第4回 上記の具体例

第5回 べき集合、直積集合、写像

第6回 集合演算、写像

第7回 単射、全射、全単射、逆写像

第8回 種々のexample

第9回 可算、濃度

第10回 さまざまな例

第11回 対角線論法etc

第12回 実数と有理数

第13回 中学校や高校での無理数の解釈

第14回 濃度の大小

第15回 まとめ

■ ホームページ

科目名 :	幾何学 I B						
英文名 :	Geometry 1B						
担当者 :	森杉 馨						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

この講義では、前期で身に付けた集合論的扱いのもとで、数学の基礎基本である実数論を学ぶ。これらは、中学校、高校の数学（とりわけ、幾何・解析関連）のバックグラウンドでもある。有理数だけではなぜ不足なのか、実数とは有理数のいかなる意味の拡張になっているのかを中心テーマとして学習する。また、高校では学べない極限についても演習などを交えて学ぶ。その延長として、高校では十分には解説されていない指数関数の定義とその性質までやりたいと考えている。

■ 学習・教育目標及び到達目標

中学校・高校の数学、理解をより厳密に行うには、背後に集合論や実数論が必要になることが多い。このことは、図形の性質などを見るとき、面積や長さを調べることに関連している。幾何学 I A、B の講義では、実数とは有理数のいかなる意味の拡張であるか、何故にそのような拡張が必要となるのかを理解することを目標とする。そのため後期の I B では、中学・高校の数学の背景として必要な、実数論を身に付けることを目標とする。

■ 成績評価方法および基準

中間試験 90%

レポート 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題を課した時は、講義中に論評し、解説する。

■ 教科書

プリントを配付する。

■ 参考文献

集合及び実数に関して書いてあるものであれば何でもよい、ただし、詳し過ぎるものは好ましくない。

■ 関連科目

幾何学 I A を受講済みであることを前提とする。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）kaoru_morisugi_1947@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 実数

予習内容：特になし。第2回目以降もおなじ。

復習内容：前回の講義内容のうち、定義、定理などの内容を復習しておくこと。第2回目以降も同じ。

復習時間：45分

第2回 有理数の性質

第3回 順序体とDedekind の切断公理

第4回 上限、下限、有界

第5回 数列と収束

第6回 さまざまな例

第7回 区間縮小法の原理、集積点など

第8回 基本列とその性質

第9回 実数の完備性

第10回 実数の構成

第11回 級数、数列

第12回 さまざまな例

第13回 関数の連続性

第14回 指数関数について

第15回 まとめ

■ ホームページ

科目名 :	幾何学ⅡA				
英文名 :	Geometry 2A				
担当者 :	森杉 馨				
開講学科 :	教職科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	教職科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

作図問題に関して講義する。中学・高校までに学んでいる平面幾何を少し厳密に振り返った後、基本的な作図を学び、また、実際に定規とコンパスを用いて作図を行う。その後、平面上の作図を簡潔に表すために複素数平面を考えるとともに、複素数平面の幾何学的意味を理解し、以後、複素数平面上の作図を扱う。これにより中学校・高校で学んだ2次方程式の解、定規とコンパスによる基本作図などを有機的に理解する（実際に作業する）。基本的には予備知識は要求しない。

■ 学習・教育目標及び到達目標

中学校レベルの代数・幾何と高校での複素数を、作図と言う観点から見直し、その関連性を理解できること。2次方程式、作図、複素数平面を有機的に理解する。

■ 成績評価方法および基準

中間試験 80%

レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題を課した時は、講義中に論評し、解説する。

■ 教科書

プリントを配付する。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

代数学概論Ⅰ, Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）kaoru_morisugi_1947@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 作図

予習内容：特になし。第2回目以降も同じ。

復習内容：前回の講義内容のうち、定義、定理などの内容を復習しておくこと。第2回目以降も同じ。

復習時間：45分

第2回 定規とコンパスによる作図

第3回 中学・高校平面幾何学の復習 平行線と角

第4回 中学・高校平面幾何学の復習 外角と内角、合同

第5回 中学・高校平面幾何学の復習 相似、円

第6回 四則演算と作図

第7回 2次方程式と作図

第8回 複素数について (1) 演算

第9回 複素数について (2) 幾何学的意味

第10回 複素数について (3) 数の本質

第11回 作図可能性について

第12回 正五角形、正17角形の作図

第13回 ギリシャの3大作図問題

第14回 ギリシャの3大作図問題

第15回 まとめ

■ [ホームページ](#)

科目名 :	幾何学ⅡB						
英文名 :	Geometry 2B						
担当者 :	森杉 馨						
開講学科 :	教職科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	教職科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

高校までの2次曲線を、円錐の切断面に現れるもの、点集合の軌跡として楕円・放物線・双曲線、座標平面の標準形、および、極座標表示などについて振り返るとともに統一的に見直す。予備知識は要求しないが、この講義では、線形代数をある程度知っていることが望ましい。ただし、前提としない。

■ 学習・教育目標及び到達目標

高校での2次曲線をより深く理解することを目標とする。古典的な楕円、放物線、双曲線の定義が理解できるとともに、それらの方程式の標準形が分かること。その後、空間内の曲面として、2次曲面について理解する。また与えられた3変数の2次式から、それを標準形に直して、その式が表すものがいかなる曲面になっているかが判定できることを目標とする。

■ 成績評価方法および基準

中間試験 80%
レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題を課した時は、講義中に論評し、解説する。

■ 教科書

プリントを配付する。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）kaoru_morisugi_1947@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 円錐曲線

予習内容：特になし。第2回目以降も同じ。

復習内容：前回の講義内容のうち、定義、定理などの内容を復習しておくこと。第2回目以降も同じ。

復習時間：45分

第2回 2次曲線

第3回 楕円とその標準形

第4回 放物線および双曲線の標準形

第5回 円錐曲線

第6回 2次曲線とその標準形（行列は使わない）

第7回 2次曲線とその標準形（行列は使わない）

第8回 極座標表示

第9回 線形代数から1 一次独立と次元

第10回 線形代数から2 固有値と固有ベクトル

第11回 線形代数から3 対角化

第12回 実対称行列の直交行列による対角化

第13回 2次曲面について 標準的なもの

第14回 2次曲面について 標準形

第15回 まとめ

■ホームページ

科目名 :	情報処理応用				
英文名 :	Application in Information Processing				
担当者 :	楠 正暢				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

我々は多くの場面でコンピュータを活用している。1つのデバイス（ハードウェア）でありながら、目的に応じて様々な用途に対応できるのは、いうまでもなくソフトウェア（アプリケーション）がその役割を担っているからである。コンピュータが生活に浸透した今日では、ソフトウェアの種類も数えきれないほどあり、たいいていの場合、市販（フリーウェアや組込みソフトを含む）のソフトウェアを活用することでその用は足りている。一方、エンジニアが、「新しいものを作り出す」、「新しい知見を得る」という立場で、実験、開発、研究などの活動を行う場合、既存のソフトウェアの利用だけでは十分ではなく、その目的に応じ、独自のプログラムを作らねばならない場面に遭遇する。また、コンピュータを使って、データを適切に取り扱うことができる能力もエンジニアは備えていなければならない。本科目では、プログラミング言語としてc#を用い、プログラミングの基礎を身につける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・プログラミング言語としてc#を用い、基礎的なプログラミングができること。
- ・基礎的な科学技術計算用プログラムを作成できること。
- ・ファイル操作を行い、データの入出力ができること。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート（全15回） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の課題に対する解説をします。

■ 教科書

資料を配付

■ 参考文献

指定しない

■ 関連科目

線形代数学、微分積分学、確率統計、情報処理基礎Ⅰ、Ⅱ、シミュレーション工学、人間環境デザイン工学実験Ⅰ、Ⅱ実習、卒業研究 など

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

楠研究室(東1号館1階111)・kusunoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

土曜 1～2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 情報処理応用ガイダンス

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第2回 C#とVisual Studio

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第3回 プロジェクト、コンパイル(ビルド)

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第4回 ツールボックス、プロパティ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第5回 入力と出力

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第6回 変数、宣言

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第7回 型の変換

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第8回 コメント

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第9回 デバッグ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第10回 演算

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第11回 条件分岐(if)

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第12回 条件分岐(switch)

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：60分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：60分

第13回 比較演算子と真偽値

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第14回 数学関数

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第15回 フラグ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第16回 サブルーチン

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第17回 関数と引数

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第18回 繰り返し処理(for)

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第19回 繰り返し処理(while)

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第20回 割り込み

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第21回 配列

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第22回 最大値、最小値

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第23回 ソート

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第24回 画像の表示

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第25回 タイマー

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第26回 日時の取得

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第27回 ファイルアクセス

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第28回 ファイル名、拡張子の取得

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第29回 フォームとコンソール

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第30回 乱数

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

■ ホームページ

科目名 :	応用解析学 I				
英文名 :	Applied Analysis 1				
担当者 :	西垣 勉				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理工学に関わる自然現象や社会現象の事象が数理モデル化されるとき、微分方程式の形で表現されることが多い。これらの現象を解明、分析するためには微分方程式の解法が必要となる。設計に必要な力学系科目においても微分方程式の理解は不可欠である。本講では、1年で学んだ微分積分学の理解を基礎として、微分方程式の概念と1階常微分方程式の解法についておもに学ぶ。同時に微分方程式による物理現象の記述と解の意味についても講述する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 微分方程式の概念を理解し、工学的応用についての知識を習得すること。
2. 実現象をモデル化することで微分方程式を作成して正しく解き、導かれた解の意味を理解できるようになること。
3. 基本的な1階常微分方程式が解けるようになること。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%

小テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業中課題については、翌回以降の授業時間に答案を返却し、要点を解説します。

試験については、試験期間終了後に試験の要点と講評をUNIVRESAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784627076716 『基礎からの微分方程式-実例でよくわかる-』 (稲岡 毅, 森北出版 : 2012)

■ 参考文献

[ISBN]9784320019348 『徹底攻略 常微分方程式』 (真貝 寿明, 共立出版 : 2010)

[ISBN]9784627074521 『工学系学生のための常微分方程式(第2版)』 (小寺 忠, 森北出版株式会社 : 2006)

■ 関連科目

基礎数学、数学、微分積分学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

西垣研究室 (西1号館3階352) ・ nisigaki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 5 限

事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 物理現象と微分・積分

予習内容 : 微分積分学の内容概略を復習してくる

予習時間 : 30分

復習内容 : 物理現象と微分・積分についての授業中課題を復習する

宿題として指定された微積分の復習問題を解いてくる

復習時間 : 90分

・前年度に学修した微分積分学の内容を総括し、その応用としての微分方程式という分野の位置づけを理解する。

・身近な物理現象の解明や理工学分野における研究などで微分方程式が必須のツールであること、その応用のされ方を考えられるようになる。

第2回 微分方程式の定義と代表的な微分方程式

予習内容：微分方程式の定義について事前に調べておく

予習時間：30分

復習内容：微分方程式の定義や種類についての授業中課題を復習する

復習時間：30分

- ・微分方程式とは何かを知り、説明できるようになる。
- ・代表的な微分方程式の分類について学び、そのうち今学期で学修する範囲を押さえられるようになる。

第3回 モデル化と微分方程式

予習内容：モデル化についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：例題の数学モデル化と微分方程式についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・微分方程式を解く前に、微分方程式を立てるという作業が重要であることを理解する。
- ・微分方程式を立てるに当たって、実現象を数学モデル化することが必要であることを知り、基礎的な力学分野での例題を通して、モデル化のプロセスを学び、自ら実行できるようになる。

第4回 1階線形微分方程式

予習内容：1階線形微分方程式についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：1階線形微分方程式について授業中例題を復習し、他の問題にも取り組む

復習時間：60分

- ・微分方程式の階数、線形および非線形モデルについて復習し、1階線形微分方程式の特徴を理解する。
- ・最も基本的な1階線形微分方程式について、単純に解く方法を試し、得られた解が微分方程式を満たすことを検証し、解ける範囲とその限界がわかるようになる。

第5回 微分方程式の種類

予習内容：微分方程式の種類についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：微分方程式を解くということについての授業課題を復習する

復習時間：30分

- ・微分方程式の種類と分類の意味や見分け方を理解する。
- ・それぞれの分類された微分方程式がどのような例題に応用されるかを学ぶ。
- ・微分方程式を解くということについて、体系的に考えられるようになる。

第6回 初期値問題と境界値問題

予習内容：初期値問題と境界値問題についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：授業中課題としてとりあげた例題を復習する

復習時間：60分

- ・初期値問題と境界値問題が、着目する物理現象に応じて定義され、また微分方程式を解くにあたって必要であることを学ぶ。
- ・例として初期値問題を取りあげ、簡単な微分方程式を実際に解くことによりその意味を理解する。

第7回 変数分離法

予習内容：変数分離法についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：・変数分離法についての授業中課題を復習する

- ・指定された問題が宿題として出題されるので、これを実施してくる

復習時間：120分

- ・第6回までに学んだ1階線形微分方程式の解き方が、変数分離法という解法に帰着されることを学ぶ。
- ・変数分離法の型を理解し、なぜ解ける構造なのかを考え、そのバリエーションについて考えることができるようになる。

第8回 微分方程式の工学的応用(1)

予習内容：力学分野における微分方程式応用について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：力学分野における微分方程式応用の内容を復習し、他の例もリサーチする

復習時間：60分

- ・「総合演習 I」として、力学分野から1階線形微分方程式で記述される例題を取りあげ、その解法をもれなく辿ることで微分方程式の工学的応用ならびに学んだ解法の活用方法について知る。

- ・他の例題についてもテキストなどを参考に自ら方程式を記述し解いてみる。

第9回 変数分離型への変換

予習内容：変数分離型への変換について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：変数分離型への変換についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・一見解けないように見える微分方程式について、変数分離型へ変換することで解くことができる場合があることを学ぶ。
- ・同次型に変換して解けるようになる。
- ・1次式を変数に置きかえて微分方程式を変換して解けるようになる。

第10回 積分因子法(1) 定数係数微分方程式

予習内容：積分因子法についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：積分因子法についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・積分因子を適用することにより、変数分離法に帰着させて解く方法について学ぶ。
- ・定数係数微分方程式について、積分因子法により解が導けるようになる。

第11回 積分因子法(2) 変数係数微分方程式

予習内容：積分因子法についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：積分因子法についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・第10回で学んだ積分因子法について、変数係数微分方程式に適用する方法について学ぶ。
- ・変数係数微分方程式における積分因子が求められるようになる。
- ・例題について積分因子法を適用して解を導いてみる。

第12回 非同次型微分方程式(1) 未定係数法

予習内容：未定係数法についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：未定係数法についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・非同次型微分方程式の解法について学ぶ。特に未定係数法について、その解法を理解する。
- ・例題について、未定係数法を適用して解いてみる。

第13回 非同次型微分方程式(2) 定数変化法

予習内容：定数変化法についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：定数変化法についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・非同次型微分方程式の解法について学ぶ。特に定数変化法について、その解法を理解する。
- ・例題について、定数変化法を適用して解いてみる。

第14回 完全微分形

予習内容：完全微分形についてテキストを予習してくる

予習時間：30分

復習内容：授業中課題を復習する

復習時間：30分

- ・完全微分形について学び、これがどのように微分方程式と解法につながるかを知る。

第15回 微分方程式の工学的応用(2)

予習内容：電気分野における微分方程式応用について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：工学的応用についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・「総合演習Ⅱ」として、例えば電気分野から1階線形微分方程式で記述される例題を取りあげ、その解法をもれなく辿ることによって微分方程式の工学的応用ならびに学んだ解法の活用方法について知る。
- ・他の例題についてもテキストなどを参考に自ら方程式を記述し解いてみる。

定期試験

1階線形微分方程式について学んだ内容をもとに、初見の問題について、学んだ解法のいずれかを正しく適用して解を導くことができるかを問う。必要であれば、出題文をもとに数学モデル化を行い、微分方程式を立てることができるかも問う。

■ホームページ

科目名 :	応用解析学Ⅱ				
英文名 :	Applied Analysis 2				
担当者 :	楠 正暢				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

理工学に関わる自然現象や社会現象の事象が数理モデル化されるとき、微分方程式の形で表現されることが多い。これらの現象を解明、分析するためには微分方程式の解法が必要となる。設計に必要な力学系科目においても微分方程式の理解は不可欠である。本講では特に、2階の常微分方程式、連立微分方程式の解法、偏微分の理解を基礎とした拡散方程式、波動方程式、ラプラス方程式、ポアソン方程式などの偏微分方程式の意味と解法について学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

2階の線形常微分方程式が解けるようになる。
 2階の線形常微分方程式から連立微分方程式を導き、連立微分方程式が解けるようになる。
 熱伝導や振動といった物理現象を表す偏微分方程式について、基本的解析法、数値解法ができるようになる。
 この科目の修得は、本学科が定めるディプロマポリシー 2 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の課題に対する解説をします。

■ 教科書

[ISBN]9784627076716 『基礎からの微分方程式-実例でよくわかる-』 (稲岡 毅, 森北出版 : 2012)

■ 参考文献

指定しない

■ 関連科目

基礎数学、数学、微分積分学、線形代数学、応用解析学 I

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

楠研究室(東1号館1階111)・kusunoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

土曜 1～2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 微分方程式を解くために必要な基礎事項の確認(1)

予習内容 : 講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間 : 30分

復習内容 : 講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間 : 30分

第2回 微分方程式を解くために必要な基礎事項の確認(2)

予習内容 : 講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間 : 30分

復習内容 : 講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間 : 30分

第3回 微分方程式の分類

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第4回 変数分離型に帰着するための基本的方針(1)

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第5回 変数分離型に帰着するための基本的方針(2)

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第6回 斉次方程式

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第7回 非斉次方程式

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第8回 確認テスト

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第9回 2階定係数線形同次微分方程式

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第10回 作用素

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第11回 微分方程式と特性方程式の関係

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第12回 特性方程式の解による場合分け

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第13回 2階定係数線形非同次微分方程式

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。
予習時間：30分
復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：30分

第14回 高階線形微分方程式

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：30分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：30分

第15回 応用解析学の総まとめ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：30分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：30分

定期試験

■ ホームページ

科目名	確率統計				
英文名	Probability and Statistics				
担当者	北山 一郎				
開講学科	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位	2単位	開講年次	3年次	開講期	前期
科目区分	専門科目				
備 考					

■ 授業概要・方法等

我々は、獲得したデータをもとになんらかの意思決定を行わなければならない場面に数多く遭遇する。その際、データから定量的な数値等で示される特徴を抽出することが必要となり、そのための有効な手法が統計学である。また、統計学の基礎となる学問が確率論である。本講義では、はじめに、データの統計的な整理方法を学びながら、それらの基礎である確率変数や確率分布などの確率論の基本概念を習得する。次に、これらの概念を生かし、データからそれらの背後にあるより大きな集団（母集団）の特性値の推定や得られたデータが同じ母集団からのものかどうかなどの差を分析する検定という手法を学ぶ。さらにそれらを発展させたものとして、回帰分析などの基本概念について学修する。授業では、できるだけ多く具体的な例を取り上げ学修を進めていく。授業の理解度を評価するため、課題（ミニツツペーパー）をほぼ毎回実施する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

データ処理は、統計処理ソフトウェアを使用すれば比較的簡単に実施できる。本講義ではデータの属性に対応した適する処理手法が使用できるよう確率及び統計の基本概念と実例に際しての計算をしっかりと身につける。本講は、学科ディプロマポリシー4にある“知識・理解”に係るモノづくりの基礎知識と課題解決のために必要な講義である。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 75%
授業中課題（ミニツツペーパー、レポート） 25%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に前回の課題の解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784434211621 『4Stepエクセル統計 第4版』（柳井久江, 星雲社 : 2015)

■ 参考文献

[ISBN]9784785310752 『統計学入門』（稲垣 宣生, 裳華房 : 1992)

■ 関連科目

数学関連科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

北山研究室（西1号館1階152）・kitayama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 統計学の役割と数値データの取扱

予習内容：統計学の役割を調べる。

予習時間：20分

復習内容：統計学の役割を理解し、間隔尺度などの数値データの取扱を理解する。

復習時間：40分

統計学の役割と名義尺度などの4種類の尺度について学ぶ。

第2回 基本統計量（I）

予習内容：基本統計量の種類を調べる。

予習時間：20分

復習内容：平均と分散など意味を理解し、それぞれ計算ができるようにする。

復習時間：40分

分布の中心および広がりを表す基本統計量（平均、分散など）を学ぶ。

第3回 基本統計量（Ⅱ）

予習内容：ヒストグラムについて調べる。

予習時間：20分

復習内容：分布の形を表す基本統計量とヒストグラムを理解する。

復習時間：40分

分布の形を表す基本統計量とヒストグラムについて学修する。

第4回 基本統計量（Ⅲ）

予習内容：ヒストグラムの元となるデータ例について調べる。

予習時間：20分

復習内容：データをもとにヒストグラムが作成できるようになる。

復習時間：40分

ヒストグラムについてさらに詳しく学び、実際の事例においてヒストグラムが作成できるようになる。

第5回 確率の基礎

予習内容：確率変数とは何かを調べる。

予習時間：20分

復習内容：確率の基礎を理解し確率変数の意味を理解する。

復習時間：40分

確率変数や確率分布など確率の基礎事項を学ぶ。

第6回 確率分布（Ⅰ）－離散型確率分布－

予習内容：ポアソン分布について調べる。

予習時間：20分

復習内容：代表的な離散型確率分布および正規分布の基礎を理解する。

復習時間：40分

ポアソン分布など離散型確率分布および正規分布の基礎を学ぶ。

第7回 確率分布（Ⅱ）－連続型確率分布－

予習内容：正規分布と確率の関係を調べる。

予習時間：20分

復習内容：正規分布の分散の計算や正規分布による確率の計算などが行えるようにする。

復習時間：40分

正規分布を深く理解し、正規分布を用いた確率の計算などが行えるようにする。

第8回 標本分布（Ⅰ）

予習内容：標本分布を調べる。

予習時間：20分

復習内容：標本データの意味とそれによる標本分布について理解する。

復習時間：40分

標本データの意味とそれによる標本分布について学ぶ。

第9回 標本分布（Ⅱ）

予習内容：中心極限定理を調べる。

予習時間：20分

復習内容：標本分布についてより深く理解するとともに中心極限定理を説明できるようにする。

復習時間：40分

標本分布についてより深く学ぶとともに中心極限定理について学ぶ。

第10回 第1種の誤りと第2種の誤り

予習内容：統計学における第1種の誤りと第2種の誤りについて調べる。

予習時間：20分

復習内容：第1種の誤り、第2種の誤り、検出力（検定力）を理解する。

復習時間：40分

第1種の誤りと第2種の誤りとは何かについて学ぶとともに、検出力（検定力）についても学ぶ。

第11回 スチューデントのt分布

予習内容：スチューデントのt分布とはなにかを調べる。

予習時間：20分

復習内容：スチューデントのt分布と正規分布の違いとt分布の活用を理解する。

復習時間：40分

スチューデントのt分布の意味とその活用事例を学ぶ。

第12回 推定および検定

予習内容：検定と推定について基礎事項を調べる。

予習時間：20分

復習内容：検定と推定の意味と計算の流れを理解する。

復習時間：40分

統計的推定と統計的検定とはなにかについて学ぶ。

第13回 F分布・2群の差の検定

予習内容：F分布を調べる。

予習時間：20分

復習内容：F分布を理解するとともに、2群の差の検定が活用できる程度に理解を深める。

復習時間：40分

F分布について学ぶとともに、実際の実験場面で多く活用されている2群の差の検定について学ぶ。

第14回 分散分析・多重比較の基礎

予習内容：分散分析・多重比較について調べる。

予習時間：20分

復習内容：分散分析・多重比較についてそれらの意味を理解し、活用できるようにする。

復習時間：40分

分散分析および多重比較に関する基礎事項を学ぶ。

第15回 ノンパラメトリック検定検定・回帰分析の基礎

予習内容：パラメトリック検定とノンパラメトリック検定を調べる。

予習時間：20分

復習内容：ノンパラメトリック検定の意味および回帰分析の意味を理解する。総復習する。

復習時間：120分

ノンパラメトリック検定の意味および回帰分析についての基礎事項を学ぶ。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	心理統計学				
英文名 :	Statistics for Psychology				
担当者 :	片山 一郎				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

統計学は、バラツキのあるデータの性質や規則性を見出し、データの要約や解釈を行う際の根拠となる学問であり、自然科学、社会科学、医学等の幅広い分野で応用されている。心理学においても、統計学は被験者から得られたデータを分析するための理論として不可欠な学問である。本講義では、集団から抽出された統計データの特性に基づいて、集団全体の特性を推定・検定するための推測統計学について学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・ 統計的仮説検定の考え方を理解する。
- ・ 検定により2つの平均が比較できることを理解する。
- ・ 分散分析による3つ以上の平均の比較について理解する。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 2 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%

小テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784623039999 『よくわかる心理統計 (やわらかアカデミズム・わかるシリーズ)』 (山田 剛史, ミネルヴァ書房 : 2004)

■ 参考文献

[ISBN]9784774109299 『イラスト・図解 確率・統計のしくみがわかる本—わからなかったことがよくわかる、確率・統計入門』 (長谷川 勝也, 技術評論社 : 2000)

■ 関連科目

確率統計

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

片山研究室(東1号館2階216)・katayama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎的事項の確認

予習内容 : 「確率・統計」の講義内容を確認する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 講義内容を確認する。

復習時間 : 30分

平均、偏差、分散、相関係数など、記述統計の基本的な事項を確認する。

第2回 尺度水準

予習内容 : 教科書P.22

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

尺度の各水準について、数学的情報および数学的操作を解説する。

第3回 母集団と標本

予習内容：教科書P.68

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

母集団と標本との関係、不偏性と不偏推定量について解説する。

第4回 統計的仮説検定の考え方 I

予習内容：教科書P.108

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

統計的仮説検定の考え方、基本的な用語、検定手順について解説する。

第5回 統計的仮説検定の考え方 II

予習内容：教科書P.118

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

両側検定と片側検定、検定における二種類の過誤について解説する。

第6回 母分散が未知の場合の一つの平均値の検定

予習内容：前回までの講義内容を確認する。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

母分散の不偏推定量を用いた一つの平均値の検定について解説する。

第7回 相関係数の検定

予習内容：教科書P.132

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

母相関係数の検定について解説する。

第8回 度数の検定 I (適合度の検定)

予習内容：教科書P.134

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

観測度数と期待度数から適合度の検定統計量を求める方法を解説する。

第9回 度数の検定 II (独立性の検定)

予習内容：教科書PP.62~65, PP.138~140

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

クロス集計表から独立性の検定統計量を求める方法およびクラメールの連関係数について解説する。

第10回 母平均の差の検定 I (独立な2群の場合)

予習内容：教科書PP.146~149

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

母分散が等しいが未知である独立な2群について、母平均の差の検定方法を解説する。

第11回 母平均の差の検定 II (対応のある2群の場合)

予習内容：教科書PP.150~153

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

母分散が等しいが未知である対応のある2群について、母平均の差の検定方法を解説する。

第12回 分散分析 I

予習内容：教科書PP.162～165

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

前回および前々回の手法が3群以上の母平均の差の検定に適用できない理由と分散の分解について解説する。

第13回 分散分析 II

予習内容：教科書PP.166～169

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

平均平方および分散分析の基本用語について解説する。

第14回 分散分析 III

予習内容：前回および前々回の内容を確認する。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

分散分析の具体例について解説する。

第15回 多重比較

予習内容：教科書PP.170～173

予習時間：30分

復習内容：講義内容を確認する。

復習時間：30分

チューキーの方法について解説する。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	システムデザインと倫理				
英文名 :	System Design and Engineering Ethics				
担当者 :	北山 一郎・楠 正暢・中川 秀夫・山田 崇史・藤井 雅雄				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

本講義は、企業経験を有する教員によるオムニバス方式で進めていく。生活・福祉関連機器のユニバーサルデザインあるいは設計における企業での取り組みや技術者に必要な倫理意識について講述し、これまで学んできた個別の講義内容を総合的にとらえ、人間科学、環境科学と機器デザインとの結びつきを学ぶ。

研究活動における倫理では研究者に求められる倫理について、過去の事例や自らの実験ノートなどを題材として学修する。

福祉機器デザインの講義では、福祉機器開発現場で臨床に求められる倫理審査及び事故につながる可能性のあるヒヤリハットなどについて解説する。

住環境のデザインでは、客の要求条件を満たす一方で、さまざまな法令を順守することが求められる。住環境に関する法令、事件・事故の事例について解説し、技術者として適切な判断ができるよう基本的な知識・倫理観を身につける。

工作機械のデザインでは、設計作業はコストや性能・安全性など多方面からの検討が必要で、倫理問題はその相反する2面間のグレーゾーンで発生することを述べる。

技術者倫理では、モノづくりにおけるコンプライアンスマインドや製造物責任などを具体的な事例を通して解説し、技術者に必要な倫理意識を身につける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

ものづくりにおける企業での取り組みや技術者に必要な倫理意識を具体的なケーススタディで学び、卒業研究や卒業後の実社会で活かせる実践力を身につけることを目標とする。同講義は、学部ディプロマポリシー“4. 科学技術に対して高い倫理観を有していること”を醸成する講義の一つである。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート提出時に際し、その成否に応じて、内容構成等に対して指導を行う。

■ 教科書

特になし。適時資料を配付します。

■ 参考文献

必要に応じて、講義中に紹介します。

■ 関連科目

人間環境デザイン工学科で学ぶ専門科目に関連する。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

楠研究室 (東1号館1階111) ・ kusunoki@waka.kindai.ac.jp
 山田研究室 (西1号館2階254西) ・ yamada@waka.kindai.ac.jp
 北山研究室 (西1号館1階152) ・ kitayama@waka.kindai.ac.jp
 中川研究室 (東1号館1階102) ・ nakagawa@waka.kindai.ac.jp
 藤井：講師控室 (2号館2階254) ・ fujii@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

代表 北山 火曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 住環境のデザイン(1)

予習内容：身の回りの住環境（住宅、建築物、都市空間）に関わる法令について調べる。

予習時間：120分

復習内容：講義内容をまとめ、知識として生かせるようにする。

復習時間：120分

住環境に関する法令について学ぶ。

第2回 住環境のデザイン(2)

予習内容：住環境に関する事件・事故の事例と概要について調べる。

予習時間：120分

復習内容：講義内容をまとめ、知識として生かせるようにする。

復習時間：120分

住環境に関する事件・事故の事例について学ぶ。

第3回 住環境のデザイン(3)

予習内容：住環境に関する技術者倫理について自らの意見を考えてくる。

予習時間：120分

復習内容：講義内容をまとめ、知識として生かせるようにする。

復習時間：120分

住環境に関する事件・事故の事例を通して、技術者倫理について考える。

第4回 福祉機器のデザイン(1)

予習内容：福祉機器に係る事項としてインフォームドコンセントについて調べる

予習時間：150分

復習内容：倫理に関わる重要な用語を復習する

復習時間：90分

倫理に関わる重要な用語について学ぶ。代表的な開発機器における技術と安全性の事例を学ぶ。

第5回 福祉機器のデザイン(2)

予習内容：福祉工学について調べる。

予習時間：120分

復習内容：福祉工学とプライバシー保護を理解する。

復習時間：120分

福祉工学とプライバシー保護について学ぶ。また、代表的な開発機器における技術と安全性の事例を今回も学ぶ。

第6回 福祉機器のデザイン(3)

予習内容：ヒヤリハットについて調べる

予習時間：120分

復習内容：第4回～第6回をまとめて復習する。

復習時間：120分

ヒヤリハット、ヒューマンエラーについて学修する。また、代表的な開発機器における技術と安全性の事例を今回も学ぶ。

第7回 研究活動における倫理（1）

予習内容：過去に起こった研究活動における不正問題について調査する。

予習時間：120分

復習内容：自らの、実験、実習のノート、レポートを見直し問題のある点を確認する。

復習時間：120分

過去に起きた研究活動における不正問題について学ぶ。

第8回 研究活動における倫理（2）

予習内容：自らの、実験、実習のノート、レポートを題材として正しくはどのようにすべきか修正してみる。

予習時間：120分

復習内容：講義で扱う仮想的な実験に対し、実験ノート、報告書を作成してみる。

復習時間：120分

実験ノートの書き方を学ぶ。

第9回 研究活動における倫理（3）

予習内容：文献等からの引用について、その方法を調査する。

予習時間：120分

復習内容：第1回～3回の総復習を行う。

復習時間：120分

引用に関し留意する事項を学ぶ。

第10回 工作機械のデザイン(1)

予習内容：工作機械の種類と用途、自動化（NC化）について調査する。

予習時間：150分

復習内容：設計者が配慮すべき、性能、コストなどの因子間の相互関係図を作成する。

復習時間：90分

工作機業界の特質とユーザーのコストダウン要求の背景について説明する。

第11回 工作機械のデザイン(2)

予習内容：工作機械製品の安全対策設計の事例を調査する、

予習時間：90分

復習内容：「安全第一」であるが、それを「第二」に押しやる要因についてまとめる。

復習時間：150分

工作機械の高性能化、信頼性設計、安全性設計の間のトレードオフについて説明する。

第12回 工作機械のデザイン(3)

予習内容：工作機械製品の環境対策、省エネ設計の事例を調査する

予習時間：90分

復習内容：デザイン・環境・省エネに対する考え方の変化について時代背景を加えて整理する

復習時間：150分

人間工学的デザイン、環境・省エネ対策、企画・法律の観点から設計作業の重要性について述べる。

第13回 コンプライアンスマインド

予習内容：コンプライアンスマインドについて事前調査する。

予習時間：150分

復習内容：技術者の心構えを考察する。

復習時間：90分

玩具を開発する若い技術者が製造現場で直面する倫理問題を通してコンプライアンスマインドについて学ぶ。

第14回 チャレンジャー事故に学ぶ

予習内容：チャレンジャー事故について事前調査する。

予習時間：150分

復習内容：組織の中での技術者の行動倫理について考察する。

復習時間：90分

スペースシャトル・チャレンジャー号の事故例を通して、企業組織での技術者のあり方を考える。

第15回 製造物責任

予習内容：製造物責任について事前調査する。

予習時間：150分

復習内容：技術者としての心構えを考察する。

復習時間：90分

製造物の欠陥で人の命や財産に被害が生じた場合、製造者は損害賠償を負う義務がある。

モノづくりにかかわる技術者として製造物責任の考え方を学ぶ。

■ホームページ

科目名	シミュレーション工学						
英文名	Simulation Engineering						
担当者	楠 正暢						
開講学科	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位	2単位	開講年次	3年次	開講期	後期	必修選択の別	選択科目
科目区分	専門科目						
備 考							

■ 授業概要・方法等

シミュレーションは現実には起こる事象に対し、それを何らかの形で模擬することにより、そこで生じる内容や結果について分析、推定する手法である。ここで扱う事象は自然現象、科学技術、医学、スポーツ、社会現象、経済、教育、ゲームなど、あらゆるものが対象とされる。シミュレーションを用いる目的としては、一般的にその事象を模擬的に行うことにメリットがある状況、例えば、実際に行うには危険が伴う場合、発生確率が少ない場合、時間的に長くかかりすぎる（または短すぎる）場合、コストが多くかかる場合、人工的にそれを発生させることが不可能な場合などが挙げられる。シミュレーションのレベルには、ノートで計算するような手法、小規模な模型などを用いて試す手法、コンピュータで仮想的に行う方法などに分けられるが、近年はコンピュータ技術の発達によりこれを用いることが圧倒的に多くなっている。本講義では、エンジニアリングに必要なコンピュータシミュレーションに重点を置き、その基礎について学修する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・問題のモデル化ができること。
 - ・コンピュータを用いて基本的なシミュレーションができること。
- この科目の修得は、本学科が定めるディプロマポリシー 3 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回のレポートに関し、課題に対する解説をします。

■ 教科書

講義の際に資料を配布

■ 参考文献

指定しない

■ 関連科目

情報処理基礎、情報処理応用、数学、物理など

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

楠研究室(東1号館1階111)・kusunoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

土曜 1～2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 シミュレーション工学ガイダンス

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第2回 シミュレーションの手法

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第3回 問題のモデル化

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第4回 コンピュータシミュレーションと数学的モデル

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第5回 条件とパラメータ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第6回 表計算ソフトとプログラミング

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第7回 シミュレーション結果の表示方法

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第8回 物体の運動に関するシミュレーション1

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第9回 物体の運動に関するシミュレーション2

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第10回 波に関するシミュレーション

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第11回 構造と強度に関するシミュレーション

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第12回 熱伝導に関するシミュレーション

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第13回 流束に関するシミュレーション

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第14回 生態系に関するシミュレーション

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

第15回 感染症流行に関するシミュレーション

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：60分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	人間医工学概論						
英文名 :	Introduction to Human Medical Engineering						
担当者 :	大澤 恭子						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	専門科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

生活関連機器や医療・福祉機器の開発設計・デザインを行うためには、医工学の知識が必要となる。本講義では、これらの設計・デザイン手法を学ぼうとする学生に向け、人間科学の分野で議論される力学の学理や工学技術が医学や人間生活に与えた影響・効果を主題として、21世紀の人間環境デザイン工学分野における学びの方向性について概説する。そして、ヒトの構造と機能を知り、人間生活のための機器を設計・デザインするために必要な工学基礎の概要を学び、当学科の専門科目群の履修へスムーズに移行できるようにする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

これから人間環境デザイン工学を学ぶ学生が、学びの方向性、修得すべき知識・技術の枠組みと範囲、さらには人間生活に携わるエンジニアとしてのセンスについて考え・理解することを目標とする。

本講義を学修することで、

- ・人間環境デザイン工学に関する技術の修得に必要な各種学理の分野を指摘できるようになる。
- ・生体内における力の釣り合い、動作・運動のもとになる動力学や関節機能に関する初等理論を説明できるようになる。
- ・生体組織の力学的強度および四肢・手指等が道具・器械に作用させる荷重の大きさなどを計算し推定できるようになる。

この科目修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1、2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題レポート 40%

定期試験 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎回の課題レポートについては、翌回の授業時間に採点の要点と講評をおこないます。

定期試験については、試験期間終了後に模範解答、要点と解説を研究室前に掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339072341 『生体機械工学入門』（橋本 成広，コロナ社：2013）

適時資料を配付する。

■ 参考文献

[ISBN]9784946553066 『メディカルエンジニアリング』（立石 哲也，米田出版：2000）

■ 関連科目

生体機能・解剖学、人間工学、暮らしの力学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大澤(西1号館3階358)・t-osawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日3限と4限

※それ以外の時間帯は必ずメールで予約をすること

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 人間工学と医学 それぞれの役割と位置付け

予習内容：人間工学、医学、工学について調べる。

予習時間：40分

復習内容：ノートに記録した授業内容を見直し、本授業の目的を理解すること。

復習時間：60分

第2回 人体の特徴・機械の特徴

予習内容：人体の構造と機能、機械の要素と機能について調べる。

予習時間：40分

復習内容：講義ノートを見直し、人体の機能と機械の機能の類似性と違いを整理し、機械の機能を生み出すメカニズムを理解すること。

復習時間：60分

第3回 発生・成長・老化とライフサイクル

予習内容：ライフサイクルを構成する各専門用語を調べる。

予習時間：60分

復習内容：ライフサイクルを構成する各専門用語を調査し、各語の意味を理解すること。

復習時間：60分

第4回 実験科学としての医学・医工学（1）実験科学とは

予習内容：医学・医工学に応用された実験科学の例を調べる。

予習時間：60分

復習内容：講義ノートを見直し、実験科学の実績が現代に生きる我々の生活にいかに関与してきたかを再認識すること。そのため、科学史を記載した書籍等を調査すること。

復習時間：90分

第5回 実験科学としての医学・医工学（2）医学と医工学の関係

予習内容：人間工学や人間環境デザイン工学に応用された医工学の例を調べる。

予習時間：60分

復習内容：医学と医工学の連携とその重要性をテーマに行われた授業を思い返し、人間工学や人間環境デザイン工学の分野で医工学が果たし得る役目を考え、それを講義ノートにまとめること。

復習時間：120分

第6回 単位と計測（1）定量的表現

予習内容：高校までに学習してきたSI基本単位と接頭辞を教科書記載の図表で確認すること。

予習時間：60分

復習内容：組立単位、SI単位以外の慣用的に使用される単位およびそれを使用する理由を教科書・講義ノートを確認して理解すること。

復習時間：60分

第7回 単位と計測（2）測定と計測

予習内容：精度、誤差、有効数字について調べ、誤差の伝播することの問題点を整理する。

予習時間：60分

復習内容：有効数字の定義、誤差の伝播、和・差における有効数字の位と積・商における有効桁数が誤差の伝播に及ぼす影響を整理すること。教科書の巻末問題に解答すること。

復習時間：90分

第8回 生体組織と生体材料

予習内容：生体組織および生体材料はどのようなものがあるか調べる。

予習時間：60分

復習内容：生体組織と生体材料の定義をそれぞれ整理し、特に後者について、JIS規格の用語を確認すること。

復習時間：60分

第9回 弾性域・塑性域（1）荷重と変形

予習内容：高校までに学習した、物体の変形4態を教科書記載の図で確認すること。

予習時間：30分

復習内容：荷重と変形に関する専門用語を整理し、今後の専門教育の内容で突然それらが表れてもとまどわないよう、正確に理解すること。また、「荷重と変形」に対する「応力とひずみ」の関係について復習すること。

復習時間：100分

第10回 弾性域・塑性域（2）変形挙動の記述

予習内容：前回授業で学んだ、応力、圧力、公称ひずみ、真ひずみの数学的記述を確認すること。

予習時間：40分

復習内容：垂直応力とせん断応力の定義を図示して説明できるようになること。何故「ひずみ」の概念が必要となるのか、機械設計の観点から考えること。

復習時間：90分

第11回 生体硬組織の変形と破損

予習内容：延性材料、脆性材料とはどのような材料か、その代表例を調べる。

予習時間：90分

復習内容：金属に見られる展延性、セラミックスに見られる脆性を整理し、骨の力学的特性はこれらとどのように違い、その理由は何かを指摘できるように復習すること。そのために、教科書・講義ノートの確認に加えて、専門図書の調査を行うこと。

復習時間：120分

第12回 血液と流れ

予習内容：液体（流体）の密度、流速、連続の式、質量保存則について調べる。

予習時間：60分

復習内容：液体の流動を考える時、液体（流体）の密度や流速、質量保存則、連続の式などが重要となる。これらの単位、定義式を復習すること。

復習時間：60分

第13回 関節の運動と自由度

予習内容：運動の自由度の種類、関節に作用する力としてどのようなものがあるか調べる。

予習時間：60分

復習内容：力の釣り合い、関節の力学的・運動学的機能を整理すること。特に、運動の自由度と運動の方向を教科書掲載図で確認して、3次元空間における運動の種類や方向、それを実現する自由度を感覚的にも会得すること。

復習時間：60分

第14回 関節における摩擦と潤滑

予習内容：物体相互の接触により生じる摩擦力、接触面における摩擦係数の定義を確認すること。

予習時間：60分

復習内容：摩擦を生じたり利用したりする機械要素の名称と形状を教科書・参考書で確認して理解すること。特に継手要素とヒトの運動器である関節を対比して確認し、人間支援装置の設計・開発に欠かせない知見とその重要性を理解すること。

復習時間：90分

第15回 医工学における設計

予習内容：機械の加工法としてどのようなものがあるか調べる。

予習時間：40分

復習内容：授業で学んだ機械設計および人間工学設計とユニバーサルデザインに必要な知見が多岐にわたることを認識し、今後の専門教育の学修に向けた心構えを正しく強固に築くこと。

復習時間：30分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	生体機能・解剖学				
英文名 :	Organized Biofunction and Anatomy				
担当者 :	谷本 道哉				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

本講義では、人が生活で利用する機器に対して、力や変形および運動を与える原動力となる運動器の機能解剖を中心に、人体の構造について学習する。上級学年における専門科目の学修に必要な解剖学の初歩的知識を与えるとともに、特に力学的観点から解説する。また、人体の構造や形態が形成される過程について、バイオメカニクスの機能的適応現象の観点からも解説を加える。

■ 学習・教育目標及び到達目標

身体の運動や動作の根拠となる、筋骨格系の機能を生活科学としての解剖学的視点から学び、生活で活用する機器の開発設計に必要な基礎知識を習得することを目標とする。

本講義を学修することで、

- ・骨格を構成する主要な骨と筋を指摘できるようになる。
- ・肩、肘、手、股、膝、足そして指の各関節の運動を定義できるようになる。
- ・指の屈曲・進展機構を説明できるようになる。
- ・脊柱の構造と機能の概要を把握し、体幹運動との関係を理解できる。
- ・股・膝関節の運動自由度を指摘し、その運動が可能となる根拠をバイオメカニクスにより説明できるようになる。
- ・身体のバランス機能について、それを維持する複数の主要器官を指摘し、器官相互の協調制御を理解できる。

この科目修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1、4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%

レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては、翌回の授業時間に採点の要点と講評をおこないます。

定期試験については、試験期間終了後に模範解答、要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784816353260 『プロが教える 筋肉のしくみ・はたらきパーフェクト事典』(荒川 裕志, ナツメ社 : 2012)

■ 参考文献

■ 関連科目

人間医工学概論、生理学、人間工学、ユニバーサルデザイン概論、生体計測学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

谷本研究室 (東1号館1階110)

tanimoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日2限と木曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 動作・運動と運動器

予習内容 : 前期科目「人間医工学概論」で学んだ、§運動の講義ノートを見直し、関節の自由度を確認すること。

予習時間 : 30分

復習内容 : 動作と運動の意味の違いを明確にし、それらを実現する荷重関節、非荷重関節の場所を教科書記載の図や自身の関節

を動かして確認すること。

復習時間：60分

第2回 筋骨格系の解剖と機能の概要

復習内容：「筋骨格系」なる用語の意味を確認し、この用語が何を指すのか場合分けして整理すること。ヒトの腕の筋骨格モデルに基づく協調運動により行われる腕の伸展・屈曲のメカニズムを復習すること。

復習時間：60分

第3回 上肢の構造と機能

復習内容：上腕・前腕を構成する骨（上腕骨、橈骨、尺骨）のイラストを描き、それらが構成する肩・肘・手関節の位置と名称を暗記すること。

復習時間：90分

第4回 肘、手関節、手、手指

復習内容：特に、手、手指を構成する各種の骨の数は多く、各骨の名称も聞き慣れないと思う。教科書や解剖学アトラスを参照して、最低でも授業中に指摘された骨については、その名称と形態学的特徴を説明できるように暗記すること。

復習時間：90分

第5回 手指伸展機構

復習内容：靭帯と腱の意味上の違いをまず正しく理解し、その後、手指の屈曲・伸展機構を確認すること。自身の手をよく観察し、確認可能な靭帯に触れて、具体的な伸展・屈曲メカニズムをイメージしてみる。

復習時間：40分

第6回 肘関節の構造とこの原理

復習内容：筋単体が発揮できる力には限界があることを理解し、力を増倍するメカニズムが関節に仕込まれていることを確認すること。「テコの原理」を理解し、第1から第3のテコの構造的違いを正確に説明できるようになること。

復習時間：90分

第7回 脊椎の構造と機能

復習内容：授業中に回覧した頸椎と腰椎模型を思い出し、教科書や解剖学アトラスで確認しつつ、脊柱の力学的機能とそれを効果的に発揮するための工夫、中枢神経の導管としての脊柱管や後方要素の存在意義について復習すること。

復習時間：60分

第8回 脊椎が支持する荷重の大きさ（1）計算モデルの構築

復習内容：宿題として、第5腰椎と仙骨間に作用する荷重の大きさを簡単な計算によって推定する課題を課す。課題の説明や回答のヒントをスライドによって示すので、それに従ってレポートを作成すること。計算は「暮らしの力学」で学んだ内容を駆使して行うこと。大学での学びが他の専門科目と如何に連携しているのかも認識しながら作成すること。

復習時間：120分

第9回 脊椎が支持する荷重の大きさ（2）仙骨反力と体幹角度の関係

復習内容：第8回と同じ。この回は第8回の続きとして位置付ける。

復習時間：180分

第10回 脚の構造と解剖軸・力学軸

復習内容：立位の下脚につき、講義ノート・配布プリントを参照して、解剖軸、力学軸とそれらの位置関係（角度関係）を深く復習すること。また、距骨滑車中心など、軸が交差する点の解剖学的用語も確認し暗記すること。

復習時間：60分

第11回 股関節と膝関節の形態と運動自由度

復習内容：球関節である股関節が下脚の外・内転、外・内旋、回外、回内といった運動を可能にするメカニズムを整理すること。また、膝関節コンポーネント表面の矢状断面形状が、対数螺旋に類似していることを確認し、対数螺旋の数学的記述と幾何学的特徴について調査すること。

復習時間：120分

第12回 膝関節面での滑り・転がり運動

復習内容：膝関節の形態学的特徴の理解を深め、その滑りと転がり運動によって、大荷重を支持し、骨格の正常な運動を可能にしている力学的メカニズムを復習すること。

復習時間：90分

第13回 膝屈曲における力の釣り合い

復習内容：膝蓋骨と膝蓋靭帯の力学的機能として、屈曲時の機械インピーダンスについて、力のベクトルとそれらのつり合いの観点から整理すること。

復習時間：90分

第14回 足関節およびアーチ

復習内容：配付プリントを参照して、足の背屈・底屈運動と歩行動作の関係を確認すること。加えて、外・内側アーチ、前方アーチの力学的機能を簡単な力学モデルを使って解説できるようになるまで理解を深めること。

復習時間：90分

第15回 階段昇降における股・膝・足関節の動き

復習内容：歩行時の床反力が二峰性を示す理由を復習すること。講義ノートを見直し、歩行における立脚・遊脚相、踵接地・離地など歩行周期の定義を整理し、重心移動の特徴についても復習すること。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	生理学				
英文名 :	Physiology				
担当者 :	谷本 道哉				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

本講義では、人体について、その生命の仕組みと機能を細胞レベルから個体レベルにわたって概説する。生命活動を支える呼吸・循環・消化・吸収および運動を生じる筋-骨格系、神経制御について学ぶ。生活関連機器のユニバーサルデザインに必要な生理学として、以上の内容を理解し人間の特質を考察する。そして、人間の特質に応じたものづくりに役立つ基礎知識を集約することを目的とする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

人体構造の生理学的な仕組みを理解する。
また、その知見を生活関連機器等のユニバーサルデザインへ応用する能力につなげる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間にレポートの講評を行います。
試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784808260330 『イラスト解剖生理学』(青峰 正裕, 東京教学社 : 2012)

■ 参考文献

[ISBN]9784764410619 『筋力をデザインする(運動生理学シリーズ(5))』(吉岡 利忠, 杏林書院 : 2003)

■ 関連科目

生体機能・解剖学、人間工学、スポーツ科学、スポーツダイナミクス

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

谷本研究室(東1号館1階110)・tanimoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日2限と木曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 インTRODククション : 生体の構造と機能

復習内容 : 授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間 : 60分

第2回 エネルギー代謝の基礎

復習内容 : 授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間 : 60分

第3回 呼吸と循環1

復習内容 : 授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間 : 60分

第4回 呼吸と循環2

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第5回 消化・吸収と尿排泄

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第6回 神経機能（ニューロンとシナプス）

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第7回 筋収縮

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第8回 運動の調整

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第9回 反射

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第10回 運動の生理学（エネルギー代謝の詳細）

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第11回 運動の生理学（運動時の体温調整・体液調整）

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第12回 内分泌系

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第13回 感覚機能（体性感覚、平衡感覚など）

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第14回 骨の生理学

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

第15回 加齢の生理学

復習内容：授業最後のまとめ演習をもとに内容を整理・復習する
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

近畿大学生物理工学部スポーツ・バイオメカニクス研究室 <http://www.waka.kindai.ac.jp/tea/hmn/labs/tanimoto.pdf>

科目名 :	カラーコーディネーションの心理学				
英文名 :	Psychology of Color Coordination				
担当者 :	片山 一郎				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

産業用機械の開発設計では機能性が強く求められるが、生活関連機器の開発設計では、機能性ととも人間生活に密着した使用環境での要求、すなわち色や光沢、美しい形態など人間の心理に左右される要因に対しても考慮が必要である。本講義では、色彩の心理・生理学的作用、色の測定と表示および色彩文化と審美について学び、生活関連機器の開発設計やデザインに必要な感性を養うことを目的とする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

色覚の諸現象および色彩の定量的な取り扱いについて理解し、工業デザイン、建築・環境デザイン分野で適切な色彩設計が行えるようになる。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%

小テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784901355117 『色彩科学入門 —カラーコーディネーターのための』 (日本色研事業 : 2001)

■ 参考文献

[ISBN]9784130820707 『色彩学入門—色と感性の心理』 (東京大学出版会 : 2009)

■ 関連科目

人間工学、建築と照明

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

片山研究室 (東1号館2階216) ・ katayama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 物理量と心理量の関係

予習内容 : 「人間環境デザイン工学実験 I」の該当項目について調べておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : 講義内容の確認

復習時間 : 30分

心理現象の階層および物理量と感覚・知覚量との一般的な関係につて解説する。

第2回 色覚の仕組み

予習内容 : 教科書PP.7~9

予習時間 : 30分

復習内容 : 講義内容の確認

復習時間 : 30分

視覚系の基本構造について解説する。

第3回 色覚の諸現象

予習内容：教科書PP.10～11, P.16, P.19,PP.26～30

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

色覚理論、明暗順応、色順応などについて解説する。

第4回 光源

予習内容：教科書PP.35～39

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

光源の分類、相関色温度、演色性について解説する。

第5回 色の表示方法（その1）

予習内容：教科書PP.49～50

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

色名による色の表示について解説する。

第6回 色の表示方法（その2）

予習内容：教科書PP.53～58

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

マンセルシステム、オストワルト表色系、NCSについて解説する。

第7回 色の表示方法（その3）

予習内容：教科書PP.14～15、教科書PP.51～53

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

測光標準観測者と測光量、等色実験、測色標準観測者について解説する。

第8回 色の表示方法（その4）

予習内容：教科書PP.59～62

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

CIEXYZ色空間、均等色空間と色差について解説する。

第9回 色の測定

予習内容：教科書P.64

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

物理測色と視感測色について解説する。

第10回 混色と色再現

予習内容：教科書PP.40～47

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

各種混色方法と色再現について解説する。

第11回 色彩感情と配色調和

予習内容：色彩の心理的効果について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

色彩に起因する表現感情と固有感情、感情と配色調和について解説する。

第12回 色と文化

予習内容：各自の色の嗜好について考えておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

色彩嗜好、色の意味に与える文化的側面のついでに解説する。

第13回 商品の色彩計画

予習内容：身の回りにある商品の色彩をよく観察しておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

文具、家電製品、自動車などの色彩計画について解説する。

第14回 インテリアの色彩計画

予習内容：身の回りにあるインテリアの色彩をよく観察しておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

住空間を構成する色彩について解説する。

第15回 環境の色彩計画

予習内容：色彩計画について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

公共性およびライフサイクルという観点から色彩計画について解説する。

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	環境計画学				
英文名 :	Environmental Planning				
担当者 :	山田 崇史				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

生活環境の計画や生活関連機器の開発においては、まず利用者である人間の行動特性や心理特性を十分に理解することが重要である。人間と環境・製品との相互作用と基本的な関係性に着目し、環境デザインや製品デザインの計画に必要な知識を修得することを目的とする。本講義では、建築物や建築物の周辺をはじめとする「人間」が関わる環境についての理論を実例を通して学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- 1.人が関わるさまざまな環境とその理論について理解を深める。
 - 2.環境に関する理論の意味、用語、寸法を正しく理解する。
 - 3.人が関わる環境を考えて、建築物および建築物周辺の計画を行うことができるようになる。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー2、3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

確認テスト 20%
演習課題 20%
定期試験 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784901683647 『建築計画の基礎—環境・建築・インテリアのデザイン理論 (新・建築学)』 (西出 和彦、数理工学社 : 2009)

■ 参考文献

- [ISBN]9784844607762 『はじめての環境デザイン学』 (澤木 昌典、理工図書 : 2011)
[ISBN]9784254266290 『建築デザインと環境計画』 (柏原 士郎、朝倉書店 : 2005)
[ISBN]9784395005604 『人間・環境系のデザイン』 (日本建築学会、彰国社 : 1997)
[ISBN]9784621048283 『建築設計資料集成 (総合編)』 (日本建築学会、丸善 : 2001)

■ 関連科目

設計製図、設計製図演習、建築と照明、カラーコーディネーションの心理学、ユニバーサルデザイン概論

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

建築・都市・人の流れ研究実験室(1号館2階254西)
yamada@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金曜5限
事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 人間・環境・空間・建築

予習内容 : 環境計画全般について調べる。
予習時間 : 30分

復習内容：講義資料を読み返し、環境計画全般について理解を深める。

復習時間：60分

第2回 建築計画のはじまり

予習内容：建築計画のはじまりについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、建築計画のはじまりについて理解を深める。

復習時間：60分

第3回 建築計画の意義

予習内容：建築計画の意義について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、建築計画の意義について理解を深める。

復習時間：60分

第4回 建築計画のプロセス

予習内容：建築計画のプロセスについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、建築計画のプロセスについて理解を深める。

復習時間：60分

第5回 生活空間の計画1：居住空間、階段

予習内容：居住空間、階段について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、居住空間、階段について理解を深める。

復習時間：60分

第6回 生活空間の計画2：水周り、扉、取手

予習内容：水周り、扉、取手について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、水周り、扉、取手について理解を深める。

復習時間：60分

第7回 生活空間の計画3：廊下

予習内容：廊下について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、廊下について理解を深める。

復習時間：60分

第8回 演習課題（1）：住まいの計画

予習内容：住まいの計画について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、住まいの計画について理解を深める。

復習時間：60分

第9回 公共建築の計画1：パーソナルスペース

予習内容：パーソナルスペースについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、パーソナルスペースについて理解を深める。

復習時間：60分

第10回 公共建築の計画2：プライバシー

予習内容：プライバシーについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、プライバシーについて理解を深める。

復習時間：60分

第11回 公共建築の計画3：視覚と空間

予習内容：視覚と空間について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、視覚と空間について理解を深める。

復習時間：60分

第12回 公共建築の計画4：天井高と空間の広がり

予習内容：天井高と空間の広がりについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、天井高と空間の広がりについて理解を深める。

復習時間：60分

第13回 演習課題（2）：公共建築の計画

予習内容：公共建築の計画について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、公共建築の計画について理解を深める。

復習時間：60分

第14回 動線計画、サイン計画

予習内容：動線計画、サイン計画について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、動線計画、サイン計画について理解を深める。

復習時間：60分

第15回 空間のイメージ

予習内容：空間のイメージについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、空間のイメージについて理解を深める。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	スポーツ科学				
英文名 :	Sports Science				
担当者 :	谷本 道哉				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

スポーツ用具の高性能化と安全性、また新規製品開発の研究をするスポーツ工学において、運動生理学や機能解剖学、基礎医学に基づいたスポーツ科学の知識は必要不可欠である。本講では、人間生活とスポーツ、健康・医療・美容のためのスポーツについて運動生理学、解剖学、スポーツ医学の観点から概説して、スポーツ工学に必要な基礎知識の修得を目的とする。また、その応用範囲はスポーツ用具のみならず生活用品や医療・福祉関係の製品にまで広げられることを目的としたい。

■ 学習・教育目標及び到達目標

生理学・解剖学・基礎医学に基づいた身体運動の仕組みを理解する。
 運動と生活習慣病、整形外科的疾患などの疾病との関係および運動処方の方法を理解する。
 またそれらの知見をスポーツ用具のみならず、生活用品や医療・福祉関係等の製品開発へと応用する能力につなげる。
 この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
 レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては、翌回の授業時間に採点の要点と講評をおこないます。
 定期試験については、試験期間終了後に模範解答、要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784905168423 『1から学ぶスポーツ生理学【第2版】』(中里 浩一, ナップ : 2016)

■ 参考文献

[ISBN]9784005007028 『スポーツ科学の教科書——強くなる・うまくなる近道(岩波ジュニア新書)』(谷本 道哉, 岩波書店 : 2011)
 [ISBN]9784764410619 『筋力をデザインする(運動生理学シリーズ(5))』(吉岡 利忠, 杏林書院 : 2003)

■ 関連科目

生理学、スポーツダイナミクス、生体機能・解剖学、人間工学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

谷本研究室(東1号館1階110)・tanimoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日2限と木曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 インTRODクシヨN : 人体を動かす大まかな仕組み

復習内容 : 授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
 復習時間 : 60分

第2回 運動とエネルギー代謝(有酸素運動と無酸素運動)

復習内容 : 授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
 復習時間 : 60分

第3回 筋線維の種類とその特性

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第4回 神経機能による運動の調整

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第5回 筋の収縮様式

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第6回 運動と血液循環

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第7回 運動と呼吸応答

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第8回 運動とホルモン

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第9回 身体組成と体脂肪の役割

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第10回 運動と体温調整

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第11回 筋疲労の要因

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第12回 運動と老化

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第13回 運動と栄養

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第14回 運動と生活習慣病予防

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

第15回 運動処方

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

近畿大学生物理工学部 スポーツ・バイオメカニクス研究室 <http://www.waka.kindai.ac.jp/tea/hmn/labs/tanimoto.pdf>

科目名 :	スポーツダイナミクス				
英文名 :	Sports Dynamics				
担当者 :	谷本 道哉				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

スポーツおよび身体動作の仕組みを力学的および生理学・解剖学的観点、つまりバイオメカニクスの観点から学ぶ。身体動作における各関節に働くモーメントを運動法公式等により算出する解法等を学び、スポーツ工学に必要な基礎知識を修得することを目的とする。また、その応用範囲はスポーツ用具のみならず生活用品や医療・福祉関係の製品にまで広げられることを目的としたい。

■ 学習・教育目標及び到達目標

身体動作の力学的、生理学・解剖学的な仕組み、及びスポーツ用具の力学特性を理解する。
またそれらの知見をスポーツ用具のみならず、生活用品や医療・福祉関係等の製品開発へと応用する能力につなげる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートについては、翌回の授業時間に採点の要点と講評をおこないます。
定期試験については、試験期間終了後に模範解答、要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784254690385 『スポーツバイオメカニクス』 (深代 千之, 朝倉書店 : 2000)

■ 参考文献

[ISBN]9784839943417 『スポーツがうまくなる!! 身体の使い方、鍛え方』 (谷本 道哉, マイナビ : 2012)
[ISBN]9784764410695 『バイオメカニクスー身体運動の科学的基礎』 (金子 公宥, 杏林書院 : 2004)

■ 関連科目

生理学、スポーツ科学、生体機能・解剖学、人間工学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

谷本研究室 (東1号館1階110) ・ tanimoto@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日2限と木曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 バイオメカニクスとは (運動学と運動力学、順動力学と逆動力学)

復習内容 : 授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間 : 60分

第2回 運動器の構造と関節モーメント (筋、腱、骨の基本構造と力学的理解)

復習内容 : 授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する
復習時間 : 60分

第3回 身体運動と力学 (ニュートンの運動法則による身体運動の理解)

復習内容 : 授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第4回 身体内力の作用・反作用と効率的動作

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第5回 筋の伸張-短縮サイクルを使った動的動作の効率的力発揮

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第6回 近位-遠位連鎖を使った動的動作のエネルギー伝達

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第7回 歩行動作

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第8回 走動作

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第9回 跳動作

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第10回 投動作・打動作

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第11回 発育・発達、加齢とバイオメカニクス

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第12回 スポーツ用具のバイオメカニクス1

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第13回 スポーツ用具のバイオメカニクス2

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第14回 モーメントアームの調整と効率的な身体動作

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

第15回 マグナスカと変化球

復習内容：授業最後の演習問題をもとに授業関連内容を整理・復習する

復習時間：60分

定期試験

■ ホームページ

近畿大学生物理工学部 スポーツ・バイオメカニクス研究室 <http://www.waka.kindai.ac.jp/tea/hmn/labs/tanimoto.pdf>

科目名 :	感性デザインの数理				
英文名 :	Mathematics for KANSEI Design				
担当者 :	片山 一郎				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

商品の設計においては、商品の機能がよいことや価格が安いことだけではなく、スタイル、色彩、手触り、使いやすさのように、商品が心地よく感じられること、すなわち感性評価がよいことも重要となっている。本講義では、感性の数理的アプローチという観点から、商品開発のための感性評価データの分析方法について学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

感性評価データの収集方法と多変量解析を中心としたデータ処理法を習得し、感性を考慮した商品開発に応用できるようになる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 2 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
小テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

[ISBN]9784303723941 『数理的感性工学の基礎—感性商品開発へのアプローチ』(海文堂出版:2010)
[ISBN]9784303723927 『デザインと感性(感性工学シリーズ)』(広川 美津雄, 海文堂出版:2005)

■ 関連科目

確率統計、心理統計学、人間工学、カラーコーディネーションの心理学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

片山研究室(東1号館2階216)・katayama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 商品と感性評価

予習内容: シラバスをよく読み、授業概要を理解する。

予習時間: 10分

復習内容: 講義内容の確認

復習時間: 30分

商品のライフサイクルと購入者との関係、感性価値、感性評価について解説する。

第2回 心理物理学の手法 I 尺度の種類

予習内容: 「心理統計学」履修経験者は該当項目を確認する。

予習時間: 30分

復習内容: 講義内容の確認

復習時間: 30分

心理物理学の特徴および尺度の種類と数学的操作との関係について解説する。

第3回 心理物理学の手法Ⅱ 測定可能な量

予習内容：「人間環境デザイン工学実験Ⅰ」あるいは「人間工学実験Ⅰ」履修経験者は、該当項目を確認する。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

刺激閾、弁別閾、主観的等価値について解説する。

第4回 心理物理学の手法Ⅲ 測定法の種類

予習内容：「人間環境デザイン工学実験Ⅰ」あるいは「人間工学実験Ⅰ」履修経験者は、該当項目を確認する。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

調整法、極限法、恒常法について解説する。

第5回 心理物理学の手法Ⅳ フェヒナーの法則・スティーブンスの法則

予習内容：上記法則について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

ウェーバーの法則、フェヒナーの法則、スティーブンスの法則について解説する。

第6回 感性評価データの収集Ⅰ 尺度構成法

予習内容：上記法則について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

品等法、一対比較法、系列範疇法、分量評定法について解説する。

第7回 感性評価データの収集Ⅱ 一対比較法(1)

予習内容：上記法則について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

サーストンの比較判断の法則について解説する。

第8回 感性評価データの収集Ⅱ 一対比較法(2)

予習内容：標準正規分布における確率変数と確率との関係を確認しておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

サーストンの比較判断の法則を適用し、一対比較実験結果から間隔尺度を構成する。

第9回 多変量解析Ⅰ 主成分分析(1)

予習内容：多変量解析について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

多変量解析の分類および主成分分析の特徴を解説する。

第10回 多変量解析Ⅰ 主成分分析(2)

予習内容：「線形代数」履修経験者は、固有値、固有ベクトルについて確認しておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

固有ベクトル、主成分得点について解説する。

第11回 多変量解析Ⅰ 主成分分析(3)

予習内容：「線形代数」履修経験者は、固有値、固有ベクトルについて確認しておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

主成分得点と固有値との関係、寄与率について解説する。

第12回 多変量解析Ⅰ 主成分分析(4)

予習内容：「線形代数」履修経験者は、固有値，固有ベクトルについて確認しておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

データの基準化を含めた主成分分析の処理の流れを解説し、具体的な処理例を示す。

第13回 多変量解析Ⅱ 重回帰分析(1)

予習内容：重回帰分析について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

回帰式の基本構造および回帰式導出における主成分分析との差異を解説する。

第14回 多変量解析Ⅱ 重回帰分析(2)

予習内容：重回帰分析について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

重相関係数、偏回帰係数、説明変数の選択について解説する。

第15回 多変量解析Ⅱ 重回帰分析(3)

予習内容：重回帰分析について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

具体的なデータセットを用いて重回帰分析を行う。

定期試験

■ **ホームページ**

科目名 :	暮らしの力学				
英文名 :	Introduction to Mechanics				
担当者 :	廣川 敬康				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	4単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

生活関連機器や建築構造物のデザインでは力学の知識が必要となる。本講では、特に材料力学Ⅰ、Ⅱで材料力学を学ぶ上で基礎となる力の伝達、力とモーメントのつりあいなどについて学ぶ。人体や生活関連機器、建築物の具体的な例を取り上げ、対象問題の模式化、数式による定式化とその求解の方法を習得する。主な講義内容は、①力の表し方と力の単位 ②力の合成と分解 ③力のつりあい ④力のモーメント ⑤剛体に働く力の合成 ⑥剛体に働く力とモーメントのつりあい ⑦重心 ⑧仕事とエネルギーである。

■ 学習・教育目標及び到達目標

力とモーメントの概念を理解すること。物体に働く力やモーメントをベクトルを用いて表記することができること。物体に働く力とモーメントのつりあい式を導出し、未知の反力やモーメントを求めることができること。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
宿題 20%
授業内演習 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339044836 『工業力学 (機械系教科書シリーズ)』 (吉村靖夫, コロナ社 : 2016) (ユニバーサルデザイン概論と共用)

■ 参考文献

[ISBN]9784877810108 『デザインとテクノロジー』 (ジェームス ガラット, コスモス : 2004)
[ISBN]9784339046021 『機械の基礎力学』 (安田仁彦, コロナ社 : 2009)
[ISBN]9784501414504 『演習 工業力学』 (一柳 信彦, 東京電機大学出版局 : 1998)

■ 関連科目

材料力学Ⅰ、材料力学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

廣川研究室 (西1号館2階258) ・ hirokawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

廣川 月曜2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 私たちの暮らしと力学

予習内容 : 1年前期の物理学・基礎物理学の授業内容, 高校で学んだベクトルを復習する。

予習時間 : 60分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

暮らしの力学での授業内容を紹介する。私たちの暮らしと力学の関係を学ぶ。力の性質とベクトルを用いて力を表現する方法を

学ぶ。

第2回 力の種類

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

重力，垂直抗力，張力などのように，物体に働く様々な力の種類と特徴を学ぶ。

第3回 2力の合成

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。ベクトルの和について復習する。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

力の平行四辺形や力の三角形による力の合成を学ぶ。

第4回 力の分解(1)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。三角比について復習する。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

力の成分表示，三角比を用いて力の大きさと向きから成分を求める方法を学ぶ。

第5回 力の分解(2)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。三角関数，ベクトル，象限について復習する。

予習時間：60分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

三角関数を用いて力の大きさと向きから成分を求める方法，力の成分から大きさと向きを求める方法を学ぶ。

第6回 力の合成(1)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。第1回～第5回を復習する。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

3つ以上の力の合力の考え方と，ベクトルを用いて力を合成し，力の大きさと向きを求める方法を学ぶ。

第7回 力の合成(2)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

ベクトルを用いて力を合成し，力の大きさと向きを求める演習を行う。

第8回 力のつりあい(1)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

1点に働く力のつりあいを学ぶ。

第9回 力のつりあい(2)，身の回りの機械要素(1)：ベルトとチェーン

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

1点に働く力のつりあいに関する演習を行う。

第10回 力のモーメント(1)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し，例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

水平・鉛直方向に働く力によるモーメントを学ぶ。

第11回 力のモーメント(2)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

斜め方向に働く力によるモーメントを学ぶ。

第12回 総合演習(1)

予習内容：演習範囲を復習し、自分で解けるようにする。

予習時間：120分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

第1回～第9回の復習を行う。

第13回 合モーメント

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。第10回～第11回を復習する。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

合モーメントの考え方と求め方を学ぶ。

第14回 合力と合モーメント(1)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

剛体に働く複数の力の合力と合モーメントを学ぶ。

第15回 合力と合モーメント(2), 偶力

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

剛体に働く複数の力の合力と合モーメントに関する演習を行う。

第16回 力とモーメントのつりあい(1)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

剛体に働く複数の力のつりあいを学ぶ。

第17回 力とモーメントのつりあい(2)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

剛体に働く複数の力のつりあいに関する演習を行う。

第18回 支持と反力(1)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

剛体を支持する支点（移動支点、回転支点、固定支点）と反力の考え方を学ぶ。

第19回 支持と反力(2)

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲、授業ノート等を熟読し、演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

剛体を支持する支点到働く反力の求め方を学ぶ。

第20回 支持と反力(3), 身の回りの機械要素(2) : 軸受が支持する荷重

予習内容 : 教科書の該当範囲を熟読し, 例題を解く。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

剛体を支持する支点到働く反力に関する演習を行う。

第21回 支持と反力(4)

予習内容 : 教科書の該当範囲を熟読し, 例題を解く。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

剛体を支持する支点到働く反力に関する演習を行う。構造物としてのトラス・ラーメンの特徴を学ぶ。

第22回 重心(1)

予習内容 : 演習範囲を復習し, 自分で解けるようにする。

予習時間 : 120分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

第13回～第21回の復習を行う。

第23回 総合演習(2)

予習内容 : 教科書の該当範囲を熟読し, 例題を解く。第16回～第17回を復習する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

物体の重心の考え方と求め方を学ぶ。

第24回 重心(2)

予習内容 : 教科書の該当範囲を熟読し, 例題を解く。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

物体の重心に関する演習を行う。

第25回 重心(3)

予習内容 : 教科書の該当範囲を熟読し, 例題を解く。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

物体の重心に関する演習を行う。

第26回 仕事(1)

予習内容 : 教科書の該当範囲を熟読し, 例題を解く。高校で学んだ微分・積分を復習する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

仕事の考え方と求め方を学ぶ。

第27回 仕事(2)

予習内容 : 教科書の該当範囲を熟読し, 例題を解く。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

仕事に関する演習を行う。

第28回 仕事(3), 身の回りの機械要素(3) : 軸が伝達する動力

予習内容 : 教科書の該当範囲を熟読し, 例題を解く。

予習時間 : 30分

復習内容 : 教科書の該当範囲, 授業ノート等を熟読し, 演習課題を解いて身につける。

復習時間 : 60分

動力の考え方と求め方を学び、仕事と動力に関する演習を行う。

第29回 力学的エネルギー

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、例題を解く。

予習時間：30分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

力学的エネルギーの考え方，仕事との関係について学ぶ。

第30回 総合演習(3)

予習内容：演習範囲を復習し，自分で解けるようにする。

予習時間：120分

復習内容：教科書の該当範囲，授業ノート等を熟読し，演習課題を解いて身につける。

復習時間：60分

第1回～第29回の復習を行う。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	暮らしの力学				
英文名 :	Introduction to Mechanics				
担当者 :	野田 淳二				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	4単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

生活関連機器や建築構造物のデザインでは力学の知識が必要となる。本講では、特に材料力学Ⅰ、Ⅱで材料力学を学ぶ上で基礎となる力の伝達、力とモーメントのつりあいなどについて学ぶ。人体や生活関連機器、建築物の具体的な例を取り上げ、対象問題の模式化、数式による定式化とその求解の方法を習得する。主な講義内容は、①力の表し方と力の単位 ②力の合成と分解 ③力のつりあい ④力のモーメント ⑤剛体に働く力の合成 ⑥剛体に働く力とモーメントのつりあい ⑦重心 ⑧仕事とエネルギーである。

■ 学習・教育目標及び到達目標

力とモーメントの概念を理解すること。物体にはたらく力やモーメントをベクトルを用いて表記することができること。物体にはたらく力とモーメントのつりあい式を導出し、未知の反力やモーメントを求めることができること。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
宿題 20%
授業内演習 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339044836 『工業力学 (改訂版) (機械系教科書シリーズ)』 (吉村靖夫, コロナ社 : 2016) (ユニバーサルデザイン 概論と共用)

■ 参考文献

[ISBN]9784877810108 『デザインとテクノロジー』 (ジェームス ガラット, コスモス : 2004)
[ISBN]9784339046021 『機械の基礎力学』 (安田仁彦, コロナ社 : 2009)
[ISBN]9784501414504 『演習 工業力学』 (一柳 信彦, 東京電機大学出版局 : 1998)

■ 関連科目

材料力学Ⅰ、材料力学Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

野田研究室 (西1号館2階252) ・ nodaj@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 私たちの暮らしと力学

予習内容 : シラバスを予め熟読し、講義の流れを理解しておく。

予習時間 : 30分

復習内容 : イントロダクションの内容を復習し、暮らしの力学として何を学ぶか目標を理解しておく。

復習時間 : 30分

授業の進め方、演習の予定、成績評価の方法をイントロダクションとして説明する。

第2回 力の種類

予習内容：デカルト座標における各座標成分と三角関数

予習時間：30分

復習内容：2次元ベクトルの表示法，スカラー倍，ベクトルの大きさに関する宿題

復習時間：60分

初回の講義として2次元ベクトルの概念を説明する。(1)2次元ベクトルの表示法，(2)ベクトルのスカラー倍，(3)合ベクトル，(4)ベクトルの大きさについて講義する。最後に演習を行い，理解を深める。

第3回 2力の合成

予習内容：ベクトルの成分表示法，三平方の定理

予習時間：30分

復習内容：2力の合力およびその作用角に関する宿題

復習時間：60分

第3回の講義では，2力の合力について講義する。合力は，ベクトルの和で求められることを理解し，最後に演習を行い，理解を深める。

第4回 力の分解(1)

予習内容：デカルト座標における象限

予習時間：30分

復習内容：カベクトルの座標成分の求め方およびベクトルの作用角の計算法

復習時間：30分

ベクトルの表示法では，ベクトルの各座標成分を求めることを学んだ。これをベクトルの分解と言う。第4回の講義では，デカルト座標系におけるカベクトルの分解を学び，第1～4象限における作用角の計算法を学ぶ。最後に演習を行い，理解を深める。

第5回 力の分解(2)

予習内容：ベクトルの成分表示法，三平方の定理

予習時間：30分

復習内容：作用点を同じくする3つ以上の力の合力に関する宿題

復習時間：60分

第5回の講義では，前回までに学んだ合力の応用として，作用点を同じくする3つ以上の力の合力を解説する。本講義では，図解法と座標成分の総和による方法を解説し，どちらの手法でも合力を求められるようにする。最後に演習を行い，理解を深める。

第6回 力の合成(1)

予習内容：ベクトルの成分表示法，三平方の定理

予習時間：30分

復習内容：作用点を異にする3つ以上の力の合力に関する宿題

復習時間：60分

第6回の講義では，前回までに学んだ合力の応用として，作用点を異にする3つ以上の力の合力を解説する。最後に演習を行い，理解を深める。

第7回 力の合成(2)

予習内容：ベクトルの成分表示法，三平方の定理，作用角

予習時間：30分

復習内容：3つ以上の力の合力の解法

復習時間：30分

第7回の講義では，3つ以上の力の合力の解法を利用して，私たちの暮らしの中で使われる場合の問題を例に挙げ，演習の形で理解を深める。

第8回 力のつりあい(1)

予習内容：ベクトルの成分表示法，三平方の定理，作用角

予習時間：30分

復習内容：力のつり合いに関する宿題

復習時間：60分

第8回の講義では，ニュートンの運動法則から力のつり合いを求め，このつり合い方程式を用いて系に作用する未知の力を算出する静力学を学ぶ。最後に演習を行い，理解を深める。

第9回 力のつりあい(2)，身の回りの機械要素(1)：ベルトとチェーン

予習内容：ベクトルの成分表示法，三角関数

予習時間：30分

復習内容：仮定の切断法および自由物体図描写法を利用した力のつり合いに関する宿題

復習時間：60分

第9回の講義では，作用点を同じくする力のつり合いを解説し，仮定の切断法を学び，自由物体図の描写法を講義する。また，内

力と外力の概念を学ぶ。また、身の回りの機械要素を解説する。

第10回 力のモーメント(1)

予習内容：円に関する幾何学，接線や法線等

予習時間：30分

復習内容：円柱の静力学に関する宿題

復習時間：60分

第10回の講義では、力のつり合いを理解する上で重要な反力の概念を学ぶ。力のモーメントの定義を説明する。また、円柱の静力学を解説し、最後に演習を行う。

第11回 力のモーメント(2)

予習内容：ベクトルの成分表示法，三角関数

予習時間：30分

復習内容：力のモーメントに関する宿題

復習時間：60分

第11回の講義では、力のモーメントの定義を解説する。モーメントの向きは特異であるので、種々のモーメントを解説しながら、演習を実施する。

第12回 総合演習(1)

予習内容：第1回～第11回までの学習内容

予習時間：120分

復習内容：総合演習

復習時間：60分

第12回の講義では、2力の合成，力の分解，力のつりあい，力のモーメントに関する総合演習を行い、ここまで学んだ知識を復習し理解を深める。

第13回 合モーメント

予習内容：ベクトルの成分表示法，三角関数

予習時間：30分

復習内容：合モーメントに関する宿題

復習時間：60分

第13回の講義では、合モーメントの求め方を解説し、演習を実施する。

第14回 合力と合モーメント(1)

予習内容：垂直抗力，摩擦

予習時間：30分

復習内容：静摩擦力，動摩擦力の求め方

復習時間：30分

第14回の講義では、合モーメントの求め方を解説し、演習を実施する。また、私たちの暮らしの中で力のつり合いを解く際に必須な摩擦について講義し、摩擦力が働く系での力のつり合いを学ぶ。

第15回 合力と合モーメント(2)，偶力

予習内容：ベクトルの成分表示法，三角関数

予習時間：30分

復習内容：偶力に関する宿題

復習時間：60分

第15回の講義では、力のモーメントのうち、偶力について解説する。最後に演習を行い、理解を深める。

第16回 カとモーメントのつりあい(1)

予習内容：モーメントの向きと大きさ，三角関数

予習時間：30分

復習内容：合モーメントに関する宿題

復習時間：60分

第16回の講義では、並進加速度と回転角加速度がゼロであるニュートンの運動法則を利用して、着力点の異なる力のつり合いを求めるために、ここまで学んだ合モーメントの知識を利用する。最後の演習を行い、理解を深める。

第17回 カとモーメントのつりあい(2)

予習内容：モーメントの向きと大きさ，三角関数

予習時間：30分

復習内容：合モーメントに関する宿題

復習時間：60分

第17回の講義ではここまで学んだ力とモーメントのつりあいを利用し、より複雑な系について演習を行い理解を深める。

第18回 支持と反力(1)

予習内容：合力および合モーメント

予習時間：30分

復習内容：はりに働く反力に関する宿題

復習時間：60分

第18回の講義では、作用線が交差しない力を含む力のつり合いを講義する。材料力学で学ぶはりの基礎知識を学び、支持端の種類により、支点反力の発生状況が変わることを理解する。最後に演習を行い理解を深める。

第19回 支持と反力(2)

予習内容：合力および合モーメント、三角関数

予習時間：30分

復習内容：複雑なはりの力学に関する宿題

復習時間：60分

第19回の講義では、作用線が交差しない力を含む力のつり合いについて、より複雑な場合を例に挙げ解説する。また、材料力学で学ぶ単純支持はりや片持ちはりを解説する。最後に演習を行い理解を深める。

第20回 支持と反力(3), 身の回りの機械要素(2)：軸受が支持する荷重

予習内容：合力および合モーメント、三角関数

予習時間：30分

復習内容：複雑なはりの力学に関する宿題

復習時間：60分

第20回の講義では、作用線が交差しない力を含む力のつり合いについて、より複雑な場合を例に挙げ解説する。

第21回 支持と反力(4), トラス・ラーメンの支持と反力

予習内容：三角関数, 自由物体図

予習時間：30分

復習内容：トラスの解析に関する宿題

復習時間：60分

第21回の講義では、トラス構造を例に挙げ、部材力の解析方法として、節点法と切断法を解説する。特に切断法では、仮定の切断を行うので、第9回の講義と強い相関がある。最後に演習を行い理解を深める。

第22回 総合演習(2)

予習内容：第13回～第21回までの学習内容

予習時間：120分

復習内容：総合演習

復習時間：60分

第22回の講義では、力のモーメント、偶力、およびそれらを利用した静力学、トラス部材力に関する総合演習を行い、ここまで学んだ知識を復習し理解を深める。

第23回 重心(1)

予習内容：簡単な幾何学（三角形、台形、円の面積等）、積分法

予習時間：30分

復習内容：重心の理論、図心の解法

復習時間：30分

第23回の講義では、簡単な図形を用いて、重心の理論を解説する。この重心の理論を利用した図心の求め方を解説し、最後に演習を行う。

第24回 重心(2)

予習内容：簡単な幾何学、重心の理論

予習時間：30分

復習内容：組合せ図形の図心に関する宿題

復習時間：60分

第24回の講義では、厚みが様な組合せ図形の図心の求め方を解説し、最後に演習を行って理解を深める。

第25回 重心(3)

予習内容：簡単な幾何学（円の面積、球の体積）、密度

予習時間：30分

復習内容：異種材料から構成される立体の図心の解法

復習時間：30分

第25回の講義では、異種材料から構成される組合せ図形あるいは立体の重心を、図心の考え方から学ぶ。

第26回 仕事(1)

予習内容：内積，積分

予習時間：30分

復習内容：仕事の定義とその求解法

復習時間：30分

第26回の講義では，力学における仕事の定義を解説し，仕事はカベクトルと移動距離ベクトルの内積で表されることを導く．最後に演習を行い理解を深める．

第27回 仕事(2)

予習内容：運動エネルギー，位置エネルギー

予習時間：30分

復習内容：力学的エネルギーの種類

復習時間：30分

第27回の講義では，運動エネルギー，位置エネルギー，弾性エネルギーおよび回転体のなす仕事を解説する．最後に演習を行い理解を深める．

第28回 仕事(3)，身の回りの機械要素(3)：軸が伝達する動力

予習内容：回転体に関する仕事

予習時間：30分

復習内容：仕事率に関する宿題

復習時間：60分

第28回の講義では，単位時間になす仕事の割合である仕事率（動力）について解説し，特に回転体の仕事率を扱って動力の求解法を学ぶ．最後に演習を行って理解を深める．

第29回 力学的エネルギー

予習内容：運動エネルギー，位置エネルギー

予習時間：30分

復習内容：力学的エネルギー保存則に関する宿題

復習時間：60分

第29回の講義では，保存力と非保存力を解説し，保存力により生ずる力学的エネルギーは保存されることを解説する．最後に演習を行い理解を深める．

第30回 総合演習(3)

予習内容：第23回～第29回までの学習内容

予習時間：120分

復習内容：総合演習

復習時間：60分

第30回の講義では，重心の理論，図心の考え方，仕事とエネルギー，力学的エネルギー保存則に関する総合演習を行い，ここまでで学んだ知識を復習し理解を深める．

定期試験

■ホームページ

科目名 :	材料力学 I				
英文名 :	Strength of Materials 1				
担当者 :	野田 淳二				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

生活関連機器や建築構造物をデザインする際に、作用する力の大きさを考慮し、使用中に壊れないような十分な強度を持ち、変形が決められた限度内に収まるように十分な剛性（変形しにくさ）を持つように検討する必要がある。一方で、機器や建築物を軽量にすることも、環境への配慮から必要となる。この相反する必要性を合理的に満足させるためには、機器や建築物に生じる内力や変形、応力やひずみを解析し、これらの力学的性能を明らかにする必要がある。そのための学問が材料力学である。材料力学 I は、内力、応力、ひずみ、せん断力、ねじりといった基礎について学ぶ。材料力学 II を合わせて学ぶことにより、上記の目的を達成することができる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

材料力学 I では、生活関連機器や建築構造物のデザインを行う上で必要な材料力学の基礎について考え方と計算方法を幅広く学び、続いて開講される材料力学 II でデザインの基礎となる材料のたわみと応力の計算法について学ぶ。具体的には、本講を受講することにより、人体や生活関連機器を対象として、応力、ひずみ、力、ねじりによるせん断応力を数式を解いて求める方法を修得し、教科書の例題や練習問題を独力で解くことができるようになる。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
 中間試験 30%
 宿題等の提出 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784627663534 『はじめての材料力学(第2版)新装版』(小山 信次, 森北出版: 2014) (材料力学 II と共用)

■ 参考文献

[ISBN]9784781909752 『演習 材料力学 (セミナーライブラリー機械工学)』(尾田 十八, サイエンス社: 2001)

■ 関連科目

暮らしの力学の履修内容が基礎知識として必要である。本講義で学んだ成果は、材料力学 II で応用される。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

野田研究室 (西1号館2階252) ・ nodaj@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 応力とひずみ(1) : 材料力学について、材料にかかる荷重と変形

予習内容 : シラバスを予め熟読し、講義の流れを理解しておく。自由物体図、釣り合い方程式、支点反力

予習時間 : 30分

復習内容 : 力のつりあい、モーメントのつりあい、仮定の切断法に関する宿題

復習時間 : 120分

材料力学で何を学ぶかを説明し、講義計画を紹介する。また、1年次に学んだ静力学を演習により復習する。外力を受けたときの

材料の変形の種別を紹介する。

第2回 応力とひずみ(2) : 引張・圧縮応力とひずみ

予習内容 : 丸棒に生じる引張応力

予習時間 : 30分

復習内容 : 引張荷重, 圧縮荷重, せん断荷重

復習時間 : 30分

引張応力と圧縮応力とひずみ, せん断変形を紹介する。

第3回 応力とひずみ(3) : せん断応力とひずみ

予習内容 : 三角関数

予習時間 : 30分

復習内容 : 引張応力, せん断応力の変形

復習時間 : 30分

傾斜面に生じる引張応力とせん断応力について解説する。

第4回 応力とひずみ(4) : 断面の位置による応力の変化

予習内容 : 内力と外力について, 仮想の切断法

予習時間 : 30分

復習内容 : せん断応力とひずみ

復習時間 : 30分

断面の位置による応力の変化の考え方を理解する。

第5回 応力とひずみの関係(1) : フックの法則, 応力-ひずみ曲線

予習内容 : バネ定数, バネの変形

予習時間 : 30分

復習内容 : フックの法則, 単位換算

復習時間 : 30分

フックの法則を紹介し, 弾性係数, せん断弾性係数の意味を学習する。

第6回 応力とひずみの関係(2) : 使用応力と安全係数, ポアソン比

予習内容 : 応力の計算法, ひずみの計算法, 強度とは

予習時間 : 30分

復習内容 : フックの法則, ポアソン比の計算法

復習時間 : 30分

許容応力度設計法の初歩を紹介する。許容応力度設計法を各種の载荷条件に適用した演習を等して, 許容応力度設計法に対する理解を深める。

第7回 いろいろな要因による応力の発生(1) : 熱応力

予習内容 : 応力, ひずみの計算法, 単位換算

予習時間 : 30分

復習内容 : 熱応力, 線膨張係数

復習時間 : 30分

熱応力の考え方と種々の条件下の熱応力の算定法を紹介する。

第8回 いろいろな要因による応力の発生(2) : 自重による応力, 衝撃荷重によって生じる応力

予習内容 : 密度, 自重, 運動エネルギー

予習時間 : 30分

復習内容 : 段付き棒における熱応力, 衝撃応力に関する宿題

復習時間 : 60分

材料の自重を考慮したときの応力とひずみの算定法を紹介する。ひずみエネルギーを用いて, 運動エネルギーが与えられたとき, 衝撃荷重によって生ずる応力を算定する方法を紹介する。

第9回 いろいろな要因による応力の発生(3) : 応力集中, 圧力容器に生じる応力

予習内容 : 三角関数と円, 球の幾何学

予習時間 : 30分

復習内容 : 長手方向応力と円周方向応力, 安全係数

復習時間 : 30分

応力集中の基本的考え方を紹介する。演習により種々の条件における応力集中したときの応力の算定法の理解を深める。円筒薄肉圧力容器に発生する応力の算定法を紹介し, 演習通してその理解を深める。

第10回 総合演習(1)

予習内容 : 教科書pp.1~52をよく読んでくること。

予習時間：120分

復習内容：演習問題を復習する。

復習時間：60分

これまでに学んだ事項の理解度を高めるため、フックの法則、応力-ひずみ曲線、安全係数、熱応力、自重による応力、応力集中、圧力容器に関する演習を行う。

第11回 ねじり(1)：ねじりによる丸軸の変形

予習内容：せん断応力，モーメント

予習時間：30分

復習内容：断面2次極モーメントと極断面係数

復習時間：30分

ねじりにより丸軸に発生する変形（せん断ひずみ）と応力の算定法を紹介する。種々の状況下でねじりを受ける部材のせん断応力の算定法を紹介する。

第12回 ねじり(2)：動力を伝達する軸の変形

予習内容：馬力，動力

予習時間：30分

復習内容：ねじりモーメント，許容せん断応力，動力伝達軸に関する宿題

復習時間：120分

ねじりによる変形の応用として，動力を伝達する軸に発生する応力とひずみの算定法を紹介する。

第13回 建築物の構造：トラスとラーメン，静定トラス(1)

予習内容：トラスにおける節点法，切断法

予習時間：30分

復習内容：トラス構造，ラーメン構造

復習時間：30分

暮らしの工学で学んだトラスの考え方を復習し，建築物の構造計算で用いるトラス，ラーメン構造について解説する。

第14回 建築物の構造：静定トラス(2)

予習内容：力のつりあい，モーメントのつりあい

予習時間：30分

復習内容：静的トラス構造

復習時間：30分

より複雑なはり为例にとり，静定トラスの演習を行いながら計算手法を身につける。

第15回 総合演習(2)

予習内容：教科書pp.53～62をよく読んでくること。

予習時間：120分

復習内容：演習問題を復習する。

復習時間：60分

これまでに学んだ事項の理解度を高めるため，丸棒のねじり，動力伝達軸，静定トラスに関する演習を行う。

定期試験

講義で学んだすべての内容を試験範囲とする。

■ホームページ

科目名 :	材料力学Ⅱ				
英文名 :	Strength of Materials 2				
担当者 :	野田 淳二				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

生活関連機器や建築構造物をデザインする際に、作用する力の大きさを考慮し、使用中に壊れないような十分な強度を持ち、変形が決められた限度内に収まるように十分な剛性（変形しにくさ）を持つように検討する必要がある。一方で、機器や建築物を軽量にすることも、環境への配慮から必要となる。この相反する必要性を合理的に満足させるためには、生活関連機器に生じる内力や変形、応力やひずみを解析し、これらの力学的性能を明らかにする必要がある。そのための学問が材料力学である。材料力学Ⅱは、材料力学Ⅰで学んだ、内力、応力、ひずみといった基礎知識を基に、生活のあらゆる場面で用いられるはり（長い棒）を対象として、せん断力、曲げモーメントについて学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

材料力学Ⅰで、生活関連機器や建築構造物のデザインを行う上で必要な材料力学の基礎について考え方と計算方法を幅広く学び、材料力学Ⅱでデザインの基礎となる材料のたわみと応力の計算法について学ぶ。具体的には、本講を受講することにより、人体や生活関連機器を対象として、応力、ひずみ、力、モーメント、たわみの分布を数式を解いて求める方法を修得し、教科書の例題や練習問題を独力で解くことができるようになる。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
 中間試験 30%
 宿題等の提出 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784627663534 『はじめての材料力学(第2版)新装版』(小山 信次, 森北出版: 2014)

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

暮らしの力学, 材料力学Ⅰの履修内容が基礎知識として必要である。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

野田研究室 (西1号館2階252) ・ nodaj@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 はりの曲げ(1) : はりの種類と支持の方法, 反力の計算(1)

予習内容 : シラバスを予め熟読し, 講義の流れを理解しておく。暮らしの力学, 材料力学Ⅰの内容

予習時間 : 30分

復習内容 : 応力とひずみの定義, 内力, 仮定の切断法

復習時間 : 30分

最初に材料力学で何を学ぶかを説明し, 講義計画を紹介する。簡単なはりを用いて反力の計算を行う際のルールについて解説す

る。片持ちはり、両端支持はりなどの基本的なはりの反力について説明する。

第2回 はりの曲げ(2) : 反力の計算(2)

予習内容 : 仮想の切断法

予習時間 : 30分

復習内容 : 片持ちはりおよび両端支持はりの仮想の切断法

復習時間 : 30分

材料力学では座標系の取り方により、計算結果の整合性について混乱する場合があります、重点的に力やモーメントの向きについて講義する。

第3回 はりの曲げ(3) : はりに生じるせん断力と曲げモーメント

予習内容 : せん断力, 曲げモーメント

予習時間 : 30分

復習内容 : 片持ちはりおよび両端支持はりの仮想の切断法

復習時間 : 30分

仮想の切断法を用いて、任意の断面に生じるせん断力と曲げモーメントを求める手法を解説する。その際、座標系の取り方、力やモーメントの向きについて2種類解説し、結果が変わらないことを導く。

第4回 はりの曲げ(4) : 集中荷重が作用する両端支持はり、等分布荷重が作用する両端支持はり

予習内容 : 自由物体図, 釣り合い方程式, 支点反力

予習時間 : 30分

復習内容 : 集中荷重や一様分布荷重が働く両端支持はりのSFDとBMD

復習時間 : 60分

両端支持はりに集中荷重が働く場合のSFDおよびBMD線図を求める方法を解説し、線図を描くポイントを説明する。次に両端支持はりに一様分布荷重が働く場合のSFDおよびBMD線図を求める方法を解説し、線図を描くポイントを説明する。

第5回 はりの曲げ(5) : 集中荷重が作用する片持ちはり、等分布荷重が作用する片持ちはり

予習内容 : 自由物体図, 釣り合い方程式, 支点反力

予習時間 : 30分

復習内容 : 集中荷重や一様分布荷重が働く片持ちはりの仮想の切断法

復習時間 : 60分

片持ちはりに集中荷重が働く場合のSFDおよびBMD線図を求める方法を解説し、線図を描くポイントを説明する。次に片持ちはりに一様分布荷重が働く場合のSFDおよびBMD線図を求める方法を解説し、線図を描くポイントを説明する。

第6回 はりの曲げ(6) : 総合演習

予習内容 : ここまでの演習やサブノート

予習時間 : 120分

復習内容 : 演習問題を復習する。

復習時間 : 60分

これまでに学んだ事項の理解度を高めるため、種々のはりに集中荷重や分布荷重がかかる場合のSFDとBMDの求め方に関する演習を行う。

第7回 はりに生じる応力とたわみ(1) : 曲げによって生じる応力とひずみ

予習内容 : せん断力, 曲げモーメント

予習時間 : 30分

復習内容 : 曲げ応力と曲げひずみ

復習時間 : 30分

せん断力線図や曲げモーメント線図を求めることにより、はりに生じる変形や応力状態を求められることを解説する。

第8回 はりに生じる応力とたわみ(2) : 曲げモーメントと応力

予習内容 : 中立面, 図心, 引張応力と圧縮応力

予習時間 : 30分

復習内容 : 曲げ応力と曲げひずみ

復習時間 : 30分

断面二次モーメントと断面係数の定義を説明し、BMDを用いて断面に生じる引張応力と圧縮応力の最大値を求める手法を解説する。

第9回 はりに生じる応力とたわみ(3) : 長方形断面はりの図心(断面一次モーメント), 断面二次モーメント

予習内容 : 曲げ変形, 積分法

予習時間 : 30分

復習内容 : 基本断面の断面二次モーメント

復習時間 : 60分

長方形断面や円断面, 中空断面の断面二次モーメントを実際に求める手法を解説し、曲げ剛性について解説する。

第10回 はりに生じる応力とたわみ(4) : 断面係数, はりのいろいろな断面形状

予習内容 : 曲げ変形, 積分法

予習時間 : 30分

復習内容 : 平行軸の定理

復習時間 : 60分

いろいろな断面をもつはりの断面二次モーメント, 断面係数の計算を実際に行い, 平行軸の定理を解説して, 複雑な断面についても計算によりそれらが求められることを解説する.

第11回 はりに生じる応力とたわみ(5) : 集中荷重が作用する両端支持はりのたわみ

予習内容 : 微分方程式, 積分定数

予習時間 : 30分

復習内容 : 集中荷重が働く両端支持はりのたわみ曲線

復習時間 : 60分

両端支持はりに集中荷重が働く場合のたわみ曲線の求め方について説明する.

第12回 はりに生じる応力とたわみ(6) : 等分布荷重が作用する両端支持はりのたわみ

予習内容 : 微分方程式, 積分定数

予習時間 : 30分

復習内容 : 一様分布荷重が働く両端支持はりのたわみ曲線

復習時間 : 60分

両端支持はりに一様分布荷重が働く場合のたわみ曲線の求め方について説明する.

第13回 はりに生じる応力とたわみ(7) : 集中荷重が作用する片持ちはりのたわみ

予習内容 : 微分方程式, 積分定数

予習時間 : 30分

復習内容 : 集中荷重が働く片持ちはりのたわみ曲線

復習時間 : 60分

片持ちはりに集中荷重が働く場合のたわみ曲線の求め方について説明する.

第14回 はりに生じる応力とたわみ(8) : 等分布荷重が作用する片持ちはりのたわみ

予習内容 : 微分方程式, 積分定数

予習時間 : 30分

復習内容 : 一様分布荷重が働く片持ちはりのたわみ曲線

復習時間 : 60分

片持ちはりに一様分布荷重が働く場合のたわみ曲線の求め方について説明する.

第15回 はりに生じる応力とたわみ(9) : 総合演習

予習内容 : ここまでの演習やサブノート

予習時間 : 120分

復習内容 : 演習問題を復習する.

復習時間 : 60分

これまでに学んだ事項の理解度を高めるため, 種々のはりに集中荷重や分布荷重がかかる場合のたわみ曲線や最大応力の求め方に関する演習を行う.

定期試験

授業で学んだすべての内容を範囲とする.

■ホームページ

科目名	センサ工学				
英文名	Sensor Systems				
担当者	楠 正暢				
開講学科	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位	2単位	開講年次	2年次	開講期	前期
科目区分	専門科目				
備 考					

■ 授業概要・方法等

人間や動物は感覚器官を通じ、身の回りの情報を把握している。生物の持つ感覚器官の感度は極めて高いものであるが、これを定量化することには向いていない。科学技術的観点から環境の状況を定量測定したい場合、さらにはコンピュータやロボットベースの自動システムを構築したい場合には人工的に感覚器官を代替するセンサの活用が不可欠である。また、生物が感じることでできない、赤外線、放射線、磁気などに関する情報を取得したい場合にもそれを検出するためのセンサは重要なデバイスといえる。

本講義では、センシングする対象による分類、センシングの原理にもとづく分類からセンサをとらえ、その基礎について学修する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・ 代表的なセンサの原理を理解し説明できること。
 - ・ 代表的なセンサの基本的特性を理解し説明できること。
 - ・ 代表的なセンサの果たす役割を理解し説明できること。
- この科目の修得は、本学科が定めるディプロマポリシー 3 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の課題に対する解説をします。

■ 教科書

資料を配布

■ 参考文献

指定しない

■ 関連科目

アンビエントセンサなど、学科の開講する専門科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

楠研究室(東1号館1階111)・kusunoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

土曜 1～2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 科学技術と計測

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第2回 量、単位、標準、次元

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。
復習時間：40分

第3回 測定標準、測定誤差、測定精度

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第4回 信号検出

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第5回 信号変換

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第6回 センサの定義と分類

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第7回 機械要素を利用するセンシング

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第8回 電気要素を利用するセンシング

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第9回 物性要素を利用するセンシング

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第10回 半導体技術を用いたセンシング

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第11回 光学技術を用いたセンシング

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第12回 成分センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第13回 複合センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第14回 その他のセンサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第15回 まとめ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

■ホームページ

科目名	アンビエントセンサ				
英文名	Ambient Sensor				
担当者	楠 正暢				
開講学科	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位	2単位	開講年次	2年次	開講期	後期
科目区分	専門科目				
備考					

■ 授業概要・方法等

先進国においては世界的な少子高齢化が進んでおり、その中でも日本は超高齢化社会として深刻な状況となっている。全人口に対する労働者人口の比率が低い社会においては、情報技術、ロボット技術、遠隔制御技術を中心とした自動システムの必要性がますます高まっている。この自動システムのなかでセンサは状況把握の役割を担う最も重要な要素の一つとして位置づけられる。現代社会では、様々なセンサにより環境を把握するアンビエントセンシング技術が発達し、これを搭載した機器がネットワークでつながった、アンビエントインテリジェンス社会へと移行しつつある。

本講義では、人間環境デザイン工学科で学修の対象とする、人間工学、福祉工学、ロボット工学、住環境科学などの発展に不可欠な、アンビエントセンサを取り上げ、その原理、構造、用途について学修する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・アンビエントセンシングについて理解し説明できること。
 - ・アンビエントセンシングにおけるセンサの活用方法を説明できること。
- この科目の修得は、本学科が定めるディプロマポリシー 3 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回のレポートに関し、課題に対する解説をします。

■ 教科書

資料を配布

■ 参考文献

指定しない

■ 関連科目

情報処理基礎、情報処理応用、数学、物理など

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

楠研究室(東1号館1階111)・kusunoki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

土曜 1～2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 スマートフォンに搭載されたセンサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第2回 GPSセンサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第3回 ジャイロセンサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第4回 モーションセンサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第5回 加速度センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第6回 照度センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第7回 撮像センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第8回 近接センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第9回 気圧センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第10回 指紋センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第11回 ウエアラブルセンサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第12回 様々な環境センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第13回 湿度センサ、ガスセンサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第14回 バイオセンサ、味センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

第15回 匂いセンサ、微粒子センサ

予習内容：講義中指示する事項について予習し次回に備える。

予習時間：20分

復習内容：講義中指定する課題を完成させ期日までに提出する。

復習時間：40分

■ホームページ

科目名 :	生体計測学				
英文名 :	Biometrics				
担当者 :	中川 秀夫				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

生体の状態を知るには、まずそれを測ることから始めなければなりません。そのためには、生体機能の物理的現象や電気的現象などの変化量を捉える多種多様のセンサ類や、その信号を可視化したり解析するためのあらゆる計測機器について理解しておく必要があります。すなわち、計測の原理や機器構成を理解した上で計測機器を扱うことによって、はじめて信頼性のある出力データ、分析結果を得ることができるのです。本講では、こうした計測の基本である物理現象から、最新のセンサ・計測機器までを学修します。

■ 学習・教育目標及び到達目標

この授業を履修することにより

- 1) 計測技術の基礎である電氣的・機械的知識、物体の色々な物理的性質・原理の知識が得られます。
- 2) 計測するときどのような注意が必要かを理解できるようになります。
- 3) それらの知識をベースとして、種々の生体計測へ応用する能力が修得できます。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシーの4-2) の達成に主体的に関与し、また4-1) の達成に付随的に関与します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%

毎回授業での宿題 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の課題の答案例を、翌回の冒頭に示します。

毎回の課題は、最終回（定期試験前）に再度質問を受け付け説明します。

定期試験の模範答案は、試験終了後研究室前に掲示します。

■ 教科書

特になし。（関連のプリントを配付します。）

■ 参考文献

[ISBN]9784339007206 『生体計測工学入門』（橋本 成広, コロナ社 : 2000)

■ 関連科目

確率統計、人間医工学概論、福祉情報デザイン、人間環境デザイン工学実験Ⅰ・Ⅱ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

中川研究室（東1号館1階102）・nakagawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、生体計測とは

予習内容：機械計測、生体計測についてそれぞれ事例を調査のこと

予習時間：90分

復習内容：機械計測のノウハウを学生実験に適用させて改善点を考えること

復習時間：60分

この授業のガイダンスとして、授業の目的、進め方、スケジュールなどを説明します。
そして、機械計測と対比させて、生体計測の特徴について説明します。

第2回 計測の基礎（その1）

予習内容：「人間医工学概論（1前）」の「第6回単位と計測」および「人間環境デザイン工学実験Ⅰ（2後）」の「実験データの整理法」の中の計測用語、単位系、精度、SI単位などについて見直し予習しておくこと。

予習時間：150分

復習内容：受動的測定と能動的測定について事例を用いて説明し、違いを明確にしておくこと。

復習時間：90分

類似の計測用語について意味を解説し違いを明確化します。また単位系について説明します。

第3回 計測の基礎（その2）

予習内容：「人間環境デザイン工学実験Ⅰ（2後）」の「実験データの整理法」および「確率統計（3前）」の「第6回確率分布」の中の分解能、有効数字、標準偏差、誤差伝搬についてよく復習しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：誤差の伝搬式を例題を見直して十分に理解しておくこと。

復習時間：60分

分解能、有効数字、誤差の伝播について説明します。

第4回 計測の応答性

予習内容：動特性、1次遅れ、時定数、周波数応答などのキーワードについて調べておくこと。

予習時間：120分

復習内容：ステップ応答の時間と出力比の関係について計算できるようにしておくこと

復習時間：60分

計測器の時間的特性、ステップ応答と周波数応答について説明します。

第5回 計測のための電気回路（その1）

予習内容：人間環境デザイン工学実験Ⅰのひずみ測定、福祉情報デザインのOPアンプなどについて復習し、ホイットストーンブリッジ、フィルタ、アンプ、ゲイン、バッファなどの用語について調べておくこと。

予習時間：90分

復習内容：オペアンプの代表的回路について復習し、アンプゲインを計算できるようになること。またその特性について説明できるようにすること。

復習時間：60分

検出器、フィルタ（LPF,HPF）、増幅器（OPアンプ）について説明します。

第6回 計測のための電気回路（その2）

予習内容：2年前期の福祉情報デザイン、または人間環境デザイン工学実験Ⅱテキスト「腕ロボットの制御」を参照し、デジタル化、標本化定理、変換方式について調べておくこと。

予習時間：90分

復習内容：Shannonの標本化定理（サンプリング定理）について整理し、周期（時間）と周波数の関係に注意してよく理解すること。

復習時間：60分

種々のAD変換器を紹介し、それぞれの原理や特徴について説明します。

第7回 計測データの転送

予習内容：2年前期「福祉情報デザイン」の中の「障がい者と情報通信関連技術」の関連内容をよく復習し、また、シリアル通信、通信規格、LAN、テレメトリなどについて調べておくこと。

予習時間：90分

復習内容：生体情報についての応用である小電力医用テレメータについての利用状況をまとめ、説明できるようにすること。

復習時間：60分

計測データを集めるための通信技術、無線LANについてその方法や種類を説明し、実用化された生体テレメータについて紹介します。

第8回 位置・形状の計測

予習内容：2年前期「福祉情報デザイン」の「身体形状計測技術」の項を復習し、またカメラステレオ法、光切断法、モアレ法などについて調べておくこと。

予習時間：60分

復習内容：代表的な距離、位置計測法の原理を整理し、概略説明できるようにすること。

復習時間：90分

ステレオ法、光切断法、モアレについて原理を解説します。

第9回 運動の計測

予習内容：人間環境デザイン工学実験Ⅰの「身体の重心動揺計測」で学習した重心動揺計の計測原理について復習し、また眼球

運動計測、顎運動計測などについて調べておくこと。

予習時間：120分

復習内容：重心動揺計の重心計測演算原理を整理して理解し、JISの測定法について調査して内容を理解すること。

復習時間：60分

眼球運動測定器、顎運動測定器、重心動揺計について説明します。

第10回 生体における温度計測

予習内容：人間環境デザイン工学実験Ⅰの「熱科学実験」でのサーモグラフィーについて復習し、また熱伝達率、熱交換、代謝などについて調べておくこと。

予習時間：90分

復習内容：各種の体温測定器や温度測定器、特にサーモグラフィーについて、原理を中心に理解し、説明できるようになること。

復習時間：60分

伝熱用語について説明し、体温計の種類と特徴、赤外線を応用したサーモグラフィーの原理について説明します。

第11回 生体の流体計測（その1）

予習内容：人間環境デザイン工学実験Ⅱ「生体流れ学実験」について予習し、また血圧計、血流計、レイノルズ数、ドップラー効果について調べておくこと。

予習時間：90分

復習内容：血液の圧力、流速を測定する計測器の測定原理を整理して理解し、とくにパルスオキシメータについて説明できるようになること。

復習時間：60分

血液の物性、血圧計、血流計について説明します。

第12回 生体の流体計測（その2）

予習内容：人間環境デザイン工学実験Ⅱ「スポーツ健康科学実験」について予習し、また呼吸流量計、ガス濃度計、呼吸代謝測定について調べておくこと。

予習時間：90分

復習内容：呼吸量、呼吸ガス濃度、呼吸代謝を測定する計測器について整理し、特にガスアナライザの測定原理について説明できるようになること。

復習時間：60分

呼気の計測について説明し、スパイロメータの原理・特徴を述べます。

第13回 超音波利用による生体計測

予習内容：第6回のサンプリング定理、第11回の血流計・ドップラー効果について復習し、指向性、伝搬速度、エコー、血流計などのキーワードについて調べておくこと。

予習時間：60分

復習内容：超音波を利用した検査機器の仕組みや原理、特徴（長所・短所）をまとめた一覧表を作成して整理すること。

復習時間：120分

超音波の特性について説明し、反射、走査型エコーの応用計測機器について説明します。

第14回 X線利用による生体計測

予習内容：放射線吸収、CT値、ヘリカルスキャンなどの用語について調べておくこと。また最近のニュース等での放射線量の単位について調べておくこと。

予習時間：90分

復習内容：X線利用の医療機器について、その構成や原理を整理し、説明できるようにしておくこと。

復習時間：60分

X線の性質について説明し、X線胸部撮影、X線CTなどの応用計測機器を紹介します。

第15回 生体における電磁気計測

予習内容：「福祉情報デザイン（2前）」の第2回心電図・筋電図および「人間環境デザイン工学実験Ⅰ（2後）」の「筋放電計測」のテキスト内容についてよく復習し、また心電計、脳波計、筋電計、MRIなどについて調べておくこと。

予習時間：120分

復習内容：生体の電磁気応用の医療機器、特にMRIについて、その構成や原理を整理し説明できるようになること。

復習時間：60分

人体の電磁氣的性質を説明し、その応用機器である心電計、脳波計、筋電計、MRIなどの原理等を述べます。

定期試験

出題範囲は1～15回の内容、練習問題、課題についての計算・記述問題であるので、良く復習しておくこと（資料等持ち込み不可）。なお、計算のための電卓持参のこと。

■ ホームページ

科目名 :	流れ学				
英文名 :	Fluid Mechanics				
担当者 :	大政 光史				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

流れ学は、工学、医療・生体、環境、気象など幅広い領域に関係しており、自然界や日常生活に密着した流れから、医療機器、工業機器、血液循環系などの管路内の流れや航空機、自動車といった人工物さらには生体内の流れなど幅広い流れ現象を取り扱う学問である。本講では、流体の物理的性質（密度、粘度）、静止した流体の力学（圧力、血圧、呼吸と圧力、液柱計）、流れの基礎（定常流、非定常流、層流・乱流）、1次元流れの保存則（連続の式、ベルヌーイの定理）と流体計測、実在する粘性流体の管路内流れ、流体機械について学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

自然界、日常生活、人工物、生体内など、さまざまな流れに適用できる基礎知識についての理解を深め、一定の条件での計算問題が解ける能力と、さまざまな流れの量的な感覚を身につける。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に主体的に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784407315417 『流体力学—シンプルにすれば「流れ」がわかる (専門基礎ライブラリー)』 (実教出版 : 2009)

■ 参考文献

[ISBN]9784485302163 『演習 流体工学 (基礎数学完全マスター)』 (井口 學, 電気書院 : 2010)

[ISBN]9784320080881 『流体システム工学 (機械システム入門シリーズ 12)』 (佐野 勝志, 共立出版 : 2007)

■ 関連科目

「住環境科学概論」

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室 (西1号館3階353) ・ ohmasa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 4 限と木曜 4 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 流体力学と流体機械

予習内容 : 教科書の写真や目次を見て全体を把握すること。

予習時間 : 30分

復習内容 : 流れ学の実用的な利用分野についてまとめる。

復習時間 : 30分

第2回 流体の性質と単位系

復習内容 : 流れ学で用いる単位について復習すること。

復習時間 : 30分

第3回 流体の圧縮性と粘性

復習内容：流体の粘性について復習すること。

復習時間：30分

第4回 静止流体の力学（圧力）

復習内容：流体における圧力について復習すること。

復習時間：30分

第5回 静止流体の力学（液柱計）

復習内容：液柱計についての計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第6回 静止流体の力学（壁面に作用する力）

復習内容：液体が接する壁面の圧力についての計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第7回 層流と乱流

復習内容：レイノルズ数を計算し、流れの状態との関連性を復習すること。

復習時間：30分

第8回 連続の式

復習内容：連続の式を用いた計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第9回 ベルヌーイの定理

復習内容：ベルヌーイの定理を用いた計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第10回 管路内の流れ

復習内容：管路内の流れについての計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第11回 流速の測定

復習内容：流速の測定についての計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第12回 運動量と平板におよぼす力

復習内容：流れが板に当たるときの計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第13回 円管内の層流と損失

復習内容：円管内の層流の損失についての計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第14回 円管内の乱流と損失

復習内容：円管内の乱流の損失についての計算問題を復習すること。

復習時間：30分

第15回 物体のまわりの流れ

復習内容：物体のまわりの流れについてまとめること。

復習時間：30分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	材料機能学				
英文名 :	Functional Materials				
担当者 :	大政 光史				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

製品や建築物が設計どおりに機能するかどうかは材料特性に依存する。材料はその用途によって、強度を活かす構造材料と働きを活かす機能材料に分けられる。具体例を取り上げ、製品や建築物を設計するときどのように材料選択をすべきかについて、基本的な考え方を学ぶ。主な内容は、鉄鋼等の金属材料、セラミックス、プラスチック、木材等の特性と用途。機能性材料の属性、力学的特性、熱的特性、電磁的特性、化学的特性等である。

■ 学習・教育目標及び到達目標

各種材料の種類と特性を学び、構造材料と機能材料についての理解を深め、モノづくりをするときの材料選択の考え方を身につける。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に主体的に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784563069216 鈴木・浅川編著「基礎機械材料」培風館(2005)

■ 参考文献

[ISBN]9784320076952 『建築材料学』(共立出版 : 2007)

[ISBN]453403525X 『建築材料がわかる事典』(日本実業出版社 : 2003)

■ 関連科目

卒業研究

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室 (西1号館3階353) ・ ohmasa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 4 限と木曜 4 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生活の中で利用される材料の機能 (繊維の例)

復習内容 : 繊維の種類、特徴、用途についてまとめて復習すること。

復習時間 : 30分

第2回 設計と材料技術

復習内容 : 製品の製造における材料工学の役割についてまとめて復習すること。

復習時間 : 30分

第3回 材料の基本性質

復習内容 : 材料の基本性質について復習すること。

復習時間 : 30分

第4回 金属材料の特性

復習内容：金属材料の基本性質について復習すること。

復習時間：30分

第5回 鉄鋼材料の基礎

復習内容：鉄鋼材料の基本性質について復習すること。

復習時間：30分

第6回 鉄鋼材料の種類と性質

予習内容：鉄鋼材料の種類、特徴、用途について復習すること。

予習時間：30分

第7回 ステンレスの性質と用途

復習内容：ステンレス鋼の種類、特徴、用途について復習すること。

復習時間：30分

第8回 アルミニウム合金の性質と用途

復習内容：アルミニウム合金の種類、特徴、用途について復習すること。

復習時間：30分

第9回 各種合金の性質と用途

復習内容：チタン合金などの種類、特徴、用途について復習すること。

復習時間：30分

第10回 セラミックス、ガラス

復習内容：セラミックスの種類、特徴、用途について復習すること。

復習時間：30分

第11回 プラスチック、ゴム

復習内容：プラスチックの種類、特徴、用途について復習すること。

復習時間：30分

第12回 木材、木質系材料

復習内容：木質系材料の種類、特徴、用途について復習すること。

復習時間：30分

第13回 複合材料、コンクリート

復習内容：複合材料の種類、特徴、用途について復習すること。

復習時間：30分

第14回 機能性材料と生体材料

復習内容：機能性材料の種類、特徴、用途について復習すること。

復習時間：30分

第15回 環境を意識した材料とリサイクル

復習内容：材料とリサイクルの関係についてまとめて復習すること。

復習時間：30分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	生活支援ロボット				
英文名 :	Life Support Robots				
担当者 :	中川 秀夫				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

生活支援ロボットとは、家庭・施設などで人間の生活や自立を支援するロボットの総称です。そのため、人の意図を正しく認識する機能が不可欠です。また、工場で使われている産業用ロボットがロボットのために準備された環境内で機能するのに対して、この生活支援ロボットは、多種多様な人間生活環境下で機能する必要があります。そこで本講では、人と共存するロボットに必要な安全な機構や制御技術、音声入力や画像処理技術をはじめとするヒューマンインターフェースについて、ハード・ソフトの両側面から学習します。また、その背景にあるロボット開発の歴史にも触れ、どのような応用がされているのかパワーポイントによるスライドを使用して、画像等を利用した説明を行います。

■ 学習・教育目標及び到達目標

ロボットというアニメ・映画の未来的な固定イメージが定着していますが、この授業を履修することにより、次のようなことが習得できます。

1) 一般的なロボットの機能と仕組み、動作原理を学習することにより、現状の能力でできることと将来への課題を区別して理解できます。

2) そこからロボットの開発がどのような方向へ向っているかを修得します。

3) 生活支援という分野が必要とされる社会的な背景を理解することにより、福祉や医療の各分野で活躍するロボットについての基礎知識が修得できます。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシーの4-2) の達成に主体的に関与し、また4-1) の達成に付随的に関与します。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%

毎回授業での課題 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

各回の課題の答案例を、翌回の冒頭に示して復習します。

毎回の課題について、最終回（定期試験前）に再度解説します。

定期試験の模範答案は、定期試験後に研究室前に掲示します。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

[ISBN]9784274208942 『わかりやすいロボットシステム入門—メカニズムから制御、システムまで—』（松日楽 信人, オーム社 : 2010)

■ 関連科目

福祉機器デザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

中川研究室（東1号館1階102）・nakagawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、ロボットの分類

予習内容：産業用ロボットと呼ばれるロボットについて事前調査する

予習時間：120分

復習内容：ロボットはどのようにして動くのか整理する

復習時間：90分

- | | |
|------------------|-----------------|
| (1) ロボットの学問的位置付け | (2) 本講義で扱う範囲と目標 |
| (3) 授業形態 | (4) 成績評価方法 |
| (5) 授業スケジュール | (6) 教科書・参考書について |
| (7) 最新の産業用ロボット | (8) 順運動学・逆運動学 |
| (9) ロボットの動かし方 | |

第2回 ロボットハンドの機構

予習内容：一般的なロボットの構成ユニットの名称・機能について調査すること

予習時間：120分

復習内容：ロボットの関節の種類、記号について整理し、自由度を理解しておくこと。

復習時間：60分

- | | |
|------------------|----------------|
| (1) ロボットアームの構成要素 | (2) 自由度 |
| (3) 関節の記号 | (4) リンク機構の種類 |
| (5) ロボットアームの機構例 | (6) アクチュエータの機構 |
| (7) 手首の機構例 | |
| (8) ハンドの機構例 | |

第3回 ロボットに用いられるセンサー

予習内容：ロボットにはどのようなセンサが用いられているか調査する

予習時間：90分

復習内容：センサの原理、特長、注意点について一覧表にまとめる

復習時間：60分

- | | |
|-------------|-----------|
| (1) センサについて | (2) 角度センサ |
| (3) 距離センサ | (4) 接触センサ |
| (5) 力覚センサ | (6) 視覚センサ |

第4回 ロボットのアクチュエータ

予習内容：ロボットにはどのようなアクチュエータが用いられているか調査する

予習時間：90分

復習内容：ロボットのアクチュエータについて原理、特長、注意点について整理する

復習時間：90分

- | | |
|---------------|--------------|
| (1) アクチュエータとは | (2) 電気モータの種類 |
| (3) DCモータ | (4) ACモータ |
| (5) パルスモータ | (6) 超音波モータ |

第5回 ロボットの軌道計画

予習内容：パス生成の補間法について調べておく

予習時間：120分

復習内容：間接空間法とデカルト空間法について対比説明をまとめる

復習時間：90分

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 軌道計画とは？ | (2) 関節空間法の考え方 |
| (3) 1次式と3次式 | (4) 直線と放物線の組合せ |
| (5) デカルト空間法 | (6) 手先軌跡の補間処理 |

第6回 ロボットの順運動学(1)

予習内容：ロボット座標系にはどのような種類があるか調査すること

予習時間：120分

復習内容：座標回転について、授業で説明したZ軸まわりの回転にならって、X軸、Y軸まわりの回転行列を導出しておくこと

復習時間：90分

- | | |
|------------------------|---------------|
| (1) 関節変数と手先位置・姿勢の一般的関係 | |
| (2) ロボットの座標系 | (3) ベクトルと座標回転 |
| (4) 回転行列の性質 | (5) 同次変換行列 |

第7回 ロボットの順運動学(2)

予習内容：D-H法について調査しておく

予習時間：120分

復習内容：簡便な市販ロボットのリンクパラメータ表を作成してみる

復習時間：60分

- (1) 座標系の設定ルール
- (2) 座標系間の関係表現
- (3) 同次変換行列での表現
- (4) リンクパラメータ表

第8回 ロボットの逆運動学

予習内容：逆運動学はどういうところで必要となるかについて調査のこと

予習時間：120分

復習内容：2変数逆正接関数について利用できるように十分に理解しておくこと

復習時間：90分

- (1) 逆運動学の解法
- (2) 2変数逆正接関数
- (3) 幾何学的解法
- (4) 複数解の対応

第9回 産業用ロボット

予習内容：種々の市販ロボットについて種類別に分類してみる

予習時間：120分

復習内容：ロボットの知能化について、定義、事例、将来方向性について整理する

復習時間：60分

- (1) ロボットの歴史
- (2) 産業用ロボットの例
- (3) ロボットの形態と構造
- (4) ロボットの知能化

第10回 社会支援ロボット

予習内容：社会支援型ロボットの事例について調査しておくこと

予習時間：120分

復習内容：授業で紹介したロボットの機能や特徴について整理しておくこと

復習時間：60分

- (1) ロボット需要の社会背景
- (2) 社会支援型ロボットの課題
- (3) 公共分野（危険作業）
- (4) 生活分野への進出
- (5) 医療・福祉分野

第11回 農作業支援ロボット

予習内容：農業用ロボットは、現在の農機とどのように異なるか事例を調査のこと

予習時間：120分

復習内容：授業で紹介したロボットの機能と特徴について整理しておくこと

復習時間：90分

- (1) 農業ロボット化の背景
- (2) 農作業支援ロボットの課題
- (3) 農業用ロボットの歴史と分類
- (4) 車両系ロボット
- (5) マニピュレータ系ロボット

第12回 生物型ロボット

予習内容：「バイオメテックス」の意味、意義、事例について調査しておくこと

予習時間：120分

復習内容：人間型ロボットが人の形を持つことの意義について整理すること

復習時間：60分

- (1) 生物模倣技術
- (2) 昆虫型ロボット
- (3) 無測生物型ロボット
- (4) 水棲動物型ロボット
- (5) 動物型ロボット
- (6) 人間型ロボット

第13回 介護・福祉用ロボット

予習内容：福祉ロボットの事例について調査しておくこと

予習時間：120分

復習内容：福祉用ロボットの各事例について、ロボットの特徴、工夫点を整理すること

復習時間：90分

- (1) 福祉分野へロボット技術
- (2) 高齢者支援ロボット
- (3) 障がい者支援ロボット
- (4) 介護者支援ロボット

第14回 医療・リハビリ用ロボット

予習内容：医療・リハビリ用ロボットの事例について調べておくこと。

予習時間：60分

復習内容：手術にロボットを用いる利点についてまとめ、インテリジェント手術室とはどういうものであるか整理して理解すること。

復習時間：90分

- (1) 医療分野へのロボット進出
- (2) 訓練支援（患者ロボット）
- (3) 検査・手術計画支援
- (4) 手術ロボット

(5) リハビリロボット

第15回 各回の課題のまとめ

予習内容：各回の課題について見直し、疑問点を整理しておくこと

予習時間：60分

復習内容：日本の少子高齢化問題、労働力不足などの社会動向と関連付けてロボットの需要、利用分野を整理してまとめること

復習時間：150分

- (1) 各回の課題と解答例の説明
- (2) 定期試験についての注意事項の説明
- (3) 成績評価方法の確認

定期試験

1～14回の内容、課題、練習問題から出題するのでよく復習すること（資料持ち込み不可）。計算問題も含まれるが、筆算可能な程度とするので電卓は不要。

■ホームページ

科目名 :	住環境科学概論				
英文名 :	Introduction to Living Environmental Science				
担当者 :	藤田 浩司				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

豊かな人間生活の実現のためには生活の豊かさを実現できる住環境の構築が重要となる。本講義では、人間と自然環境の関係、快適な住まいづくりのための環境要因である生活空間の温熱、空気、光、音と人との関わり、快適な住まい環境を実現するための設備、高齢者に対応するための環境要因についての概要を学ぶ。さらに、地球環境保全の立場から生活環境を捉え、住まいにおける環境負荷の低減や環境共生住宅についての基礎知識も学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

快適な生活環境の実現に影響する因子として、人と熱水分（健康、快適性）、人と空気（汚染物質、健康、換気）、人と光（日照、日射、照明、色彩）、人と音（音特性、聴覚、遮音、吸音）、人と環境共生の関係が理解できるようになる。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%
 確認テスト 40%
 レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

単元毎に実施する確認テストの後に解答例を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784395280452 『住まいの環境 (図解住居学)』 (彰国社 : 2011)

■ 参考文献

[ISBN]9784765525633 『健康に暮らすための住まいと住まい方エビデンス集』 (健康維持増進住宅研究委員会, 技報堂出版 : 2013)

■ 関連科目

「熱・設備工学」、「温熱・空気環境学」、「振動と音響の科学」、「建築と照明」

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤田研究室 (東1号館2階201) : fujita@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 地球の環境とエネルギー

予習内容 : 地球環境問題について調べる
 予習時間 : 60分

第2回 地球と人間

復習内容 : 講義内容を踏まえて地球における人類の持続可能性について考える
 復習時間 : 60分

第3回 温熱環境と健康

復習内容 : 講義内容を踏まえて温熱環境と健康との関係について考える

復習時間：60分

第4回 温熱環境と快適性

予習内容：人体の熱平衡式について予習する

予習時間：30分

復習内容：人体の熱平衡式について復習する

復習時間：60分

第5回 熱環境計画(1)

予習内容：温熱感覚に影響を及ぼす要素について考えてくる

予習時間：30分

復習内容：熱環境の評価指標について復習する

復習時間：60分

第6回 熱環境計画(2)

復習内容：熱移動の3形態、熱貫流について復習する

復習時間：60分

第7回 水分環境計画(1)

復習内容：断熱材の効果について復習する

復習時間：30分

第8回 水分環境計画(2)

復習内容：結露の発生メカニズム、空気線図について復習する

復習時間：60分

第9回 空気環境と健康

復習内容：講義内容を踏まえて空気環境と健康との関係について考える

復習時間：60分

第10回 換気計画

予習内容：日常の暮らしのなかで温度差によって生じる空気の流れについて考える

予習時間：30分

復習内容：重力換気、必要換気量について復習する

復習時間：60分

第11回 光環境（光の性質）

復習内容：光の性質について復習する

復習時間：60分

第12回 光環境（照明、色彩）

復習内容：照明、色彩について復習する

復習時間：60分

第13回 音環境（音の性質）

復習内容：音の性質について復習する

復習時間：60分

第14回 音環境（騒音、遮音、吸音）

復習内容：騒音、遮音、吸音について復習する

復習時間：60分

第15回 住環境の改修と評価

復習内容：住環境の改修と評価について復習し、これからの住宅のあり方について考える

復習時間：60分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	プロダクトデザイン				
英文名 :	Product Design				
担当者 :	藤田 浩司・山田 崇史				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

プロダクトデザインとは、人間生活に求められるモノを、使用者と使用環境の視点から構想し、産業という手段を通して具現化する活動である。プロダクトデザインが対象とする商品の多くは工業生産された商品であり、生活をより豊かにするために絶え間ない革新が求められている。本講義では、プロダクトデザインの意義とデザインのプロセス、方法について学ぶ。

■ 学習・教育目標及び到達目標

モノづくりにおける、デザインマネジメント、デザインプロセス、ユーザ調査・コンセプト・視覚化・デザイン評価のための手法、マーケティングが理解できるようになる。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

確認テスト 60%

レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業の中で、レポートの講評と要点の解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784862670632 『プロダクトデザイン 商品開発に関わるすべての人へ』(JIDA「プロダクトデザイン」編集委員会, ワークスコーポレーション: 2009)

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

設計製図

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤田研究室 (東1号館2階201) ・ fujita@waka.kindai.ac.jp

山田研究室 (西1号館2階254西) ・ yamada@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 2 限 (藤田 (代表教員) のオフィスアワー)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 プロダクトデザインの背景

予習内容: テキストの「プロダクトデザインの背景」の章を読んでおく

予習時間: 60分

復習内容: プロダクトデザインの背景のポイントを確認する

復習時間: 30分

第2回 社会とプロダクトデザイン

予習内容: テキストの「社会とプロダクトデザイン」の章を読んでおく

予習時間: 60分

復習内容: 社会とプロダクトデザインのポイントを確認する

復習時間: 30分

第3回 企業とプロダクトデザイン、デザインマネジメント

予習内容：テキストの「企業とプロダクトデザイン」「デザインマネジメント」の章を読んでおく

予習時間：60分

復習内容：企業とプロダクトデザイン、デザインマネジメントのポイントを確認する

復習時間：30分

第4回 デザインプロセス、ユーザ調査のための手法

予習内容：テキストの「デザインプロセス」「ユーザ調査のための手法」の章を読んでおく

予習時間：60分

復習内容：デザインプロセス、ユーザ調査のための手法のポイントを確認する

復習時間：30分

第5回 コンセプトのための手法

予習内容：テキストの「コンセプトのための手法」の章を読んでおく

予習時間：60分

復習内容：コンセプトのための手法のポイントを確認する

復習時間：30分

第6回 視覚化のための手法

予習内容：テキストの「視覚化のための手法」の章を読んでおく

予習時間：60分

復習内容：視覚化のための手法のポイントを確認する

復習時間：30分

第7回 デザイン評価のための手法

予習内容：テキストの「デザイン評価のための手法」の章を読んでおく

予習時間：60分

復習内容：デザイン評価のための手法のポイントを確認する

復習時間：30分

第8回 科学とデザイン、マーケティングとデザイン

予習内容：テキストの「科学とデザイン」「マーケティングとデザイン」の章を読んでおく

予習時間：60分

復習内容：科学とデザイン、マーケティングとデザインのポイントを確認する

復習時間：30分

第9回 プロダクトの企画書、課題説明

予習内容：プロダクトの企画書について調べる

予習時間：30分

復習内容：プロダクトの企画書、課題について考える

復習時間：60分

第10回 デザインの発想・検討

予習内容：デザインの発想・検討方法について調べる

予習時間：30分

復習内容：デザインの発想・検討に基づき、課題について考える

復習時間：60分

第11回 デザインの評価

予習内容：デザインの評価について調べる

予習時間：30分

復習内容：デザインの評価に基づき、課題について考える

復習時間：60分

第12回 製作プロセス(1)

予習内容：製作プロセス(1)について調べる

予習時間：30分

復習内容：製作プロセス(1)に基づき、課題について考える

復習時間：60分

第13回 製作プロセス(2)

予習内容：製作プロセス(2)について調べる

予習時間：30分

復習内容：製作プロセス(2)に基づき、課題について考える
復習時間：60分

第14回 製作プロセス(3)

予習内容：製作プロセス(3)について調べる

予習時間：30分

復習内容：製作プロセス(3)に基づき、課題について考える

復習時間：60分

第15回 製作プロセス(4)

予習内容：製作プロセス(4)について調べる

予習時間：30分

復習内容：製作プロセス(4)に基づき、課題について考える

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	設計製図						
英文名 :	Drafting and Design						
担当者 :	山田 崇史						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目						
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。						

■ 授業概要・方法等

住宅・建築物をはじめ、生活関連機器、住環境関連器具・用品の開発設計や配置設計等には、それらの立体形状とその空間位置を正確に表現する能力が求められる。本講の前半では、各種の製図法および製図規格を学び、イメージを具象化して伝達するための基礎的技術の修得を目指す。後半は、住宅（木造）を対象として正しい図面の作成方法と住宅の計画を学び、住環境に係る設計者として必要な能力を養う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 図面を書く上で必要となる製図法について理解を深める。
 2. 製図法に基づき、モノを正確に図面に表現することができる。
 3. 住宅の計画について、必要な知識を身につける。
 4. 住宅の計画を図面で表現することができる。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3、4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

確認テスト 50%
演習課題 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

講義の中で解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784274221187 『JISにもとづく 標準製図法(第14全訂版)』(大西 清、オーム社：2017)
[ISBN]9784274211164 『わかりやすい図学と製図』(住野 和男、オーム社：2011)

■ 参考文献

適宜、講義の中で紹介します。

■ 関連科目

プロダクトデザイン、設計製図演習、ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ～Ⅲ、3次元CADプロダクトデザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

建築・都市・人の流れ研究実験室(1号館2階254西)
yamada@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金曜5限
事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 製図法：製図について、図面の構成について

予習内容：製図とは何かを調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、製図、図面の構成について理解を深める。

復習時間：60分

第2回 製図法：図法幾何学と投影法、図形の表し方

予習内容：図法幾何学と投影法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、図法幾何学と投影法について理解を深める。

復習時間：60分

第3回 製図法：寸法記入

予習内容：寸法記入について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、寸法記入について理解を深める。

復習時間：60分

第4回 製図法：投影法（1）

予習内容：投影法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、投影法について理解を深める。

復習時間：60分

第5回 製図法：投影法（2）

予習内容：投影法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、投影法について理解を深める。

復習時間：60分

第6回 製図法：三面図

予習内容：三面図について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、三面図について理解を深める。

復習時間：60分

第7回 製図法：住宅設備機器のトレース

予習内容：住宅設備機器について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、住宅設備機器について理解を深める。

復習時間：60分

第8回 住宅の計画：住宅課題の説明、日本の住宅におけるプランの変遷

予習内容：住宅のプランについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、住宅のプランについて理解を深める。

復習時間：60分

第9回 住宅の計画：すまいの寸法、住宅図面のトレース

予習内容：すまいの寸法、住宅図面について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、すまいの寸法、住宅図面について理解を深める。

復習時間：60分

第10回 住宅の計画：プランニングの方法－動線計画・各室計画・外構計画

予習内容：動線計画・各室計画・外構計画について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、動線計画・各室計画・外構計画について理解を深める。

復習時間：60分

第11回 住宅の計画：構造計画・設備計画

予習内容：構造計画・設備計画について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、構造計画・設備計画について理解を深める。

復習時間：60分

第12回 住宅の計画：建築模型の制作方法

課題の中間提出

予習内容：建築模型の制作方法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、建築模型の制作方法について理解を深める。

復習時間：60分

第13回 住宅の計画：プレゼンテーションの方法

予習内容：プレゼンテーションの方法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、プレゼンテーションの方法について理解を深める。

復習時間：60分

第14回 住宅の計画：バリアフリーとユニバーサルデザイン

予習内容：バリアフリーとユニバーサルデザインについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解を深める。

復習時間：60分

第15回 住宅の計画：講評会（提出物の評価・改善）

予習内容：提出物の改善点について考える。

予習時間：30分

復習内容：講義資料を読み返し、提出物の評価・改善点について理解を深める。

復習時間：60分

■ホームページ

科目名 :	熱・設備工学				
英文名 :	Thermal and Equipment Engineering				
担当者 :	藤田 浩司				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

太陽の熱が地球に届き、その熱が窓や壁を通じて部屋に入ってくる。パソコンの内部ではファンによって部品の高温化を防いでいる。このように私たちの周りでは常に熱の移動が生じており、温熱環境の形成や機器の設計に熱移動に関する知識が必要となる。本講では、熱移動の3形態（伝導、対流、放射）それぞれについて移動メカニズムを学習する。さらに、熱力学の基本法則と空調設備のメカニズムについて学習する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・熱移動の3形態が理解でき、その移動量の計算ができるようになる。
 - ・熱力学の基本法則と空調設備のメカニズムについて理解できるようになる。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
確認テスト 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

単元毎に実施する確認テストの後に解答例を配布します。

■ 教科書

特になし

■ 参考文献

- [ISBN]9784254268638 『エース建築環境工学〈2〉熱・湿気・換気 (エース建築工学シリーズ)』 (鉾井 修一, 朝倉書店: 2002)
- [ISBN]9784774134642 『熱工学がわかる (First Book)』 (長谷川 大和, 技術評論社: 2008)
- [ISBN]9784274215957 『絵ときでわかる 熱工学(第2版)』 (安達 勝之, オーム社: 2014)

■ 関連科目

「住環境科学概論」、「温熱・空気環境学」、「材料機能学」に関連します。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤田研究室 (東1号館2階201) : fujita@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 暮らしの中の熱

予習内容: 暮らしの中での熱移動について考える
予習時間: 30分

第2回 熱伝導と熱伝達

復習内容: 熱伝導の式、対流熱伝達の式について確認する
復習時間: 30分

第3回 壁体の熱貫流

復習内容：熱貫流率を表す式の導出について確認する
復習時間：60分

第4回 壁体の非定常熱伝導

復習内容：非定常熱伝導方程式の導出について確認する
復習時間：60分

第5回 壁体表面からの放射熱放散

復習内容：完全黒体、灰色体、立体角、立体角放射率について確認する
復習時間：60分

第6回 壁体表面間の直接放射と相互放射

復習内容：直接放射を表す式、放射の相反則について確認する
復習時間：60分

第7回 壁体表面の放射熱伝達

復習内容：様々な条件における相互放射を計算できるようになる
復習時間：60分

第8回 対流熱伝達（1）

復習内容：層流・乱流、自然対流・強制対流、局所熱伝達率・平均熱伝達率について確認する
復習時間：60分

第9回 対流熱伝達（2）

復習内容：講義で示した無次元数が表す内容について確認する
復習時間：60分

第10回 理想気体の状態方程式

復習内容：理想気体の状態方程式について確認する
復習時間：30分

第11回 熱力学の第一法則

復習内容：熱力学の第一法則について確認する
復習時間：60分

第12回 理想気体の状態変化

復習内容：理想気体の状態変化について確認する
復習時間：60分

第13回 熱力学の第二法則

復習内容：熱力学の第二法則について確認する
復習時間：60分

第14回 空調設備(1)

復習内容：ヒートポンプについて確認する
復習時間：60分

第15回 空調設備(2)

復習内容：空調設備の仕組みについて確認する
復習時間：60分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	温熱・空気環境学				
英文名 :	Thermal Environment and Indoor Air Quality				
担当者 :	藤田 浩司				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

科学技術の進展により、人間にとって「熱的・快適な状態」に維持・制御できる環境作りへの要求が高まっている。本講では、人間の熱的快適性を物理的に説明し、人間を取り巻く環境における熱・水分・空気の移動メカニズムと、それによって形成される室内環境について学習する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

熱・水分・空気の移動現象を理解し、それらを駆使して健康・快適な室内環境を設計できる能力の修得を目標とする。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
確認テスト 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

単元毎に実施する確認テストの後に解答例を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784254268638 『エース建築環境工学〈2〉熱・湿気・換気 (エース建築工学シリーズ)』 (鉾井 修一, 朝倉書店: 2002)

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

住環境科学概論、熱・設備工学、流れ学、材料機能学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤田研究室 (東1号館2階201) ・ fujita@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 温熱環境と健康・快適性

復習内容: 温熱環境と健康・快適性との関係について考える
復習時間: 30分

第2回 人体の熱収支(1)

復習内容: エネルギー代謝について確認する
復習時間: 30分

第3回 人体の熱収支(2)

復習内容: 人体の熱収支について確認する
復習時間: 30分

第4回 人体の体温調節機構

復習内容: 人体からの各放散熱、人体の体温調節機構について確認する

復習時間：60分

第5回 体感温度指標

復習内容：各体感温度指標について確認する

復習時間：60分

第6回 室温計算法(1)

復習内容：定常状態の室のエネルギー収支について確認する

復習時間：60分

第7回 室温計算法(2)

復習内容：定常状態の室温、熱負荷の計算方法について確認する

復習時間：60分

第8回 結露防止法

復習内容：結露防止の方法を考える

復習時間：30分

第9回 室内空気質の時間変化

復習内容：室内の汚染物質濃度変化を表す式の導出方法を確認する

復習時間：60分

第10回 開口の空気流動特性

復習内容：開口部流量を表す式の導出について確認する

復習時間：60分

第11回 流量係数の合成

復習内容：直列開口、並列開口それぞれの流量係数の合成方法について確認する

復習時間：60分

第12回 気密測定

復習内容：住宅の気密測定の方法について確認する

復習時間：30分

第13回 重力換気

復習内容：静止外気圧基準の圧力差の表現方法について確認する

復習時間：60分

第14回 風力換気

復習内容：風力換気の表現方法について確認する

復習時間：30分

第15回 換気量の計算

復習内容：内外温度差、質量収支、圧力収支を考慮した換気量の計算方法について確認する

復習時間：120分

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	振動と音響の科学				
英文名 :	Science of Vibrations and Acoustics				
担当者 :	西垣 勉				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

振動・騒音の発生や音環境は製品の性能や人間の生活環境に大きな影響を及ぼしており、快適性、高性能化のための振動や音響特性への要求もますます高まってきている。本講ではまず、生活の中の振動現象について整理することから始め、振動現象の表現方法や評価方法について基本的振動系モデルを用いて学修することで、実際の機械設計や振動現象の理解に必要な振動解析の基礎知識を修得する。また、音と人、聴覚・音声・音楽や騒音の分析法など生活と音の関わりについても学修する。以上の講義により、生活の中の現象を動力的観点から捉える方法を修得する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 身近な現象や製品などから振動、音響に関する事象を取りあげて考察できるようになること。
2. 振動・音響に関する事象の科学的・工学的観点からの分析方法や解析方法の基礎を習得し、環境科学としての定量的な評価をし得る能力を習得すること。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
小テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業中課題については、翌回以降の授業時間に答案を返却し、要点を解説します。

試験については、試験期間終了後に試験の要点と講評をUNIVRESAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

指定しない。適宜プリントを配付する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784627666825 『振動工学の基礎』(岩壺 卓三(編著), 森北出版: 2014)
 [ISBN]9784764903302 『新音響・音声学』(古井 貞熙, 近代科学社: 2006)
 [ISBN]9784061539723 『基礎音響学—振動・波動・音波』(吉川 茂, 講談社: 2002)

■ 関連科目

住環境科学概論、微分積分学、応用解析学 I

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

西垣研究室 (西1号館3階352) ・ nisigaki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜 5限
事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 音響学・振動学の歴史：建築・環境音響学、構造力学の概要

予習内容：音響学・振動学のなりたち、建築・環境音響学について調べる

予習時間：30分

復習内容：振動・音響と住環境について授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 建築構造、室内環境における身近な振動・音響現象

予習内容：特に建築構造や室内環境における振動・音響現象について調べてくる

予習時間：30分

復習内容：振動・音響現象についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

- ・身近な振動・音響現象について、例題からその特徴や問題点を学ぶ。
- ・現象の分析のためにや理工学的分析が必須であることを理解する。

第3回 音波の基本的性質

予習内容：音波の基本的性質について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：音波の基本的性質についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第4回 音波と音圧、音圧レベル、騒音レベル、残響

予習内容：音圧、音圧レベル、騒音レベルについて予習してくる

予習時間：30分

復習内容：音圧レベル、騒音レベルについての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第5回 聴覚と音声

予習内容：聴覚と音声について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：聴覚と音声についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第6回 波動とはなにか、波動方程式と定在波、室内音響との関連性

予習内容：波動方程式と定在波について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：波動方程式と定在波についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第7回 機械・構造振動系：単振動

予習内容：機械構造振動系の表現方法としての単振動について調べてくる

予習時間：30分

復習内容：単振動についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第8回 機械・構造振動系：1自由度系の自由振動

予習内容：1自由度系の自由振動について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：1自由度系の自由振動についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第9回 機械・構造振動系：1自由度系の強制振動

予習内容：1自由度系の強制振動について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：1自由度系の強制振動についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第10回 連続体構造物の振動：弦、棒の振動

予習内容：弦の振動表し方について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：弦や棒の振動についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第11回 連続体構造物の振動：はり、膜の振動

予習内容：はりの振動の表し方について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：はりの振動についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第12回 音・振動のスペクトルとフーリエ変換

予習内容：周波数スペクトルについて予習してくる

予習時間：30分

復習内容：周波数スペクトルについての授業中課題を復習する
復習時間：60分

第13回 室内音響における吸音、遮音

予習内容：吸音や遮音について予習してくる

予習時間：30分

復習内容：吸音や遮音についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第14回 建築・環境騒音の分析法

予習内容：騒音の分析法について調べてくる

予習時間：30分

復習内容：騒音の分析法についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

第15回 振動と音響の制御、室内音環境のアクティブ制御

予習内容：アクティブ制御の例としてノイズキャンセリングなどについて調べてくる

予習時間：30分

復習内容：音環境のアクティブ制御についての授業中課題を復習する

復習時間：60分

定期試験

音波の性質、音圧レベルの評価方法、単振動と波動、1自由度振動系の自由振動および強制振動、連続体の振動等について学んだ内容をもとに、初見の問題について、学んだ基礎概念や解法のいずれかを正しく適用して振動・音響工学の基礎問題についての問いに答えることができるかを記述式試験により問う。

■ ホームページ

科目名 :	建築法規				
英文名 :	Building Law				
担当者 :	山田 崇史				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

私たちの生活環境は、様々な法令によって定められたルールによって成立しており、建築物においても建築基準法をはじめ、様々な建築関連法規に基づいて成立している。本講義では、建築基準法の単体規定、集団規定、その他の関連法規について解説を行い、建築を設計する上で必要となる知識を身につける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 建築基準法の用語、文章表現を理解する。
 2. 建築設計において法規がどのように関わることかを学ぶ。
 3. 建築設計に必要な諸量を計算することができる。
 4. 建築関連法規の知識を得る。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

確認テスト 40%
定期試験 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784870711488 『超入門 建築法規—イラスト解説による』(永井 孝保、市ヶ谷出版社：2016)

■ 参考文献

■ 関連科目

環境計画学、建築施工

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

建築・都市・人の流れ研究実験室(1号館2階254西)
yamada@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金曜5限
事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、建築基準法の基礎 (1)

予習内容：建築基準法について調べる。
予習時間：30分
復習内容：講義内容を踏まえ、建築基準法について理解を深める。
復習時間：60分

第2回 建築基準法の基礎 (2)

予習内容：建築基準法について調べる。
予習時間：30分
復習内容：講義内容を踏まえ、建築基準法について理解を深める。

復習時間：60分

第3回 建築基準法の基礎（3）

予習内容：建築基準法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、建築基準法について理解を深める。

復習時間：60分

第4回 構造耐力に関する法

予習内容：構造耐力に関する法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、構造耐力に関する法について理解を深める。

復習時間：60分

第5回 防火に関する法

予習内容：防火に関する法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、防火に関する法について理解を深める。

復習時間：60分

第6回 室内環境に関する法（1）

予習内容：室内環境に関する法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、室内環境に関する法について理解を深める。

復習時間：60分

第7回 室内環境に関する法（2）

予習内容：室内環境に関する法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、室内環境に関する法について理解を深める。

復習時間：60分

第8回 室内環境に関する法（3）

予習内容：室内環境に関する法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、室内環境に関する法について理解を深める。

復習時間：60分

第9回 避難に関する法（1）

予習内容：避難に関する法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、避難に関する法について理解を深める。

復習時間：60分

第10回 避難に関する法（2）

予習内容：避難に関する法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、避難に関する法について理解を深める。

復習時間：60分

第11回 敷地条件から受ける法（1）

予習内容：敷地条件から受ける法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、敷地条件から受ける法について理解を深める。

復習時間：60分

第12回 敷地条件から受ける法（2）

予習内容：敷地条件から受ける法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、敷地条件から受ける法について理解を深める。

復習時間：60分

第13回 敷地条件から受ける法（3）

予習内容：敷地条件から受ける法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、敷地条件から受ける法について理解を深める。

復習時間：60分

第14回 その他の関連法規

予習内容：その他の関連法規について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、その他の関連法規について理解を深める。

復習時間：60分

第15回 法規チェックの実際

予習内容：法規チェックの実際について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、法規チェックの実際について理解を深める。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	建築施工				
英文名 :	Construction Management for Building				
担当者 :	山田 崇史				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

建築施工は、設計図書に基づいて建築物を生産することである。建築物を生産する各工程では、法令や基準が定められており、その内容に沿って工事が進められることが必要不可欠である。本講義では、建築生産の基本概念と着工までのあらまし、躯体工事、仕上工事について講義し、建築施工について理解を深める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 工事を開始するまでの諸手続きについて理解する。
 2. 躯体工事の種類、基準などを理解する。
 3. 各種仕上工事・設備工事の種類、手順および特徴を理解する。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

確認テスト 40%
定期試験 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784870710214 『建築施工 (初学者の建築講座)』 (中澤 明夫、市ヶ谷出版社 : 2016)

■ 参考文献

■ 関連科目

環境計画学、建築法規

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

建築・都市・人の流れ研究実験室(1号館2階254西)
yamada@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金曜5限
事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、建築生産 (設計と施工)

予習内容 : 建築生産について調べる。
予習時間 : 30分
復習内容 : 講義内容を踏まえ、建築生産について理解を深める。
復習時間 : 60分

第2回 施工者を選定し、工事請負契約を結ぶ

予習内容 : 工事請負契約について調べる。
予習時間 : 30分
復習内容 : 講義内容を踏まえ、工事請負契約について理解を深める。
復習時間 : 60分

第3回 工事に着手する (1)

予習内容：着工について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、着工について理解を深める。

復習時間：60分

第4回 工事に着手する (2)

予習内容：着工について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、着工について理解を深める。

復習時間：60分

第5回 仮設工事・準備工事

予習内容：仮設工事・準備工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、仮設工事・準備工事について理解を深める。

復習時間：60分

第6回 土工事、地業・基礎工事

予習内容：土工事、地業・基礎工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、土工事、地業・基礎工事について理解を深める。

復習時間：60分

第7回 鉄筋コンクリート工事 (1)

予習内容：鉄筋コンクリート工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、鉄筋コンクリート工事について理解を深める。

復習時間：60分

第8回 鉄筋コンクリート工事 (2)

予習内容：鉄筋コンクリート工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、鉄筋コンクリート工事について理解を深める。

復習時間：60分

第9回 鉄骨工事 (1)

予習内容：鉄骨工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、鉄骨工事について理解を深める。

復習時間：60分

第10回 鉄骨工事 (2)

予習内容：鉄骨工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、鉄骨工事について理解を深める。

復習時間：60分

第11回 屋根・防水工事

予習内容：屋根・防水工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、屋根・防水工事について理解を深める。

復習時間：60分

第12回 仕上工事 (1)

予習内容：仕上工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、仕上工事について理解を深める。

復習時間：60分

第13回 仕上工事 (2)

予習内容：仕上工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、仕上工事について理解を深める。

復習時間：60分

第14回 設備工事

予習内容：設備工事について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、設備工事について理解を深める。

復習時間：60分

第15回 完成・引渡し・アフターケア

予習内容：完成・引渡し・アフターケアについて調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義内容を踏まえ、完成・引渡し・アフターケアについて理解を深める。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

科目名 :	ユニバーサルデザイン概論				
英文名 :	Introduction to Universal Design				
担当者 :	北山 一郎・廣川 敬康				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

私たちが暮らす社会には、高齢者や子供、障がい者などを含め多様な特性を持った人々が生活している。本講では、福祉工学とユニバーサルデザインの基本的な考え方と手法について概説する。福祉工学は、高齢者や障がい者が感じる不自由さを解消できるように、特性に応じた支援を行うための工学技術である。また、ユニバーサルデザインは、高齢者や障がい者だけでなく、一般の人々も含めた誰もが使いやすい製品を設計することである。

■ 学習・教育目標及び到達目標

現代社会には、年齢や性別、体格などの特性が様々に異なる人々が暮らしており、これらの人々の多様な特性を考慮して製品設計を行う必要があることを理解すること。各種の福祉機器やユニバーサルデザイン製品の開発状況を踏まえ、福祉工学やユニバーサルデザインを具現化するための方法を理解すること。本科目は、学科ディプロマポリシーの“2. 思考・判断”、“4. 知識・理解”に関する基礎能力向上に関わる講義である。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%

レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に前回の課題の解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784819028196 『増補版人間工学とユニバーサルデザイン新潮流: 実践ヒューマンセンタードesignのものづくりマニュアル』(日本工業出版: 2017)

■ 参考文献

[ISBN]9784526073427 『トコトンやさしいユニバーサルデザインの本(第2版)(今日からモノ知りシリーズ)』(宮入賢一郎, 日刊工業新聞社: 2014)

[ISBN]9784251093912 『ユニバーサルデザイン—みんなの暮らしを便利に〈1〉ユニバーサルデザインってなに?』(成松 一郎, あかね書房: 2006)

[ISBN]9784251093929 『ユニバーサルデザイン—みんなの暮らしを便利に〈2〉暮らしの中のユニバーサルデザイン』(星野 恭子, あかね書房: 2006)

[ISBN]9784251093936 『ユニバーサルデザイン—みんなの暮らしを便利に〈3〉まちのユニバーサルデザイン』(中和 正彦, あかね書房: 2006)

■ 関連科目

生体機能・解剖学、生理学、福祉情報デザイン、人間工学、ユニバーサルデザイン、福祉機器デザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

北山研究室 (西1号館1階152) ・ kitayama[at]waka.kindai.ac.jp [at]は半角の@に変更してください

廣川研究室 (西1号館2階258) ・ hirokawa[at]waka.kindai.ac.jp [at]は半角の@に変更してください

■ オフィスアワー

北山一郎 火曜3限 廣川敬康 金曜2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 社会の人々の多様性 (老若男女、障がい者、病人・けが人、外国人など)

予習内容：バリアを受けやすい人について調べる。

予習時間：60分

復習内容：人々の多様性について理解・学修する。ユニバーサルデザイン7原則の1を憶える。

復習時間：60分

講義概要を説明する。人々の多様性やバリアを受けやすい人について学ぶ。

第2回 人間の身体特性

予習内容：加齢に伴う能力の変化を調べる。

予習時間：60分

復習内容：高齢者等の機能と設計のポイントを復習する。ユニバーサルデザイン7原則の2を憶える。

復習時間：60分

加齢に伴う能力の変化と高齢者等に対する設計のポイントを学ぶ。

第3回 高齢者・子供・障がい者の特性

予習内容：障がい者について予習する。

予習時間：60分

復習内容：特に、子供・障がい者の特性とアフォーダンスを憶える。ユニバーサルデザイン7原則の3を憶える。

復習時間：60分

高齢者・子供・障がい者の特性を学ぶ。なお、アフォーダンスについても学修する。

第4回 バリアフリー

予習内容：バリアフリーに係る設備を調べる。

予習時間：60分

復習内容：バリアを解消する各種設備・機器を理解する。ユニバーサルデザイン7原則の4を憶える。

復習時間：60分

バリアを解消する各種設備・機器について学ぶ。

第5回 福祉工学（高齢者・子供・障がい者に対する福祉機器・支援技術）Ⅰ

予習内容：補装具、日常生活用具とはなにかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：福祉工学の目的、それに係る用具等を理解する。ユニバーサルデザイン7原則の5を憶える。

復習時間：60分

福祉工学に係る機器とその目的、特徴等について学修する。

第6回 福祉工学（高齢者・子供・障がい者に対する福祉機器・支援技術）Ⅱ

予習内容：福祉機器にはどのようなものがあるかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：福祉工学に係る設備・機器を理解する。ユニバーサルデザイン7原則の6を憶える。

復習時間：60分

福祉工学に係る機器とその目的、特徴等についてさらに深く学修する。

第7回 福祉情報デザイン

予習内容：福祉情報デザインのシラバスを調べる。

予習時間：60分

復習内容：福祉情報デザインのポイントを理解する。ユニバーサルデザイン7原則の7を憶える。

復習時間：60分

福祉情報デザイン（2年の講義）の概要を学修する。

第8回 福祉機器デザイン

予習内容：福祉機器デザインのシラバスを調べる。

予習時間：60分

復習内容：福祉機器デザインのポイントを理解する。ユニバーサルデザイン7原則を再度憶えなおす。

復習時間：60分

福祉機器デザイン（3年の講義）の概要を学修する。

第9回 人間工学とユニバーサルデザイン（1）

予習内容：第1回～第8回の授業内容を復習する。

予習時間：60分

復習内容：身のまわりの使いやすい製品・使いにくい製品について調査する。

復習時間：60分

人間工学とユニバーサルデザインの関連、ユニバーサルデザイン科目群の学習内容について学ぶ。

第10回 人間工学とユニバーサルデザイン（2）

予習内容：教科書の該当範囲を熟読し、自分でよく検討する。

予習時間：60分

復習内容：人体の仕組みと特性について調査する。

復習時間：60分

人の特性とそれに基づいて使いやすい製品を設計する観点から、人間工学について深く学ぶ。

第11回 ヒューマン・マシン・インタフェース

予習内容：身の回りの製品を使う際の手順を考える。

予習時間：60分

復習内容：身のまわりの製品を使う際の手順を考え、使いやすくするための方法について検討する。

復習時間：60分

ヒューマン・マシン・インタフェース（人が製品を使用する際の関わり）と、製品使用時に使いやすさや使いにくさを感じる理由について学ぶ。

第12回 人々の多様な特性とユニバーサルデザイン

予習内容：第1回「社会の人々の多様性」の授業内容を復習する。

予習時間：60分

復習内容：新聞等の各種メディアを通して、社会を構成する人々の多様性と社会の課題について調査する。

復習時間：60分

社会を構成する人々の多様性と社会の課題について学ぶ。

第13回 ユニバーサルデザイン（1）

予習内容：ヒューマン・マシン・インタフェース（第11回）、人々の多様な特性とユニバーサルデザイン（第12回）について復習する。

予習時間：60分

復習内容：ユニバーサルデザインの7原則に関連する製品について調査する。

復習時間：60分

多様な人々が暮らす社会における課題に基づき、ユニバーサルデザインの必要性について学ぶ。

第14回 ユニバーサルデザイン（2）

予習内容：私たちの身の回りにある使いやすい製品を調査する。

予習時間：60分

復習内容：ユニバーサルデザインの7原則に関連する製品について調査する。

復習時間：60分

ユニバーサルデザインの7原則について、具体的な製品を例に取り上げて学ぶ。

第15回 ユニバーサルデザインのための力学：力、モーメント、仕事、重心

予習内容：1年前期の物理学・基礎物理学の授業内容を復習する。

予習時間：60分

復習内容：15回の授業内容の総まとめを行う。

復習時間：90分

ユニバーサルデザインに関連が深い力学の概念（力、モーメント、仕事、重心）を学ぶ。

定期試験

■ ホームページ

科目名 :	福祉情報デザイン				
英文名 :	Design of Electronic and Information Technology Based Assistive Technology				
担当者 :	北山 一郎				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

感覚障害やコミュニケーションに係る障害の支援において、情報工学・メカトロニクスを基盤とする生活支援技術は必要不可欠であり、状況に応じた機器のデザインに取り組める人材が求められている。本講では、情報工学・メカトロニクスで支援する福祉技術について、現状と問題点を理解するとともに支援機器設計に関する基礎事項を学ぶ。さらに、障がい者の自立をサポートするため、コンピュータによる支援技術と補助機材をその障害に応じて結びつける技術・手法を習得する。なお、講義では支援機器の羅列ではなく、それらの設計の基本となる事項（フローチャート、アルゴリズム、センサ、AD変換器等）についてできる限り詳しく説明する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

情報格差を受ける可能性が高い人々の現状および格差を解消する支援機器を知ることで、情報のユニバーサル化に必要な項目、要素の理解を深めること。現状の主な支援機器の目的と仕組みを理解すること。特に、機器の使い方や機能のみならず、設計の基本となる事項への理解を深めること、さらに、ワークショップにおいては、新たな支援機器のアイデアを生み出すとともに、課題をまとめ、それらをプレゼンテーションする能力を高めることを教育の目標とする。同講は、学科ディプロマポリシーの“1. 関心・意欲・態度”の人間支援ロボットおよびそれらの分野における技術課題の発掘と“4. 知識・理解”の人間工学の基板技術、ユニバーサルデザインによる創造力の獲得に関連する講義である。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 75%
 授業中課題（ミニツツペーパー） 15%
 グループ単位のプレゼンテーション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に前回の課題の解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784844607670 『福祉工学』（依田 光正, 理工図書：2011）

■ 参考文献

参考資料を適宜配付する。

■ 関連科目

ユニバーサルデザイン概論、生理学、人間工学、福祉機器デザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

北山研究室（西1号館1階152）・kitayama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 福祉と福祉工学

予習内容：福祉六法の概要を調べる。

予習時間：20分

復習内容：福祉工学の対象者および福祉六法の基礎事項を理解する。

復習時間：40分

福祉工学の対象者およびそれらを支援する法律の基礎を学ぶ。

第2回 人間の計測技術

予習内容：いくつかの代表的な生体計測法を調べる。

予習時間：20分

復習内容：ホメオスタシス、さらに心電図・筋電図などの生理機能計測について理解する。

復習時間：40分

ホメオスタシスについて学び、さらに心電図・筋電図などの生理機能計測について学修する。

第3回 生理機能の計測技術

予習内容：呼吸器計測を調べる。

予習時間：20分

復習内容：呼吸器計測および換気工学の基礎を理解する。

復習時間：40分

呼吸器計測および換気工学の基礎を学ぶ。

第4回 身体形状計測技術

予習内容：音波および超音波について調べる。

予習時間：20分

復習内容：身体の外形や身体内部の器官などの計測技術を理解する。

復習時間：40分

身体の外形や身体内部の器官などの計測技術を学ぶ。

第5回 運動計測

予習内容：フレキシブルゴニオメータについて調べる。

予習時間：20分

復習内容：フレキシブルゴニオメータや力覚センサなどの身体運動を計測するセンサ、システムを理解する。

復習時間：40分

フレキシブルゴニオメータや力覚センサなどの身体運動を計測するセンサ、システムを学ぶ。

第6回 福祉メカトロニクス（Ⅰ）

予習内容：メカトロニクスという用語を調べる。

予習時間：20分

復習内容：メカトロニクスとそれらの構成要素を理解する。

復習時間：40分

メカトロニクスとそれらの構成要素を学ぶ。

第7回 福祉メカトロニクス（Ⅱ）

予習内容：アルゴリズムの意味と事例を調べる。

予習時間：20分

復習内容：アクチュエーターおよびプログラミングの基礎を理解する。

復習時間：40分

メカトロニクスで重要な役割と果たすアクチュエーターおよびプログラミングの基礎を学ぶ。

第8回 障がい者と情報通信関連技術

予習内容：通信技術が障がい者に与える恩恵と課題を調べる。

予習時間：20分

復習内容：障がい者と情報関連技術の関わりに関する事項を理解する。

復習時間：40分

障がい者と情報関連技術の関わりについて学修する。

第9回 入出力支援装置

予習内容：自助具について調べる。

予習時間：20分

復習内容：障がい者用を支援する入出力装置を学ぶ。

復習時間：40分

自助具および障がい者用キーボードやスクリーンキーボードなど入出力を支援する装置を学ぶ。

第10回 視覚障害と支援機器（Ⅰ）

予習内容：目の機能を調べる。

予習時間：20分

復習内容：視覚障害、ロービジョンを理解する。

復習時間：40分

目の機能およびその能力が低下したとき状況について学修する。

第11回 視覚障害と支援機器（Ⅱ）

予習内容：視覚障がい者の支援機器について調査する。

予習時間：20分

復習内容：提出レポートを作成する。

復習時間：40分

視覚障がい者（ロービジョン者等）を支援する機器・用具について学ぶ。

第12回 ワークショップ：視覚障がい者（ロービジョン者等）の支援機器（Ⅰ）

予習内容：提出レポートを完成させる。

予習時間：100分

復習内容：ワークショップの内容を復習する。

復習時間：100分

ワークショップ：視覚障がい者（ロービジョン者等）の支援機器を実施し、プレゼンテーション資料を完成させる。

第13回 ワークショップ：視覚障がい者（ロービジョン者等）の支援機器（Ⅱ）

予習内容：プレゼンテーションの準備をする。

予習時間：30分

復習内容：プレゼンテーションの内容を復習する。

復習時間：40分

ワークショップ：視覚障がい者（ロービジョン者等）のプレゼンテーションを行う。

第14回 聴覚障害と支援機器

予習内容：蝸牛、半規管などの機能を調べる。

予習時間：20分

復習内容：耳の機能と働きおよびそれらの機能が低下した時の状況について理解する。

復習時間：40分

耳の機能と働きおよびそれらの機能が低下した時の状況について学ぶ。

第15回 高齢者支援技術

予習内容：高齢社会の現状を調べる。

予習時間：40分

復習内容：高齢社会の状況と高齢者を支援する技術を理解する。総復習をする。

復習時間：180分

高齢社会の状況と高齢者を支援する技術について学ぶ。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	人間工学				
英文名 :	Ergonomics				
担当者 :	北山 一郎				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

人間工学とは、人間と機械との整合性を探求し、それぞれの特性、特徴を生かした安全で快適な空間・システムを設計するための学問領域である。本講義では、人間の身体構造や感覚および運動機能の特徴を説明し、人間と機械との接点である表示器、操作器などマンーマシンインターフェースについて論じる。さらに、自動車、操作盤、作業用具及び環境などの実際に存在する機械、道具、環境を人間工学的に設計する際の手法と留意点について力学、心理学、生理学、運動学的概念を取り入れながら解説する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

本講義では、“人にやさしい機械・環境”を設計するために必要とされる人及び人と機械の接点に関する基本事項を解説する。特に、人間の感覚、運動機能、などの基礎事項を確実に理解するとともに、人が効率良く機械を操作するためにはどのような設計概念が必要であるかについて人間工学に関わる法則を含め理解すること。また、人間工学的な評価手法については実例での計算ができるよう確実に理解すること。同講義は、学科ディプロマポリシーの“1. 関心・意欲・態度”の人間支援ロボットに係る課題抽出と解決力の向上、“4. 知識・理解”の人間工学の基盤技術の理解及びユニバーサルデザインの設計思想と創造性の獲得に係る講義である。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 80%
授業中課題（ミニツツペーパー） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に前回の課題の解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784889221244 『エンジニアのための人間工学』（横溝 克己, 日本出版サービス：2013）

■ 参考文献

[ISBN]9784777513741 『はじめてのAHP—すぐ使える意志決定手法! Analytic Hierarchy Process (I・O biz)』（武田 正則, 工学社：2008）

■ 関連科目

人間医工学概論、生理学、福祉情報デザイン、ユニバーサルデザイン、福祉機器デザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

北山研究室（西1号館1階152）・kitayama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 人間工学とは

予習内容：人間工学について調べる。

予習時間：20分

復習内容：人間工学が説明できるように、また、機械の有すべき8要件を覚える。

復習時間：40分

人間工学の意味と重要性および優れた機械の有すべき要件について学ぶ。

第2回 人間の仕組みと空間設計

予習内容：マン-マシーンシステムを調べる。

予習時間：20分

復習内容：マン-マシーンシステムの図が画けるように学修する。身体寸法と関節可動域について基礎事項を覚える。

復習時間：60分

マン-マシーンシステムのモデル、人間の仕組みと特性の基礎を学ぶ。なお、人間の図形空間等認知の基礎でもある、心理学の“群化”の中の“近接”を理解する。”

第3回 人間の身体的特性と作業及び移動空間

予習内容：人間の仕組みと特性の概要を調べる。

予習時間：20分

復習内容：身体・生理・心理特性の基礎事項を覚える。

復習時間：40分

作業域や作業経路等の人間の身体的特性および生理・心理特性を学ぶ。なお、“群化”の中の“類同”を理解する。

第4回 人間の機能と動線計画

予習内容：Weber-Fechnerの法則を調べる。

予習時間：20分

復習内容：人間の反応や認知機能、歩行機能を理解する。

復習時間：50分

人間の受容器における反応（Weber-Fechnerの法則）や認知機能と歩動線の基本である行動作を学修する。“群化”の中の“共通運命”を理解する。

第5回 視覚特性と光環境設計

予習内容：Hickの法則を調べる。

予習時間：20分

復習内容：人間反応時間に係る法則および作業域など人間の身体的特性等を理解する。

復習時間：40分

人間反応時間に係る法則および作業域など人間の視覚など身体的特性について学ぶ。“群化”の中の“よき連続”を理解する。

第6回 視覚特性と視環境設計

予習内容：目の構造を調べ、確認する。

予習時間：20分

復習内容：目の構造、視覚の特性、基本的な視覚表示器について理解する。

復習時間：40分

目の構造および視覚の特性、さらにそれを利用した基本的な視覚表示器、視覚環境について学ぶ。“群化”の中の“良い形”を理解する。

第7回 聴覚特性と音環境設計

予習内容：聴覚表示器の事例を調べる。

予習時間：20分

復習内容：耳の構造と機能を覚える。

復習時間：40分

耳の構造と機能・特性及び表示器の特性について個々の事例を基に詳細に学修する。“群化”の中の“閉合”を理解する。

第8回 触覚特性と環境計画

予習内容：触覚表示器を調べる。

予習時間：20分

復習内容：視覚・聴覚の特性、聴覚表示器さらに触覚表示器について理解する。

復習時間：40分

視覚表示器と聴覚表示器さらには触覚表示器について学修する。“群化”の中の“客観的構え”を理解する。

第9回 マン-マシーンインターフェースと空間配置

予習内容：手や足による操作器を調べる。

予習時間：20分

復習内容：手や足の機能とそれらを用いた操作器の機能・特性を理解する。

復習時間：40分

マン-マシーンインターフェースの具体例と手や足の機能とそれらを用いた操作器・空間配置について学ぶ。“群化”の中の“プレグナンツの法則”を理解する。

第10回 人間の情報処理速度とそれに応じた装置・環境の設計

予習内容：把持の形態の種類について調べる。

予習時間：20分

復習内容：人間の処理速度、把持の形態を理解する。

復習時間：40分

人間の処理速度、把持形態、操作器の寸法等について学修する。“群化”の項目をまとめて理解する。

第11回 漏洩物と環境設計

予習内容：漏洩物を調べる。

予習時間：20分

復習内容：漏洩物の種類と人体への影響を復習する。

復習時間：40分

漏洩物の種類とそれによる人体への影響を学修する。

第12回 物理的環境と空間配置

予習内容：Fittsの法則を調べる。

予習時間：20分

復習内容：人間の情報処理時間および負担について理解する。

復習時間：40分

情報の受け取りに与える物理的環境について学修する。

第13回 ヒューマンエラーの予防に向けたデザイン

予習内容：ヒューマンエラーの実例を調べる。

予習時間：20分

復習内容：信頼性設計について復習する。

復習時間：60分

ヒューマンエラーと信頼性設計について学修する。

第14回 人間工学的評価手法の基礎

予習内容：人間工学の技法を調べる。

予習時間：20分

復習内容：人間工学の技法の種類と概要を覚える。

復習時間：40分

人間工学の技法について学修する。

第15回 人間工学的評価手法の応用及び講義のまとめ

予習内容：人間工学的技法の一つであるAHPを調べる。

予習時間：20分

復習内容：人間工学の技法の概要を理解し、AHPが使用できるようにする。

復習時間：120分

人間工学の技法の一つであるAHPについて実例を通して学修する。講義のまとめを行う。

定期試験

■ホームページ

科目名	建築と照明				
英文名	Architecture and Lighting				
担当者	片山 一郎				
開講学科	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位	2単位	開講年次	3年次	開講期	前期
科目区分	専門科目				
備 考	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

照明や色彩は、我々の生活のあらゆる場面で活用されているが、あまりに身近すぎてそれらの効果を意識することもない。しかし、照明や色彩によって空間はさまざまに表情を変化させる。本講義では、照明や色彩をうまく生かした空間を実現するために必要な基礎的事項および活用事例を解説する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

照明により、空間はさまざまに表情を変化させることを理解する。光と色に関する基礎事項および建築計画やインテリアデザインにおける照明の活用方法を理解する。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 2 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%
小テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784274102752 『光と色の環境デザイン』（オーム社：2001）

■ 参考文献

[ISBN]9784274205842 『空間デザインのための照明手法』（オーム社：2008）

■ 関連科目

カラーコーディネーションの心理学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

片山研究室(東1号館2階216)・katayama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎的事項の確認

予習内容：弧度法
予習時間：30分
復習内容：講義内容の確認
復習時間：30分
平面角、立体角について述べる。

第2回 日照

予習内容：教科書PP.50～55
予習時間：30分
復習内容：講義内容の確認
復習時間：30分
太陽の運行、天球

第3回 日射

予習内容：教科書PP.50～55

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

太陽からの放射、日射特性、日射調整

第4回 測光量（Ⅰ）

予習内容：教科書P.130

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

視覚系の仕組み、測光と測光量

第5回 測光量（Ⅱ）

予習内容：教科書PP.116～117

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

各種測光量

第6回 測光量（Ⅲ）

予習内容：前回までの講義内容

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

測光量の換算、計算例

第7回 明視環境

予習内容：教科書P.131

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

明視条件、グレア

第8回 採光（Ⅰ）

予習内容：教科書PP.56～57

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

昼光率、立体角投射率

第9回 採光（Ⅱ）

予習内容：教科書PP.64～69

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

採光計画、各種採光方式

第10回 人工照明

予習内容：教科書PP.72～73

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

光源の分類、各種人工光源の特性

第11回 照明方式

予習内容：教科書PP.78～79

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

全般照明と局部照明、直接照明と間接照明、建築化照明

第12回 照度計算

予習内容：教科書P.122

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

光束法による平均照度計算

第13回 各種空間の照明

予習内容：教科書PP.8～11、PP.22～25、PP.28～31、PP.32～41

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

街路、住宅、オフィス、店舗、レストラン、劇場などの照明

第14回 光と生体リズム

予習内容：教科書P.144

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

生体リズムと昼光

第15回 色彩

予習内容：「カラーコーディネーションの心理学」の講義内容全般

予習時間：30分

復習内容：講義内容の確認

復習時間：30分

色彩の心理的効果、建築空間の色彩

定期試験

■ホームページ

科目名 :	福祉機器デザイン				
英文名 :	Design of Assistive Technology				
担当者 :	北山 一郎				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

障がい者、高齢者の生活を支援する機器の設計には、加齢や障害等の特性に応じたデザイン手法が要求される。本講では、はじめに、福祉機器設計の基礎となる力学等の基礎学問を学ぶ。ついで、移動・運動機能支援機器、生活環境支援機器、バリアフリーを実現する機器・技術の現状と問題点について学びを進めて行く。また、移動支援技術の成果である最新の義肢装具などの具体的な事例をもとに、生体運動機能解析と電子・機械工学の知識に基づくデザイン手法について解説する。ワークショップを通じて福祉技術の考え方について意見を交換・集約する。なお、本講義には福祉住環境コーディネータの資格と結びつく内容を含む。

■ 学習・教育目標及び到達目標

障がい者、高齢者の生活の実際を学びながら、それらの人々を支援する現状の機器について、目的と動作原理を理解すること。さらに、障害の特性に応じた機器等がデザインできるよう、福祉機器設計のための基礎概念と手法を学ぶこと。また、基礎事項として、様々な事例を用いて平易にかつ詳細に繰り返し説明するので、その結果として福祉用具とそれを使用する人との間で生じる力学的状態を理解し、福祉用具に力のベクトルが記載できることを求める。同講は、学科ディプロマポリシーの“1. 関心・意欲・態度”の人間支援ロボットに係る課題解決力の向上、“4. 知識・理解”の人間工学の基板技術の獲得及びユニバーサルデザインに基づく設計の推進と創造力向上に係る講義である。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 75%
 授業中課題（ミニツツペーパー） 15%
 グループ単位のプレゼンテーション・レポート 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に前回の課題の解説を行います。

■ 教科書

[ISBN]9784339070910 『生命・医療・福祉ハンドブック』（早稲田大学生命・生体・福祉研究所, コロナ社：2007）

■ 参考文献

e-A T利用促進協会 詳解 福祉情報技術（2011）
 [ISBN]9784339045239 『基礎 福祉工学（ロボティクスシリーズ）』（手嶋 教之, コロナ社：2009）

■ 関連科目

ユニバーサルデザイン概論、生体機能・解剖学、福祉情報デザイン、生理学、人間工学

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

北山研究室（西1号館1階152）・kitayama@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 福祉機器について

予習内容：教科書の目次および福祉用具関連項目を購読する。

予習時間：20分

復習内容：福祉機器の概要と力学との関連を理解する。

復習時間：40分

福祉機器の概要と工学との関連を学ぶ。

第2回 福祉機器と力学（Ⅰ）

予習内容：ニュートン力学について学んだことを確認しておく。

予習時間：20分

復習内容：ニュートンの並進運動と回転運動の法則、それらの福祉用具との関連を理解する。

復習時間：40分

ニュートンの並進運動の法則と回転運動の法則、それらの福祉用具との関連について学修する。

第3回 福祉機器と力学（Ⅱ）

予習内容：力のベクトルについて調べる。

予習時間：20分

復習内容：福祉機器にかかる力のベクトルの記載ができるようにする。

復習時間：40分

福祉機器にかかる力のベクトルの記載について学修する。

第4回 人体と福祉機器（Ⅰ）

予習内容：モーメントについて調べておく。

予習時間：20分

復習内容：人体モデルにおけるカベクトル、モーメントベクトルの釣り合いを理解する。

復習時間：40分

人体モデルにおけるカベクトルの釣り合い、モーメントベクトルの釣り合いについて学ぶ。

第5回 人体と福祉機器（Ⅱ）

予習内容：3点支持を調べる。

予習時間：20分

復習内容：医療での機器にかかる力のベクトルが記載できるようにする。

復習時間：40分

医療現場等で重要な“3点支持”について、力学的観点からの分析を学ぶ。

第6回 人体と福祉機器（Ⅲ）

予習内容：ベクトルの外積を調べる。

予習時間：40分

復習内容：福祉機器における力のベクトルとモーメントベクトルおよびその計算を理解する。

復習時間：80分

福祉機器における力のベクトルとモーメントベクトルおよびその計算方法について学ぶ。

第7回 高齢者の作業能力・自立支援

予習内容：WHOのICFを調べる。

予習時間：20分

復習内容：ICFおよび加齢変化について理解する。

復習時間：40分

WHOのICFおよび加齢変化について学ぶ。

第8回 車いす・電動車いす

予習内容：電動車いすを含む車いすの種類を調べる。

予習時間：20分

復習内容：車いすおよび電動車いすの種類と機能および力学との関連を理解する。

復習時間：40分

車いすおよび電動車いすの種類と機能および力学との関連を学ぶ。

第9回 歩行補助機器・心電図モニター

予習内容：ロフトランドクラッチを調べる。

予習時間：20分

復習内容：T字杖、ロフトランドクラッチ、歩行器とそれらにかかるカベクトルが記載できるようにする。筋電図・脳波についても理解する。

復習時間：40分

T字杖、ロフトランドクラッチ、歩行器とそれらにかかる荷重について学ぶ。さらに、筋電や脳波についても学修する。

第10回 介護支援機器、介護ベッド

予習内容：介護支援システムについて調べる。

予習時間：20分

復習内容：介護支援のついて学ぶとともに、そこで使用されている介護支援機器、介護ベッドについて機構等を理解する。

復習時間：40分

介護支援のついて学ぶとともに、そこで使用されている介護支援機器、介護ベッドについて学ぶ。

第11回 福祉車両・福祉機器

予習内容：福祉車両を調べる。

予習時間：20分

復習内容：福祉車両・福祉機器の機能とそれらにかかる荷重状態を理解する。

復習時間：40分

福祉車両・福祉機器について様々な事例およびそこの力学を学ぶ。

第12回 生活支援ロボット

予習内容：ワークショップ（生活支援ロボット）のレポートのための調査を行う。

予習時間：20分

復習内容：ワークショップレポートの作成を行う。

復習時間：40分

生活支援ロボットの応用が期待される分野について詳細を学ぶ。

第13回 ワークショップ（Ⅰ）

予習内容：レポート課題を完成させる。

予習時間：180分

復習内容：プレゼンテーション内容を復習する。

復習時間：40分

調査した生活支援ロボットについてグループディスカッションを行い、内容をまとめたパネルを作成する。同時に、調べた内容等のレポートを提出する。

第14回 ワークショップ（Ⅱ）

予習内容：パネルの内容や質問を調べる。

予習時間：30分

復習内容：すべての班のプレゼン内容を復習する。

復習時間：40分

パネルの内容についてプレゼンテーションを行い、同時に、質疑応答および回答、ディスカッションを積極的に行う。

第15回 医療福祉機器および講義のまとめ

予習内容：血流量計、血圧計を調べる。

予習時間：20分

復習内容：主な医療福祉に関連する機器の概要と原理を理解する。

復習時間：180分

医療福祉に関連する機器として、血流量計、血圧計、MRIなどについて基礎事項を学ぶ。講義の重要な項目について理解する。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	ユニバーサルデザイン				
英文名 :	Universal Design				
担当者 :	廣川 敬康				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

本講義では、ユニバーサルデザイン (UD) の実現方法を習得するために、UD開発プロセスと評価方法について学ぶ。UDマトリックスやUDマトリックスアイデアシートによる評価と設計についての講義とワークショップ等の演習を行うことによって、UDを具現化するための方法を身につける。

■ 学習・教育目標及び到達目標

UDの開発プロセスを理解し、UDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートによるUDの評価方法とデザインコンセプトの構築方法を習得すること。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー2の達成に参与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%
授業中の発表 40%
レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します

■ 教科書

[ISBN]9784320071551 『ユニバーサルデザイン実践ガイドライン』 (日本人間工学会, 共立出版 : 2003)

■ 参考文献

[ISBN]9784819028196 『増補版 人間工学とユニバーサルデザイン新潮流—実践ヒューマンセンタードデザインのものづくりマニュアル』 (日本工業出版 : 2017)

[ISBN]9784526073427 『トコトンやさしいユニバーサルデザインの本(第2版) (今日からモノ知りシリーズ)』 (宮入賢一郎, 日刊工業新聞社 : 2014)

[ISBN]9784251093912 『ユニバーサルデザイン—みんなの暮らしを便利に〈1〉ユニバーサルデザインってなに?』 (成松 一郎, あかね書房 : 2006)

[ISBN]9784251093929 『ユニバーサルデザイン—みんなの暮らしを便利に〈2〉暮らしの中のユニバーサルデザイン』 (星野 恭子, あかね書房 : 2006)

[ISBN]9784251093936 『ユニバーサルデザイン—みんなの暮らしを便利に〈3〉まちのユニバーサルデザイン』 (中和 正彦, あかね書房 : 2006)

[ISBN]9784822235017 『ユニバーサルデザインの教科書 第3版』 (日経BP社 : 2015)

■ 関連科目

ユニバーサルデザイン概論、生理学、人間工学、ユニバーサルデザイン・CAD演習 I、ユニバーサルデザイン・CAD演習 II

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

廣川研究室 (西1号館2階258) ・ hirokawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 UDとガイドライン(1)

予習内容 : UD概論や人間工学等の授業で学んだ内容を復習してくる。

予習時間：30分

復習内容：身のまわりにある使いにくいモノ、使いやすいモノについて調査する。

復習時間：60分

これまでに学んだUDに関する復習と本講義の目的について解説する。

第2回 UDとガイドライン(2)

予習内容：社会の多様性とUDの必要性について、これまでに学んできた内容を復習してくる。

予習時間：30分

復習内容：社会の多様性とUDの必要性について調査する。

復習時間：60分

社会の多様性とUDの必要性について復習する。

第3回 UDとガイドライン(3)

予習内容：企業や各種団体等で開発されているUD製品・設備と、コンセプトについて調査してくる。

予習時間：60分

復習内容：特定のモノを対象として、どのような人がどのような状況で何をしようとした時にどのように使いにくいと感じるかを調査する（使いにくいモノ調査）。

復習時間：60分

企業等でUDを推進するための方法について学ぶ。

第4回 UD開発のプロセス

予習内容：製品設計のプロセスについて調査してくる。

予習時間：30分

復習内容：UDを実現するためのプロセスの特徴について検討する。

復習時間：30分

UDを実現するためのプロセスとその過程で使用する各種ツールについて学ぶ。

第5回 ユーザ分類表

予習内容：社会で生活している多様な人の特性について考えてくる。

予習時間：60分

復習内容：ユーザ分類表を用いて使いにくいモノ調査を行う。

復習時間：60分

多様な人の特性について学ぶ。

第6回 UDマトリックス

予習内容：UDマトリックスを使用した製品開発方法の利点を調査してくる。

予習時間：30分

復習内容：特定のモノを対象として、ペルソナとシナリオを作成するとともに、UDマトリックスを作成する。

復習時間：90分

UDマトリックスの作成方法とその活用方法を学ぶ。

第7回 UDデータ、簡易型要求事項抽出方法

予習内容：インターネット等を経由して利用可能なUDデータを調査してくる。

予習時間：60分

復習内容：特定のモノを対象として、ペルソナとシナリオを作成するとともに、UDマトリックスを作成する。

復習時間：90分

UDを実現する上で必要となる人間の特性データとその活用方法について学ぶ。さらに、要求事項を抽出するための簡便な方法について学ぶ。

第8回 デザインコンセプトの構築

予習内容：UDマトリックスを利用してUDマトリックスアイデアシートを作成するための方法を調査してくる。

予習時間：30分

復習内容：UDデータを活用した製品設計法について検討する。

復習時間：90分

UDマトリックスを利用してUDマトリックスアイデアシートを作成し、デザインコンセプトを導出するための方法について学ぶ。

第9回 グループ演習(1)

予習内容：グループ演習の準備

予習時間：30分

復習内容：UDデータに基づいてユニバーサルデザインを実施するための方法について検討する。

復習時間：60分

グループごとに、特定のモノを対象としてUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートを作成する。

第10回 グループ演習(2)

予習内容：グループ演習の準備

予習時間：60分

復習内容：グループ演習を振り返り、次回の授業でのグループ演習の準備をする。

復習時間：30分

グループごとに、特定のモノを対象としてUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートを作成する。

第11回 グループ演習(3)

予習内容：グループ演習の準備

予習時間：60分

復習内容：グループ演習を振り返り、次回の授業でのグループ演習の準備をする。

復習時間：30分

グループごとに、特定のモノを対象としてUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートを作成する。

第12回 グループ演習(4)

予習内容：グループ演習の準備

予習時間：60分

復習内容：グループごとにUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートを完成させる。

復習時間：120分

グループごとに、特定のモノを対象としてUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートを作成する。

第13回 グループ演習(5)

予習内容：プレゼンテーションの準備

予習時間：30分

復習内容：他のグループのプレゼンテーションを復習し、自分なりにUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートを作成する。

復習時間：60分

グループごとに作成したUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートのプレゼンテーションを行う。

第14回 グループ演習(6)

予習内容：プレゼンテーションの準備

予習時間：30分

復習内容：他のグループのプレゼンテーションを復習し、自分なりにUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートを作成する。

復習時間：60分

グループごとに作成したUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートのプレゼンテーションを行う。

第15回 グループ演習(7)

予習内容：プレゼンテーションの準備

予習時間：30分

復習内容：他のグループのプレゼンテーションを復習し、自分なりにUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートを作成する。

復習時間：60分

グループごとに作成したUDマトリックスとUDマトリックスアイデアシートのプレゼンテーションを行う。

定期試験

■ホームページ

科目名 :	ユニバーサルデザイン・CAD演習 I				
英文名 :	Exercises of Universal Design and CAD 1				
担当者 :	廣川 敬康・西垣 勉				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

すべての人が使いやすい製品を作るユニバーサルデザインの考え方を理解するために、市販のソフトウェア「Body Shape Designer (BSD)」を用いて精密人体モデル(デジタルマネキン)を生成し、利用する演習を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

3次元CADによるモデリング技術を習得し、3次元空間内の実体のある物をコンピュータ上の仮想的な物体として表現したり、コンピュータ上に表現された仮想的な物体を3次元空間内の実体のある物として認識したりできること。CADによる2次元製図の基礎を習得し、製図図面から3次元空間内の製品を認識できること。コンピュータ上に構築した幾何学的な人体モデルに人体各部のサイズや関節角度等を設定することによって、人体の姿勢や運動の操作、静力学解析や物体間の幾何学的な干渉チェック、リーチや視野の評価が行えること。さらにこれらの技能を利用して、人体の身体的特性と、年齢・性別等によるそれらの特性のばらつきを踏まえて、デジタルマネキンを利用したユニバーサルデザインの実現方法を習得すること。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に關与しています。

■ 成績評価方法および基準

総合演習 30%
レポート・製図等課題(全課題を提出すること) 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回以降の授業時間に講評をします。

■ 教科書

[ISBN]9784274221187 『JISにもとづく標準製図法 第14全訂版』(大西 清, オーム社:2017)

■ 参考文献

[ISBN]9784798017891 『AutoCADではじめる3Dモデリング&レンダリング』(堀川 裕己, 秀和システム:2007)
[ISBN]9784774177991 『[JIS対応] 実践 AutoCAD/AutoCAD LT 製図入門』(稲葉 幸行, 技術評論社:2015)
[ISBN]9784797340365 『基礎から学ぶAutoCAD 2008 2D作図編(ヒューマンアカデミーProfessional養成ゼミ)』(ヒューマンアカデミー, ソフトバンククリエイティブ:2008)

■ 関連科目

ユニバーサルデザイン概論、プロダクトデザイン、生体機能・解剖学、設計製図、生理学、人間工学、ユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅱ、ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅲ、3次元CADプロダクトデザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

廣川研究室(西1号館2階258)・hiroka@waka.kindai.ac.jp
西垣研究室(西1号館3階352)・nisigaki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

廣川:月曜2限
西垣:木曜5限 事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容及び時間

第1回 3次元物体の生成(1): CADの概念、プリミティブの生成と変形・移動

予習内容:1年次に学習した「プロダクトデザイン」,「設計製図」を復習し,製品設計と製図の方法を確認する。
予習時間:30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

ユニバーサルデザイン(UD)・CAD演習Ⅰのガイダンスを行う。CADやデジタルマネキンの概念を学び、3次元CADを使用してブリミティブ（円柱，直方体など）を作成する。

第2回 3次元物体の生成(2)：生活関連機器の生成（杖）

予習内容：1年次に学習した「プロダクトデザイン」を復習し、ラフスケッチの方法を確認する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

生活関連機器の例として単純な構造の杖を取り上げ、製図図面を読み取ってラフスケッチを作成することによって構造を確認した後、3次元モデルを作成する。

第3回 3次元物体の生成(3)：生活関連機器の生成（ベンチ）

予習内容：1年次に学習した「プロダクトデザイン」を復習し、ラフスケッチの方法を確認する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

生活関連機器の例としてベンチを取り上げ、製図図面を読み取ってラフスケッチを作成することによって構造を確認した後、3次元モデルを作成する。

第4回 コンピュータによる2次元製図(1)：2次元基本図形の作成

予習内容：1年次に学習した「設計製図」を復習し、教科書の該当範囲を熟読して2次元製図規則を確認する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

2次元製図規則を確認しながら、2次元CADを使用して製図を作成するための基本機能を学ぶ。

第5回 コンピュータによる2次元製図(2)：2次元図形の作成、寸法記入

予習内容：1年次に学習した「設計製図」を復習し、教科書の該当範囲を熟読して2次元製図規則を確認する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

2次元製図規則を確認しながら、2次元CADを使用して製図を作成するための基本機能を学ぶ。

第6回 コンピュータによる2次元製図(3)：生活関連機器の製図（杖）

予習内容：第2回授業内容を復習し、杖の形状を確認する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

2次元製図規則に基づいて、杖の製図を作成する。

第7回 コンピュータによる2次元製図(4)：生活関連機器の製図（ベンチ）、総合演習(1)

予習内容：第3回授業内容を復習し、ベンチの形状を確認する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

2次元製図規則に基づいて、ベンチの製図を作成する。第1回～第7回の授業内容に関する演習を行う。

第8回 BSDの基本操作(1)：デジタルマネキンの概念と生成・移動・姿勢変更

予習内容：1年次に学習した「生体機能・解剖学」を復習し、人体の構造を確認する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

デジタルマネキンの必要性和それを利用した製品設計法について学ぶ。さらに、デジタルマネキンソフト（BSD）を使用してマネキンの生成・移動・姿勢変更等の基本機能を学ぶ。

第9回 BSDの基本操作(2)：デジタルマネキンの姿勢変更

予習内容：1年次に学習した「生体機能・解剖学」を復習し、人体の構造を確認する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

デジタルマネキンソフト（BSD）を使用して、実人体の姿勢をマネキンを用いて再現する。

第10回 BSDの基本操作(3) : ベンチへの着座・ベンチからの立ち上がりとバランス表示

予習内容 : 1年次に学習した「暮らしの力学」を復習し、力とモーメントのつりあいを確認する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間 : 60分

実人体の姿勢の例としてベンチからの立ち上がり姿勢を再現し、バランスが取れている状態の姿勢を作成するための方法を学ぶ。

第11回 BSDの基本操作(4) : 静的力学負荷の評価

予習内容 : 1年次に学習した「暮らしの力学」を復習し、力とモーメントのつりあいを確認する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間 : 60分

人間が姿勢を変更した時に、身体にかかる負荷(力・トルク)を分析するための方法を学ぶ。

第12回 BSDの基本操作(5) : 製品使用時の姿勢の変更と静的力学負荷の評価

予習内容 : 1年次に学習した「暮らしの力学」を復習し、力とモーメントのつりあいを確認する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間 : 60分

人間が製品を使用する時のように、身体に外力が働く場合に、身体にかかる負荷(力・トルク)を分析するための方法を学ぶ。

第13回 BSDの基本操作(6) : 視野とリーチの評価、総合演習(2)

予習内容 : 1年次に学習した「生体機能・解剖学」を復習し、人体の構造を確認する。

予習時間 : 90分

復習内容 : 授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間 : 60分

マネキンの視野とリーチ(手が届く範囲)を分析するための方法を学ぶ。

第14回 杖のユニバーサルデザイン(1) : 関節角度の評価と杖長さの適正化

予習内容 : 杖の種類と使用方法について調査する。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間 : 60分

生活関連機器の典型である杖を取り上げ、デジタルマネキンを活用することにより、さまざまな体型の人にとって使いやすい杖長さを決定する。

第15回 杖のユニバーサルデザイン(2) : 静的力学負荷の評価

予習内容 : 第8回～第13回の授業内容に関する復習をする。

予習時間 : 30分

復習内容 : 授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間 : 60分

生活関連機器の典型である杖を取り上げ、デジタルマネキンを活用して杖使用時に身体にかかる負荷を分析する。第8回～第13回の授業内容に関する復習を行う。

■ ホームページ

科目名 :	ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅱ						
英文名 :	Exercises of Universal Design and CAD 2						
担当者 :	廣川 敬康・西垣 勉						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

すべての人が使いやすい製品を作るユニバーサルデザイン(UD)の考え方を理解するために、市販のソフトウェア「Body Shape Designer (BSD)」を用いて精密人体モデル(デジタルマネキン)を生成し、利用する演習を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

コンピュータ上に構築した幾何学的な人体モデルに人体各部のサイズや関節角度等を設定することによって、人体の姿勢や運動の操作、静力学解析や物体間の幾何学的な干渉チェック、リーチや視野の評価が行えること。さらに、これらの技能を利用して、人体の身体的特性と、年齢・性別等によるそれらの特性のばらつきを踏まえ、デジタルマネキンを利用して具体的な生活関連機器のユニバーサルデザインの実現方法を習得すること。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に關与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート・製図等課題(全課題を提出すること) 70%
グループ演習課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回以降の授業時間に講評をします。

■ 教科書

[ISBN]9784274221187 『JISにもとづく標準製図法 第14全訂版』(大西 清, オーム社:2017)

■ 参考文献

[ISBN]9784798017891 『AutoCADではじめる3Dモデリング&レンダリング』(堀川 裕己, 秀和システム:2007)

[ISBN]9784774177991 『[JIS対応] 実践 AutoCAD/AutoCAD LT 製図入門』(稲葉 幸行, 技術評論社:2015)

[ISBN]9784797340365 『基礎から学ぶAutoCAD 2008 2D作図編(ヒューマンアカデミーProfessional養成ゼミ)』(ヒューマンアカデミー, ソフトバンククリエイティブ:2008)

■ 関連科目

ユニバーサルデザイン概論、プロダクトデザイン、生体機能・解剖学、設計製図、生理学、人間工学、ユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ、ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅲ、3次元CADプロダクトデザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

廣川研究室(西1号館2階258)・hiroka@waka.kindai.ac.jp

西垣研究室(西1号館3階352)・nisigaki@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

廣川:月曜2限

西垣:木曜5限 事前にメールにてアポイントをとって下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 車いすの使用を考慮したUD(1):車いすの3次元モデリング

予習内容:前期の「ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ」の内容を復習する。

予習時間:60分

復習内容:授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間:60分

製図図面を参照して、車いすの3次元モデルを作成する。

第2回 車いすの使用を考慮したUD(2)：車いす運転時の負荷の分析

予習内容：前期の「ユニバーサルデザイン・CAD演習 I」の内容を復習する。

予習時間：60分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

第1回に作成した車椅子にマネキンが乗った状態を作成し、前進時の身体的負荷等を分析する。

第3回 自転車のUD(1)：自転車の3次元モデリング

予習内容：前期の「ユニバーサルデザイン・CAD演習 I」の内容を復習する。

予習時間：60分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

自転車のラフスケッチを作成し、自転車の3次元モデルを作成する。

第4回 自転車のUD(2)：自転車使用時の姿勢と静的力学負荷の分析

予習内容：自分で自転車を押したり漕いだりしている姿勢やそのときの身体的負荷を体感する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

第3回に作成した自転車をマネキンが漕いでいる状態を作成し、身体的負荷等を分析する。

第5回 システムキッチンのUD(1)：基本サイズのキッチンシンクの評価

予習内容：実際に使用されているキッチンやキッチンシンクを調査する。

予習時間：60分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

キッチンシンクの実製品を調査した後にラフスケッチを作成し、キッチンシンクの3次元モデルを作成する。

第6回 システムキッチンのUD(2)：システムキッチンのユニバーサルデザイン

予習内容：自分でキッチンを利用している姿勢やそのときの身体的負荷を体感する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

第5回に作成したキッチンシンクを使用している状態（手洗い、掃除等）を作成し、身体的負荷等を分析する。

第7回 LDKのUD(1)：ダイニング・キッチン・リビングの3次元モデリング

予習内容：実際に使用されているLDKを調査する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

ダイニングキッチンの配置案を作成し、3次元モデルを作成する。

第8回 LDKのUD(2)：ダイニング・キッチン・リビングの使いやすさの評価と設計

予習内容：自分でLDKを利用している姿勢やそのときの使いやすさを体感する。

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習し、課題を完成させる。

復習時間：60分

第7回に作成したLDKを使用している状態を作成し、使いやすさを分析する。

第9回 生活用品のUD(1)：グループ演習での課題決定と情報収集

予習内容：身の回りの生活用品を調査する。

予習時間：60分

復習内容：設計対象製品の調査を行う。

復習時間：90分

第9回～第15回授業で対象とする生活用品を決定するために、身の回りの製品の構造、使用方法、課題を調査する。

第10回 生活用品のUD(2)：対象製品の情報収集と3次元モデリング

予習内容：設計対象製品の調査を行う。

予習時間：60分

復習内容：設計対象製品の3次元モデルを作成する。

復習時間：60分

身の回りの生活用品の構造，使用方法，課題を調査して，第9回～第15回授業で対象とする製品を決定する。

第11回 生活用品のUD(3)：対象製品使用時の使いやすさの評価(1)

予習内容：設計対象製品の3次元モデルを作成する。

予習時間：60分

復習内容：設計対象製品の調査と3次元モデルを作成する。

復習時間：60分

設計対象製品の調査をさらに進め，3次元モデルを作成する。

第12回 生活用品のUD(4)：対象製品使用時の使いやすさの評価(2)

予習内容：設計対象製品の調査と3次元モデルの作成を完了する。

予習時間：60分

復習内容：設計対象製品の3次元モデルを作成し，製品使用時の姿勢をマネキンで再現して使いやすさを分析する。

復習時間：60分

設計対象製品の3次元モデルを作成し，製品使用時の姿勢をマネキンで再現して使いやすさを分析する。

第13回 生活用品のUD(5)：対象製品の設計変更(1)

予習内容：設計対象製品の3次元モデルの作成と，製品使用時の姿勢を再現を完了する。

予習時間：60分

復習内容：製品使用時の姿勢をマネキンで再現して使いやすさを分析するとともに，より使いやすいように設計変更する。

復習時間：60分

製品使用時の姿勢をマネキンで再現して使いやすさを分析するとともに，より使いやすいよう設計を提案する。

第14回 生活用品のUD(6)：対象製品の設計変更(2)，プレゼンテーション準備

予習内容：製品使用時の姿勢の再現と使いやすさの分析を完了する。

予習時間：90分

復習内容：設計変更前後の使いやすさを分析と設計変更を行い，プレゼンテーションの準備を行う。

復習時間：90分

設計変更前後の使いやすさを分析しながら設計変更を行い，プレゼンテーションの準備を行う。

第15回 生活用品のUD(7)：プレゼンテーション

予習内容：プレゼンテーションの準備を行う。

予習時間：90分

復習内容：ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ・Ⅱ全体の総復習を行う。

復習時間：60分

グループごとに生活用品のUDについてのプレゼンテーションを行う。

■ホームページ

科目名	ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅲ				
英文名	Exercises of Universal Design and CAD 3				
担当者	大政 光史・山田 崇史				
開講学科	人間環境デザイン工学科（平成30年度入学生用）				
単 位	2単位	開講年次	3年次	開講期	前期, 後期
科目区分	専門科目				
備 考	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

前半は、さまざまなユーザに合わせた住宅設備・機器の形状を考案し、CADと連携した構造解析による確認を行うことによって、機器のユニバーサルデザインの演習を行う。後半は、ユニバーサルデザインを考慮した建築物の設計課題（集合住宅・RC）に取り組み、CADを用いて建築物の図面作成の演習を行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 機器や生活用品の寸法や材質を変更することによって、すべてのユーザに適合させるユニバーサルデザインの実践的なスキルを身につける。
2. これまで学んだユニバーサルデザインの知識を生かして、空間をCADを用いて表現するためのスキルを身につける。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に主体的に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

演習課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に課題の採点と解説をします。

■ 教科書

資料を配付する。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ、Ⅱ、3次元CADプロダクトデザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

大政研究室（西1号館3階353）・ohmasa@waka.kindai.ac.jp
山田研究室（西1号館2階254西）・yamada@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜4限と木曜4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 設計デザインと構造解析

第2回 住宅設備・機器の設計と構造解析(1)

第3回 住宅設備・機器の設計と構造解析(2)

第4回 住宅設備・機器の設計と構造解析(3)

第5回 住宅設備・機器の設計と構造解析(4)

第6回 住宅設備・機器の設計と構造解析(5)

第7回 住宅設備・機器の設計と構造解析(6)

第8回 建築設計(1) 課題説明、室の計画

第9回 建築設計(2) 室の計画

第10回 建築設計(3) 配置図・平面図

第11回 建築設計(4) 平面図

第12回 建築設計(5) 立面図

第13回 建築設計(6) 断面図

第14回 建築設計(7) プレゼンテーション

第15回 建築設計(8) プレゼンテーション

■ ホームページ

科目名 :	3次元CADプロダクトデザイン						
英文名 :	Product Design using 3D CAD system						
担当者 :	中川 秀夫						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期, 後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

モノづくりは、「頭の中で考えたアイデアを様々な知識を活用して具体化し、実際のモノの形状に表していく一連のプロセス」です。設計者の頭の中に浮かんだアイデアを他人と共有し、相互に理解し合うためには共通のルールとコミュニケーションが必要です。3次元CADを用いた演習を通して、アイデアの具現化と共通のルール、コミュニケーション能力を身につけます。複数のグループに分かれて、ユニバーサルデザインによる生活支援システム（掃除ロボットなど）の構想設計（設計の5W1H、機能定義）、詳細設計（材料力学などの知識を用いた計算、重心、重量、塗装量、コスト計算）、樹系図について学びます。チームデザインによる3次元モデリング、カタログ・組立指示書の作成を通してコミュニケーション能力を高めることができます。

■ 学習・教育目標及び到達目標

この授業を履修することによって、次のような能力が修得できます。

- 1) ハイエンドの3次元CADソフトであるCREOを用いて、基本的なモデルを作成する技術が身に付きます。
- 2) 演習を通して、アイデアを具現化する方法や、共通のルール、コミュニケーション能力が修得できます。
- 3) 具体的な生活支援ロボット（掃除ロボット）について、構想設計、詳細設計、樹系図、組立指示書などを作成することにより企業における設計作業を理解することができます。

この科目の修得は本学科の定めるディプロマポリシーの3-1) および3-2) の達成に主体的に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

各回演習課題 50%

スキルチェックテスト（実技テスト） 20%

最終レポート 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

毎回の演習課題の操作方法を説明した資料ファイルを共通ドライブにおいてるので、常時閲覧できます。

スキルチェックテストの採点結果は、採点ポイントとともに演習室内に公開します。

スキルチェックテストで多数の不正解があった項目については、翌回に手順を解説します。

各グループの作品モデルは、全体発表会で公開され、受講者全員の評価コメントを受け取ることができます。

■ 教科書

特になし。（モデル作成手順書を公開します）

■ 参考文献

[ISBN]9784274069529 『JISにもとづく標準製図法 第13全訂版』（大西 清, オーム社 : 2010)

■ 関連科目

ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

中川研究室（東1号館1階102）・nakagawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、チーム設計演習（1）

予習内容：機械設計作業の一般的な手順について調査しておく

予習時間：90分

復習内容：チームの課題コンセプト（5W2H）を明確にし、キャッチフレーズを考える

復習時間：60分

演習手順、チーム編成、課題について説明し、各チームでコンセプトづくりに取り掛かります。

第2回 CAD演習（1）、チーム設計演習（2）

予習内容：CREOの基本操作について、WINDOWSとの違いに注意して資料を読んでおくこと。

予習時間：90分

復習内容：数値化・仕様の決定には、コンセプトから導き出された数値であることを確認すること。

復習時間：60分

3次元CAD（CREO）の基本操作について説明する。チーム作業ではコンセプトの数値化、仕様（大きさ、重量、速度）の決定を行います。

第3回 CAD演習（2）、チーム設計演習（3）

予習内容：文鎮モデル作成資料をあらかじめ読んでおくこと。特に「押し出し」によりモデル作成方法を予習すること。

予習時間：120分

復習内容：ロボットが持つ機能に漏れがないか、よく検討しておくこと。

復習時間：60分

CAD演習では「文鎮」のモデリングを行います。チーム設計演習ではコンセプトに従って、ロボットが持つべき機能のリストアップを行い、シーケンスを考えます。

第4回 CAD演習（3）、チーム設計演習（4）

予習内容：物理学の摩擦角、エネルギー、仕事率について復習しておくこと。

予習時間：90分

復習内容：モータの選定、電池の種類・本数の決定理由を明確にしておくこと。

復習時間：60分

CAD演習ではブラケットモデルを作成します。またチーム設計演習では掃除ロボットの駆動系に使用するモータを消費エネルギーの観点から選定し、および必要な電池の種類、本数を決定します。

第5回 CAD演習（4）、チーム設計演習（5）

予習内容：図面の作成のために、第3角法、寸法の入れ方など製図法について復習しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：ギヤボックスの配列で、干渉チェックをしておくこと。

復習時間：60分

CAD演習では前回のブラケットモデルを使ったブラケット図面を作成します。チーム設計演習ではギヤボックスの設計を行います。

第6回 CAD演習（5）、チーム設計演習（6）

予習内容：ボルトのモデル作成における資料をあらかじめ読んでおくこと。特に回転モデルの作成法について予習すること。

予習時間：120分

復習内容：全体配置図を完成させておくこと。またユニットの機構詳細について調査しておくこと。

復習時間：60分

CAD演習では回転によって「ボルト」のモデルを作成し、前回習得した図面作成方法によりそのボルトモデルを図面化します。またチーム設計演習では、全体配置図、機構検討を行います。

第7回 CAD演習（6）、チーム設計演習（7）

予習内容：アセンブリファイルの作り方について資料を参照して予習しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：樹系図について、漏れがないかよくチェックしておくこと。

復習時間：60分

CAD演習では、これまで作成してきたブラケット、ボルトの部品モデルを用いて組立図（アセンブリ）を作成し、それを用いて図面化して組み立て指示書を作成します。チーム設計演習では、樹系図とポンチ絵の作成を行います。

第8回 スキルチェックテスト、チーム設計演習（8）

予習内容：第7回までに行ったモデル・図面・アセンブリの作成方法についてよく復習しておくこと。

予習時間：150分

復習内容：EXCELに転記した樹系図に漏れがないか、番号は整っているか、名称は正しいかなどチェックのこと。

復習時間：60分

CAD操作の実技テストとしてスキルチェックテストを実施します。問題用紙に指示されたようにモデルを作成したり与えられたモデルを修正したりして提出します。チーム設計演習では、樹系図のEXCELへの転記、モデル作成担当者の決定、材質の決定などをを行い、掃除ロボットモデル作成準備を行います。

第9回 チーム設計演習（9）

予習内容：樹系図をもう一度チェックし、当初示した機能が実現できるか確認すること。

予習時間：60分

復習内容：各担当のファイルがすべてそろっているかどうか確認し、チェックイン・チェックアウトの手順を練習しておくこと。

復習時間：120分

前回提出した樹系図の指摘事項を修正し、必要な部品・組み立ての全ファイルを空で作成します。

第10回 チーム設計演習（10）

予習内容：共通部品ファイルの場所、種類、コピー方法について、資料を参考にあらかじめ予習しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：すべての部品について1フィーチャーのモデル作成が完成していること。

復習時間：120分

空ファイルの構成、共通部品のコピー、1フィーチャー部品のモデリングを行います。

第11回 チーム設計演習（11）

予習内容：アセンブリファイルの拘束条件、距離修正方法について予習しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：ギヤボックスについて、配列レイアウトが決定し、アセンブリファイルが完成していること

復習時間：120分

アセンブリファイルのモデル間距離調整、ギヤボックスの作成を行います。

第12回 チーム設計演習（12）

予習内容：干渉チェック、重量計算の方法について、資料を参考に予習しておくこと。各部品に質量が入力されているか確認のこと。

予習時間：60分

復習内容：すべての部品について、重量表記がされ、干渉箇所がゼロとなっていること。

復習時間：120分

干渉チェック、重量の計算、オフセット調整を行います。

第13回 チーム設計演習（13）

予習内容：CADを用いたプレゼン方法について資料を読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：モデルツリーのすべてが完全拘束になっていること。

復習時間：120分

CADを用いたプレゼン方法について説明します。次回の発表会に向けてプレゼン資料（PowerPoint）を作成し、CADモデルをプレゼン用に修正します。

第14回 デザインレビュー

予習内容：プレゼンの練習を行っておくこと。

予習時間：90分

復習内容：発表時の質問、指摘事項についてモデル等の修正を行っておくこと。

復習時間：60分

作品発表会で、各チームがコンセプトや設計手順についてCADモデルを用いて発表します。発表チーム以外の全員が質問し、採点します。

第15回 チームおよび個人の設計レポートの作成

予習内容：個人レポートの内容について、予め考えておく、または下書きを作っておくこと。

予習時間：120分

復習内容：設計・ものづくりの手順についてもう一度整理し手置くこと。

復習時間：60分

チームとしての作品制作過程をまとめたレポートを担当部分ごとに作成し、各個人レポートを加えて1冊のレポートを作成し提出します。

中間試験（スキルチェックテスト）

第8回目の演習時間内に、スキルチェックテスト（実技テスト）を行います。問題に指示されたようにモデルを作成、または修正するものです。合格点60点未満の人は、再テストを受験することができます。

■ホームページ

科目名 :	設計製図演習				
英文名 :	Exercises of Drafting and Design				
担当者 :	藤田 浩司・山田 崇史・大澤 恭子・青柳 栄治・播摩 重俊				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

建築物や製品の情報を正確に伝達する手段として、図面を正確に描き、模型などにより立体的に表現する力を身につけておく必要がある。本演習では、住宅や住宅設備・機器の製図と模型制作を通じて、これらの力を習得する。住宅設備・機器の製図では、ユニバーサルデザインに配慮した住宅設備・機器（キッチン、洗面台、浴室等）の製図を行う。住宅製図では、ユニバーサルデザインに配慮した住宅の設計と、その平面図、立面図の製図を行う。住宅模型制作では、住宅製図で作成した図面に基づいた模型を制作する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

JISの製図規格に従った製図法等、設計に必要な技術を習得し、ユニバーサルデザインに配慮した住宅や住宅設備・機器を計画する能力と、図面や模型で表現する技術を習得する。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 20%

課題提出物 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第15回目に、各課題のレポート・提出物について講評し、要点を解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784274221187 『JISにもとづく 標準製図法(第14全訂版)』(大西 清, オーム社:2017)

課題毎に資料を配付する

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

設計製図、プロダクトデザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤田研究室(東1号館2階201)・fujita@waka.kindai.ac.jp

山田研究室(西1号館2階254西)・yamada@waka.kindai.ac.jp

大澤(西1号館3階358)・t-osawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス(課題説明)

第2回 住宅設備・機器の製図:キッチン(1)

第3回 住宅設備・機器の製図:キッチン(2)

第4回 住宅設備・機器の製図:洗面台(1)

第5回 住宅設備・機器の製図:洗面台(2)

第6回 住宅設備・機器の製図:浴室(1)

第7回 住宅設備・機器の製図：浴室(2)

第8回 住宅製図：平面図、立面図の作図(1)

第9回 住宅製図：平面図、立面図の作図(2)

第10回 住宅模型制作：部品の作成(1)

第11回 住宅模型制作：部品の作成(2)

第12回 住宅模型制作：部品の組み立て(1)

第13回 住宅模型制作：部品の組み立て(2)

第14回 プレゼンテーション(1)

第15回 プレゼンテーション(2)

■ホームページ

科目名 :	専門ゼミ						
英文名 :	Subject Seminar						
担当者 :	人間環境デザイン工学科全教員						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

専門ゼミでは、1年次の基礎ゼミで学んだ大学で勉強する上で必要な課題の設定の仕方、情報の収集・調査・整理の仕方、プレゼンテーションの仕方をさらに発展させて、情報の収集・調査によって得られた内容を文章でまとめ、科学技術レポートを作成するための基本事項について学ぶ。また、創造的な思考能力を育成する目的で、ユニバーサルデザインに関する課題を設定し、各グループごとにアイデアを出し合い、これをプレゼンテーションするという形式のワークショップを行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 近畿大学の学生として、充実した学習・研究を今後遂行できるスキルと積極的に課題に取り組む姿勢を修得する。
2. ユニバーサルデザインワークショップを通じて、人に配慮したモノづくりの考え方、さらにはコミュニケーション能力の向上を修得する。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

授業中の発表 50%
レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

適宜資料を配付する。

■ 関連科目

人間環境デザイン工学科専門科目、基礎ゼミ

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

(代表) 廣川研究室 (西1号館2階258) ・ hirokawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

複数教員のため、ユニバーサルパスポート (<https://www.itp.kindai.ac.jp/index.html>) のオフィスアワーを参照ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

- 第1回 専門ゼミの位置づけ
- 第2回 論理的に考えるとは
- 第3回 科学的文章の書き方とその工夫
- 第4回 情報の理解と伝達に必要な論理的思考について
- 第5回 情報の分析に必要な批判的思考について
- 第6回 情報の分析と理解から新しい知恵を生み出す創造的思考
- 第7回 プレゼンテーション(1)
- 第8回 プレゼンテーション(2)
- 第9回 プレゼンテーション(3)
- 第10回 プレゼンテーション(4)
- 第11回 ユニバーサルデザインワークショップ(1)
- 第12回 ユニバーサルデザインワークショップ(2)

第13回 ユニバーサルデザインワークショップ(3)

第14回 ユニバーサルデザインワークショップ(4)

第15回 報告書の作成

予習内容：情報収集、プレゼンテーションの準備、報告書作成の準備等、授業に主体的に参加するための準備

予習時間：450分

復習内容：プレゼンテーション作成、報告書作成

復習時間：450分

■ホームページ

科目名 :	人間環境デザイン工学実験 I				
英文名 :	Experiments of Human Factors Engineering and Environmental Design 1				
担当者 :	片山 一郎・谷本 道哉・藤田 浩司・野田 淳二・大澤 恭子				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
				必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目				
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。				

■ 授業概要・方法等

生活関連機器や居住空間の計画において、人間環境デザイン工学科の講義の中で学んだ自然界の法則や現象を自らの目で確認すること、心理学の実験データを統計的にまとめて特性を見出すこと、人間工学的デザインの問題点を実験を通じて体得することは、非常に重要である。また、研究開発の計画や研究成果の公表、生産管理や施工管理に際しては適切な報告書を作成する必要がある。本実験では、以下に示す、材料力学、温熱環境学、心理学、人間工学、生体計測学に関するテーマについて、実験の進め方、各種測定法、実験データの整理法、報告書の作成について学習する。1. 材料力学実験：引っ張り試験による応力ひずみ線図、2. 温熱環境実験：放射温度計による人体熱収支と快適性の評価、3. 感覚・知覚心理学実験：ミュラー・リヤー図形における錯視量の測定、4. 人間工学実験：立ち上がり動作の違いによる筋活動レベル簿の変化と定量方法、5. 生体計測実験：装具使用の有無や生活用品使用方法の適否による体重心の動揺性を評価する実験

■ 学習・教育目標及び到達目標

人間環境デザイン工学科で重要な技術分野の基本的な材料の性質、熱移動現象、心理学実験、人間工学、身体計測などをテーマとして、実験の進め方、各種測定法、実験データの整理法、報告書の作成法について学修する。社会で求められる報告書には、①分かりやすく記述されている、②記述内容が正確である、③提出期限が守られている、などの条件があり、これらの条件を満たす報告書を作成するための基礎を身につけることができる。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に主体的に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポート 70%
 実験への取り組みとして予習内容・正確なデータ測定と記録状態 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

受け取ったレポートの修正指示を担当各教員より行い、指示に従って再度提出していただきます。
 合格点に達したレポートを受理し、レポート作成の解説（印刷物）を最終授業回に配布します。

■ 教科書

人間環境デザイン工学科 編「人間環境デザイン工学実験 I」を配付する。

■ 参考文献

各実験に関連する科目の教科書を参照することで、理解を深めることができる。

■ 関連科目

人間環境デザイン工学実験 II、人間環境デザイン工学科専門科目、卒業研究

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

藤田研究室 (東1号館2階201) ・ fujita@waka.kindai.ac.jp
 谷本研究室 (東1号館1階110) ・ tanimoto@waka.kindai.ac.jp
 片山研究室 (東1号館2階216) ・ katayama@waka.kindai.ac.jp
 野田研究室 (西1号館2階252) ・ nodaj@waka.kindai.ac.jp
 大澤 (西1号館3階358) ・ t-osawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日2限と木曜日2限
 (担当代表者：谷本まで)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 人間環境デザイン工学実験Ⅰの進め方、実験データのまとめ方、報告書の作成方法

第2回 材料力学実験Ⅰ

第3回 材料力学実験Ⅱ

第4回 材料力学実験Ⅲ

第5回 温熱環境学実験Ⅰ

第6回 温熱環境実験Ⅱ

第7回 温熱環境実験Ⅲ

第8回 感覚・知覚心理学実験Ⅰ

第9回 感覚・知覚心理学実験Ⅱ

第10回 感覚・知覚心理学実験Ⅲ

第11回 人間工学実験Ⅰ

第12回 人間工学実験Ⅱ

第13回 生体計測実験Ⅰ

第14回 生体計測実験Ⅱ

第15回 人間環境デザイン工学実験Ⅰの総括

■ ホームページ

科目名 :	人間環境デザイン工学実験Ⅱ						
英文名 :	Experiments of Human Factors Engineering and Environmental Design 2						
担当者 :	北山 一郎・楠 正暢・片山 一郎・谷本 道哉・野田 淳二						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目						
備 考 :	本科目は、二級・木造建築士試験受験資格の指定科目です。						

■ 授業概要・方法等

生活関連機器や居住空間の計画において、人間環境デザイン工学科の講義の中で学んだ自然界の法則や現象を自らの目で確認すること、心理学の実験データを統計的にまとめて特性を見出すこと、人間工学的デザインの問題点を実験を通じて体得することは、非常に重要である。また、研究開発の計画や研究成果の公表、生産管理や施工管理に際しては適切な報告書を作成する必要がある。本実験では、以下に示す、材料力学、色彩、生理学、福祉機器デザイン、センシングに関するテーマについて、実験の進め方、各種測定法、実験データの整理法、報告書の作成について学習する。1. 材料力学実験：はりのたわみとひずみの計測、2. 色彩実験：色彩を定量的に測定する実験、3. 生理学実験：運動時の酸素消費量とエネルギー効率、4. 福祉機器デザイン実験：福祉ロボットの作動原理とデータ計測、5. センシング実験：光素子を用いた計測と通信

■ 学習・教育目標及び到達目標

人間環境デザイン工学科で重要な技術分野の基本的な材料の性質、色彩、生理学、福祉機器、センシングなどをテーマとして、実験の進め方、各種測定法、実験データの整理法、報告書の作成法について学修する。社会で求められる報告書には、①分かりやすく記述されている、②記述内容が正確である、③提出期限が守られている、などの条件があり、これらの条件を満たす報告書を作成するための基礎を身につけることができる。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に主体的に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポート 70%
実験への取り組みとして予習内容・正確なデータ測定と記録状態 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

受け取ったレポートの修正指示を担当各教員より行い、指示に従って再度提出していただきます。
合格点に達したレポートを受理し、レポート作成の解説（印刷物）を最終授業回に配布します。

■ 教科書

人間環境デザイン工学科 編「人間環境デザイン工学実験Ⅱ」を配付する。

■ 参考文献

各実験に関連する科目の教科書を参照することで、理解を深めることができる。

■ 関連科目

人間環境デザイン工学実験Ⅰ、人間工学、生理学、カラーコーディネーションの心理学、材料力学Ⅰ、Ⅱ、福祉機器デザイン、生活支援ロボット

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

楠研究室 (東1号館1階111) ・ kusunoki@waka.kindai.ac.jp
北山研究室 (西1号館1階152) ・ kitayama@waka.kindai.ac.jp
片山研究室 (東1号館2階216) ・ katayama@waka.kindai.ac.jp
谷本研究室 (東1号館1階110) ・ tanimoto-wk@waka.kindai.ac.jp
野田研究室 (西1号館2階252) ・ nodaj@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日2限と木曜日2限
(担当代表者：谷本まで)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 人間環境デザイン工学実験Ⅱの進め方、実験データのまとめ方、報告書の作成方法

第2回 材料力学実験Ⅰ

第3回 材料力学実験Ⅱ

第4回 材料力学実験Ⅲ

第5回 色彩実験Ⅰ

第6回 色彩実験Ⅱ

第7回 色彩実験Ⅲ

第8回 生理学実験Ⅰ

第9回 生理学実験Ⅱ

第10回 生理学実験Ⅲ

第11回 福祉機器デザイン実験Ⅰ

第12回 福祉機器デザイン実験Ⅱ

第13回 センシング実験Ⅰ

第14回 センシング実験Ⅱ

第15回 人間環境デザイン工学実験Ⅱの総括

■ ホームページ

科目名 :	人間環境デザイン工学演習 I				
英文名 :	Exercises of Human Factors Engineering and Environmental Design 1				
担当者 :	人間環境デザイン工学科全教員				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	前期
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

人間工学における主要な学問分野である人間科学、医療・福祉、生体力学、環境科学の学びを深く掘り下げ、卒業研究の準備を行うことを目的とする。本演習では、学生は数名の教員で構成される研究室に属し、その指導のもとで、卒業研究に関連した専門知識を幅広く修得するための文献講読や文献紹介のプレゼンテーションを行う。文献を要約して報告書を作成することで、文書作成能力の養成も行う。

■ 学習・教育目標及び到達目標

卒業研究に関連した専門知識を幅広く修得し、文献を要約して報告書を作成することで、文書作成能力を養う。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

適宜資料を配付する。

■ 関連科目

人間環境デザイン工学演習II、人間環境デザイン工学講究、人間環境デザイン工学科専門科目、卒業研究

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

(代表) 廣川研究室 (西1号館2階258) ・ hirokawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

複数教員のため、ユニバーサルパスポート (<https://www.itp.kindai.ac.jp/index.html>) のオフィスアワーを参照ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回～第4回 研究室の学問分野の解説と文献検索

- ・ 研究分野の学修
- ・ 基礎資料の収集
- ・ 関連分野の文献・資料検索

第5回～第11回 文献・資料の要約、報告書の作成

- ・ 文献購読
- ・ 図表の解釈
- ・ 情報の分析と整理
- ・ ディスカッション
- ・ 関連資料の調査
- ・ 報告書の作成

第12回～第15回 プレゼンテーション

- ・ 報告書による発表
- ・ 質疑応答

・総括

予習内容：各講義で指示された課題に取り組むこと。

予習時間：450分

復習内容：各講義で指示された課題に取り組むこと。

復習時間：450分

■ホームページ

科目名 :	人間環境デザイン工学演習Ⅱ						
英文名 :	Exercises of Human Factors Engineering and Environmental Design 2						
担当者 :	人間環境デザイン工学科全教員						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	1単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

人間工学における主要な学問分野である人間科学、医療・福祉、生体力学、環境科学の学びを深く掘り下げ、卒業研究の準備を行うことを目的とする。本演習では、卒業研究の担当教員の個別指導のもとで、これまでに修得した知識をより高度に総合的に応用し、卒業研究の基礎となる演習を行う。さらに、卒業研究のテーマ設定を行い、実験設備や計算機システムの利用法を身につけ、4年時からの卒業研究が円滑に行えるようにする。

■ 学習・教育目標及び到達目標

卒業研究の分野の専門知識について、より高度に総合的に理解を深め、さらに、卒業研究のテーマ設定を行い、実験設備や計算機システムの利用法を身につける。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

適宜資料を配付する。

■ 関連科目

人間環境デザイン工学演習I、人間環境デザイン工学講義、人間環境デザイン工学科専門科目、卒業研究

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

(代表) 廣川研究室 (西1号館2階258) ・ hirokawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

複数教員のため、ユニバーサルパスポート (<https://www.itp.kindai.ac.jp/index.html>) のオフィスアワーを参照ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回～第4回 卒業研究のテーマ設定と資料収集

- ・ 研究テーマの学修
- ・ 資料の収集関
- ・ 分野の文献・資料検索

第5回～第11回 研究方法の学修と報告書の作成

- ・ 文献整理
- ・ 実験装置や計算機の習熟
- ・ 実験・解析の実施
- ・ データ分析
- ・ 関連資料の調査
- ・ 報告書の作成

第12回～第15回 プレゼンテーション

- ・ 報告書による発表

- ・ 質疑応答
- ・ 総括

予習内容：各講義で指示された課題に取り組むこと。

予習時間：450分

復習内容：各講義で指示された課題に取り組むこと。

復習時間：450分

■ ホームページ

科目名 :	人間環境デザイン工学講究				
英文名 :	Research of Human Factors Engineering and Environmental Design				
担当者 :	人間環境デザイン工学科全教員				
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)				
単 位 :	2単位	開講年次 :	4年次	開講期 :	前期
				必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

国際的に活躍するグローバルエンジニア育成のために必要となる専門英語を身につけることを目的に、卒業研究に関連した英語学術論文あるいは英語専門書を輪読する。専門知識、用語、実験・解析の方法、考察の進め方などについての英語表現を学修し、研究室ごとに、輪読した文献の内容をプレゼンテーションすることによって理解を深める。

■ 学習・教育目標及び到達目標

卒業研究に関連した英語学術論文あるいは英語専門書を輪読して英語表現を学修し、その要約をプレゼンテーションすることによって理解を深める。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

プレゼンテーション 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

指導教員から評価理由を伝える。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

適宜資料を配付する。

■ 関連科目

人間環境デザイン工学演習I、人間環境デザイン工学演習II、人間環境デザイン工学科専門科目、卒業研究

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

(代表) 廣川研究室 (西1号館2階258) ・ hirokawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

複数教員のため、ユニバーサルパスポート (<https://www.itp.kindai.ac.jp/index.html>) のオフィスアワーを参照ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回～第11回 卒業研究に関連した英語学術論文または英語専門書の輪読

- ・ 専門用語の英語表現
- ・ 実験・解析方法の英語表現
- ・ 結果・考察の英語表現
- ・ 引用文献
- ・ 関連分野の文献・資料検索
- ・ 図表の解釈
- ・ 情報の分析と整理
- ・ ディスカッション
- ・ 関連資料の調査
- ・ 報告書の作成

第12回～第15回 プレゼンテーション

- ・ 報告書による発表
- ・ 質疑応答

・総括

予習内容：各講義で指示された課題に取り組むこと。

予習時間：900分

復習内容：各講義で指示された課題に取り組むこと。

復習時間：900分

■ホームページ

科目名 :	卒業研究						
英文名 :	Graduation Thesis						
担当者 :	人間環境デザイン工学科全教員						
開講学科 :	人間環境デザイン工学科 (平成30年度入学生用)						
単 位 :	6単位	開講年次 :	4年次	開講期 :	通年	必修選択の別 :	必修科目
科目区分 :	専門科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

人間工学における3つの主要な学問分野である人間科学、機械科学、住環境科学に関する知識を統合・応用して、具体的な研究課題を自らの力で解き、研究成果を論文としてまとめ、発表する技術を養うことを目的とする。学生各自が関心のある研究室を選び、指導教員との討論や学生間での研究協力を通じて、研究に対する基本的姿勢を学びとると共に、人間性豊かな科学技術者の育成に役立てる。

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 卒業研究の課題に対して自主的に調査し、問題解決するための研究計画を立案する能力を修得する。
 2. 実験・解析を計画・遂行する際、得られた結果に対して適切で正確な分析・解析を行い、工学的に考察する能力を修得する。
 3. 卒業論文、卒研発表では、論理的な記述力、口頭発表力、討論などのコミュニケーション能力を修得する。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 2の達成に主体的に、ディプロマポリシー 1、3および4の達成に付随的に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

論文内容 60%
論文発表 30%
中間発表 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会の後、指導教員が講評する。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

課題に関連する資料を配付する。

■ 関連科目

専門必修科目、研究課題に関係する専門科目、外国語

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

(代表) 廣川研究室 (西1号館2階258) ・ hirokawa@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

複数教員のため、ユニバーサルパスポート (<https://www.itp.kindai.ac.jp/index.html>) のオフィスアワーを参照ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

OA作業時のイス体圧分布とその時間変動に関する研究
バスケットボールシューズのソールによる足圧力軽減効果に関する研究
筋電図測定を用いた使いやすいスマートフォンのキー配置の研究
デジタルマネキンを用いた生活関連用品のユニバーサルデザイン
シート・クッションの形状・材質と人体の変形・圧力分布の解析
人間の操作姿勢や動作範囲に配慮した車イスの設計
バーチャルリアリティ技術を利用したつり革・手すりの転倒防止効果の研究
骨折しない転び方の運動生理学的・人間工学研究
運動靴の緩衝性能のメカニズムを解明する研究

電車・バスの車内での転倒・骨折を防止する研究
生体信号を活用した機器操作に関する研究
人間の歩行を支援する機器・システムに関する研究
ミカン収穫ロボットのハンドユニットの開発
介助犬ロボットによる落下物の把持と回収動作
住宅および事務所における床下暖房に関する研究
潜熱蓄熱材の蓄熱性状に関する研究
平板スピーカによる壁面透過騒音のアクティブ吸音
高齢者の聴覚に合わせた音場デザイン
住空間における配色効果の定量的評価に関する研究
各種光源の演色性評価に関する研究
歩行方法の工夫が生理学的負荷に与える影響
野球の変化球の動作特性の分析
アンビエントセンサに関する研究
リハビリテーションにおける動作解析方法の研究

■ホームページ